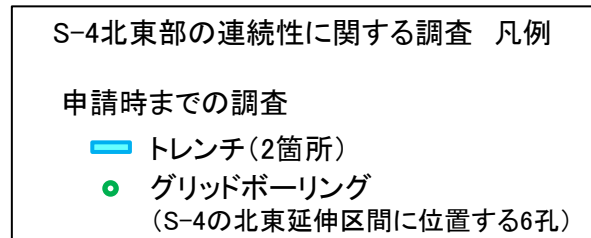
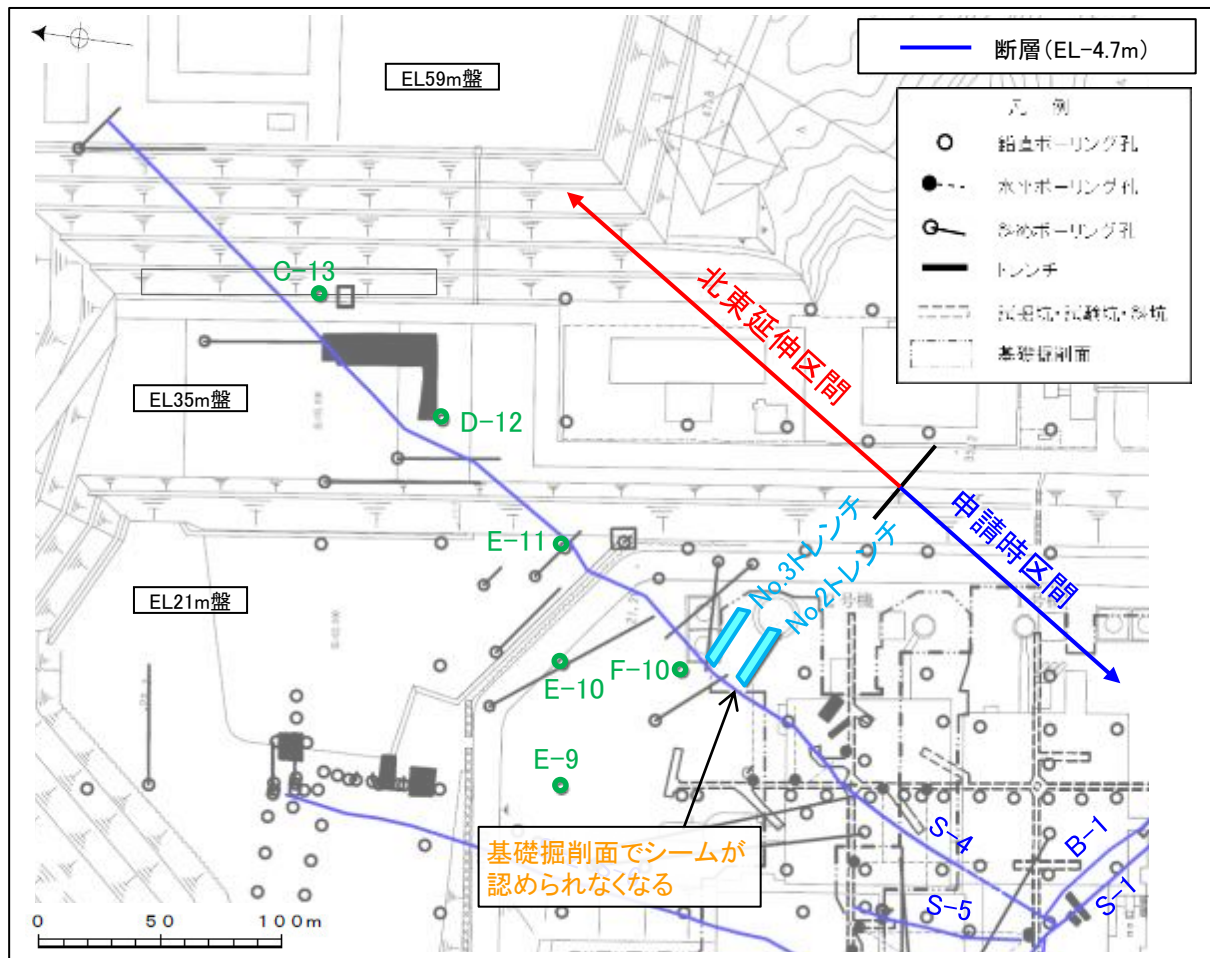


# (参考1-2) 申請時までの調査結果の見直し



位置図

## 基礎掘削面

・2号機基礎掘削面において、申請時区間より北東側にシームが認められなくなる。建設当時のスケッチ・写真によれば、申請時区間より北東側に、白色斑紋状を呈する変質部が認められ、また、その延長方の安山岩(均質)中において、S-4の走向と調和的に安山岩(角礫質)が帯状に分布している。

## グリッドボーリング

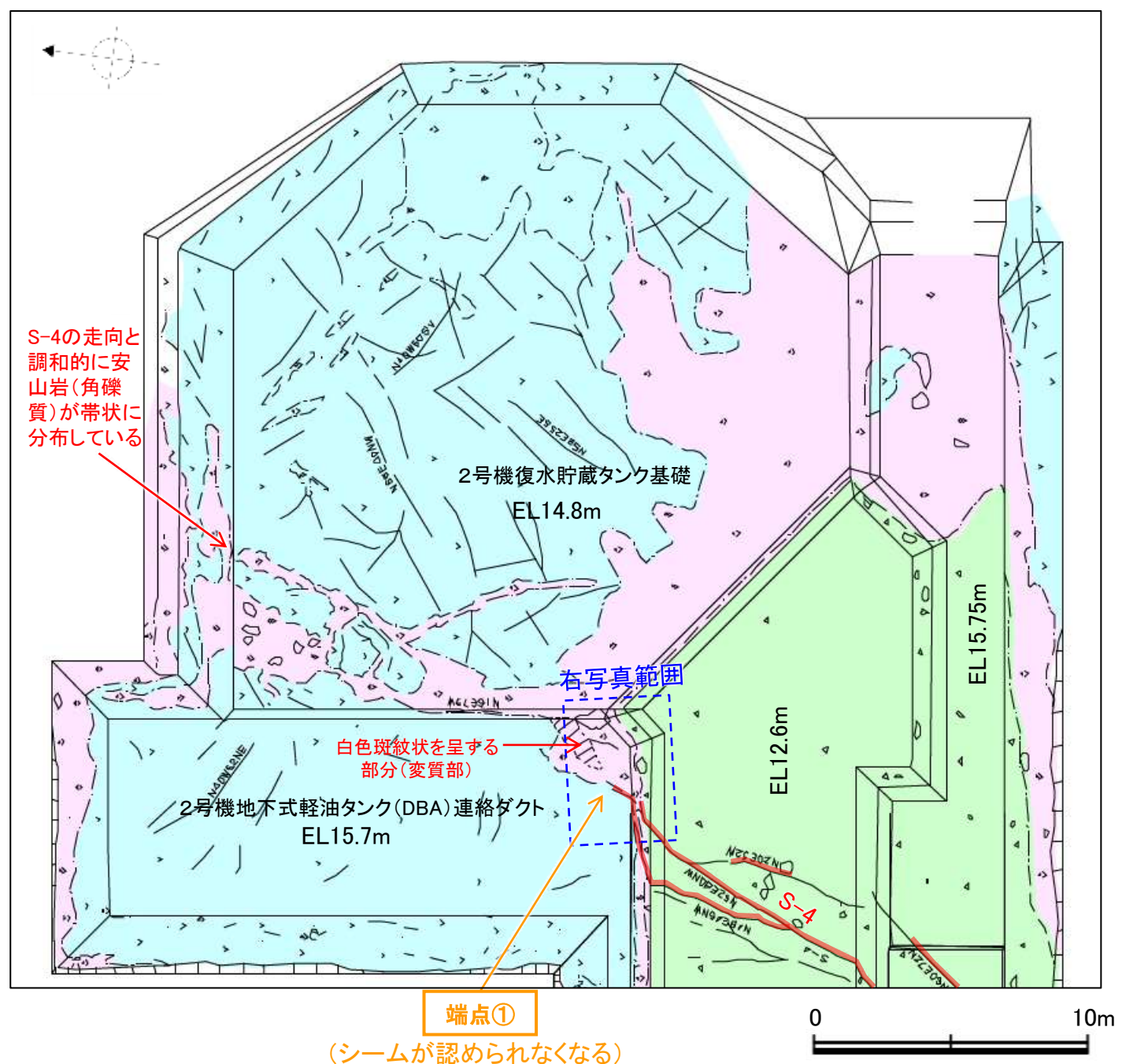
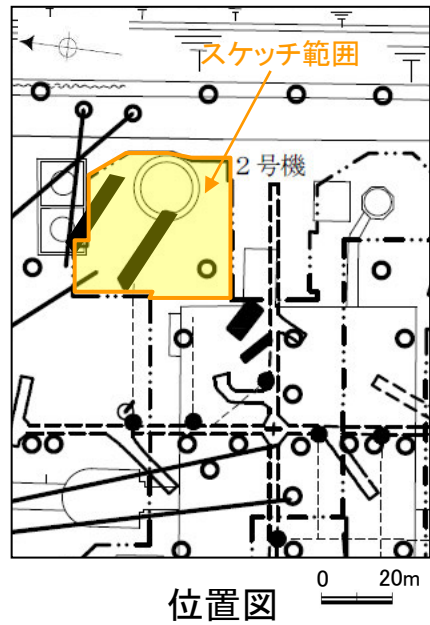
・建設時のグリッドボーリング(図中緑色箇所)のコア再観察を行った結果、S-4の延長部に固結した破碎部ないしコア採取不良箇所を確認したことから、S-4が連続するものと判断した。

## トレンチ

・シームが連続しないと評価していたNo.2トレンチ、No.3トレンチ(図中水色箇所)については、建設当時のスケッチ・写真により、固結した破碎部の有無の判断ができない。

# (参考1-2) 申請時までの調査結果の見直し —基礎掘削面—

○設置変更許可申請時は、2号機基礎掘削面においてシームが認められなくなる箇所(端点①)をS-4の北東端としていた。  
○建設当時のスケッチ・写真によれば、端点①の北東側に白色斑紋状を呈する変質部が認められ、また、その延長方の安山岩(均質)中において、S-4の走向と調和的に安山岩(角礫質)が帯状に分布している。

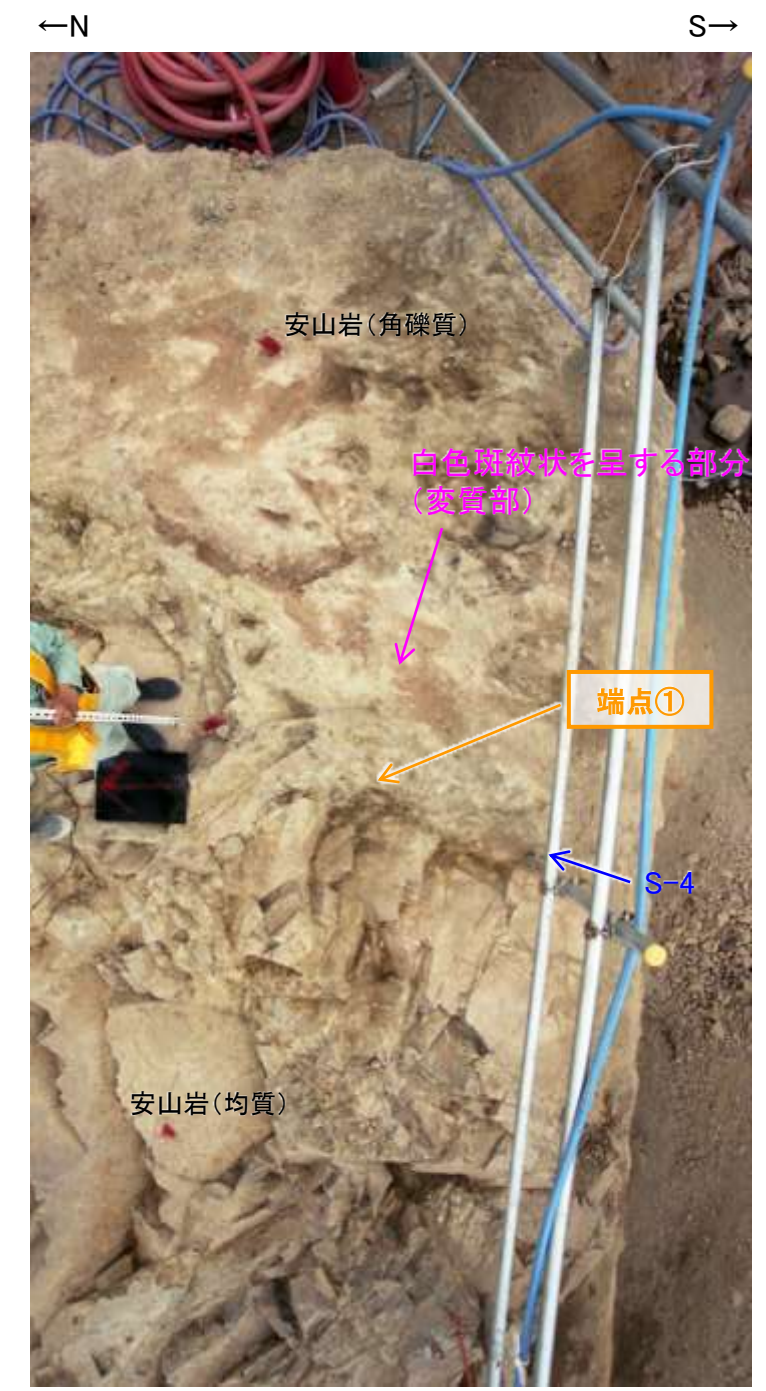


凡例

	安山岩(均質)
	安山岩(角礫質)
	凝灰角礫岩
	安山岩礫
	シーム及びシーム名 ※1
	節理
	変質部
	凝灰質な細粒部 ※2

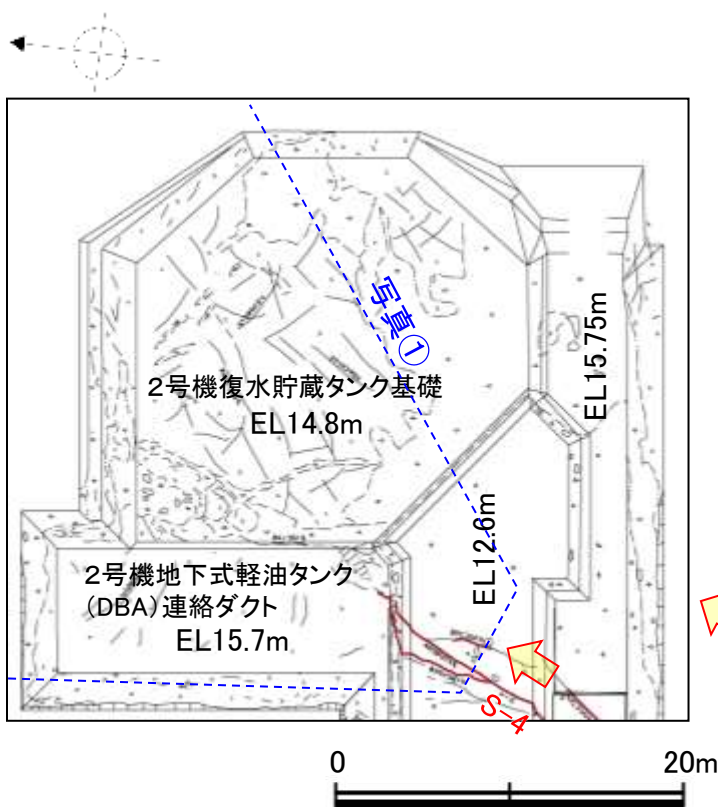
※1:スケッチ時の記載用語。「粘土状破碎部」に対応する。  
※2:スケッチ時の記載用語。

2号機復水貯蔵タンク付近 スケッチ



2号機地下式軽油タンク(DBA)連絡ダクト 底盤写真

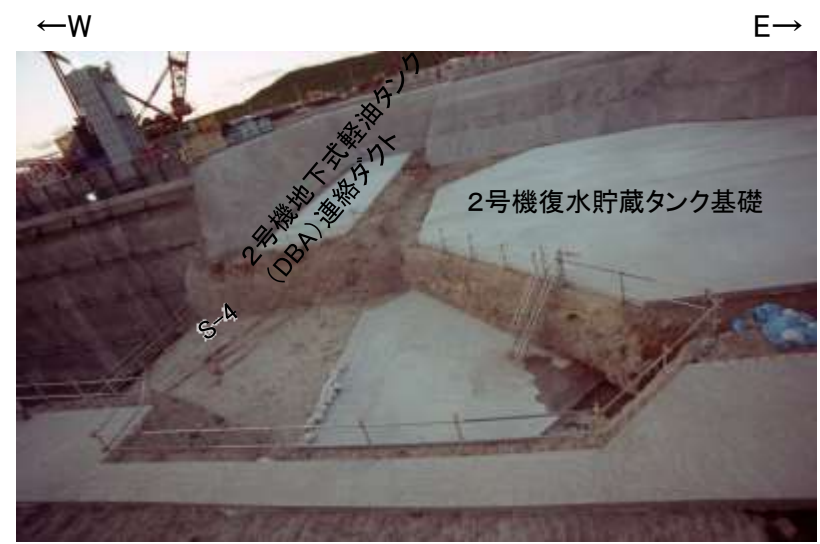
【基礎掘削面 2号機復水貯蔵タンク付近 写真①】



2号機復水貯蔵タンク付近 スケッチ



写真① S-4付近写真



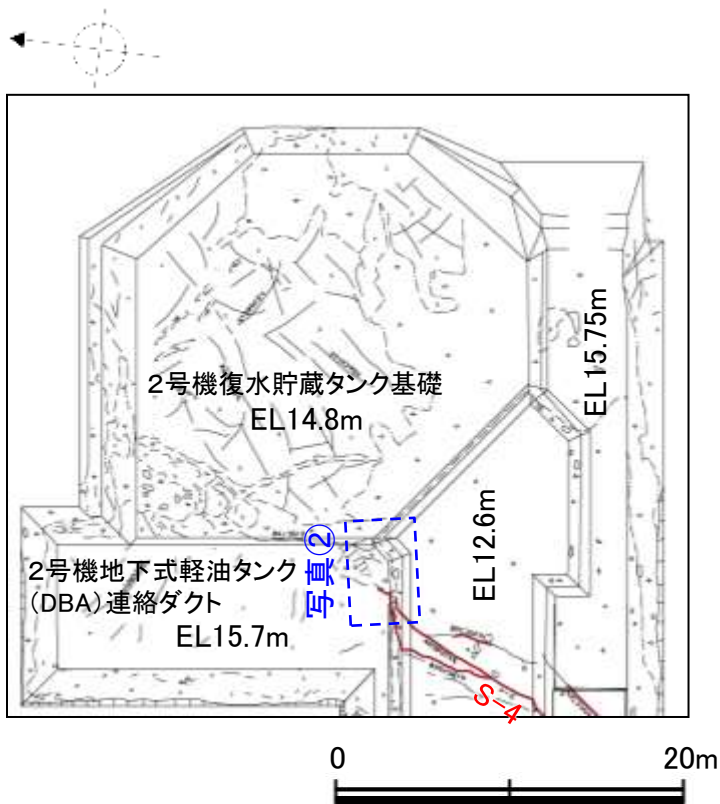
2号機復水貯蔵タンク S-4付近 全景



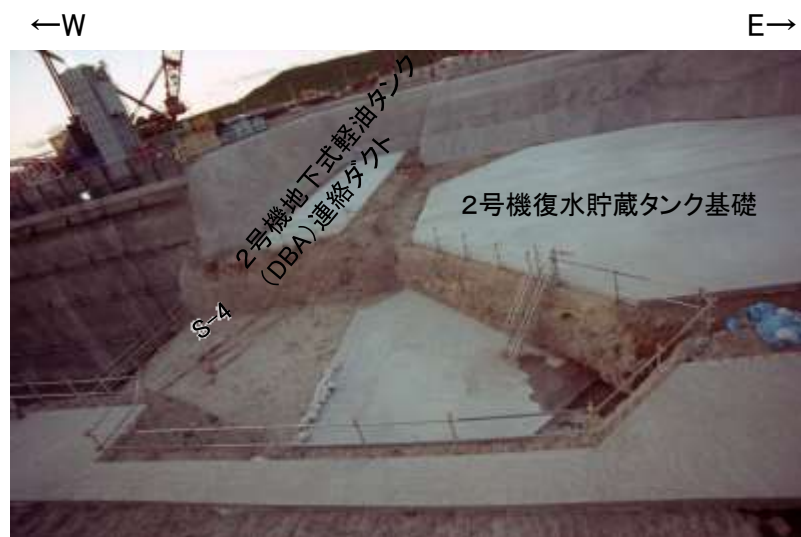
写真① S-4付近写真(S-4を加筆)

・ 2号機復水貯蔵タンク付近において、シームは分岐しながら不明瞭になる。

### 【基礎掘削面 2号機復水貯蔵タンク付近 写真②】



2号機復水貯蔵タンク付近 スケッチ



2号機復水貯蔵タンク S-4付近 全景

・2号機地下式軽油タンク(DBA)連絡ダクトの底盤中(EL15.7m)において、シームは認められなくなる。



写真② 2号機地下式軽油タンク(DBA)連絡ダクト底盤 S-4端部



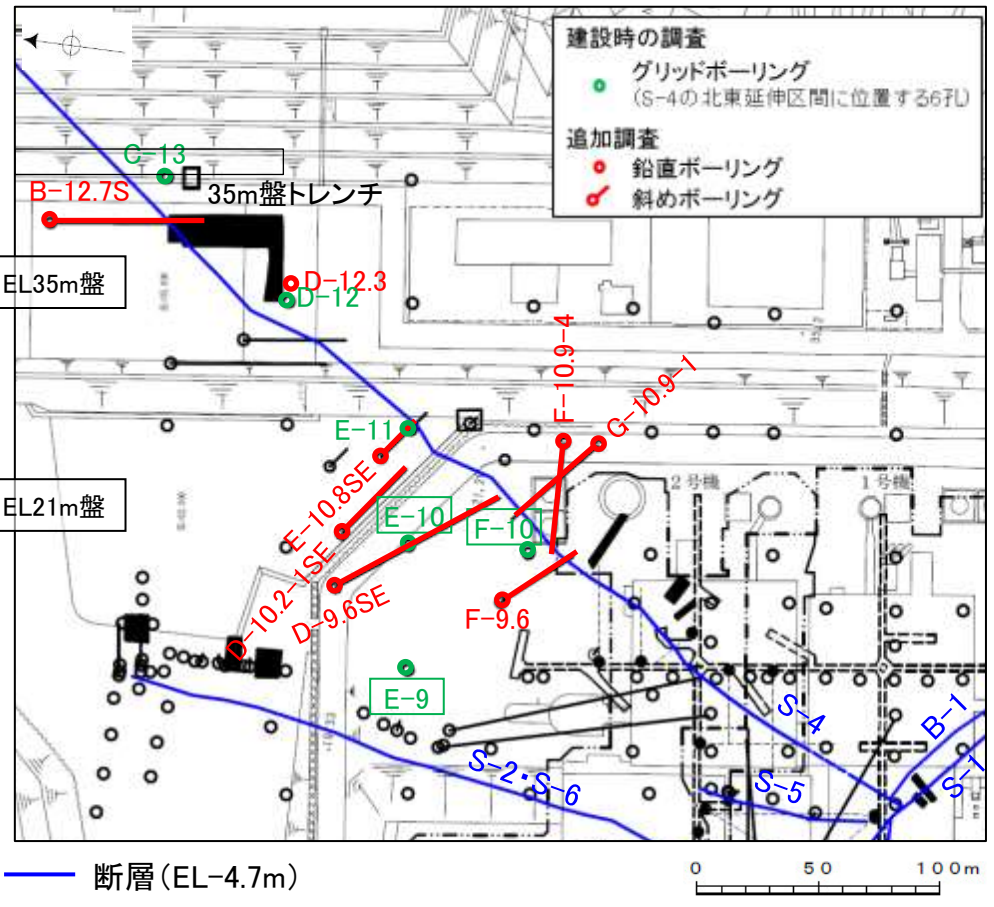
写真② 2号機地下式軽油タンク(DBA)連絡ダクト底盤 S-4端部(S-4を加筆)

(この写真は2号機地下式軽油タンク(DBA)連絡ダクト均しコンクリート打設前に撮影したもの)

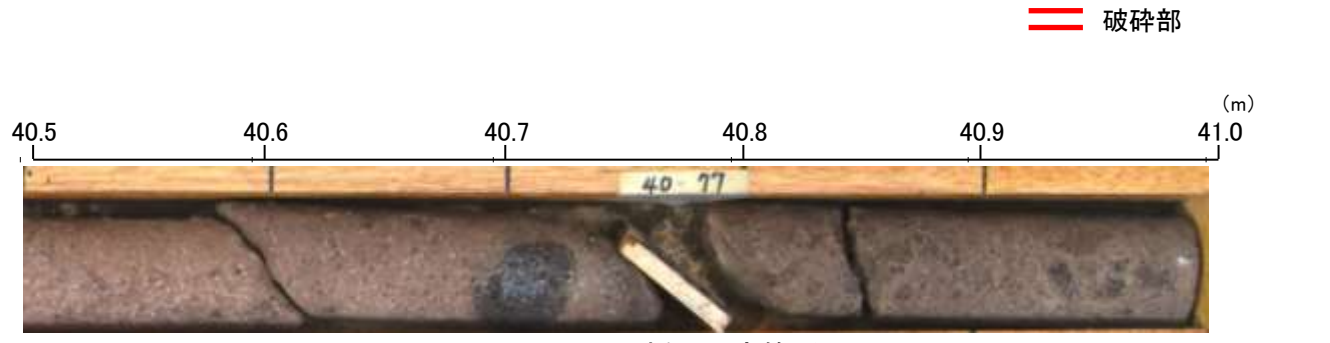
# (参考1-2) 申請時までの調査結果の見直し — 建設時のグリッドボーリング —

○建設時のボーリングコア(左位置図で**緑色箇所**)の再観察を行った結果, S-4の延長部に固結した破碎部ないしコア採取不良箇所を確認した(P.2.3-4-34~35)ことから, 破碎部が連続して分布するものと判断した。  
○さらに, 近傍において実施した追加ボーリング調査(左位置図で**赤色箇所**)により, S-4と走向・傾斜が調和的な破碎部を確認した(P.2.3-4-36~38)。

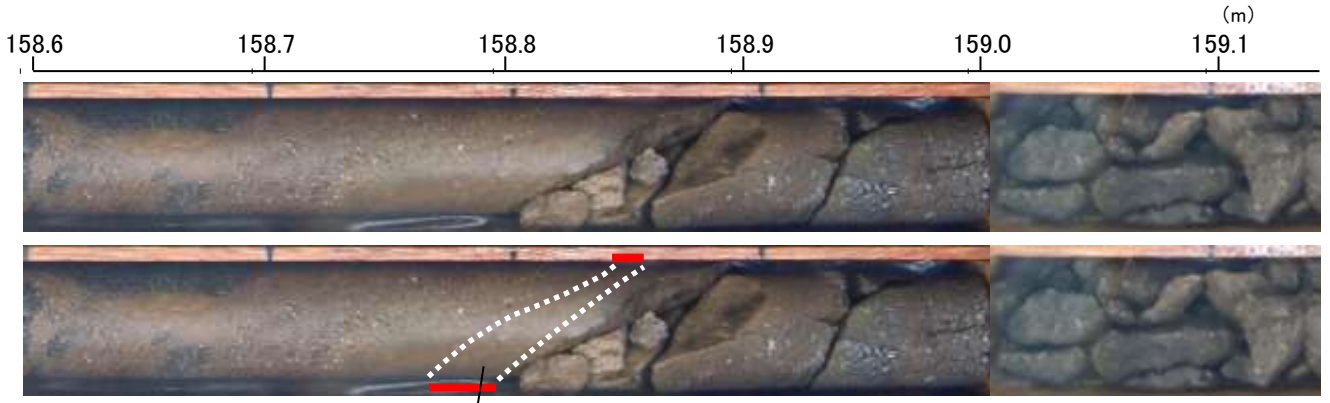
## 【建設時のグリッドボーリングの調査結果の見直し(1/2)】



位置図



コア採取不良箇所  
F-10孔



③-2 固結した角礫状破碎部  
E-9孔(下は破碎部を加筆)

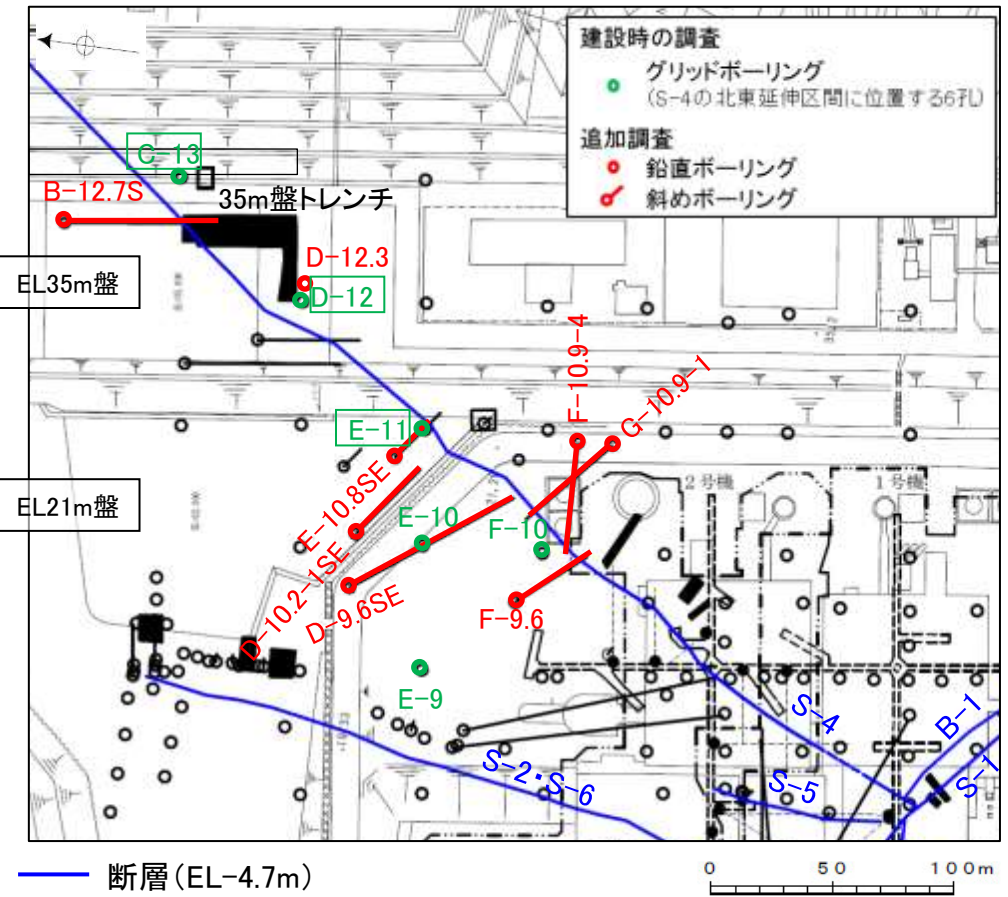


コア採取不良箇所  
E-10孔

孔名及び深度 (標高)	建設時の 柱状図記載	見直し結果	近傍における追加 ボーリング調査結果
F-10孔 深度40.76m (EL-16.50m)	掘削時に逸水 あり	コア形状不良のため破 砕部が確認できない	F-9.6孔等において破 砕部を確認
E-9孔 深度158.85m (EL-140.24m)	記載なし	厚さ2cmの固結した破 砕部	F-9.6孔等において破 砕部を確認
E-10孔 深度102.42m (EL-81.33m)	記載なし	コア形状不良のため破 砕部が確認できない	D-9.6SE孔等において破 砕部を確認

## 【建設時のグリッドボーリングの調査結果の見直し(2/2)】

== 破砕部



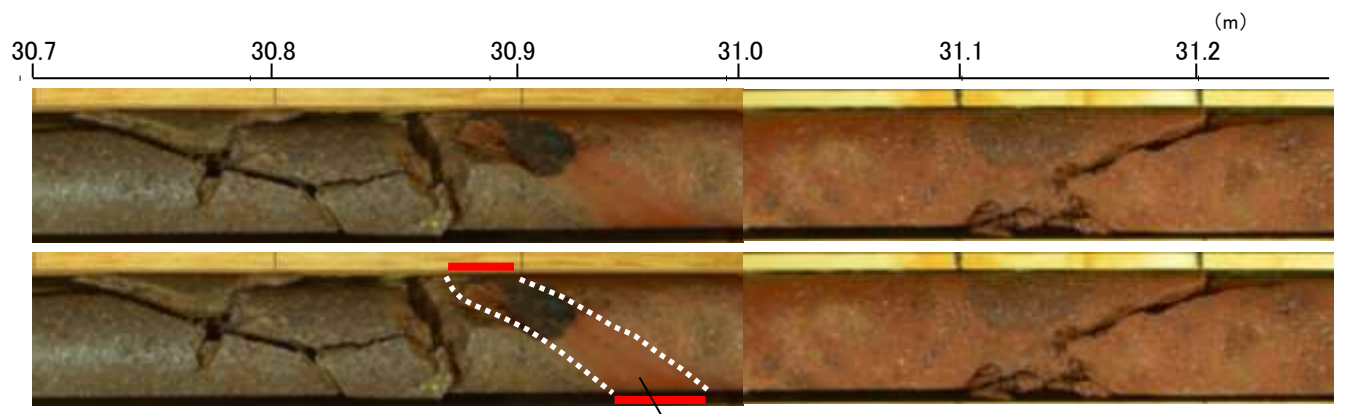
位置図

孔名及び深度 (標高)	建設時の 柱状図記載	見直し結果	近傍における追加 ボーリング調査結果
E-11孔 深度56.73m (EL-21.99m)	細片状～半柱 状コア	コア形状不良のため破 砕部が確認できない	E-10.8SE孔において破 砕部を確認
D-12孔 深度30.95m (EL1.03m)	傾斜角60° の 流理構造あり	厚さ2cmの固結した破砕 部	D-12.3孔において破砕 部を確認
C-13孔 深度32.01m (EL9.01m)	記載なし	厚さ2cmの固結した破砕 部	B-12.7S孔において破砕 部を確認



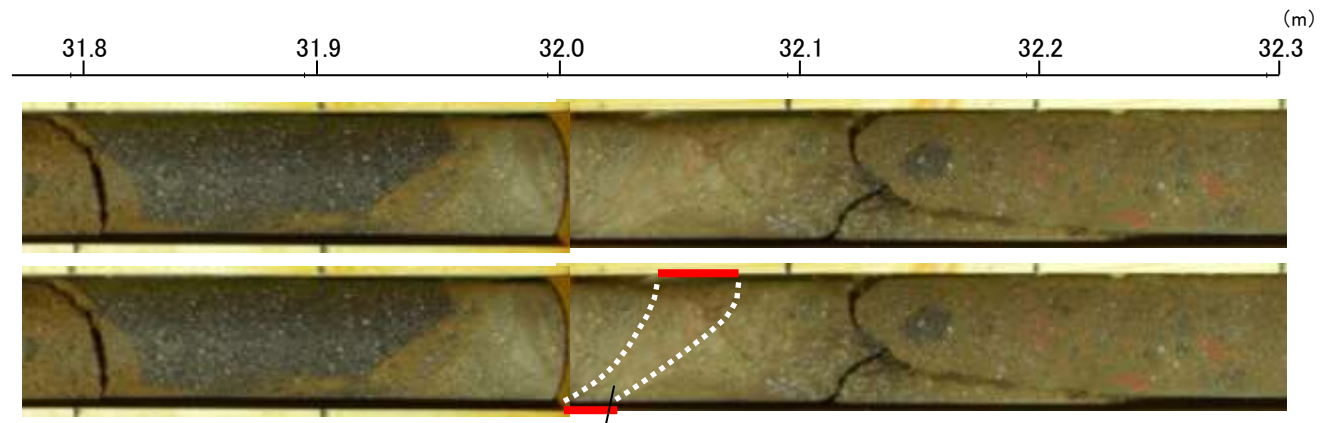
コア採取不良箇所

E-11孔



③-1 固結した粘土・砂状破砕部

D-12孔(下は破砕部を加筆)

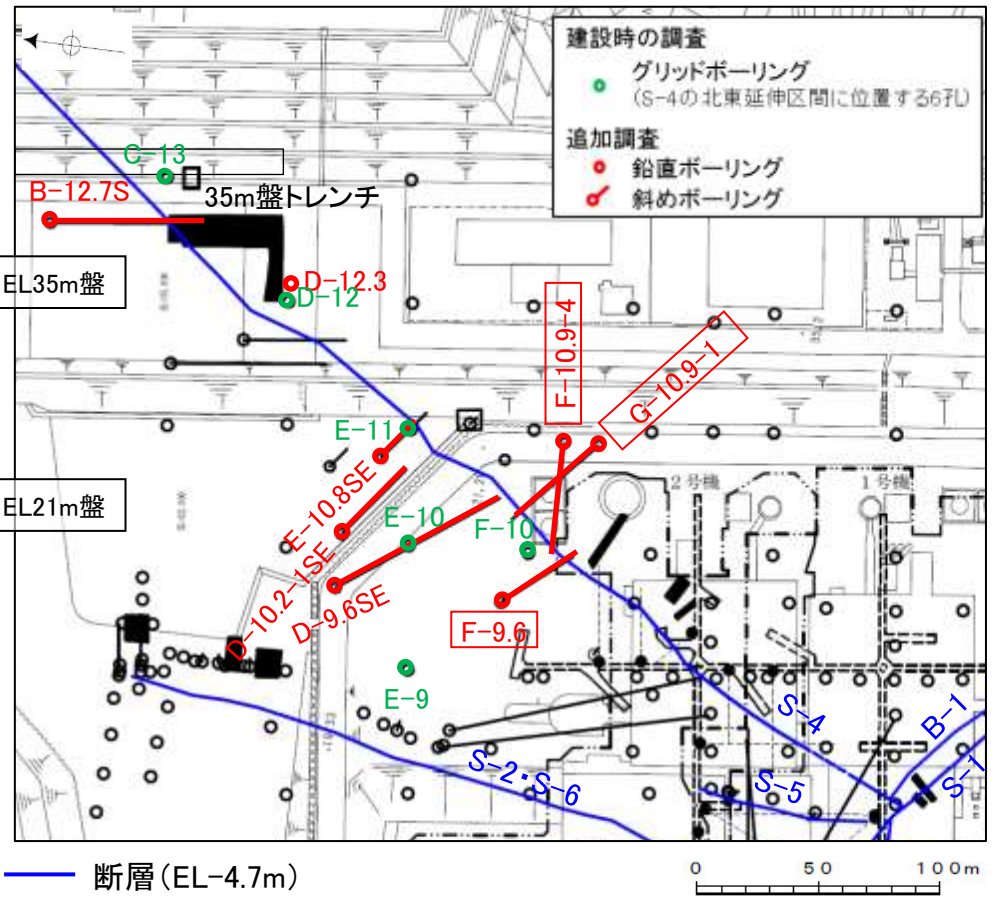


③-2 固結した角礫状破砕部

C-13孔(下は破砕部を加筆)

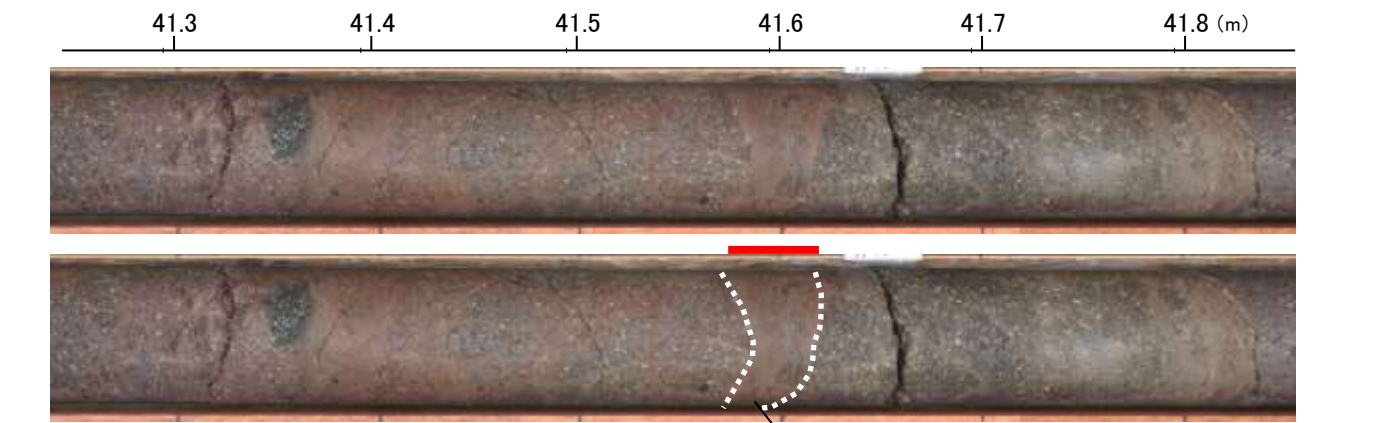
## 【近傍における追加ボーリング調査結果(1/3)】

— 破砕部

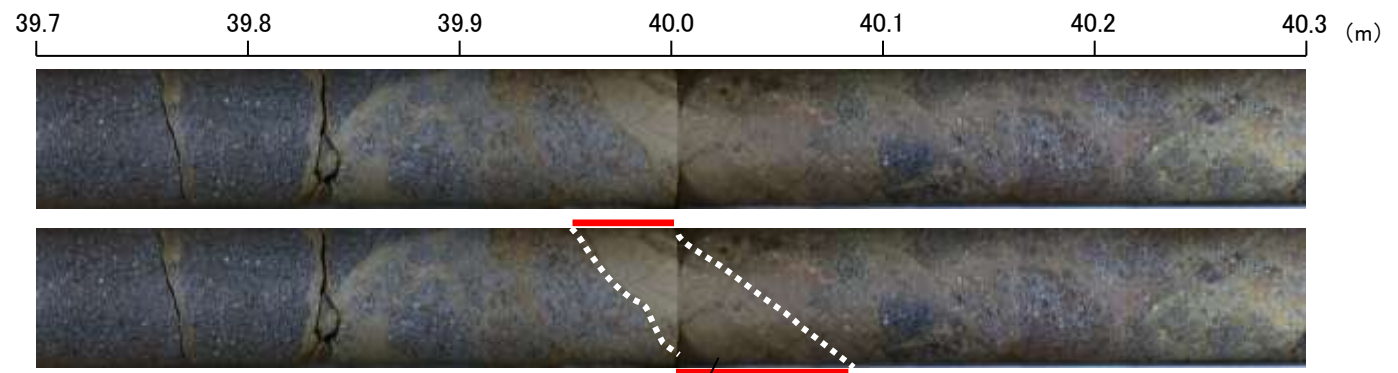


位置図

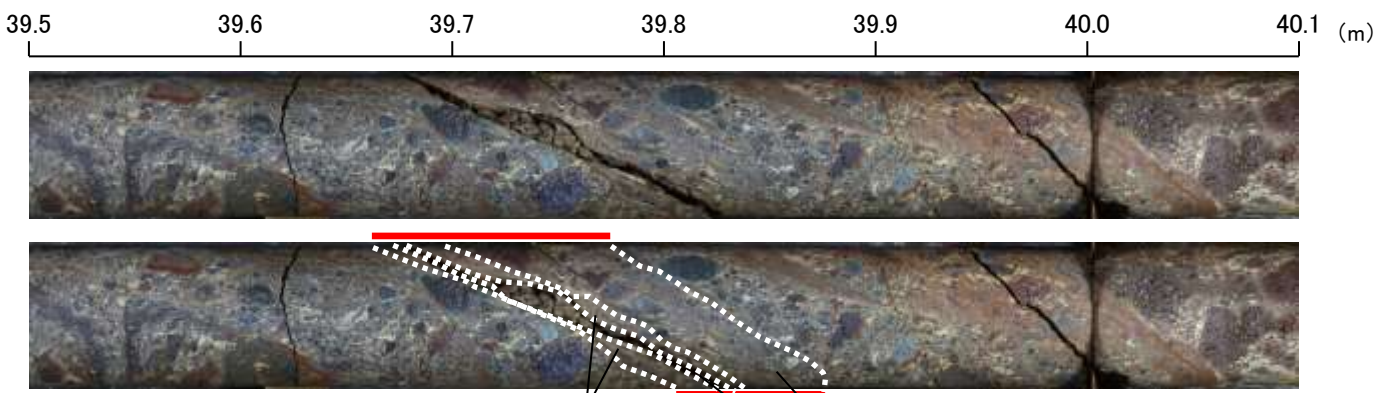
孔名及び深度 (標高)	調査結果	走向・傾斜
F-9.6孔 深度41.60m (EL-8.42m)	厚さ5cmの固結した破砕部	N7° E/56° NW
G-10.9-1孔 深度40.00m (EL7.49m)	厚さ5cmの固結した破砕部	N36° E/72° NW
F-10.9-4孔 深度39.75m (EL5.60m)	厚さ4cmの破砕部 固結した破砕部と砂状破砕部 からなる	N47° E/66° NW



③-1 固結した粘土・砂状破砕部 N7° E/56° NW  
F-9.6孔(下は破砕部を加筆)



③-1 固結した粘土・砂状破砕部 N36° E/72° NW  
G-10.9-1孔(下は破砕部を加筆)

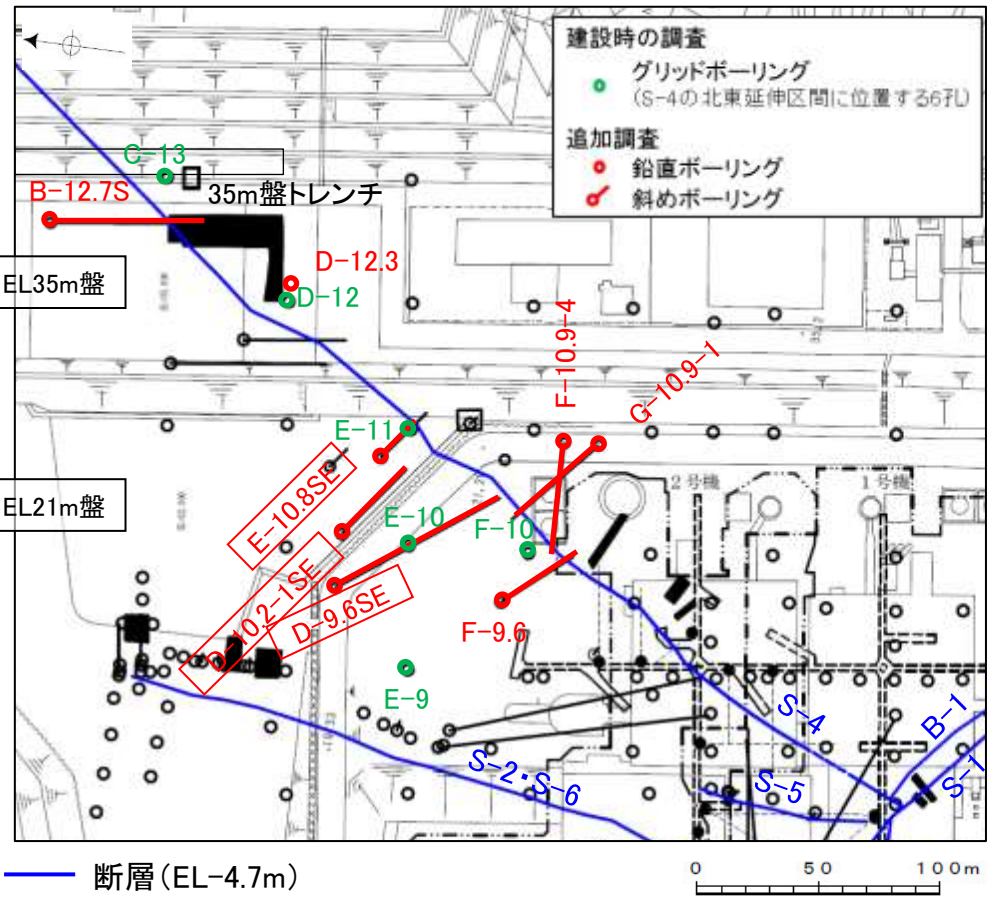


固結した粘土・砂状破砕部 ③-1 ②-1 ③-2 固結した角礫状破砕部  
砂状破砕部 N47° E/66° NW

F-10.9-4孔(下は破砕部を加筆)

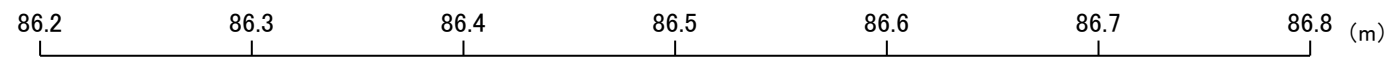
## 【近傍における追加ボーリング調査結果(2/3)】

== 破砕部



位置図

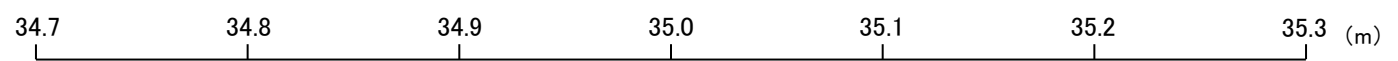
孔名及び深度 (標高)	調査結果	走向・傾斜
D-9.6SE孔 深度86.56m (EL-49.81m)	厚さ5cmの固結した破砕部	N24° E/59° NW
D-10.2-1SE孔 深度61.22m (EL-31.99m)	厚さ5cmの固結した破砕部	N27° E/54° NW
E-10.8SE孔 深度35.08m (EL-9.33m)	厚さ1cmの固結した破砕部	N27° E/53° NW



固結した角礫状破砕部 ③-2 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部  
N24° E/59° NW  
D-9.6SE孔(下は破砕部を加筆)



N27° E/54° NW ③-1 固結した粘土・砂状破砕部  
D-10.2-1SE孔(下は破砕部を加筆)

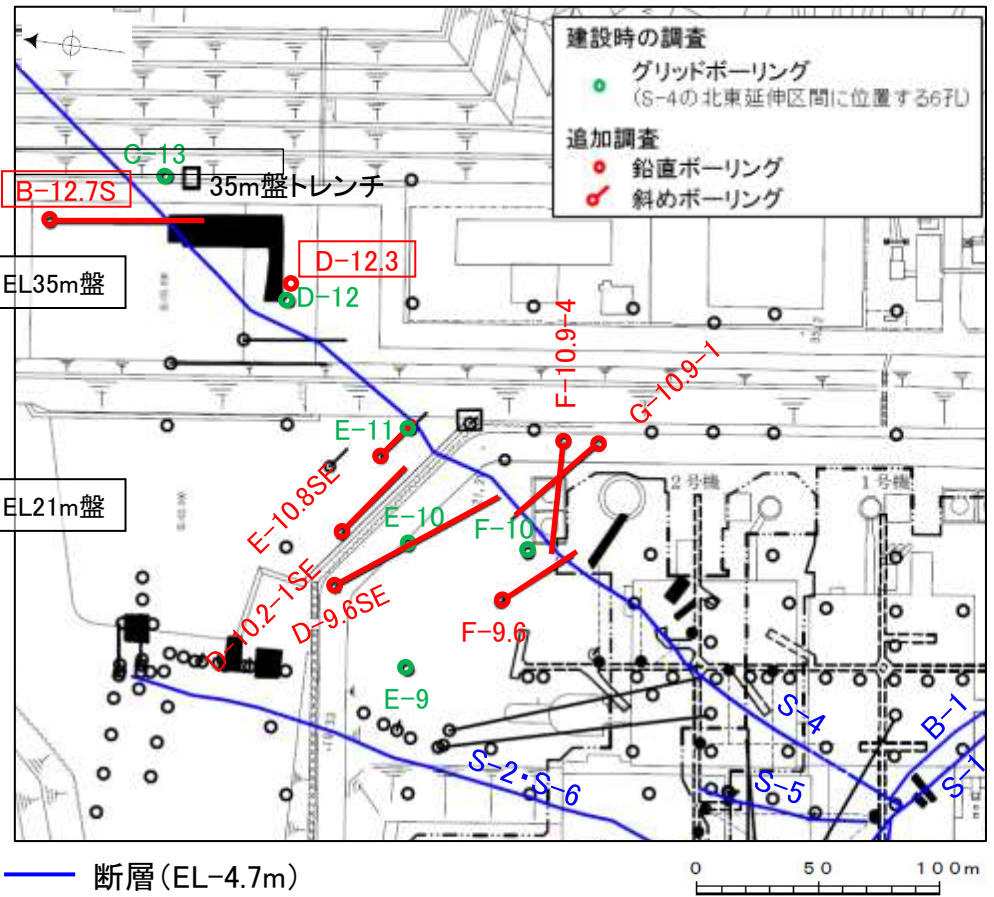


N27° E/53° NW ③-1 固結した粘土・砂状破砕部  
E-10.8SE孔(下は破砕部を加筆)

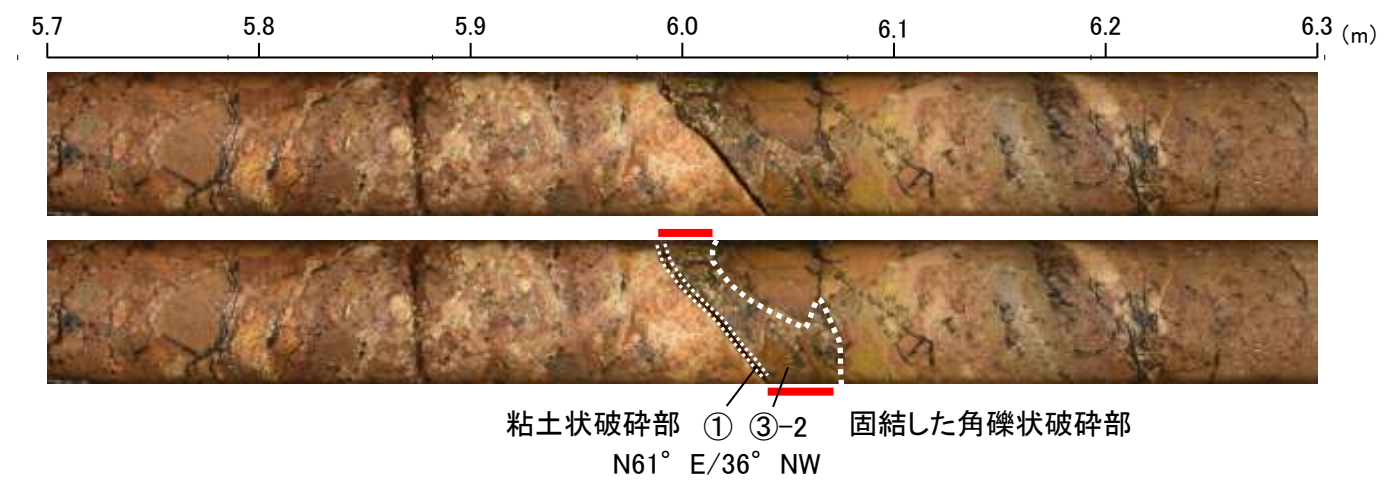


## 【近傍における追加ボーリング調査結果(3/3)】

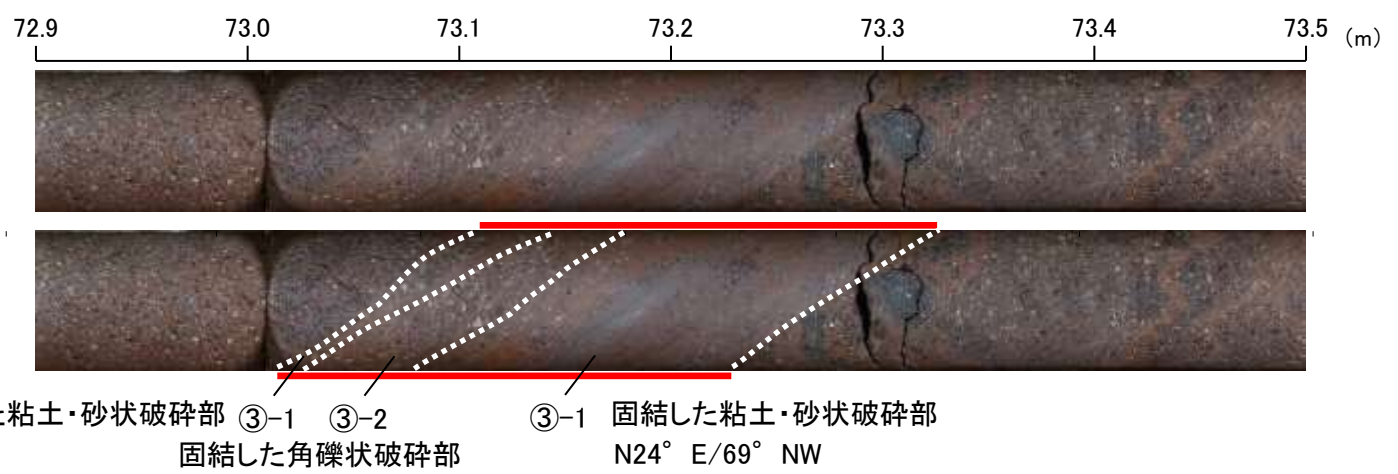
== 破砕部



位置図



D-12.3孔 (下は破砕部を加筆)

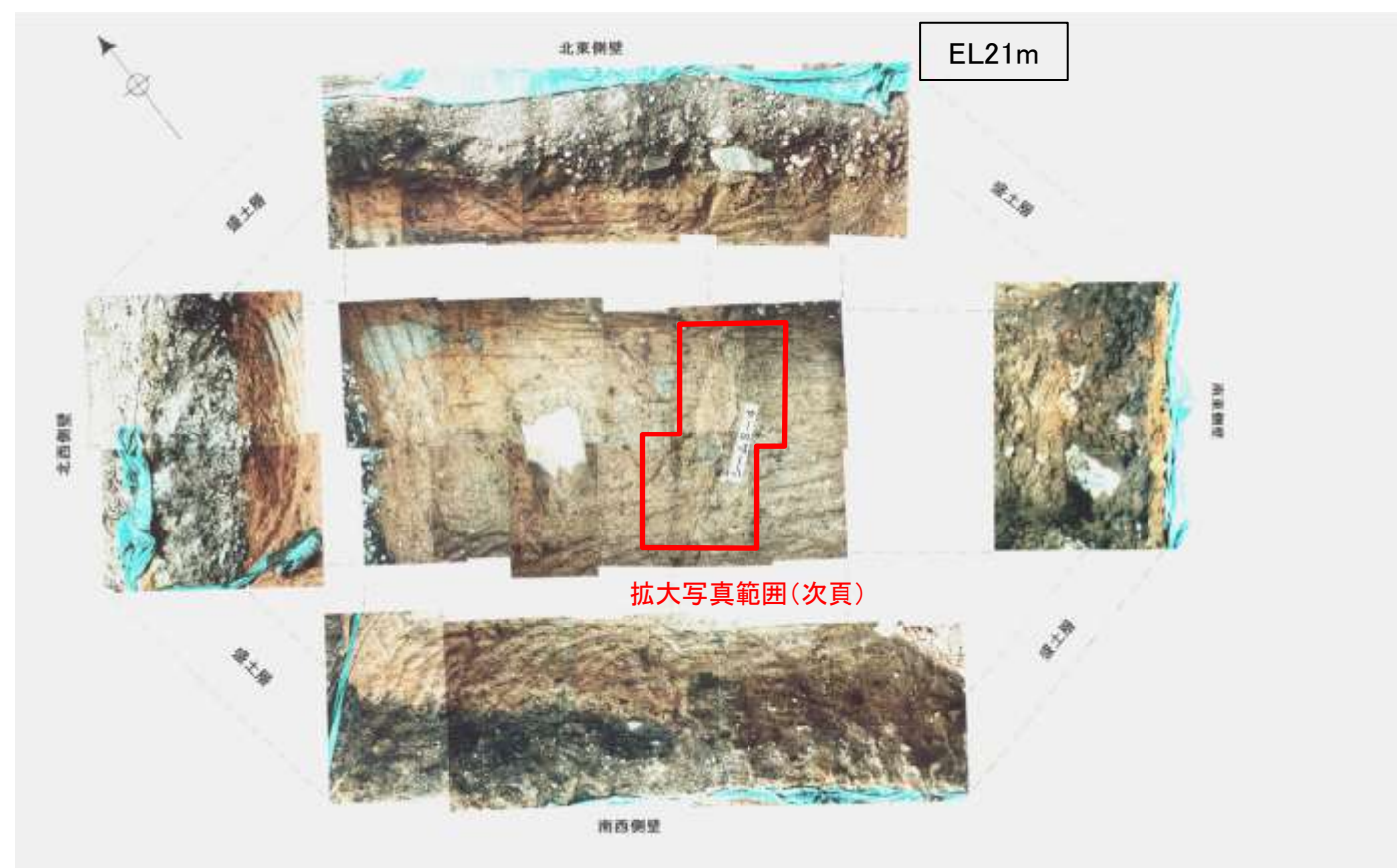
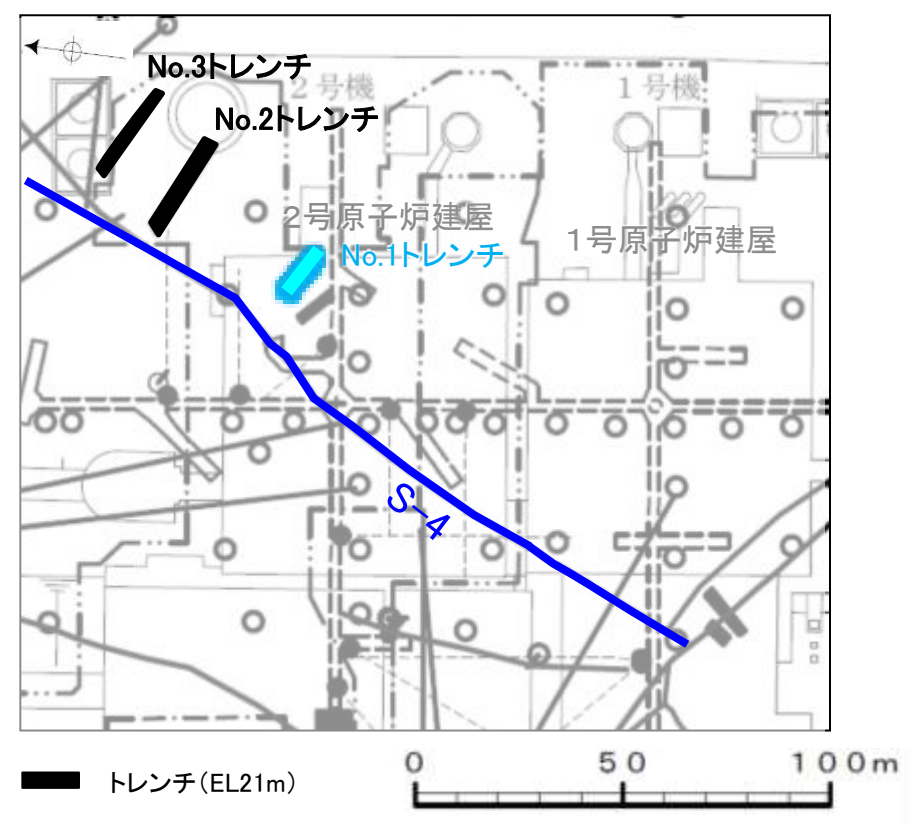


B-12.7S孔 (下は破砕部を加筆)

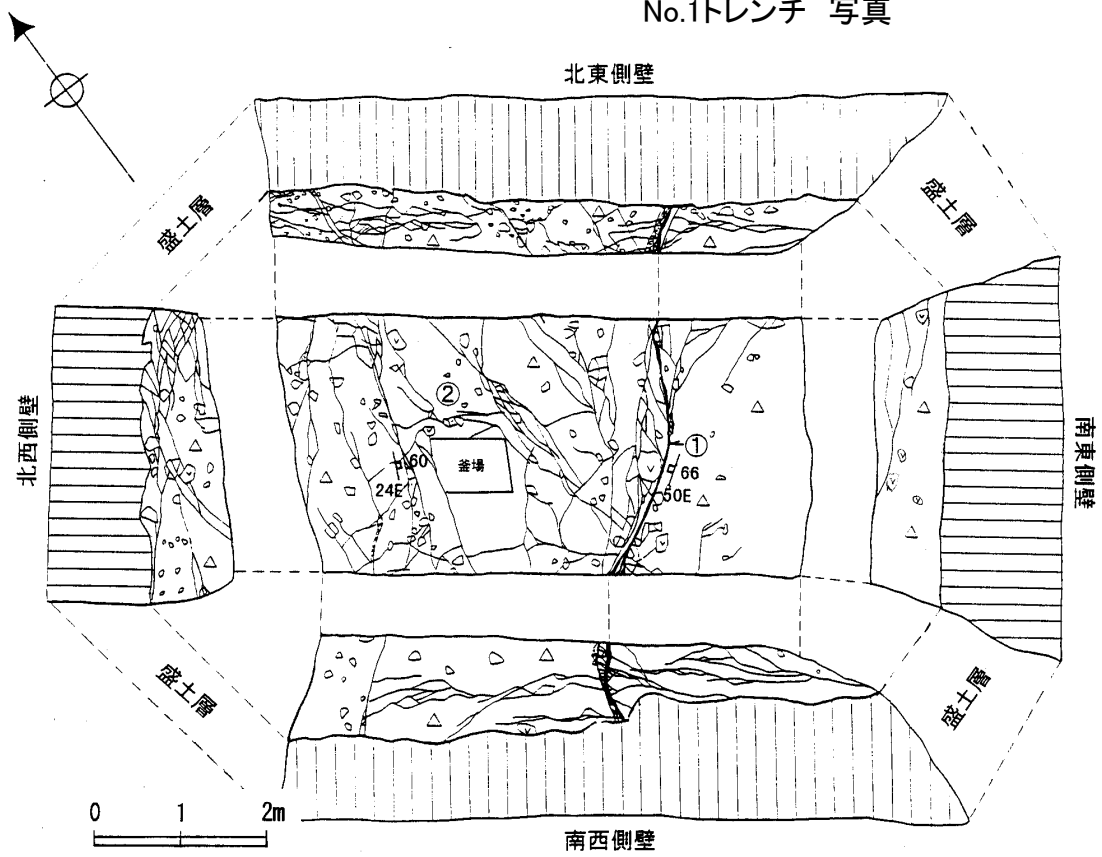
孔名及び深度 (標高)	調査結果	走向・傾斜
D-12.3孔 深度6.01m (EL28.99m)	厚さ6cmの破砕部 固結した破砕部と粘土状破砕部からなる	N61° E/36° NW
B-12.7S孔 深度73.18m (EL-28.19m)	厚さ11cmの固結した破砕部	N24° E/69° NW

# (参考1-2) 申請時までの調査結果の見直し -No.1トレンチ-

○建設時の調査であるNo.1トレンチにおいて、シームが認められた。



No.1トレンチ 写真



凡 例

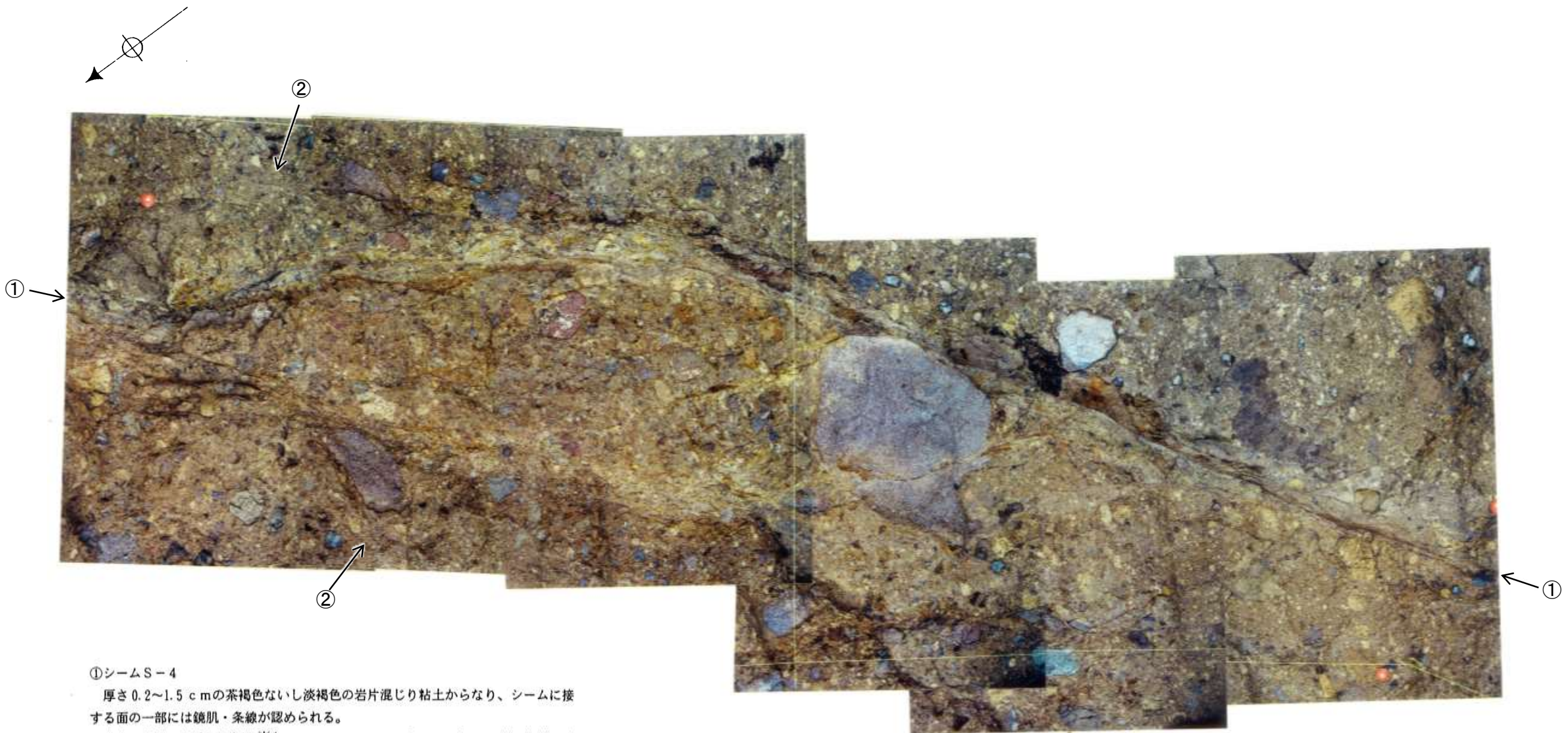
- △ 凝灰角礫岩
- 安山岩礫
- 節 理
- シーム※2
- 66 50E 走向・傾斜

※2 スケッチ時の記載用語。「粘土状破砕部」に対応する。

- ①シームS-4  
厚さ0.2~1.5cmの茶褐色ないし淡褐色の岩片混じり粘土からなり、シームに接する面の一部には鏡肌・条線が認められる。  
走向・傾斜 N50°E/66°NW。※1 ※1 N42°E/66°NW(真北補正)
- ②凝灰角礫岩  
色調は、黄褐色ないし灰褐色である。  
礫径5~10cmの黒灰色ないし緑灰色の安山岩が多く含まれ、部分的に30cmの礫が認められる。  
硬質礫の分布は少なく、シームに平行ないし斜交する節理が認められ、やや軟質である。シームに接する節理には薄く粘土が挟在する。

No.1トレンチ スケッチ

### 【S-4付近拡大写真(No.1トレンチ)】



- ①シームS-4  
厚さ0.2~1.5 cmの茶褐色ないし淡褐色の岩片混じり粘土からなり、シームに接する面の一部には鏡肌・条線が認められる。  
走向・傾斜 N50°E/66°NW。※1 ※1 N42° E/66° NW(真北補正)
- ②凝灰角礫岩  
色調は、黄褐色ないし灰褐色である。  
礫径5~10 cmの黒灰色ないし緑灰色の安山岩が多く含まれ、部分的に30 cmの礫が認められる。  
硬質礫の分布は少なく、シームに平行ないし斜交する節理が認められ、やや軟質である。シームに接する節理には薄く粘土が挟在する。

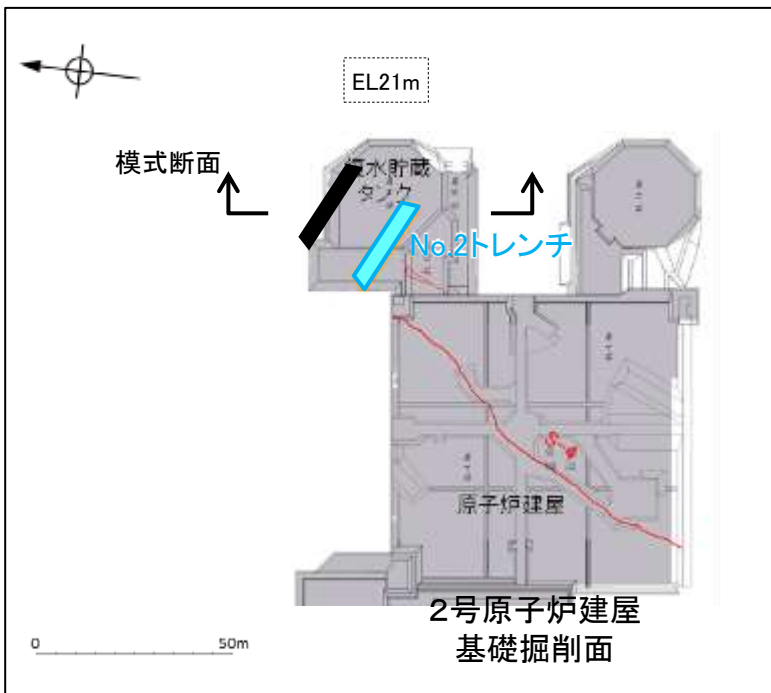
No.1トレンチ底盤 拡大写真



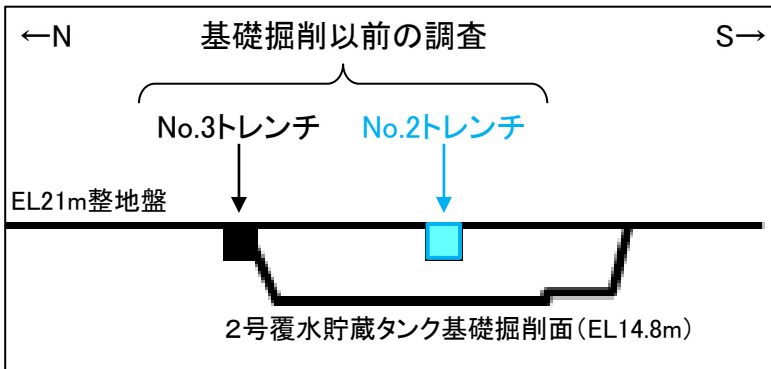
• 粘土状破碎部に沿って固結した角礫状破碎部が認められ、破碎部の幅は1~8cmである。

# (参考1-2) 申請時までの調査結果の見直し -No.2トレンチ-

○建設時の調査であるNo.2トレンチの写真及びスケッチでは、シームは認められないものの、固結した破碎部の有無については判断できない。



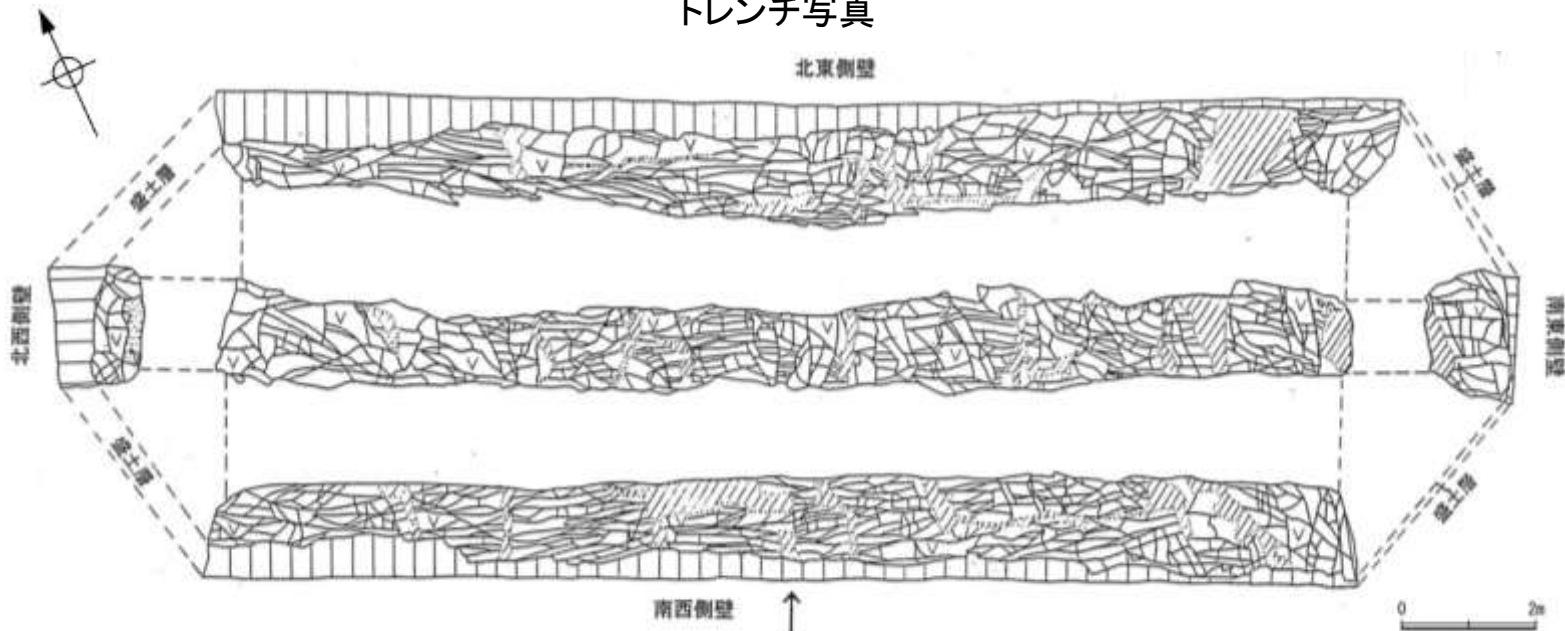
位置図



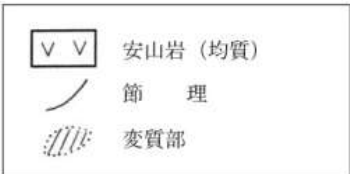
模式断面図



トレンチ写真



凡例

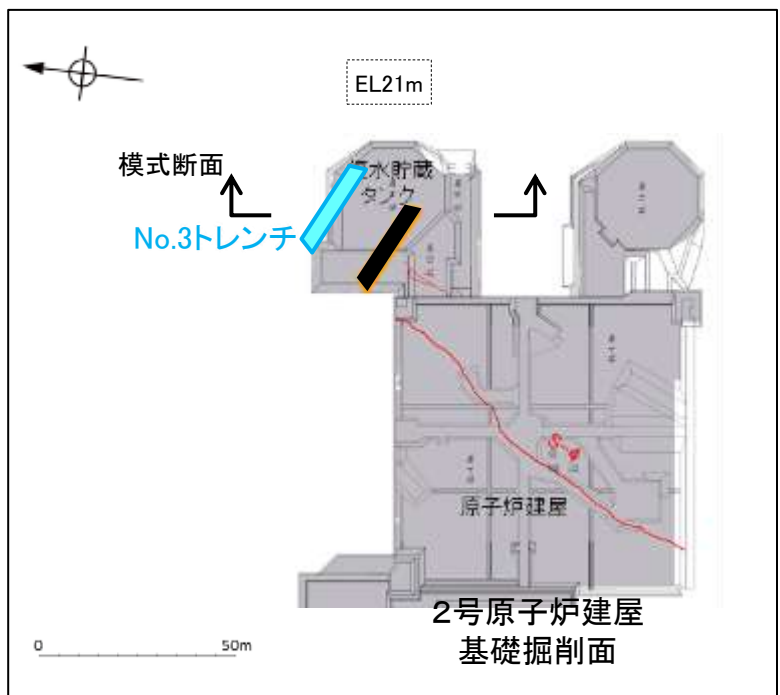


(建設当時の記載)  
安山岩 (均質)  
暗灰色ないし黒褐色を呈する。  
節理が発達し、節理間隔は5～10cm程度である。  
全体に硬質であるが、しばしば節理に沿って網目状に変質を受けた変質部が厚さ数cm～20cmで不規則に分布する。これらは特定の方向性を有しない。

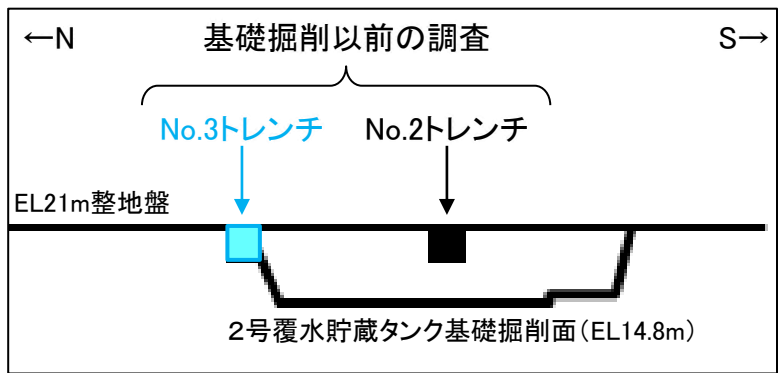
スケッチ展開図

# (参考1-2) 申請時までの調査結果の見直し -No.3トレンチ-

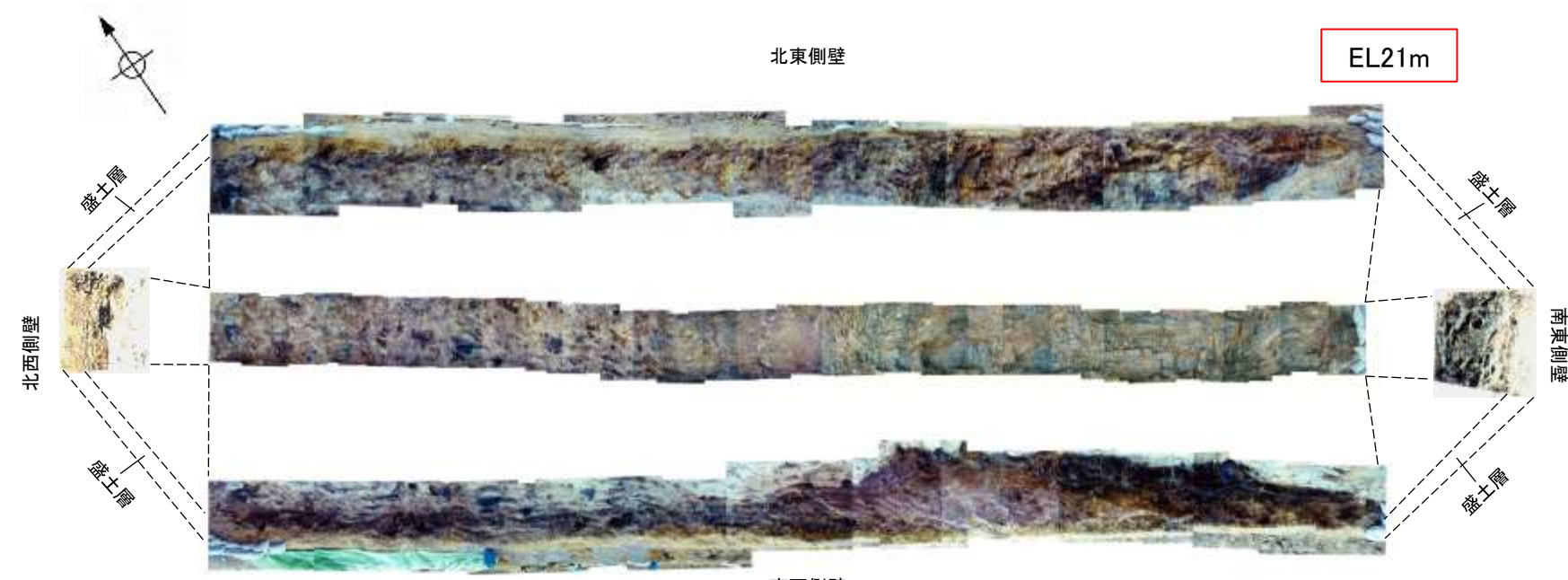
○建設時の調査であるNo.3トレンチの写真及びスケッチでは、シームは認められないものの、固結した破碎部の有無については判断できない。



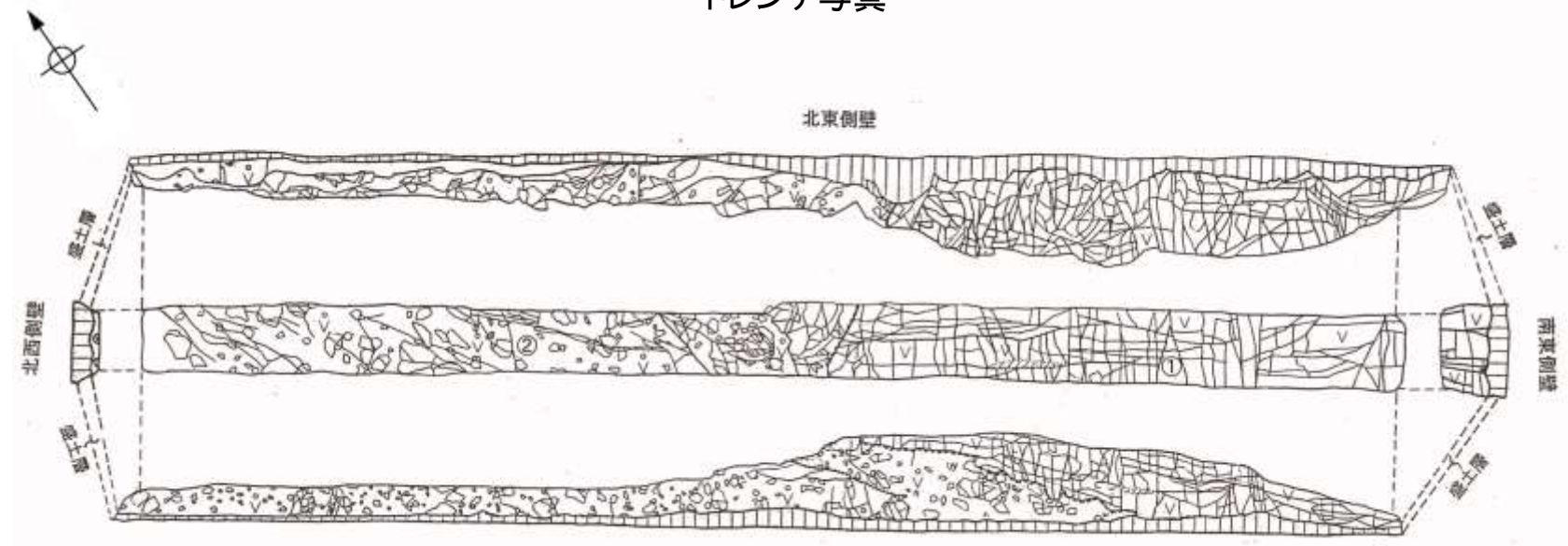
位置図



模式断面図



トレンチ写真

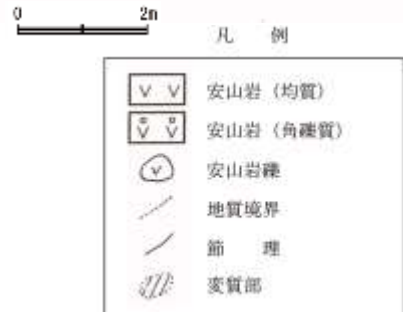


S-4想定延長位置

(建設当時の記載)

①安山岩(均質)  
暗灰色ないし黒褐色を呈する。  
節理が発達し、節理間隔は10~20cm程度である。  
全体に硬質であるが、節理に沿って網目状に変質を受けた変質部が一部に認められる。変質部は不規則に分布し、特定の方向性を有しない。

②安山岩(角礫質)  
赤褐色ないし暗赤紫色を呈する。  
黒灰色や暗赤褐色の安山岩角礫を含む。礫径は10~20cm程度であるが、安山岩(均質)との境界付近においては礫径が大きくなる傾向がある。また、安山岩(均質)とは明瞭な境界を持たず漸移する。



スケッチ展開図

# (参考2-1) S-4北東部への連続性及び北東端の確認 — 連続性の追加調査 —

○北東延伸区間の破砕部が、申請時区間から連続するものであることを検証するため、第597回審査会合(2018年7月)以降、北東延伸区間においてボーリング11孔及び表土はぎ2箇所、申請時区間においてボーリング7孔を追加で実施した。

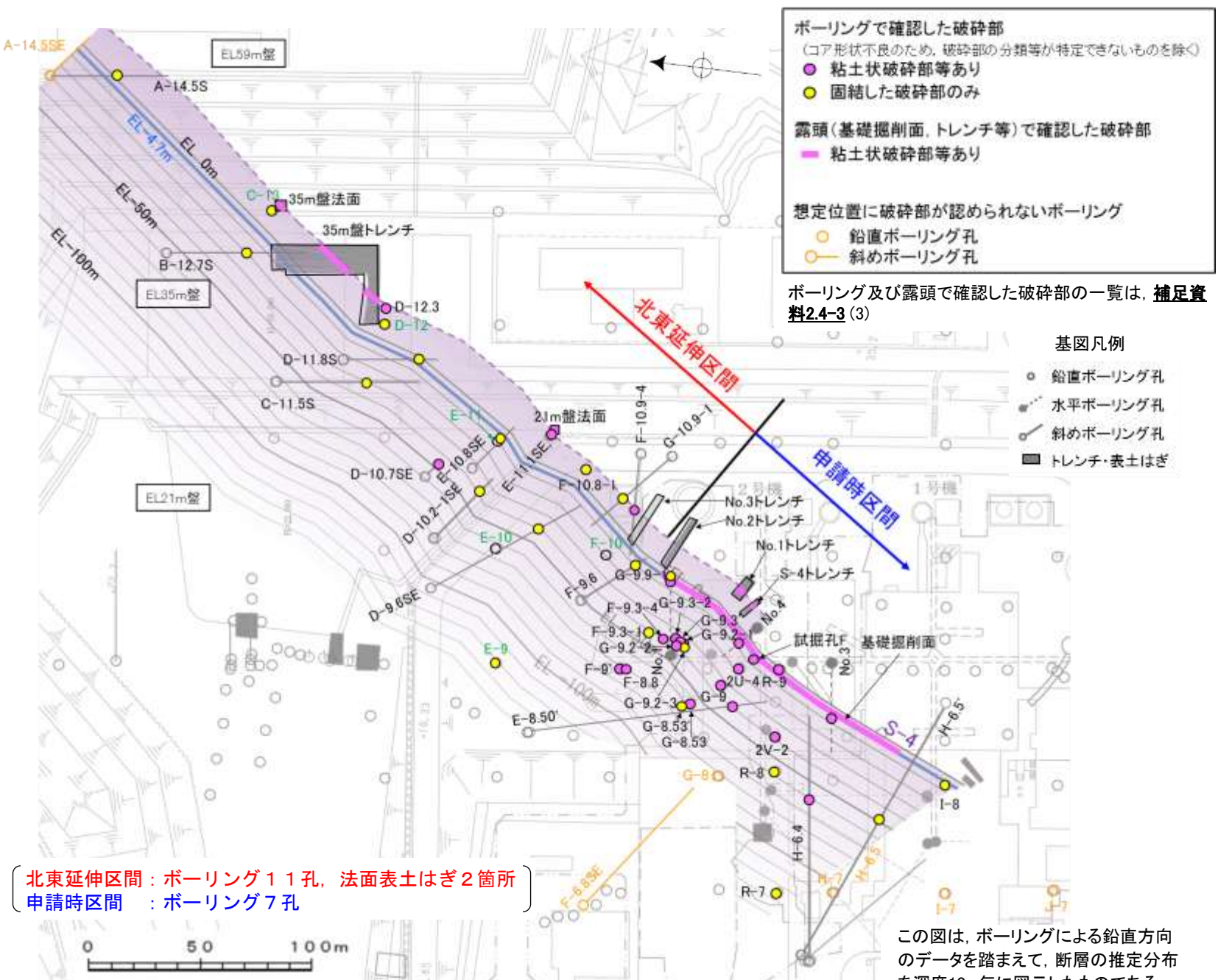
○追加データを含めたS-4の連続性に関する調査結果を以下に示す。

(1)破砕部の性状については、北東延伸区間、申請時区間ともに、固結した破砕部のみからなる破砕部と粘土状破砕部等※が認められる破砕部の両方が分布するといった共通の特徴があり(図1)、北東延伸区間と申請時区間で走向・傾斜も類似している(図2)。

(2)北東延伸区間と申請時区間の破砕部の分布は、水平方向・深部方向に直線的に連続している(次頁図3, 4)。

○以上より、北東延伸区間は、申請時区間のS-4から連続するものである。

※「粘土状破砕部等」には、粘土状破砕部のほか、砂状破砕部、角礫状破砕部を含む。



北東延伸区間：ボーリング11孔、法面表土はぎ2箇所  
申請時区間：ボーリング7孔

この図は、ボーリングによる鉛直方向のデータを踏まえて、断層の推定分布を深度10m毎に図示したものである。

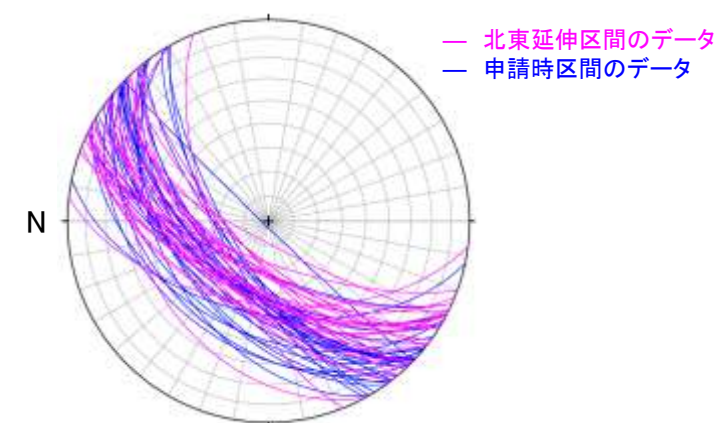


図2 S-4の走向・傾斜 (下半球等積投影図)

	北東延伸区間	申請時区間
走向	概ね北東-南西走向 (N7° ~ 60° E)	概ね北東-南西走向 (N12° ~ 61° E)
傾斜	北西傾斜 (36° ~ 82° NW)	北西傾斜 (38° ~ 88° NW)
破砕部の幅*1	7cm (20cm)	9cm (20cm)
粘土状破砕部の幅*2	1cm (3cm)	2cm (10cm)
破砕部の分類	固結した破砕部 (粘土状破砕部等を介在)	固結した破砕部 (粘土状破砕部等を介在)

\*1:破砕部全体の平均値(下段括弧内は最大値)。詳細は、補足資料2.4-1 P.2.4-1-26~35。  
\*2:粘土状破砕部の幅の平均値(下段括弧内は最大値)

図1 破砕部の分布図(「粘土状破砕部等あり」と「固結した破砕部のみ」を区分)

## 【水平方向・鉛直方向の分布】

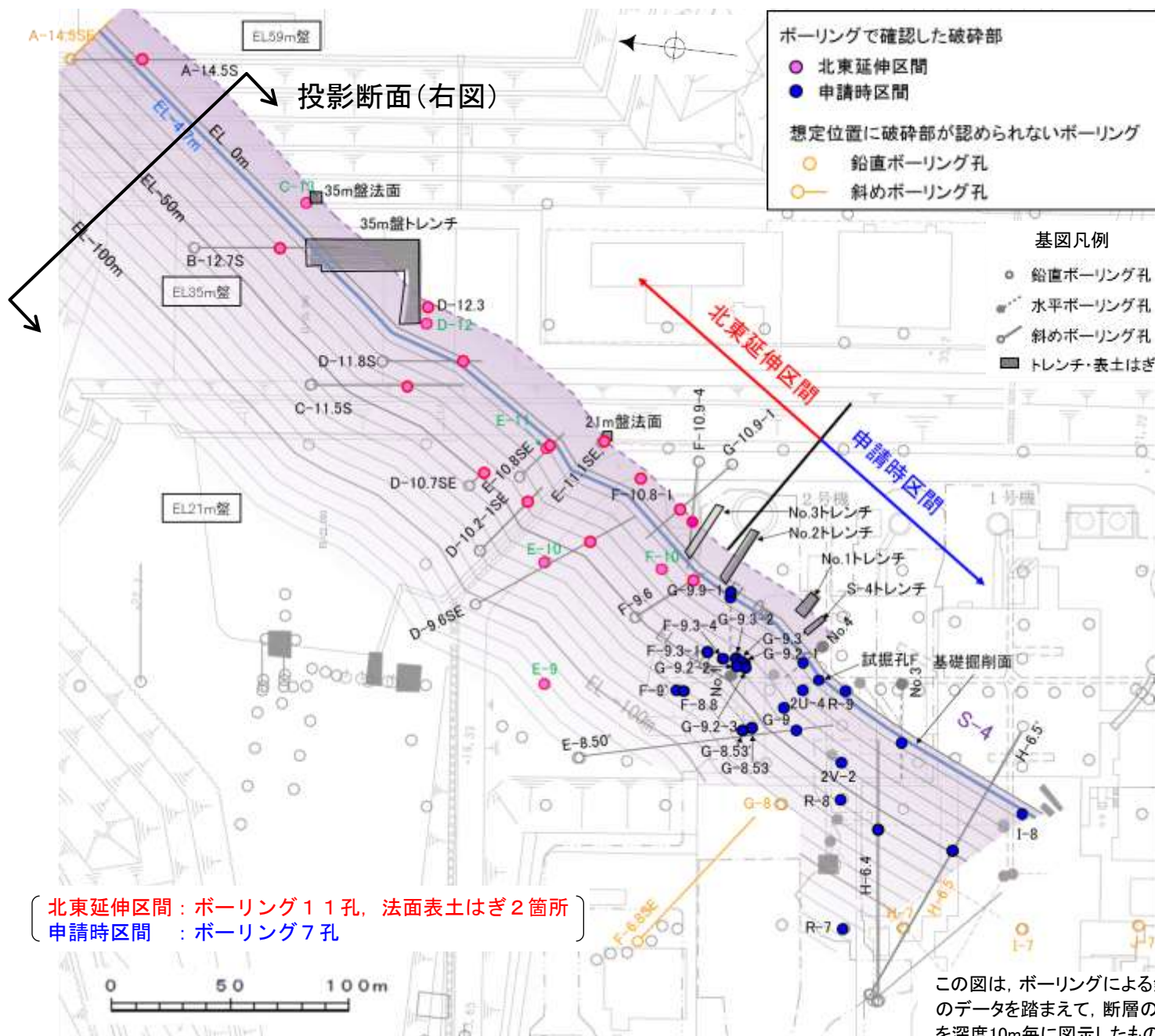


図3 破砕部の分布図(「北東延伸区間」と「申請時区間」を区分)

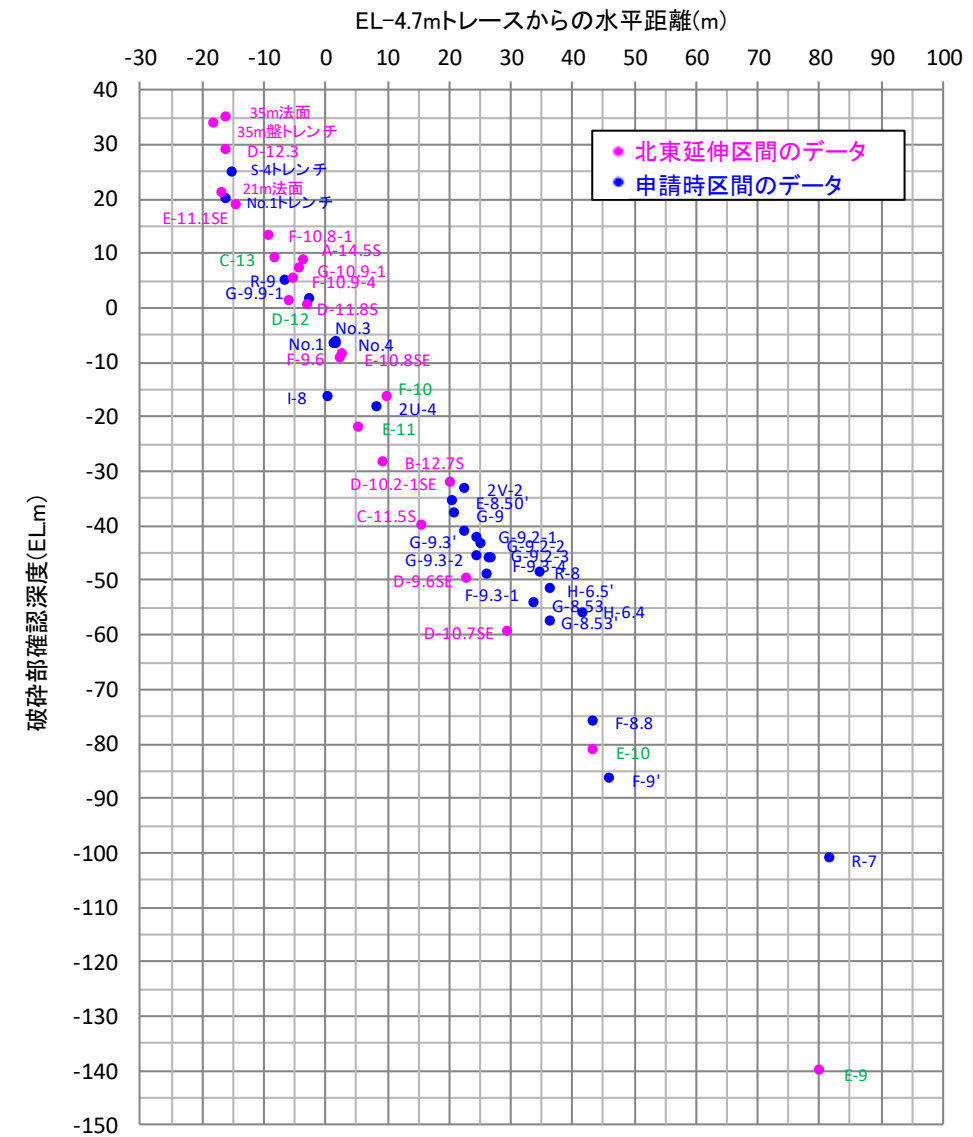
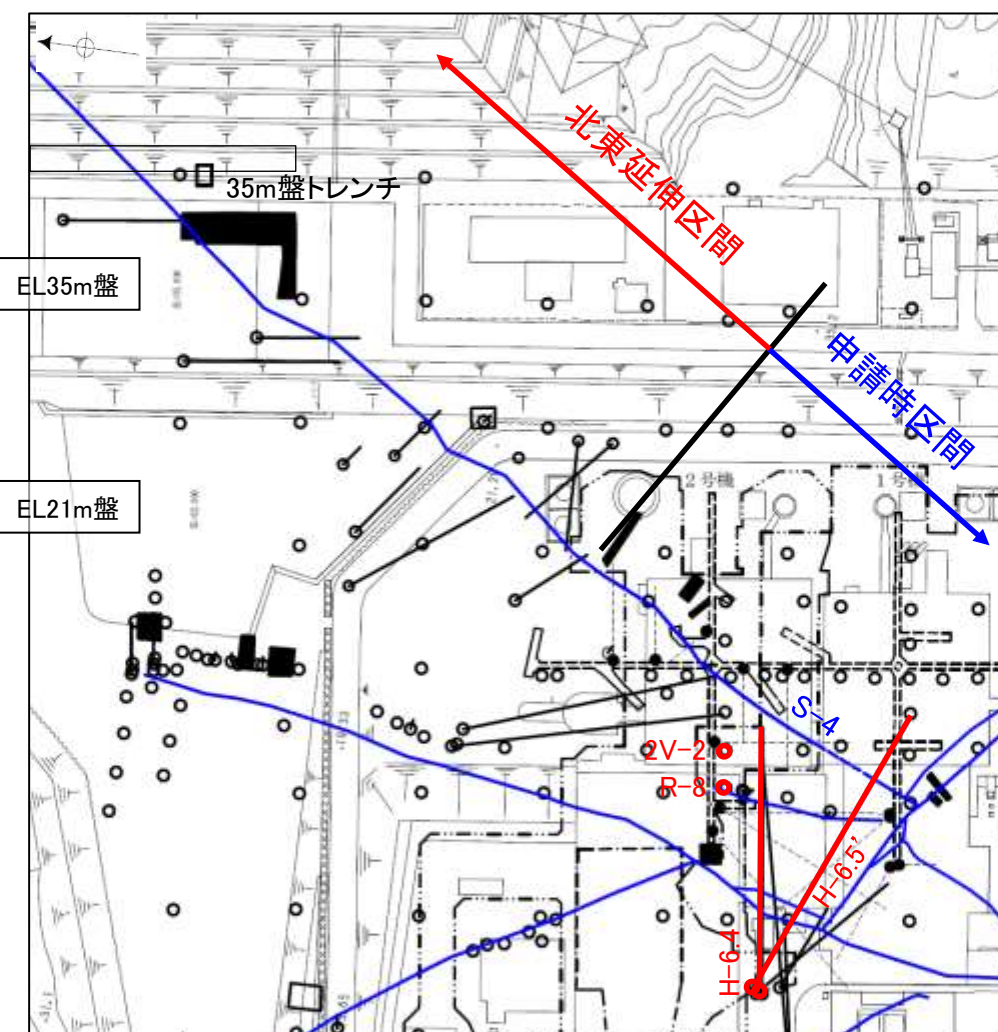


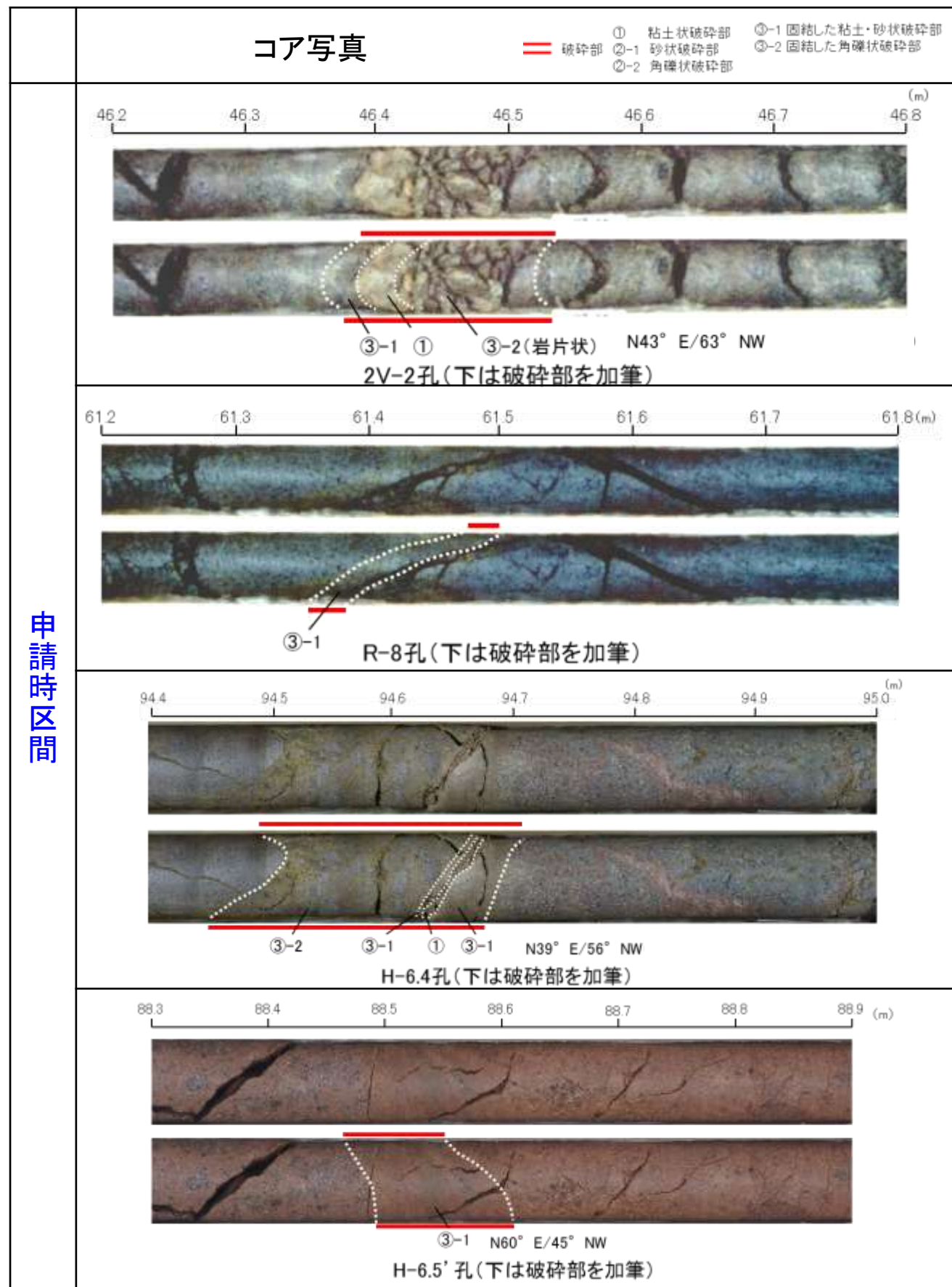
図4 投影断面図

建設時のグリッドボーリング(孔名を緑文字で示したもの)については、S-4の想定延長位置に、固結した破砕部ないコア採取不良区間を確認したことから、S-4の破砕部が連続するものと判断した(P.2.3-4-34～35)。

【破碎部の性状データ(申請時区間のコア観察)】

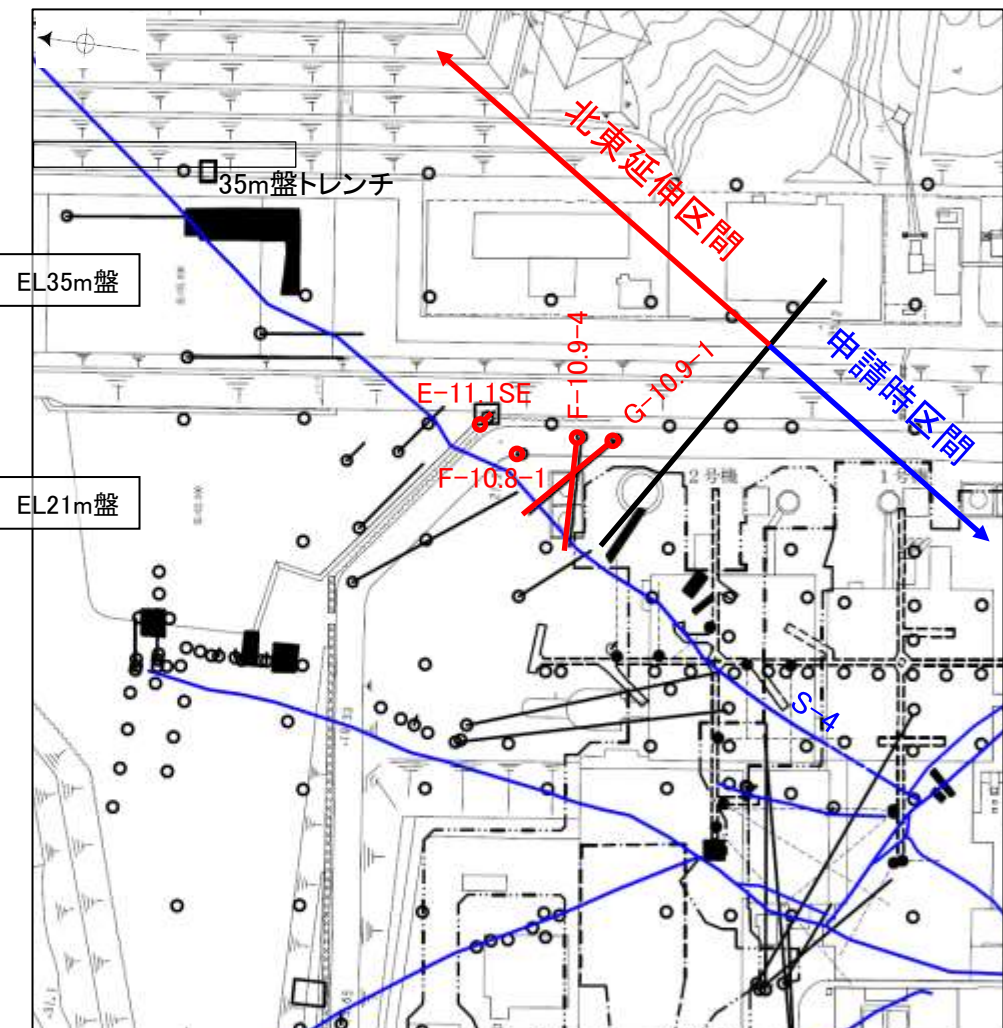


(全ての破碎部の性状データは、補足資料2.4-1 P.2.4-1-26~35)





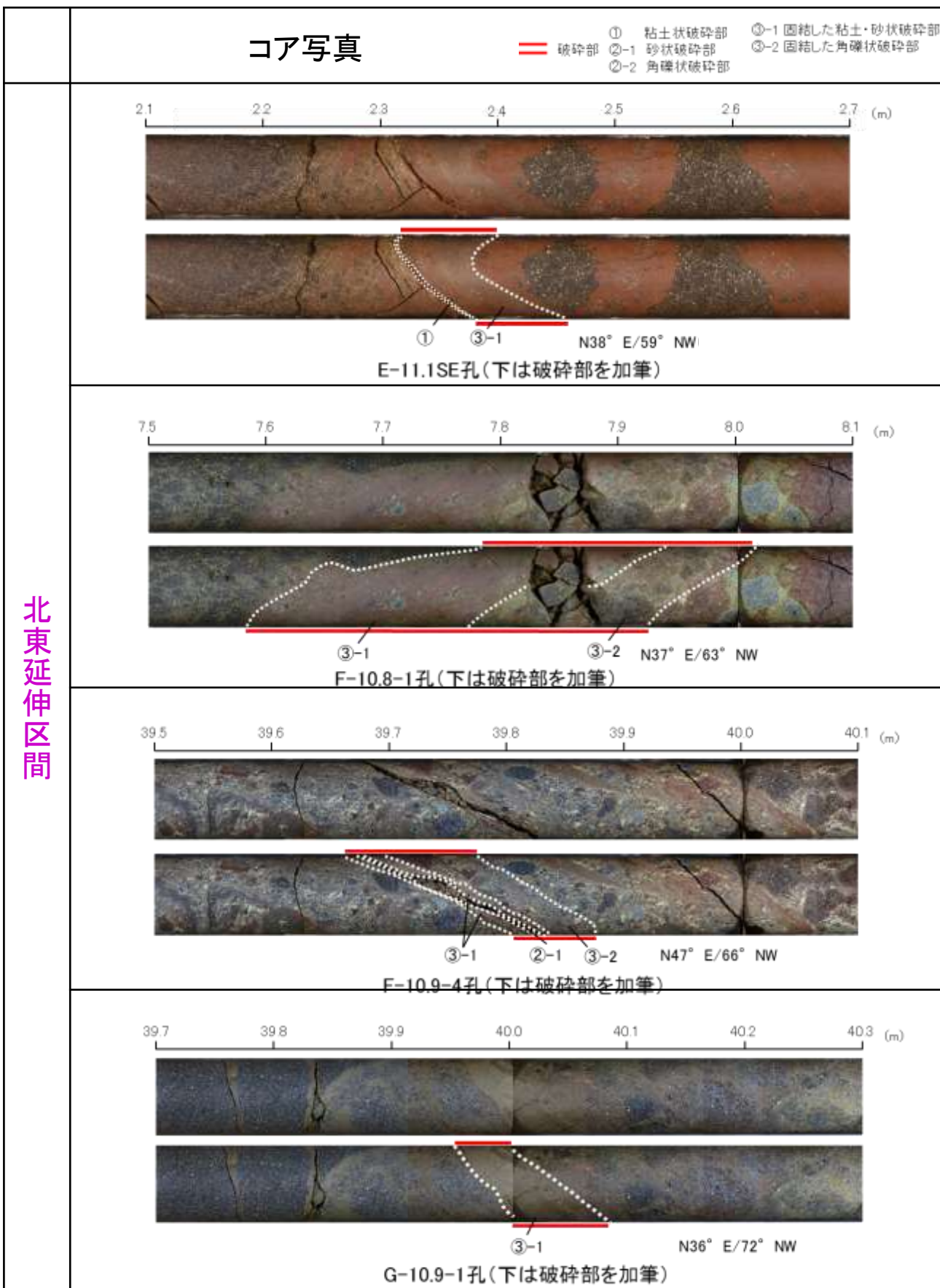
【破砕部の性状データ(北東延伸区間のコア観察1/3)】



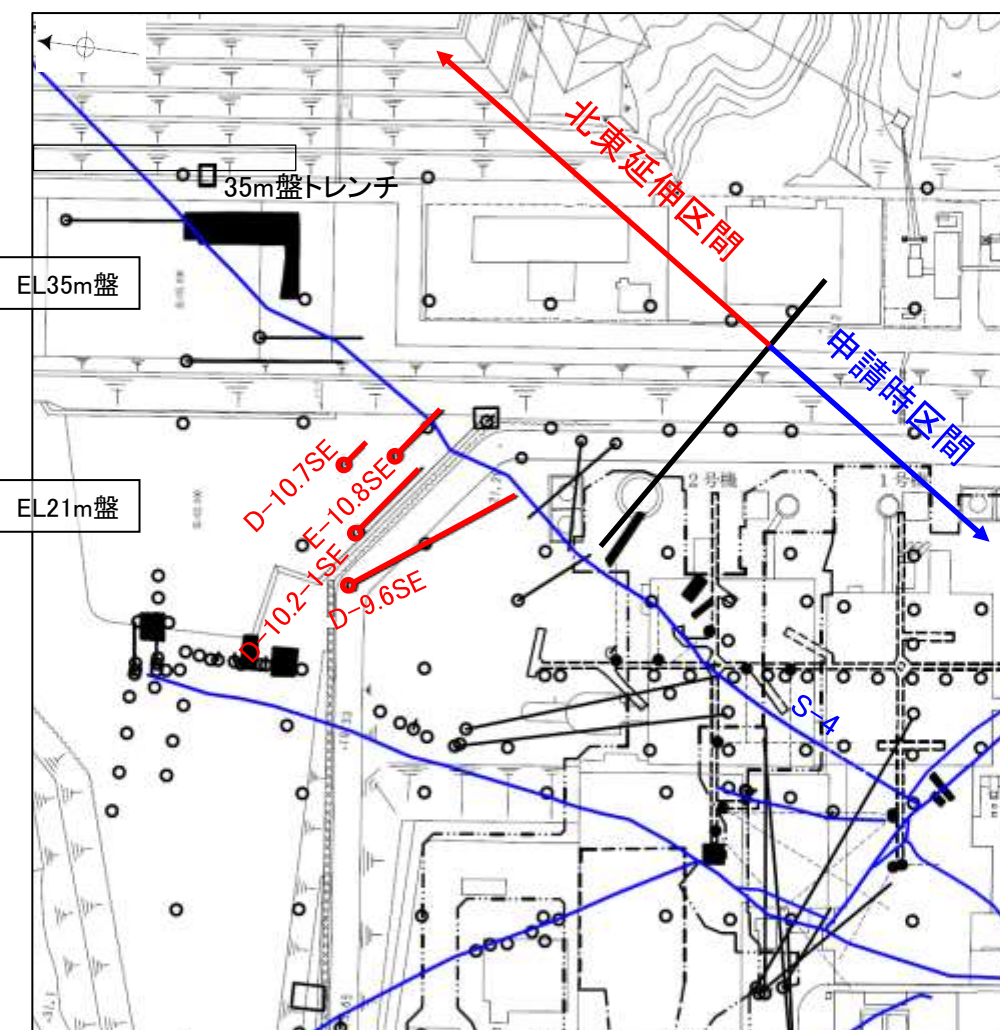
斜めボーリング孔

断層(EL-4.7m)

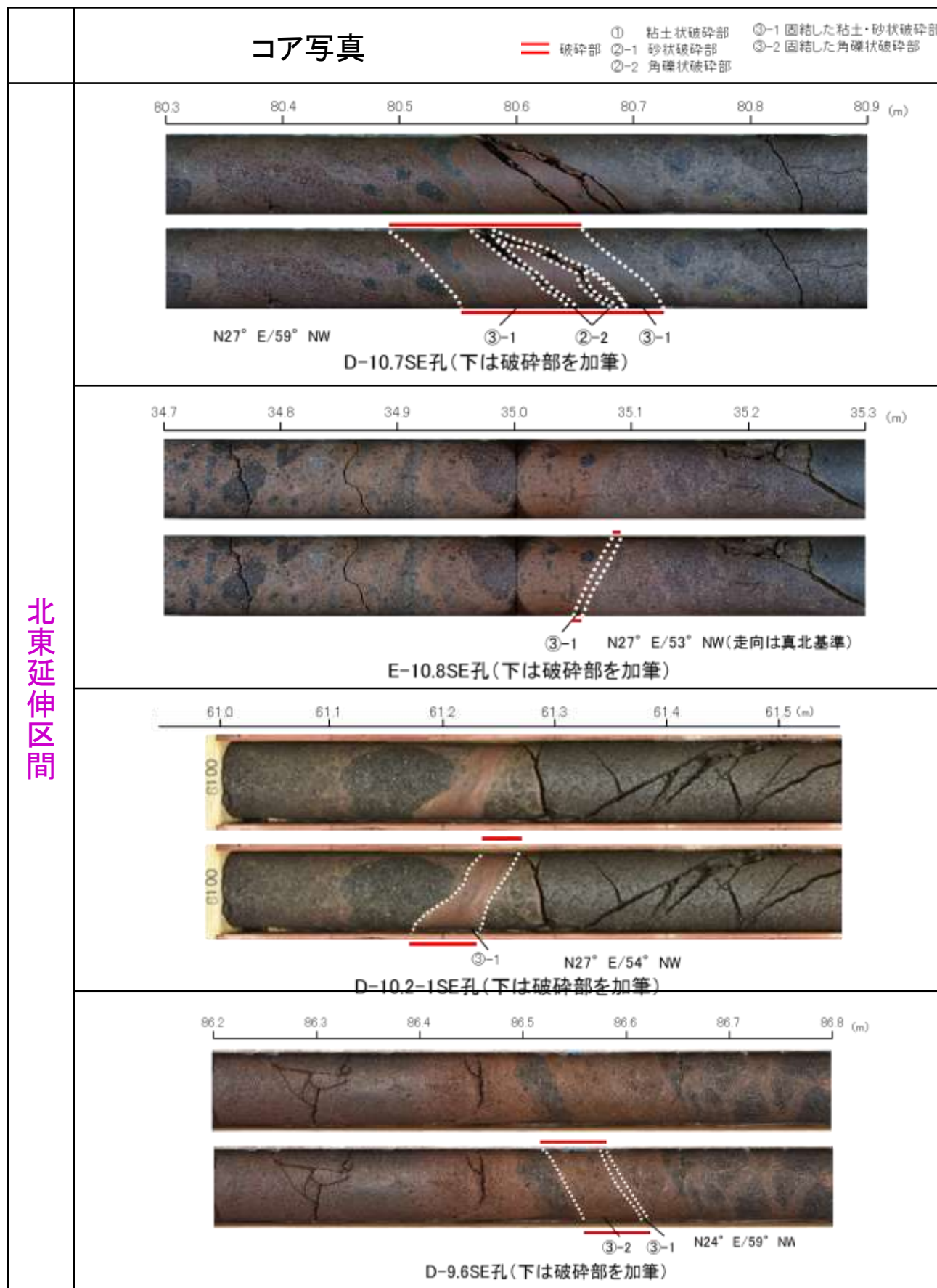
(全ての破砕部の性状データは、補足資料2.4-1 P.2.4-1-26~35)



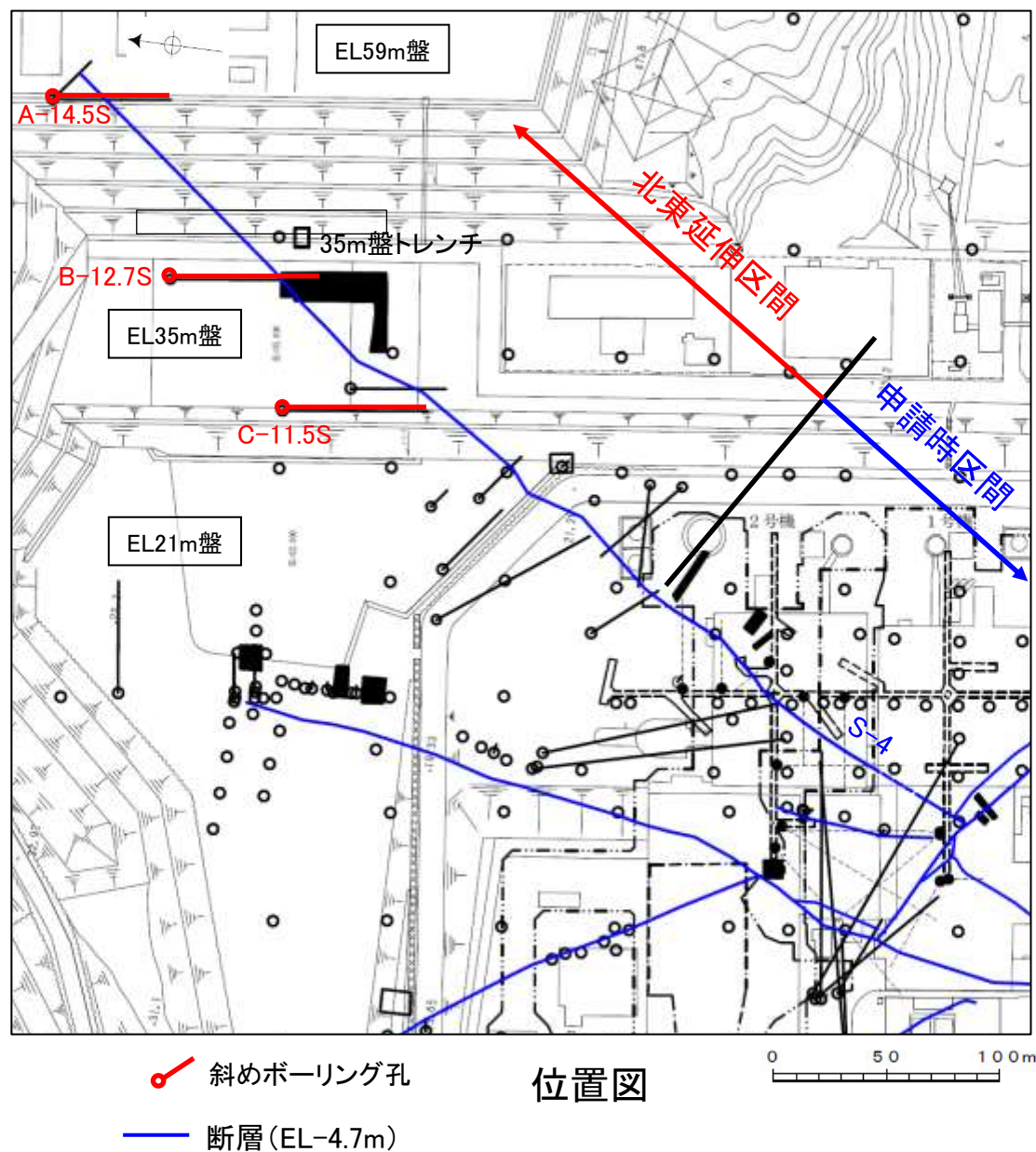
【破砕部の性状データ(北東延伸区間のコア観察2/3)】



(全ての破砕部の性状データは、補足資料2.4-1 P.2.4-1-26~35)



【破砕部の性状データ(北東延伸区間のコア観察3/3)】



(全ての破砕部の性状データは、補足資料2.4-1 P.2.4-1-26~35)

# (参考2-2)ボーリング及び露頭で確認した破砕部の一覧

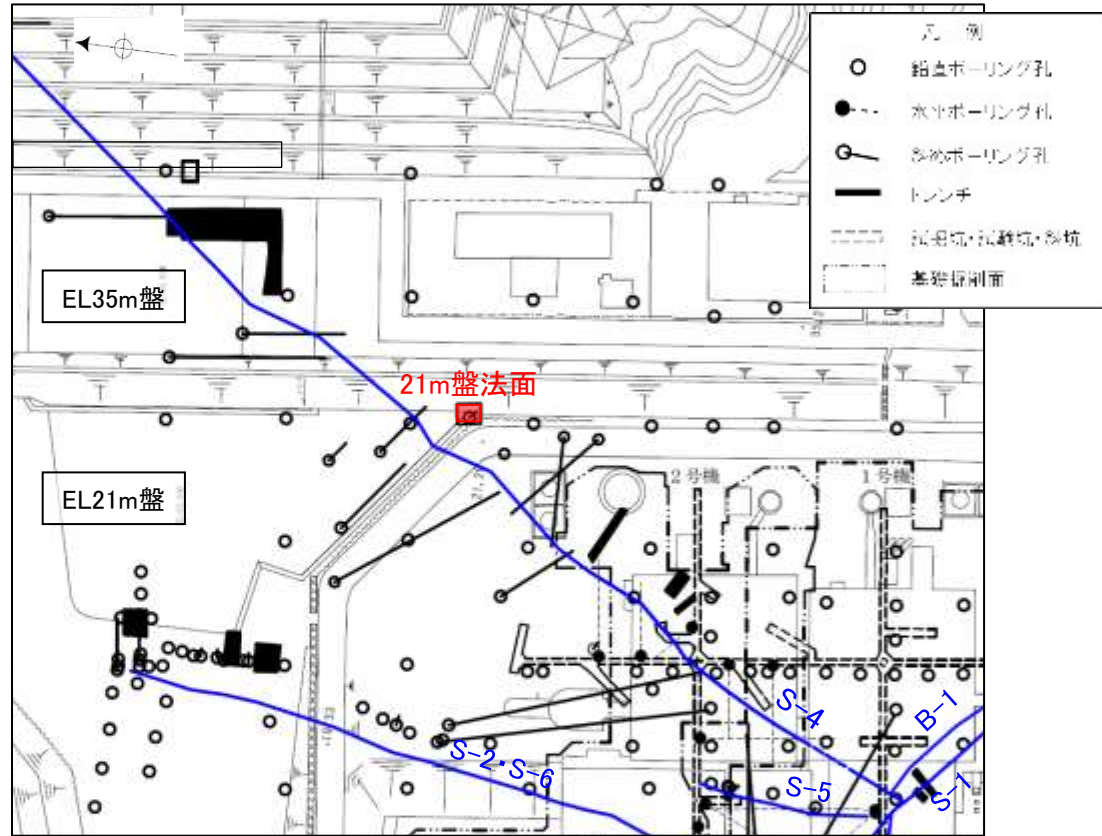
地点名	確認した破砕部	記載頁
基礎掘削面	粘土状破砕部等※あり	P.2.3-1-3
試掘坑F	粘土状破砕部等あり	P.2.3-1-8
No.1トレンチ	粘土状破砕部等あり	P.2.4-3-39
S-4トレンチ	粘土状破砕部等あり	P.5.3-4-26
No.1	粘土状破砕部等あり	P.2.4-1-31
No.3	粘土状破砕部等あり	P.2.4-1-28
No.4	粘土状破砕部等あり	P.2.4-1-30
E-8.50'	粘土状破砕部等あり	P.2.5-1-146
F-8.8	粘土状破砕部等あり	P.2.3-4-55
F-9'	粘土状破砕部等あり	P.2.4-1-30
F-9.3-1	固結した破砕部のみ	P.2.3-4-55
F-9.3-4	粘土状破砕部等あり	P.2.5-1-141
G-8.53	粘土状破砕部等あり	P.2.3-4-56
G-8.53'	固結した破砕部のみ	P.2.3-4-56
G-9	粘土状破砕部等あり	P.2.4-1-29
G-9.2-1	粘土状破砕部等あり	P.2.5-1-140
G-9.2-2	粘土状破砕部等あり	P.2.3-4-57
G-9.2-3	固結した破砕部のみ	P.2.3-4-57
G-9.3'	粘土状破砕部等あり	P.2.5-1-155
G-9.3-2	粘土状破砕部等あり	P.2.5-1-144~145
G-9.9-1	固結した破砕部のみ	P.2.3-4-58
H-6.4	粘土状破砕部等あり	P.2.4-1-28
H-6.5'	固結した破砕部のみ	P.2.4-1-33
I-8	固結した破砕部のみ	P.2.4-1-27
R-7	固結した破砕部のみ	P.2.4-1-27
R-8	固結した破砕部のみ	P.2.4-1-28
R-9	粘土状破砕部等あり	P.2.4-1-29
2U-4	粘土状破砕部等あり	P.2.4-1-29
2V-2	粘土状破砕部等あり	P.2.4-1-28

地点名	確認した破砕部	記載頁
21m盤法面	粘土状破砕部等あり	P.2.3-4-50
35m盤トレンチ	粘土状破砕部等あり	P.2.3-4-51~52 P.5.3-4-2~7
35m盤法面	粘土状破砕部等あり	P.2.3-4-53
A-14.5S	固結した破砕部のみ	P.2.4-1-35
B-12.7S	固結した破砕部のみ	P.2.4-1-34
C-13	固結した破砕部のみ	P.2.4-1-33
C-11.5S	固結した破砕部のみ	P.2.4-1-31
D-11.8S	固結した破砕部のみ	P.2.4-1-31
D-12	固結した破砕部のみ	P.2.4-1-32
D-12.3	粘土状破砕部等あり	P.2.5-1-149
D-9.6SE	固結した破砕部のみ	P.2.4-1-34
D-10.2-1SE	固結した破砕部のみ	P.2.4-1-31
D-10.7SE	粘土状破砕部等あり	P.2.4-1-34
E-9	固結した破砕部のみ	P.2.4-1-32
E-10.8SE	固結した破砕部のみ	P.2.4-1-34
E-11.1SE	粘土状破砕部等あり	P.2.5-1-150~151
F-9.6	固結した破砕部のみ	P.2.4-1-31
F-10.8-1	固結した破砕部のみ	P.2.4-1-34
F-10.9-4	粘土状破砕部等あり	P.2.4-1-33
G-10.9-1	固結した破砕部のみ	P.2.4-1-33

北東延伸区間

※「粘土状破砕部等」には、粘土状破砕部のほか、砂状破砕部、角礫状破砕部を含む。

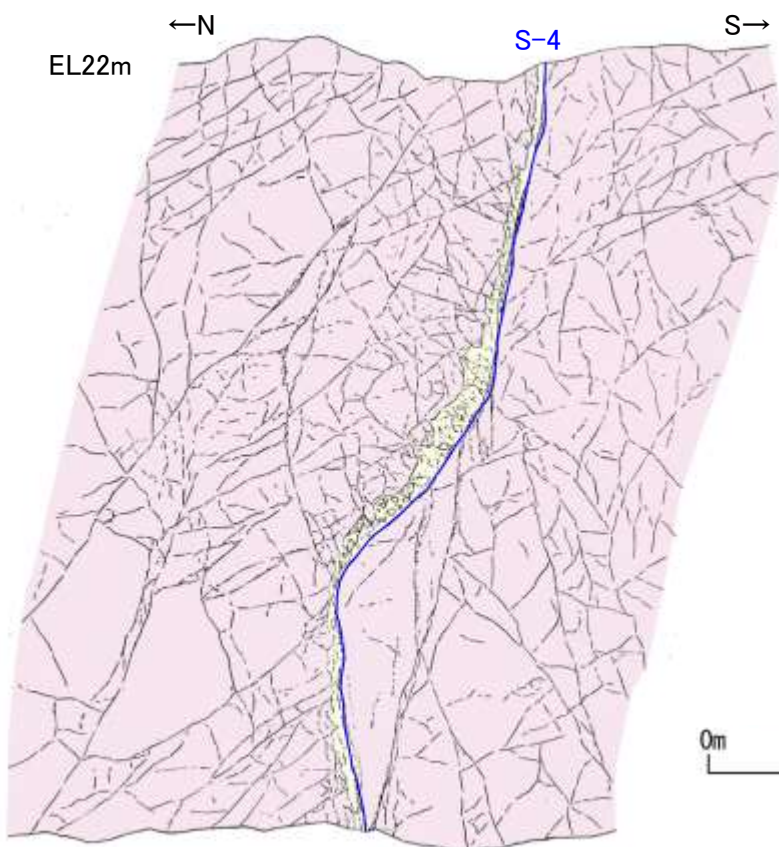
# (参考2-3①) 21m盤法面表土はぎ



位置図



21m盤法面 写真



21m盤法面 スケッチ

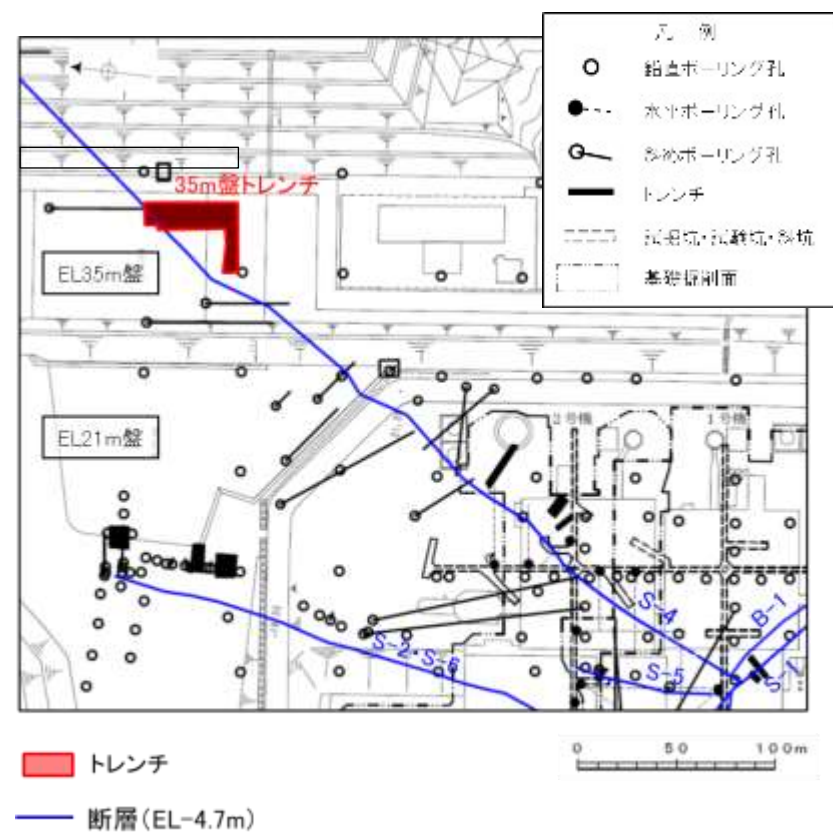
【S-4】  
 走向傾斜N42~60° E/68~76° NWを示し、比較的平滑な主せん断面が認められる。主せん断面は法面の中で北西側に膨らむように湾曲し、主せん断面と10~30°斜交する副次的な割れ目を伴う。  
 厚さ1~10mmの灰~褐灰色の粘土が主せん断面に沿って分布する。上盤側には固結した破碎部が厚さ5~10cmで分布する。固結した破碎部は砂状であり、径2cm以下の角~垂角礫が混じる。

【21m盤法面によるS-4破碎部の性状】

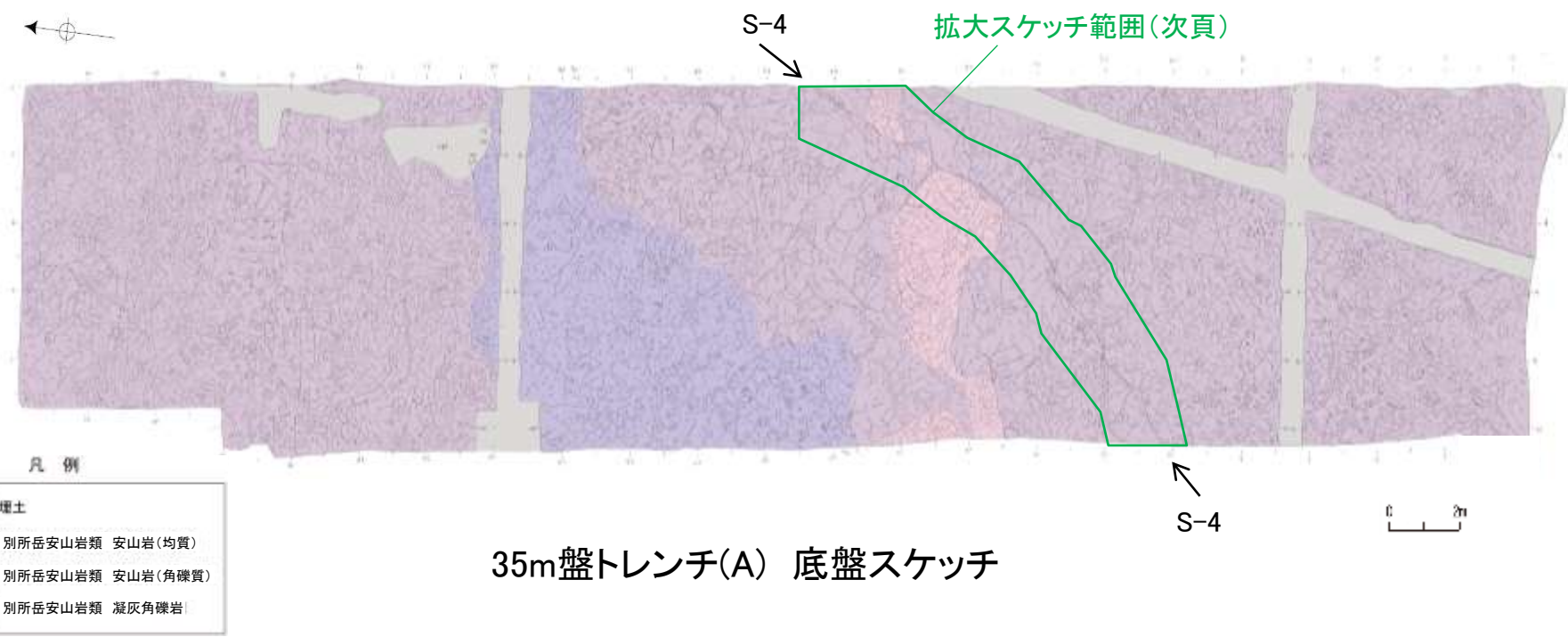
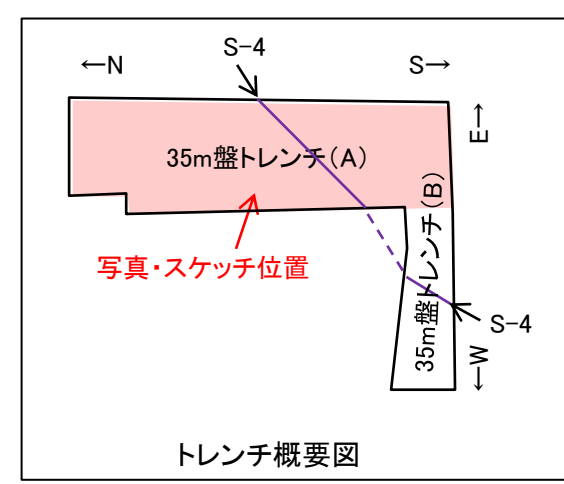
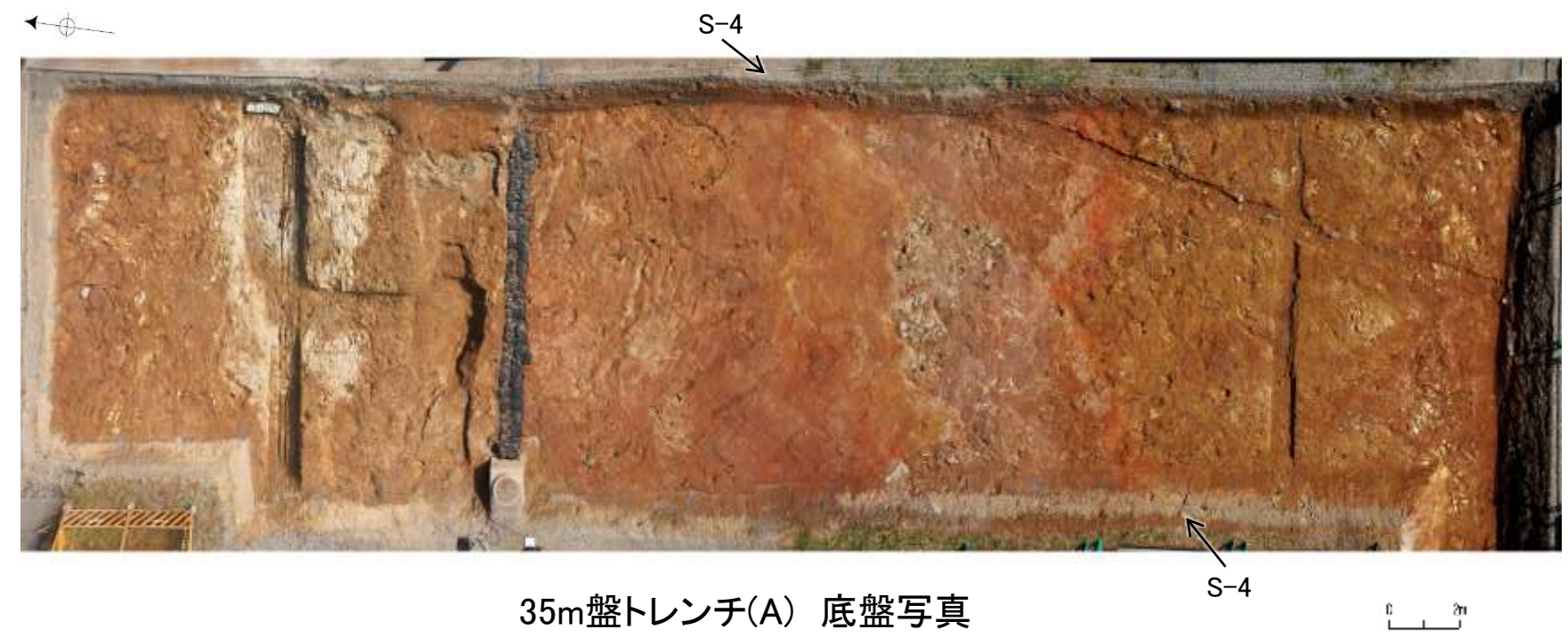
走向	概ね北東-南西走向(N42° ~60° E)
傾斜	北西傾斜(68° ~76° NW)
破碎部の幅	5~10cm

(走向は真北基準)

# (参考2-3②) 35m盤トレンチ



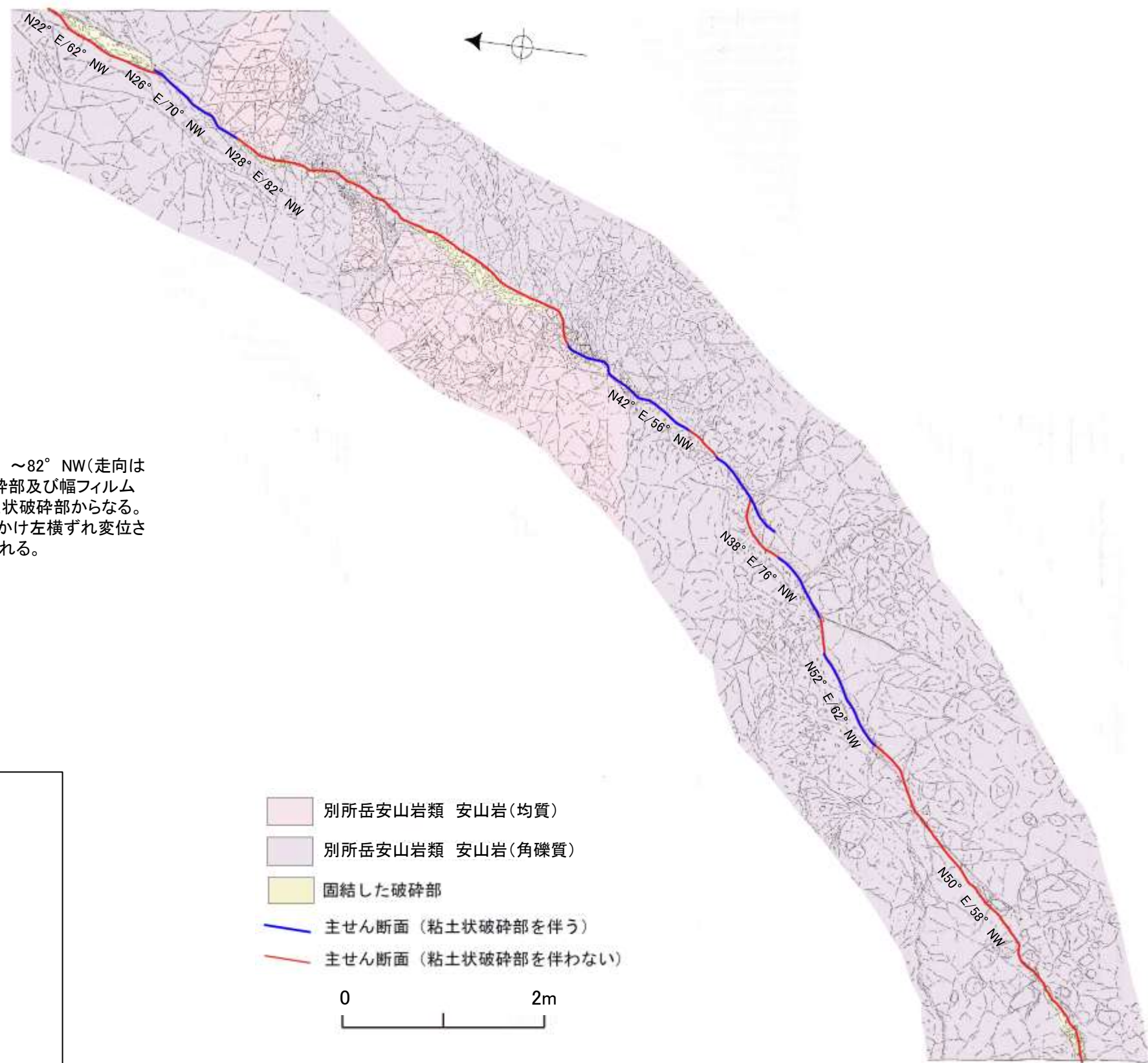
位置図



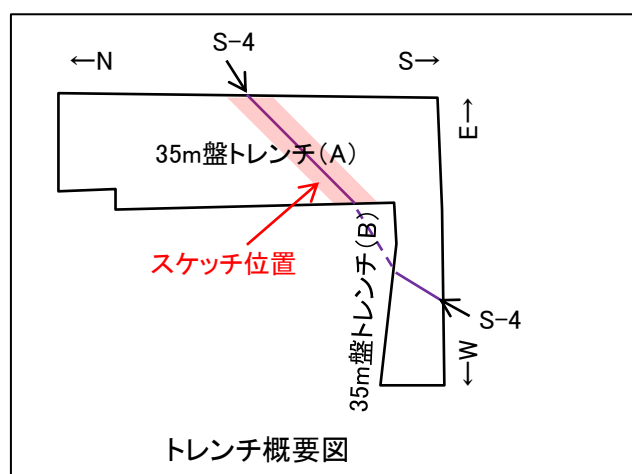
【35m盤トレンチによるS-4破碎部の性状】

走向	概ね北東-南西走向(N22° ~ 52° E)
傾斜	北西傾斜(56° ~ 82° NW)
破碎部の幅	2~15cm

(走向は真北基準)

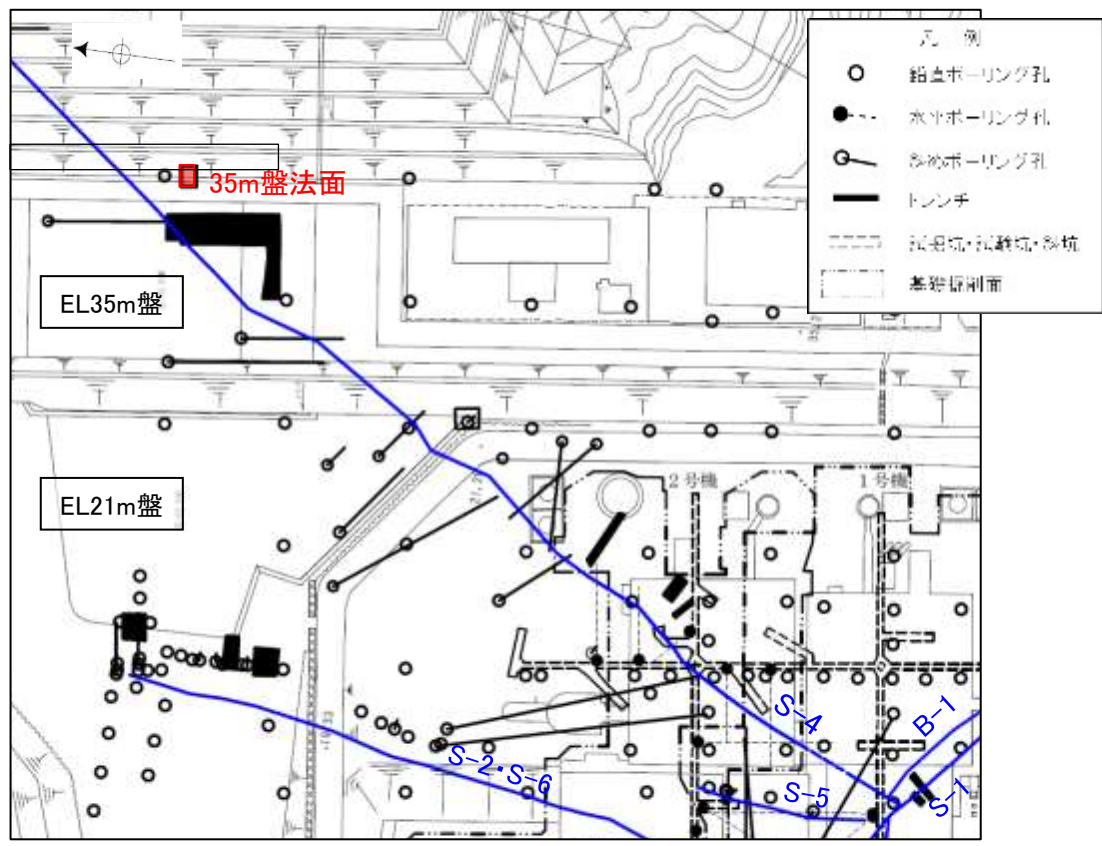


【S-4】  
S-4は、走向・傾斜N22° E～N52° E/56° ～82° NW(走向は真北基準)で、幅2～15cmの固結した破碎部及び幅フィルム状～0.5cmの灰褐～明褐色を呈する粘土状破碎部からなる。底盤において、S-4は安山岩(均質)を見かけ左横ずれ変位させており、主せん断面には条線が認められる。



S-4付近詳細スケッチ

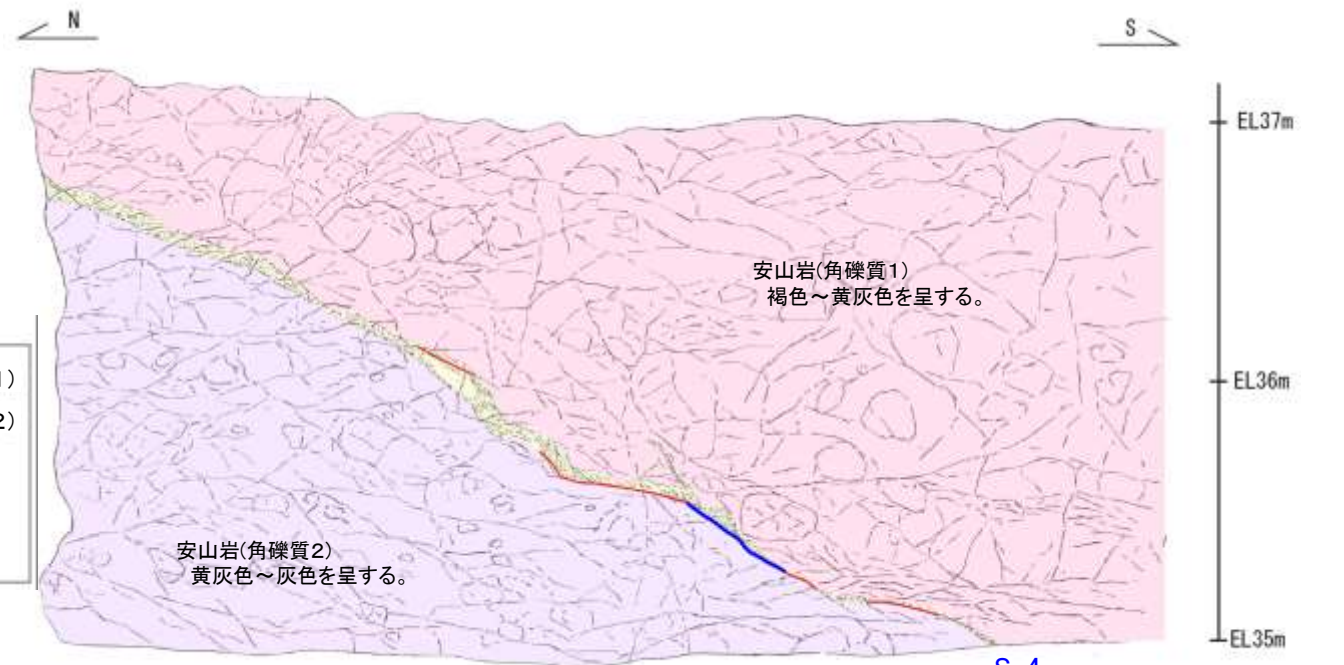
# (参考2-3③) 35m盤法面表土はぎ



位置図



35m盤法面 写真



35m盤法面 スケッチ

【35m盤法面によるS-4破碎部の性状】

走向	概ね北東-南西走向(N24° ~38° E)
傾斜	北西傾斜(70° ~76° NW)
破碎部の幅	1~15cm

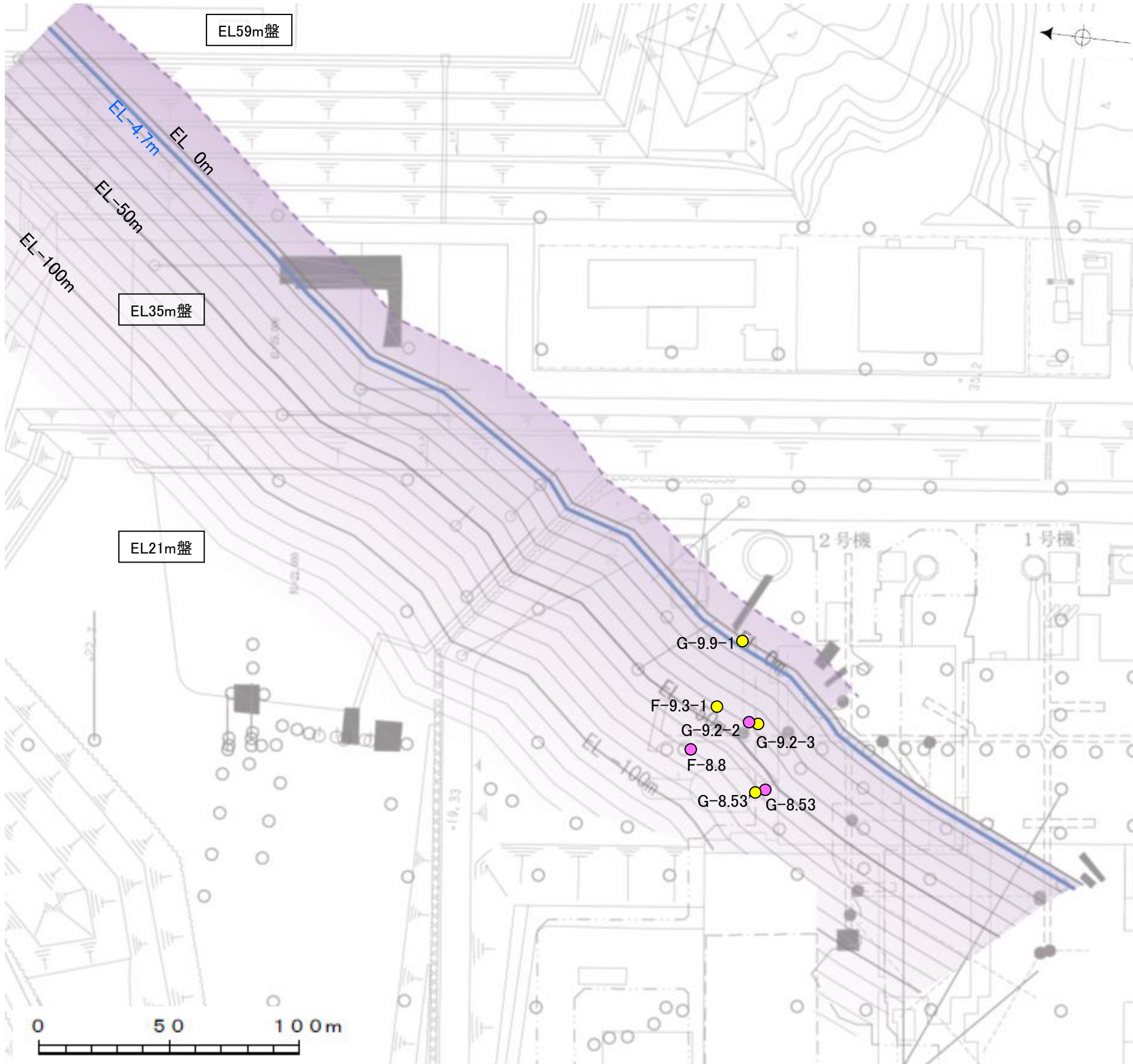
(走向は真北基準)

【S-4】

走向傾斜N24~38° E/70~76° NWを示し、固結した粘土・砂状破碎部が幅1~15cm程度で挟まれる。固結した粘土・砂状破碎部は、細粒な火山碎屑物からなり、弱い流理状構造が、走向傾斜方向に沿って認められる。分離面は認められず密着している部分が多いが、黒色被膜の沈着した分離面が法面の中～下部に認められる。分離面の一部には、皮膜状に黄灰色の粘土が分布する。



# (参考2-4①) 薄片観察結果 一位置図一



薄片作成深度

孔名	深度 (m)	標高 (m)
F-8.8	97.50	-75.84
F-9.3-1	69.40	-48.87
G-8.53	77.05	-54.28
G-8.53'	78.90	-56.36
G-9.2-2	64.55	-43.38
G-9.2-3	66.80	-45.65
G-9.9-1	16.40	4.90

薄片を作成した破砕部  
 ● 粘土状破砕部等あり  
 ● 固結した破砕部のみ

基図凡例  
 ○ 鉛直ボーリング孔  
 ● 水平ボーリング孔  
 ◡ 斜めボーリング孔  
 ■ トレンチ

位置図

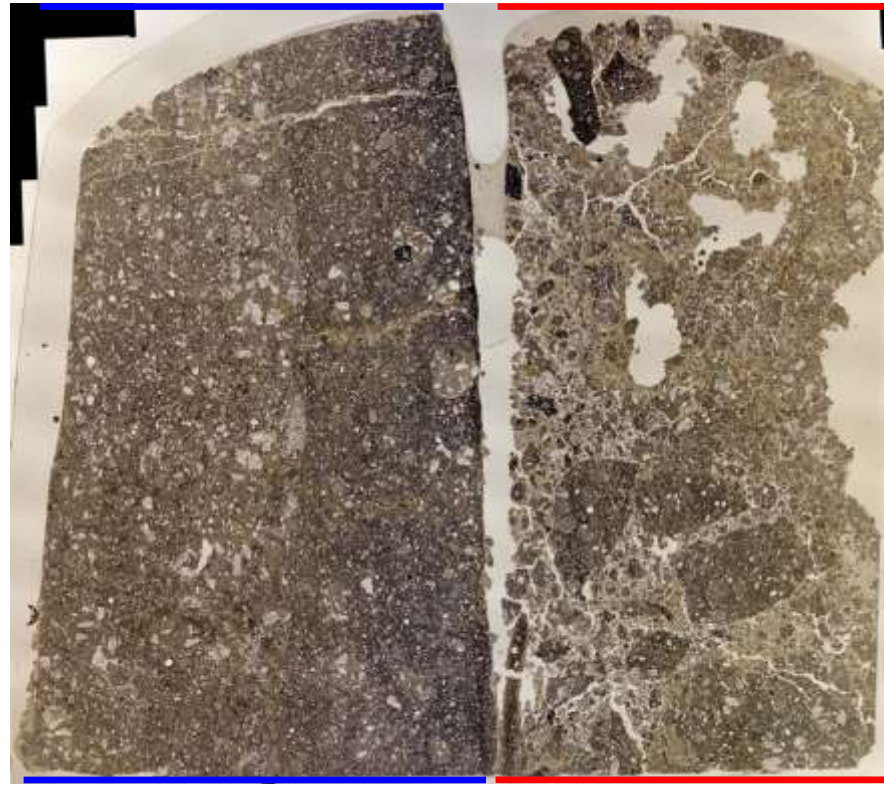
# (参考2-4②) 薄片観察結果 (F-8.8孔, F-9.3-1孔)

(単ニコル)

上

(直交ニコル)

上



F-8.8\_150R

下

下

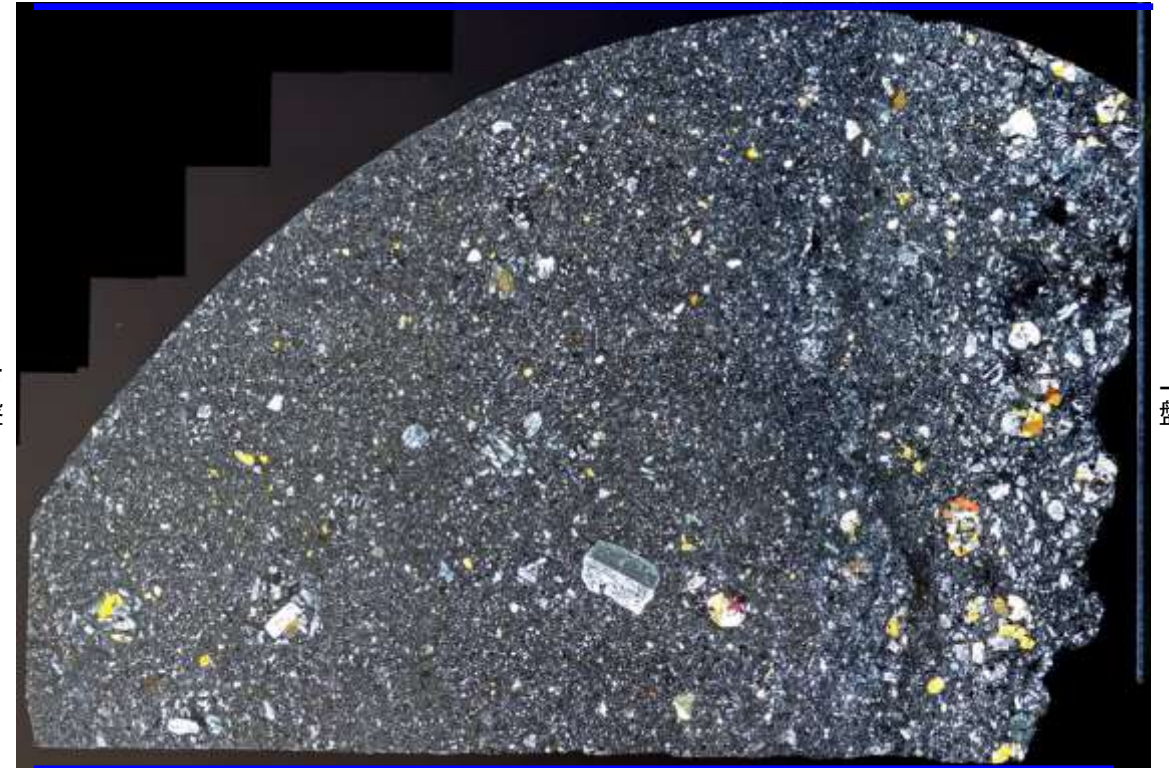
10mm

(単ニコル)

上

(直交ニコル)

上



F-9.3-1\_90R

下

下

10mm

# (参考2-4③) 薄片観察結果 (G-8.53孔, G-8.53'孔)

(単ニコル)

上

(直交ニコル)

上



上盤

下盤

上盤

下盤

— : 固結した破砕部  
— : 粘土状破砕部等

10mm

G-8.53\_90R

下

下

(単ニコル)

上

(直交ニコル)

上



下盤

上盤

下盤

上盤

— : 固結した破砕部

10mm

G-8.53'\_90R

下

下

# (参考2-4④) 薄片観察結果 (G-9.2-2孔, G-9.2-3孔)

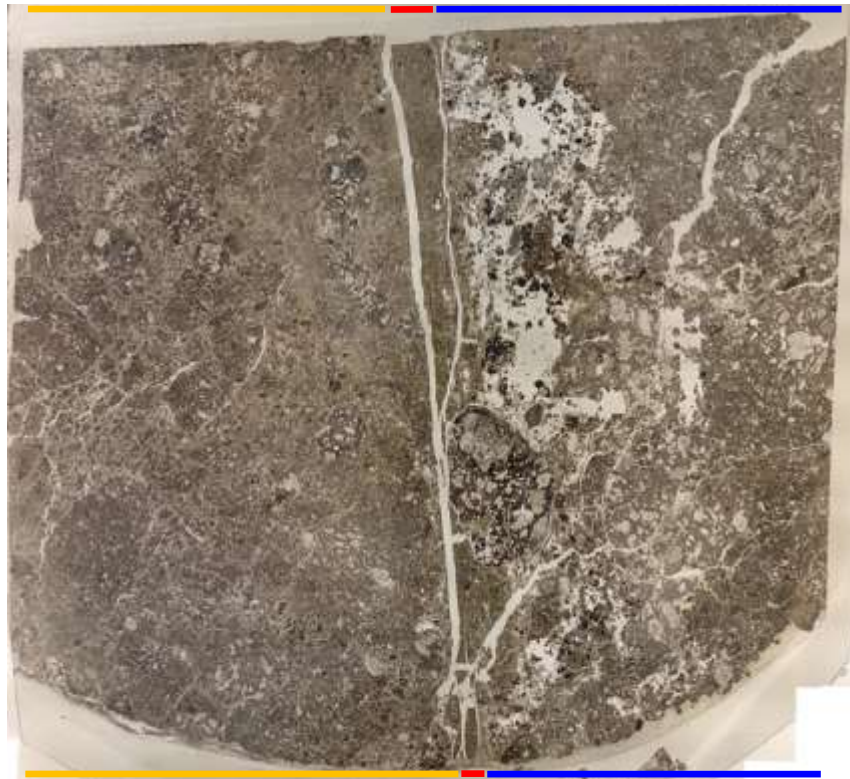
(単ニコル)

上

(直交ニコル)

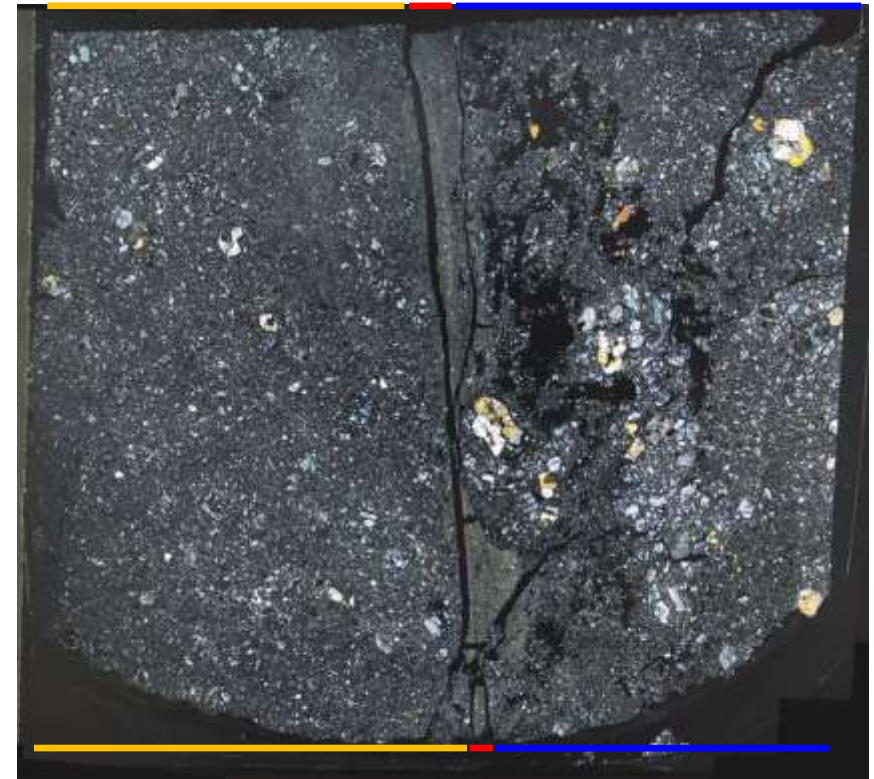
上

下盤



上盤

下盤



上盤

下

G-9.2-2\_155R

(単ニコル)

上

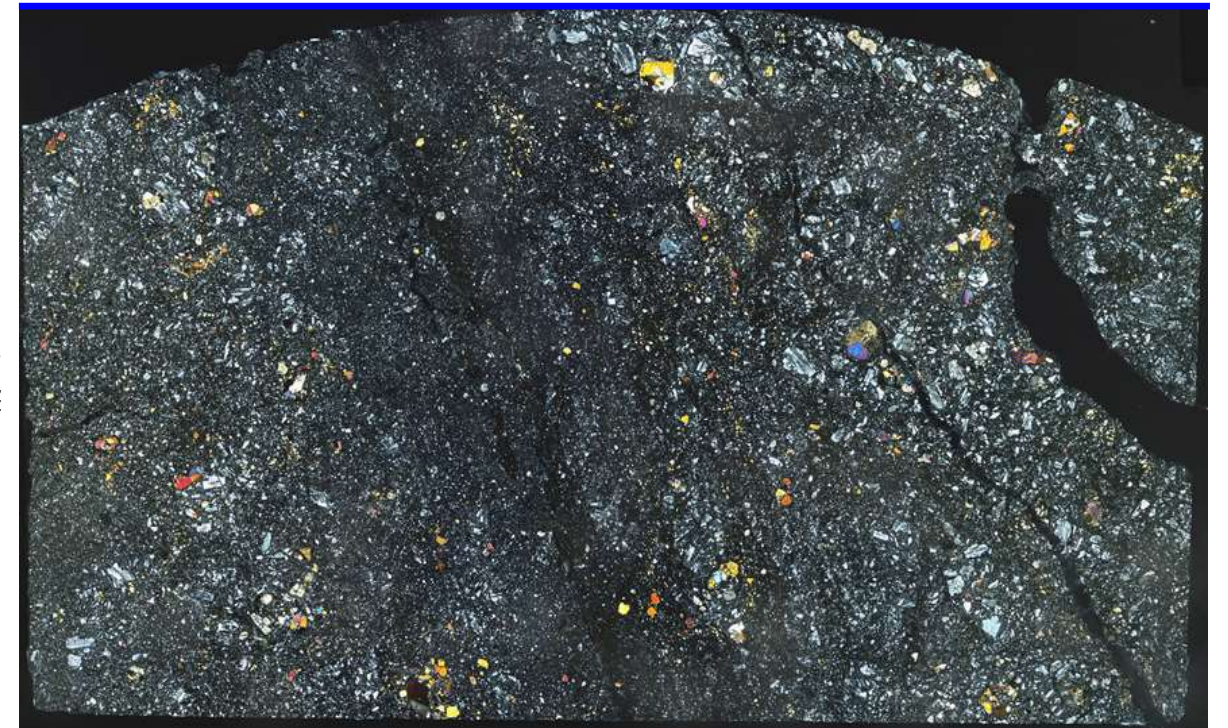
(直交ニコル)

上

下盤



上盤 下盤



上盤

下

G-9.2-3\_90R

2.3-4-57

- : 固結した破碎部
- : 粘土状破碎部等
- : 凝灰角礫岩

10mm

下

下

— : 固結した破碎部

10mm

# (参考2-4⑤) 薄片観察結果 (G-9.9-1孔)

(単ニコル)

上



上盤

下盤

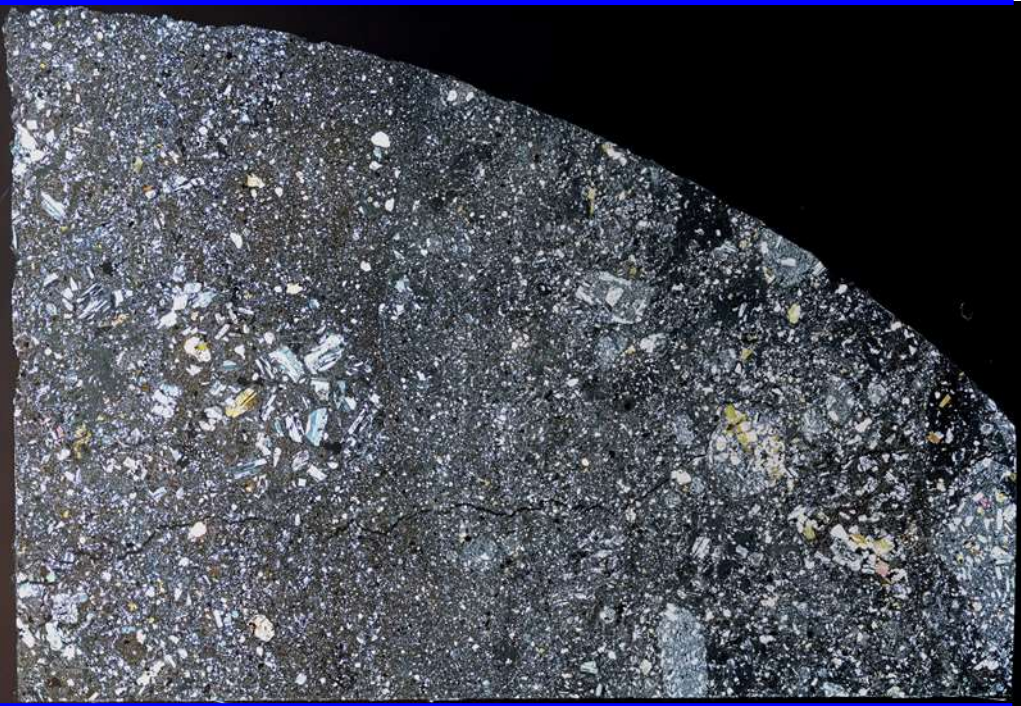
— : 固結した破碎部

10mm

下

(直交ニコル)

上



上盤

下盤

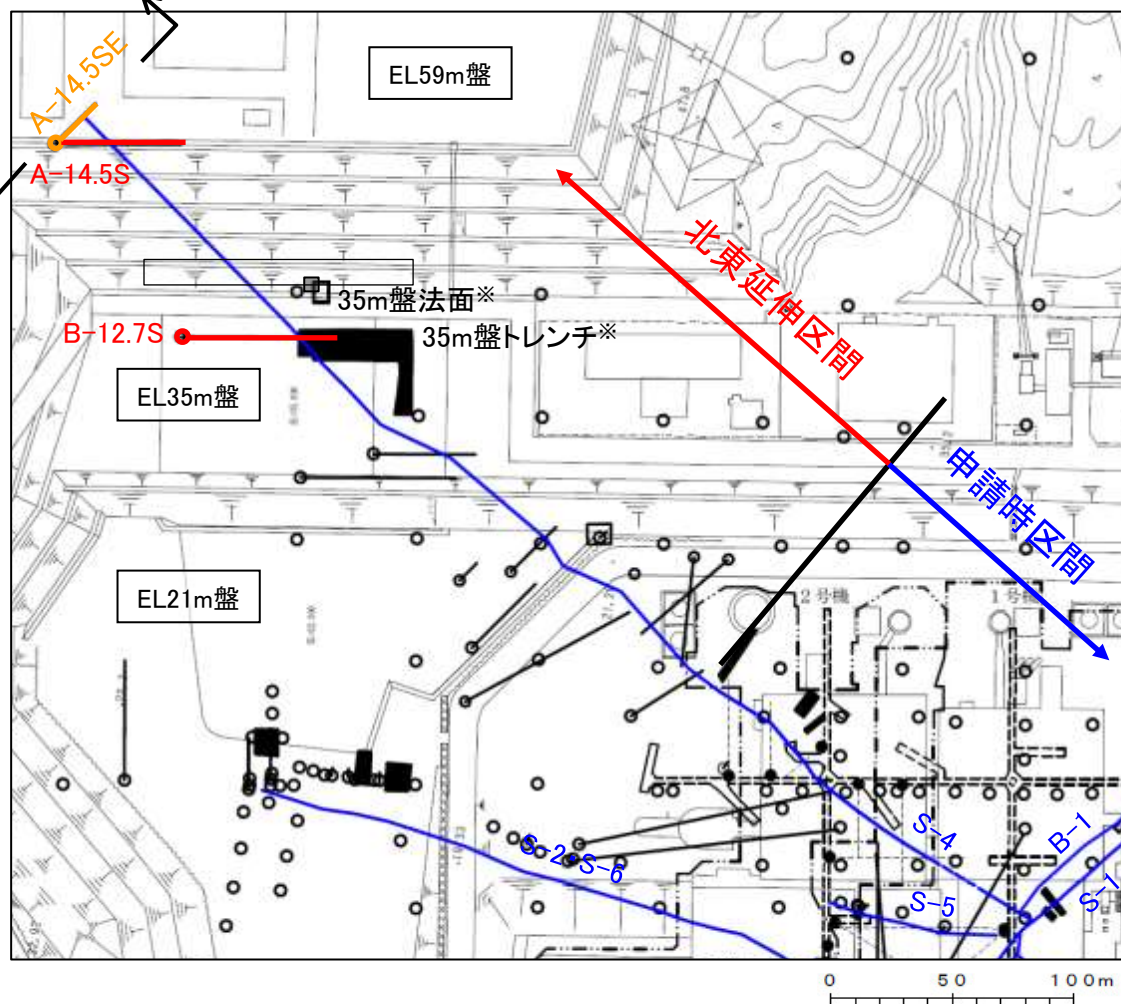
下

G-9.9-1\_150R

# (参考2-5) S-4北東部への連続性及び北東端の確認 — 北東端の追加調査 —

○35m盤トレンチ及び35m盤法面で認められたS-4は、北東部のボーリングB-12.7S孔、A-14.5S孔まで認められるが、さらに北東方のA-14.5SE孔において、想定延長位置に認められないことから、この地点をS-4の北東端とした。

断面位置



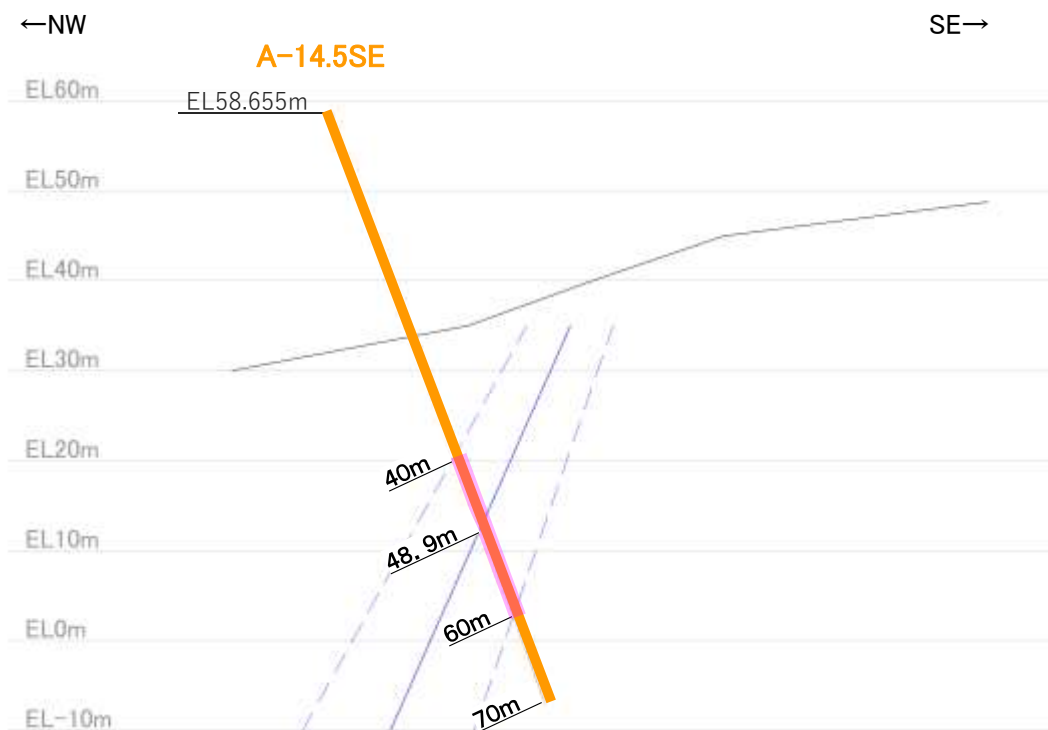
断層 (EL-4.7m)

位置図

赤: S-4が認められる箇所  
橙: S-4端部においてS-4が認められない箇所

## 【A-14.5SE孔の調査結果】

- ・下の断面図に示すとおり、S-4の想定延長範囲は、深度40~60mとなる。
- ・想定延長範囲において、S-4は認められない。  
(想定延長範囲のコア写真は次頁)



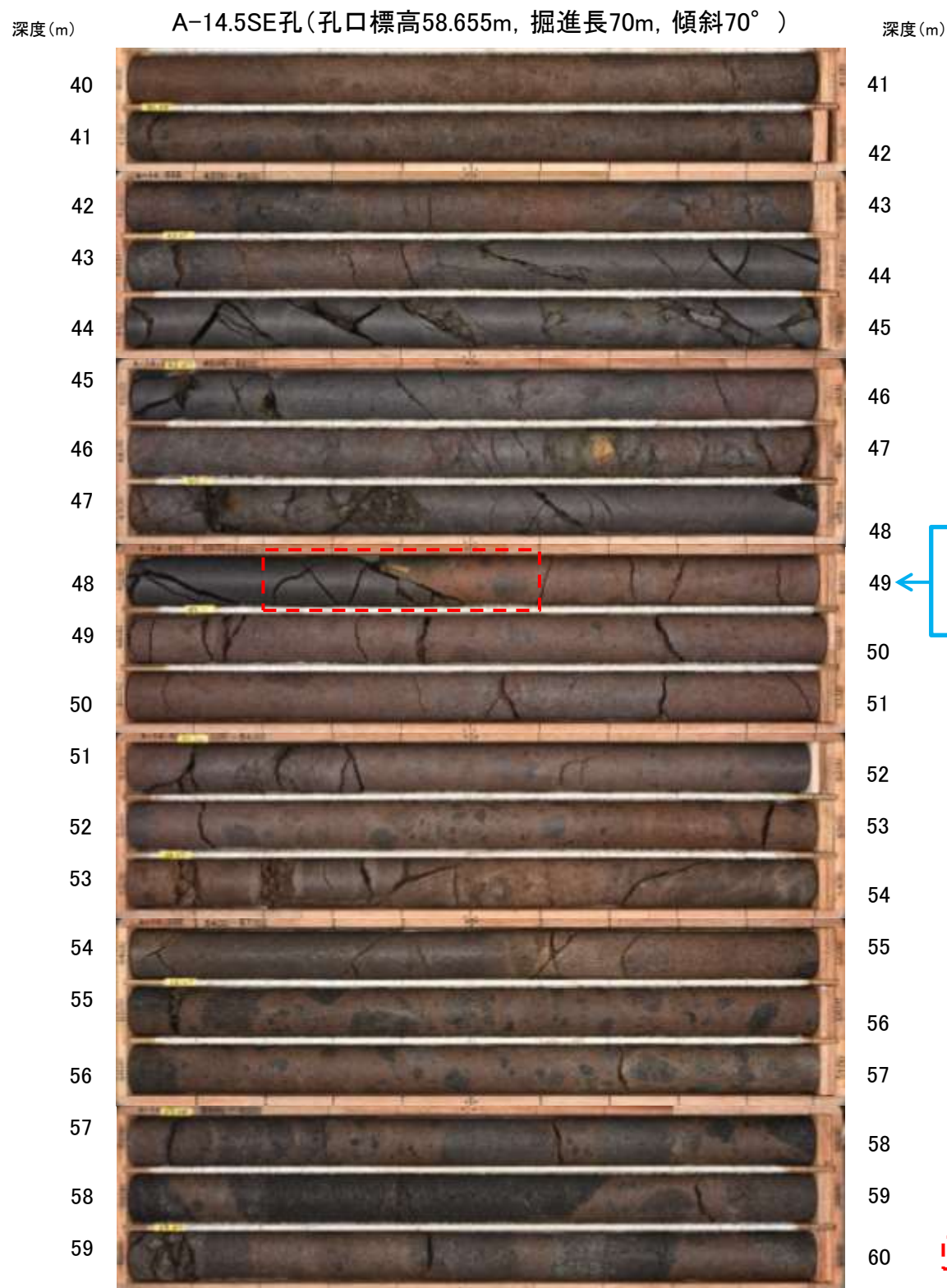
アンジュレーション 走向-15° 傾斜-5°  
S-4 想定延長  
アンジュレーション 走向+15° 傾斜5°

S-4の想定延長範囲

A-14.5SE孔断面図  
(掘進方向)

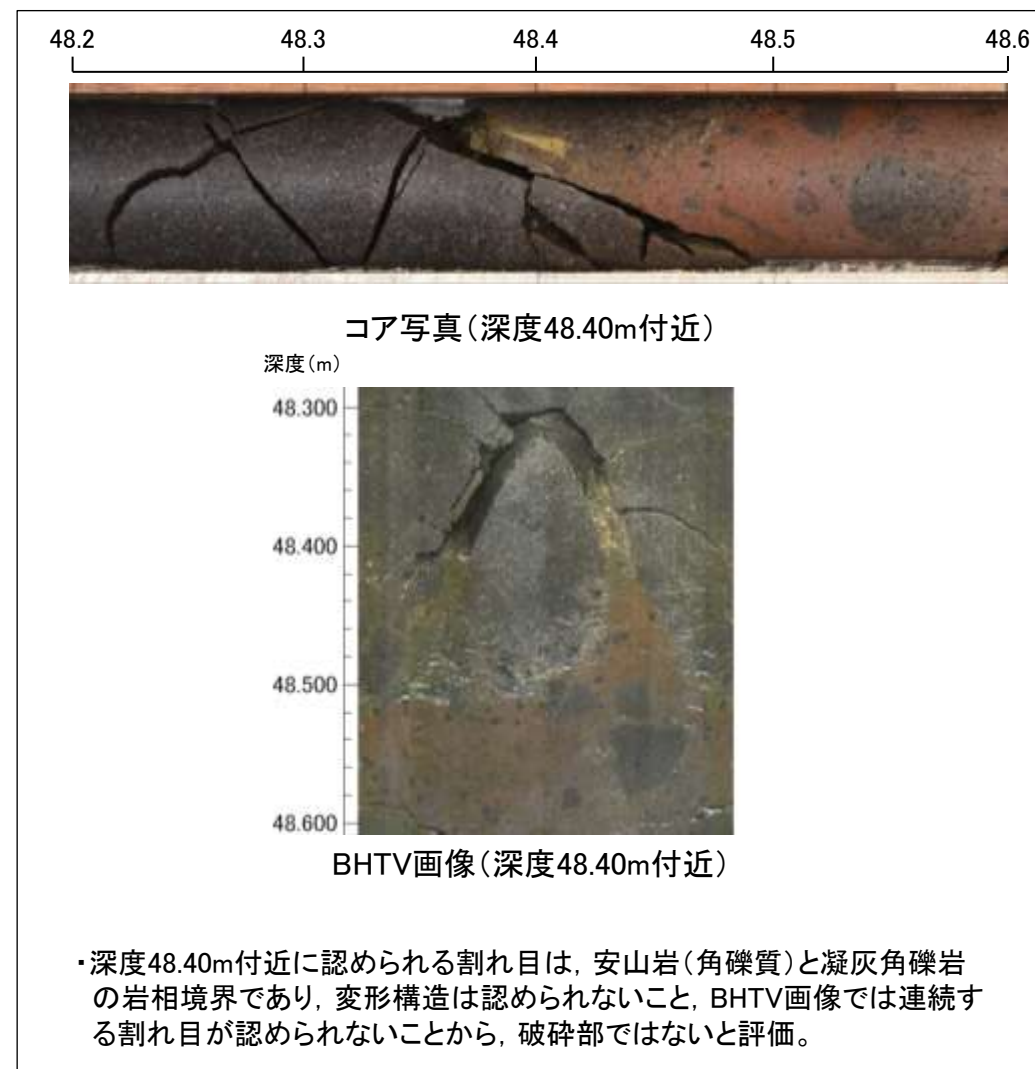
※: 35m盤トレンチ, 35m盤法面等のデータは, 補足資料2.3-4 P.2.3-4-51~53

## 【S-4北東端に関する追加調査結果】



コア写真(深度40~60m)

柱状図はデータ集1  
全長のコア写真はデータ集2  
BHTVはデータ集3



・B-12.7S孔, 35m盤法面, A-14.5S孔で認められたS-4は, さらに北東方のA-14.5SE孔において, 想定延長位置に認められない。

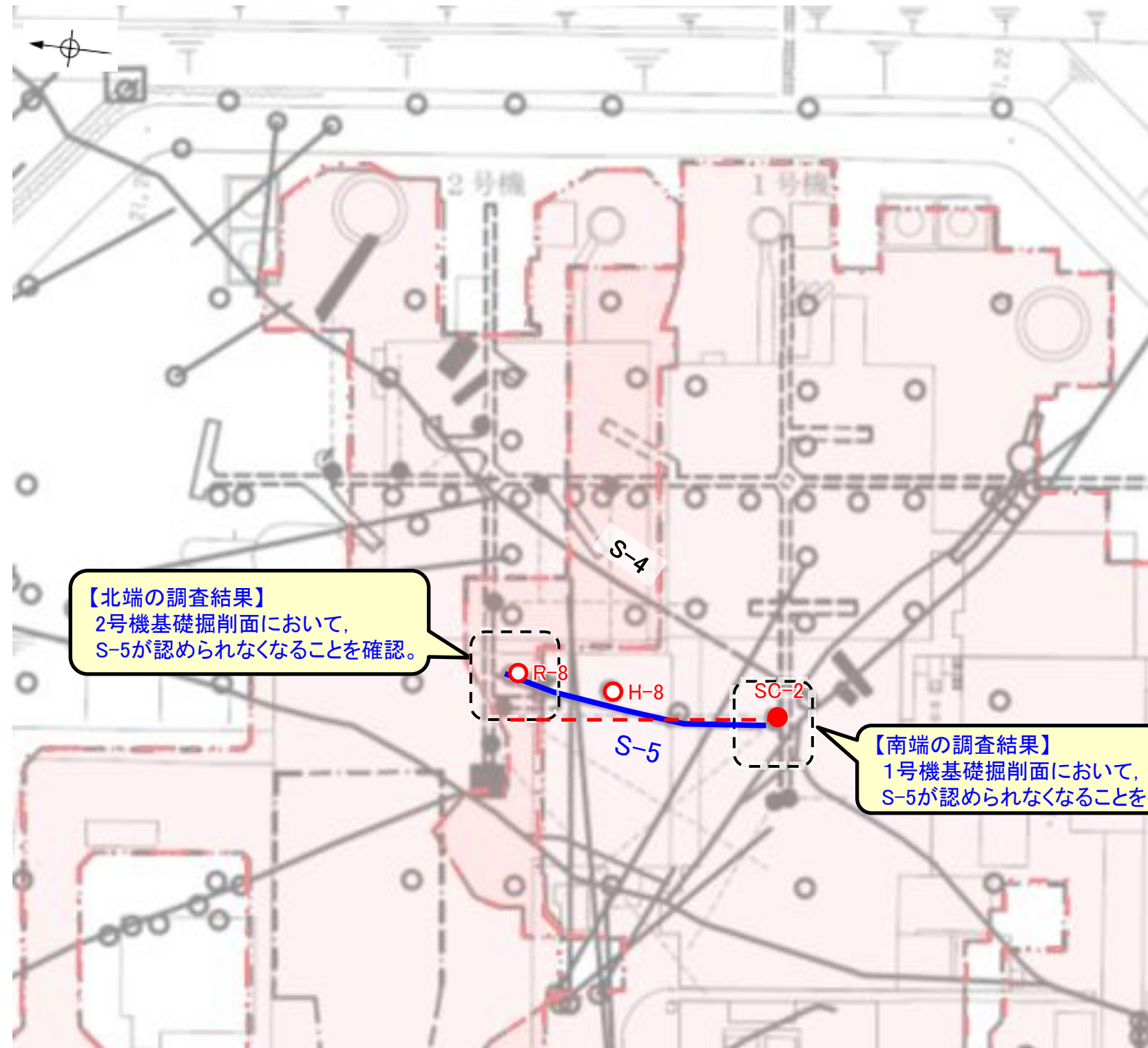
---

#### (4) S-5端部の調査結果



# S-5端部の調査結果 ー概要ー

■S-5端部の調査結果の概要を以下に示す。



凡 例	
○	鉛直ボーリング孔
●	水平ボーリング孔
○	斜めボーリング孔
□	表土はぎ
■	トレンチ
○	岩盤調査坑
⋯	試掘坑, 試験坑, 斜坑
⋯	施工検討調査トレンチ
⋯	基礎掘削面
—	断層(S-5以外) (EL-4.7m)
—	S-5 (EL-4.7m)
	S-5が認められた箇所を赤で着色

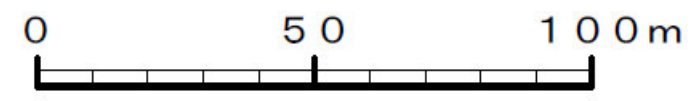
S-5端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	2号機基礎掘削面	北端の止め
南端	1号機基礎掘削面	南端の止め

	延長	走向/傾斜
S-5	70m	N4°E/70°SE*

\* 走向は一般走向  
傾斜はボーリングの値

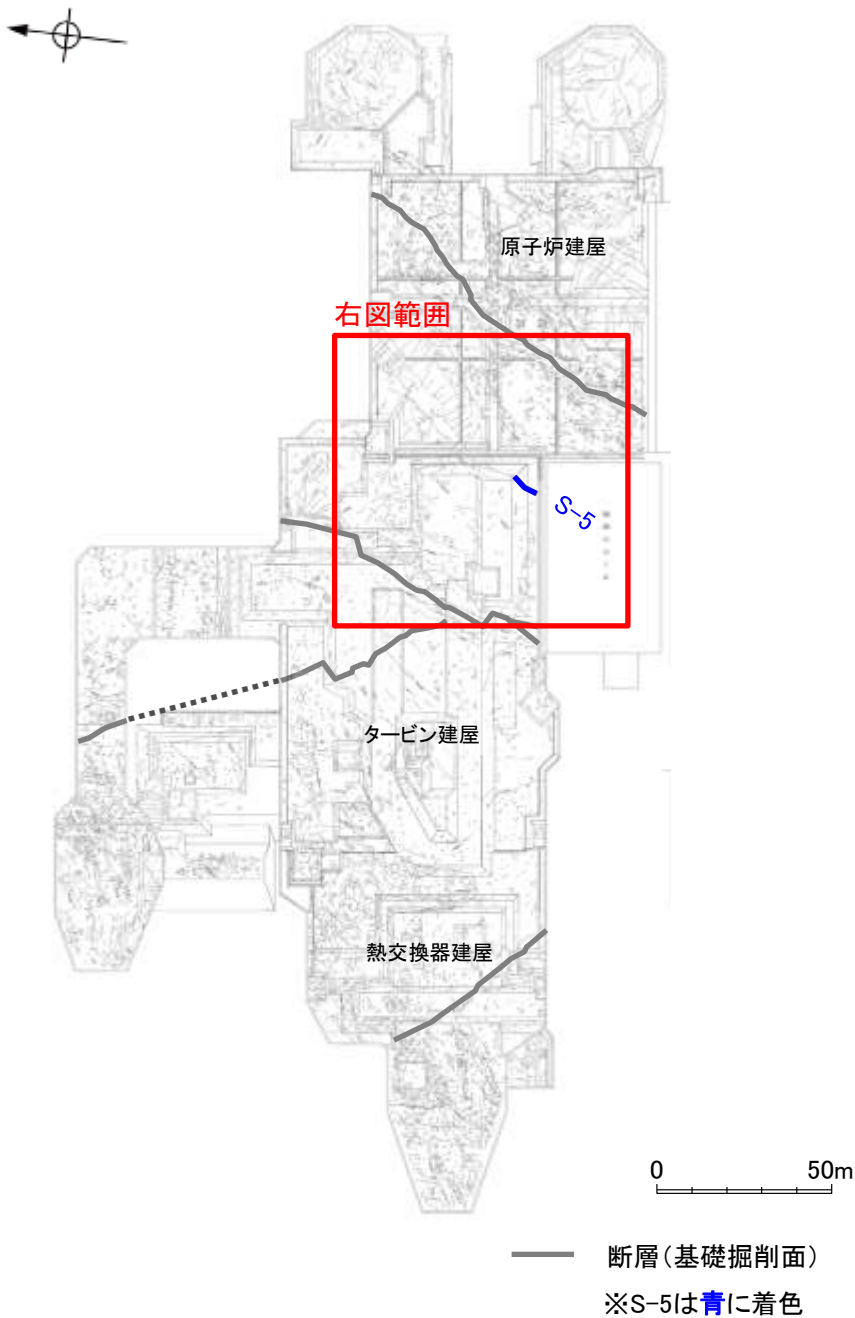
調査位置図



# S-5端部の評価 —北端:2号機基礎掘削面—

■S-5北端の調査結果を以下に示す。

**【S-5北端の評価】**  
2号機基礎掘削面において、S-5が認められなくなることを確認。



2号機基礎掘削面

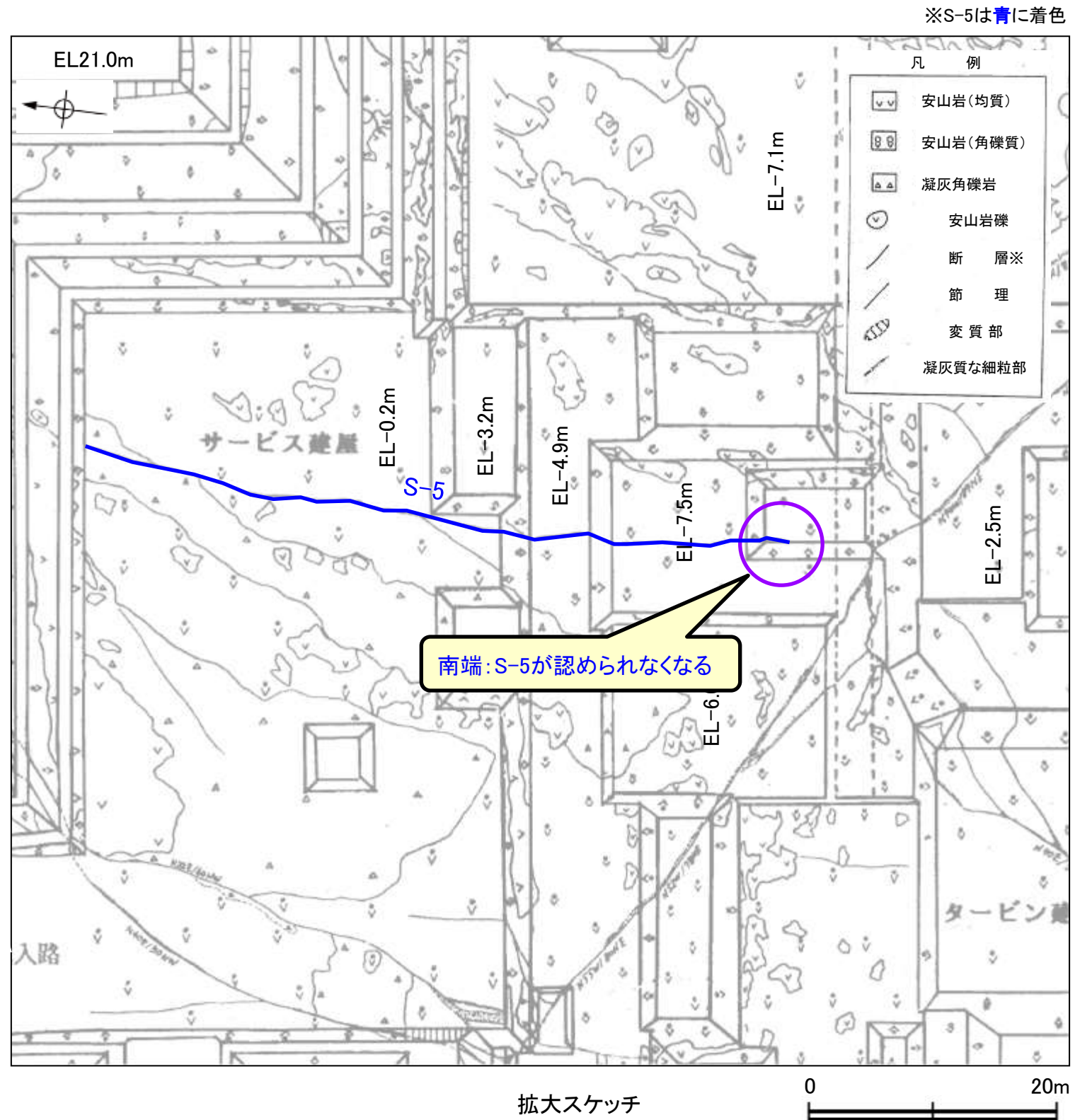
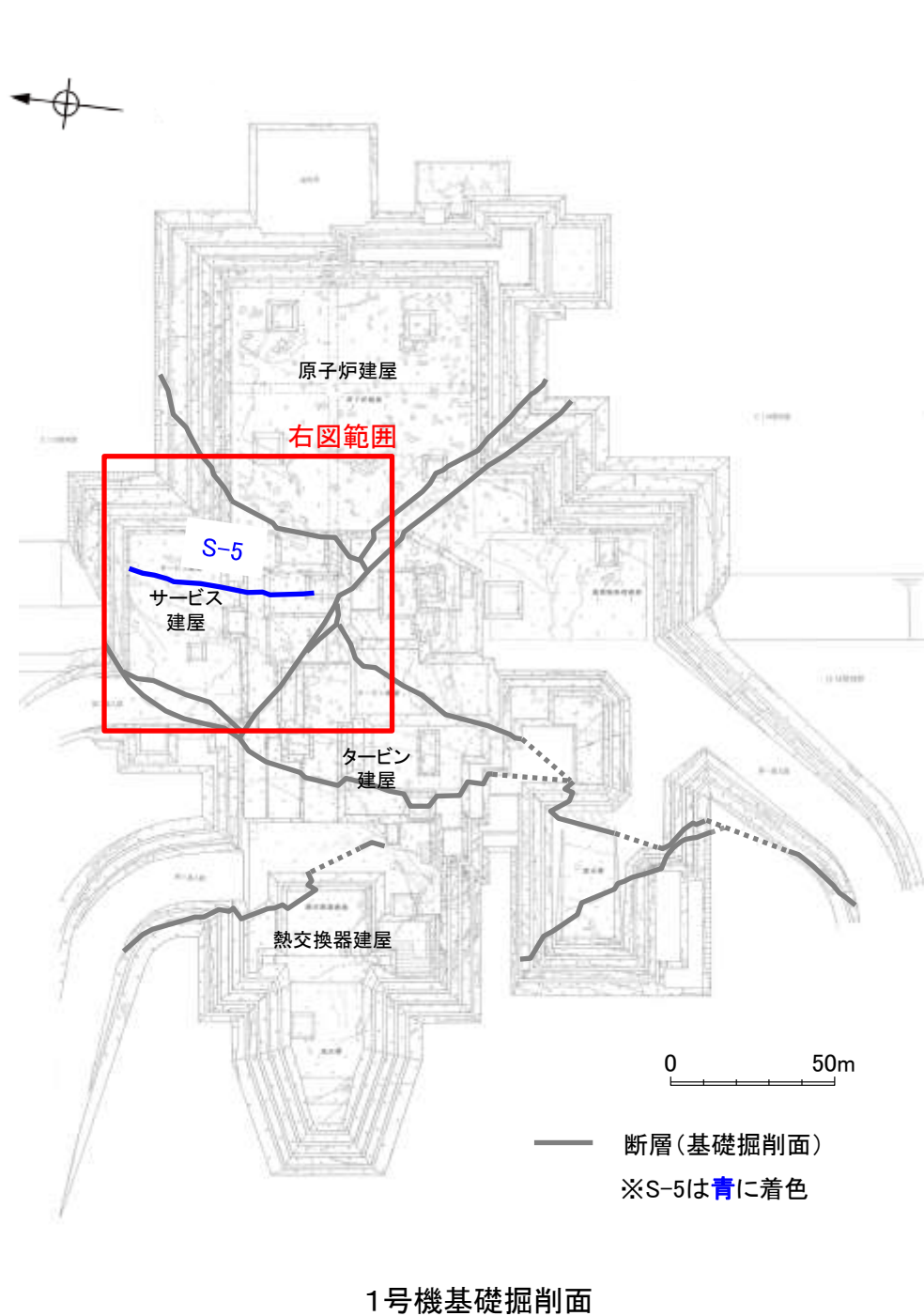


拡大スケッチ

# S-5端部の調査結果 —南端：1号機基礎掘削面—

■S-5南端の調査結果を以下に示す。

**【S-5南端の調査結果】**  
1号機基礎掘削面において、S-5が認められなくなることを確認。

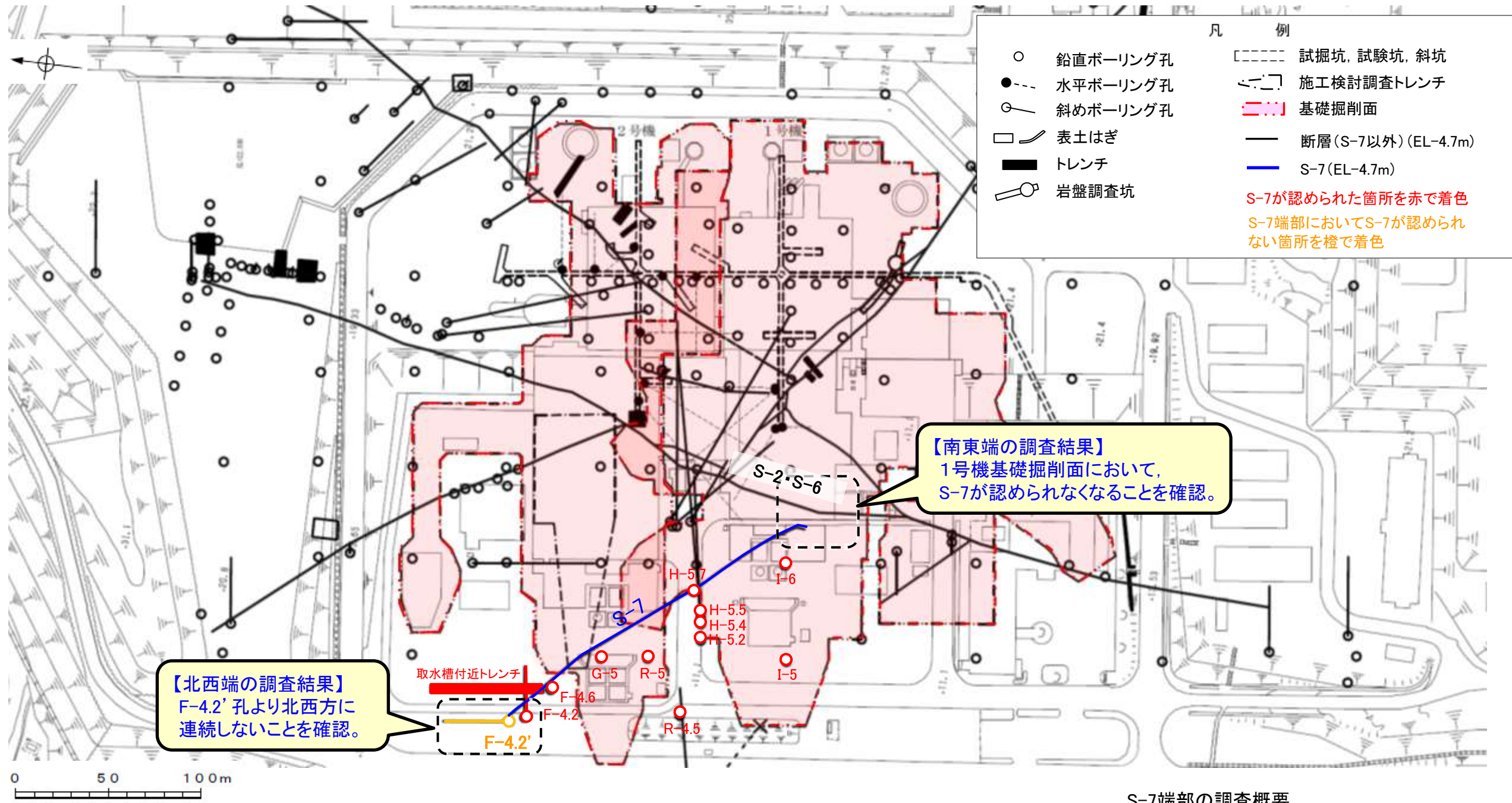


---

## (5) S-7端部の調査結果

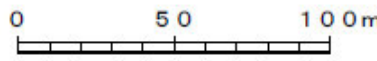
# S-7端部の調査結果 ー概要ー

■S-7端部の調査結果の概要を以下に示す。



【北西端の調査結果】  
F-4.2' 孔より北西方に  
連続しないことを確認。

【南東端の調査結果】  
1号機基礎掘削面において、  
S-7が認められなくなることを確認。



S-7端部の調査概要

延長	走向/傾斜
S-7	190m N41°W/60°SW*

\* 走向は一般走向  
傾斜はボーリングの値

調査位置図

位置	調査箇所	調査結果
北西端	F-4.2' 孔	北西端の止め
南東端	1号機基礎掘削面	南東端の止め

# S-7端部の調査結果 —北西端:F-4.2'孔①—

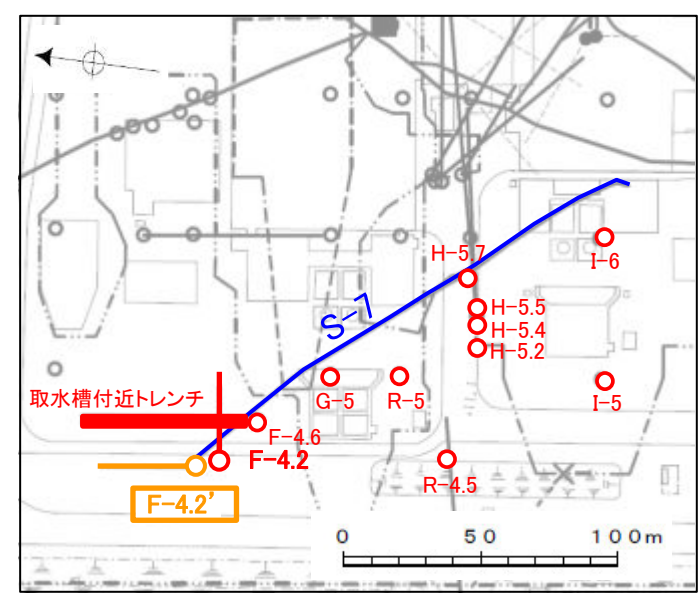
■ S-7北西端の調査結果を以下に示す。

**【S-7北西端の調査結果】**  
 ・基礎掘削面から北西方に追跡した結果、取水槽付近トレンチまでS-7を確認。  
 ・取水槽付近トレンチとF-4.2孔で確認したS-7の位置、走向・傾斜を考慮して、北西方への想定延長範囲を設定。  
 ・F-4.2'孔の想定延長範囲内に、S-7が認められないため、S-7はこれ以上連続しない。

○北西端の止めとしているF-4.2'孔の調査結果を以降に示す。

**【F-4.2'孔の調査結果】**

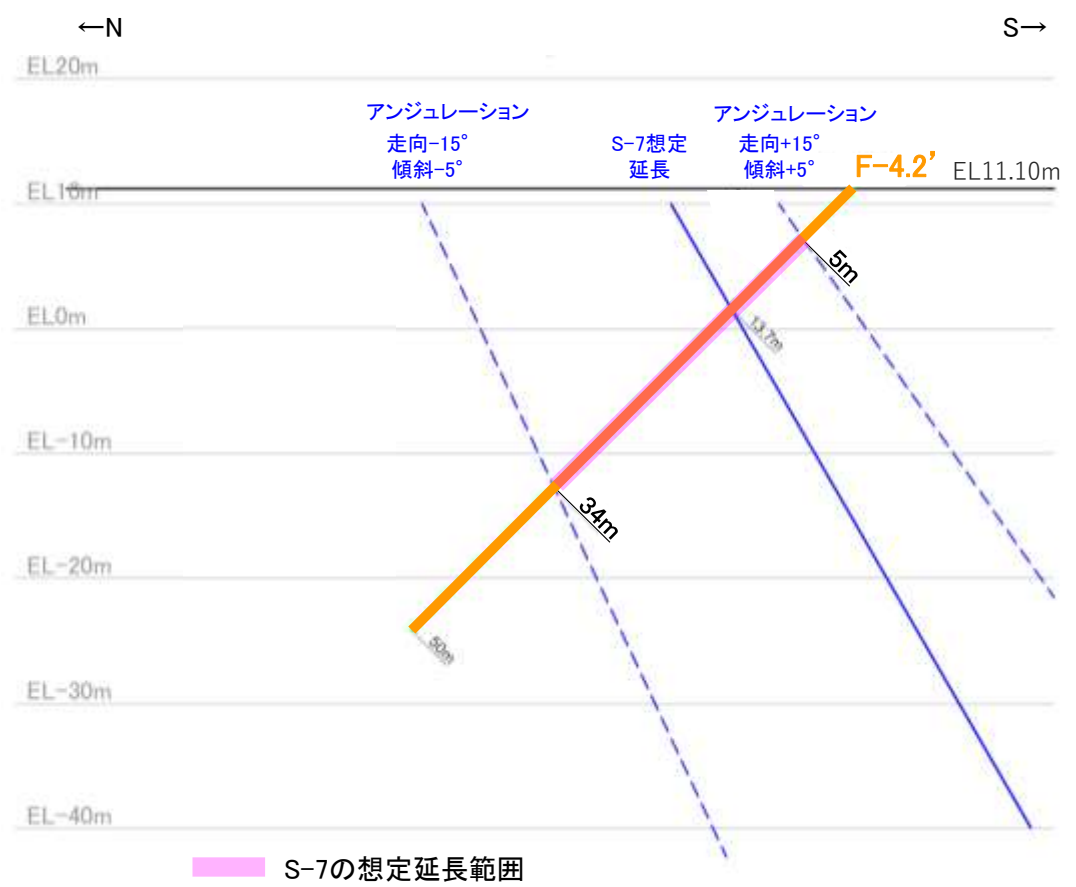
- ・右の断面図に示すとおり、S-7の想定延長範囲は、深度5～34mとなる。
- ・想定延長範囲において、S-7は認められない。  
(想定延長範囲のコア写真は次頁参照)



調査位置図

— S-7(EL-4.7m)

赤: S-7が認められる箇所  
 橙: S-7端部においてS-7が認められない箇所



■ S-7の想定延長範囲

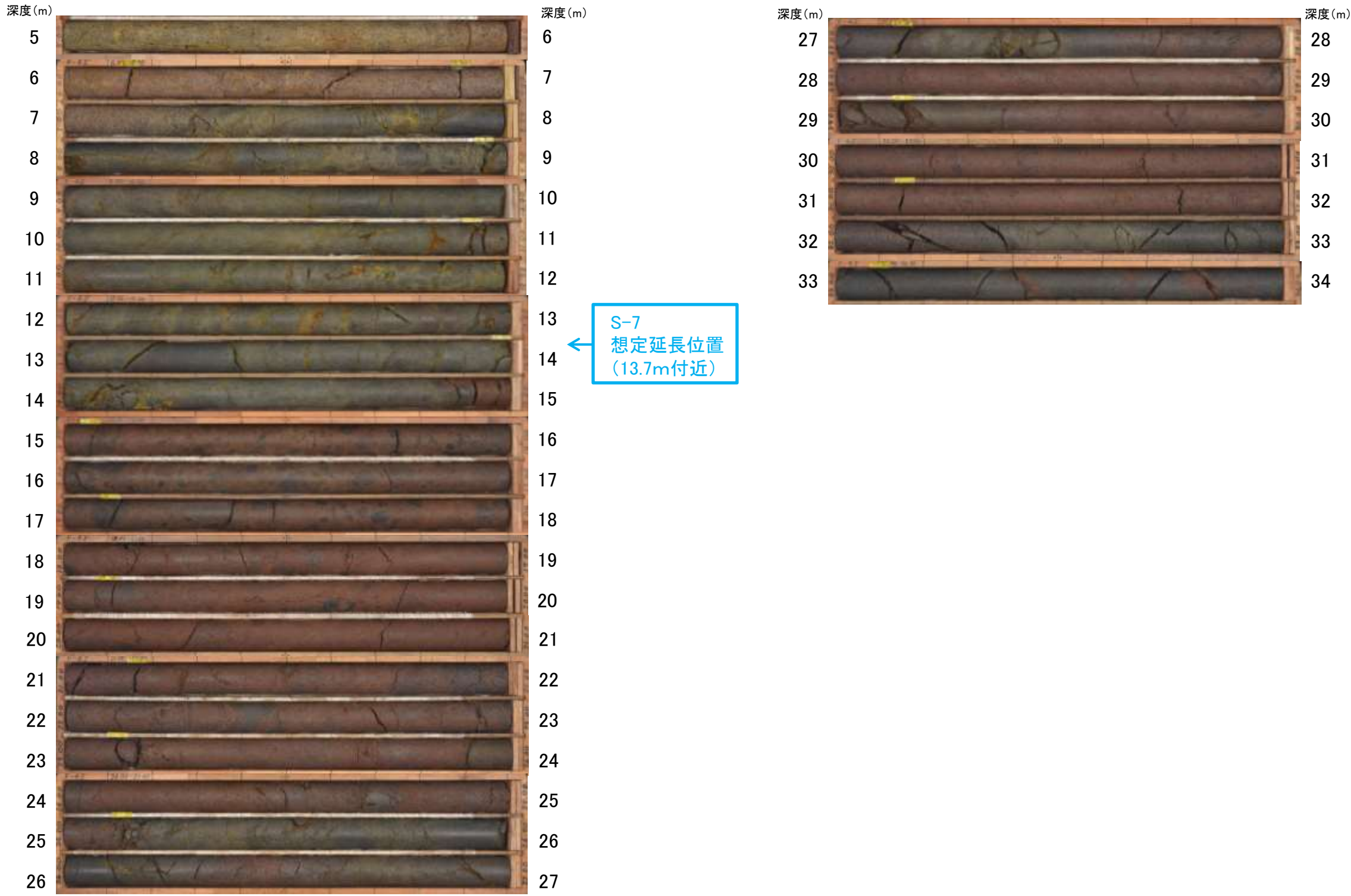
F-4.2'孔断面図  
(掘進方向)

# S-7端部の調査結果 ー北西端:F-4.2'孔②ー

・S-7想定延長範囲(深度5~34m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集1

F-4.2' 孔(孔口標高11.10m, 掘進長50m, 傾斜45° )

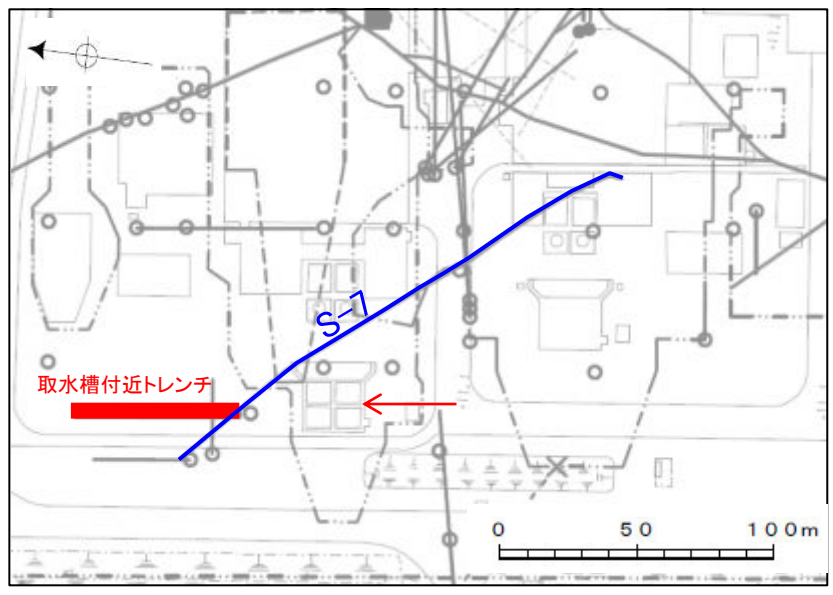


コア写真(深度5~34m)

F-4.2' 孔において, S-7の想定延長範囲(深度5~34m)にS-7は認められない。

# S-7端部の調査結果 — 取水槽付近トレンチ —

■S-7については、北西方への追跡調査を実施し、北西端を確認した。このうち、取水槽付近トレンチの調査結果を以下に示す。



調査位置図

←W  
— S-7(EL-4.7m)  
← 全景写真撮影方向



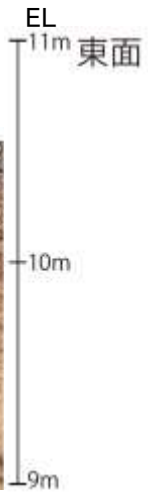
トレンチ全景写真

E→

別所岳安山岩類 安山岩(均質)  
・灰色～褐灰色を呈する。  
・全体に3～30cmの間隔で割れ目が認められる。割れ目は概ね密着している。

別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)  
・灰色～褐色を呈する。  
・全体に30～100cmの間隔で割れ目が認められる。割れ目は概ね密着している。

【破碎部の分布, 性状】  
・東面では、安山岩(角礫質)と安山岩(均質)の境界に沿って分布し、明瞭で平滑な面が認められる。厚さは1～10cmで、明黄灰色のシルトの基質と径0.5～2cmの安山岩角礫からなり、固結している。  
・底盤では、東面で認められた明瞭で平滑な面は西面に向かって次第に不明瞭で凹凸に富むようになり、N10° W/80° SWとN26° W/68° SWの2条に分岐し、前者はせん滅し、後者は断続的になる。  
・西面では、破碎部は断続的に分布するが、上部に向かって平滑な面は認められなくなる。



底盤



←N



S-7周辺写真



S-7周辺スケッチ(展開図)

凡例

- 人工改変部
- 別所岳安山岩類 安山岩(均質)
- 別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)
- 固結した破碎部

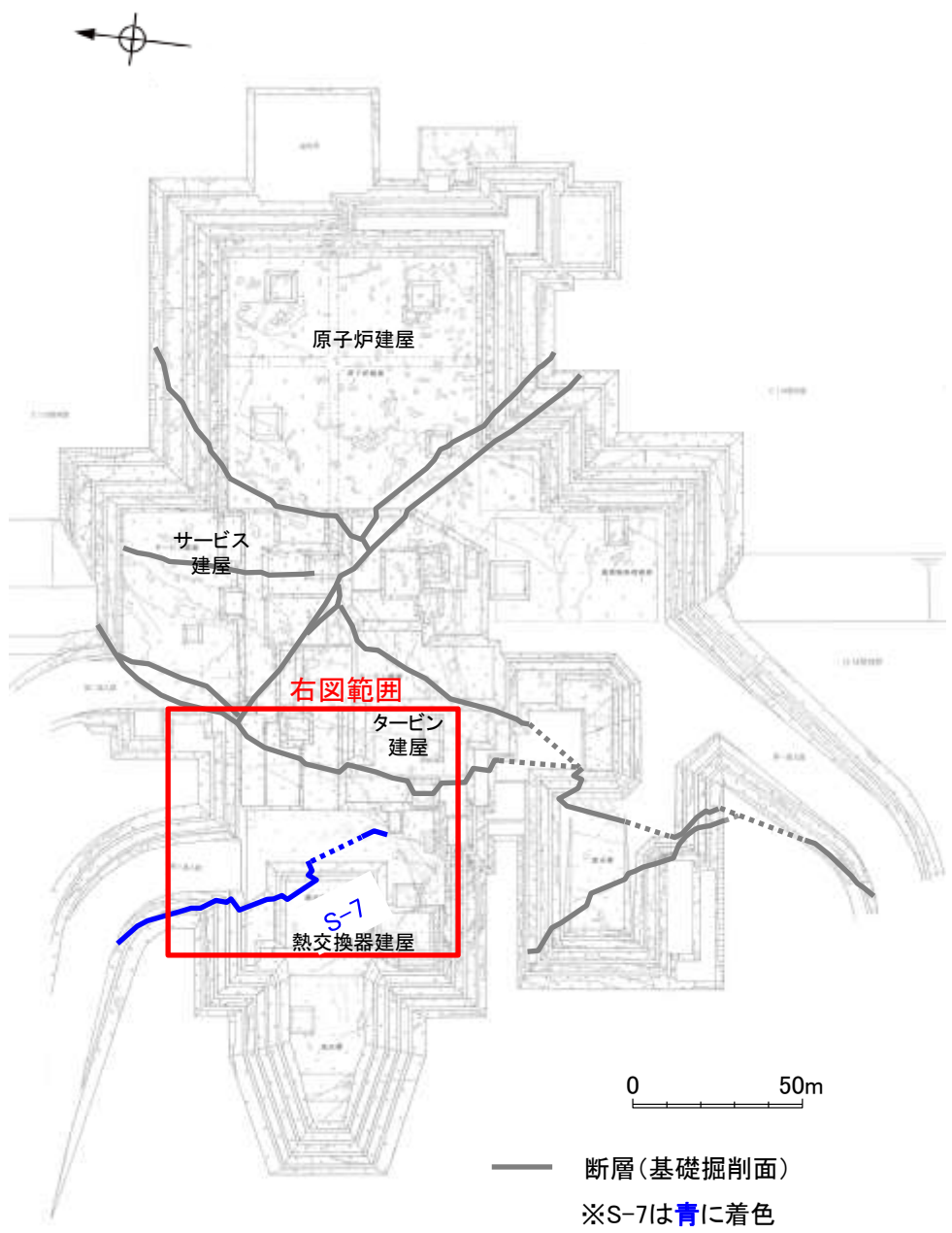
・取水槽付近トレンチにおいて認められる固結した破碎部は、破碎部の性状や走向・傾斜等からS-7に対応すると判断される。  
・本破碎部は、底盤で2条に分岐し、それぞれせん滅、断続的になることから、南東側から連続してきたS-7の末端部の性状を示していると考えられる。2.3-4-69



# S-7端部の評価 —南東端: 1号機基礎掘削面—

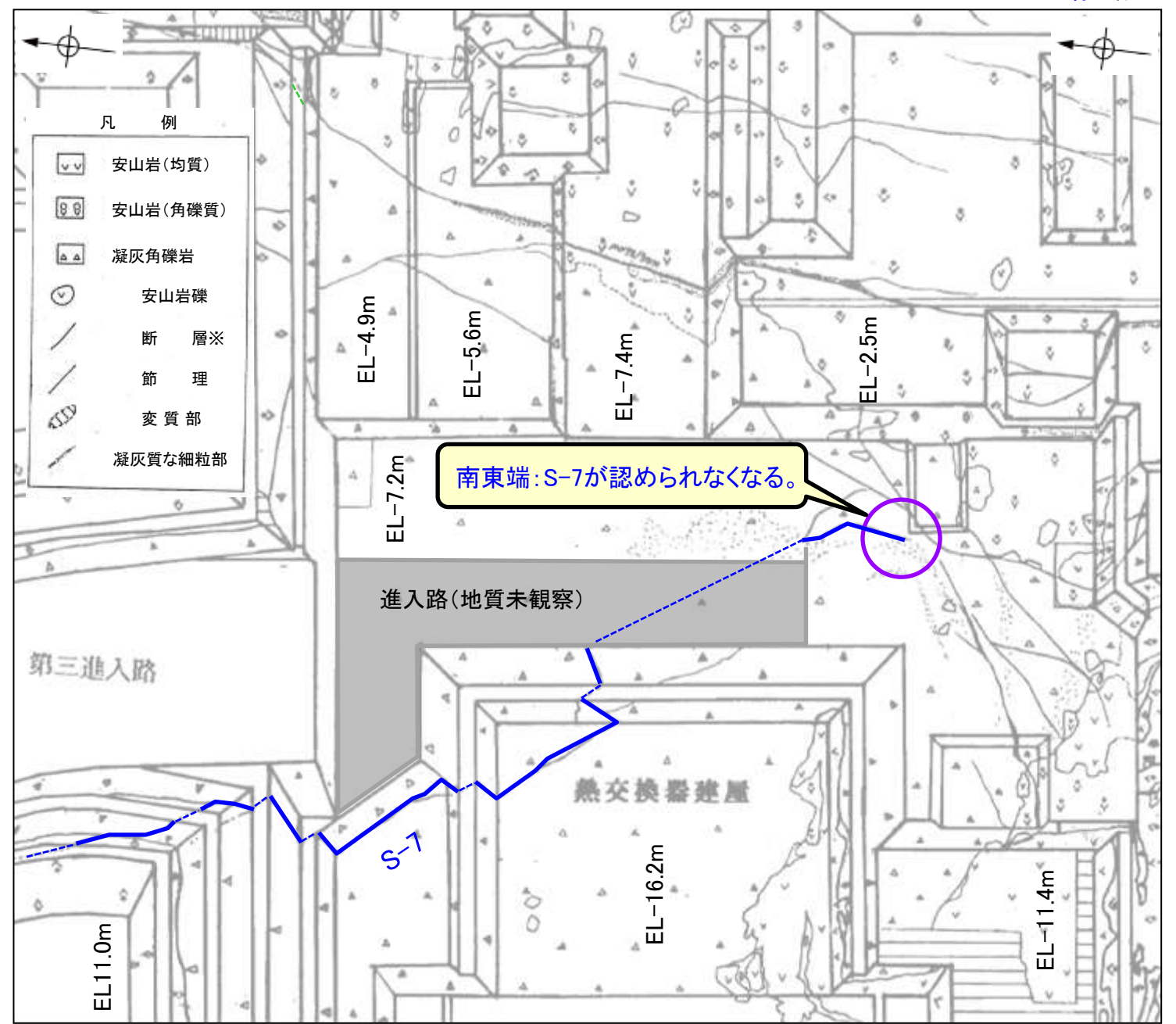
■S-7南東端の評価を以下に示す。

**【S-7南東端の評価】**  
1号機基礎掘削面において、S-7が認められなくなることを確認。



1号機基礎掘削面

※S-7は青に着色



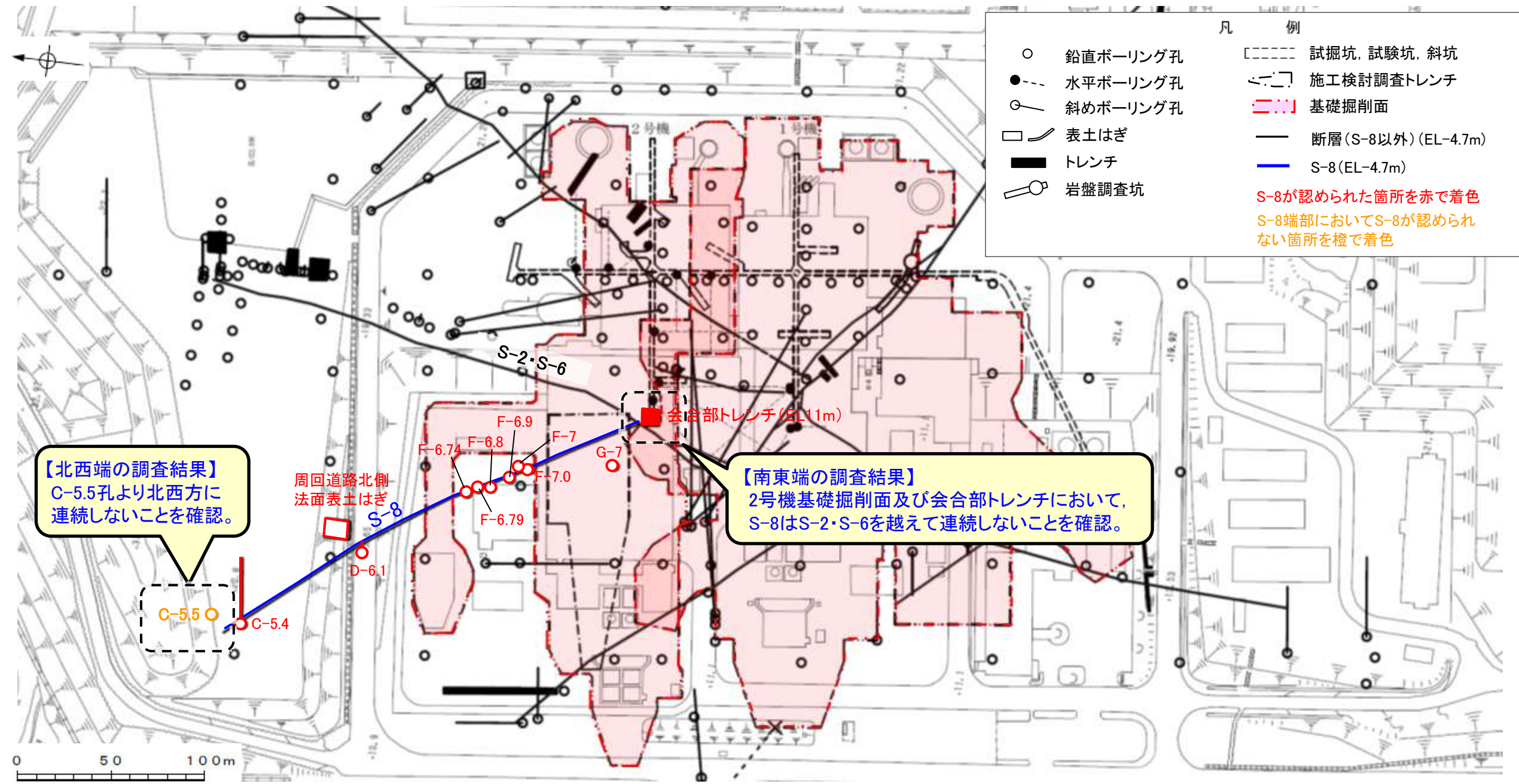
拡大スケッチ

---

## (6) S-8端部の調査結果

# S-8端部の調査結果 ー概要ー

■S-8端部の調査結果の概要を以下に示す。



【北西端の調査結果】  
C-5.5孔より北西方に  
連続しないことを確認。

【南東端の調査結果】  
2号機基礎掘削面及び会合部トレンチにおいて、  
S-8はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。

S-8端部の調査概要

延長	走向/傾斜
S-8 250m	N28°W / 58°SW*

\* 走向は一般走向  
傾斜はトレンチの値

調査位置図

位置	調査箇所	調査結果
北西端	C-5.5孔	北西端の止め
南東端	2号機基礎掘削面	南東端の止め
	会合部トレンチ	

# S-8端部の調査結果 —北西端:C-5.5孔①—

■ S-8北西端の調査結果を以下に示す。

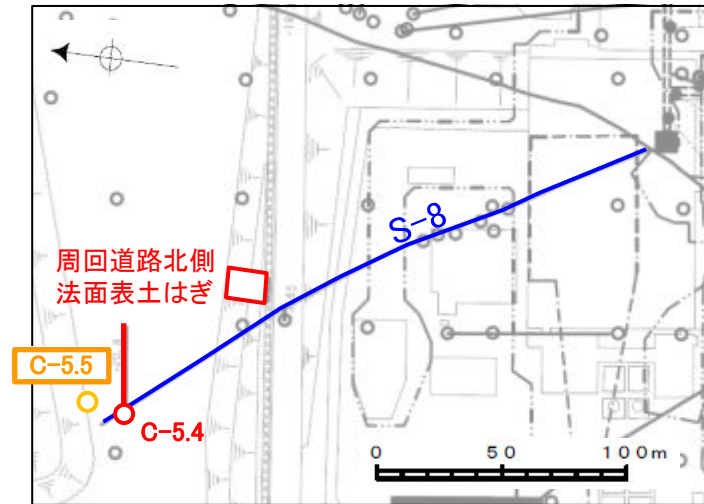
## 【S-8北西端の調査結果】

- ・基礎掘削面から北西方に追跡した結果, C-5.4孔までS-8を確認。
- ・周回道路北側法面表土はぎとC-5.4孔で確認したS-8の位置, 走向・傾斜を考慮して, 北西方への想定延長範囲を設定。
- ・C-5.5孔の想定延長範囲内に, S-8が認められないため, S-8はこれ以上連続しない。

○北西端の止めとしているC-5.5孔の調査結果を以降に示す。

## 【C-5.5孔の調査結果】

- ・下の断面図に示すとおり, S-8の想定延長範囲は, 深度8~30mとなる。
- ・想定延長範囲において, S-8は認められない。
- (想定延長範囲のコア写真は次頁参照)

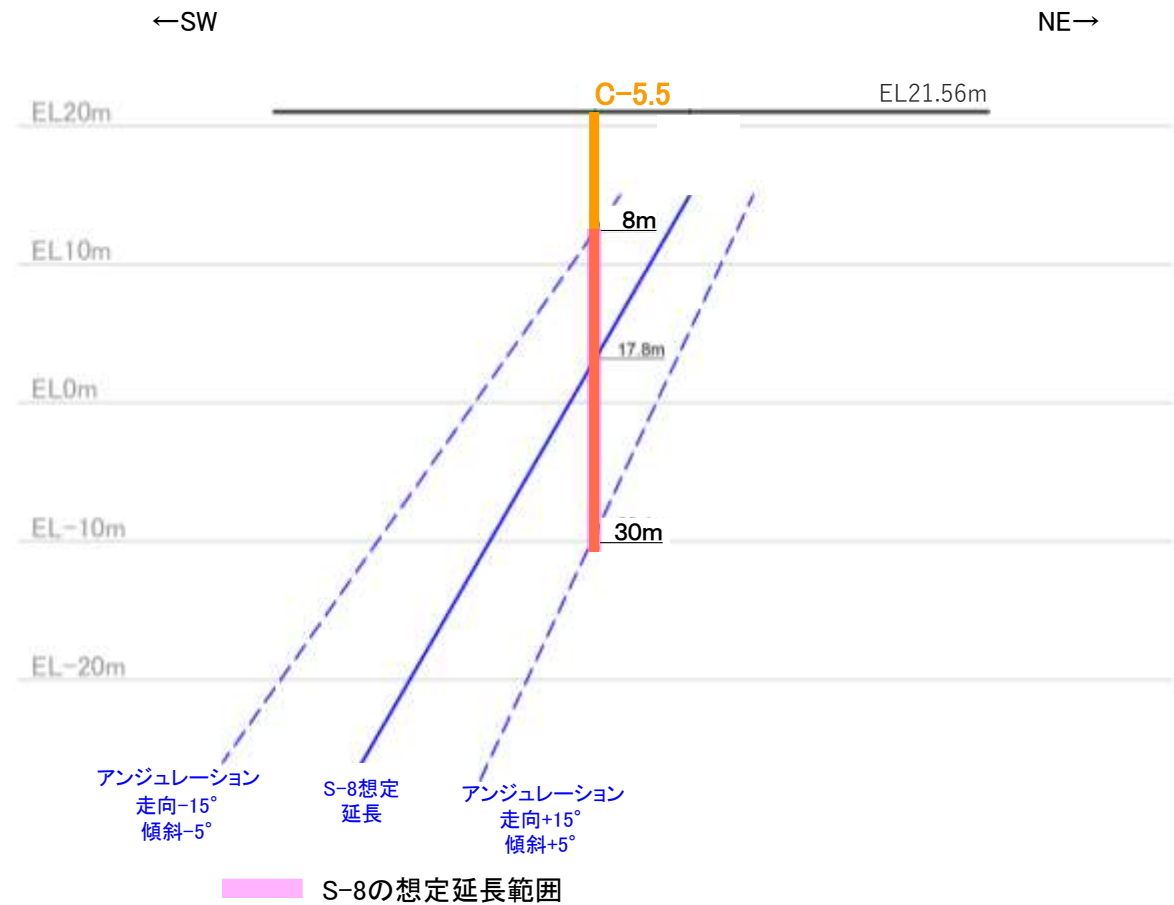


— S-8 (EL-4.7m)

○ 斜めボーリング

赤: S-8が認められる箇所

橙: S-8端部においてS-8が認められない箇所



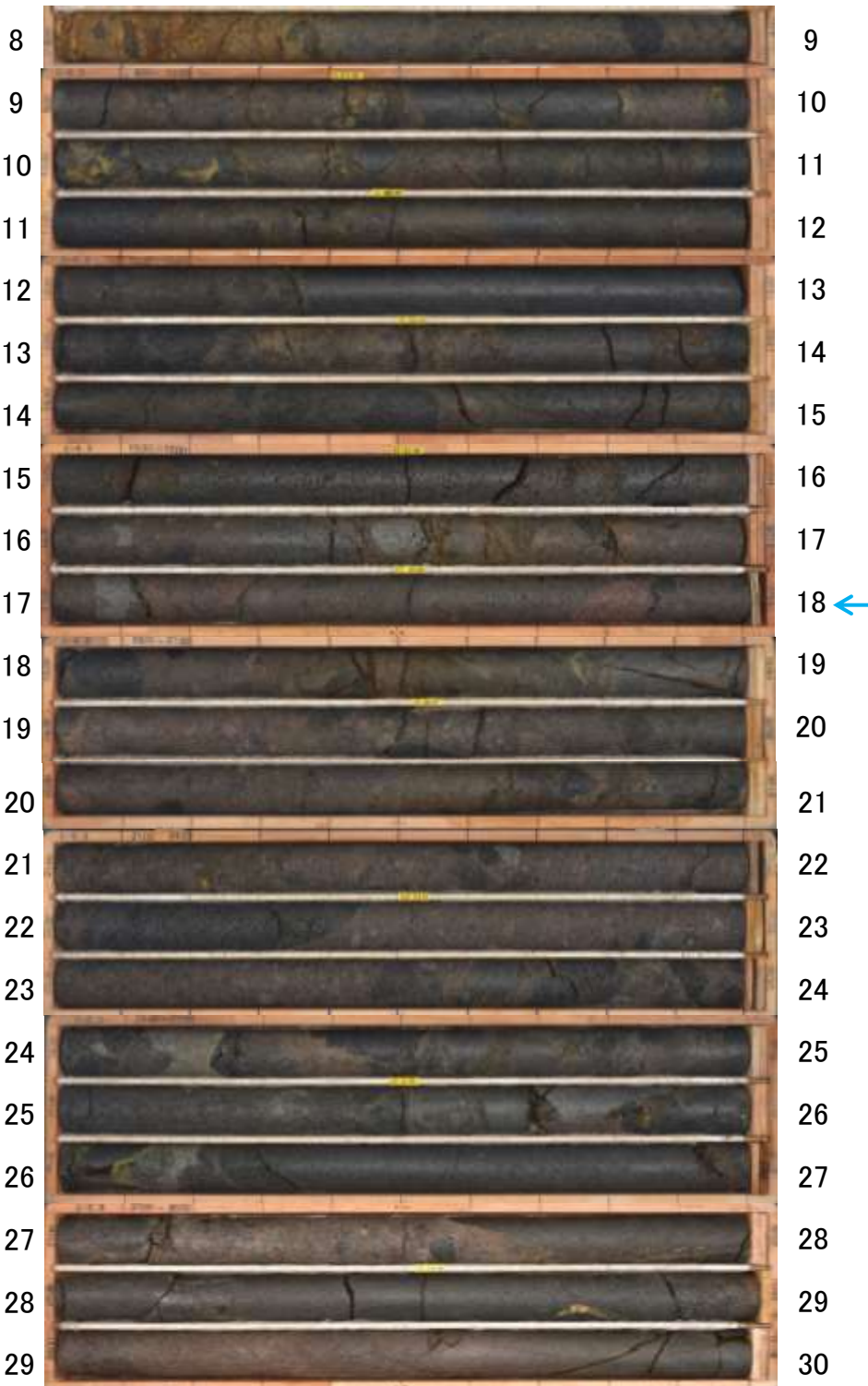
C-5.5孔断面図  
(断層直交方向)

# S-8端部の調査結果 ー北西端:C-5.5孔②ー

・S-8想定延長範囲(深度8~30m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集1

深度(m) C-5.5孔(孔口標高21.56m, 掘進長30m, 鉛直) 深度(m)



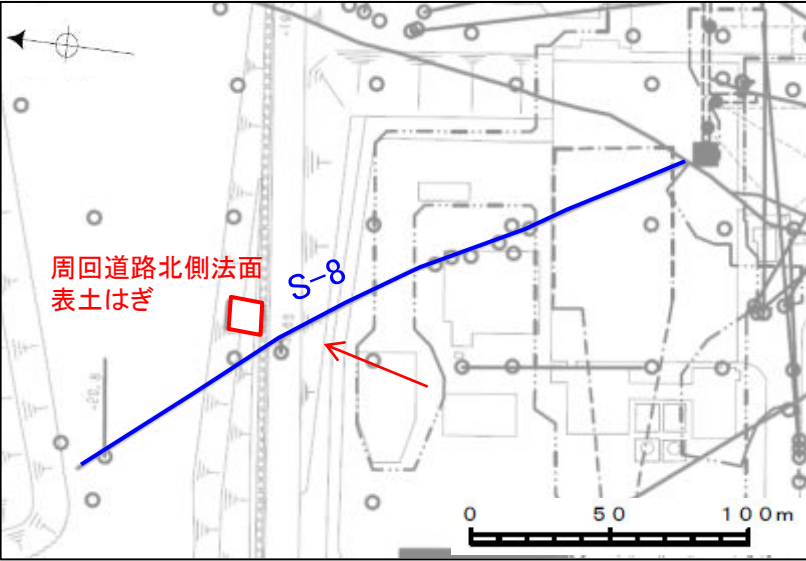
S-8  
想定延長位置  
(17.8m付近)

コア写真(深度8~30m)

C-5.5孔において、S-8の想定延長範囲(深度8~30m)にS-8は認められない。

# S-8端部の調査結果 一周回道路北側法面表土はぎ①

■S-8については、北西方への追跡調査を実施し、北西端を確認した。このうち、周回道路北側法面表土はぎの調査結果を以下に示す。



調査位置図

- S-8(EL-4.7m)
- ← 全景写真撮影方向



表土はぎ全景写真



上側法面



小段

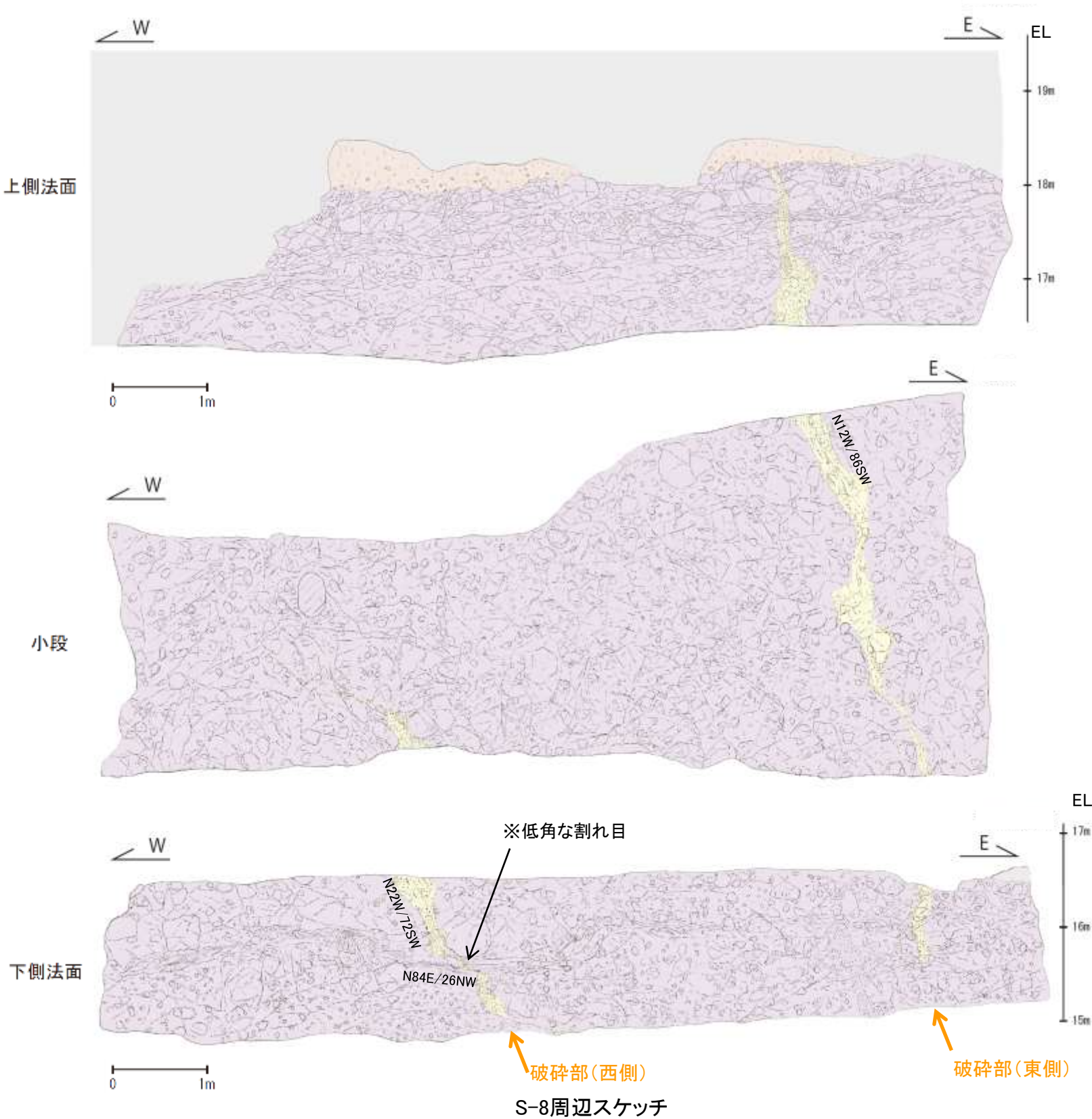


下側法面

破碎部(西側) 破碎部(東側)

S-8周辺写真

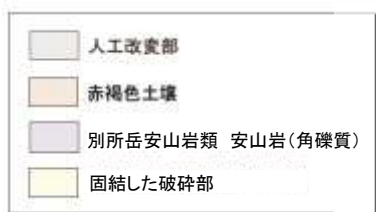
# S-8端部の調査結果 一周回道路北側法面表土はぎ②



**赤褐色土壌**  
 ・シルト質粘土からなる。赤褐～明褐色(5YR4/8～7.5YR5/6)を呈する。  
 ・よく締まっており、弱～中程度の亜角礫状土壌構造が認められる。

**別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)**  
 ・灰色～褐色を呈する。  
 ・全体に30～100cmの間隔で割れ目が認められる。割れ目は概ね密着している。

**【破碎部の分布, 性状】**  
 ・法面西側と東側の2箇所に分結した破碎部が認められ、細粒な碎屑岩と径数cmの安山岩亜角～亜円礫からなり、高角な帯状の方向に沿った塑性流動状の構造が認められる。  
 ・西側の破碎部は、下側法面から小段にかけて高角な帯状に分布する。幅10～20cmであり、上部へ向かって幅40cm程度まで膨らむ。下側法面の中～下部では、複数の低角な割れ目※によって左にズラされている。この破碎部は小段の途中で2条に分岐してせん滅する。走向・傾斜はN22° W/72° SWで、S-8と概ね調和的である。  
 ・東側の破碎部は、下側法面の途中から上側法面にかけて高角な帯状に分布する。全体的に不明瞭で幅10～40cmで膨縮し、下側法面の途中から上側法面にかけて分布し、岩盤上面まで認められるが、岩盤上面に高度差は認められない。走向・傾斜はN12° W/86° SWで、S-8と概ね調和的である。

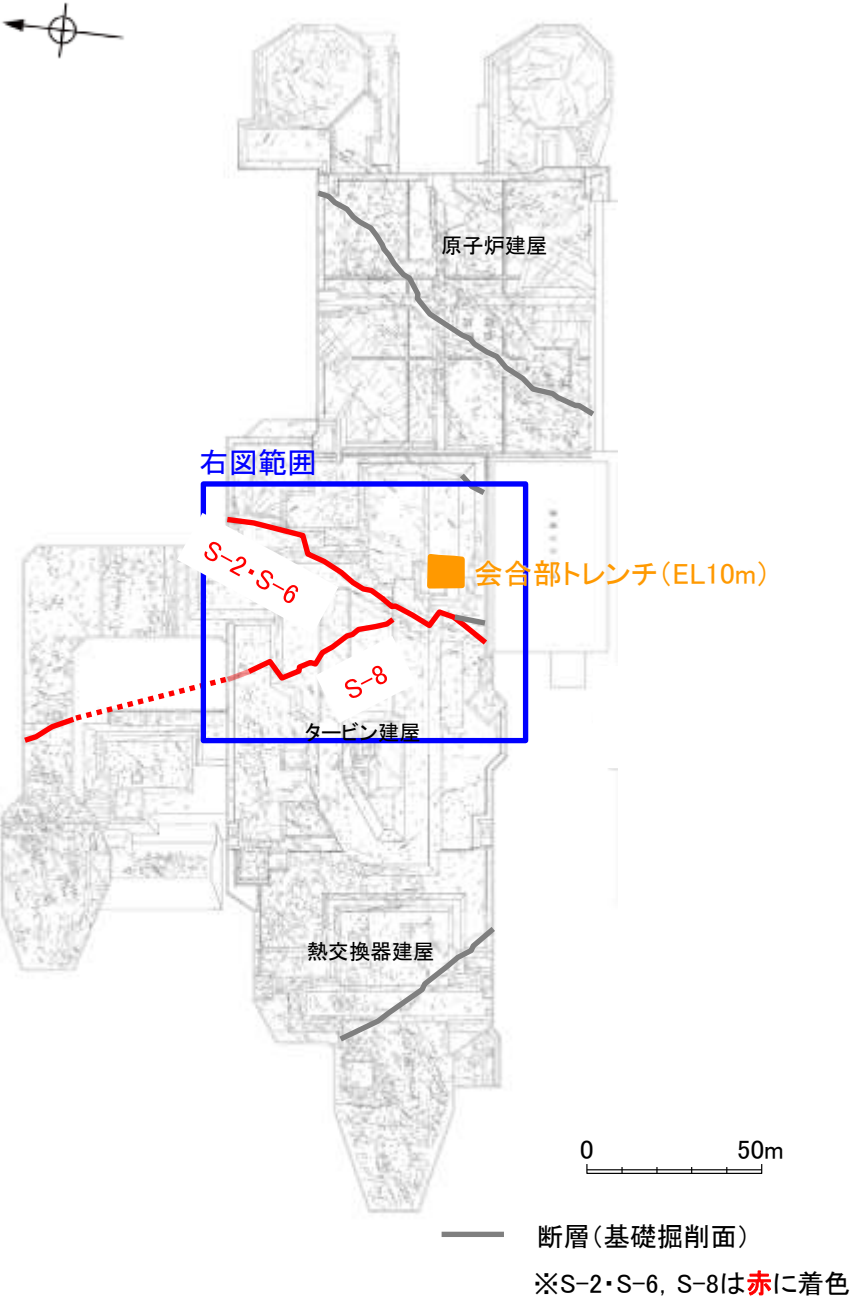


・周回道路北側法面表土はぎにおいて認められる2箇所の固結した破碎部は、破碎部の性状や走向・傾斜等からS-8に対応すると判断される。  
 ・西側の破碎部は岩盤中で消失し、東側の破碎部は岩盤上面まで認められるが、岩盤上面に高度差は認められない。

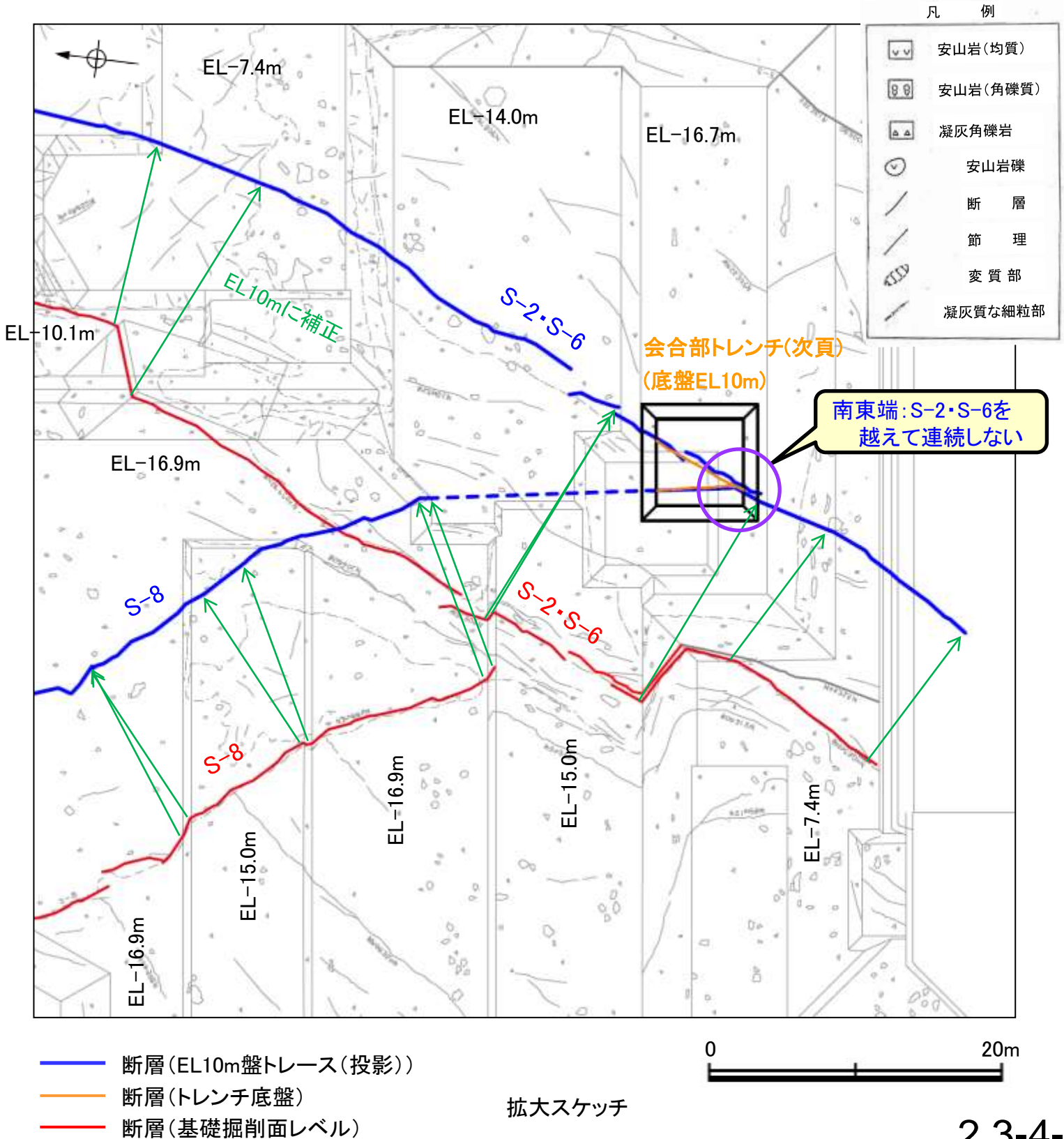
# S-8端部の評価 —南東端:2号機基礎掘削面及び会合部トレンチ①—

■S-8南東端の評価を以下に示す。

**【S-8南東端の評価】**  
2号機基礎掘削面及び会合部トレンチにおいて、S-8はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。



2号機基礎掘削面

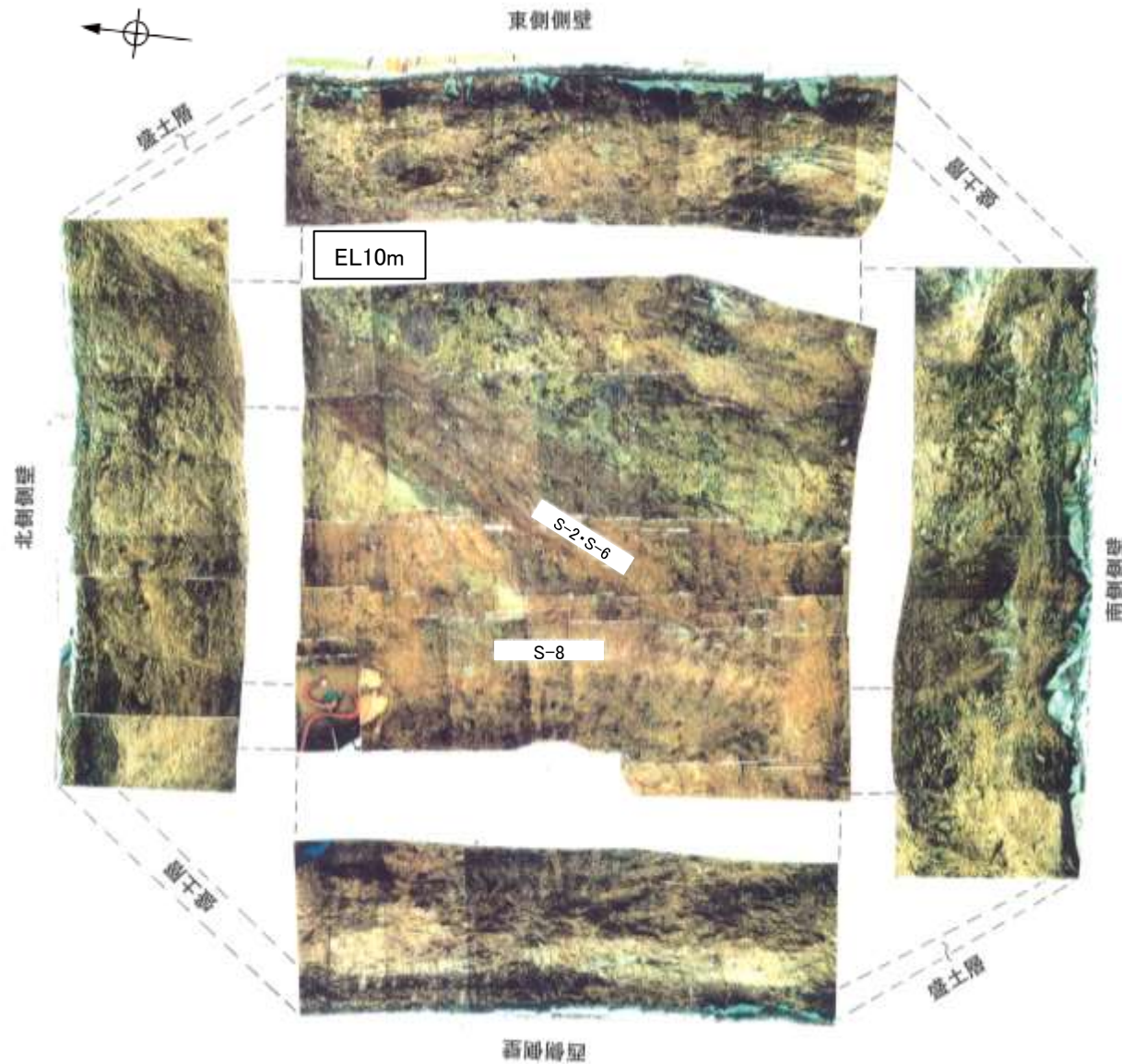


拡大スケッチ

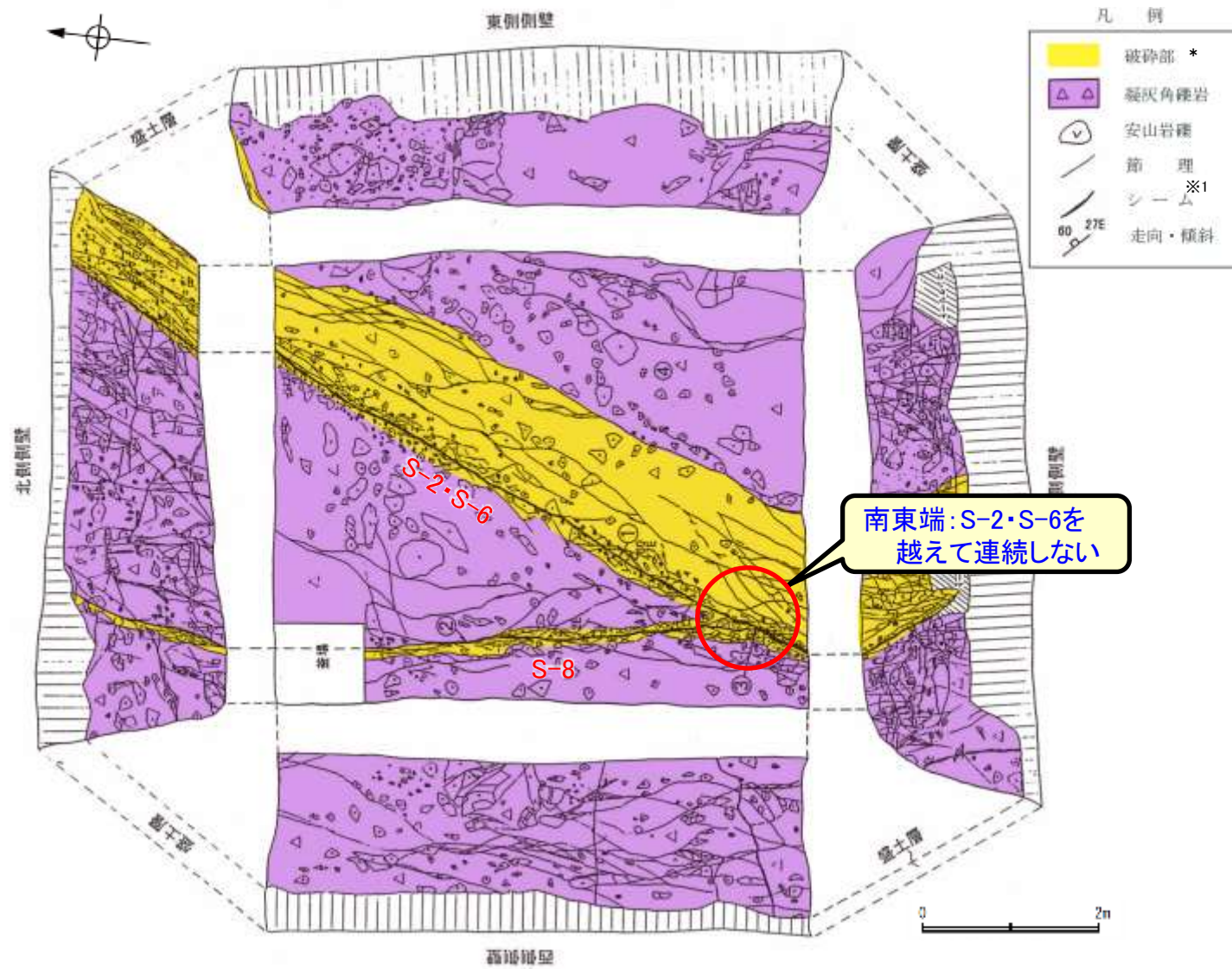


# S-8端部の評価 —南東端:2号機基礎掘削面及び会合部トレンチ②—

○会合部トレンチの調査結果を以下に示す。



会合部トレンチ写真(展開図)



会合部トレンチスケッチ(展開図)  
S-2・S-6とS-8の会合部の状況

※1 スケッチ時の記載用語。  
「粘土状破碎部」に対応する。

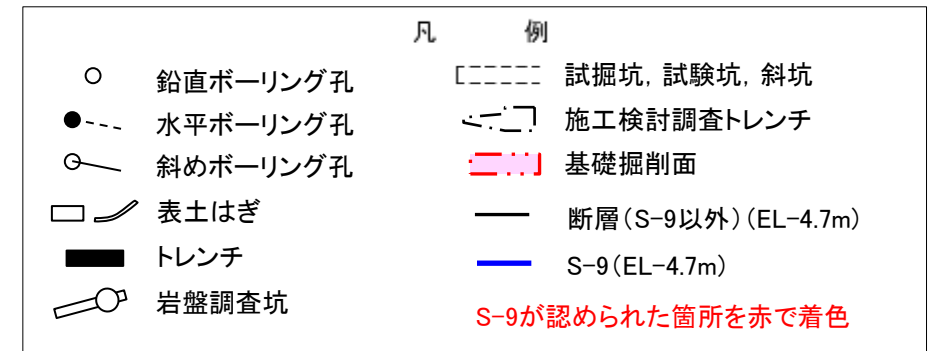
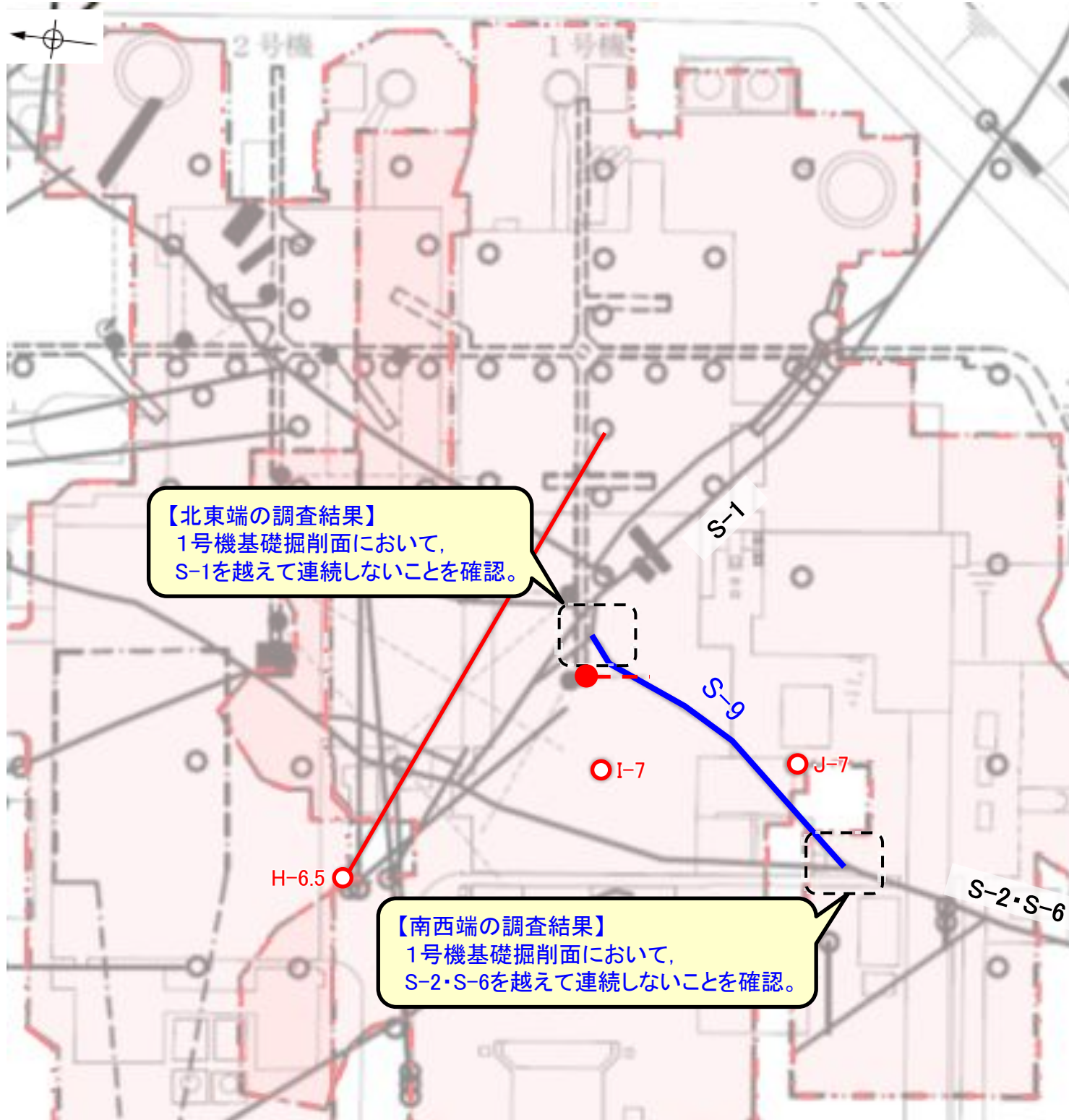
S-8は、S-2・S-6を越えて連続しない。

---

## (7) S-9端部の調査結果

# S-9端部の調査結果 一概要一

■S-9端部の調査結果の概要を以下に示す。

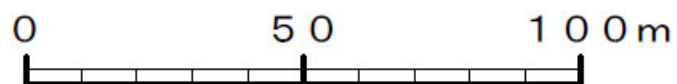


S-9端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北東端	1号機基礎掘削面	北東端の止め
南西端	1号機基礎掘削面	南西端の止め

	延長	走向/傾斜
S-9	85m	N35°E / 50°NW*

\* 走向は一般走向  
傾斜は試掘坑の値



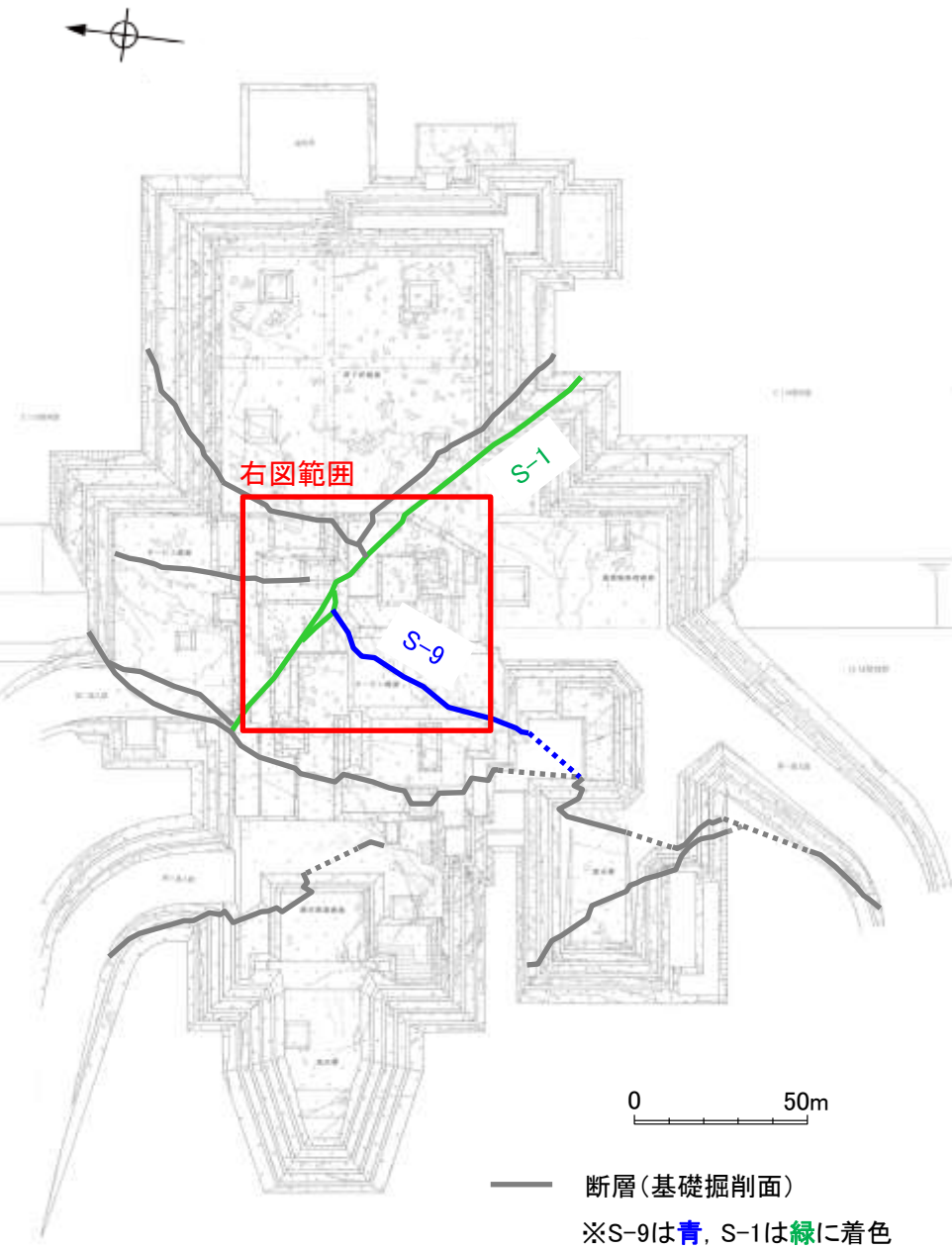
調査位置図

# S-9端部の評価 —北東端：1号機基礎掘削面—

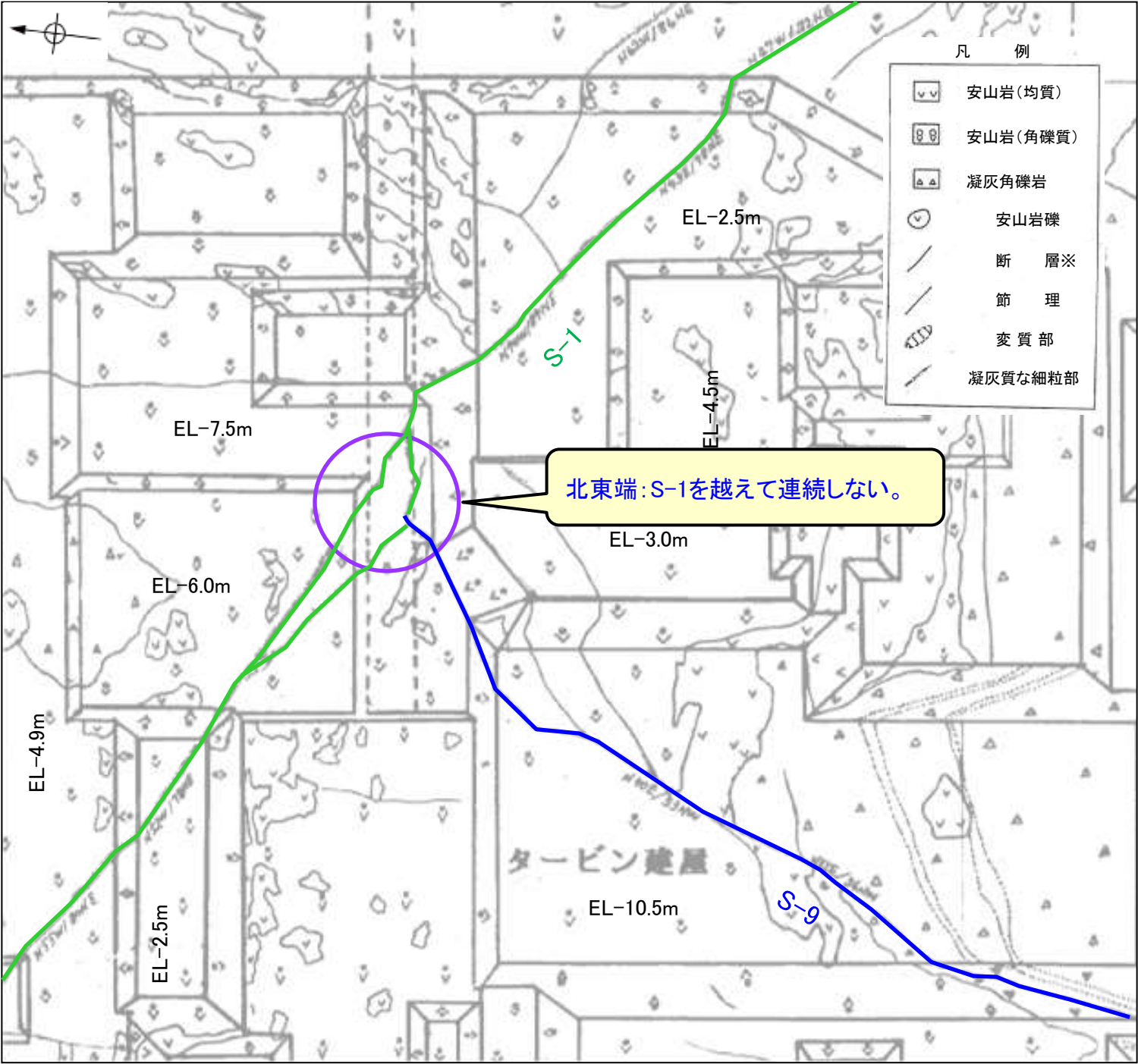
■S-9北東端の評価を以下に示す。

**【S-9北東端の評価】**  
1号機基礎掘削面において、S-9はS-1を越えて連続しないことを確認。

※S-9は青, S-1は緑に着色



1号機基礎掘削面



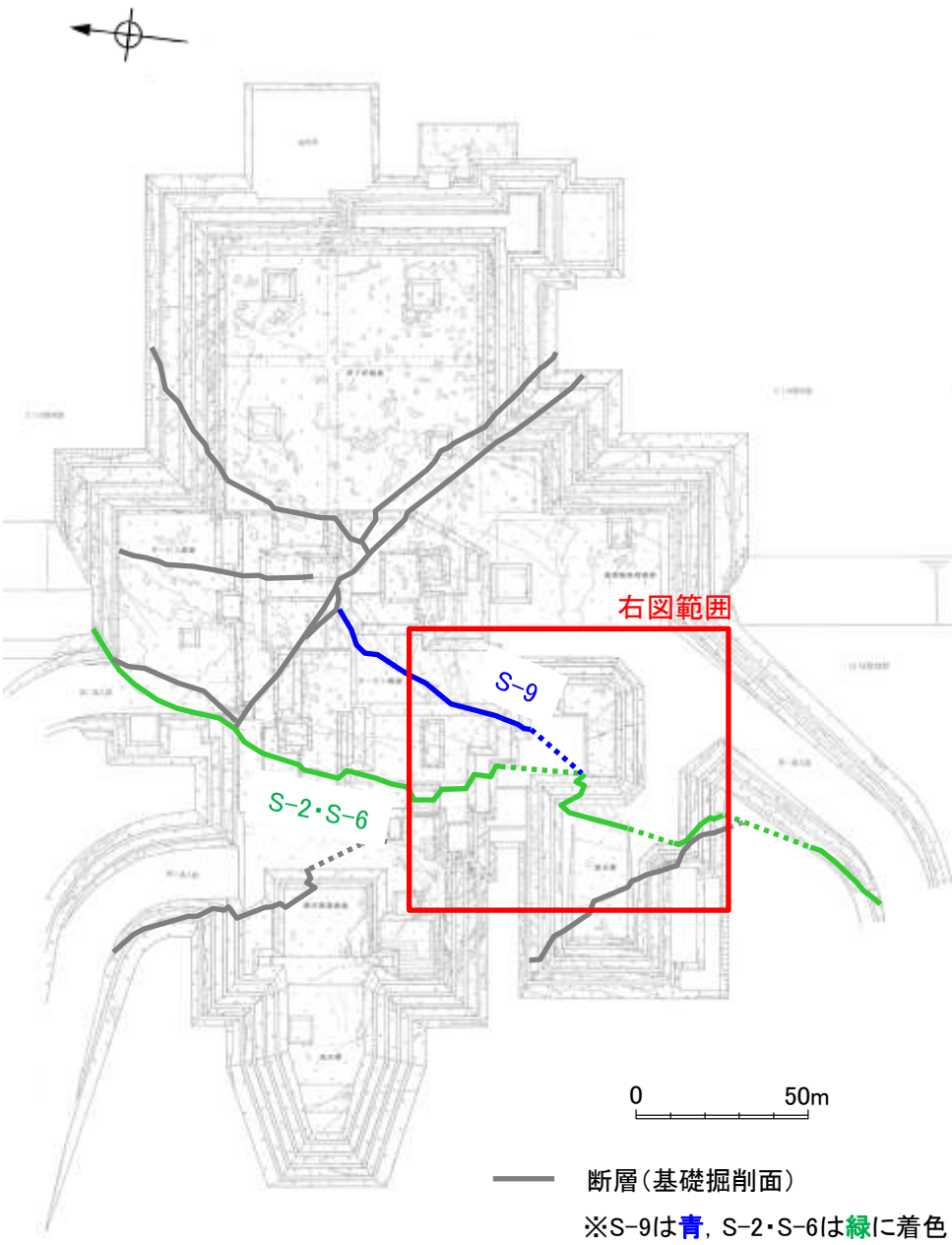
拡大スケッチ

# S-9端部の評価 — 南西端：1号機基礎掘削面 —

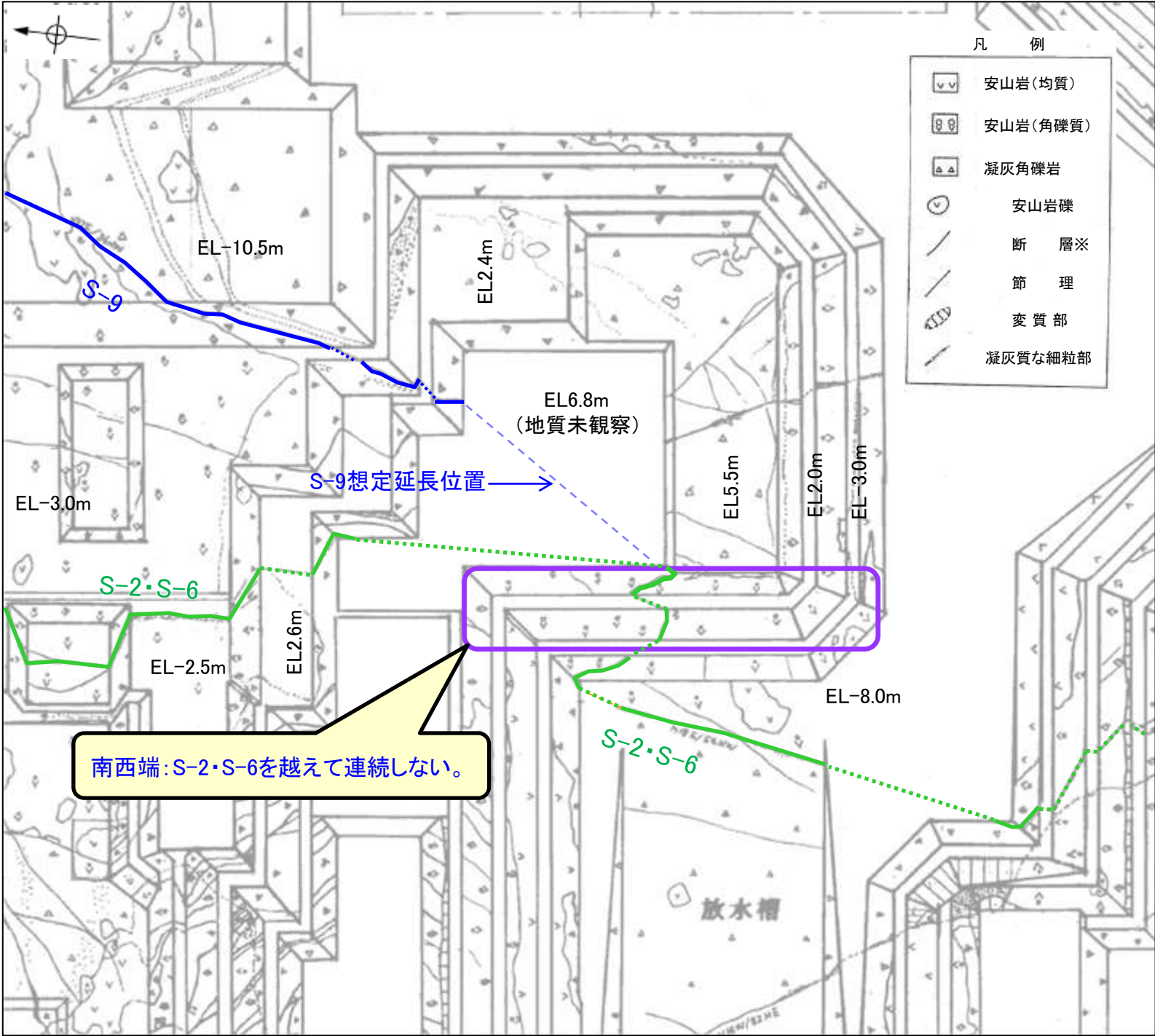
■S-9南西端の評価を以下に示す。

**【S-9南西端の評価】**  
1号機基礎掘削面において、S-9はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。

※S-9は青, S-2・S-6は緑に着色



1号機基礎掘削面



拡大スケッチ

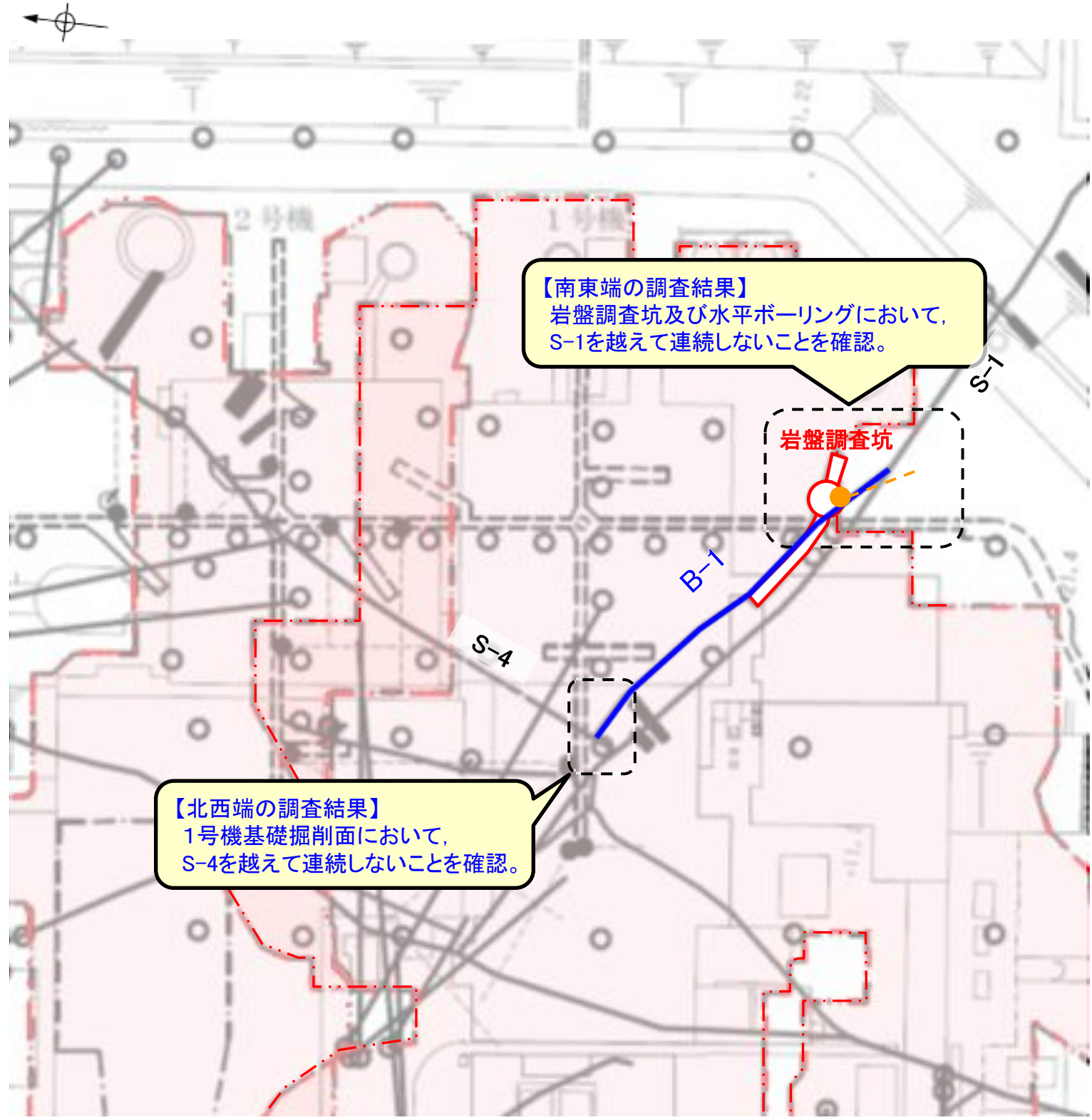


---

## (8) B-1端部の調査結果

# B-1端部の調査結果 ー概要ー

■B-1端部の調査結果の概要を以下に示す。



**【南東端の調査結果】**  
岩盤調査坑及び水平ボーリングにおいて、  
S-1を越えて連続しないことを確認。

岩盤調査坑

**【北西端の調査結果】**  
1号機基礎掘削面において、  
S-4を越えて連続しないことを確認。

凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- 水平ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- 表土はぎ
- トレンチ
- 岩盤調査坑
- 試掘坑, 試験坑, 斜坑
- 施工検討調査トレンチ
- 基礎掘削面
- 断層(B-1以外)(EL-4.7m)
- B-1(EL-4.7m)

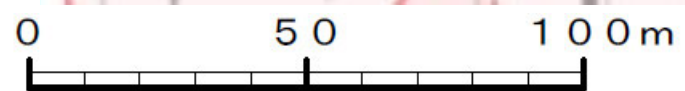
B-1が認められた箇所を赤で着色  
B-1端部においてB-1が認められない箇所を橙で着色

B-1端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北西端	1号機基礎掘削面	北西端の止め
南東端	岩盤調査坑及び水平ボーリング	南東端の止め

	延長	走向/傾斜
B-1	100m	N49° W / 86° NE*

\* 走向は一般走向  
傾斜は基礎掘削面の値

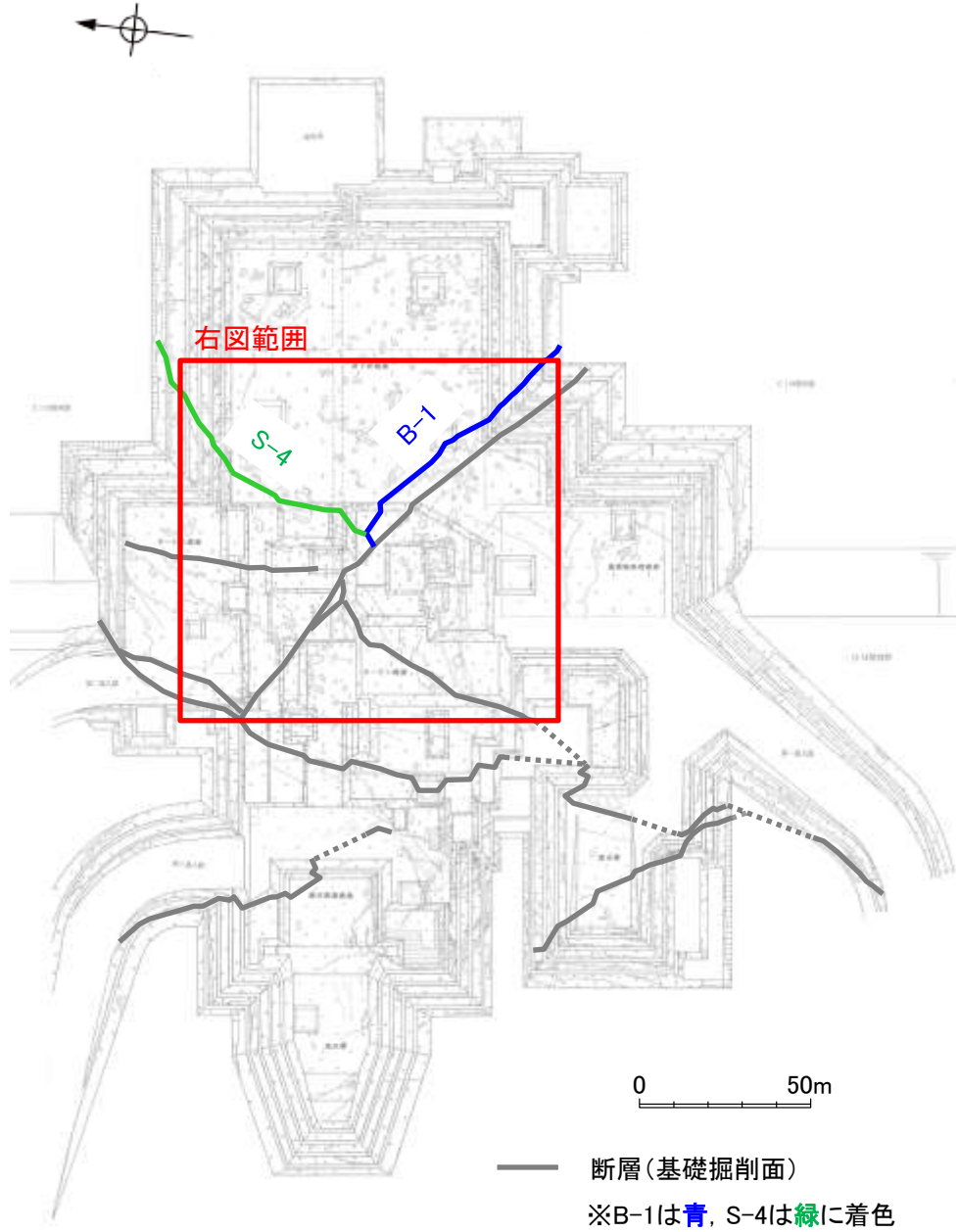


調査位置図

# B-1端部の評価 —北西端：1号機基礎掘削面—

■B-1北西端の評価を以下に示す。

**【B-1北西端の評価】**  
1号機基礎掘削面において、B-1はS-4を越えて連続しないことを確認。



1号機基礎掘削面



凡 例

	安山岩（均質）
	安山岩（角礫質）
	凝灰角礫岩
	安山岩礫
	断 層※
	節 理
	変 質 部
	凝灰質な細粒部

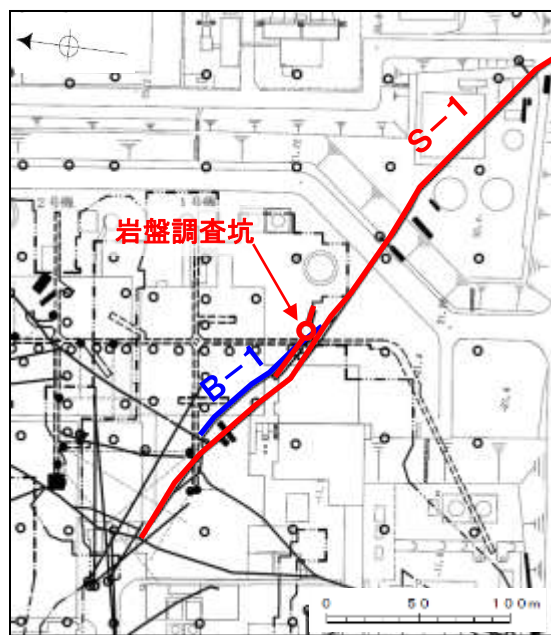
拡大スケッチ



# B-1端部の評価 —南東端：岩盤調査坑及び水平ボーリング①—

■B-1南東端の評価を以下に示す。

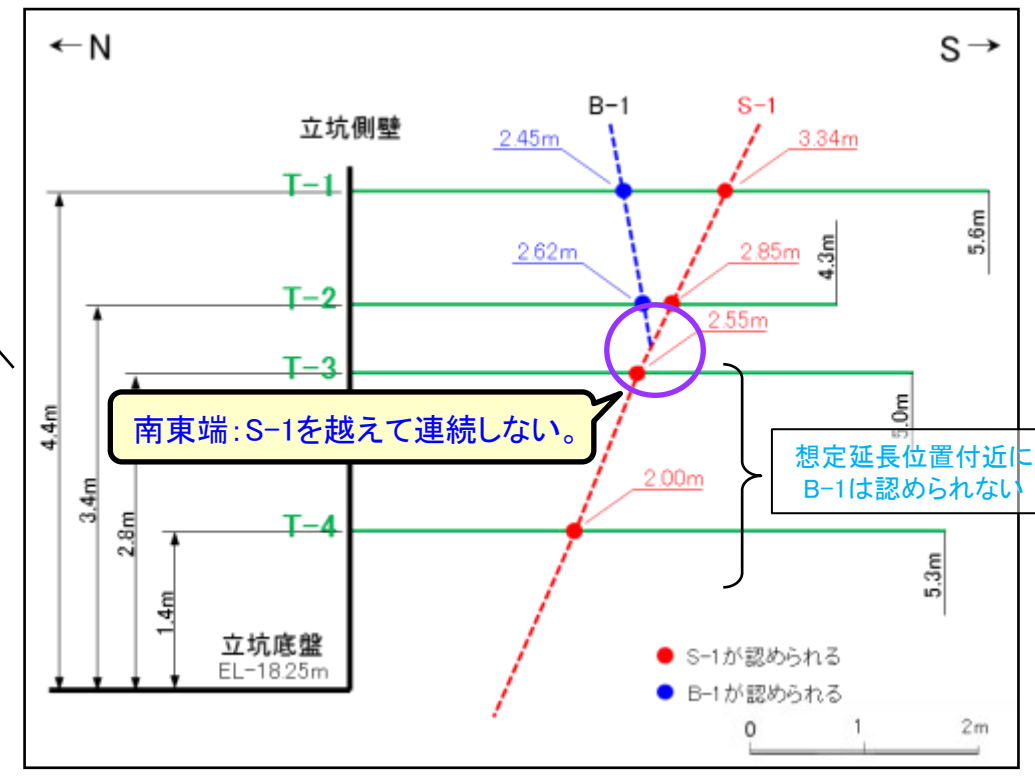
**【B-1南東端の評価】**  
岩盤調査坑及び水平ボーリングにおいて、B-1はS-1を越えて連続しないことを確認。



位置図



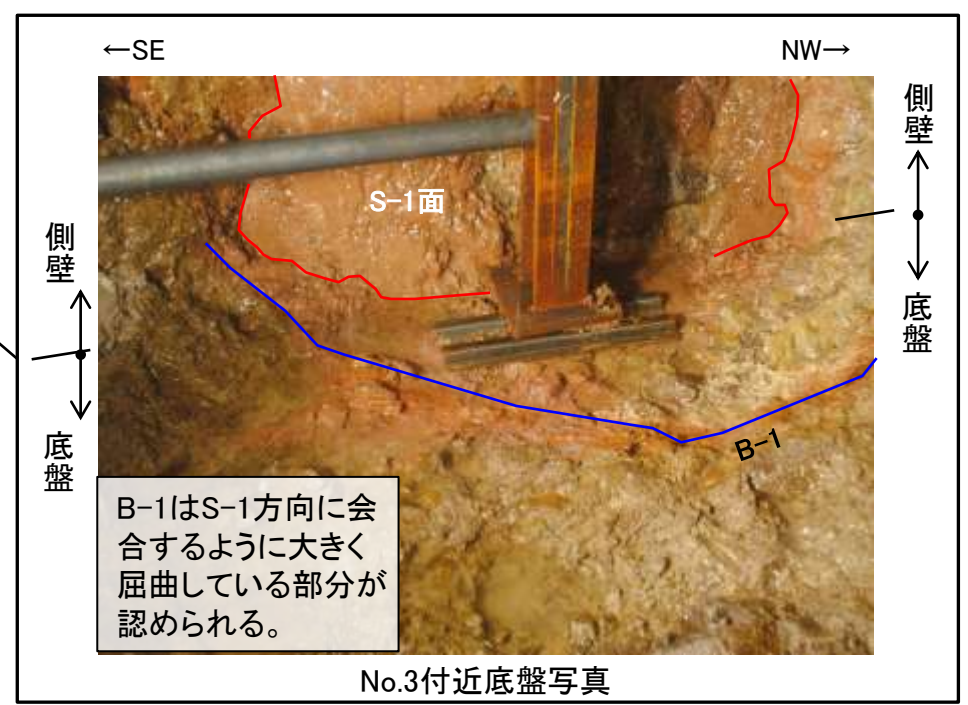
岩盤調査坑  
ボーリング調査位置図



南東端：S-1を越えて連続しない。

想定延長位置付近に  
B-1は認められない

T測線水平ボーリング 断面図 (H:V=1:1)  
(各孔のボーリングコア写真を次頁以降に示す)



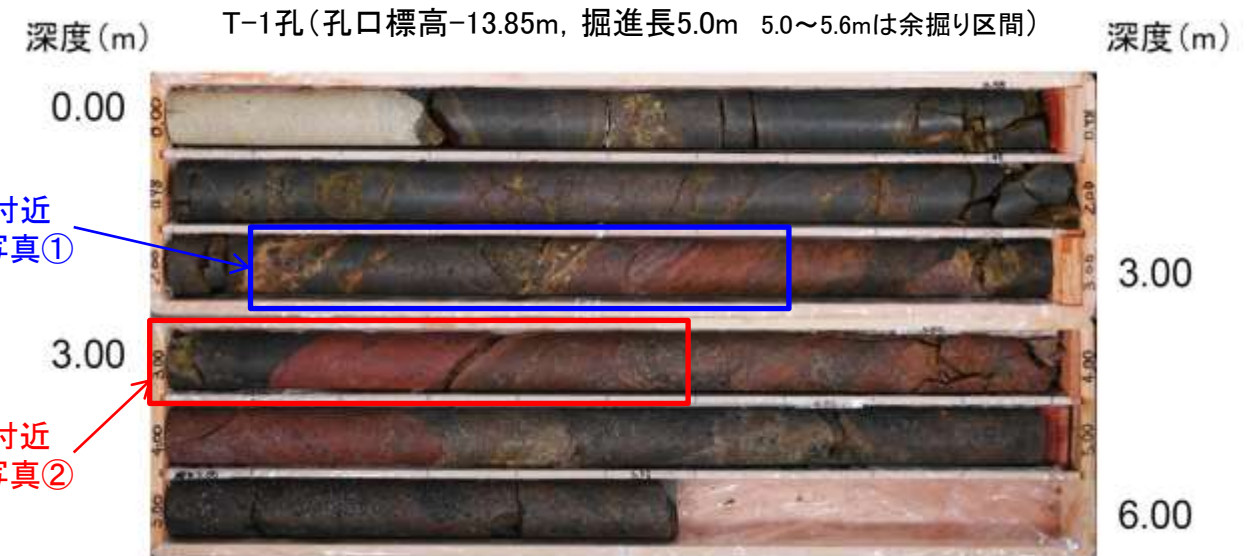
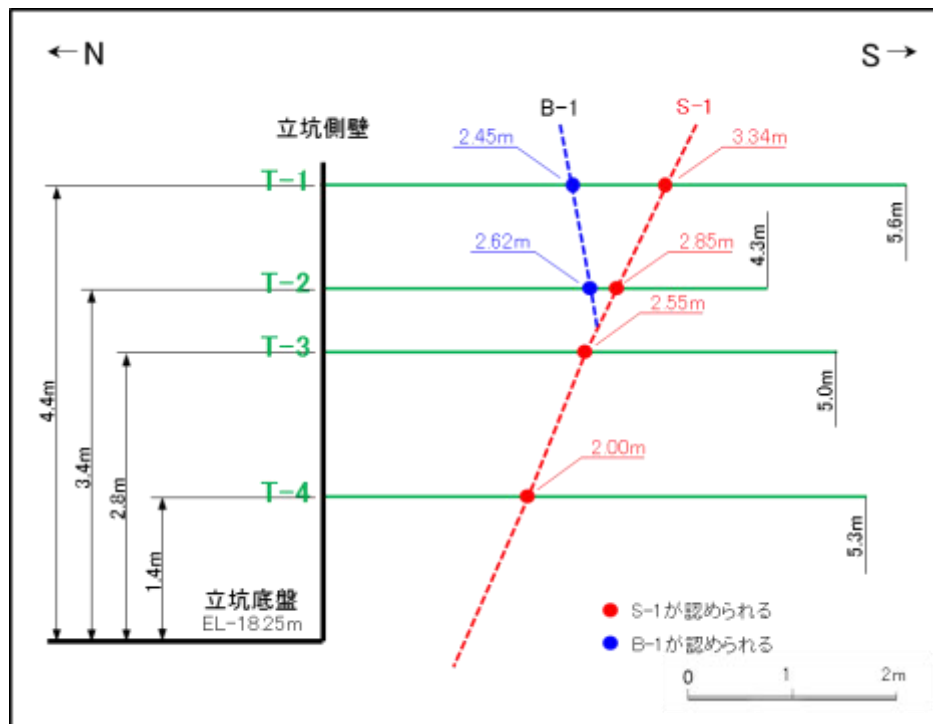
B-1はS-1方向に会  
合するように大きく  
屈曲している部分が  
認められる。

No.3付近底盤写真

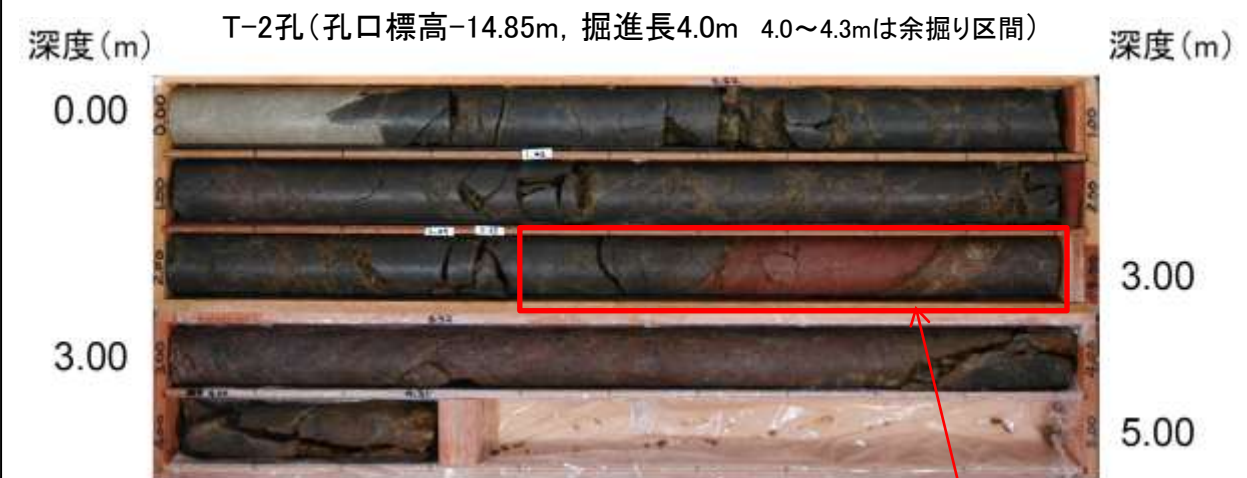
# B-1端部の評価 —南東端：岩盤調査坑及び水平ボーリング②—

## 水平ボーリング(T-1孔, T-2孔) コア写真

柱状図はデータ集1



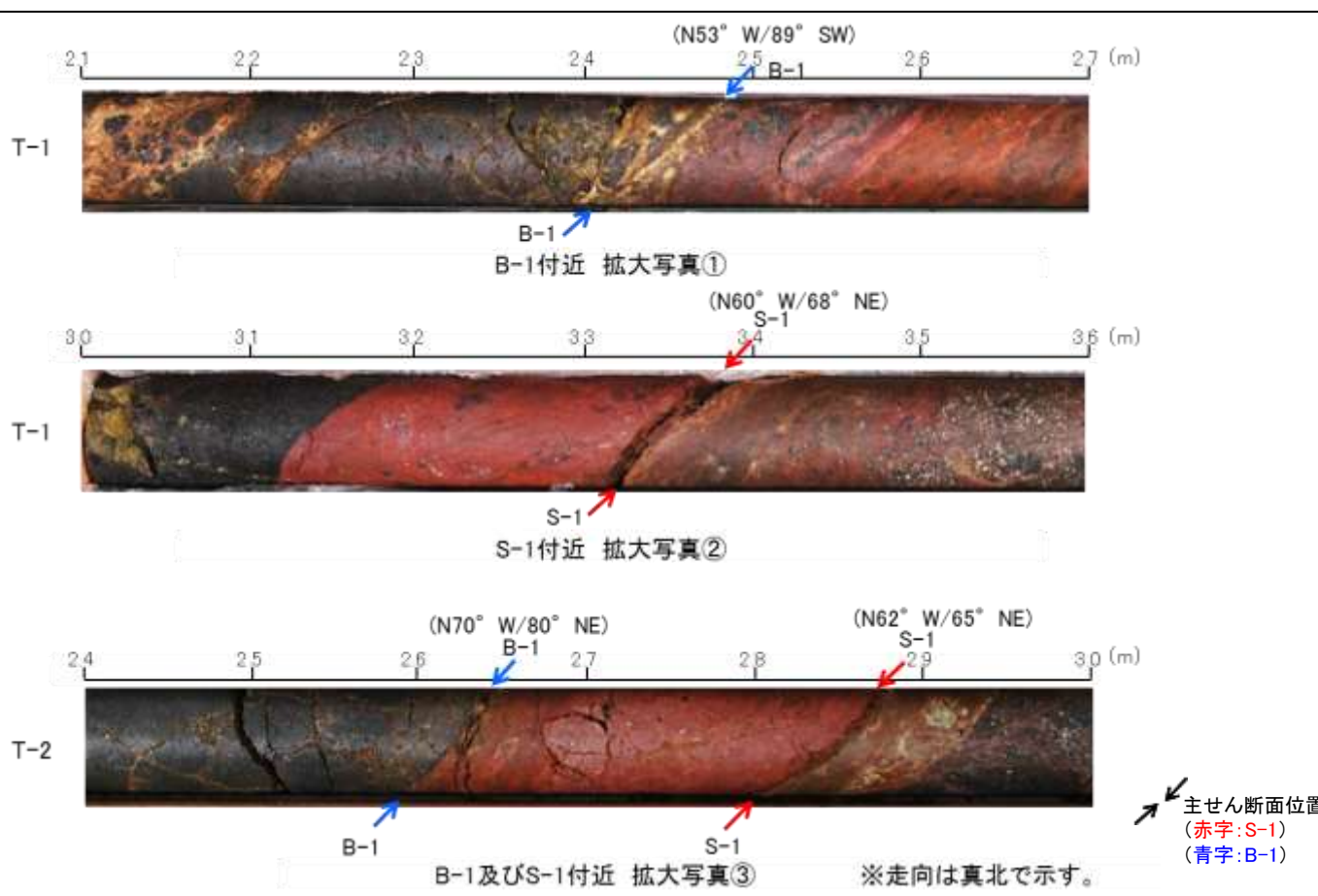
コア写真(T-1孔)



コア写真(T-2孔)

B-1及びS-1付近  
拡大写真③

T-1, T-2孔においてS-1とその上盤側にB-1が認められる。

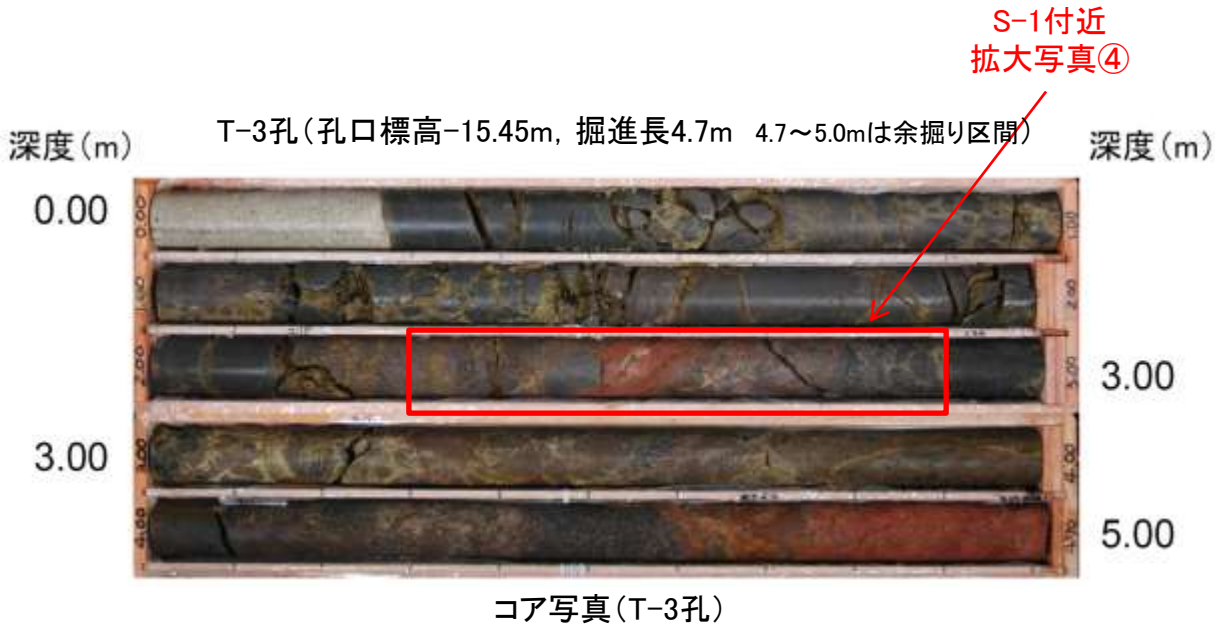
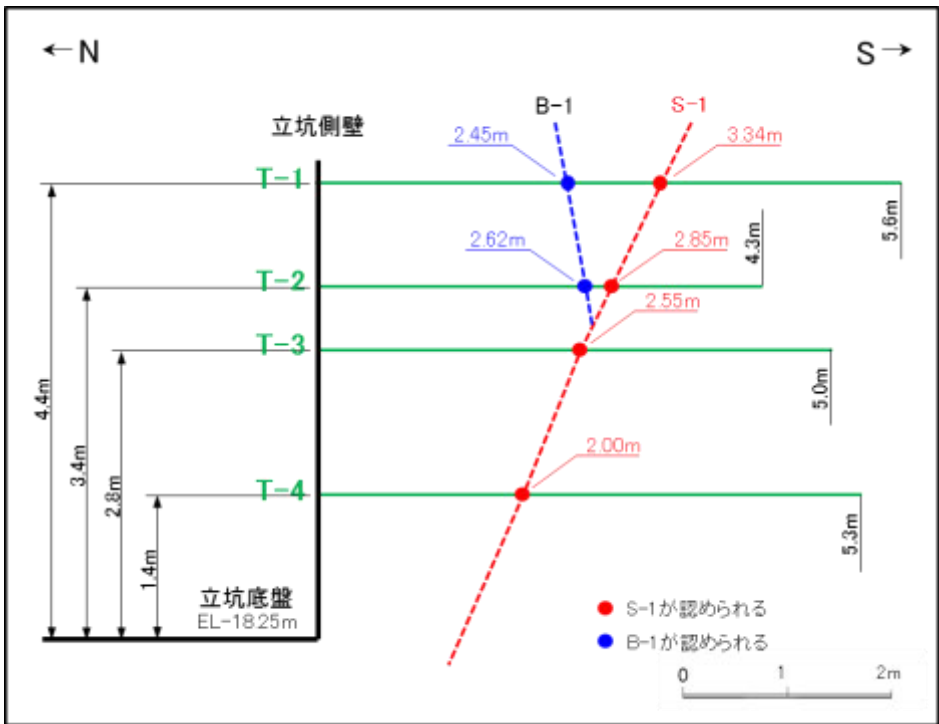


主せん断面位置  
(赤字:S-1)  
(青字:B-1)

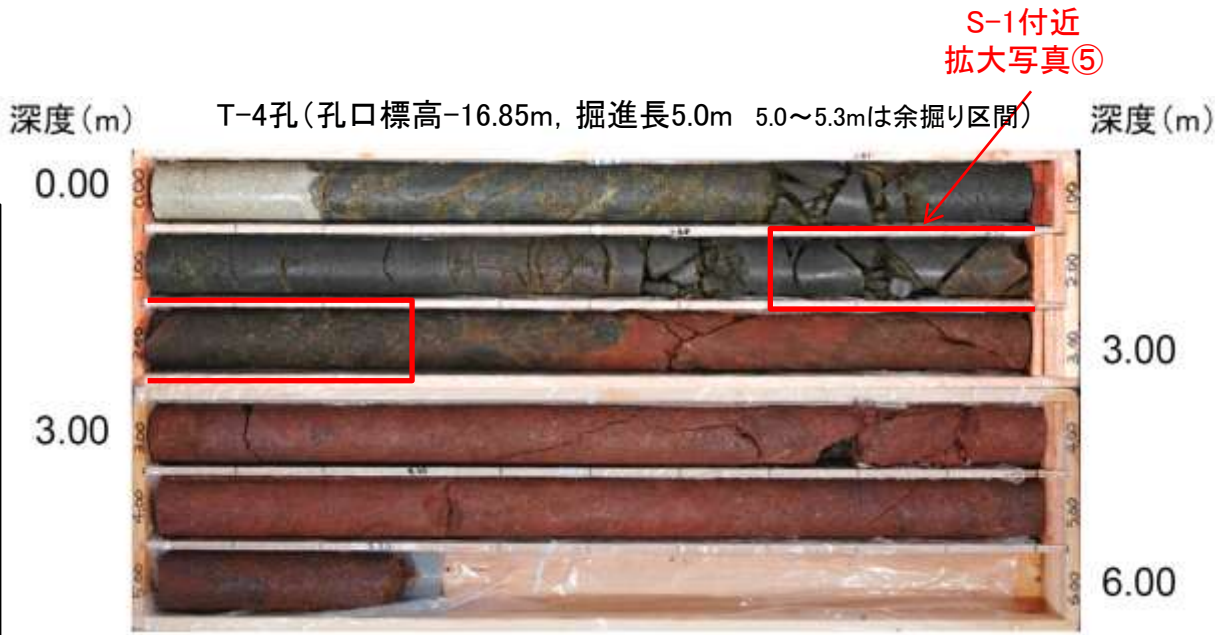
B-1端部の評価 ー南東端：岩盤調査坑及び水平ボーリング③ー

水平ボーリング(T-3孔, T-4孔) コア写真

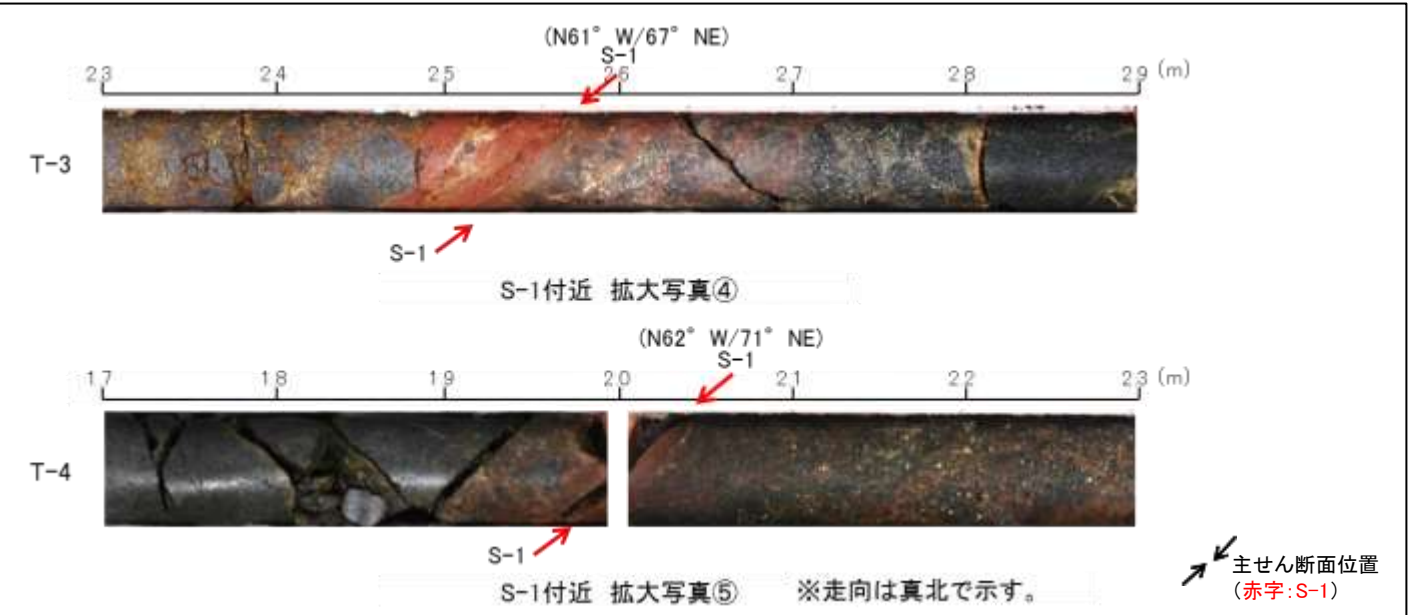
柱状図はデータ集1



コア写真(T-3孔)



コア写真(T-4孔)



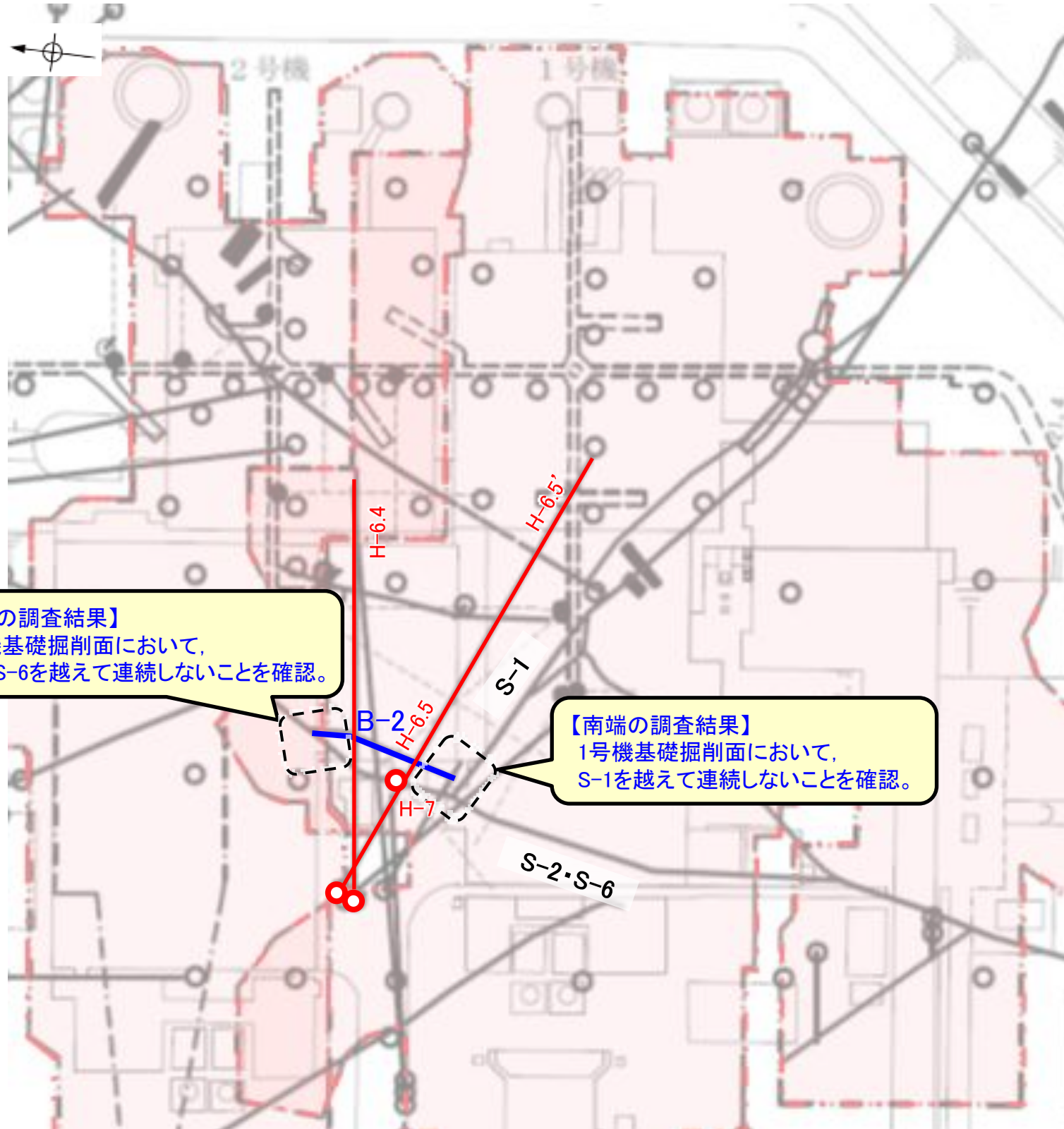
T-3, T-4孔においてS-1が認められるものの、その下盤側にB-1は認められない。

---

## (9) B-2端部の調査結果

# B-2端部の調査結果 ー概要ー

■B-2端部の調査結果の概要を以下に示す。



**【北端の調査結果】**  
2号機基礎掘削面において、  
S-2・S-6を越えて連続しないことを確認。

**【南端の調査結果】**  
1号機基礎掘削面において、  
S-1を越えて連続しないことを確認。

- 凡 例
- 鉛直ボーリング孔
  - 水平ボーリング孔
  - 斜めボーリング孔
  - 表土はぎ
  - トレンチ
  - 岩盤調査坑
  - 試掘坑, 試験坑, 斜坑
  - 施工検討調査トレンチ
  - 基礎掘削面
  - 断層(B-2以外)(EL-4.7m)
  - B-2(EL-4.7m)
  - B-2が認められた箇所を赤で着色

B-2端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	2号機基礎掘削面	北端の止め
南端	1号機基礎掘削面	南端の止め

	延長	走向/傾斜
B-2	50m	N12° E / 60° NW*

\* 走向は一般走向  
傾斜は基礎掘削面の値

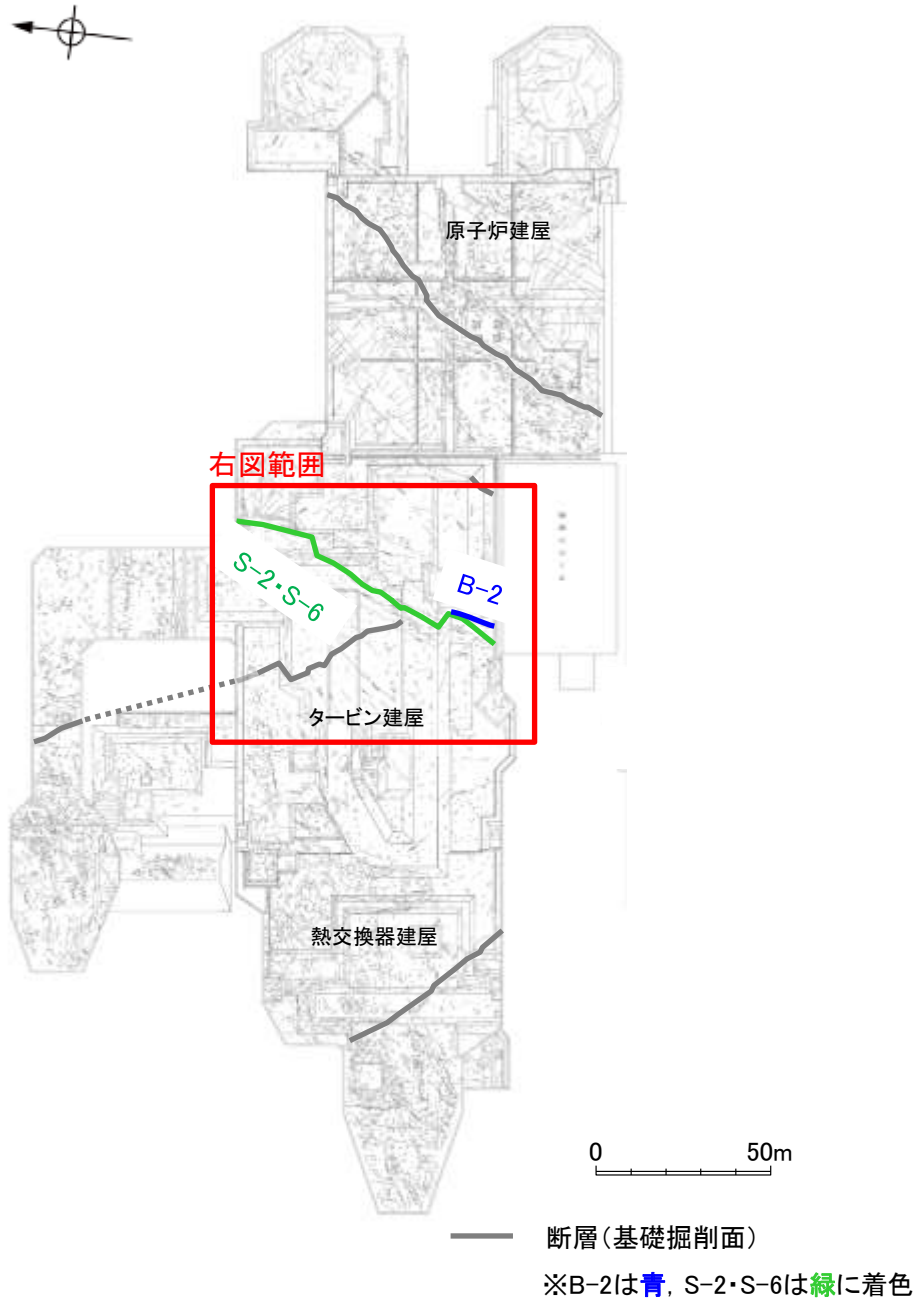
調査位置図

# B-2端部の評価 — 北端：2号機基礎掘削面 —

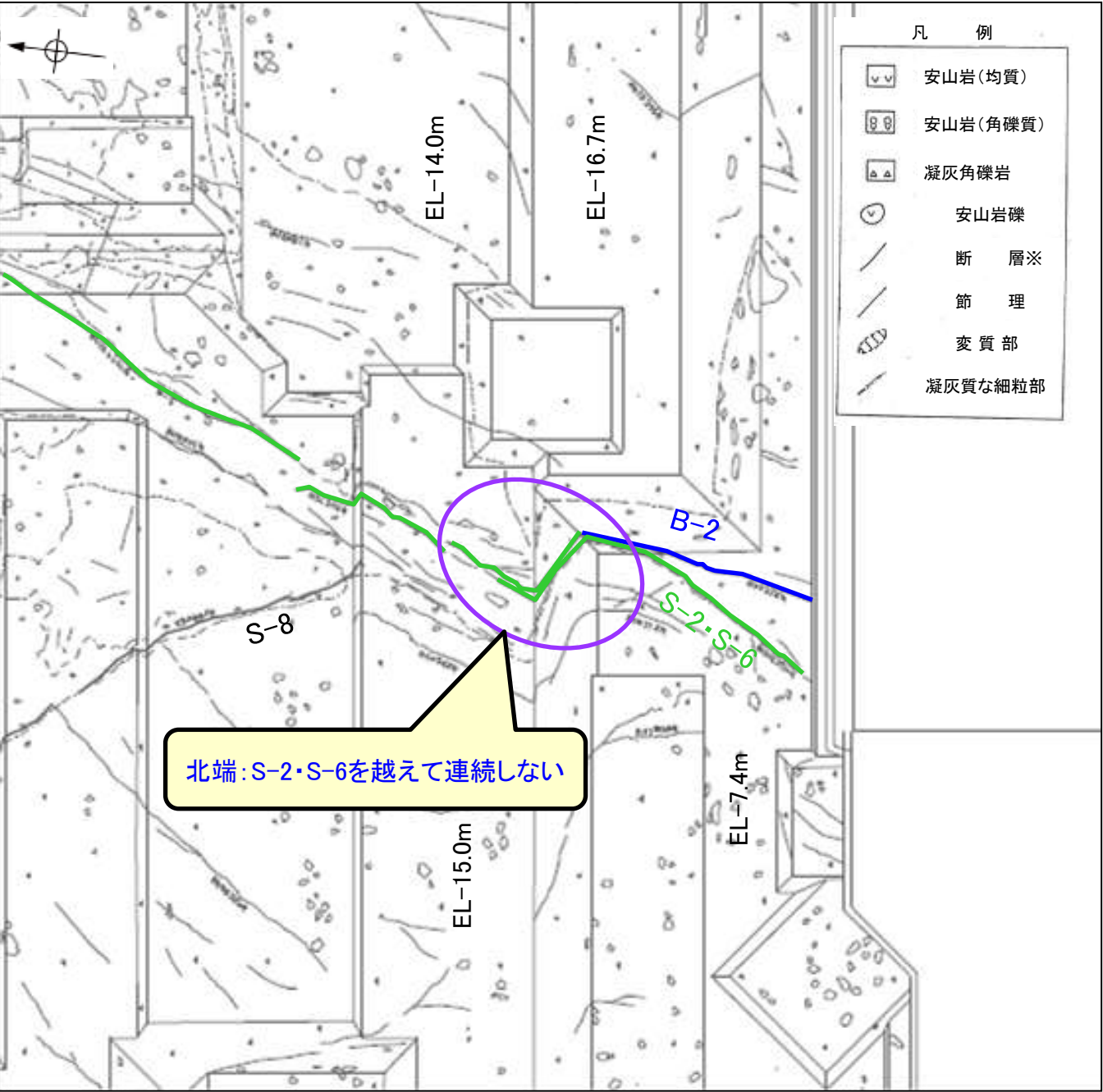
■B-2北端の調査結果を以下に示す。

**【B-2北端の評価】**  
2号機基礎掘削面において、B-2はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。

※B-2は青、S-2・S-6は緑に着色



2号機基礎掘削面

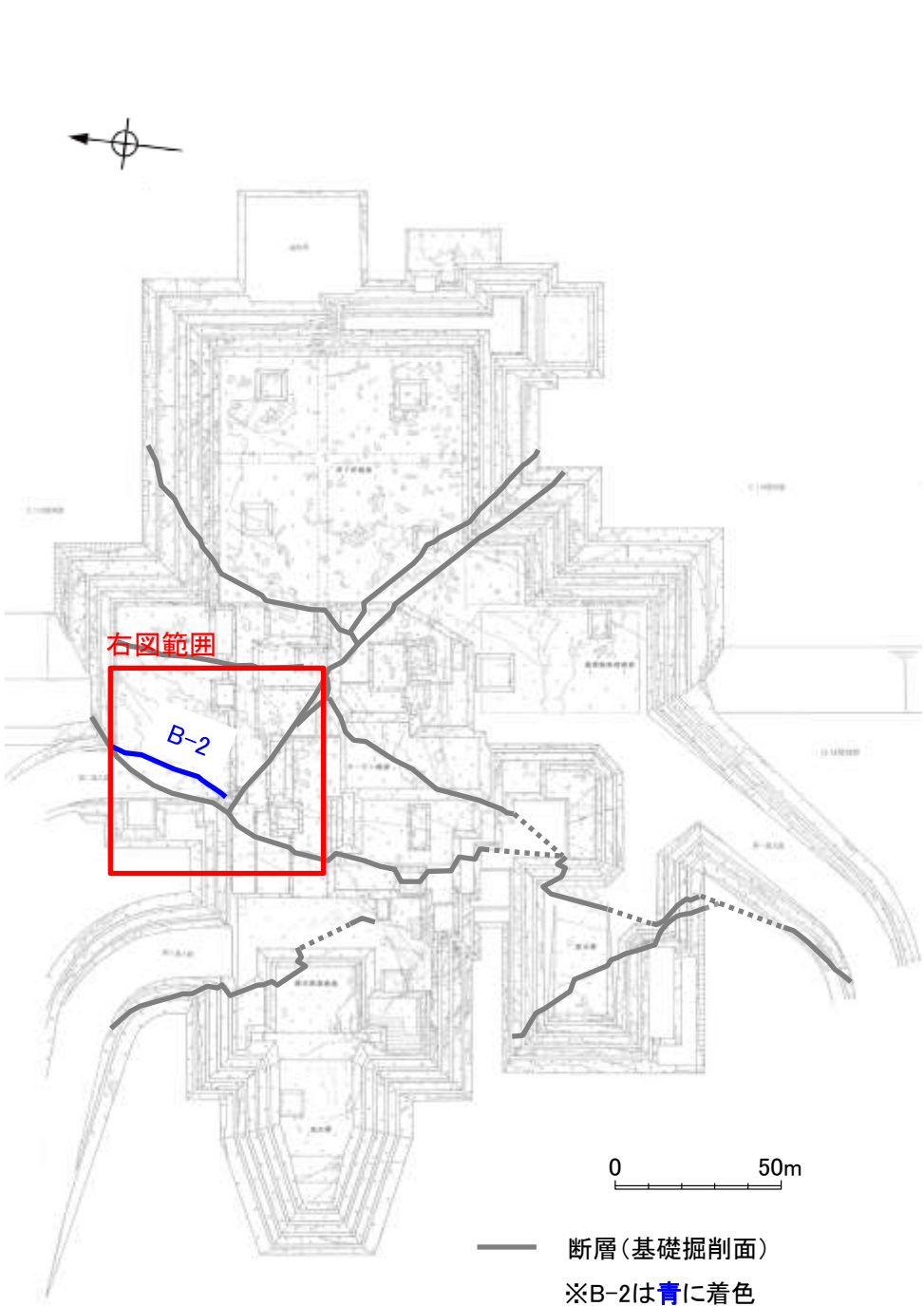


拡大スケッチ

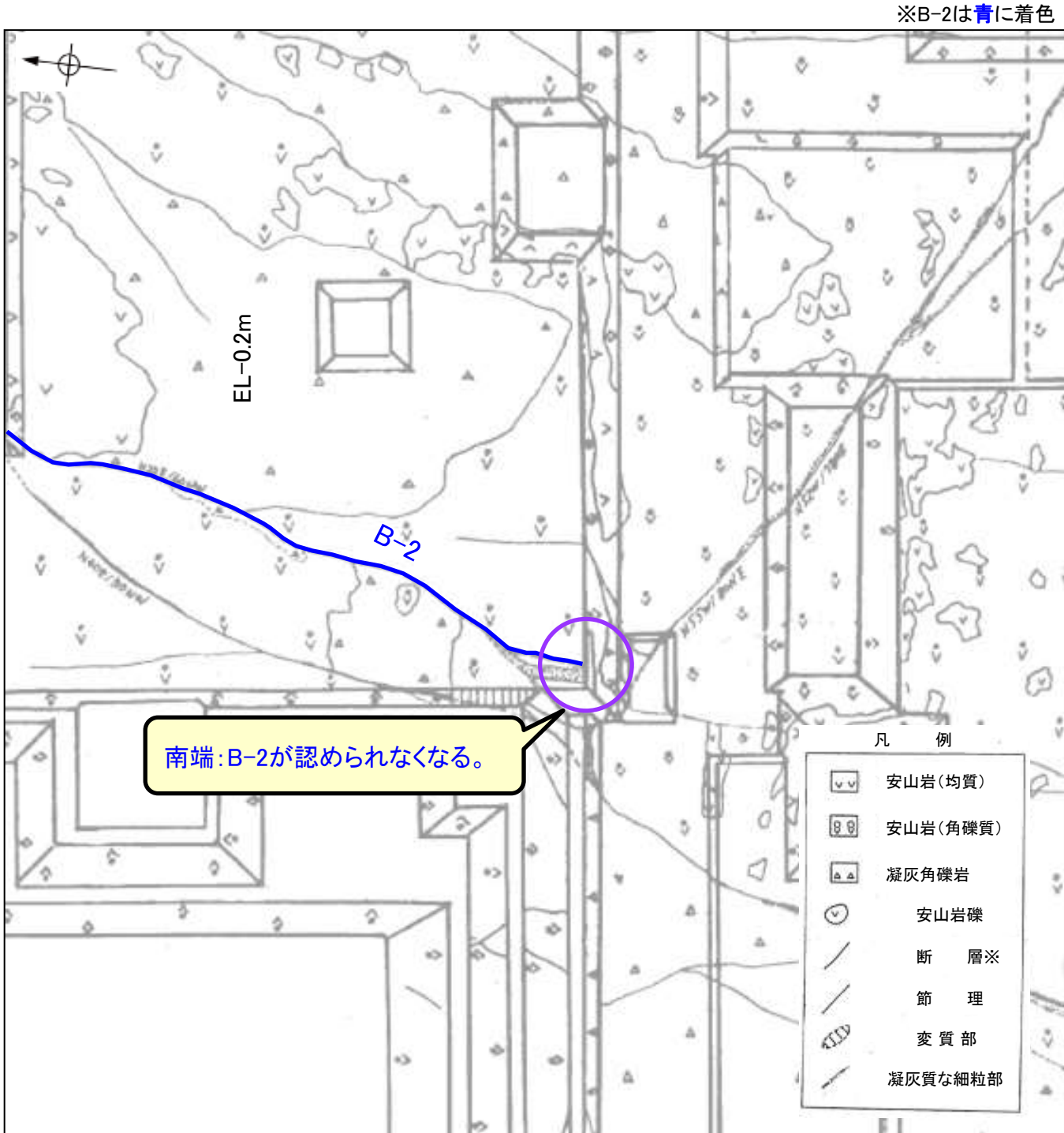
# B-2端部の評価 —南端：1号機基礎掘削面—

■B-2南端の評価を以下に示す。

**【B-2南端の評価】**  
1号機基礎掘削面において、B-2が認められなくなることを確認。



1号機基礎掘削面



拡大スケッチ



---

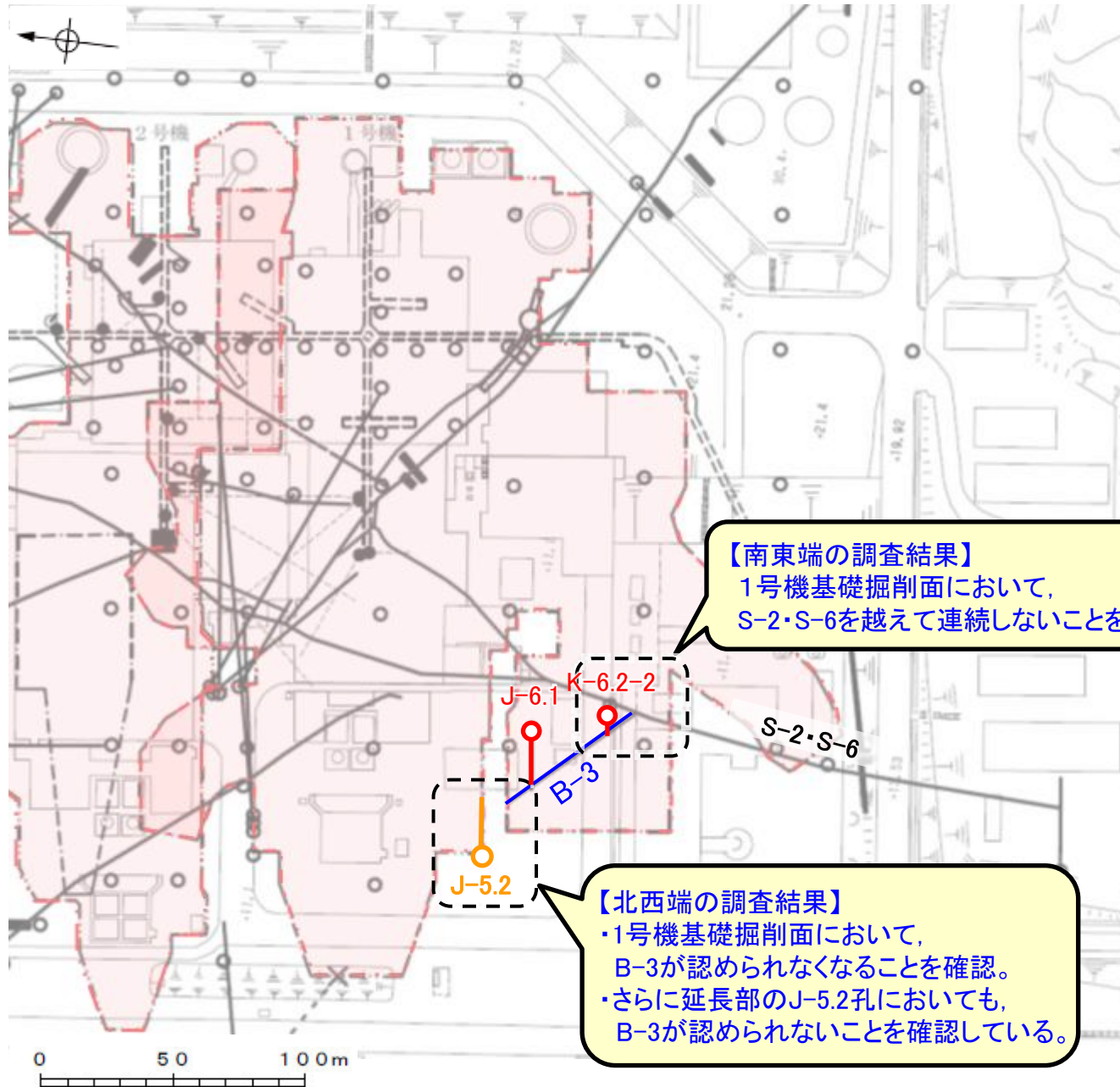
## (10) B-3端部の調査結果



# B-3端部の調査結果 一概要一

■B-3端部の調査結果の概要を以下に示す。

凡 例			
○	鉛直ボーリング孔	□	試掘坑, 試験坑, 斜坑
●	水平ボーリング孔	└─┘	施工検討調査トレンチ
○	斜めボーリング孔	▬	基礎掘削面
□	表土はぎ	—	断層(B-3以外)(EL-4.7m)
■	トレンチ	—	B-3(EL-4.7m)
○	岩盤調査坑		B-3が認められた箇所を赤で着色
			B-3端部においてB-3が認められない箇所を橙で着色



**【南東端の調査結果】**  
1号機基礎掘削面において、  
S-2・S-6を越えて連続しないことを確認。

**【北西端の調査結果】**  
・1号機基礎掘削面において、  
B-3が認められなくなることを確認。  
・さらに延長部のJ-5.2孔においても、  
B-3が認められないことを確認している。

調査位置図

B-3端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北西端	1号機基礎掘削面	北西端の止め
	J-5.2孔	さらに延長部の止め
南東端	1号機基礎掘削面	南東端の止め

	長さ	走向/傾斜
B-3	60m	N42°W / 82°NE*

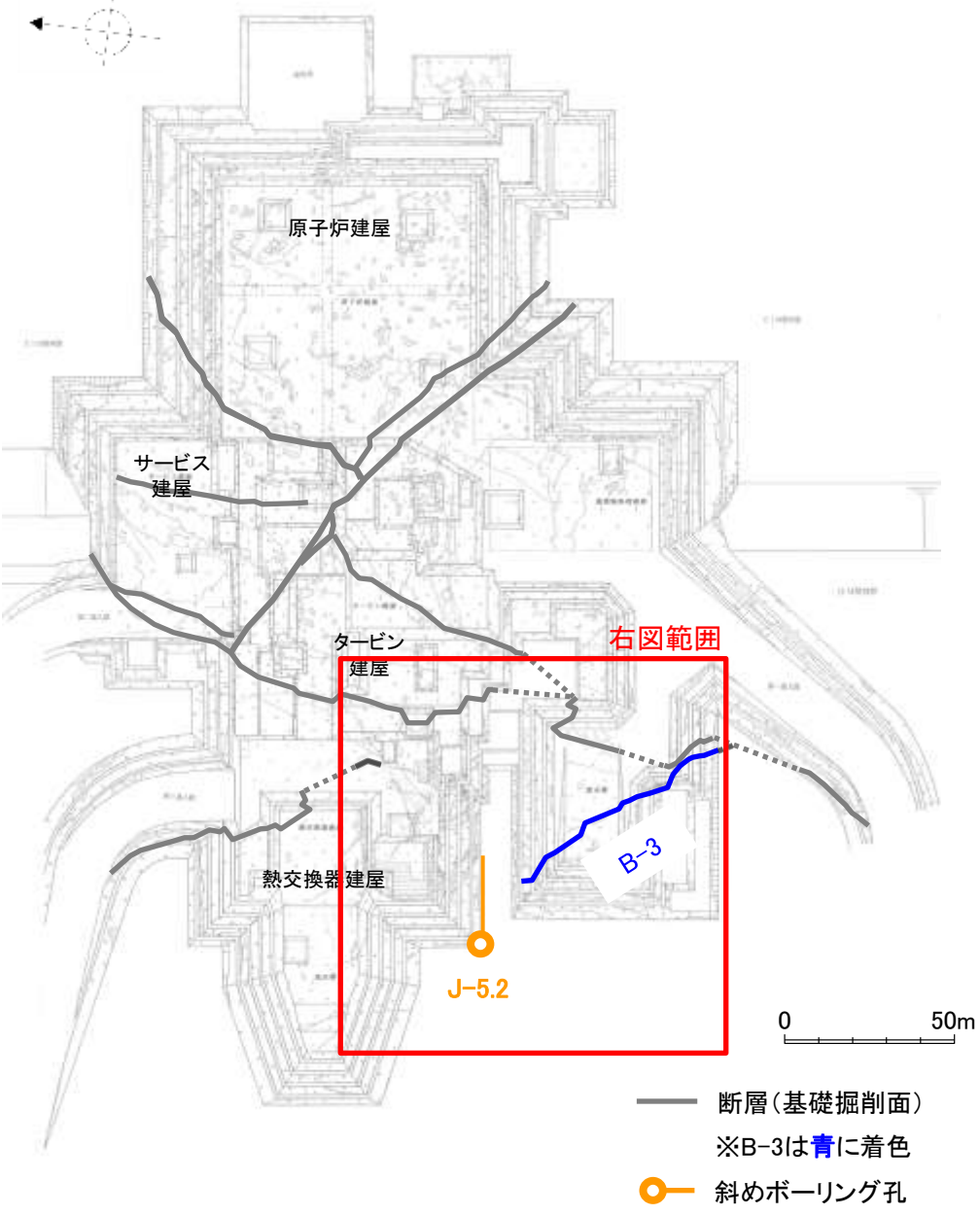
\* 走向は一般走向  
傾斜は基礎掘削面の値

# B-3端部の調査結果 —北西端:1号機基礎掘削面—

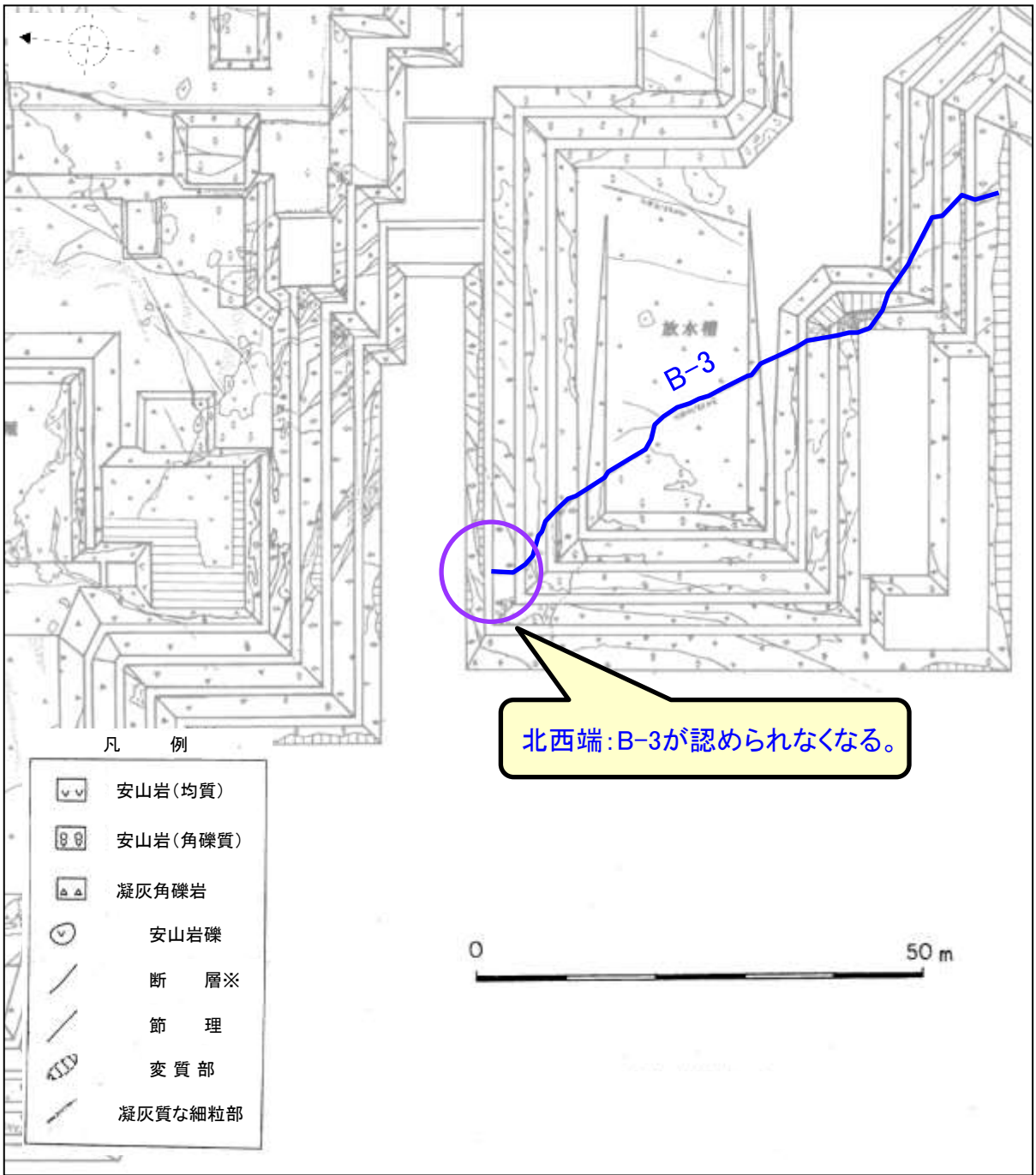
■B-3北西端の調査結果を以下に示す。

**【B-3北西端の調査結果】**  
 ・1号機基礎掘削面において、B-3が認められなくなることを確認。  
 ・さらに延長部のJ-5.2孔においても、B-3が認められないことを確認している。

※B-3は青に着色



1号機基礎掘削面



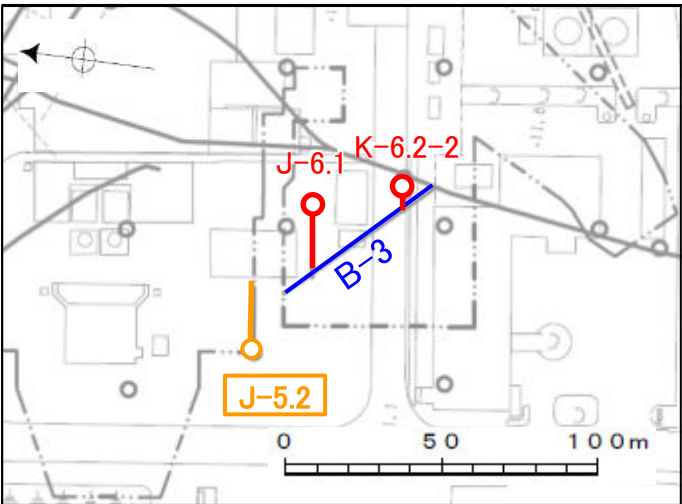
拡大スケッチ

# B-3端部の調査結果 ー北西端延長部:J-5.2孔①ー

○北西端延長部のJ-5.2孔の調査結果を以降に示す。

## 【J-5.2孔の調査結果】

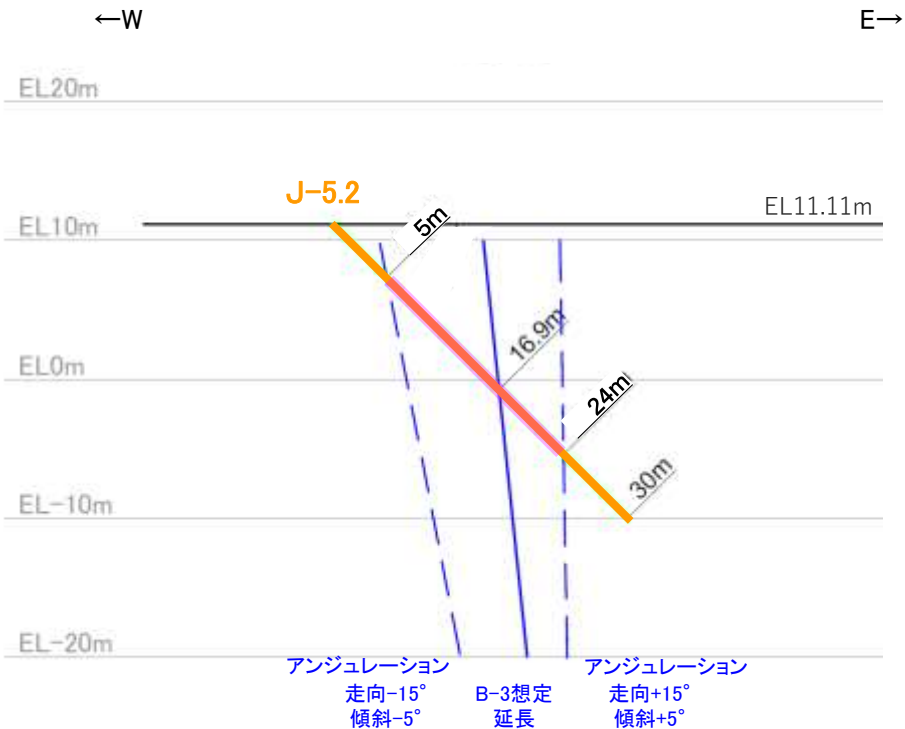
- ・右の断面図に示すとおり、B-3の想定延長範囲は、深度5～24mとなる。
- ・想定延長範囲において、B-3は認められない。  
(想定延長範囲のコア写真は次頁参照)



調査位置図

— B-3 (EL-4.7m)

赤: B-3が認められる箇所  
橙: B-3端部においてB-3が認められない箇所



■ B-3の想定延長範囲

J-5.2孔断面図  
(掘進方向)

# B-3端部の調査結果 ー北西端延長部:J-5.2孔②ー

・B-3想定延長範囲(深度5~24m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集1



B-3  
想定延長位置  
(16.9m付近)

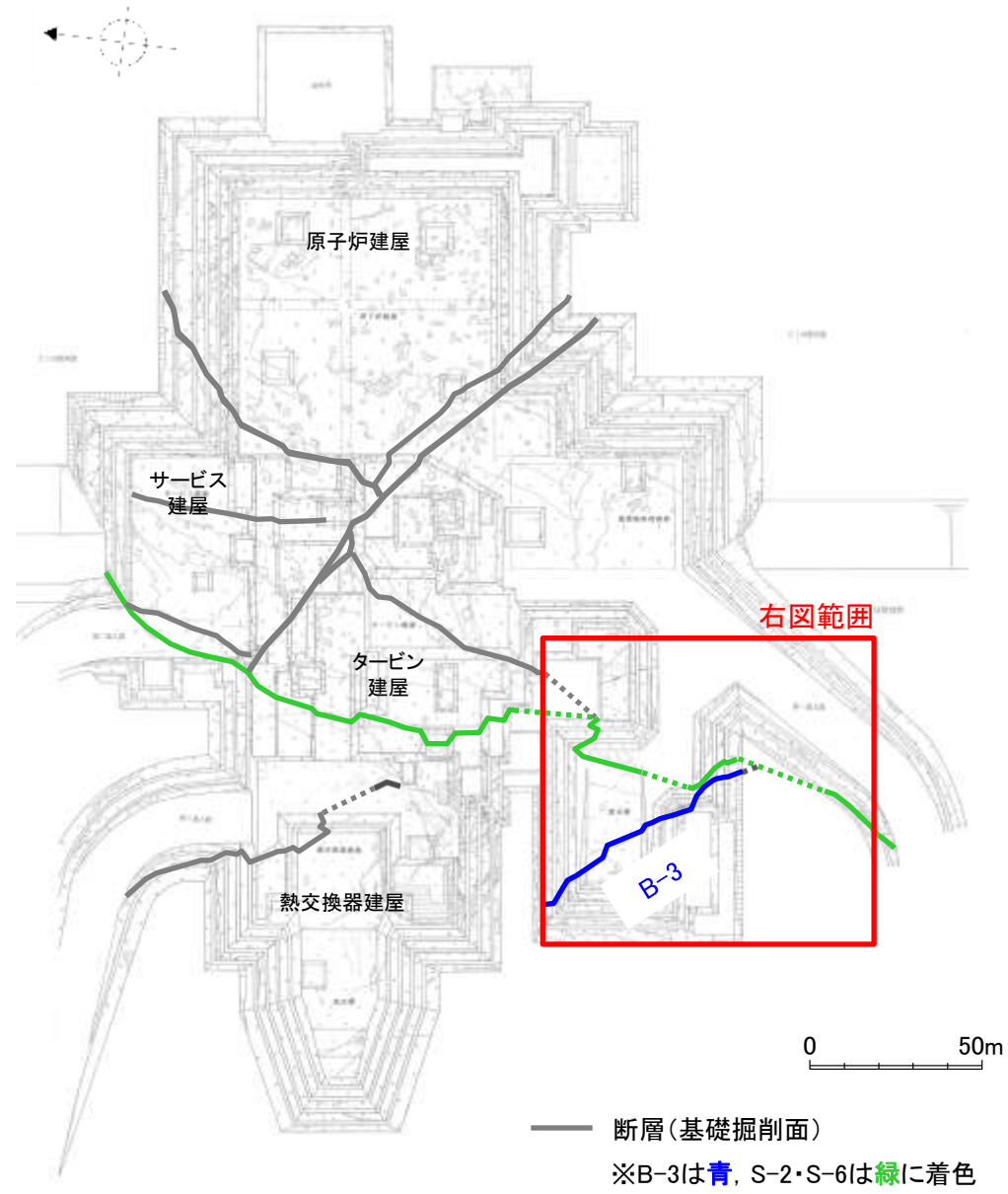
コア写真(深度5~24m)

J-5.2孔において、B-3の想定延長範囲(深度5~24m)にB-3は認められない。

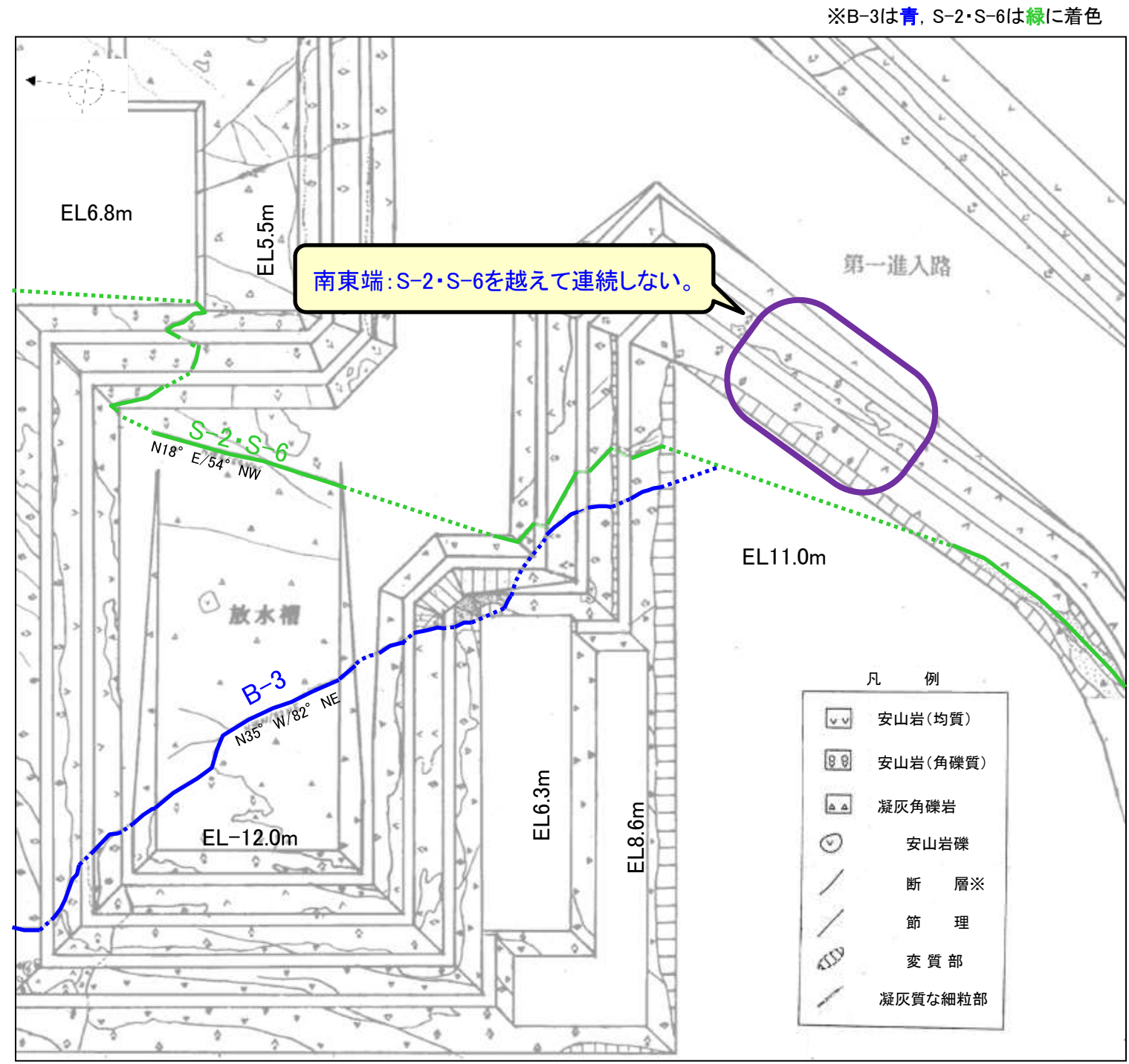
# B-3端部の調査結果 —南東端:1号機基礎掘削面—

■B-3南東端の調査結果を以下に示す。

**【B-3南東端の調査結果】**  
1号機基礎掘削面において、B-3はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。



1号機基礎掘削面



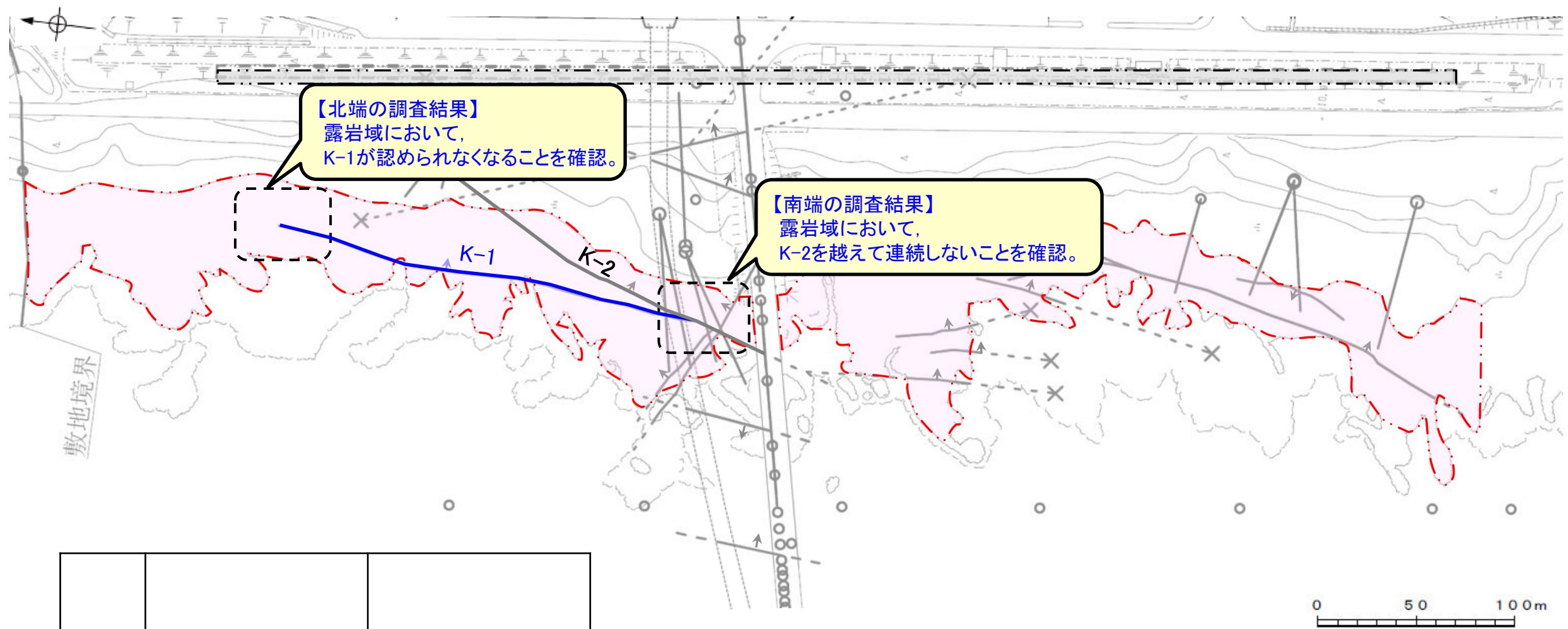
拡大スケッチ

---

## (11) K-1端部の調査結果

# K-1端部の調査結果 ー概要ー

■K-1端部の調査結果の概要を以下に示す。



調査位置図

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-1	205m	N4° E / 58° SE*

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値

凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- ⊙ 斜めボーリング孔
- ⋯ 露頭調査範囲
- ▨ 防潮堤基礎掘削範囲
- 断層(K-1以外)(EL0m)
- K-1(EL0m)
- ⋯× 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- ⋯ 断層端部を確認していないもの

矢印(➤)の向きは断層の傾斜方向を示す

# K-1端部の調査結果 —北端：露岩域—

■K-1北端の調査結果を以下に示す。

**【K-1北端の調査結果】**  
露岩域において、K-1が認められなくなることを確認。



- 凡例
- 別所岳安山岩類 安山岩(均質)
  - 別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)
  - 別所岳安山岩類 凝灰角礫岩
  - 断層(地表面)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの  
矢印( )の向きは断層の傾斜方向を示す



拡大写真①  
K-1の北方付近



拡大写真②  
K-1の北方延長



# K-1端部の調査結果 ー南端:露岩域ー

■K-1南端の調査結果を以下に示す。

**【K-1南端の調査結果】**  
露岩域において、K-1はK-2を越えて連続しないことを確認。

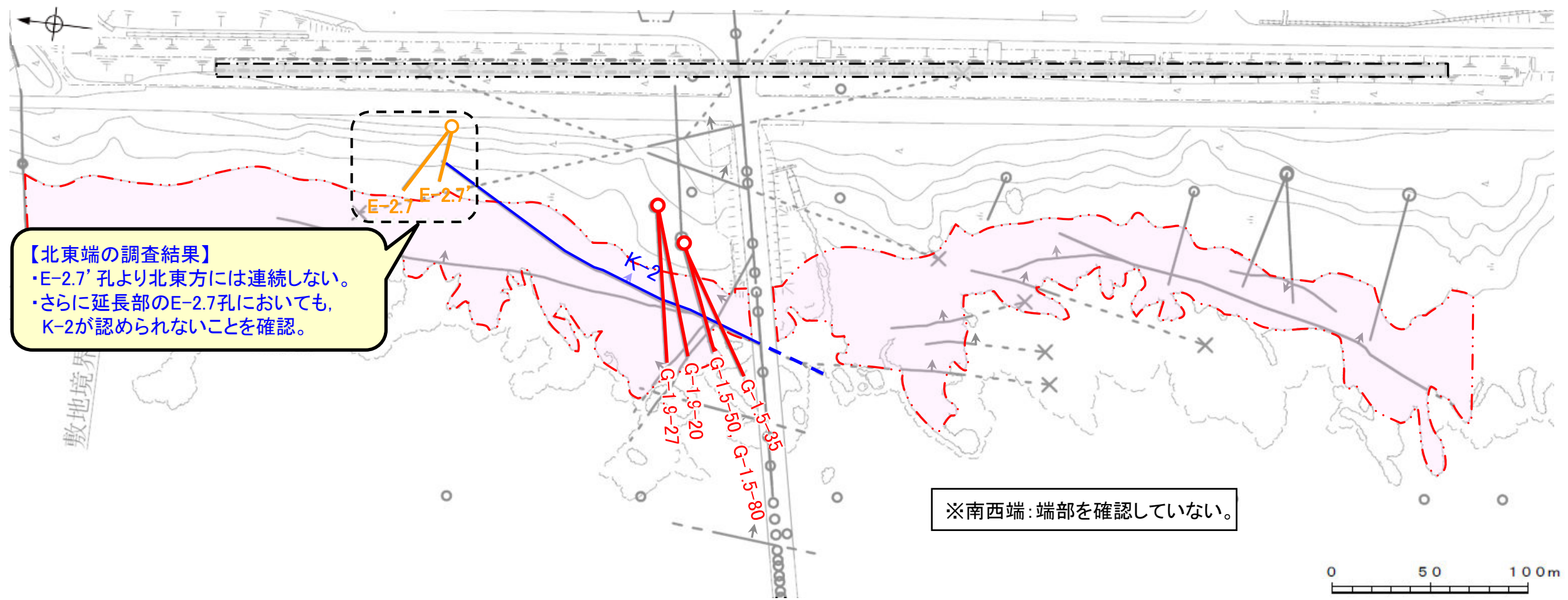


---

## (12) K-2端部の調査結果

# K-2端部の調査結果 ー概要ー

■K-2端部の調査結果の概要を以下に示す。



**【北東端の調査結果】**  
 ・E-2.7' 孔より北東方には連続しない。  
 ・さらに延長部のE-2.7孔においても、  
 K-2が認められないことを確認。

※南西端: 端部を確認していない。

K-2端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北東端	E-2.7' 孔	北東端の止め
	E-2.7孔	さらに延長部の止め

調査位置図

凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- 露頭調査範囲
- 防潮堤基礎掘削範囲
- 断層(K-2以外)(EL0m)
- K-2(EL0m)
- K-2が認められた箇所を赤で着色
- K-2端部においてK-2が認められない箇所を橙で着色
- 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- 断層端部を確認していないもの

	延長	走向/傾斜
K-2	180m以上	N19°E/72°SE*

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値

矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

# K-2端部の調査結果 ー北東端:E-2.7' 孔①ー

■ K-2北東端の調査結果を以下に示す。

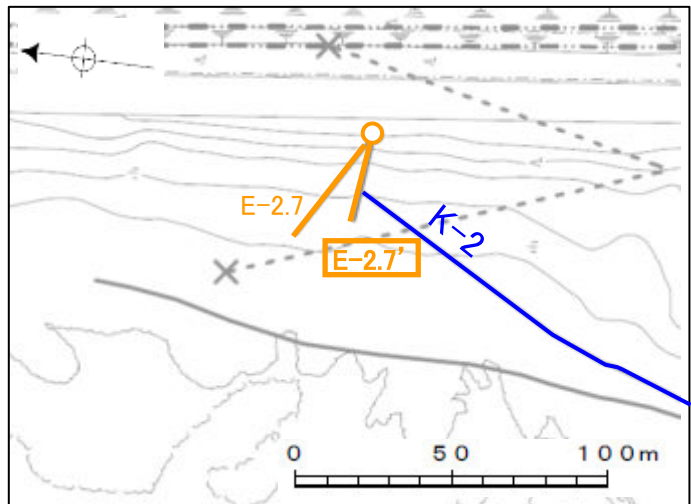
**【K-2北東端の調査結果】**

- ・K-2は、露岩域において北東方に連続する。
- ・露岩域の北東端で確認したK-2の位置、走向・傾斜を考慮して、北東方への想定延長範囲を設定。
- ・E-2.7' 孔の想定延長範囲内に、K-2が認められないため、K-2はこれ以上連続しない。
- ・さらに、延長部のE-2.7'孔においても、K-2が認められないことを確認している。

○北東端の止めとしているE-2.7' 孔の調査結果を以降に示す。

**【E-2.7' 孔の調査結果】**

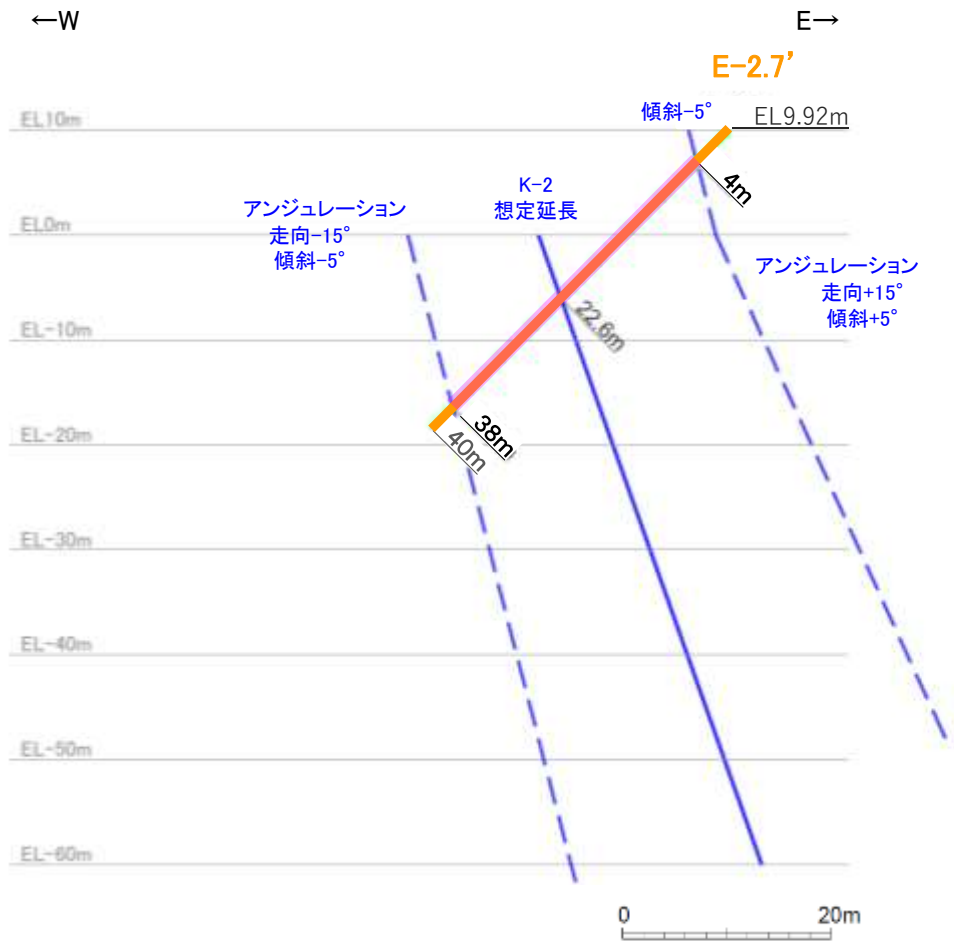
- ・右の断面図に示すとおり、K-2の想定延長範囲は、深度4～38mとなる。
- ・想定延長範囲において、K-2は認められない。
- （想定延長範囲のコア写真は次頁参照）



調査位置図

— K-2 (EL0m)

橙: K-2端部においてK-2が認められない箇所



— K-2の想定延長範囲

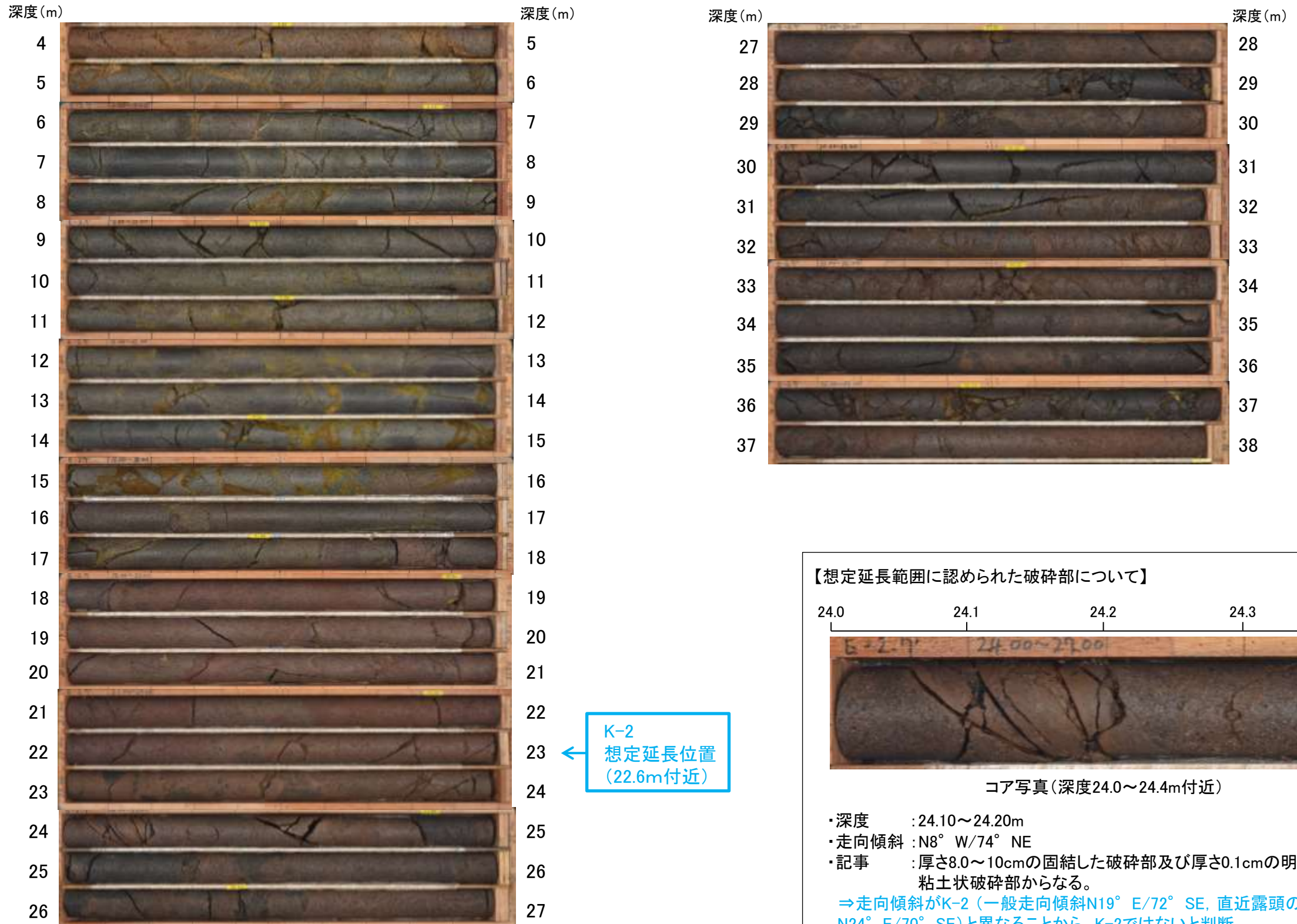
E-2.7' 孔断面図(掘進方向)

# K-2端部の調査結果 ー北東端:E-2.7' 孔②ー

・K-2想定延長範囲(深度4~38m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集1

E-2.7' 孔(孔口標高9.92m, 掘進長40m, 傾斜45°)



コア写真(深度4~38m)

**【想定延長範囲に認められた破砕部について】**

24.0                      24.1                      24.2                      24.3                      24.4

コア写真(深度24.0~24.4m付近)

- ・深度 : 24.10~24.20m
- ・走向傾斜 : N8° W/74° NE
- ・記事 : 厚さ8.0~10cmの固結した破砕部及び厚さ0.1cmの明褐~褐色の粘土状破砕部からなる。

⇒走向傾斜がK-2(一般走向傾斜N19° E/72° SE, 直近露頭の走向傾斜N24° E/70° SE)と異なることから, K-2ではないと判断。

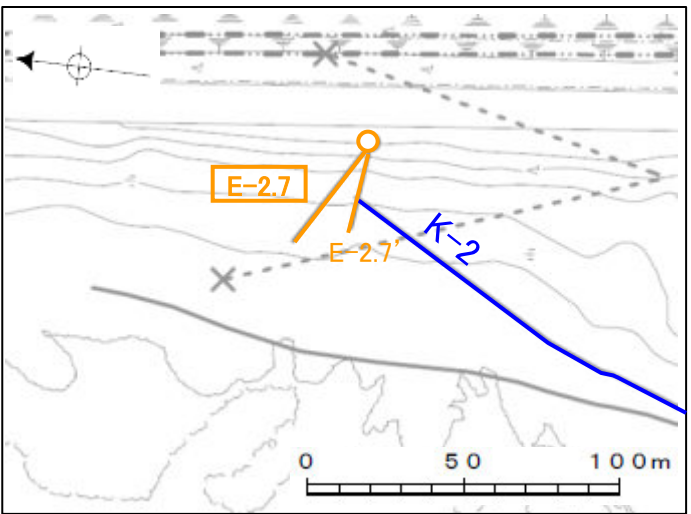
E-2.7' 孔において, K-2の想定延長範囲(深度4~38m)にK-2は認められない。

# K-2端部の調査結果 ー北東端延長部:E-2.7孔①ー

○北東端延長部の調査結果を以降に示す。

## 【E-2.7孔の調査結果】

- ・右の断面図に示すとおり、K-2の想定延長範囲は、深度2m～38mとなる。
- ・想定延長範囲において、K-2は認められない。  
(想定延長範囲のコア写真は次頁参照)



調査位置図

— K-2 (EL0m)

橙: K-2端部においてK-2が認められない箇所



— K-2の想定延長範囲

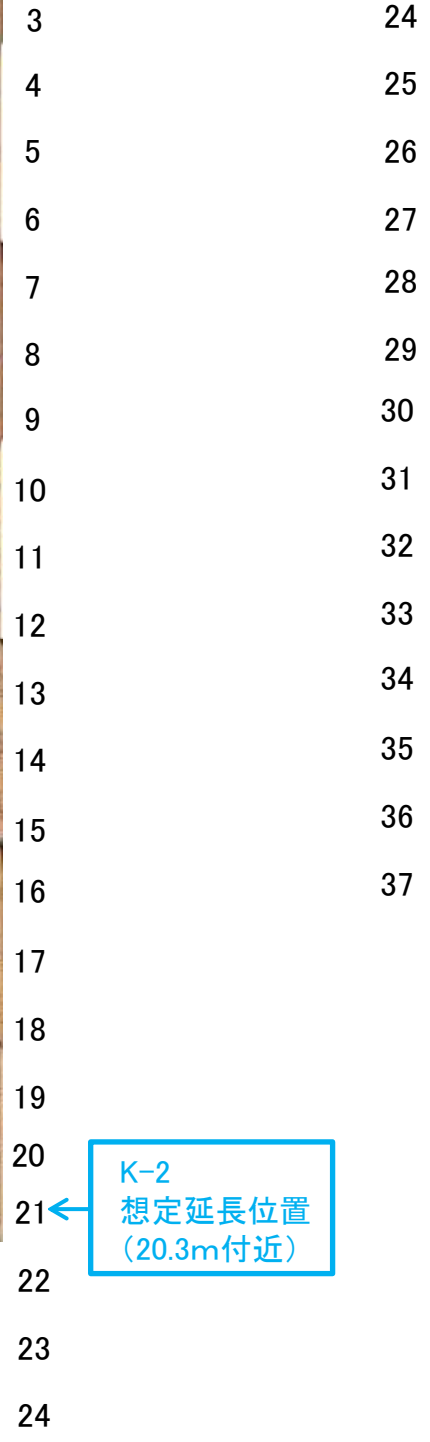
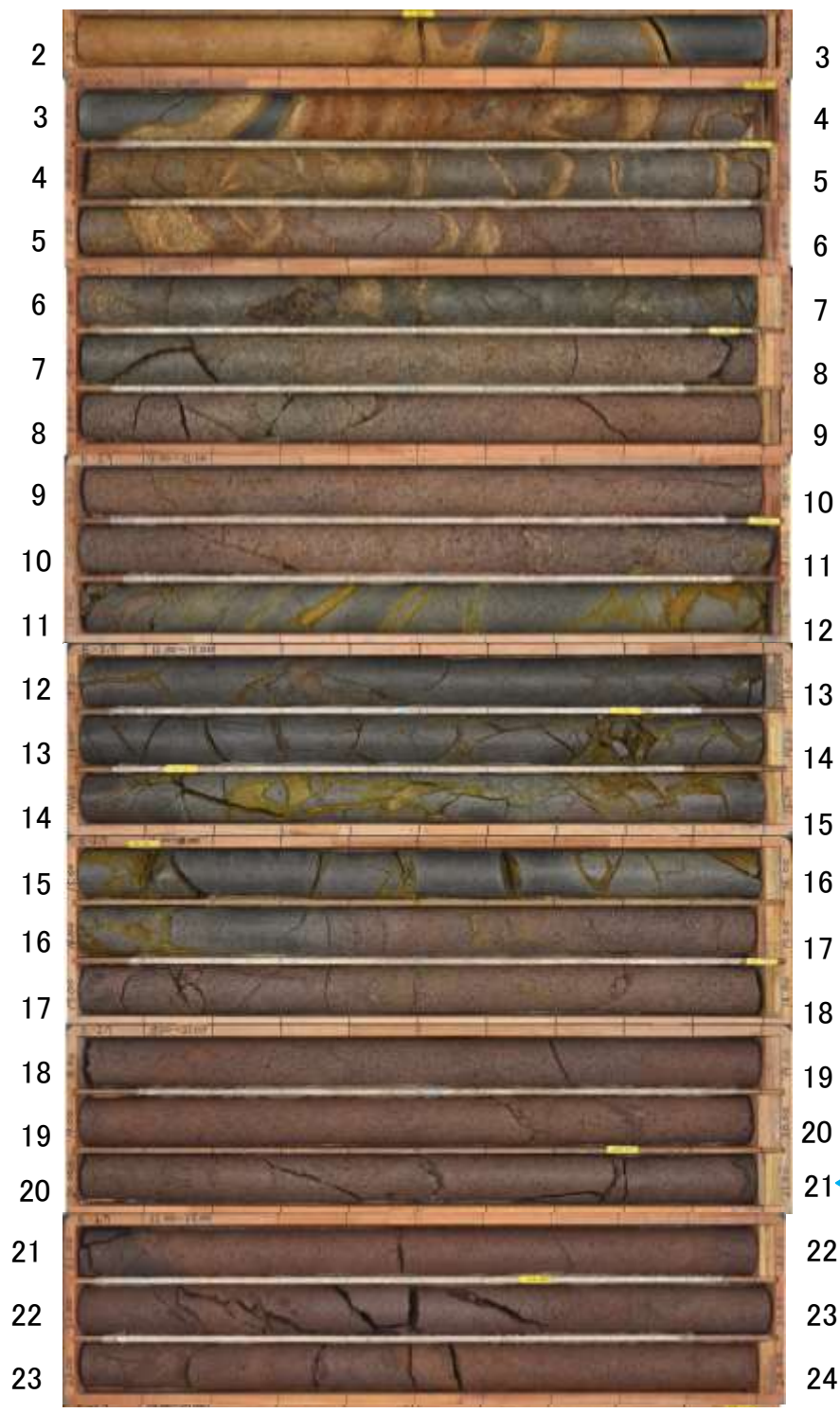
E-2.7孔断面図  
(掘進方向)

# K-2端部の調査結果 ー北東端延長部：E-2.7孔②ー

・K-2想定延長範囲(深度2～38m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集1

E-2.7孔(孔口標高9.92m, 掘進長65m, 傾斜45°)



コア写真(深度2～38m)

K-2  
想定延長位置  
(20.3m付近)

【想定延長範囲に認められた破砕部について】

29.4                      29.5                      29.6                      29.7                      29.8

コア写真(深度29.4～29.8m付近)

- ・深度 : 29.50～29.74m
- ・走向傾斜 : N28° W/83° NE
- ・記事 : 厚さ12cmの固結した破砕部及び厚さ0.1cmの黄褐色の粘土状破砕部からなる。

⇒走向傾斜がK-2(一般走向傾斜N19° E/72° SE, 直近露頭の走向傾斜N24° E/70° SE)と異なることから, K-2ではないと判断。

E-2.7孔において, K-2の想定延長範囲(深度2～38m)にK-2は認められない。

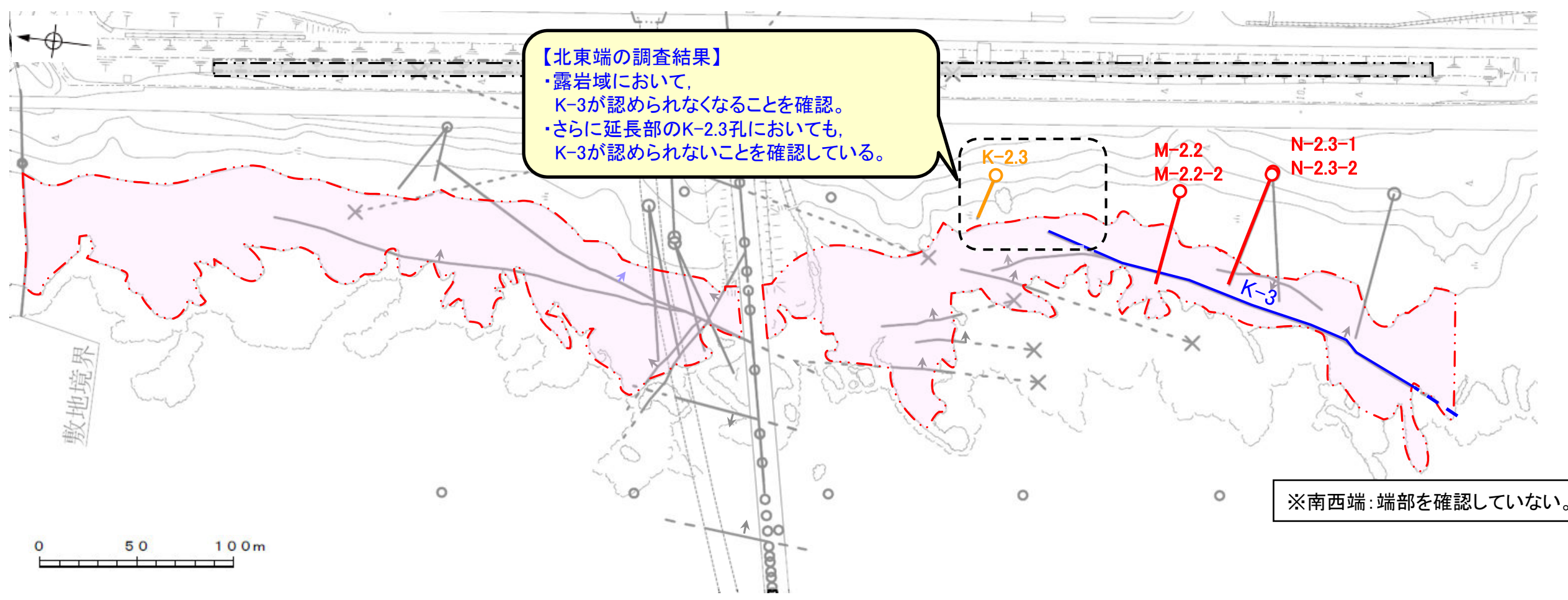
---

## (13) K-3端部の調査結果



# K-3端部の調査結果 一概要一

■K-3端部の調査結果の概要を以下に示す。



K-3端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北東端	露岩域	北東端の止め
	K-2.3孔	さらに延長部の止め

	延長	走向/傾斜
K-3	200m以上	N16°E/70°SE*

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値

調査位置図

凡 例

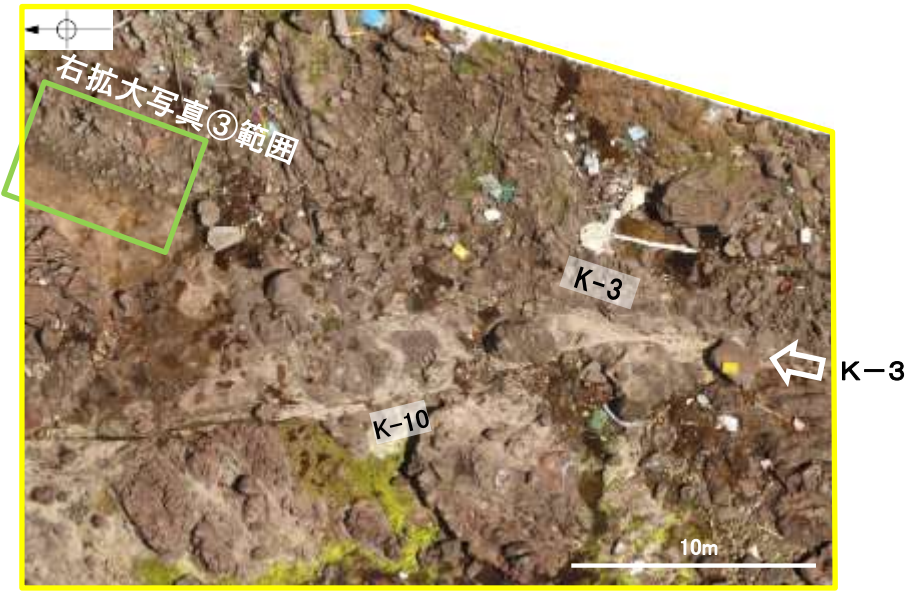
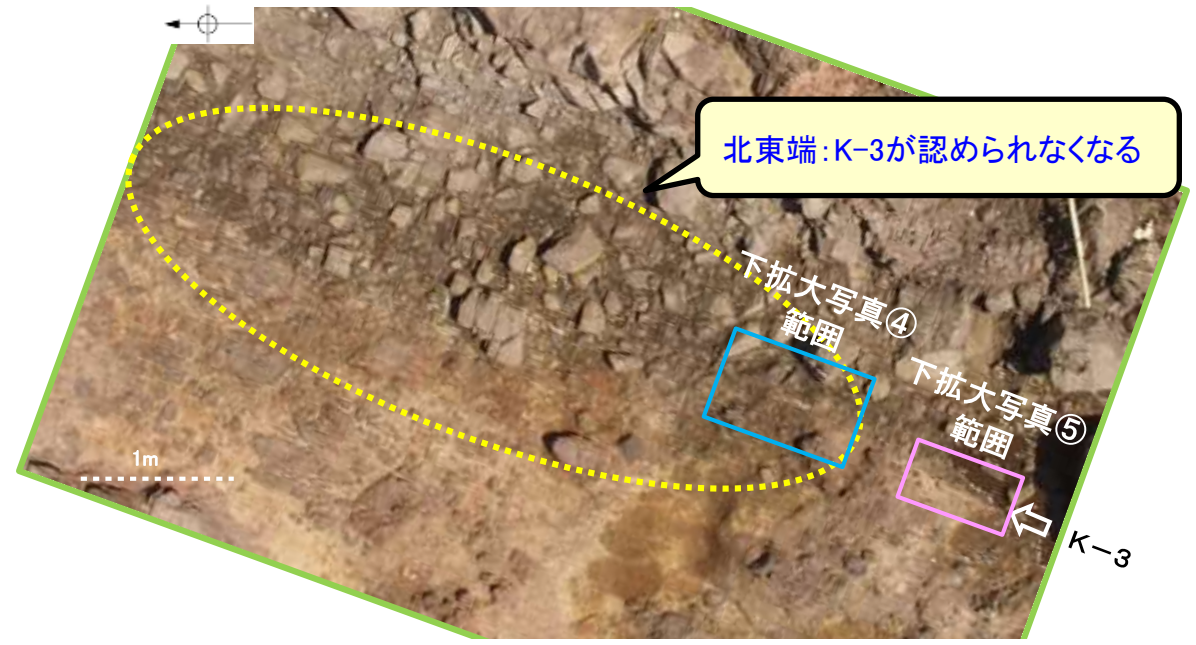
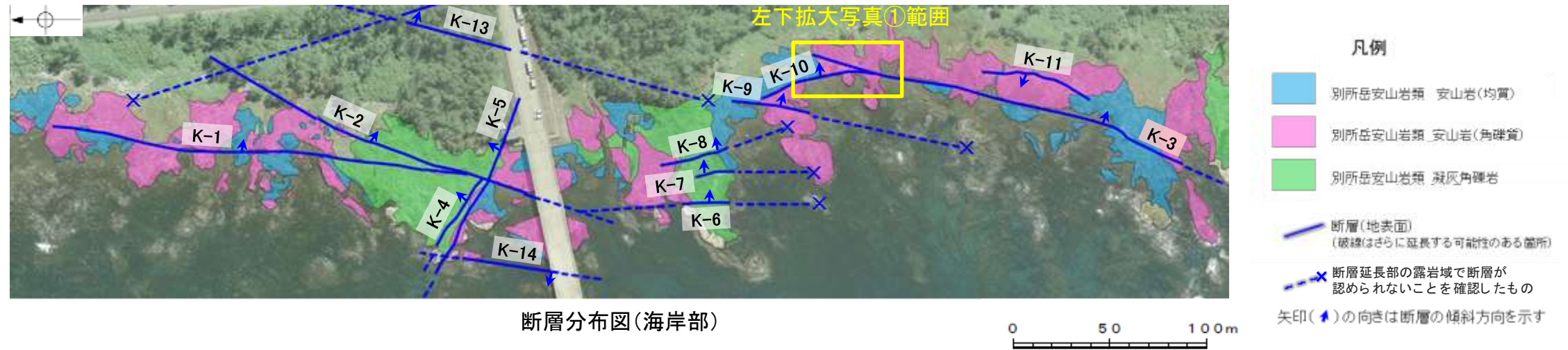
- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- 露頭調査範囲
- 防潮堤基礎掘削範囲
- 断層(K-3以外)(EL0m)
- K-3(EL0m)
- K-3が認められた箇所を赤で着色
- K-3端部においてK-3が認められない箇所を橙で着色
- 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- 断層端部を確認していないもの

矢印(↑)の向きは断層の傾斜方向を示す

# K-3端部の調査結果 — 北東端：露岩域 —

■K-3北東端の調査結果を以下に示す。

**【K-3北東端の調査結果】**  
 ・露岩域において、K-3が認められなくなることを確認。  
 ・さらに、延長部の K-2.3孔においても、K-3が認められないことを確認している。

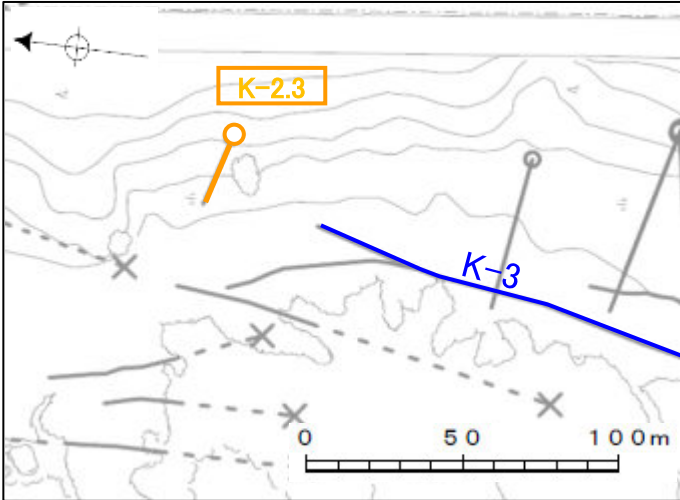


# K-3端部の調査結果 ー北東端延長部:K-2.3孔①ー

○北東端延長部の調査結果を以降に示す。

**【K-2.3孔の調査結果】**

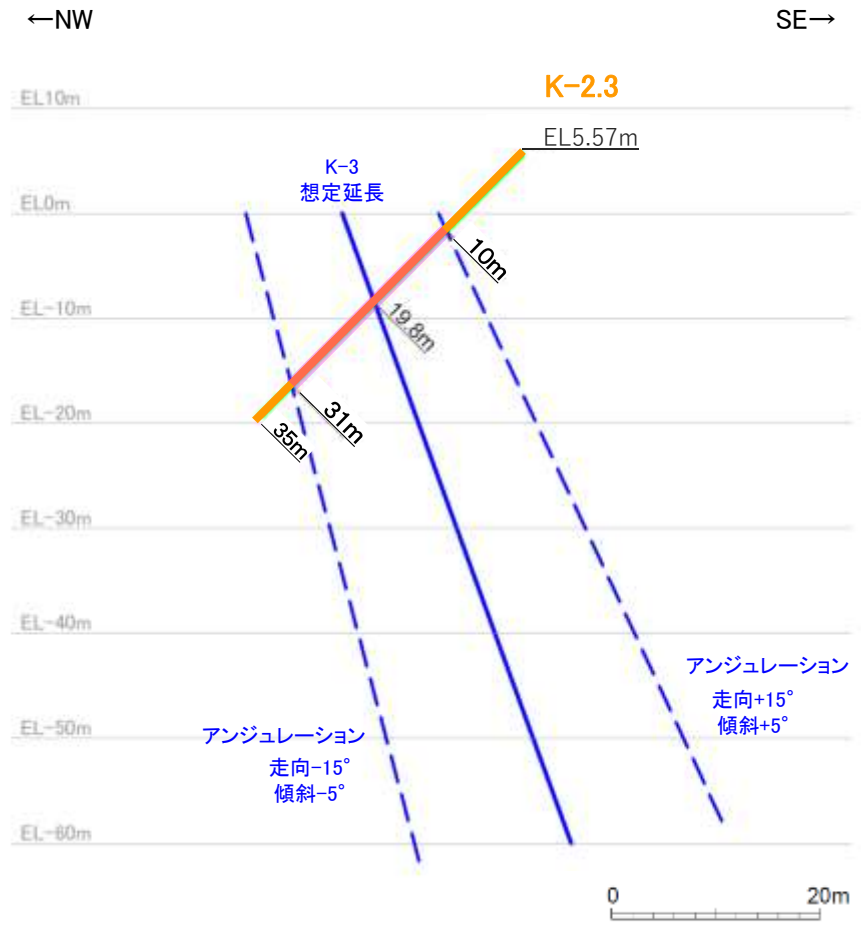
- ・右の断面図に示すとおり, K-3の想定延長範囲は, 深度10m~31mとなる。
- ・想定延長範囲において, K-3は認められない。
- (想定延長範囲のコア写真は次頁参照)



調査位置図

— K-3(EL0m)

橙:K-3端部においてK-3が認められない箇所



— K-3の想定延長範囲

K-2.3断面図  
(掘進方向)

# K-3端部の調査結果 ー北東端延長部:K-2.3孔②ー

・K-3想定延長範囲(深度10~31m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集1

K-2.3孔(孔口標高5.57m, 掘進長35m, 傾斜45°)



← K-3  
想定延長位置  
(19.8m付近)

コア写真(深度10~31m)

【想定延長範囲に認められた破砕部について】

12.6                      12.7                      12.8                      12.9                      13.0



コア写真(深度12.6~13.0m付近)

- ・深度 : 12.77~12.83m
- ・走向傾斜 : N28° E/89° NW
- ・記事 : 厚さ4.2~5.0cmの固結した破砕部からなる。  
⇒走向傾斜がK-3 (一般走向傾斜N16° E/70° SE, 直近露頭の走向傾斜N12° E/74° SE)と異なることから, K-3ではないと判断。

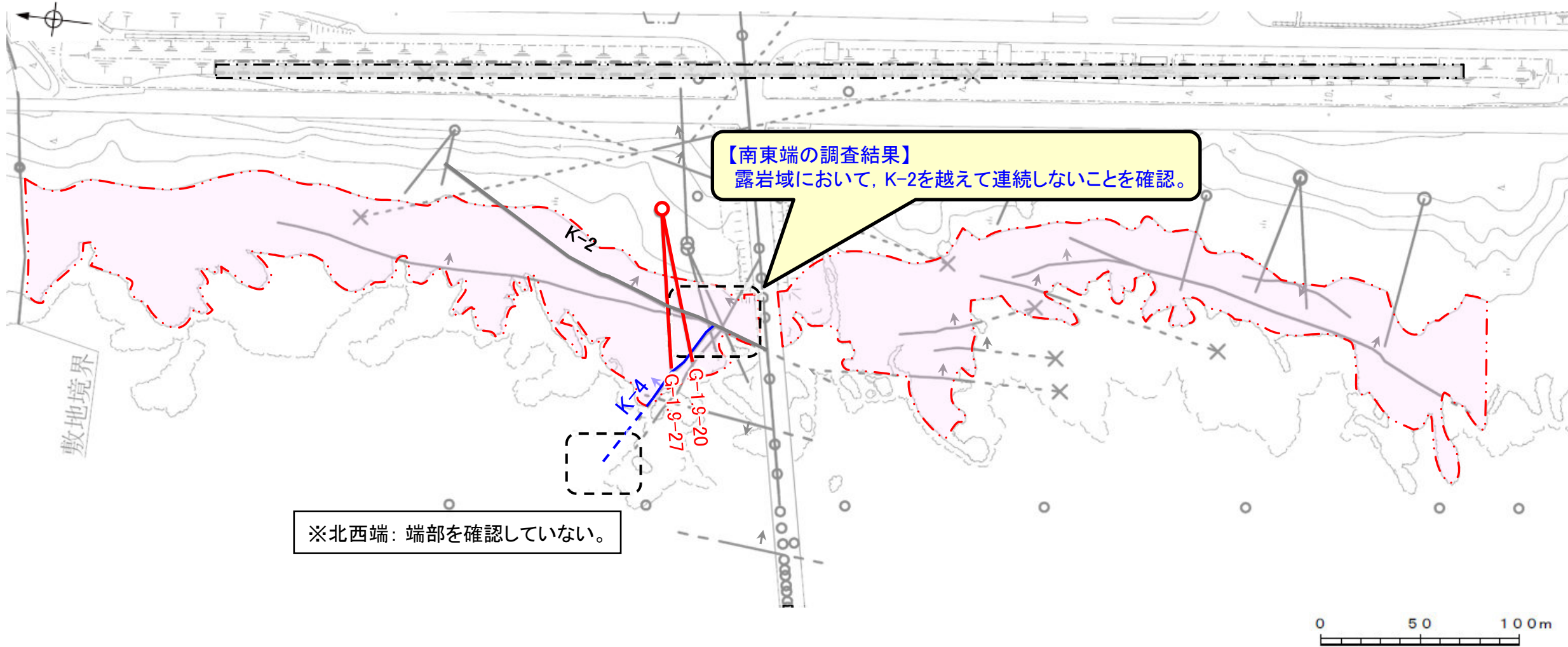
K-2.3孔において, K-3の想定延長範囲(深度10~31m)にK-3は認められない。

---

## (14) K-4端部の調査結果

# K-4端部の調査結果 一概要一

■K-4端部の調査結果の概要を以下に示す。



調査位置図

K-4端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
南東端	露岩域	南東端の止め

	延長	走向/傾斜
K-4	45m以上	N56° W / 85° NE

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値

凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- ⊙ 斜めボーリング孔
- x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- x 断層端部を確認していないもの
- x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- x 断層端部を確認していないもの

--- 露頭調査範囲  
 防潮堤基礎掘削範囲  
 断層 (K-4以外) (EL0m)  
 K-4 (EL0m)

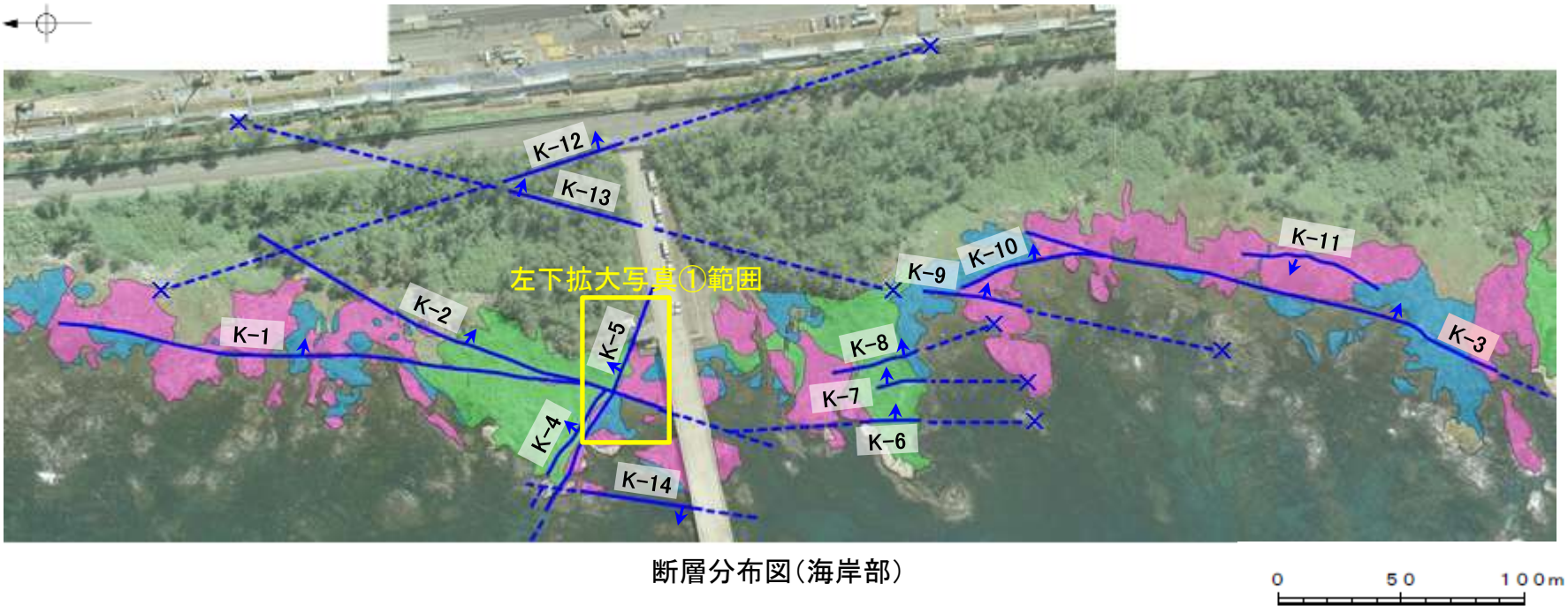
K-4が認められた箇所を赤で着色

矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

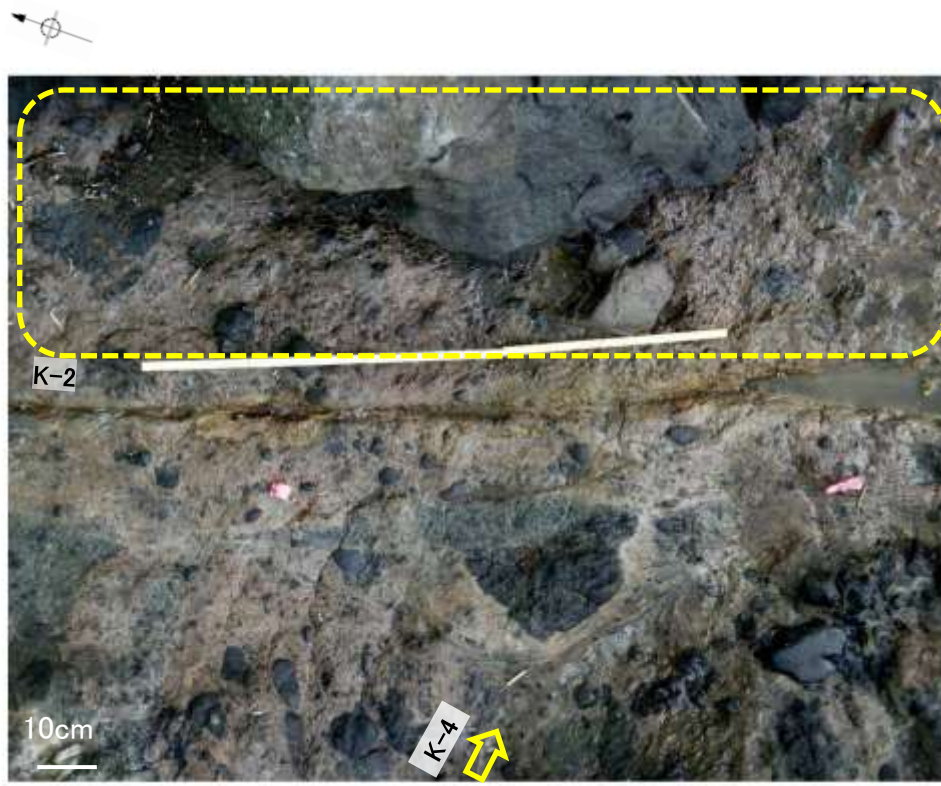
# K-4端部の調査結果 ー南東端:露岩域ー

■K-4南東端の調査結果を以下に示す。

**【K-4南東端の調査結果】**  
露岩域において、K-4はK-2を越えて連続しないことを確認。



- 凡例
- 別所岳安山岩類 安山岩(均質)
  - 別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)
  - 別所岳安山岩類 凝灰角礫岩
  - 断層(地表面)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの  
矢印(↑)の向きは断層の傾斜方向を示す



南東端:K-2を越えて  
連続しない

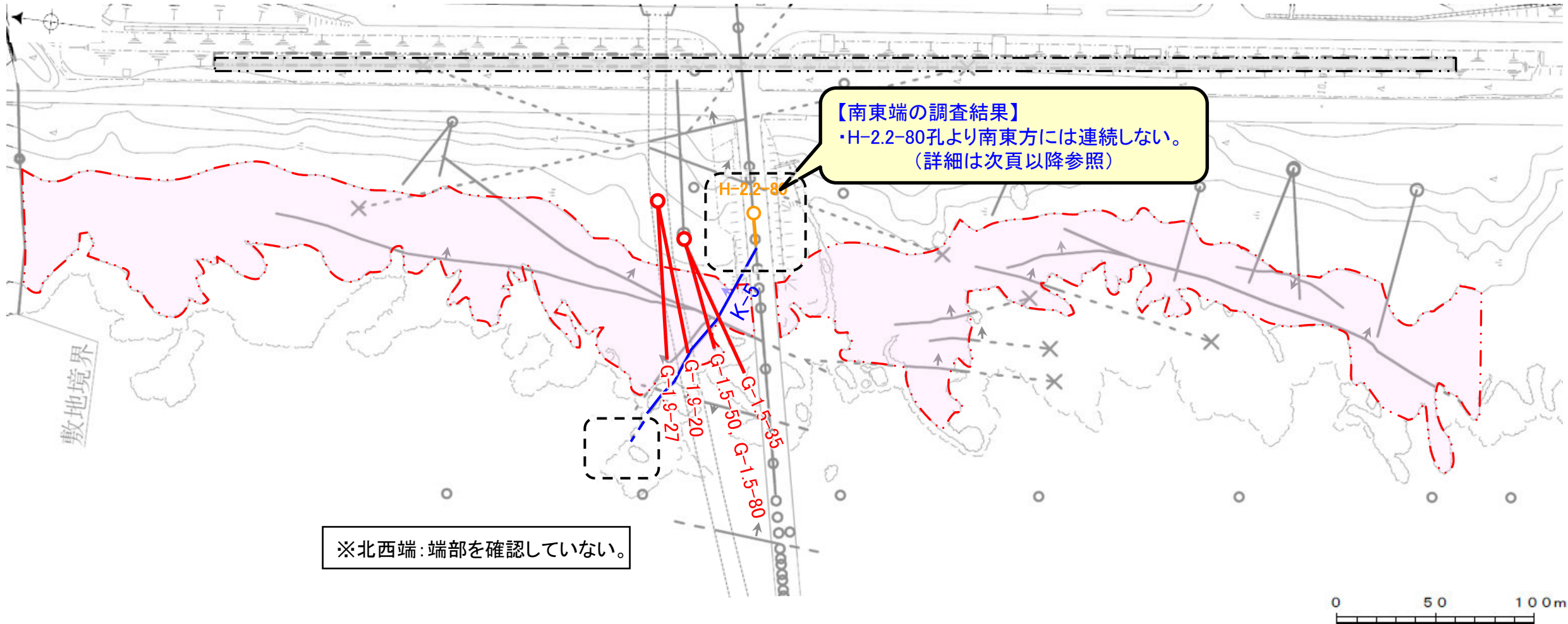
---

## (15) K-5端部の調査結果



# K-5端部の調査結果

■K-5端部の調査結果の概要を以下に示す。



【南東端の調査結果】  
・H-2.2-80孔より南東方には連続しない。  
(詳細は次頁以降参照)

※北西端:端部を確認していない。

調査位置図

K-5端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
南東端	H-2.2-80孔	南東端の止め

	延長	走向/傾斜
K-5	75m以上	N63° W / 64° NE

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値

凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- ⊙ 斜めボーリング孔
- ⋯ 露頭調査範囲
- ▨ 防潮堤基礎掘削範囲
- 断層(K-5以外)(EL0m)
- K-5(EL0m)
- K-5が認められた箇所を赤で着色
- K-5端部においてK-5が認められない箇所を橙で着色

--- × 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの  
--- 断層端部を確認していないもの

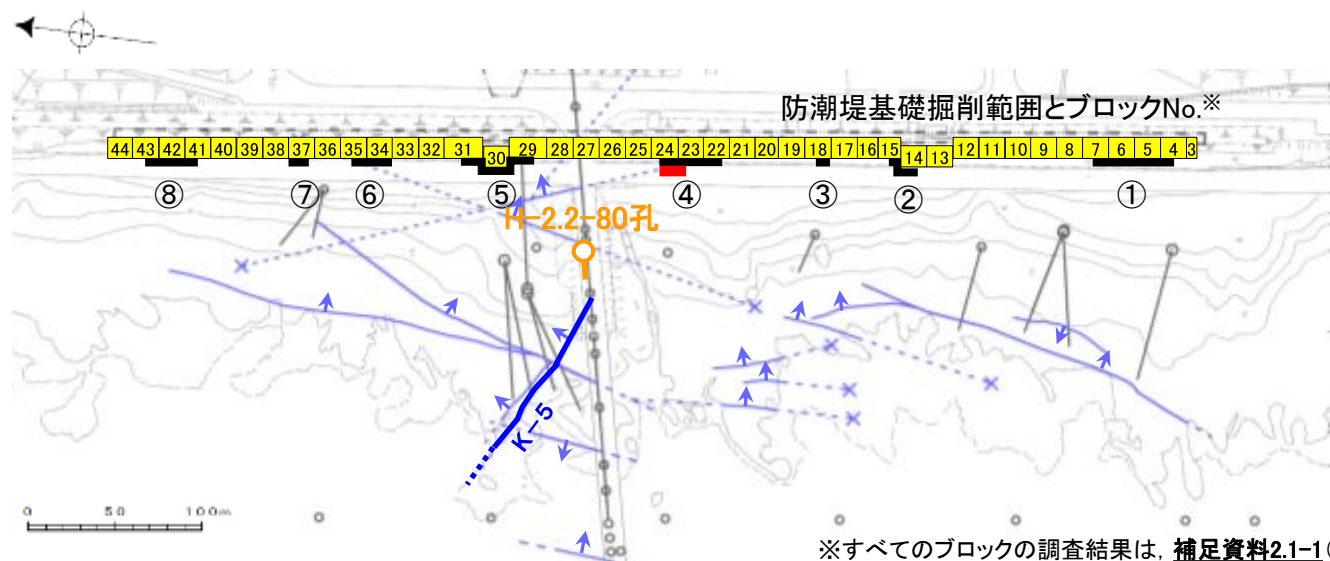
矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

# K-5端部の調査結果 ー南東端:概要ー

■K-5南東端の調査結果を以下に示す。

## 【K-5南東端の調査結果】

- ・K-5は、露岩域において南東方に連続する。
- ・**H-2.2-80孔の想定延長範囲内に、K-5は認められないため、K-5はこれ以上連続しない。**
- ・さらに、H-2.2-80孔より南東方に位置する防潮堤24ブロックの節理の深部延長位置において、更なる追加掘削を実施し、節理が深部に連続しないことを確認している(P.2.3-4-121, 2.3-4-122)。また、23・24ブロックの防潮堤設置時の法面写真について、継ぎ目のない結合前のデータを確認した結果、当該箇所には断層は認められない。

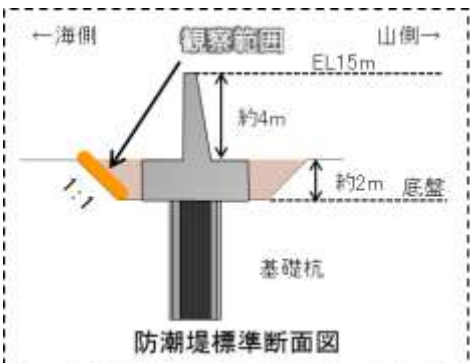


- 第553回審査会合で説明した再掘削箇所 (○数字はトレンチNo.)
- 追加掘削した箇所

- 断層(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- 断層端部を確認していないもの
- K-O (海岸部 EL 0m)

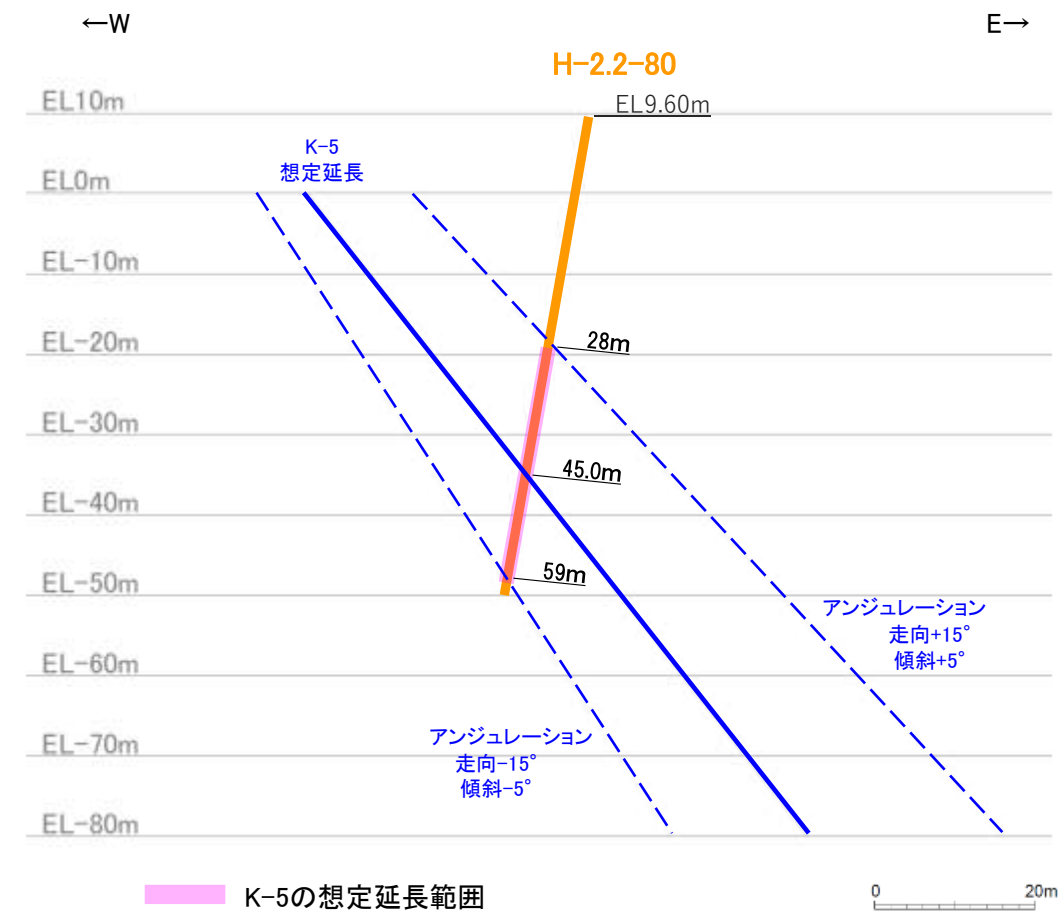
- 凡 例
- 鉛直ボーリング孔
  - ⦶ 斜めボーリング孔

橙: 想定延長範囲にK-5が認められないボーリング



## 【H-2.2-80孔の調査結果】

- ・下の断面図に示すとおり、K-5の想定延長範囲は、深度28～59mとなる。
- ・想定延長範囲において、K-5は認められない。(想定延長範囲のコア写真は次頁)



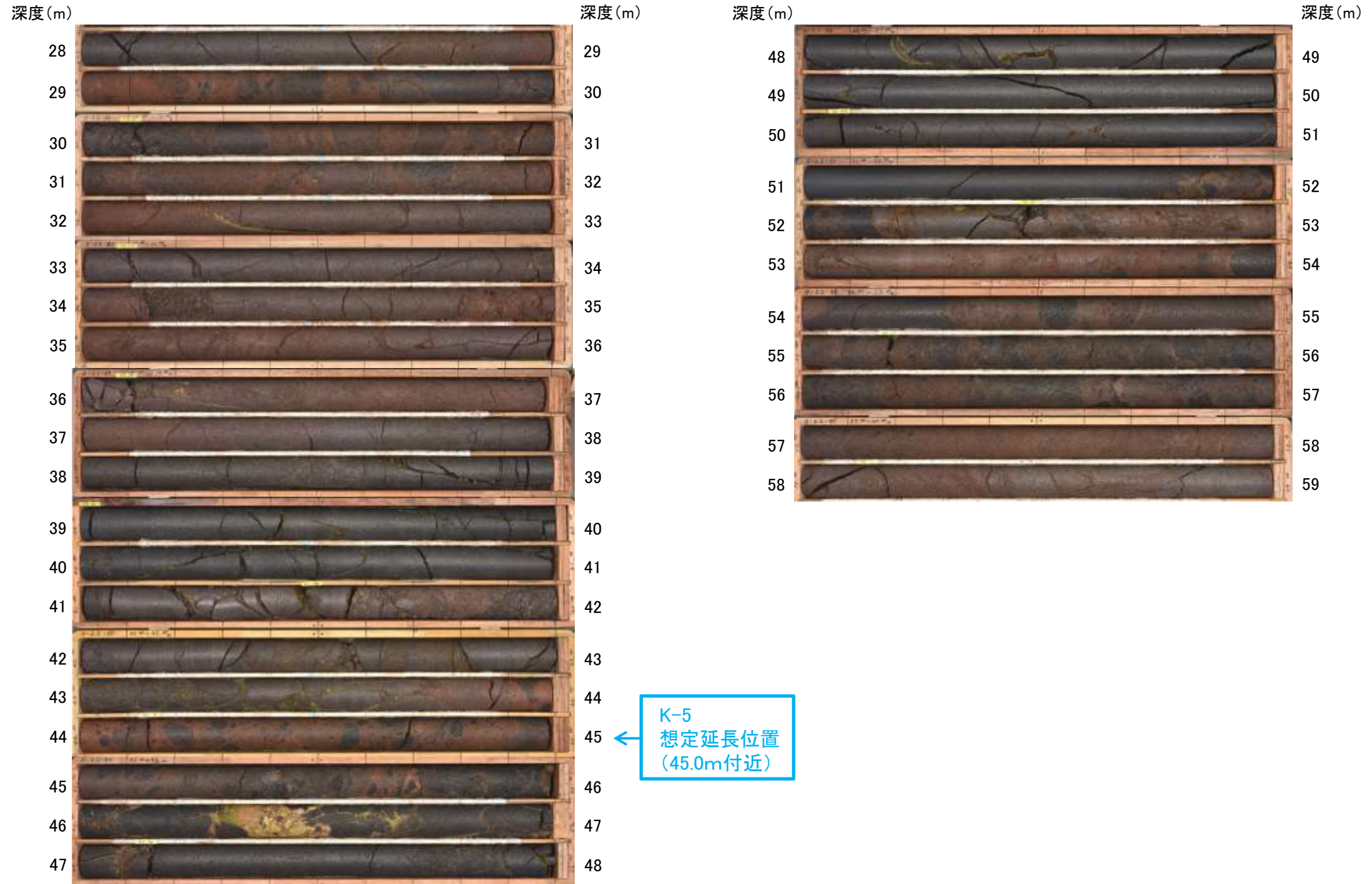
H-2.2-80孔断面図(掘進方向)

# K-5端部の調査結果 ー南東端:H-2.2-80孔ー

## 【 K-5南東方に関するボーリング調査結果】

柱状図はデータ集1

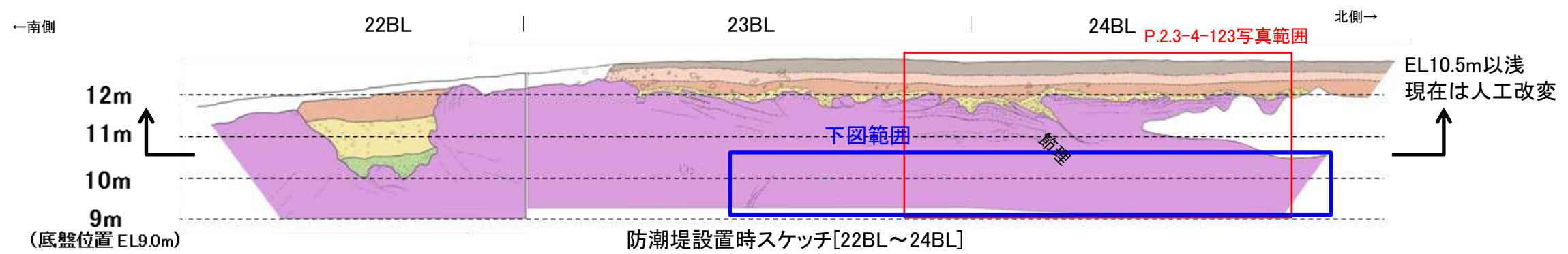
H-2.2-80孔(孔口標高9.60m, 掘進長60m, 傾斜80° )



コア写真(深度28~59m)

• H-2.2-80孔において、K-5の想定延長範囲(深度28~59m)にK-5は認められない。

【 防潮堤基礎部24ブロックのスケッチ・写真(追加掘削後) 】



凡例

埋土	腐植質シルト～シルト層	暗褐色土壌	礫層③(安山岩の垂円～角礫を含み、基質は黄褐色～明褐色シルトでやや土壌化)	岩盤
人工構造物	シルト～砂質シルト層	明褐色土壌	礫層②(安山岩の円～亜角礫を含み、基質は黄褐色～黄白色シルト～粘土でギブサイトを多く含む)	節理
		赤褐色土壌	礫層①(安山岩の円～亜角礫を含み、基質は黄褐色砂質シルトで全体に固結)	

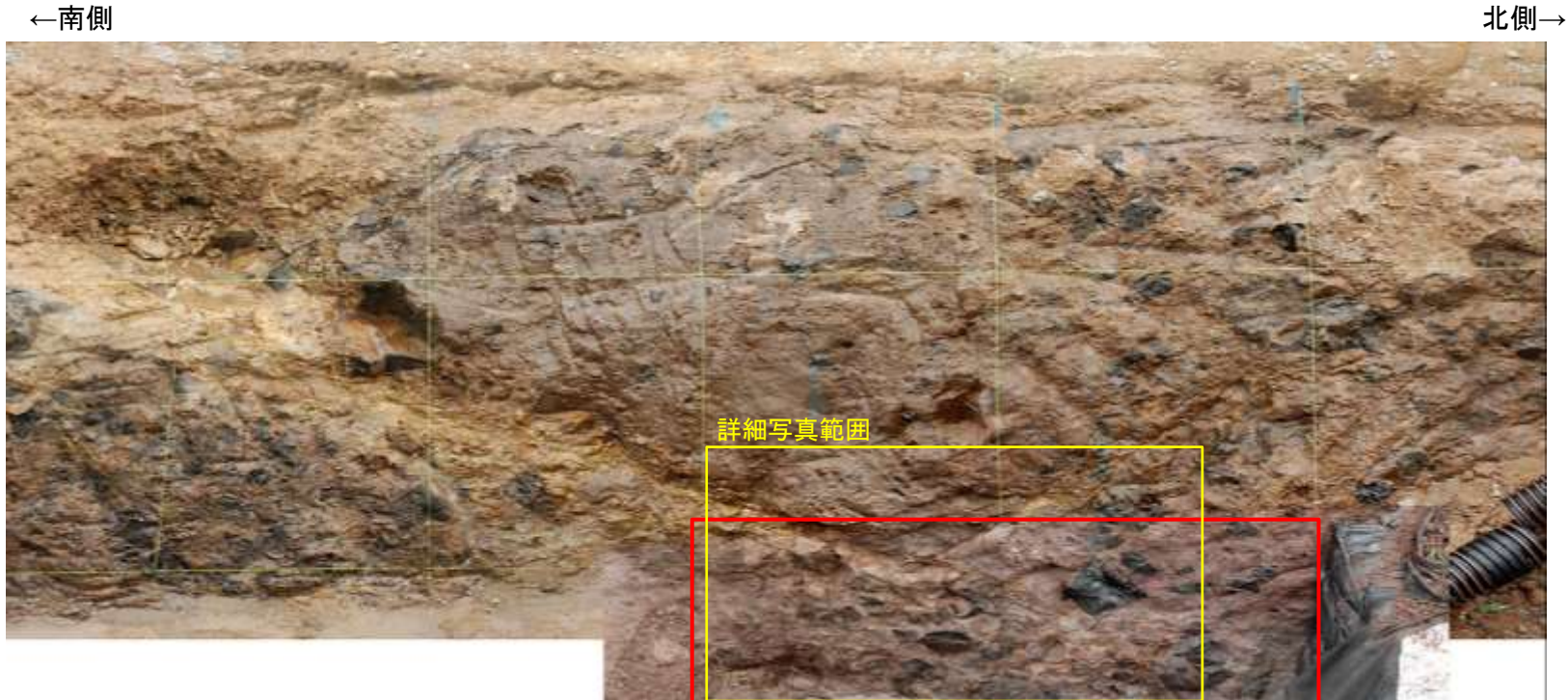


凡例

人工改変部	シルト層
腐植質シルト層	砂層
シルト質礫層	砂礫層
暗褐色土壌	別所安山岩類 安山岩(角礫質)
明褐色土壌	別所安山岩類 凝灰角礫岩
赤褐色土壌	



# K-5端部の調査結果 ー南東端:防潮堤基礎部②ー



拡大写真(全景)

・節理は、岩盤中で消滅し、深部に連続しないことを確認した。



詳細写真



詳細写真(節理を加筆)

— : 節理

# K-5端部の調査結果 — 南東端：防潮堤基礎部③ —

## 【 防潮堤基礎部23・24ブロックの防潮堤設置時の法面写真 】



・防潮堤基礎[24BL]には、  
断層は認められない。

防潮堤設置時写真[23BL, 24BL]



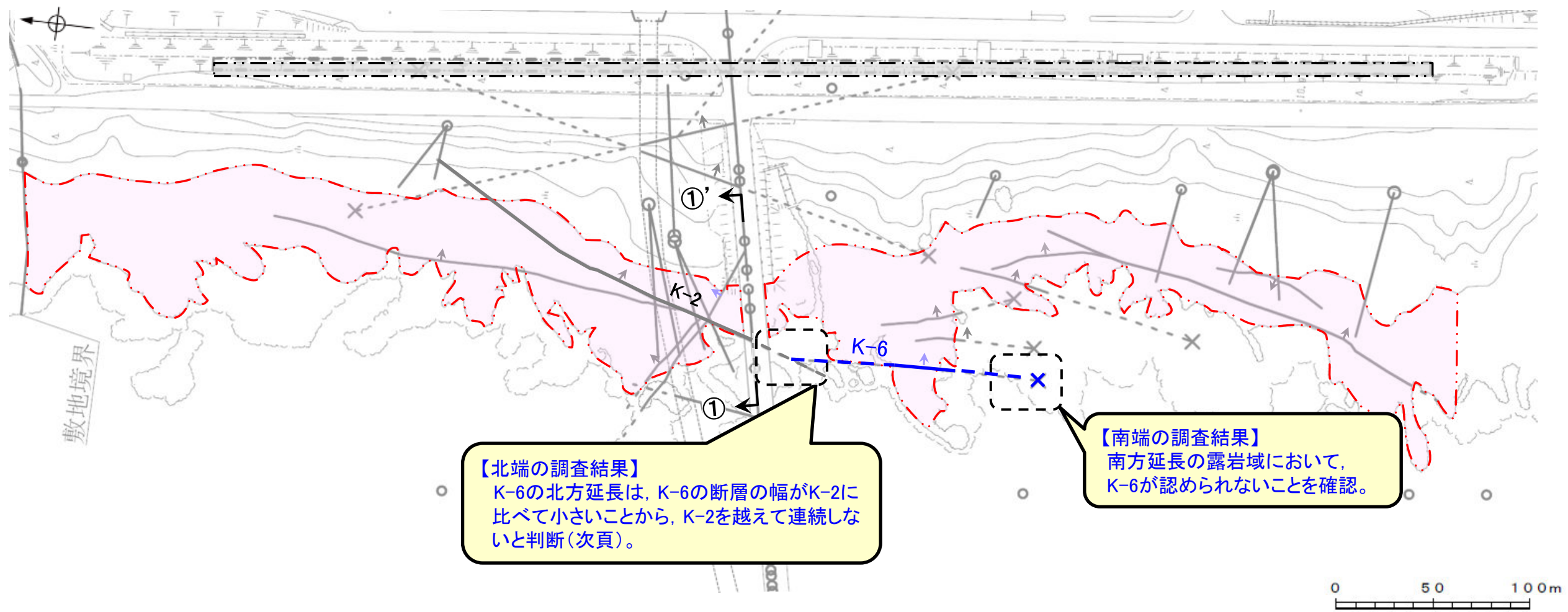
上記赤枠で示した範囲の結合前の写真

---

## (16) K-6端部の調査結果

# K-6端部の調査結果 一概要一

■K-6端部の調査結果の概要を以下に示す。



**【北端の調査結果】**  
K-6の北方延長は、K-6の断層の幅がK-2に比べて小さいことから、K-2を越えて連続しないと判断(次頁)。

**【南端の調査結果】**  
南方延長の露岩域において、K-6が認められないことを確認。

調査位置図

K-6端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	取水路沿いの調査	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-6	25m以上 130m以下	N2° W / 60° NE

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値

凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- ⊙ 斜めボーリング孔
- x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- x 断層端部を確認していないもの
- x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- x 断層端部を確認していないもの

--- 露頭調査範囲  
   防潮堤基礎掘削範囲  
 — 断層(K-6以外)(EL0m)  
 - - - K-6(EL0m)

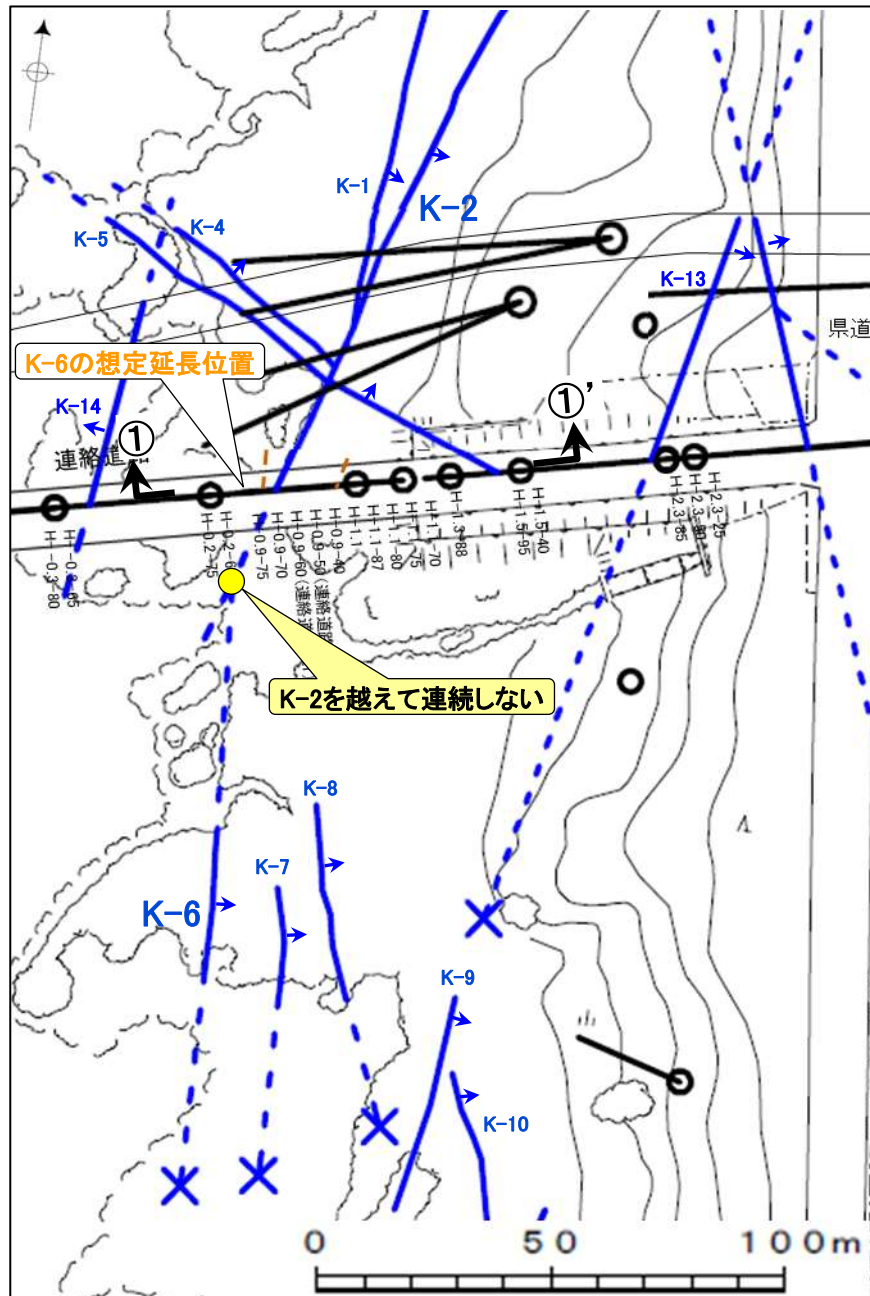
矢印(↗)の向きは断層の傾斜方向を示す



# K-6端部の調査結果 — 北端：取水路沿いの調査 —

■K-6北端の調査結果を以下に示す。

**【K-6北端の調査結果】**  
 ①-①'断面において、K-6の想定延長範囲で確認された破砕部(K-2を除く)は、隣接孔に連続しない破砕部のみでK-6とは対応しない。これに加え、K-6は破砕部の幅がK-2に比べて小さいことから、K-2を越えて連続しない断層と判断した。

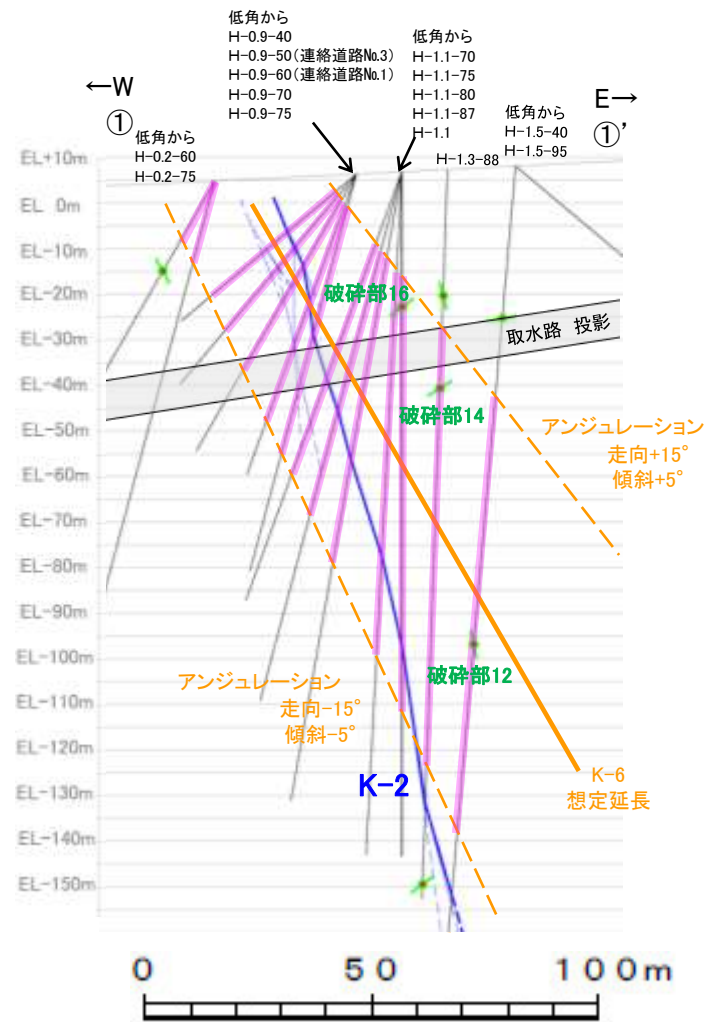


矢印(★)の向きは断層の傾斜方向を示す

平面図

凡例

- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- 断層(EL.0m)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)



①-①'断面図

- 連続性が乏しい破砕部(3cm以上)  
(両側の線は傾斜方向(走向を考慮した偽傾斜))
- K-2(主部を太線で表記)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- K-6 想定延長位置  
(破線はアンジュレーション範囲)
- K-6の想定延長範囲

①-①'断面におけるK-6の想定延長範囲

孔名	想定延長深度(m)			想定延長範囲に認められる幅3cm以上の破砕部(K-2を除く)
	上端	中央	下端	
H-0.2-60	-	-	15	なし
H-0.2-75	-	-	19	なし
H-0.9-40	5	23.4	43	なし
H-0.9-50	5	24.5	45	なし
H-0.9-60	6	26.6	50	なし
H-0.9-70	6	30.1	58	なし
H-0.9-75	7	32.6	64	なし
H-1.1-70	16	41.7	71	なし
H-1.1-75	17	45.2	78	なし
H-1.1-80	18	49.7	87	なし
H-1.1-87	21	58.6	107	なし
H-1.1	22	63.9	119	破砕部16(N48° E/56° NW, 幅7cm)が認められるものの、隣接孔に連続しない。
H-1.3-88	34	77.1	131	破砕部14(N64° E/69° NW, 幅3cm)が認められるものの、隣接孔に連続しない。
H-1.5-95	50	94.4	147	破砕部12(N35° W/79° NE, 幅5cm)が認められるものの、隣接孔に連続しない。

それぞれのボーリング柱状図等は、データ集1, 2, 3

K-2, K-6の破砕部の性状

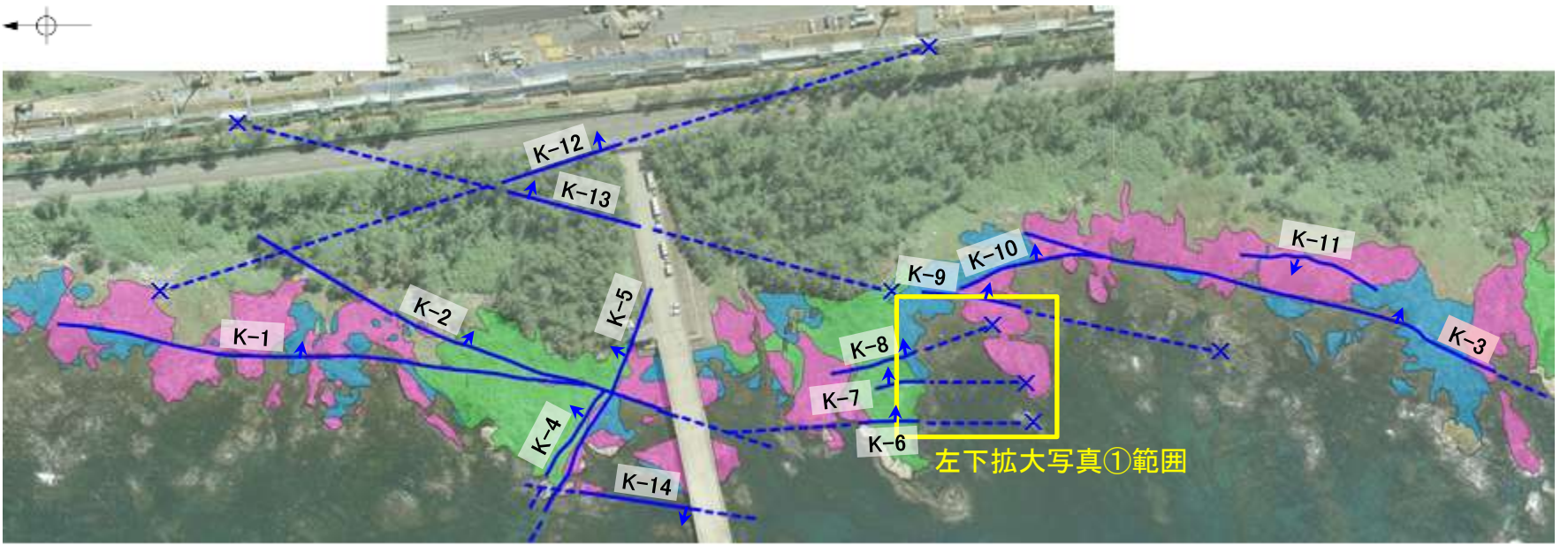
断層名	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅*
K-2	N19° E/72° SE	28cm (94cm)
K-6	N2° W/60° NE	7cm (9cm)

\*:すべての破砕部の平均値  
(下段括弧内は最大値)。

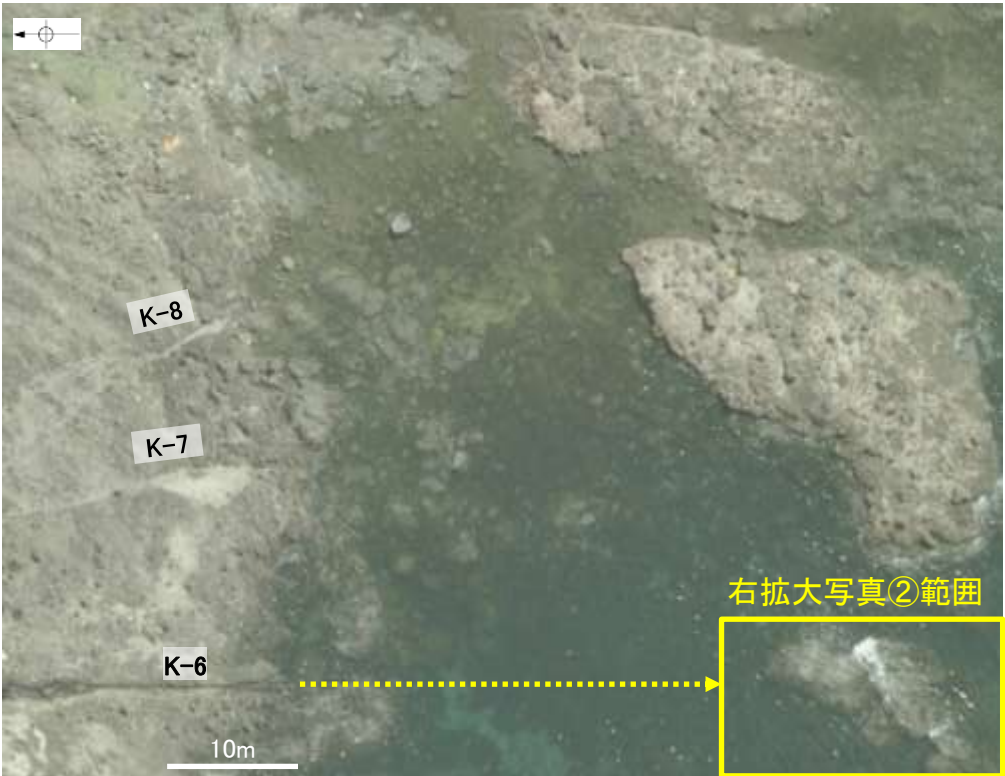
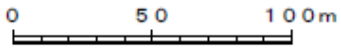
# K-6端部の調査結果 ー南端：露岩域ー

■K-6南端の調査結果を以下に示す。

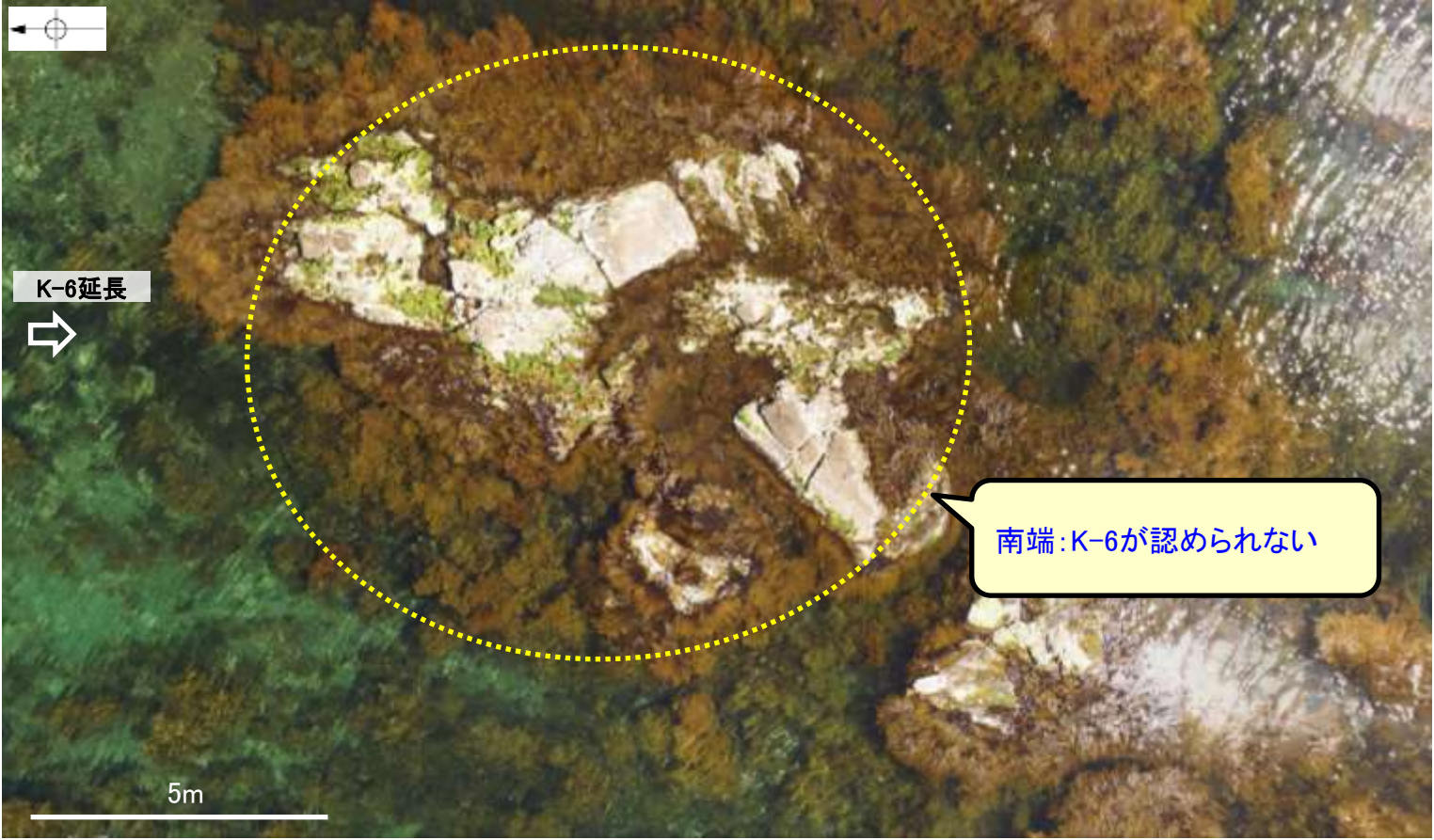
**【K-6南端の調査結果】**  
南方延長の露岩域において、K-6が認められないことを確認。



断層分布図(海岸部)



拡大写真①  
K-6の南方延長付近



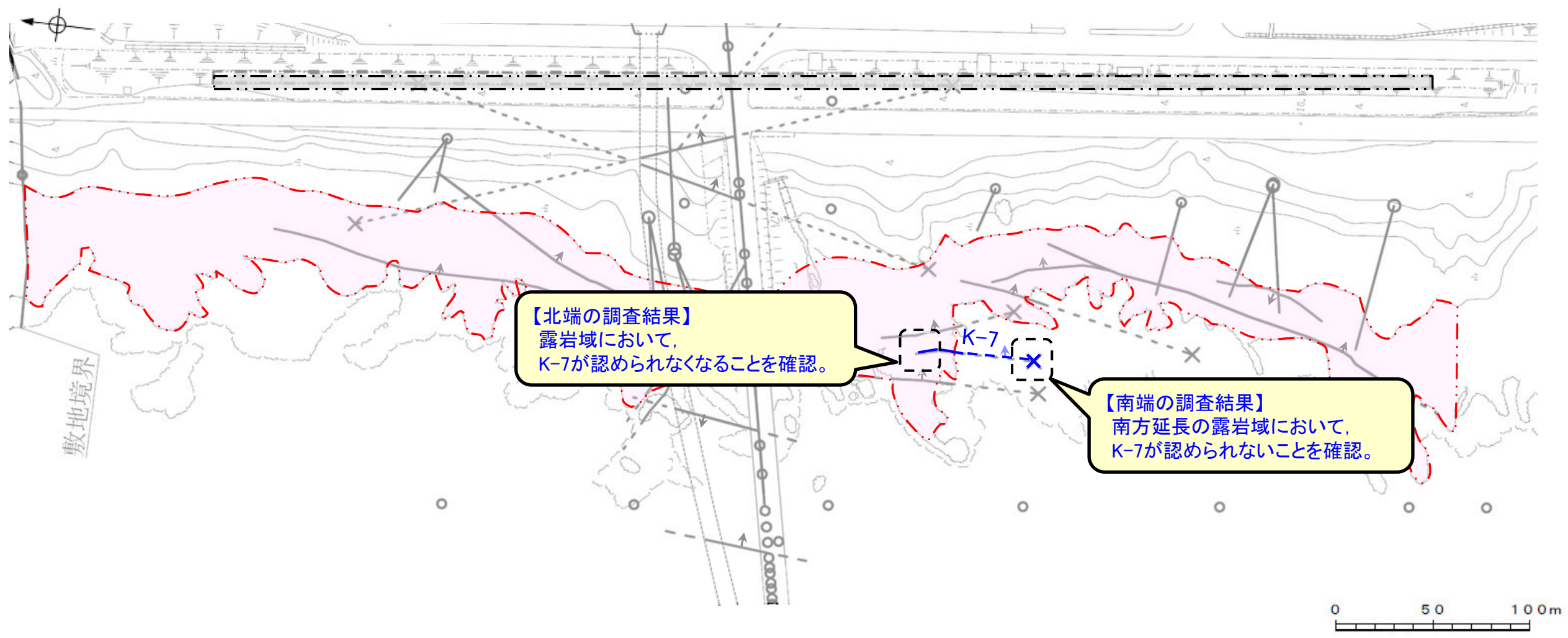
拡大写真②

---

## (17) K-7端部の調査結果

# K-7端部の調査結果 一概要一

■K-7端部の調査結果の概要を以下に示す。



調査位置図

K-7端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-7	20m以上 55m以下	N8° W / 88° NE

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値

凡 例

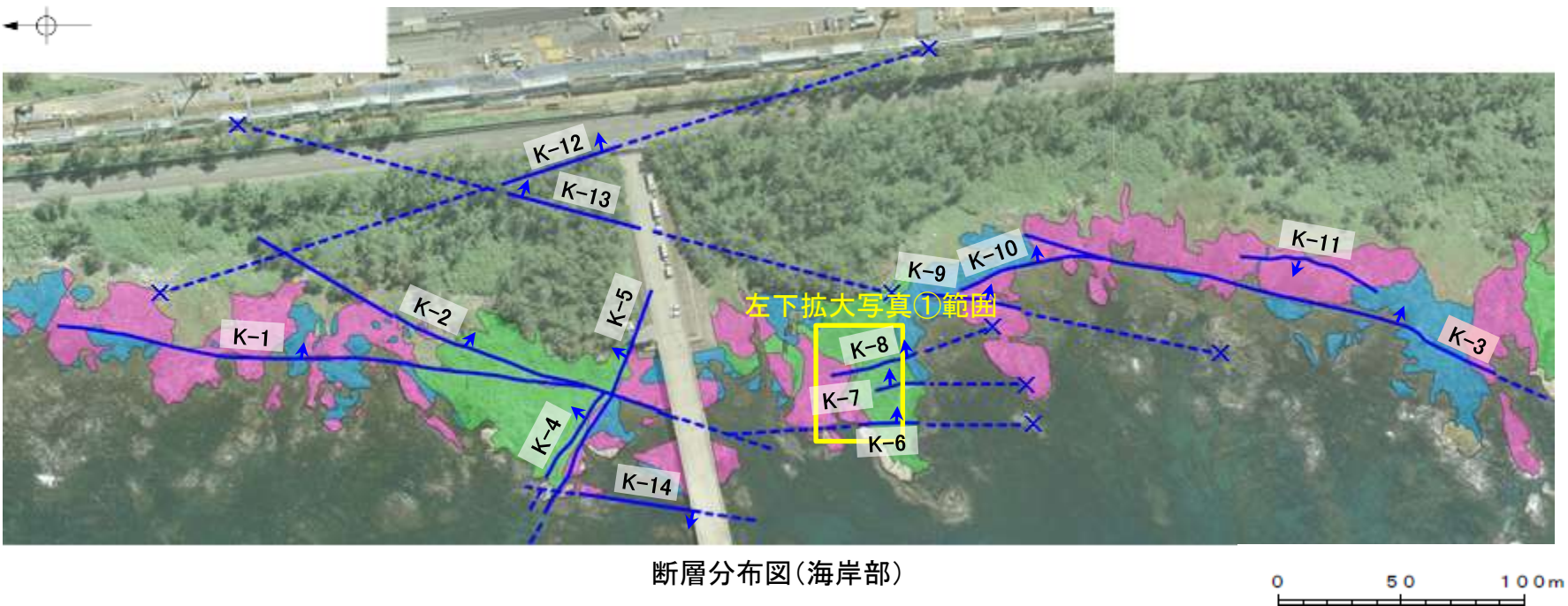
- 鉛直ボーリング孔
- ⊙ 斜めボーリング孔
- X 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- 断層端部を確認していないもの
- 露頭調査範囲
- 防潮堤基礎掘削範囲
- 断層(K-7以外)(EL0m)
- K-7(EL0m)

矢印(♣)の向きは断層の傾斜方向を示す

# K-7端部の調査結果 —北端：露岩域—

■K-7北端の調査結果を以下に示す。

**【K-7北端の調査結果】**  
露岩域において、K-7が認められなくなることを確認。



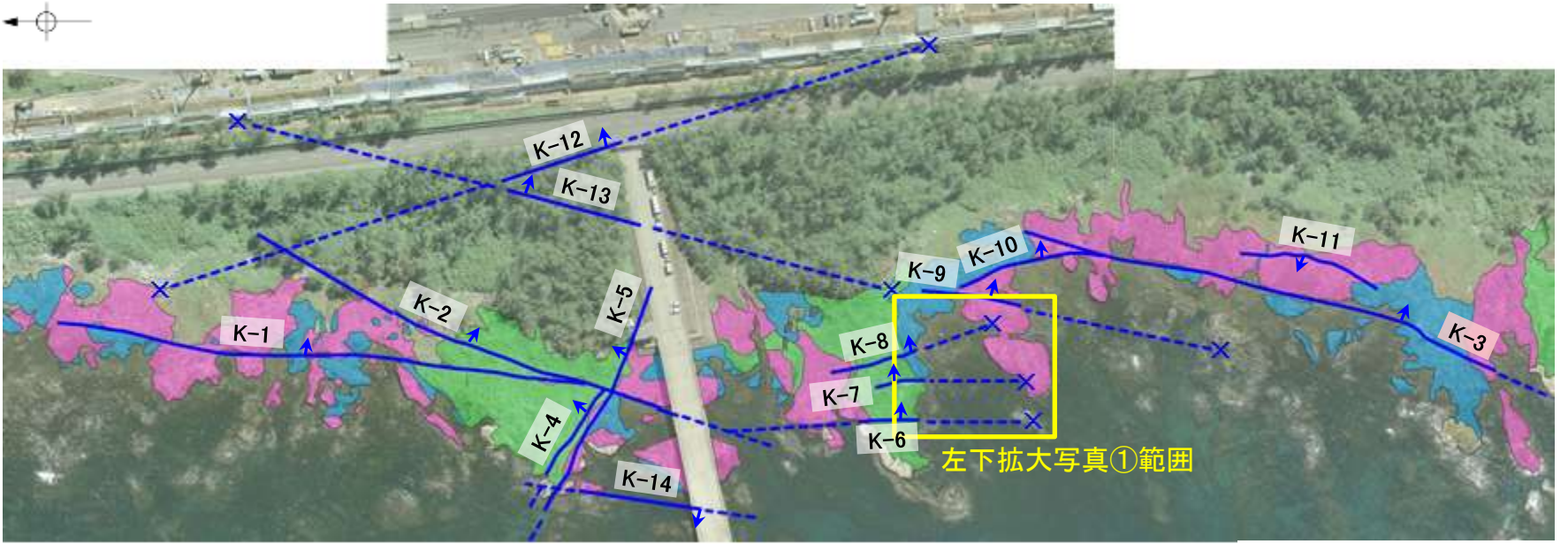
- 凡例**
- 別所岳安山岩類 安山岩(均質)
  - 別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)
  - 別所岳安山岩類 凝灰角礫岩
  - 断層(地表面)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- 矢印(↗)の向きは断層の傾斜方向を示す



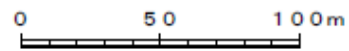
# K-7端部の調査結果 ー南端：露岩域ー

■K-7南端の調査結果を以下に示す。

**【K-7南端の調査結果】**  
南方延長の露岩域において、K-7が認められないことを確認。



断層分布図(海岸部)



拡大写真①  
K-7の南方延長付近



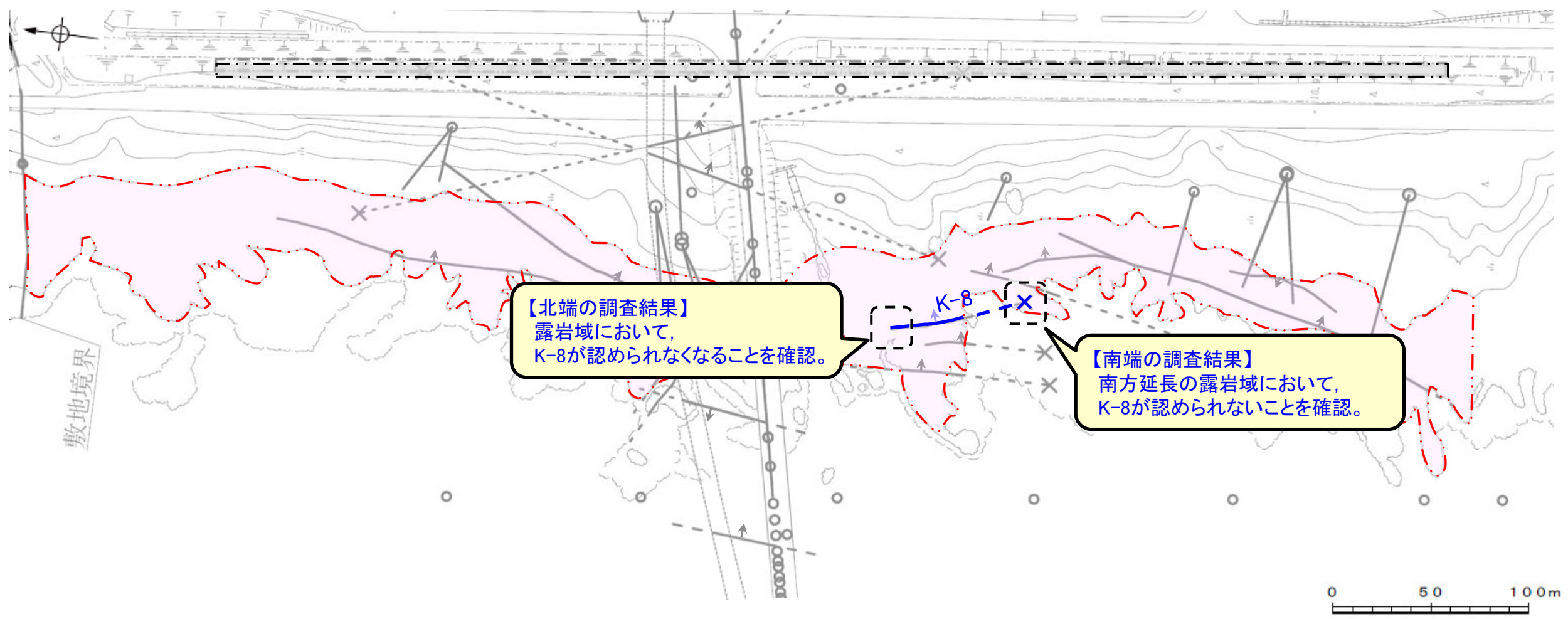
拡大写真②

---

## (18) K-8端部の調査結果

# K-8端部の調査結果 一概要一

■K-8端部の調査結果の概要を以下に示す。



調査位置図

K-8端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-8	35m以上 70m以下	N15° W / 80° NE

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値

凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- ⊙ 斜めボーリング孔
- ⋯ 露頭調査範囲
- ▨ 防潮堤基礎掘削範囲
- 断層(K-8以外)(EL0m)
- K-8(EL0m)

{  
 - - - x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの  
 - - - x 断層端部を確認していないもの  
 }

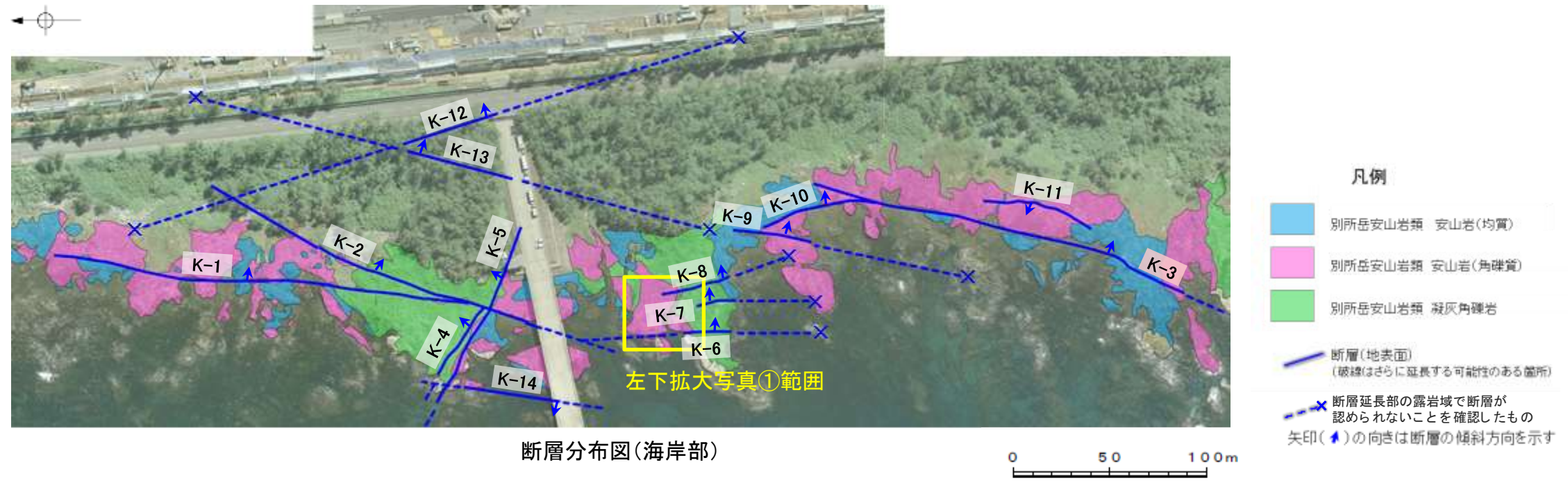
矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す



# K-8端部の調査結果 —北端：露岩域—

■K-8北端の調査結果を以下に示す。

**【K-8北端の調査結果】**  
露岩域において、K-8が認められなくなることを確認。



拡大写真①  
K-8の北方付近

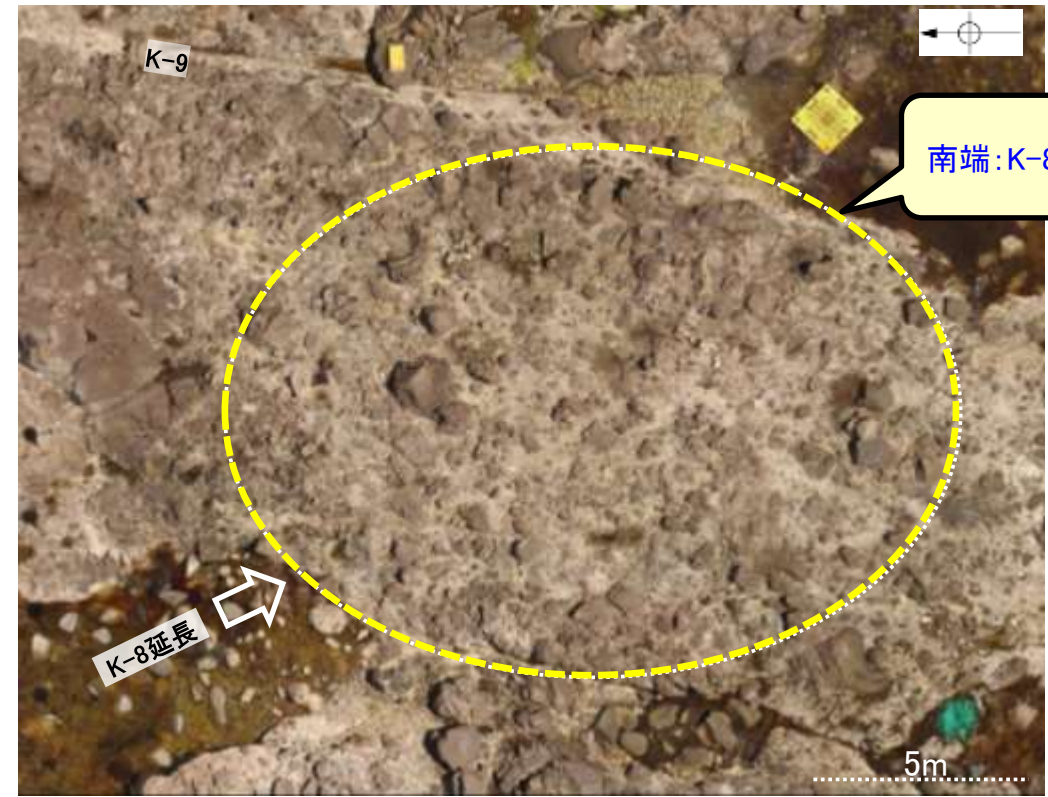
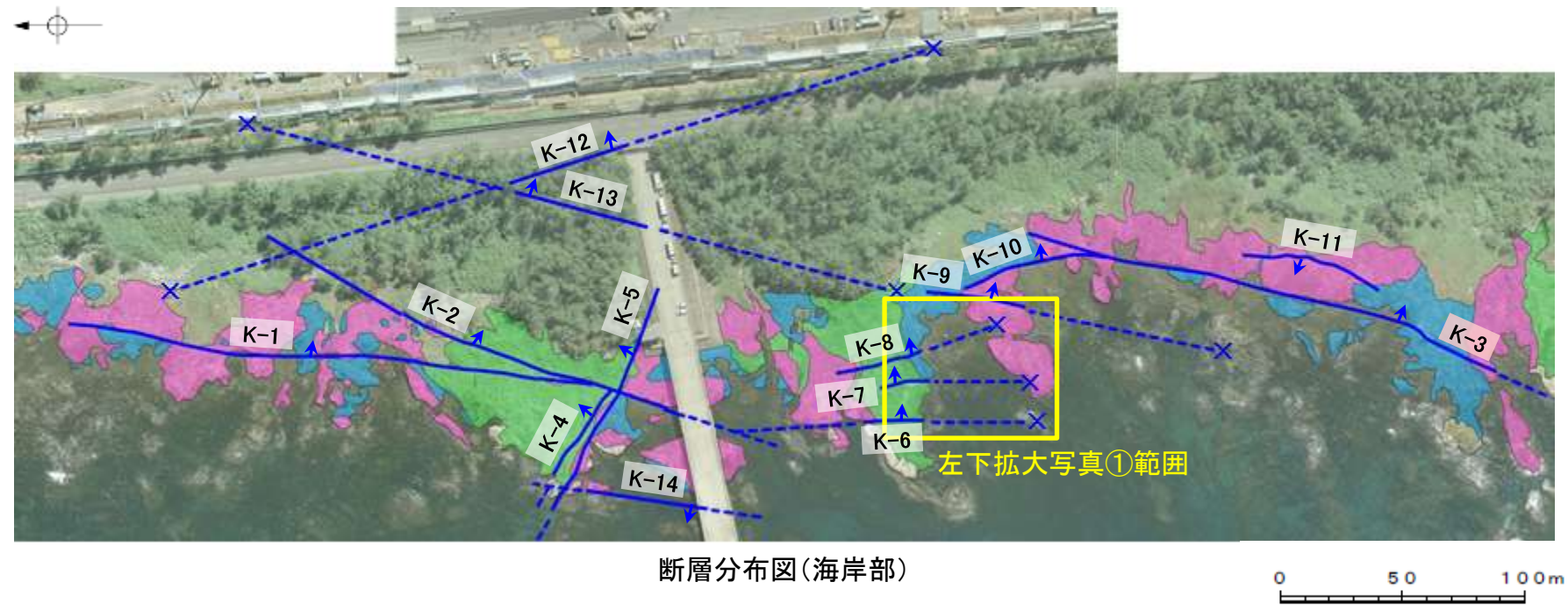


拡大写真②  
K-8の北方延長

# K-8端部の調査結果 ー南端:露岩域ー

■K-8南端の調査結果を以下に示す。

**【K-8南端の調査結果】**  
南方延長の露岩域において、K-8が認められないことを確認。

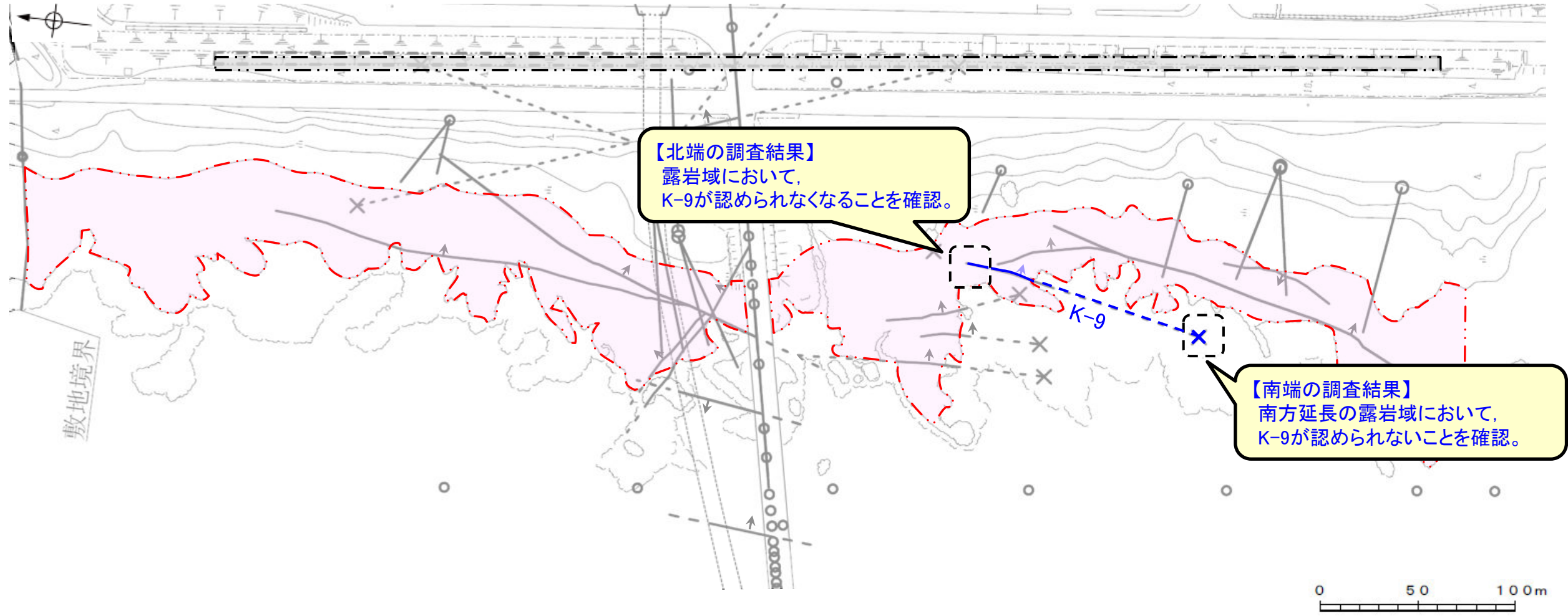


---

## (19) K-9端部の調査結果

# K-9端部の調査結果 一概要一

■K-9端部の調査結果の概要を以下に示す。



調査位置図

K-9端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-9	40m以上 120m以下	N10° E / 88° SE

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値

凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- ⊙ 斜めボーリング孔
- 露頭調査範囲
- 防潮堤基礎掘削範囲
- 断層(K-9以外) (EL0m)
- K-9 (EL0m)

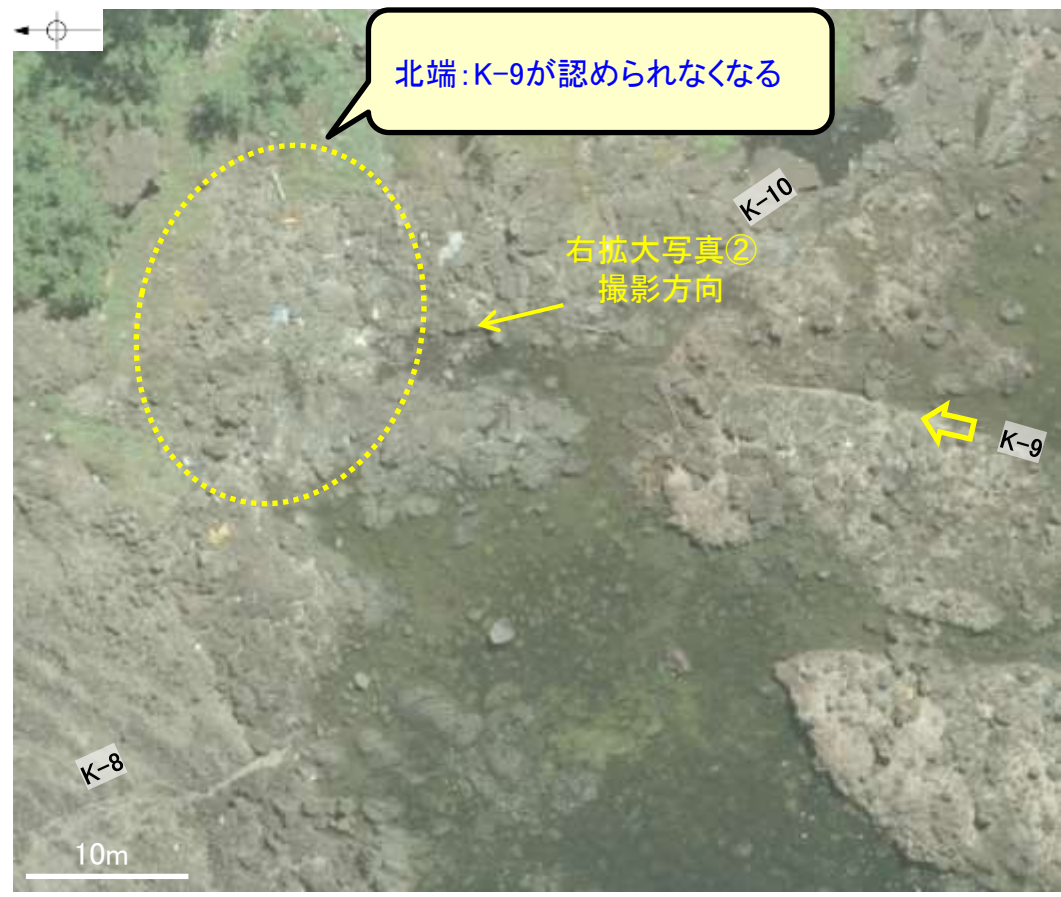
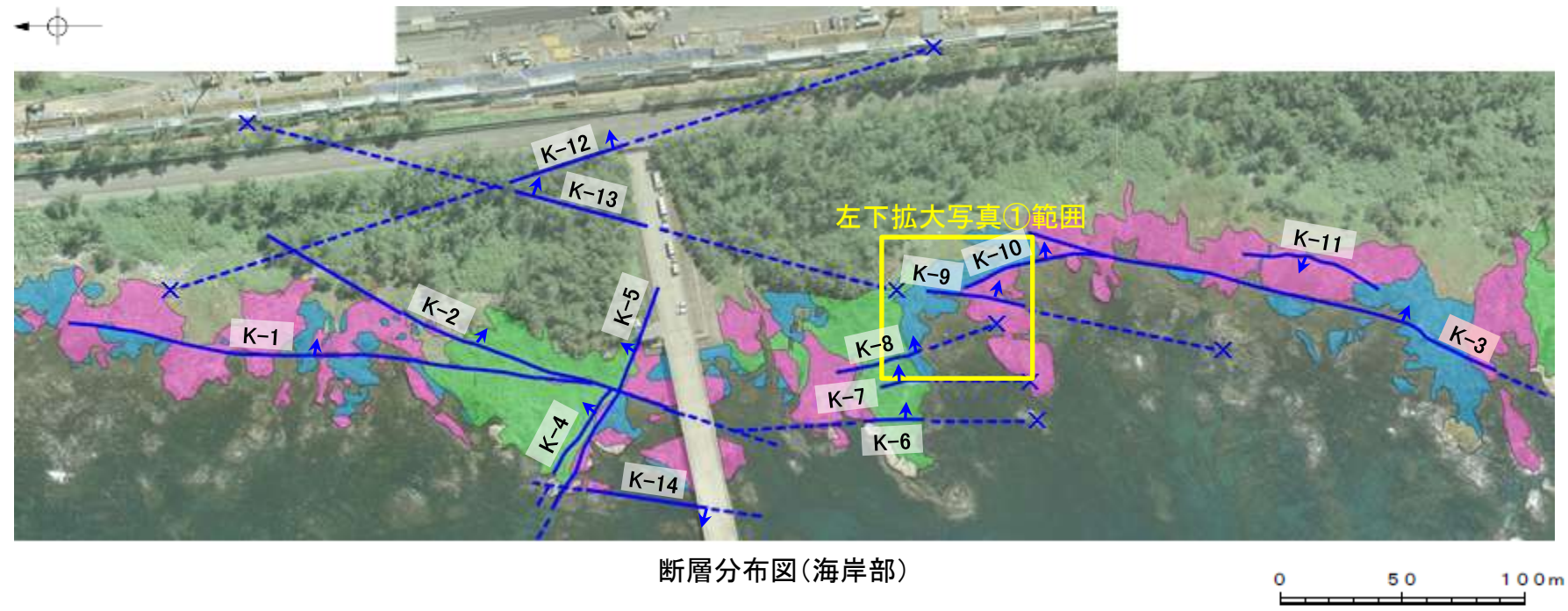
{ ---x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの }  
 { - - - 断層端部を確認していないもの }

矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

# K-9端部の調査結果 —北端：露岩域—

■K-9北端の調査結果を以下に示す。

**【K-9北端の調査結果】**  
露岩域において、K-9が認められなくなることを確認。



拡大写真①  
K-9の北方付近

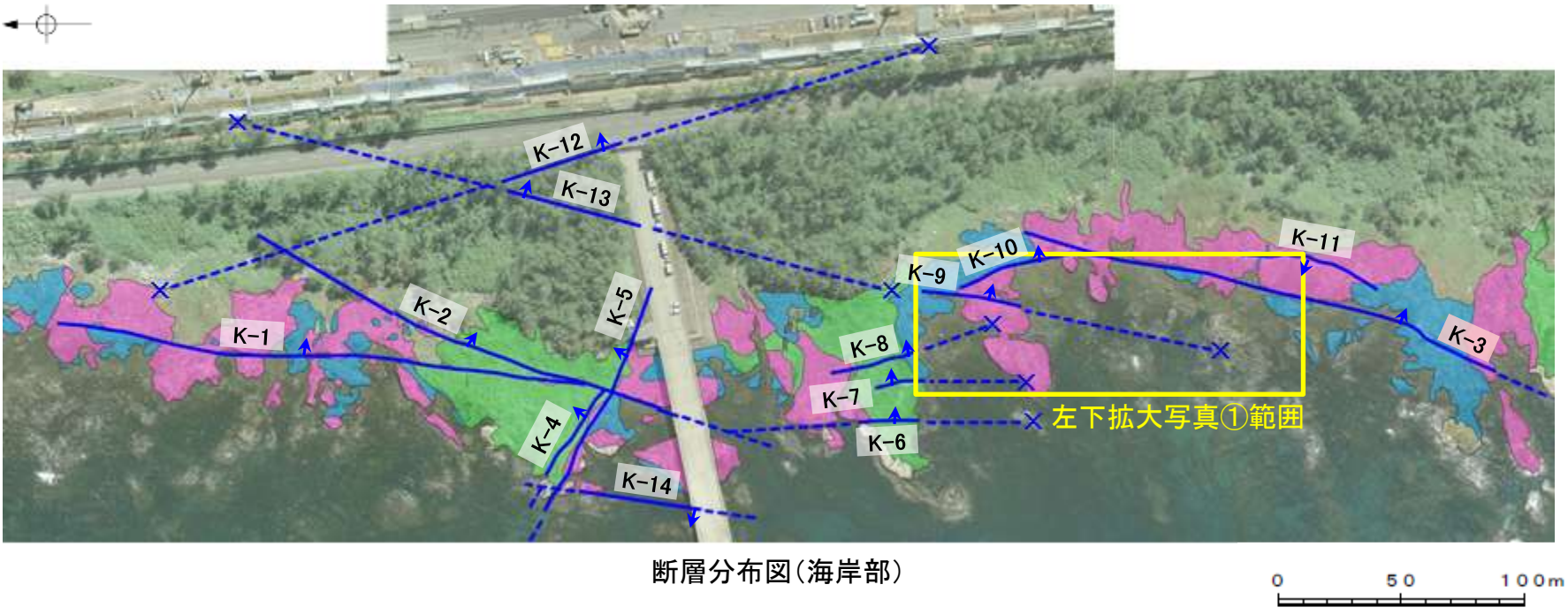


拡大写真②  
K-9の北方延長

# K-9端部の調査結果 ー南端:露岩域ー

■K-9南端の調査結果を以下に示す。

**【K-9南端の調査結果】**  
南方延長の露岩域において、K-9が認められないことを確認。



- 凡例**
- 別所岳安山岩類 安山岩(均質)
  - 別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)
  - 別所岳安山岩類 凝灰角礫岩
  - 断層(地表面)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したものの矢印(➡)の向きは断層の傾斜方向を示す

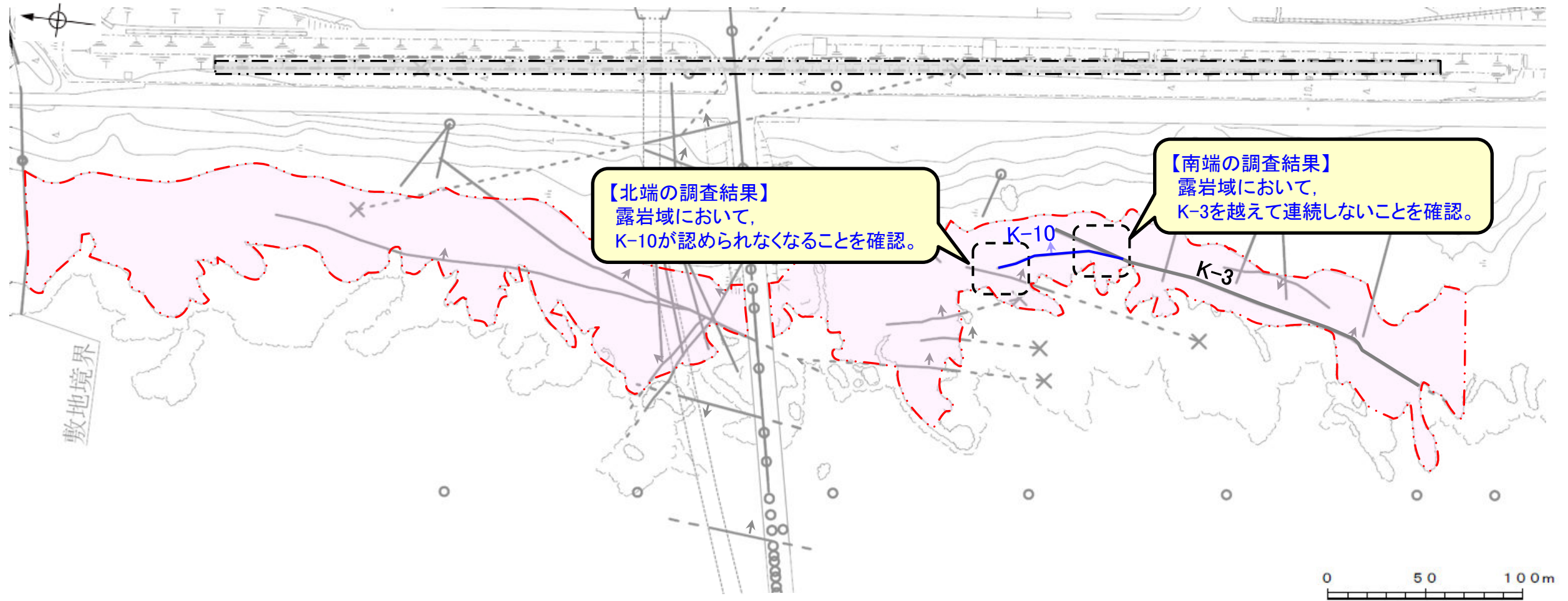


---

## (20) K-10端部の調査結果

# K-10端部の調査結果 一概要一

■K-10端部の調査結果の概要を以下に示す。



調査位置図

K-10端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

凡 例	
○	鉛直ボーリング孔
⊙	斜めボーリング孔
⋯	露頭調査範囲
▨	防潮堤基礎掘削範囲
—	断層(K-10以外)(EL0m)
—	K-10(EL0m)
⋯×	断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
⋯	
⋯	断層端部を確認していないもの

矢印(➤)の向きは断層の傾斜方向を示す

	延長	走向/傾斜
K-10	60m	N16° W / 62° NE

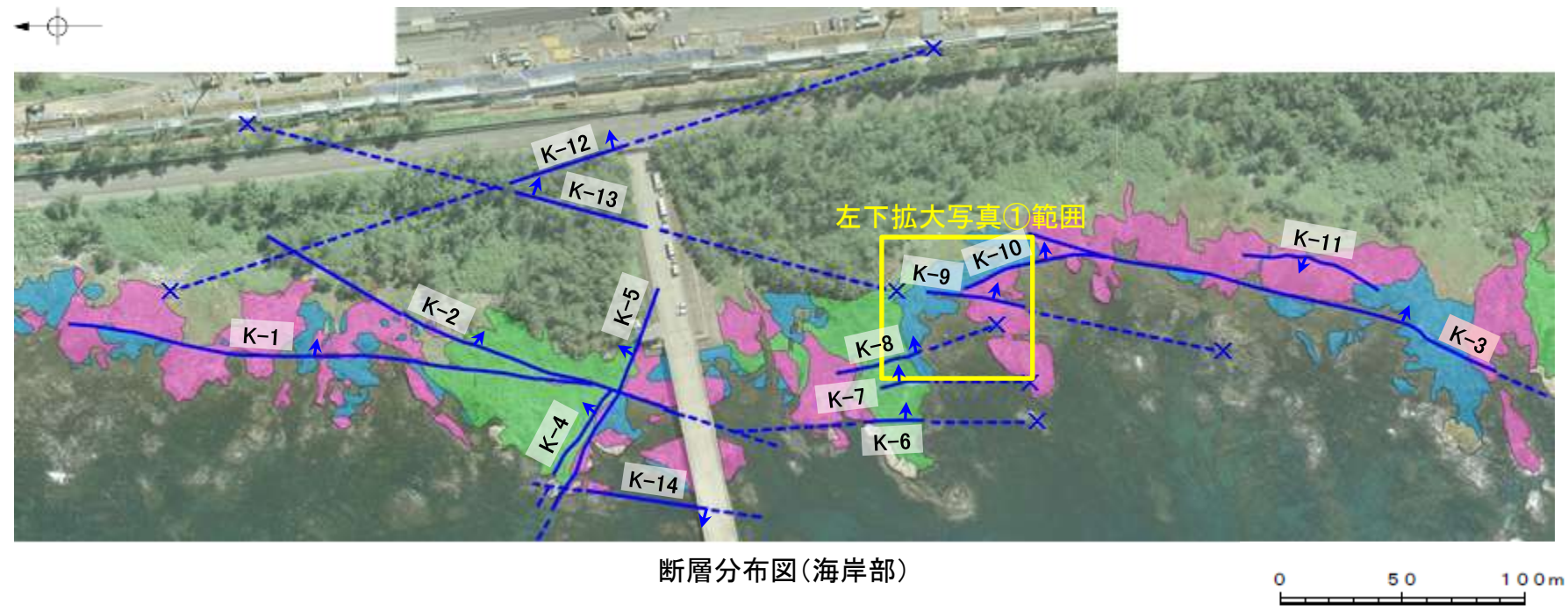
\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値



# K-10端部の調査結果 — 北端：露岩域 —

■K-10北端の調査結果を以下に示す。

**【K-10北端の調査結果】**  
露岩域において、K-10が認められなくなることを確認。



拡大写真①  
K-10の北方付近

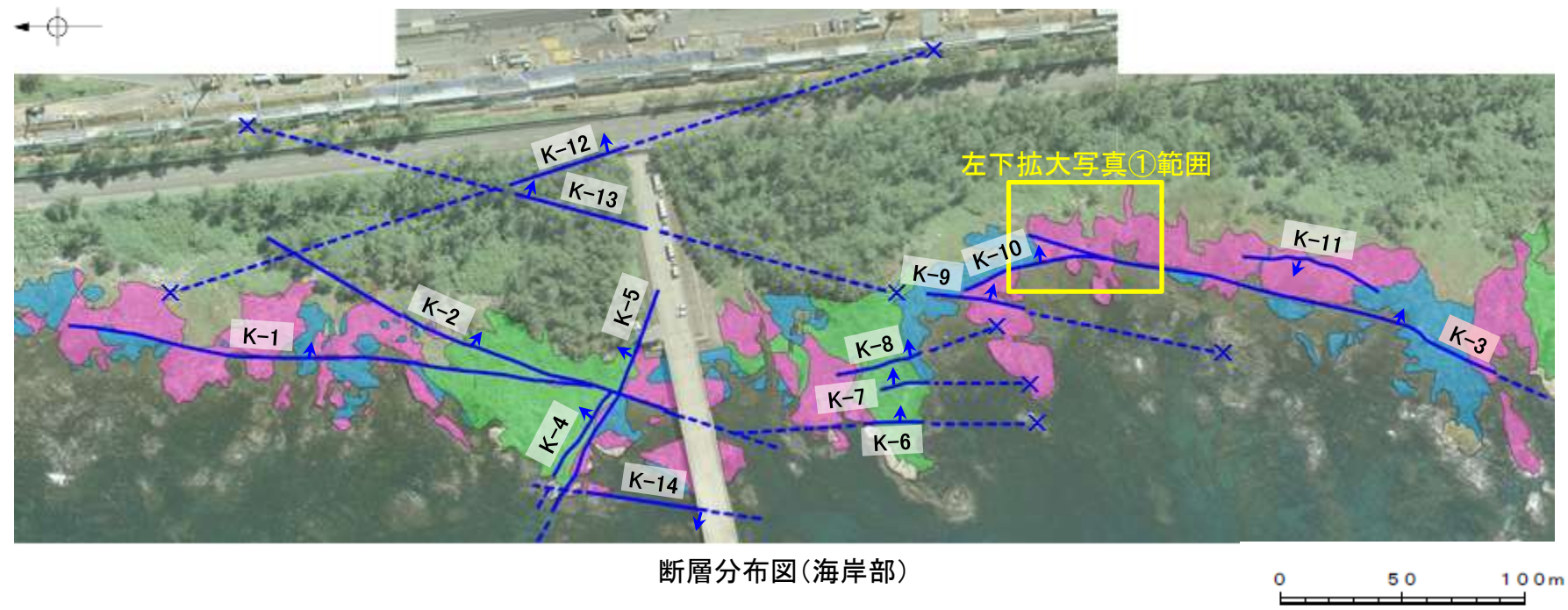


拡大写真②  
K-10の北方延長

# K-10端部の調査結果 —南端：露岩域—

■K-10南端の調査結果を以下に示す。

**【K-10南端の調査結果】**  
露岩域において、K-10はK-3を越えて連続しないことを確認。



拡大写真①  
K-10の南方付近



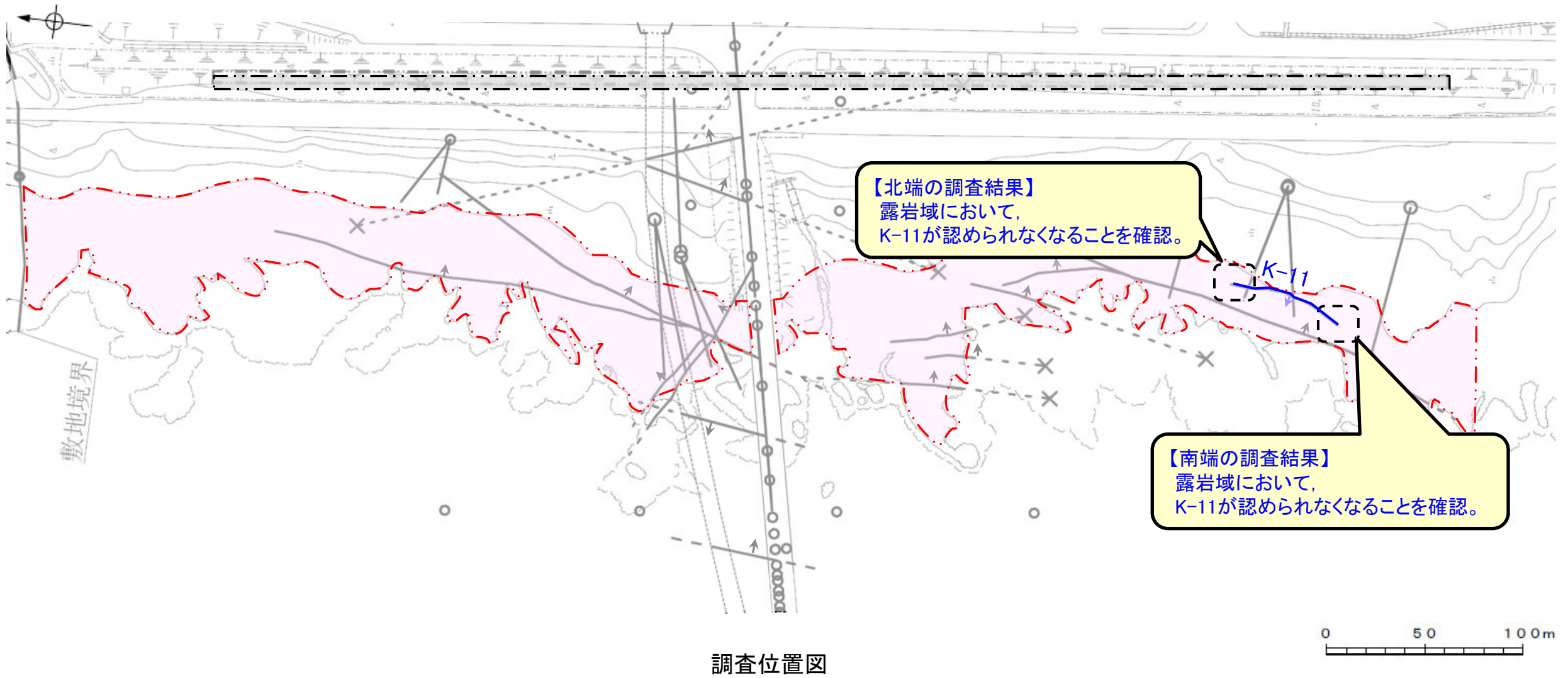
拡大写真②  
K-10とK-3の会合部

---

## (21) K-11端部の調査結果

# K-11端部の調査結果 一概要一

■K-11端部の調査結果の概要を以下に示す。



K-11端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-11	60m	N14° E / 70° NW

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値

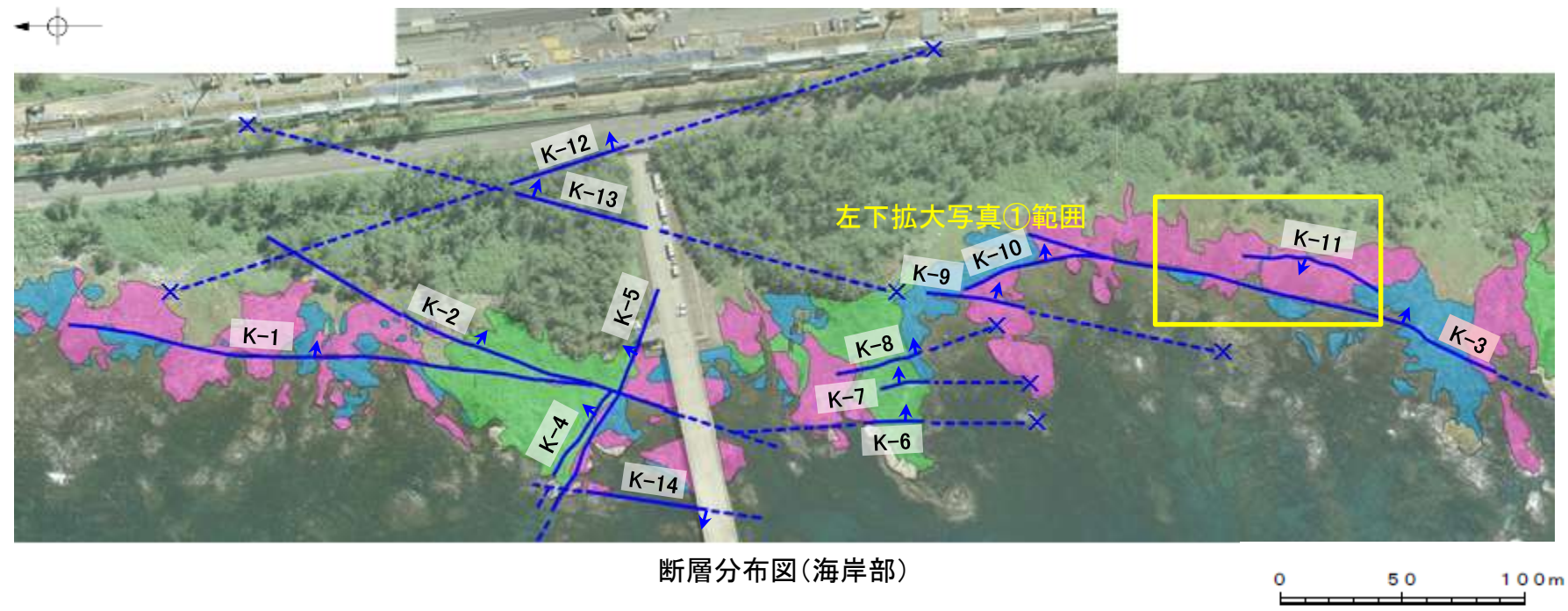
凡 例	
○	鉛直ボーリング孔
⊙	斜めボーリング孔
	露頭調査範囲
	防潮堤基礎掘削範囲
	断層(K-11以外)(EL0m)
	K-11(EL0m)
	断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
	断層端部を確認していないもの

矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

# K-11端部の調査結果 —北端：露岩域—

■K-11北端の調査結果を以下に示す。

**【K-11北端の調査結果】**  
露岩域において、K-11が認められなくなることを確認。



拡大写真①  
K-11の北方付近

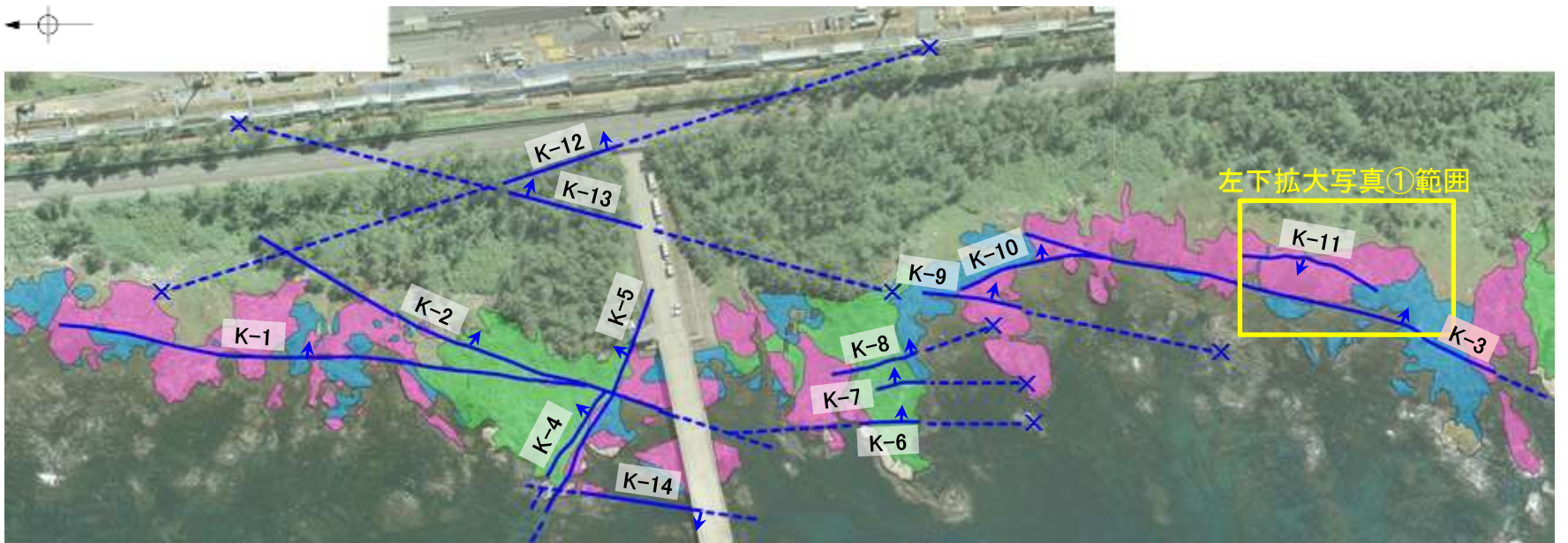


拡大写真②  
K-11の北方延長

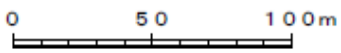
# K-11端部の調査結果 ー南端：露岩域ー

■K-11南端の調査結果を以下に示す。

**【K-11南端の調査結果】**  
露岩域において、K-11が認められなくなることを確認。



断層分布図(海岸部)



拡大写真①  
K-11の南方付近



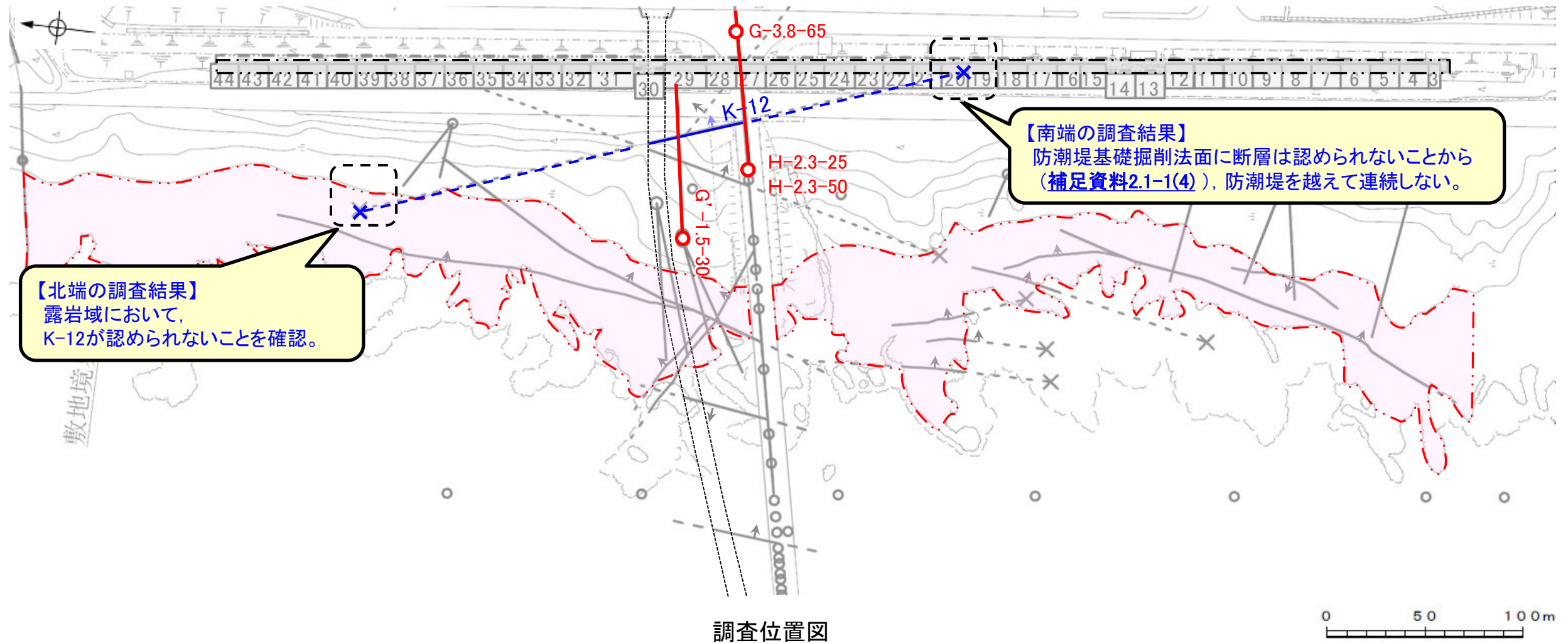
拡大写真②  
K-11の南方延長

---

## (22) K-12端部の調査結果

# K-12端部の調査結果 ー概要ー

■K-12端部の調査結果の概要を以下に示す。



K-12端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	防潮堤	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-12	50m以上 310m以下	N21° W / 72° NE

\* 走向は、一般走向  
傾斜は、ボーリングで確認したすべての破砕部のベクトル平均値

凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- ⊙ 斜めボーリング孔
- x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- x 断層端部を確認していないもの
- x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- x 断層端部を確認していないもの

--- 露頭調査範囲  
 防潮堤基礎掘削範囲  
 — 断層(K-12以外)(EL0m)  
--- K-12(EL0m)  
--- K-12が認められた箇所を赤で着色

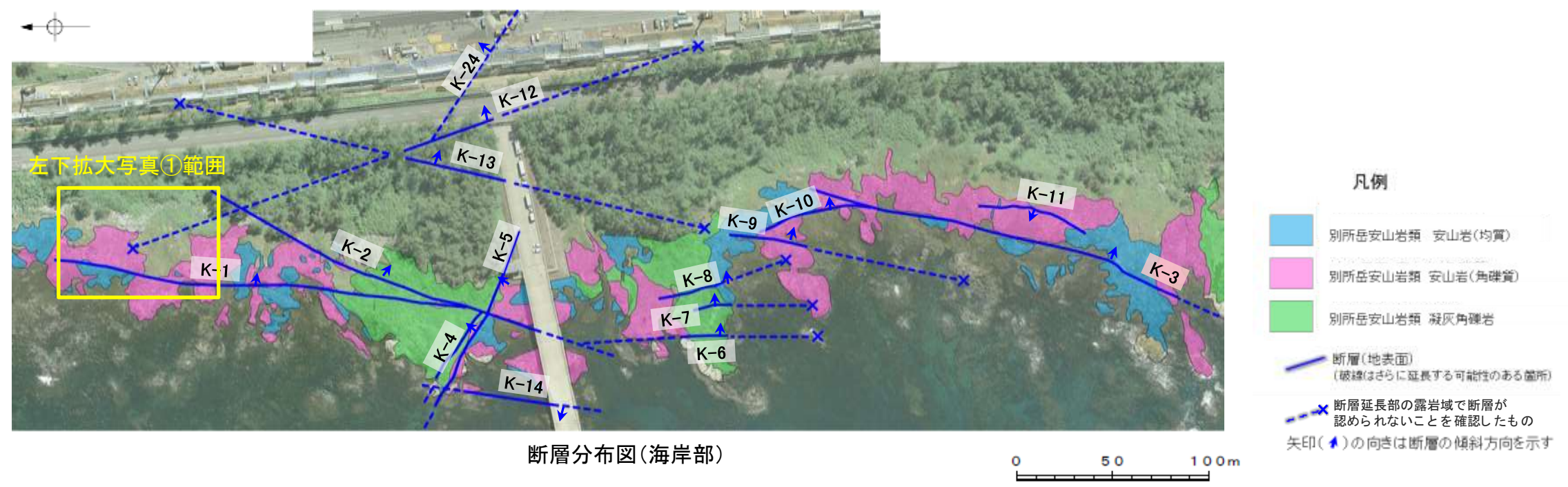
矢印(➤)の向きは断層の傾斜方向を示す



# K-12端部の調査結果 —北端：露岩域—

■K-12北端の調査結果を以下に示す。

**【K-12北端の調査結果】**  
露岩域において、K-12が認められないことを確認。

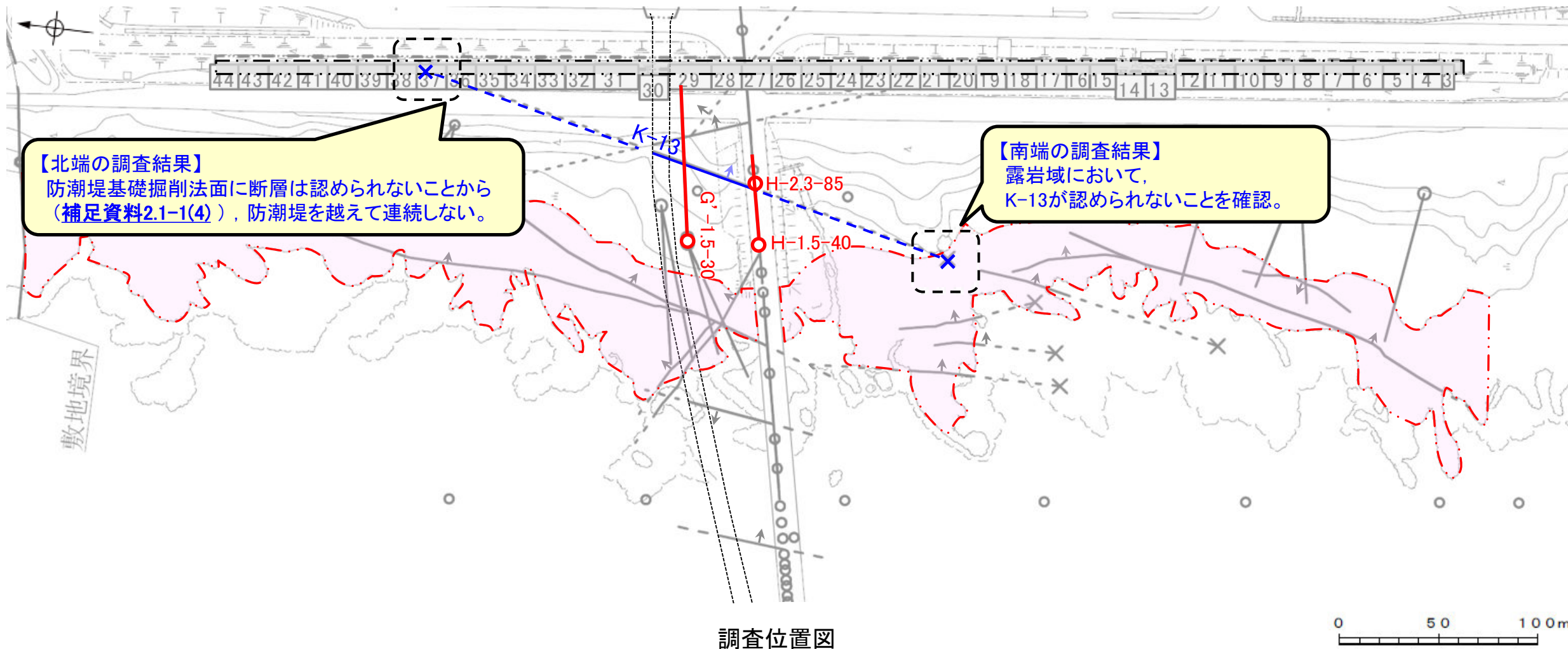


---

## (23) K-13端部の調査結果

# K-13端部の調査結果 一概要一

■K-13端部の調査結果の概要を以下に示す。



**【北端の調査結果】**  
防潮堤基礎掘削法面に断層は認められないことから（補足資料2.1-1(4)），防潮堤を越えて連続しない。

**【南端の調査結果】**  
露岩域において，K-13が認められないことを確認。

調査位置図

K-13端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	防潮堤	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-13	55m以上 300m以下	N12° E / 74° SE

\* 走向は、一般走向  
傾斜は、ボーリングで確認したすべての破砕部のベクトル平均値

凡 例

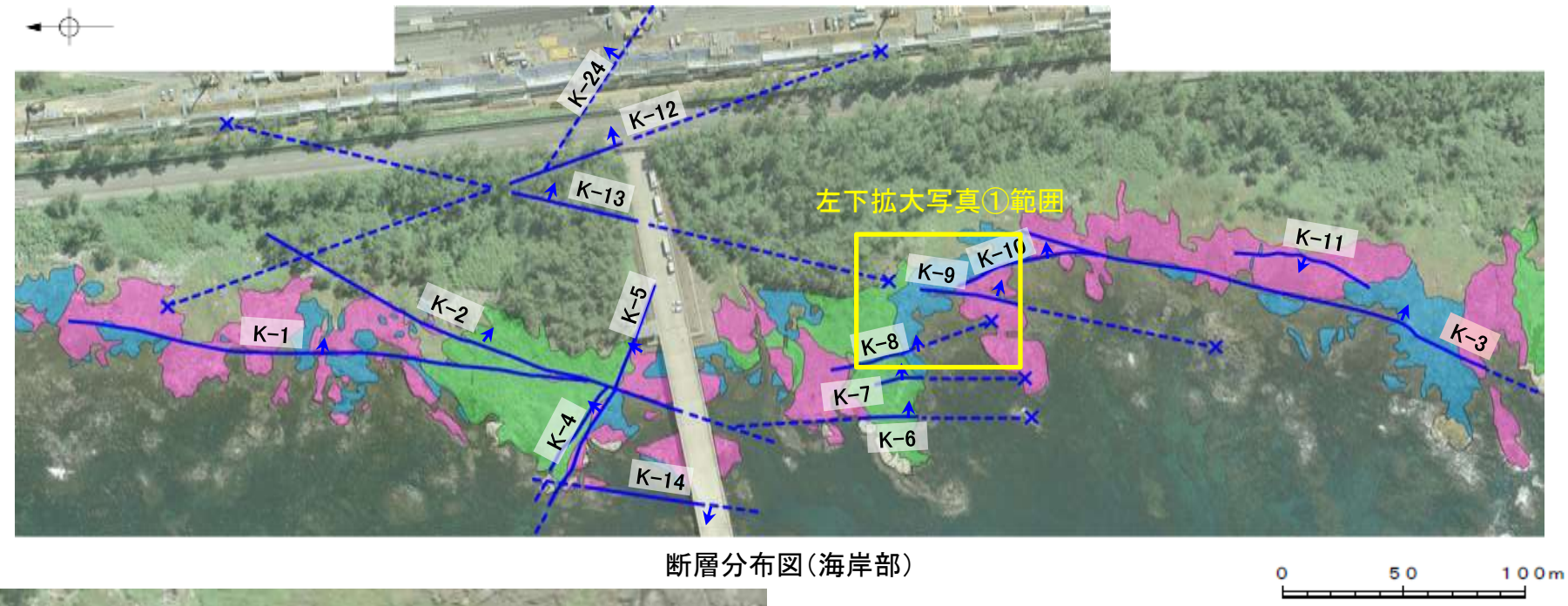
- 鉛直ボーリング孔
- ⊙ 斜めボーリング孔
- ⋯ 露頭調査範囲
- ▨ 防潮堤基礎掘削範囲
- 断層(K-13以外)(EL0m)
- K-13(EL0m)
- ⋯ K-13が認められた箇所を赤で着色
- ⋯× 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- ⋯ 断層端部を確認していないもの

矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

# K-13端部の調査結果 ー南端:露岩域ー

■K-13南端の調査結果を以下に示す。

**【K-13南端の調査結果】**  
露岩域において、K-13が認められないことを確認。



- 凡例
- 別所岳安山岩類 安山岩(均質)
  - 別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)
  - 別所岳安山岩類 凝灰角礫岩
  - 断層(地表面)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの  
矢印(➡)の向きは断層の傾斜方向を示す

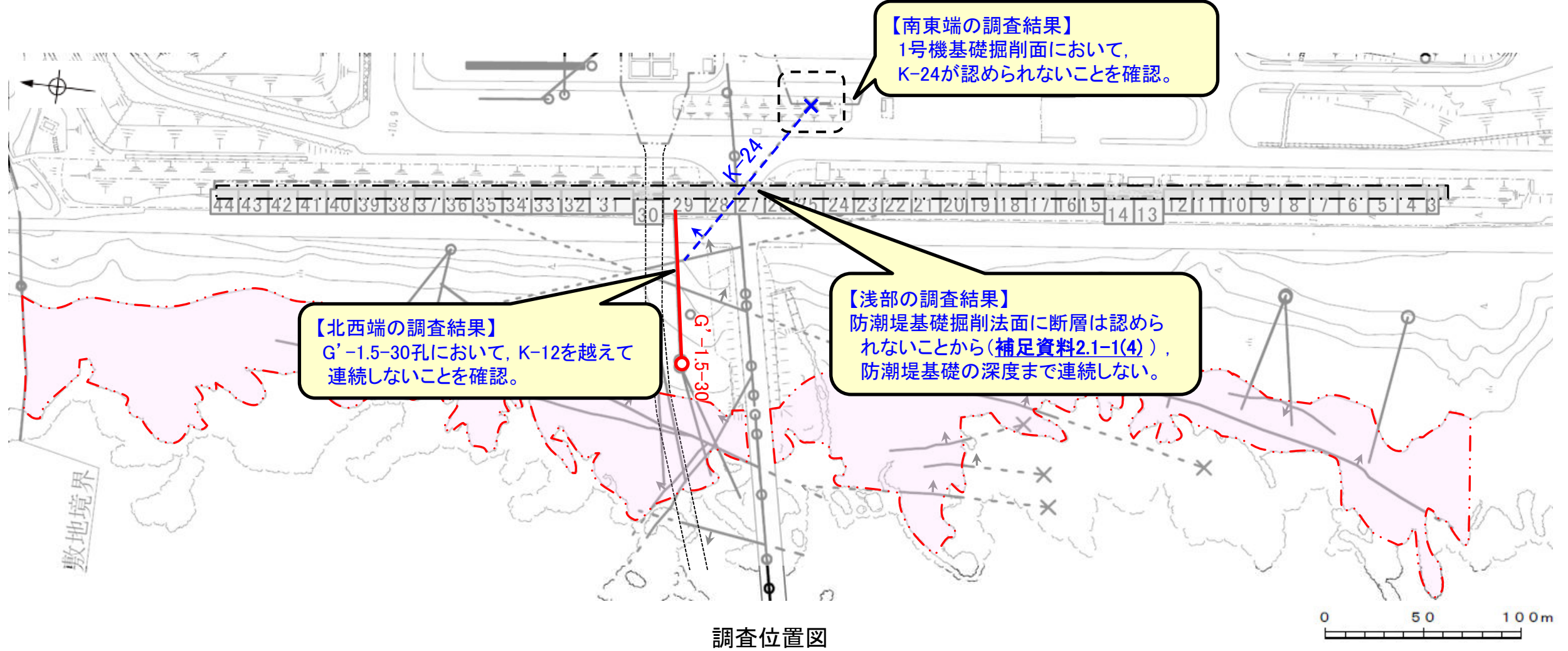


---

## (24) K-24端部の調査結果

# K-24端部の調査結果 ー概要ー

■K-24端部の調査結果の概要を以下に示す。



K-24端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北西端	G'-1.5-30孔	北西端の止め
南東端	1号機基礎掘削面	南東端の止め
浅部	防潮堤基礎	浅部の止め

	延長	走向/傾斜
K-24	105m以下	N58° W / 89° NE

凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- ⊙ 斜めボーリング孔
- x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- x 断層端部を確認していないもの
- x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- x 断層端部を確認していないもの

○ 鉛直ボーリング孔

⊙ 斜めボーリング孔

---x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの

---x 断層端部を確認していないもの

矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

・ 走向・傾斜は、ボーリングで確認したすべての破碎部のベクトル平均値

# K-24端部の調査結果 —北西端：G'-1.5-30孔①—

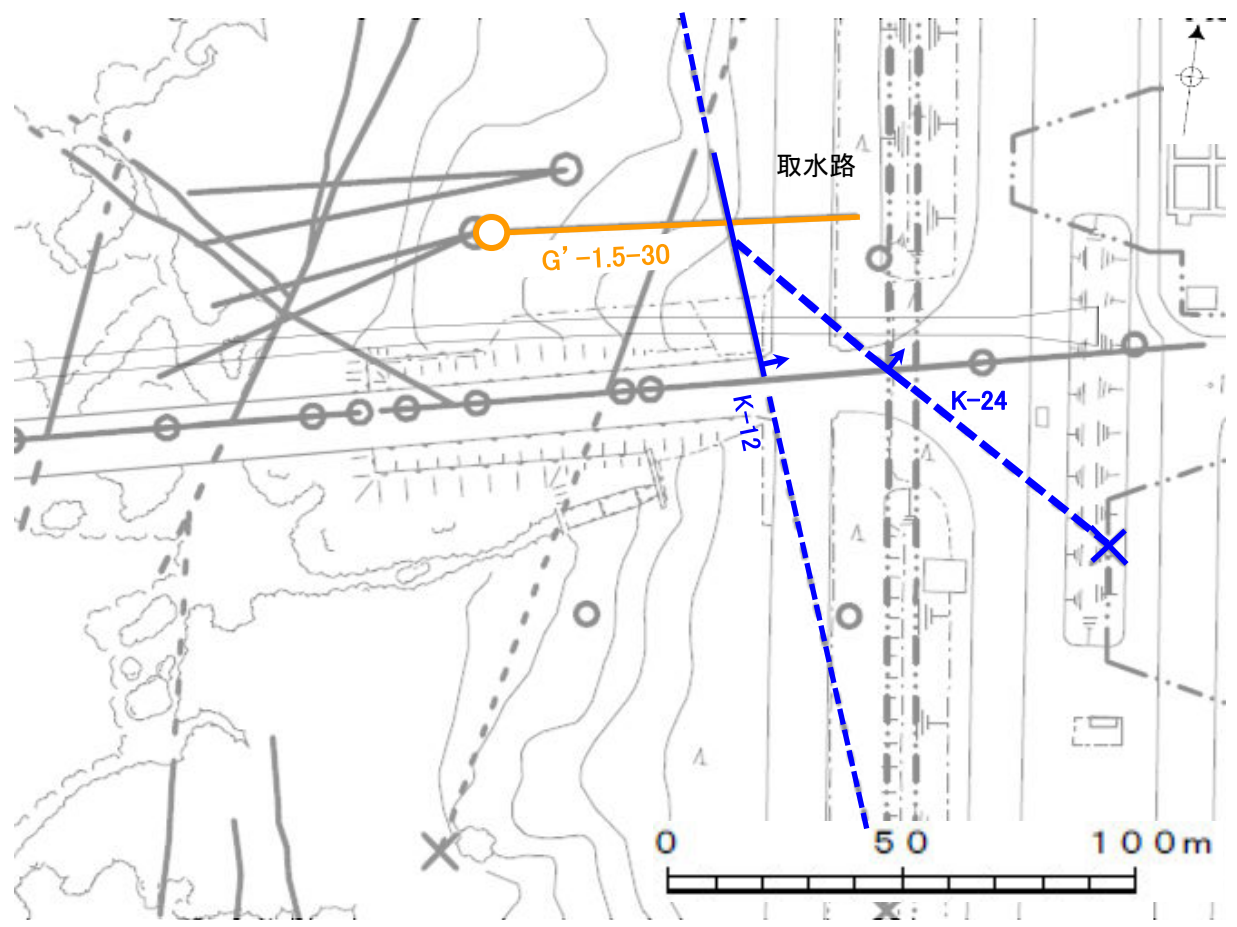
■K-24北西端の調査結果を以下に示す。

**【K-24北西端の調査結果】**  
G'-1.5-30孔において、K-24はK-12を越えて連続しないことを確認。

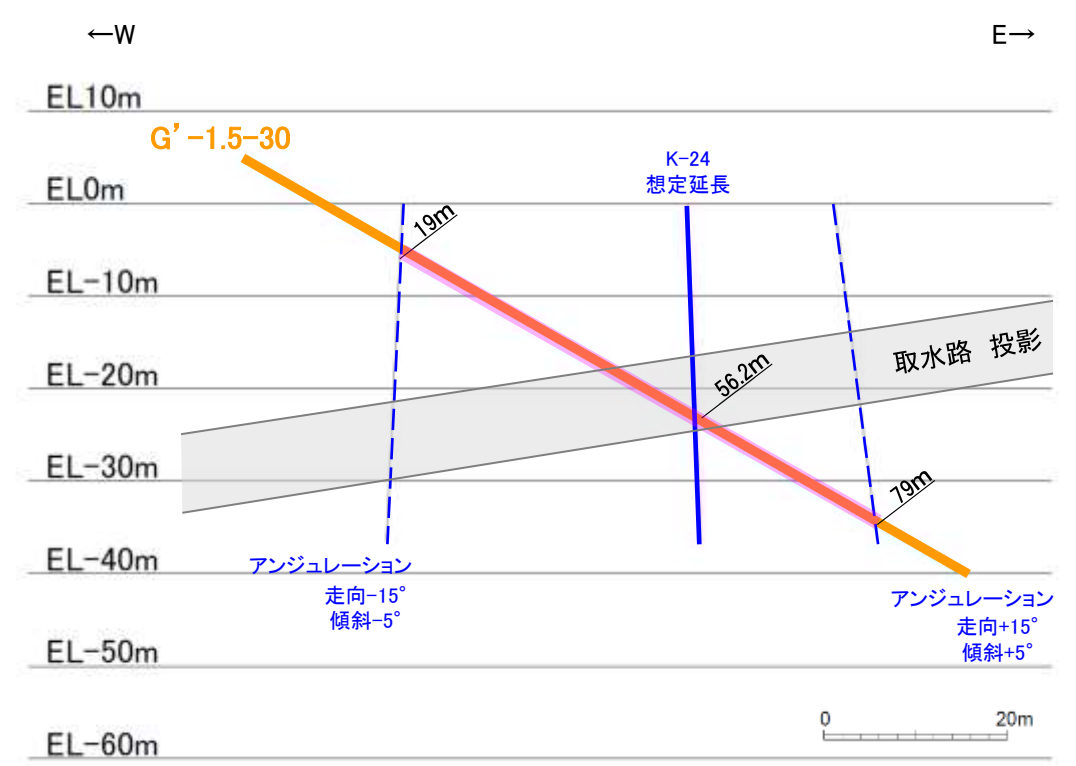
○北西端の止めとしているG'-1.5-30孔の調査結果を以降に示す。

## 【G'-1.5-30孔の調査結果】

- ・右の断面図に示すとおり、K-24の想定延長は、深度19m以深となる。
- ・想定延長範囲において、K-24は認められない。  
(想定延長範囲のコア写真は次頁参照)



矢印(↑)の向きは断層の傾斜方向を示す 調査位置図



■ K-24の想定延長範囲  
G'-1.5-30孔断面図(掘進方向)

- K-12, K-24(EL-20m)
- K-12, K-24以外の断層(EL 0m)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- × 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- 断層端部を確認していないもの

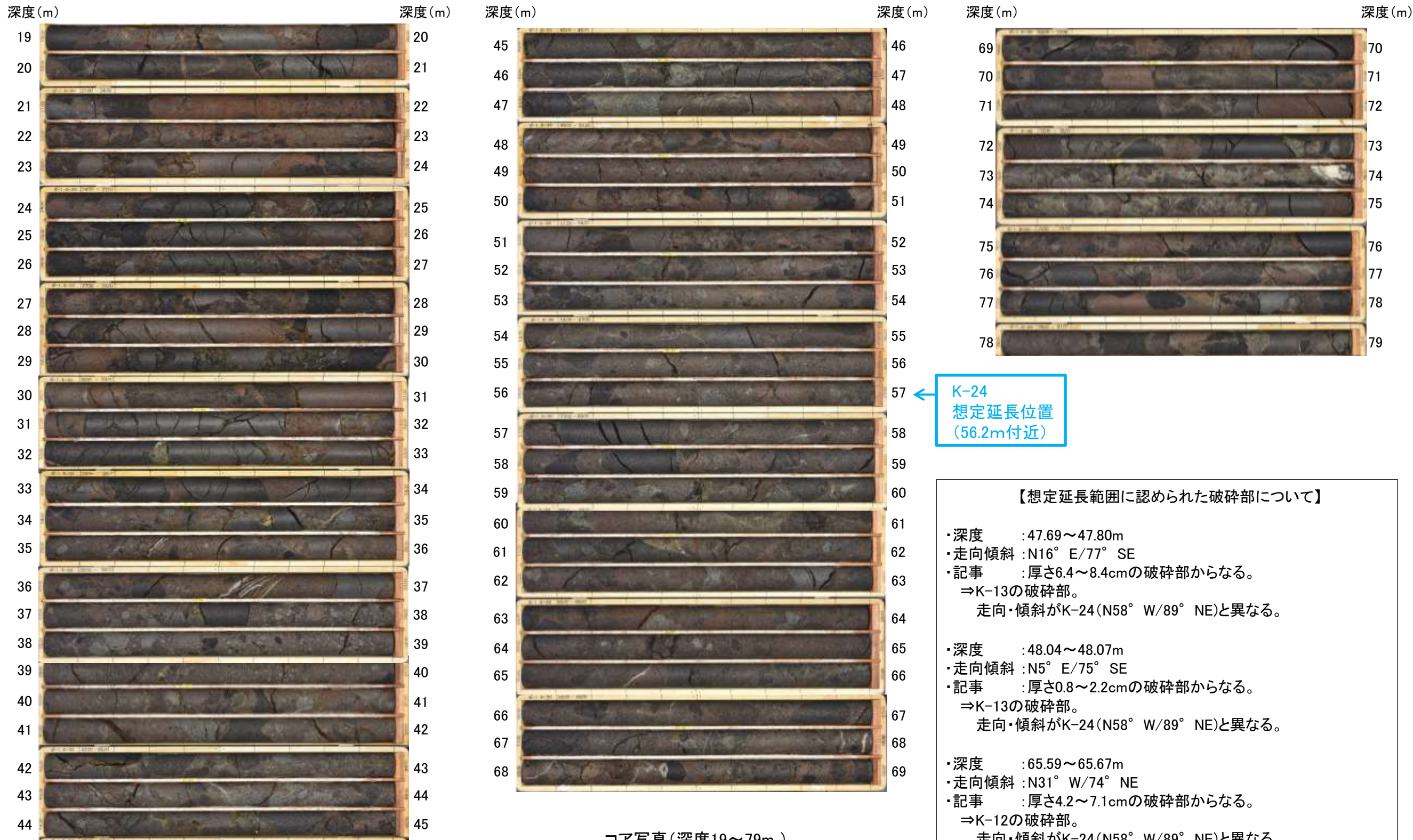
橙: 想定延長範囲にK-24が認められないボーリング

# K-24端部の調査結果 —北西端:G'-1.5-30孔②—

・K-24想定延長範囲(深度19~79m)のコア写真を以下に示す。

G'-1.5-30孔(孔口標高4.65m, 掘進長90m, 傾斜30°)

柱状図はデータ集1



コア写真(深度19~79m)

K-24  
想定延長位置  
(56.2m付近)

**【想定延長範囲に認められた破砕部について】**

- ・深度 : 47.69~47.80m
- ・走向傾斜 : N16° E/77° SE
- ・記事 : 厚さ6.4~8.4cmの破砕部からなる。  
⇒K-13の破砕部。  
走向・傾斜がK-24(N58° W/89° NE)と異なる。
- ・深度 : 48.04~48.07m
- ・走向傾斜 : N5° E/75° SE
- ・記事 : 厚さ0.8~2.2cmの破砕部からなる。  
⇒K-13の破砕部。  
走向・傾斜がK-24(N58° W/89° NE)と異なる。
- ・深度 : 65.59~65.67m
- ・走向傾斜 : N31° W/74° NE
- ・記事 : 厚さ4.2~7.1cmの破砕部からなる。  
⇒K-12の破砕部。  
走向・傾斜がK-24(N58° W/89° NE)と異なる。

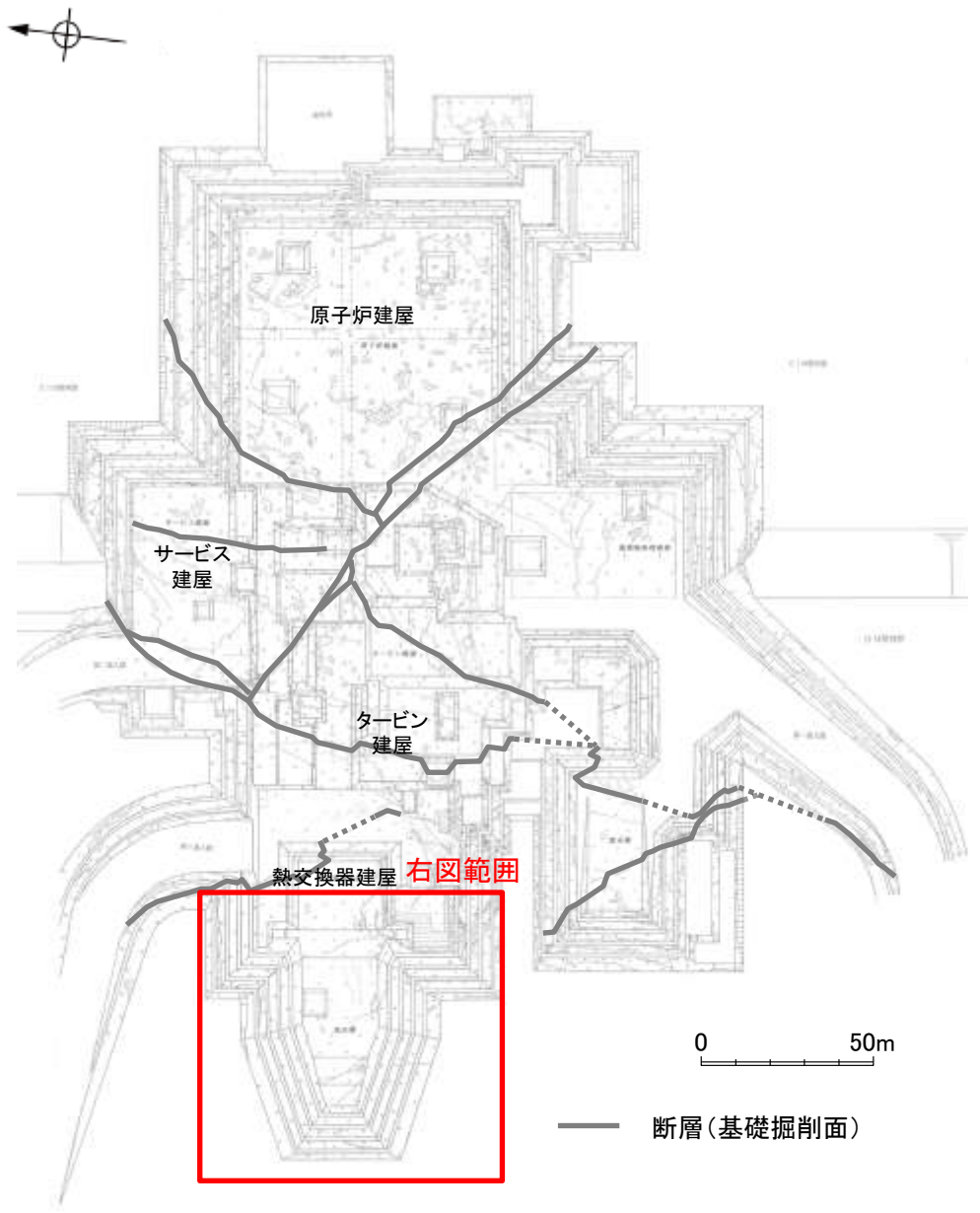
・G'-1.5-30孔において, K-24の想定延長範囲(深度19~79m)にK-24は認められない。



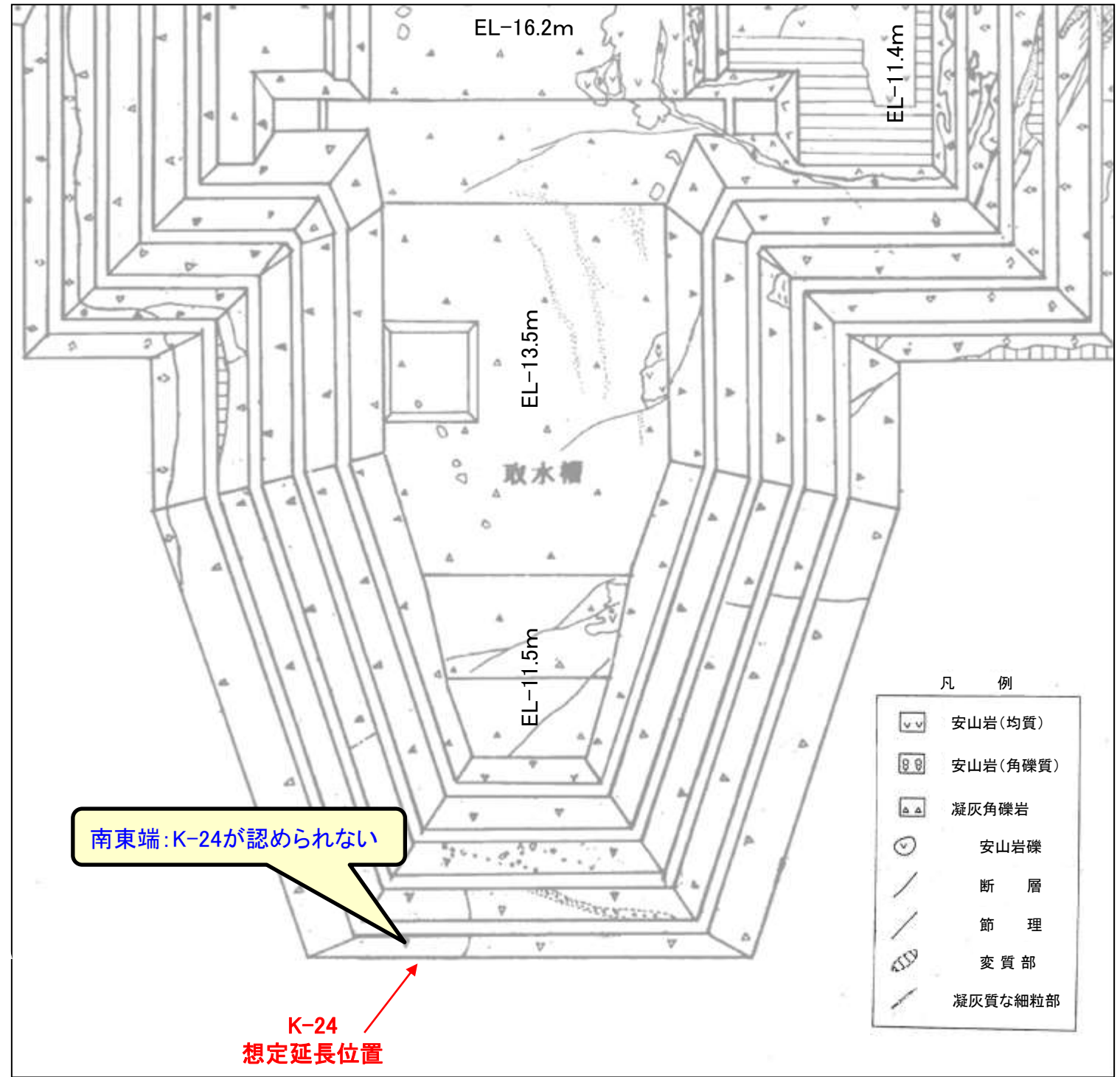
# K-24端部の調査結果 —南東端:1号機基礎掘削面—

■K-24南東端の調査結果を以下に示す。

**【K-24南東端の調査結果】**  
1号機基礎掘削面において、K-24が認められないことを確認。



1号機基礎掘削面



拡大スケッチ



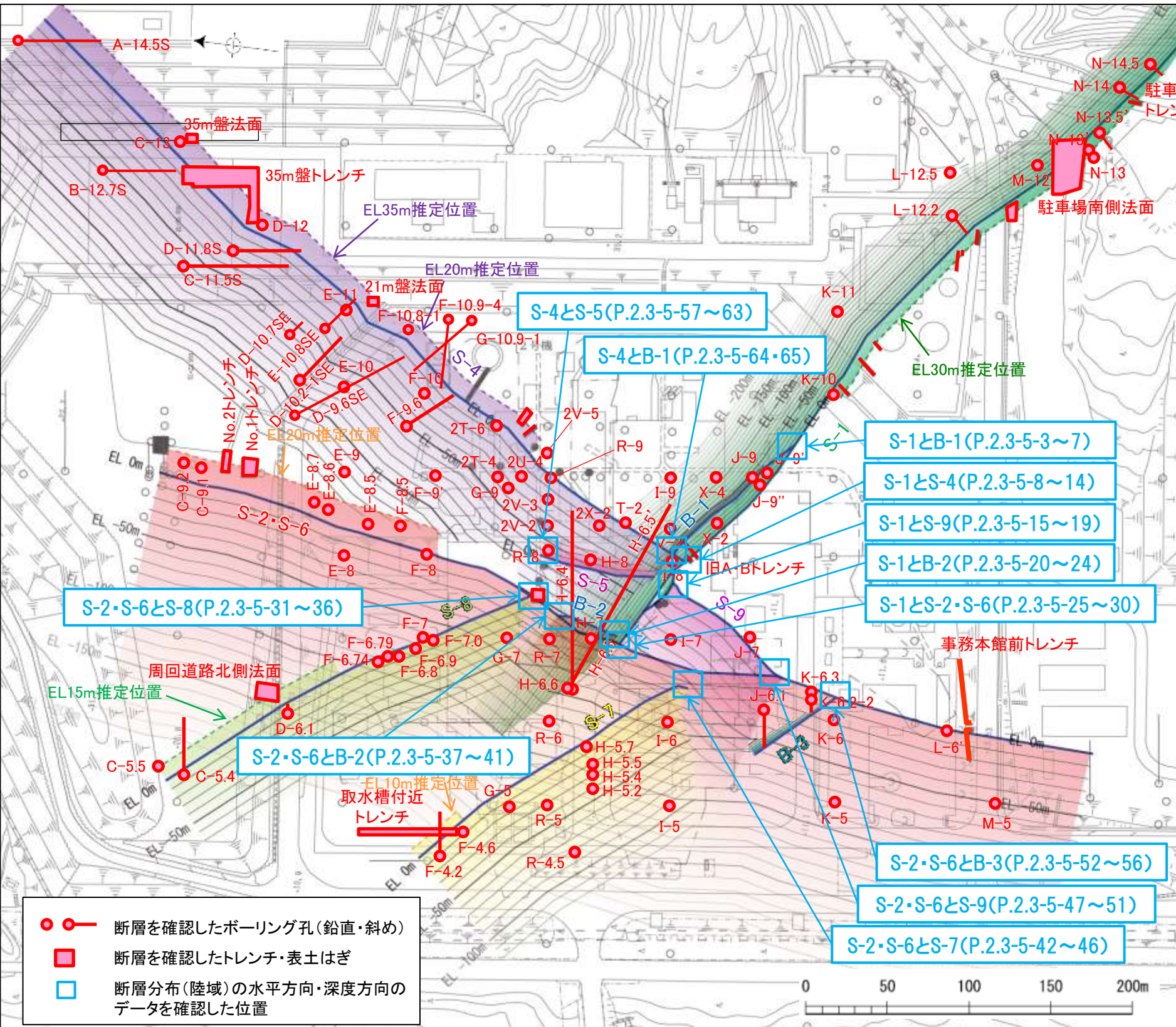
---

## 補足資料2. 3-5

断層分布(陸域)の水平方向・深度方向のデータ

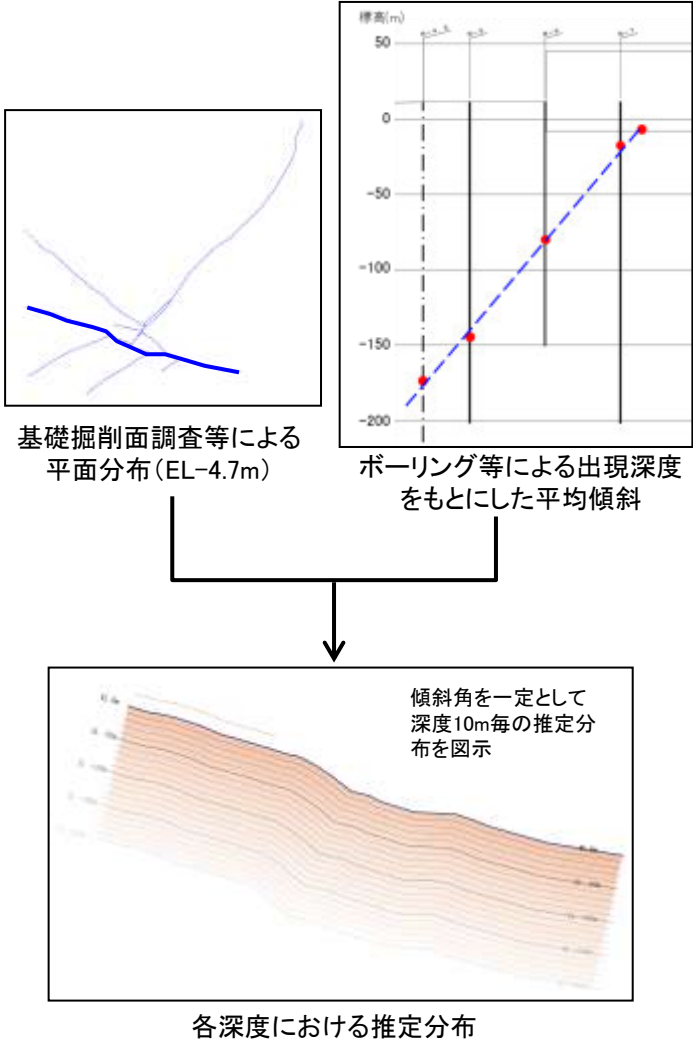
# 断層分布(陸域)の水平方向・深度方向のデータ 一位置図一

■断層分布(陸域)の水平方向・深度方向のデータを確認した位置(下図□)について、以下に示す。



(作図方法)

- ・この図は、2号機の基礎掘削面深度EL-4.7mを基準とした断層トレースをもとに、断層の傾斜角を一定として、EL0m以深の断層の推定分布を深度10m毎に図示したものである。
- ・各深度における断層分布の推定には、各ボーリング孔における出現深度をもとに求めた断層の平均的な傾斜角を用いた。
- ・このため、実際のボーリングコアでの断層出現標高とは異なる場合がある。

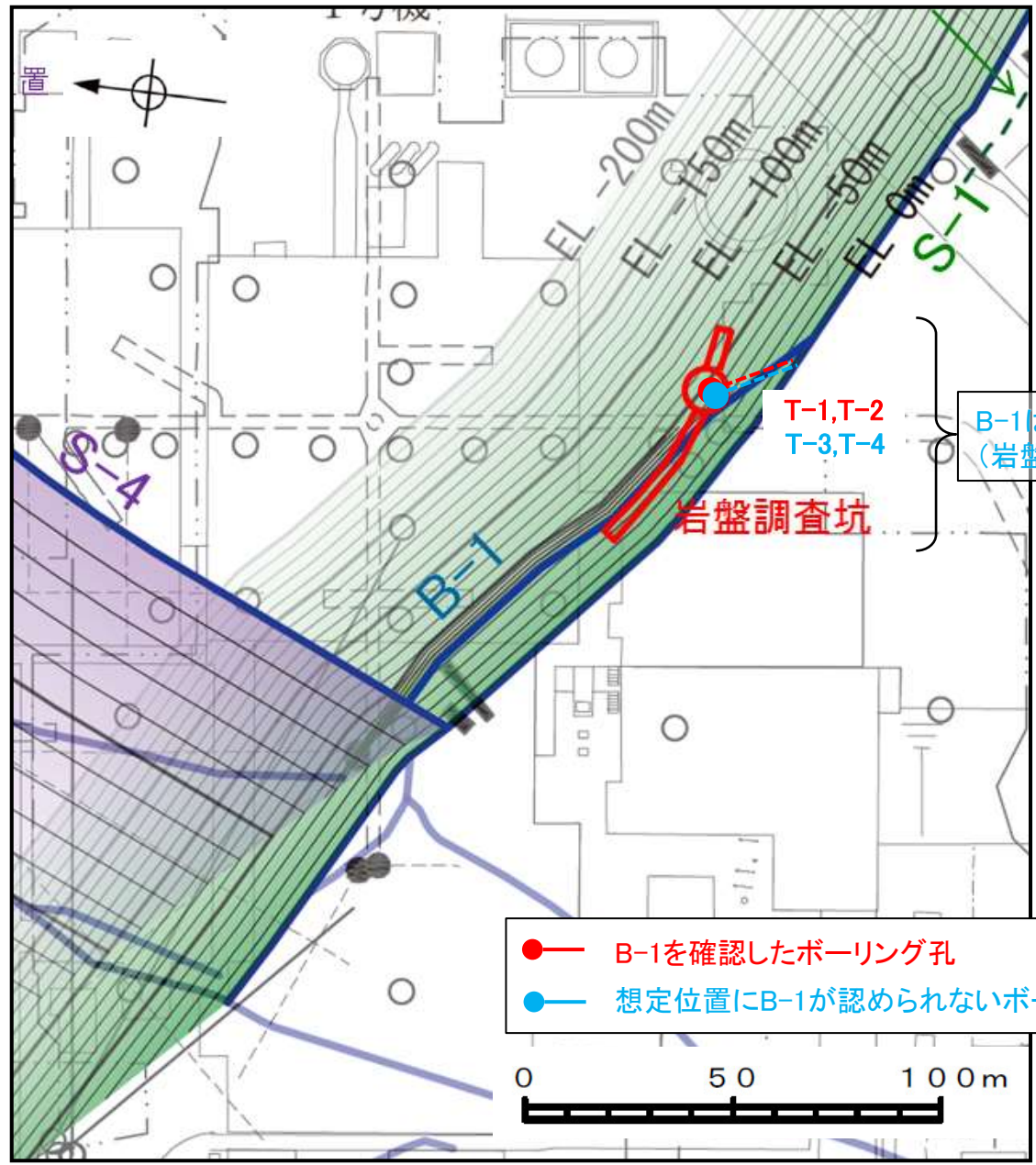


---

(1) S-1とB-1の水平方向・深度方向のデータ

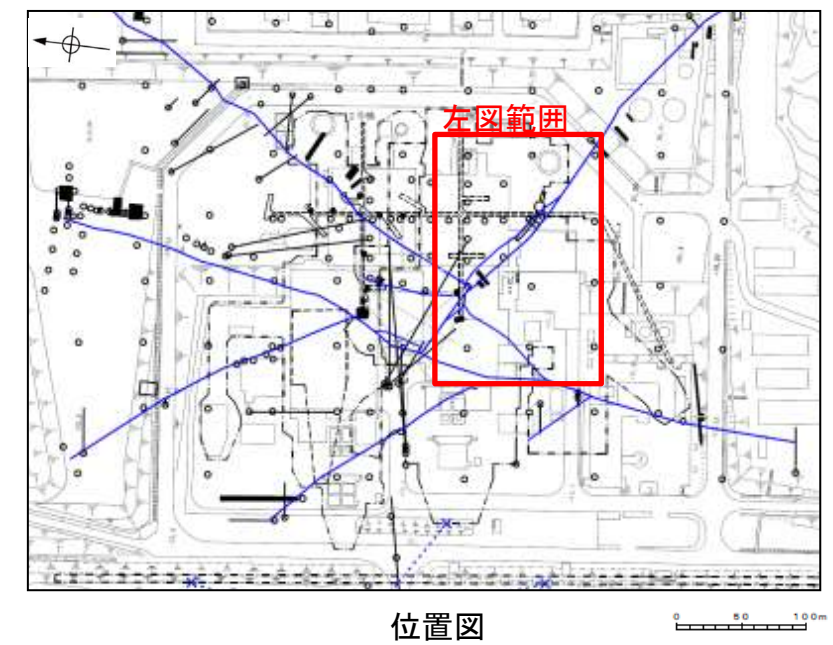
# S-1とB-1の水平方向・深度方向のデータ

OB-1は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。



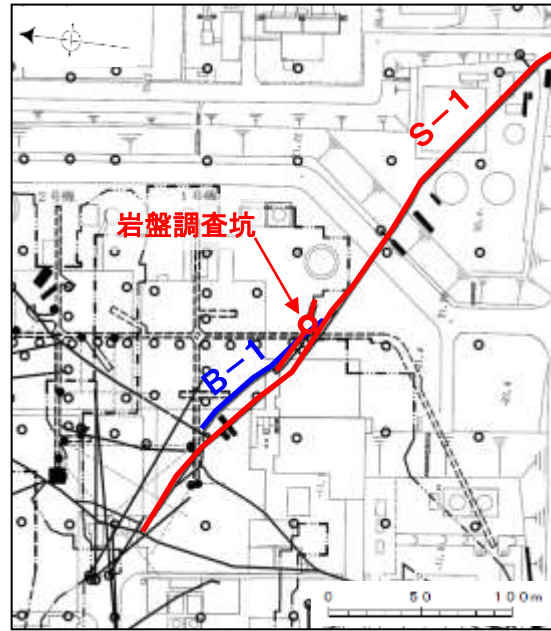
B-1は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない  
(岩盤調査坑及びボーリング断面P.2.3-5-5~7)

- B-1を確認したボーリング孔
- 想定位置にB-1が認められないボーリング孔

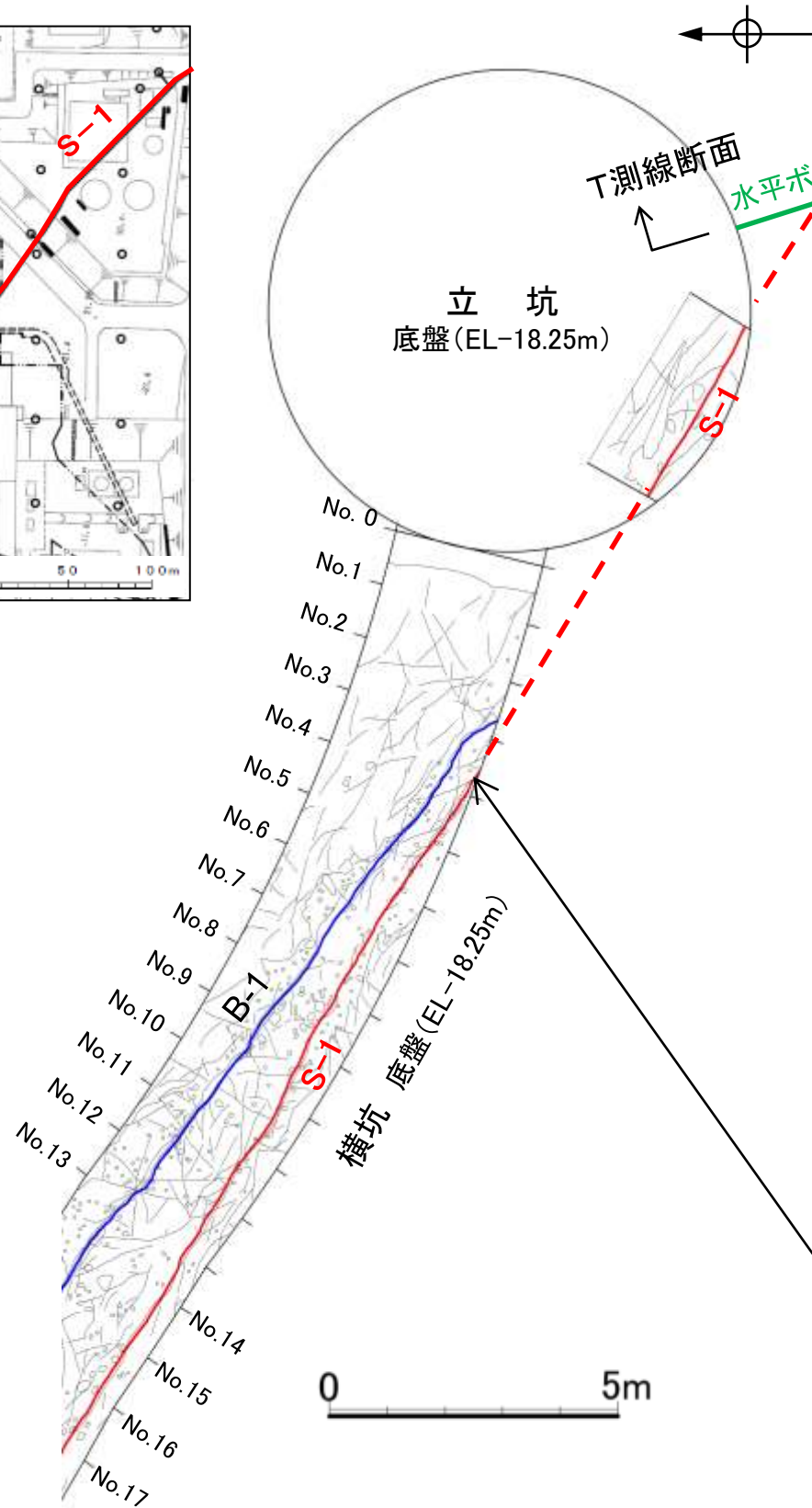


S-1とB-1の関係

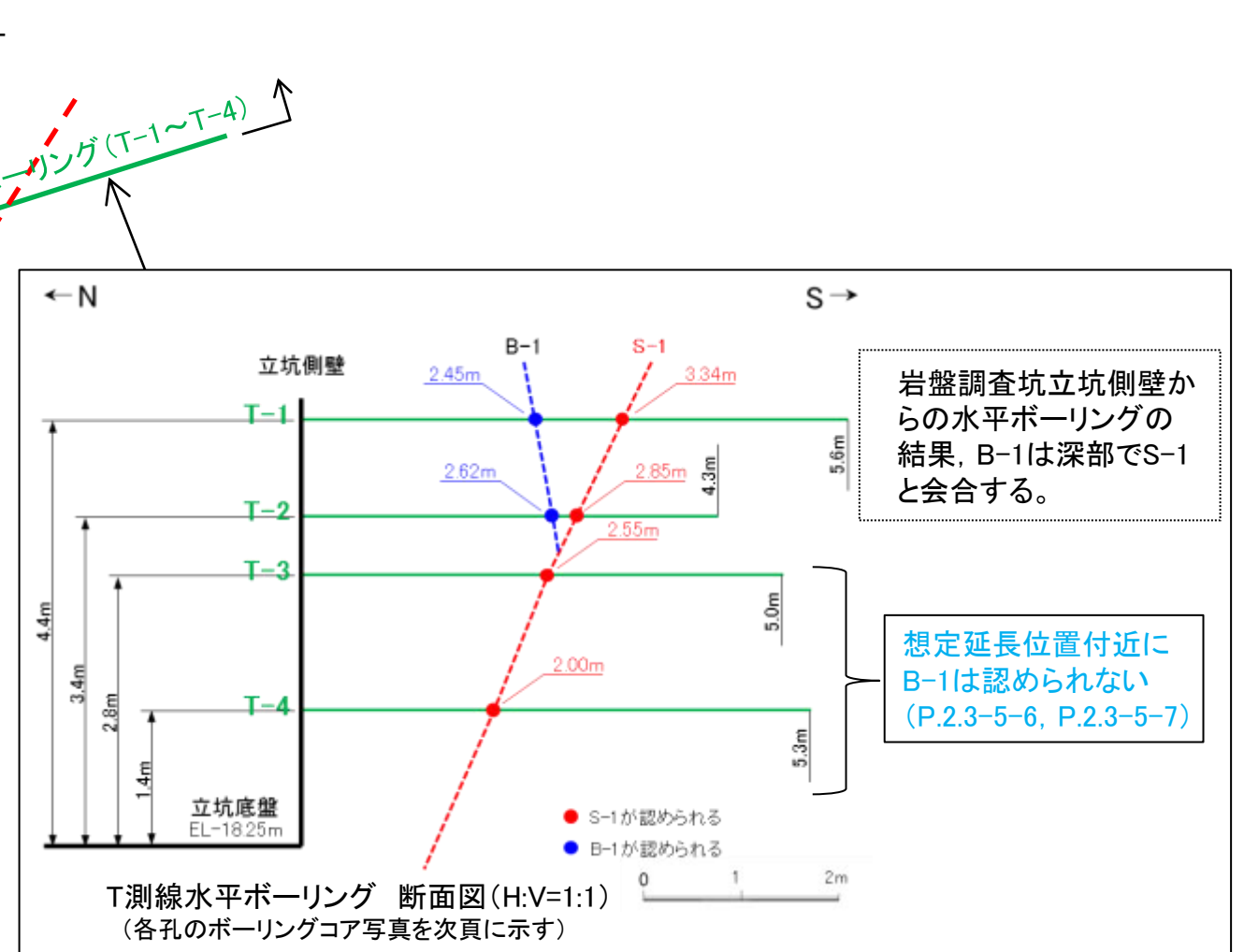
○岩盤調査坑及びボーリング断面において、B-1は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。



位置図

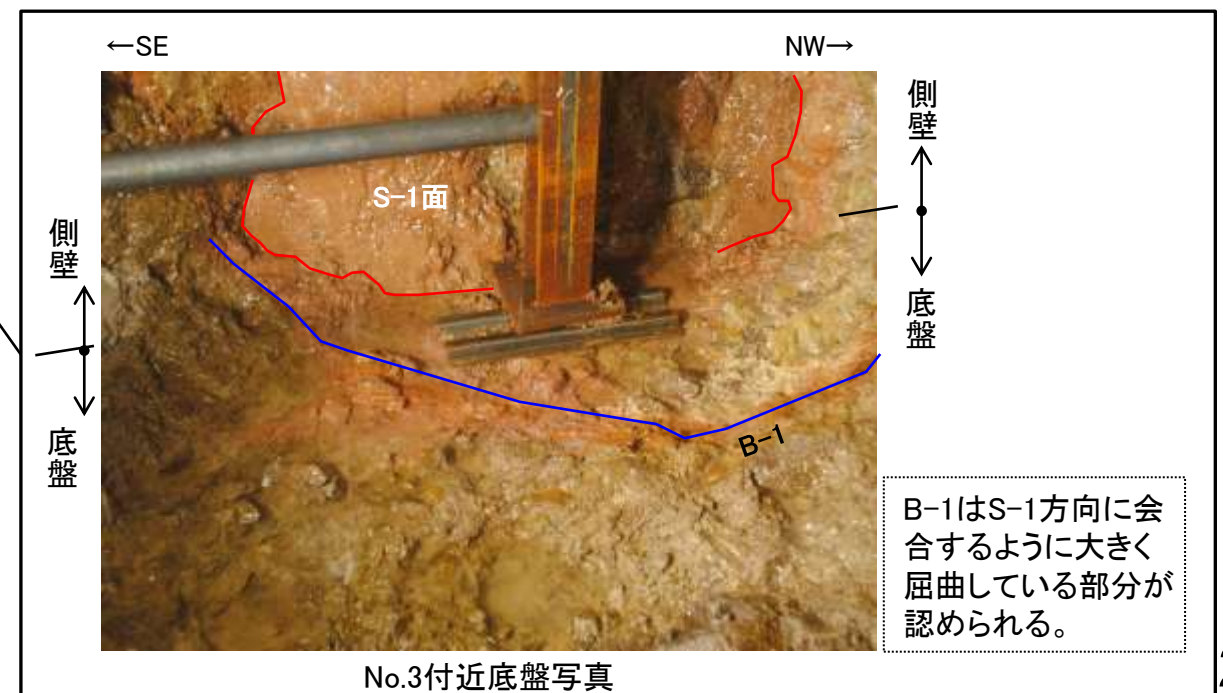


岩盤調査坑  
ボーリング調査位置図



岩盤調査坑立坑側壁からの水平ボーリングの結果、B-1は深部でS-1と会合する。

想定延長位置付近にB-1は認められない (P.2.3-5-6, P.2.3-5-7)

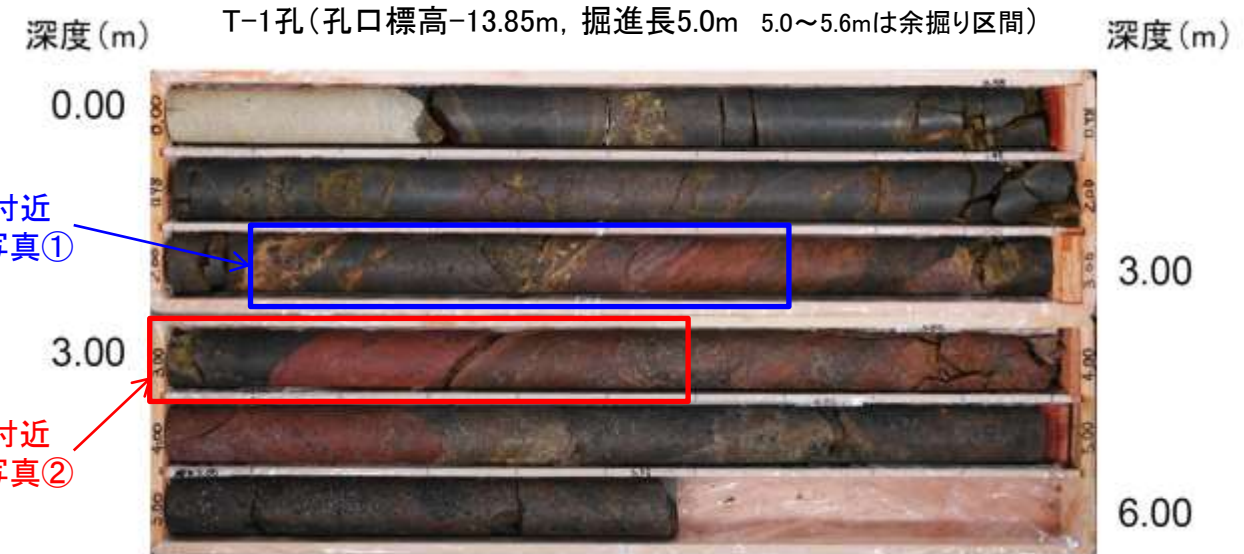
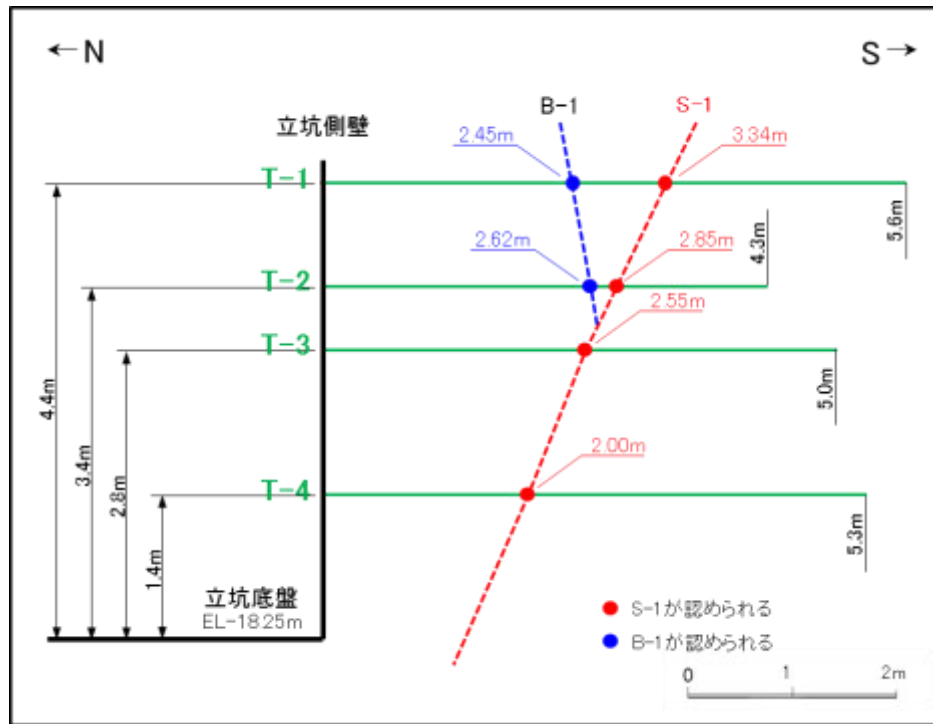


B-1はS-1方向に会合するように大きく屈曲している部分が認められる。

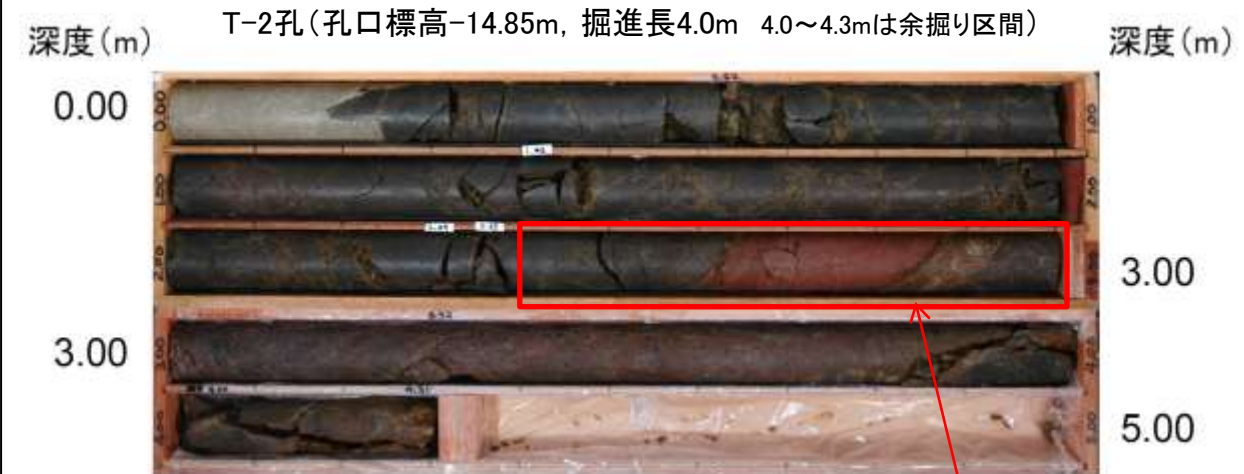
No.3付近底盤写真

## 水平ボーリング(T-1孔, T-2孔) コア写真

柱状図はデータ集1



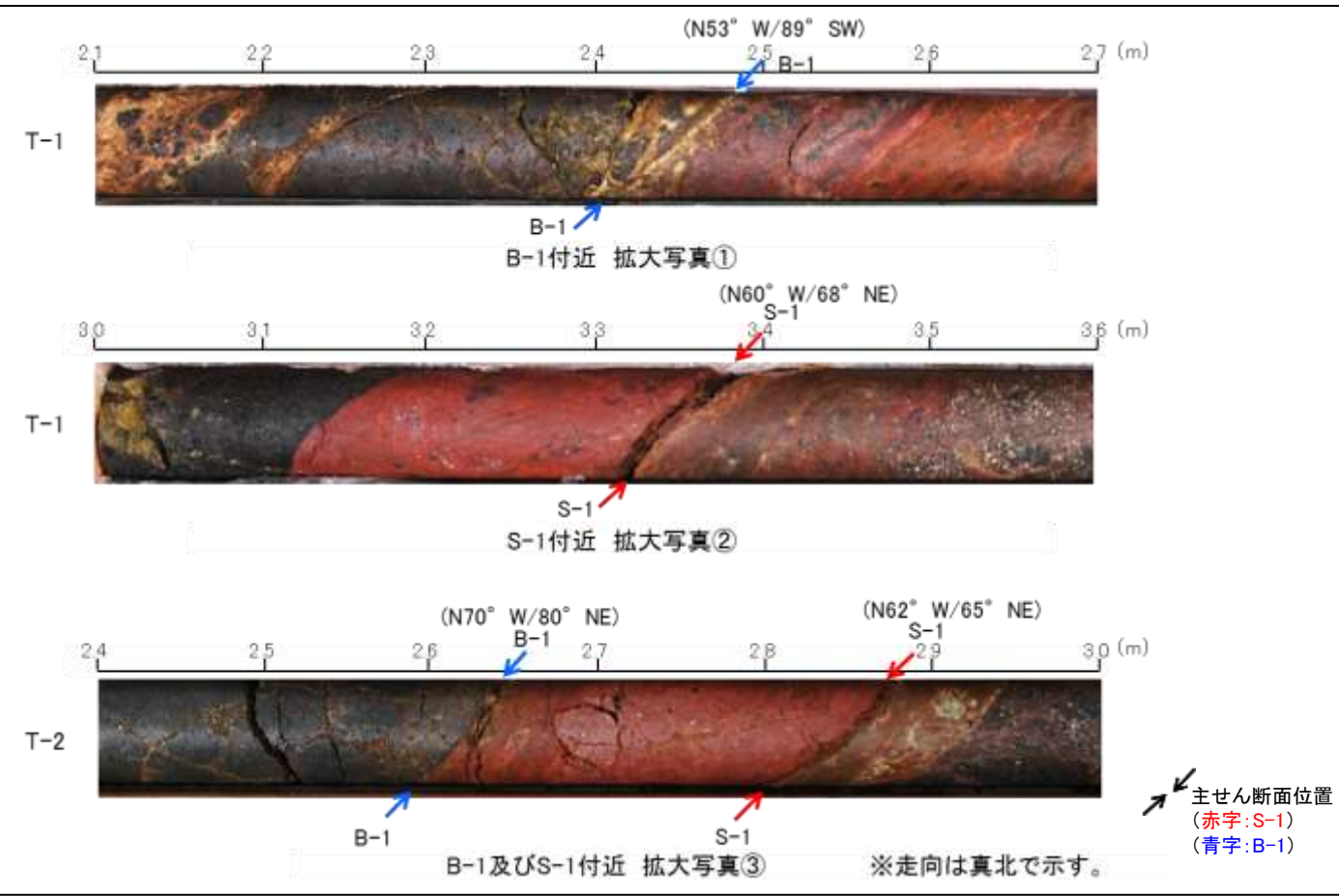
コア写真(T-1孔)



コア写真(T-2孔)

B-1及びS-1付近  
拡大写真③

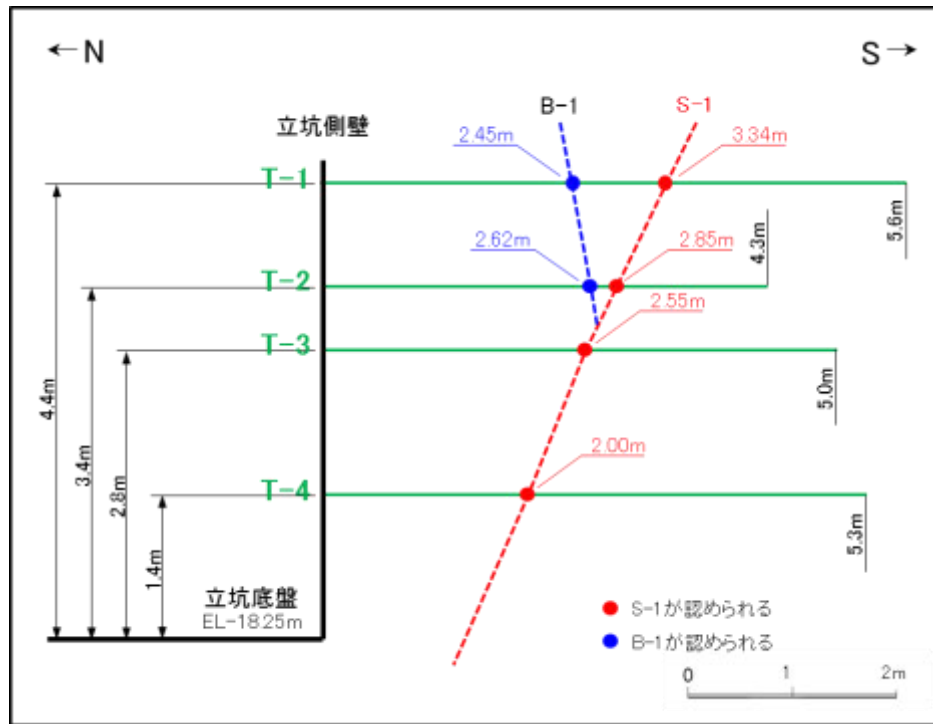
T-1, T-2孔においてS-1とその上盤側にB-1が認められる。



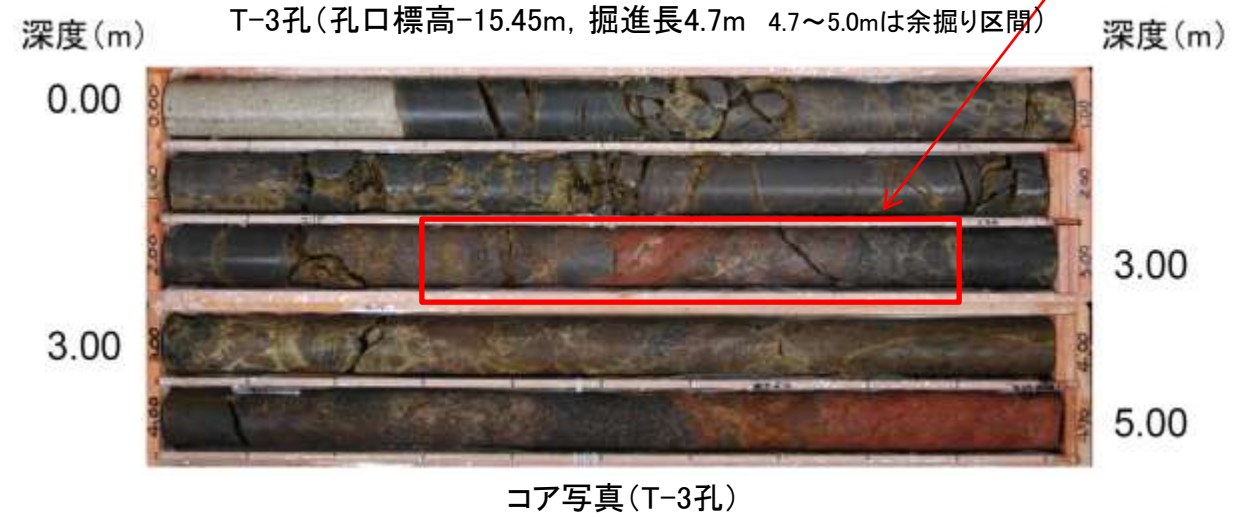
主せん断面位置  
(赤字:S-1)  
(青字:B-1)

水平ボーリング(T-3孔, T-4孔) コア写真

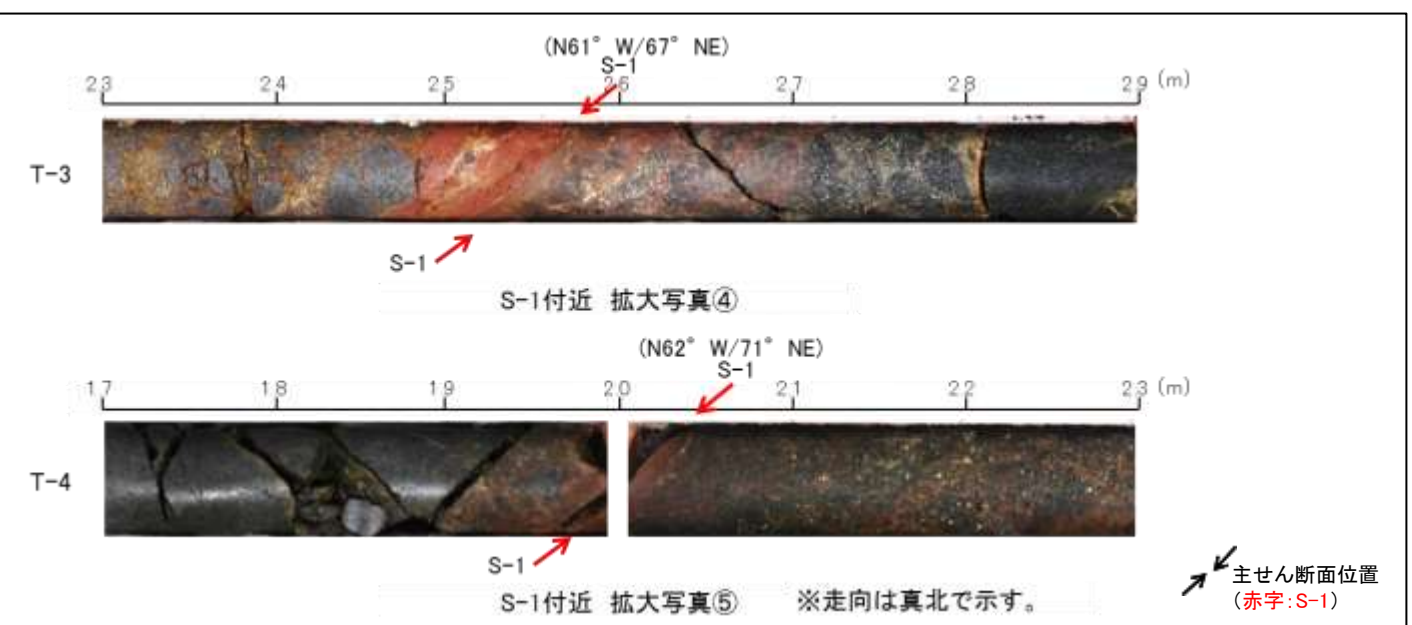
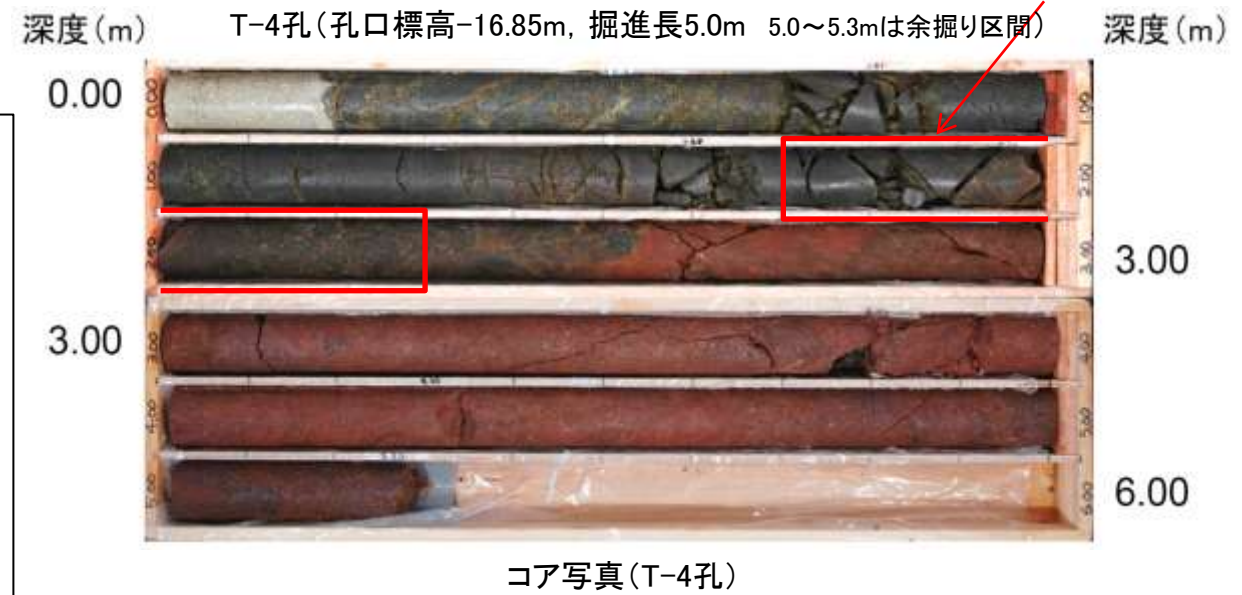
柱状図はデータ集1



S-1付近  
拡大写真④



S-1付近  
拡大写真⑤



T-3, T-4孔においてS-1が認められるものの、その下盤側にB-1は認められない。

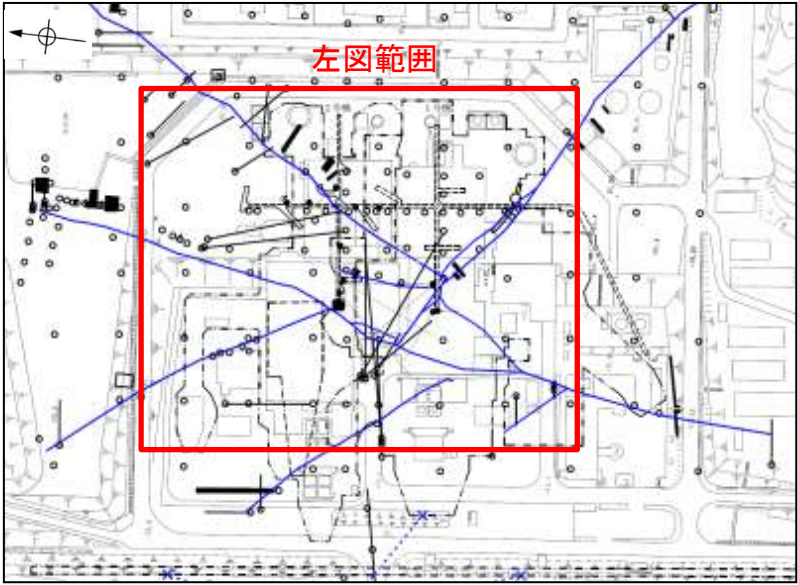
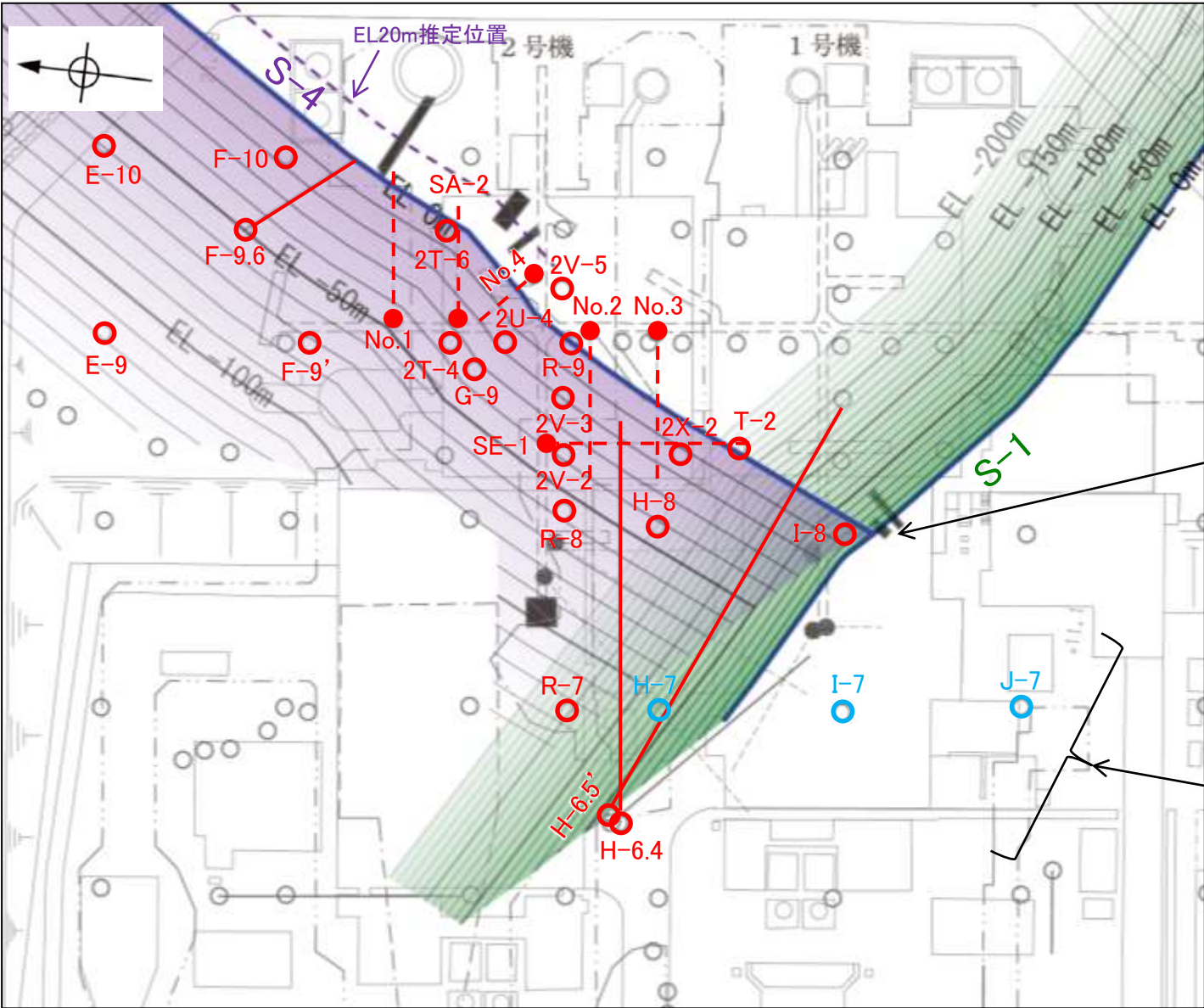


---

(2) S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ

# S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ

OS-4は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。



位置図

S-4は、水平方向にS-1を越えて連続しない  
(基礎掘削面P.2.3-5-10)

S-4は、深度方向にS-1を越えて連続しない  
(ボーリング断面P.2.3-5-11~14)

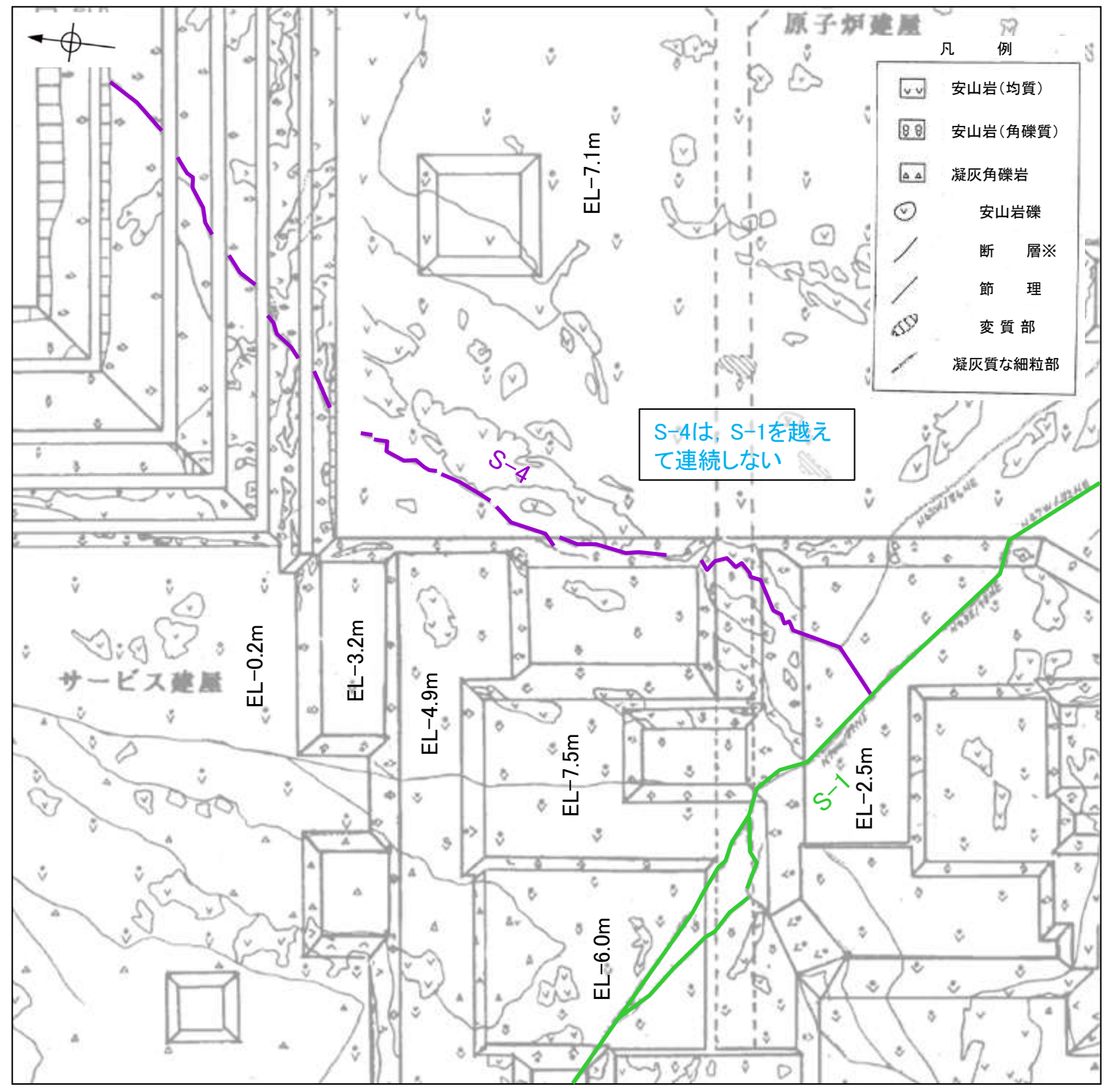
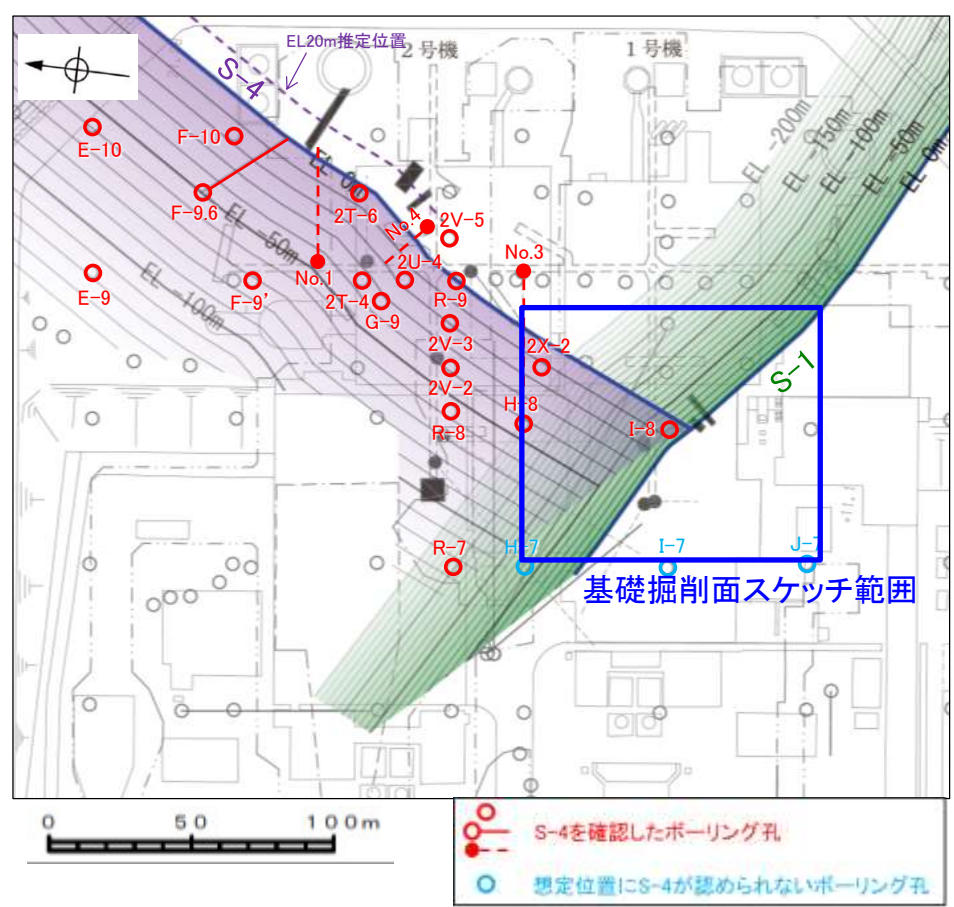
- S-4を確認したボーリング孔
- S-4を確認したボーリング孔
- 想定位置にS-4が認められないボーリング孔

S-1とS-4の関係

# S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ —基礎掘削面—

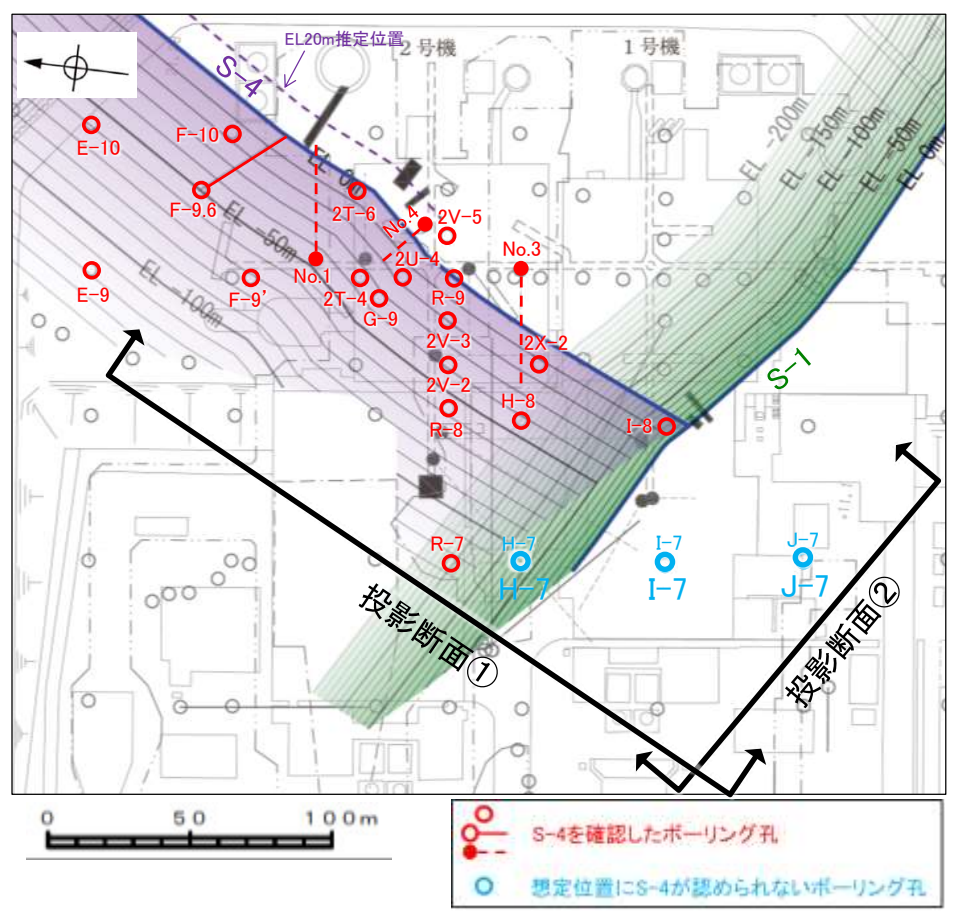
○基礎掘削面において、S-4は、水平方向にS-1を越えて連続しない。

※S-4は紫、S-1は緑に着色



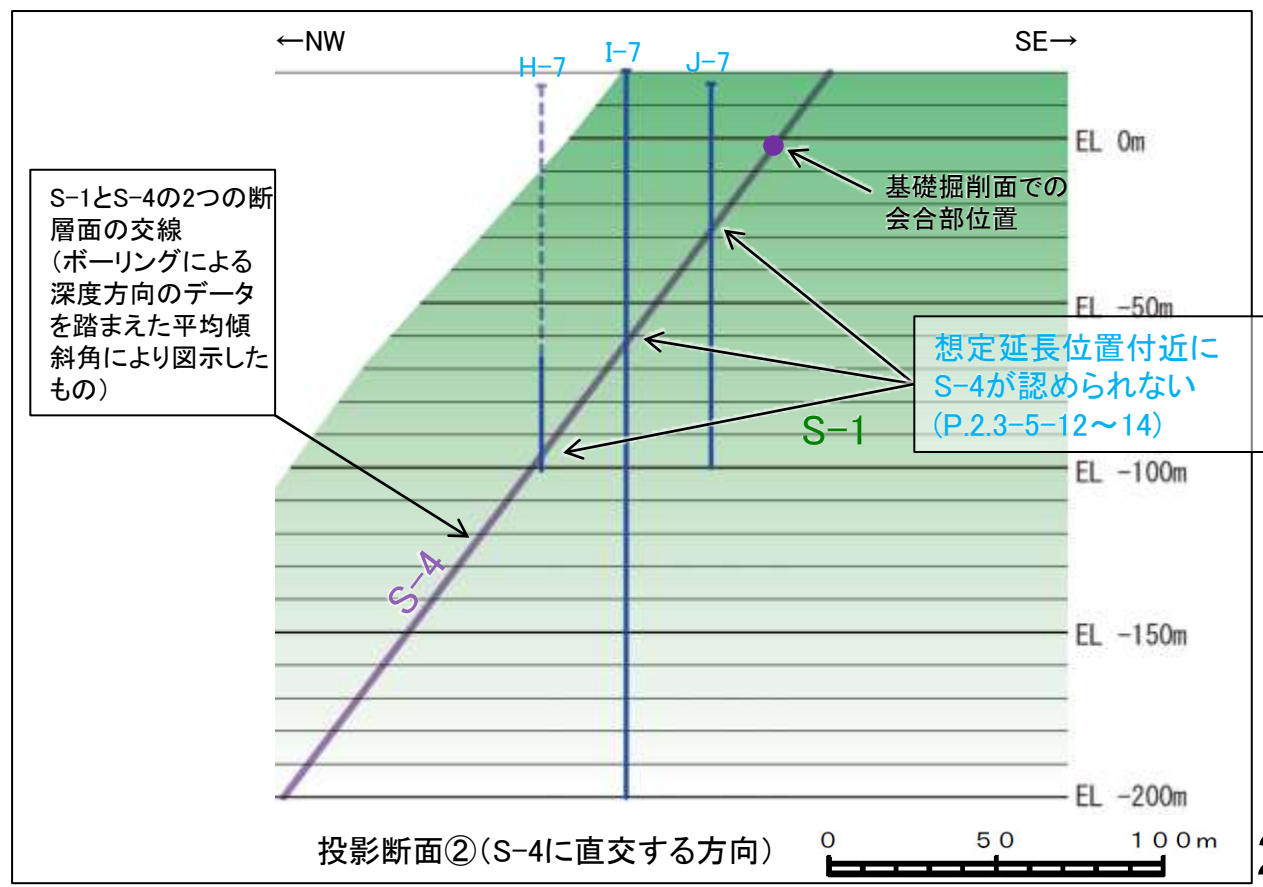
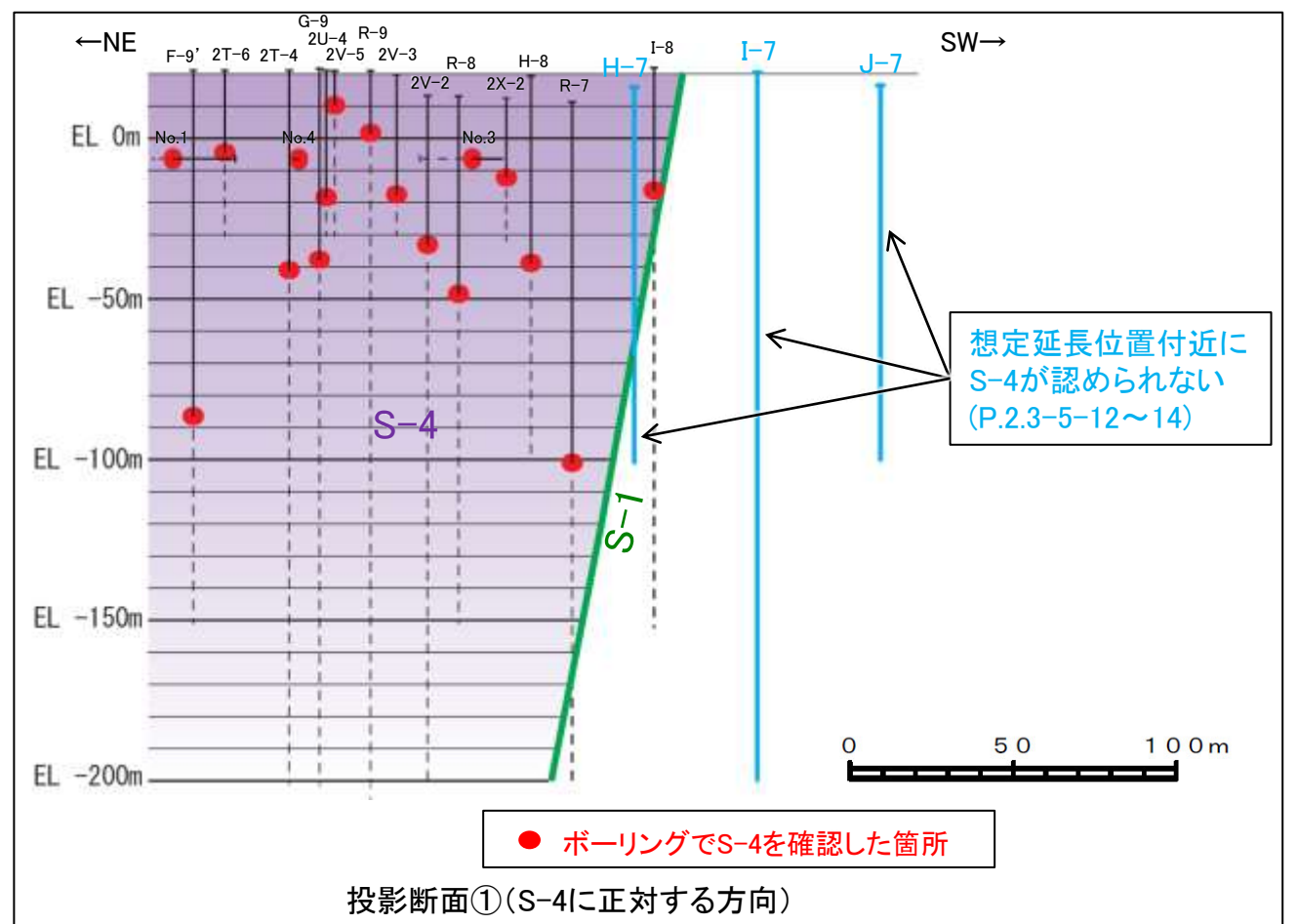
# S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ –ボーリング断面①–

○ボーリング断面において、S-4は、S-1を越えて連続しない。



位置図

S-4は、S-1断層面より南西側のボーリングH-7孔、I-7孔及びJ-7孔において想定延長位置付近に認められず、S-1断層面より北東側にのみ認められる。



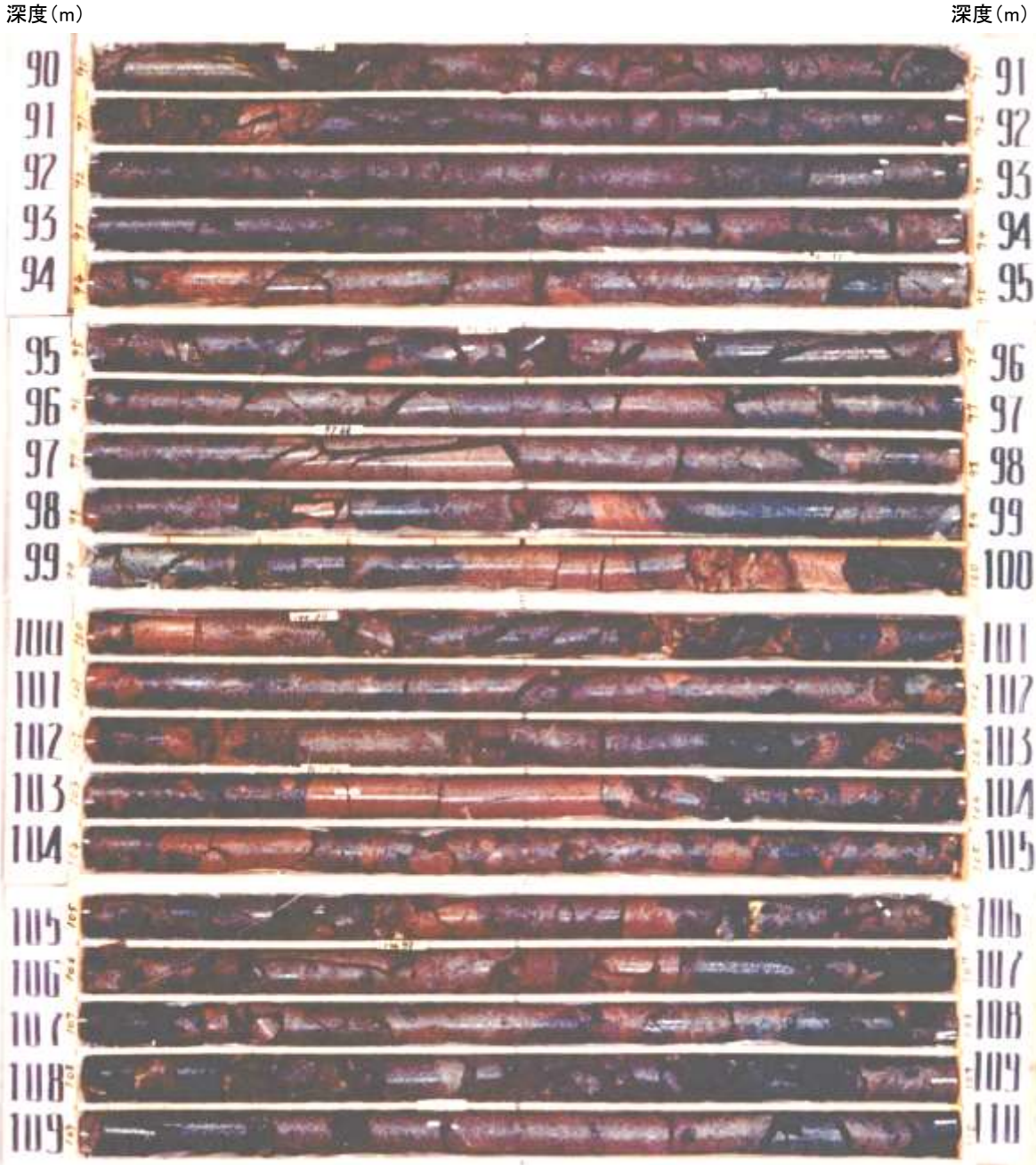
# S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ —ボーリング断面②—

■H-7孔のS-4の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

H-7孔(孔口標高15.92m, 掘進長116.80m, 鉛直)



コア写真(深度90~116.8m)

H-7孔において、想定延長位置付近にS-4は認められない。

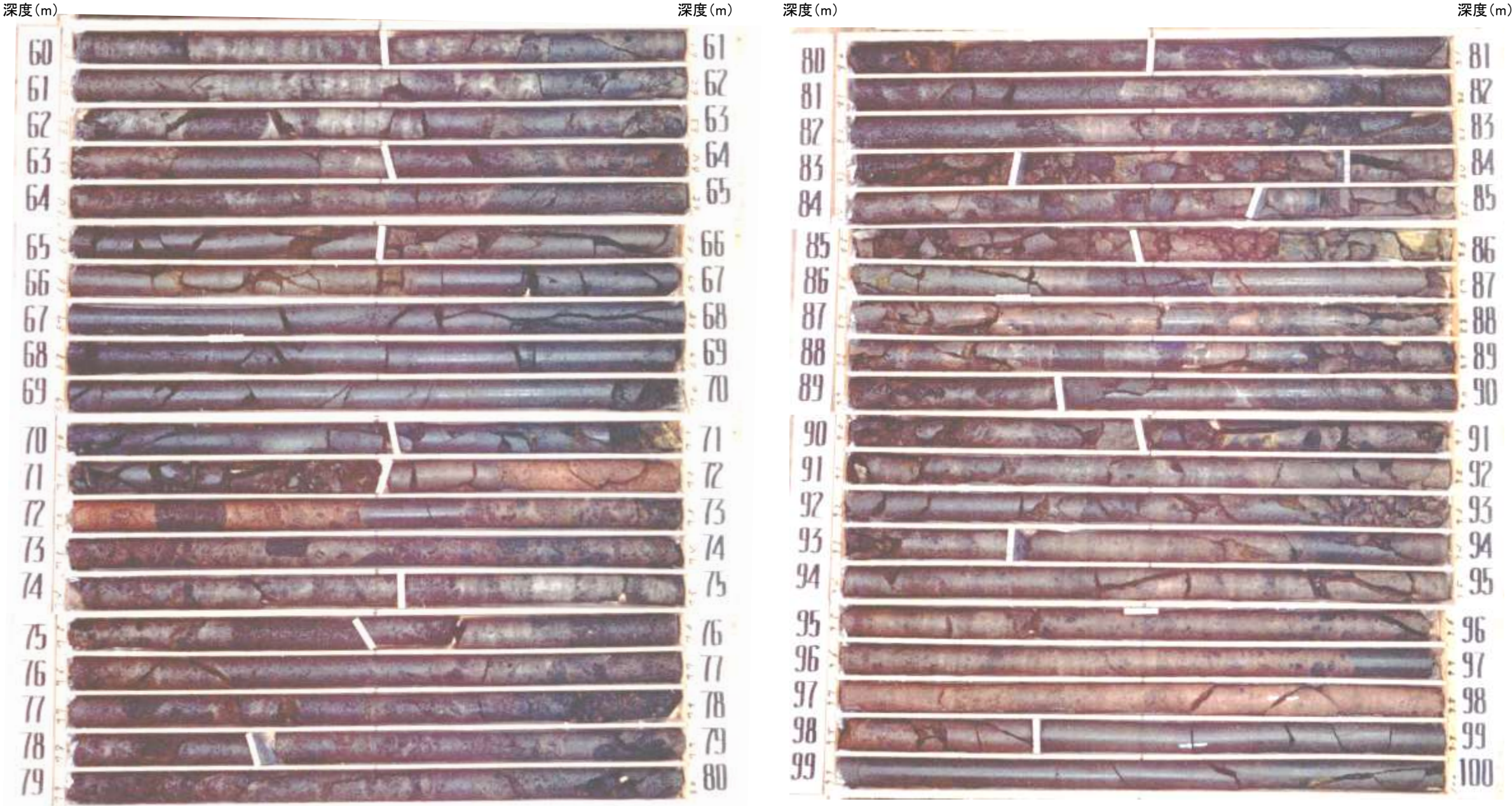
# S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ —ボーリング断面③—

■I-7孔のS-4の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

I-7孔(孔口標高20.47m, 掘進長220.68m, 鉛直)



コア写真(深度60~100m)

I-7孔において、想定延長位置付近にS-4は認められない。

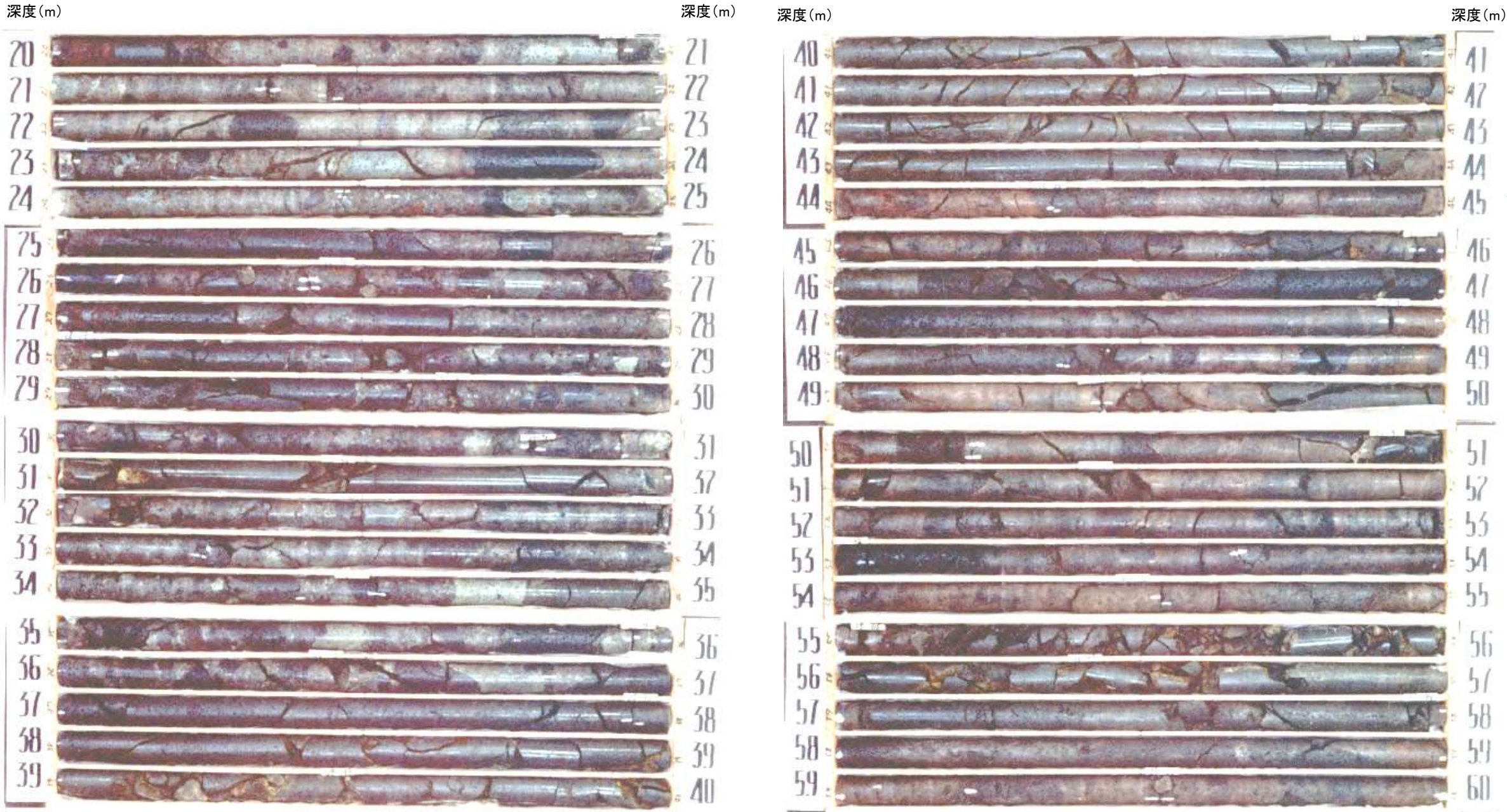
# S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ —ボーリング断面④—

■ J-7孔のS-4の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

J-7孔(孔口標高16.48m, 掘進長116.55m, 鉛直)



←S-4想定延長位置  
(45m付近)

コア写真(深度20~60m)

J-7孔において、想定延長位置付近にS-4は認められない。

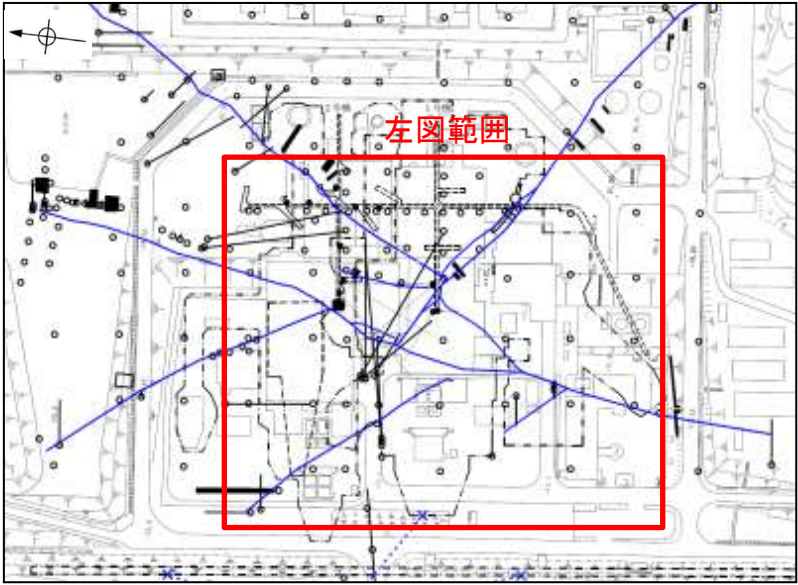
---

### (3) S-1とS-9の水平方向・深度方向のデータ



# S-1とS-9の水平方向・深度方向のデータ

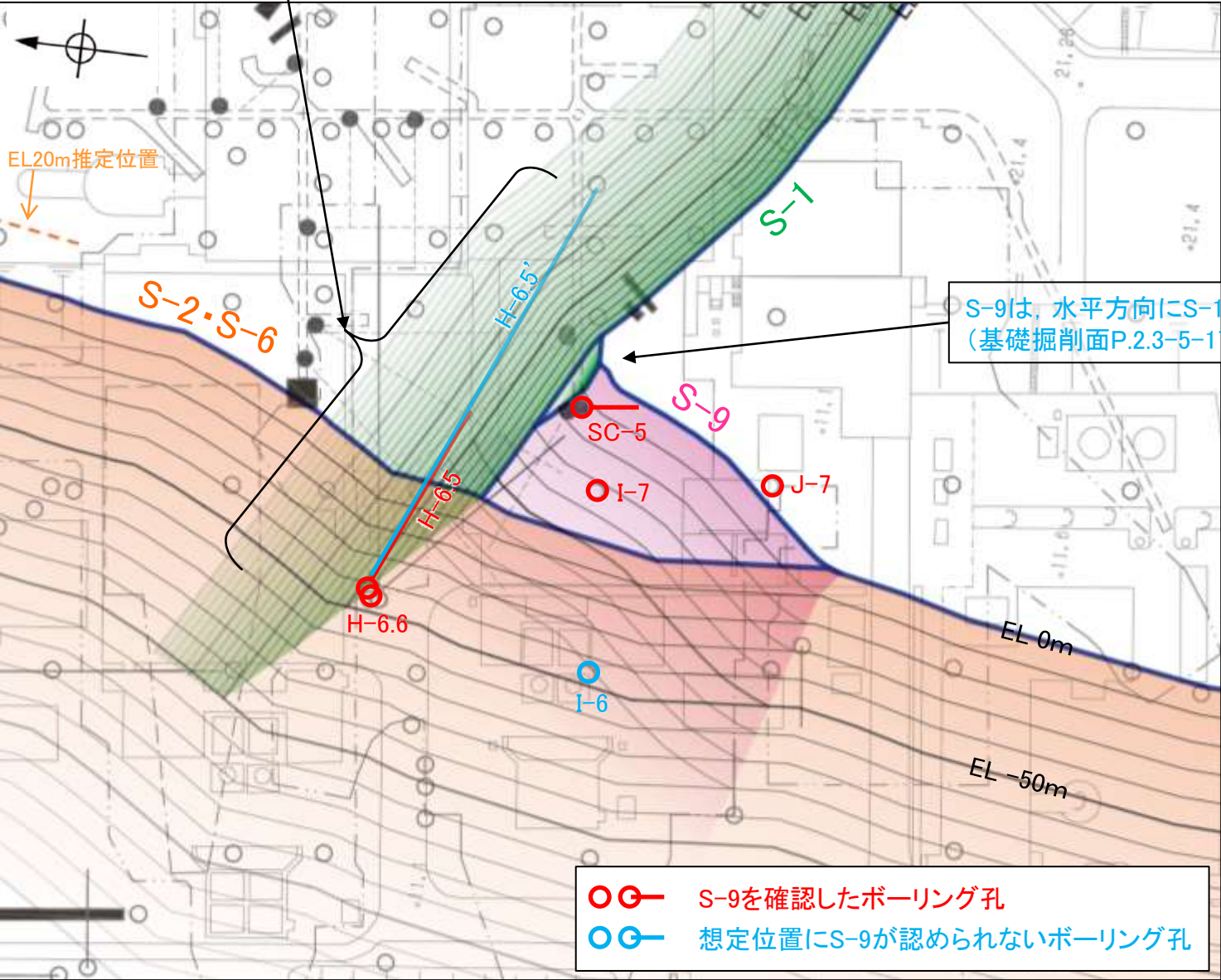
OS-9は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。



位置図

0 50 100m

S-9は、深度方向にS-1を越えて連続しない  
(ボーリング断面P.2.3-5-18・19)

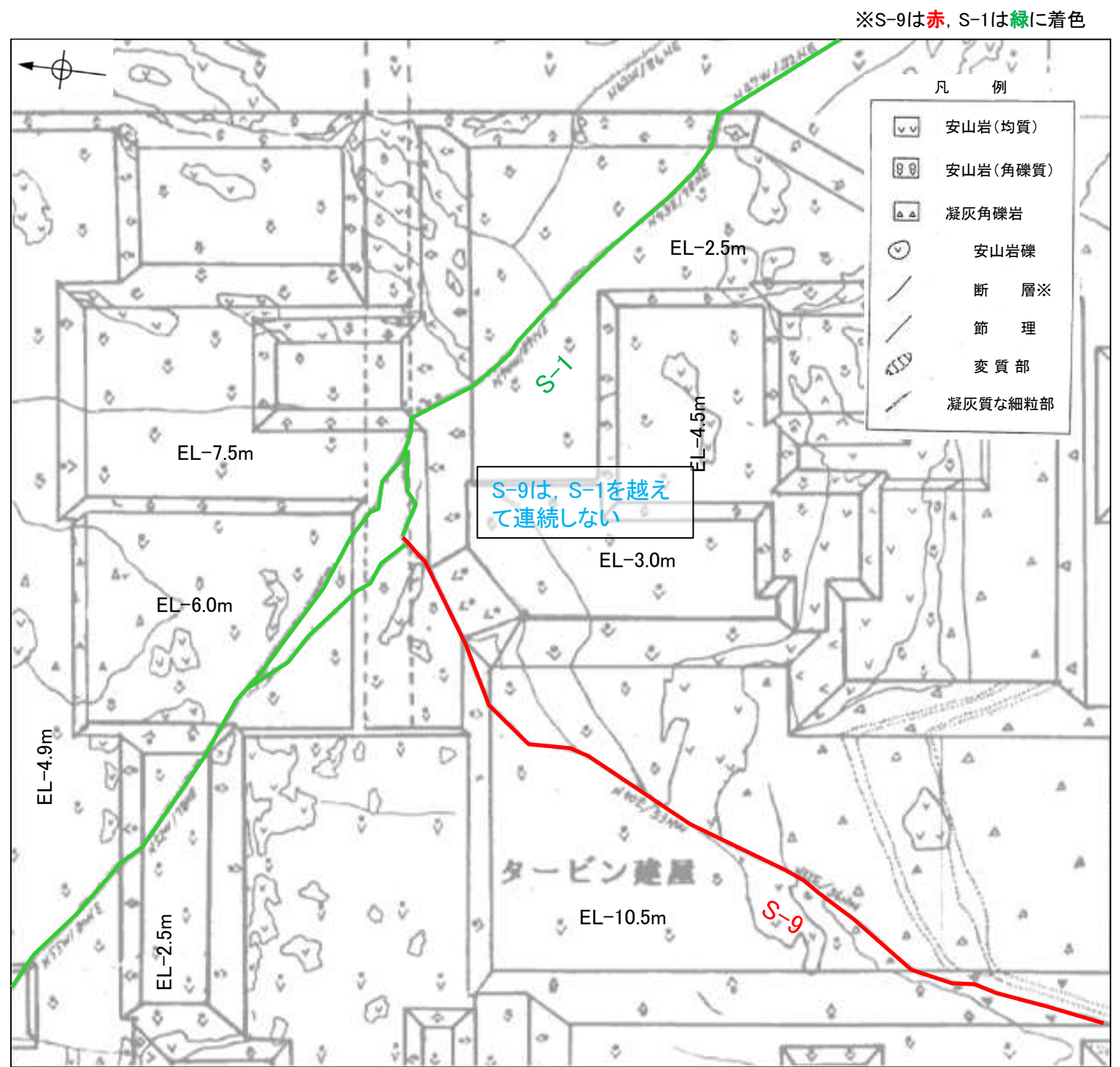
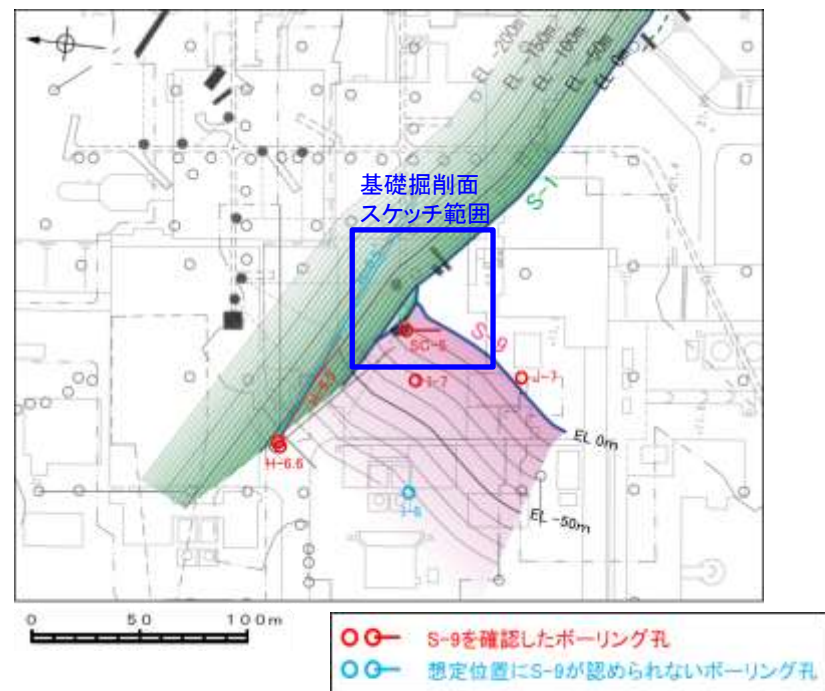


S-9は、水平方向にS-1を越えて連続しない  
(基礎掘削面P.2.3-5-17)

S-1とS-9の関係

# S-1とS-9の水平方向・深度方向のデータ —基礎掘削面—

○基礎掘削面において、S-9は、水平方向にS-1を越えて連続しない。

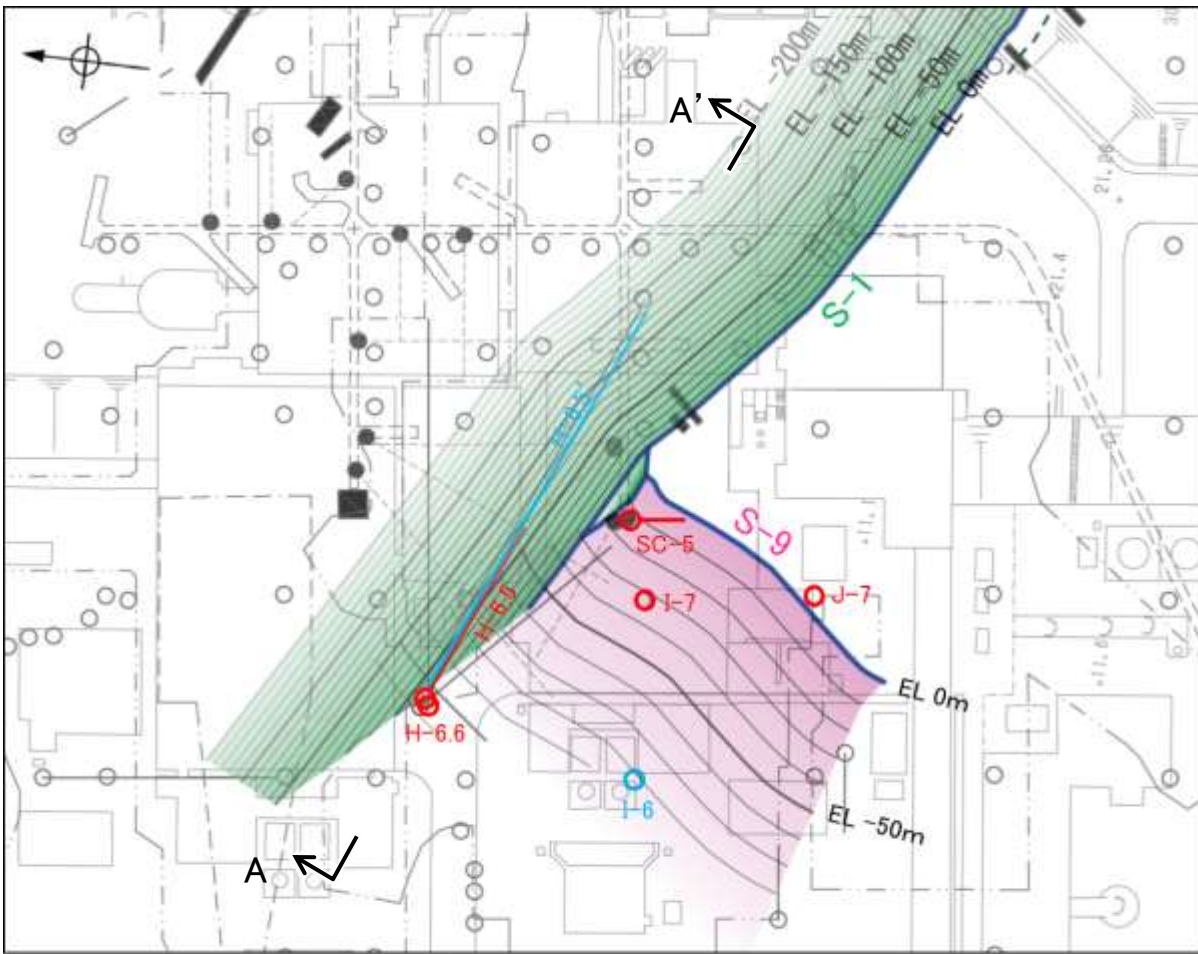


基礎掘削面スケッチ



# S-1とS-9の水平方向・深度方向のデータ –ボーリング断面①–

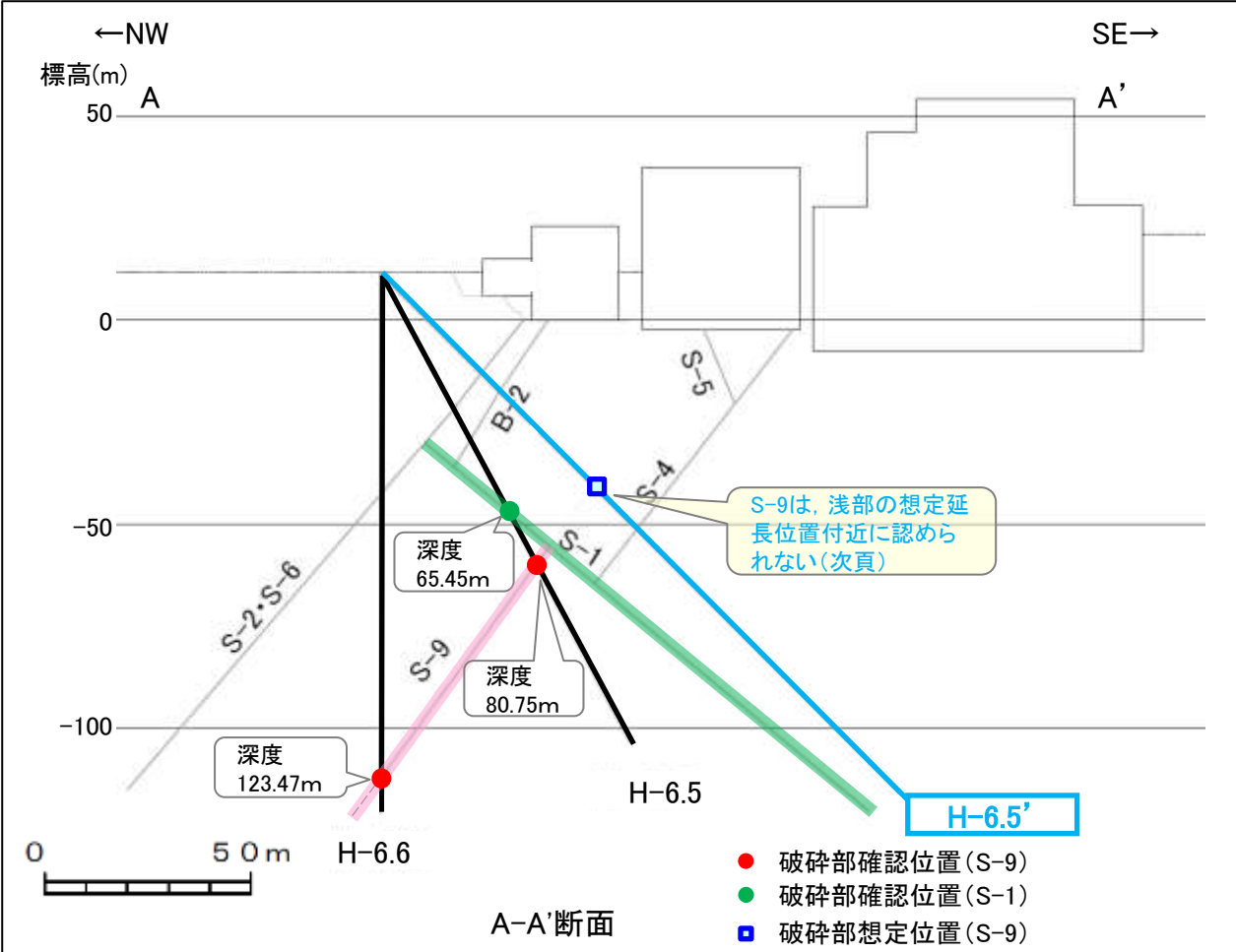
○ボーリング断面において、S-9は、S-1を越えて連続しない。



0 50 100m  
 ○● S-9を確認したボーリング孔  
 ○● 想定位置にS-9が認められないボーリング孔

断面位置

位置図



S-9は、浅部の想定延長位置付近に認められない(次頁)

この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。

S-9は、S-1断層面より北東側のボーリングH-6.5'孔において想定延長位置付近に認められず、S-1断層面より南西側にのみ認められる。

# S-1とS-9の水平方向・深度方向のデータ —ボーリング断面②—

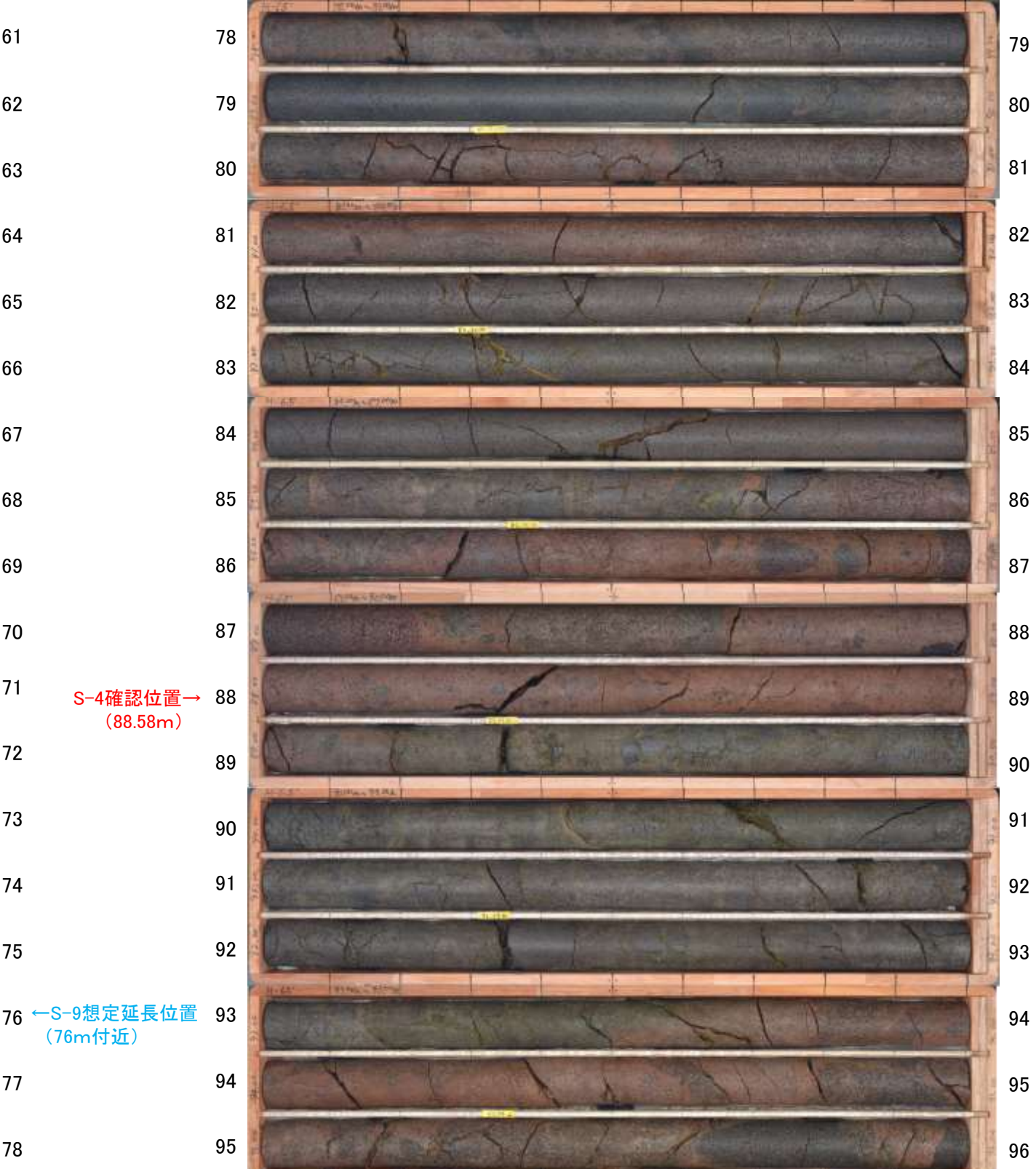
■H-6.5'孔のS-9の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1

深度(m) H-6.5' 孔(孔口標高11.02m, 掘進長180.00m, 傾斜45°) 深度(m)



深度(m) 深度(m)



S-4確認位置→  
(88.58m)

←S-9想定延長位置  
(76m付近)

コア写真(深度60~96m)

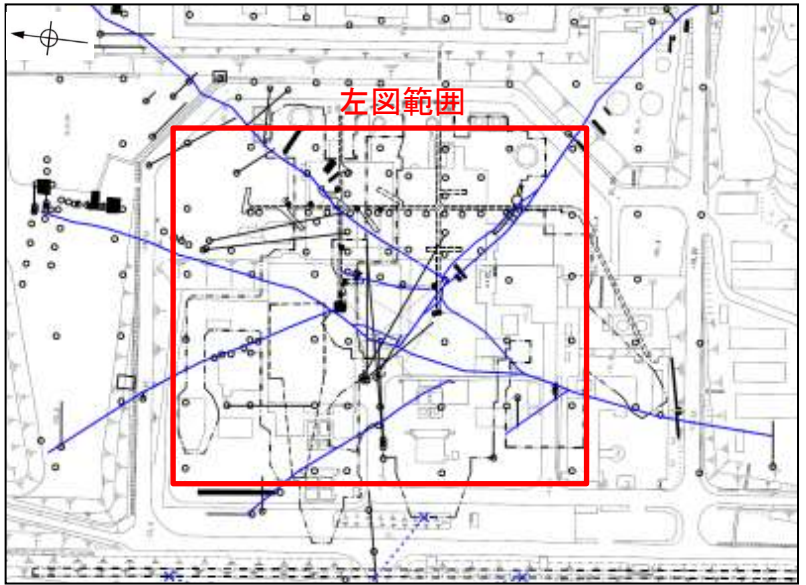
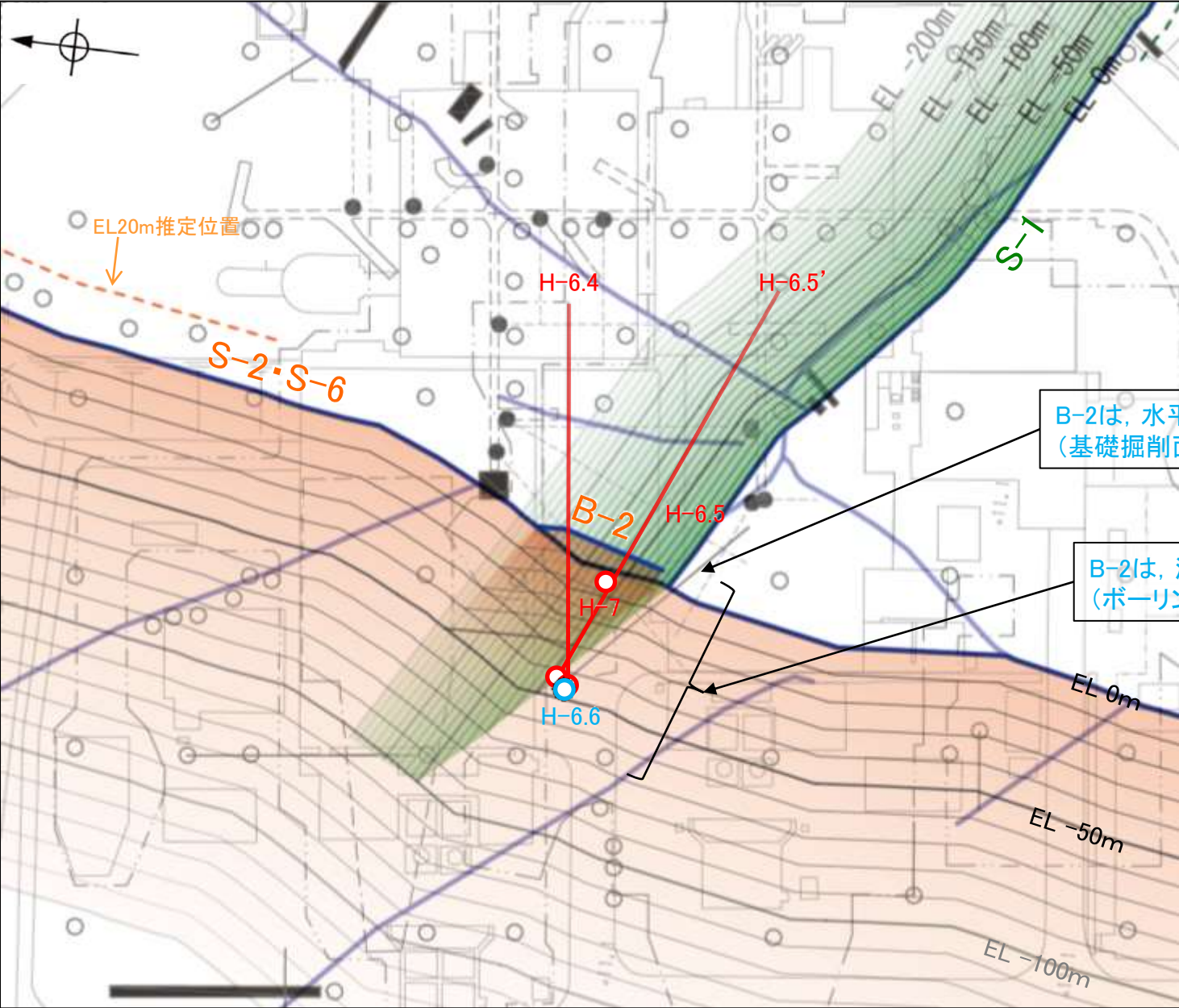
H-6.5'孔において、想定延長位置付近にS-9は認められない。

---

#### (4) S-1とB-2の水平方向・深度方向のデータ

# S-1とB-2の水平方向・深度方向のデータ

OB-2は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。



B-2は、水平方向にS-1を越えて連続しない  
(基礎掘削面P.2.3-5-22)

B-2は、深度方向にS-1を越えて連続しない  
(ボーリング断面P.2.3-5-23・24)

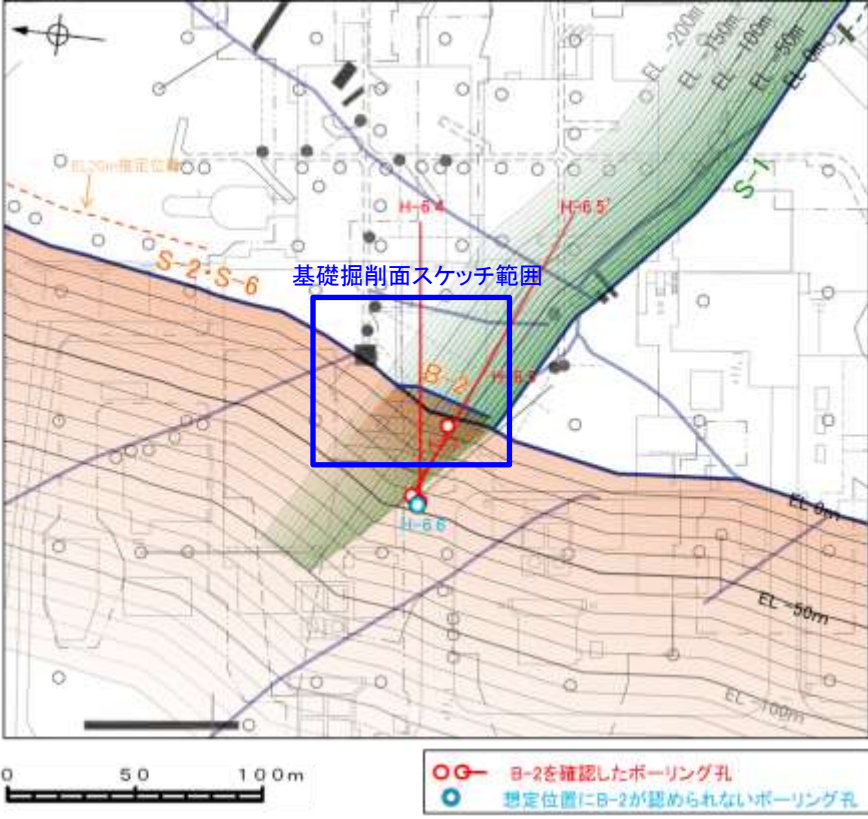
○● B-2を確認したボーリング孔  
● 想定位置にB-2が認められないボーリング孔

S-1とB-2の関係

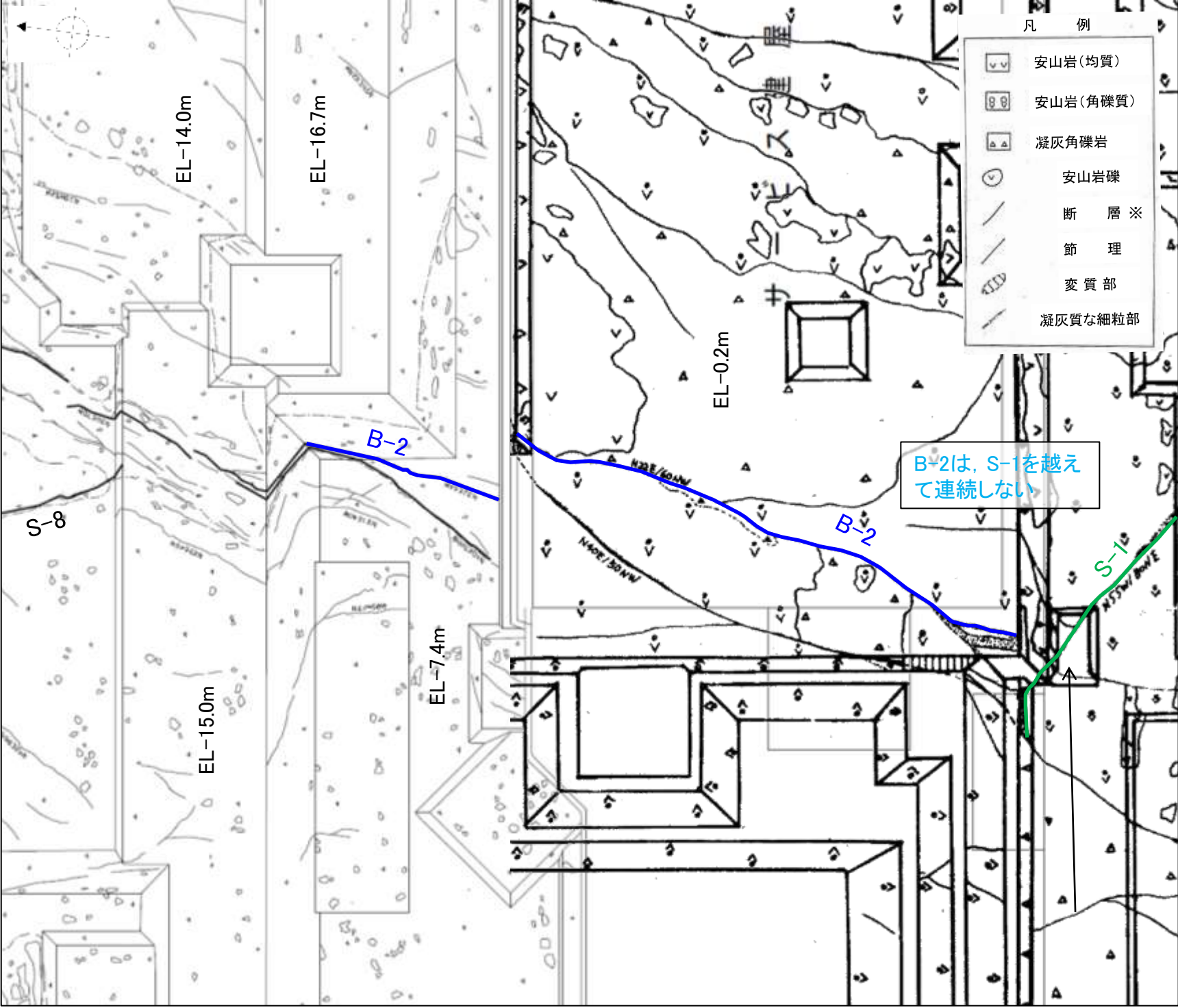
# S-1とB-2の水平方向・深度方向のデータ —基礎掘削面—

○基礎掘削面において、B-2は、水平方向にS-1を越えて連続しない。

※B-2は青、S-1は緑に着色



位置図



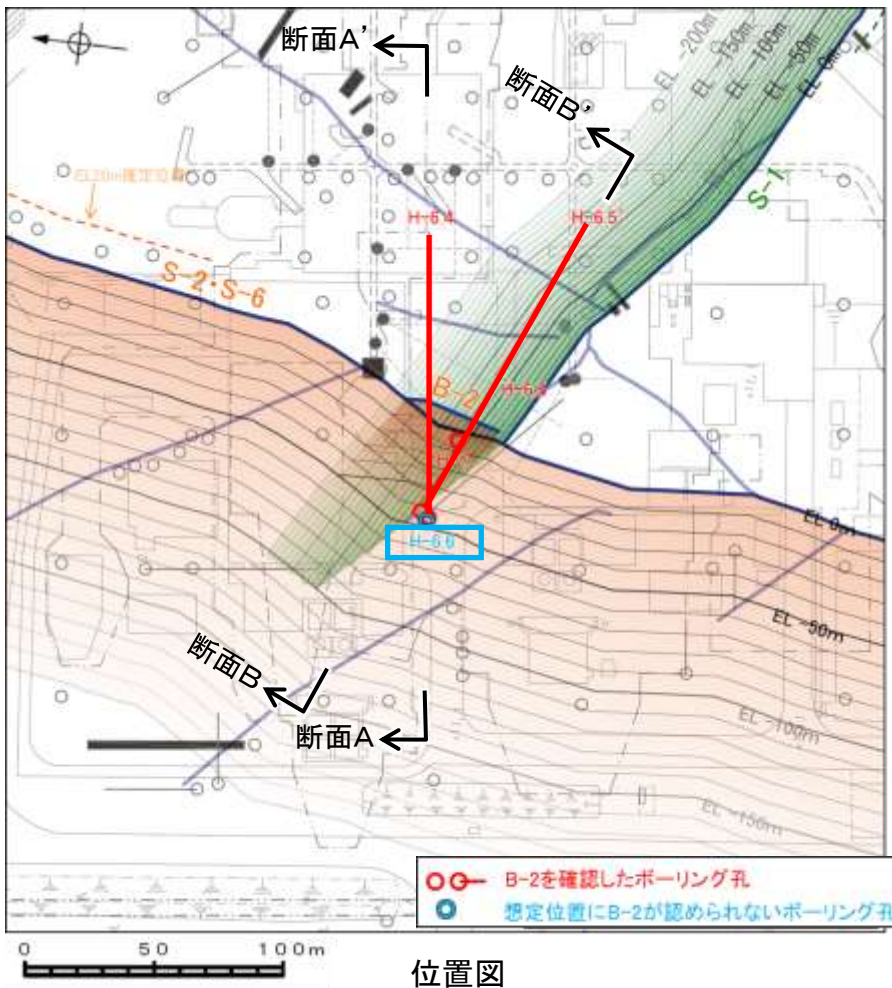
基礎掘削面スケッチ(左:2号機, 右:1号機)



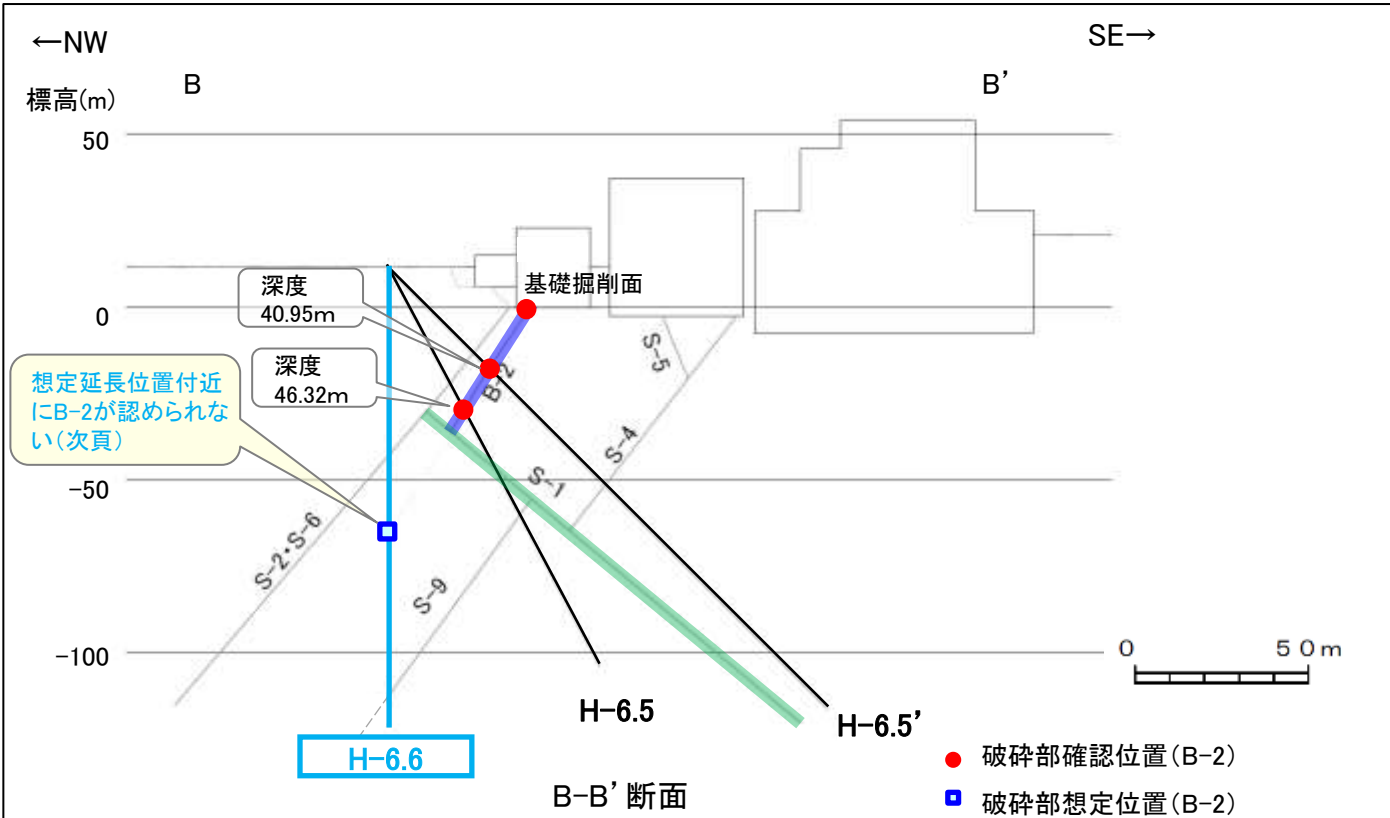
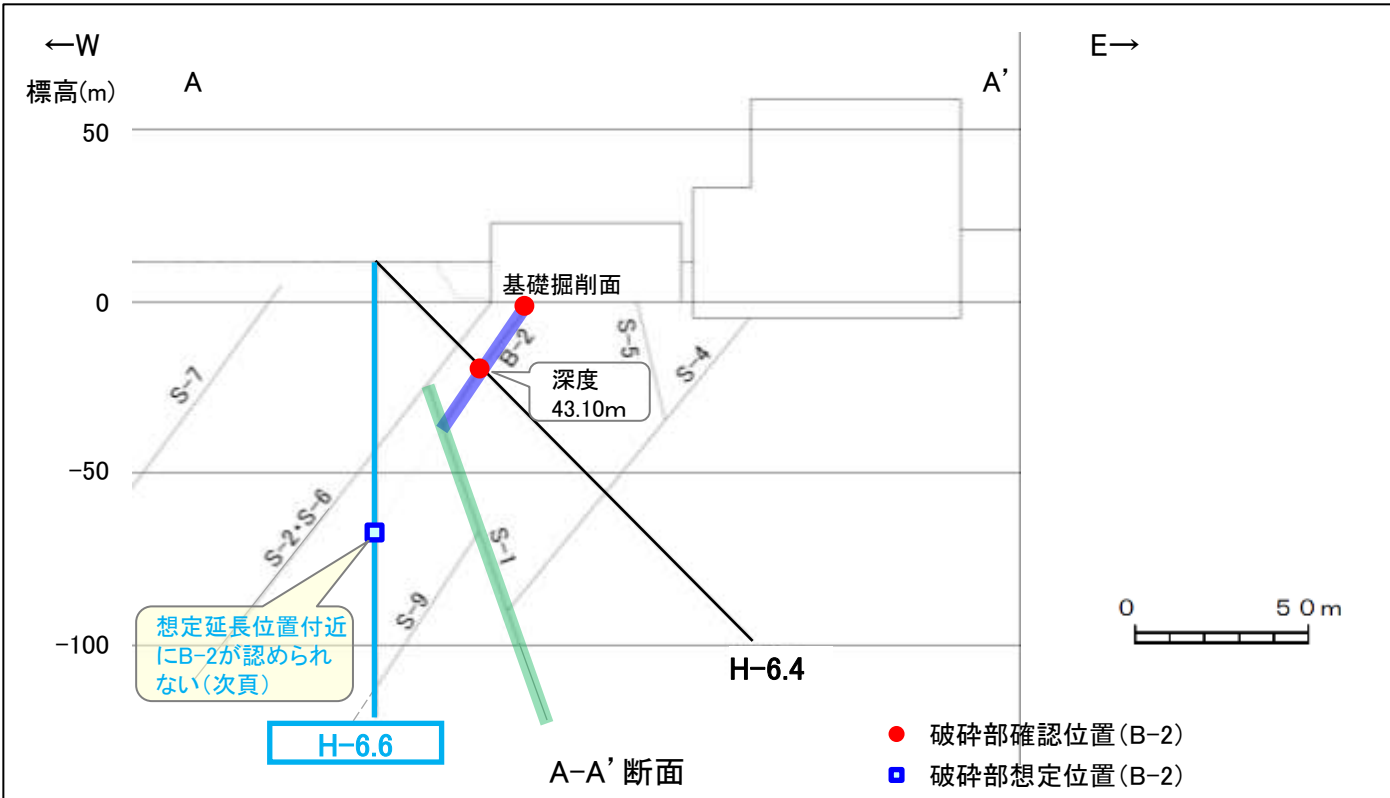
# S-1とB-2の水平方向・深度方向のデータ —ボーリング断面①—

○ボーリング断面において、B-2は、S-1を越えて連続しない。

この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。



・B-2は、H-6.6孔において想定延長位置付近に認められない。  
・北東傾斜であるS-1と北西傾斜であるB-2は、深部で会合する関係にあり、B-2はS-1を越えて連続しない。

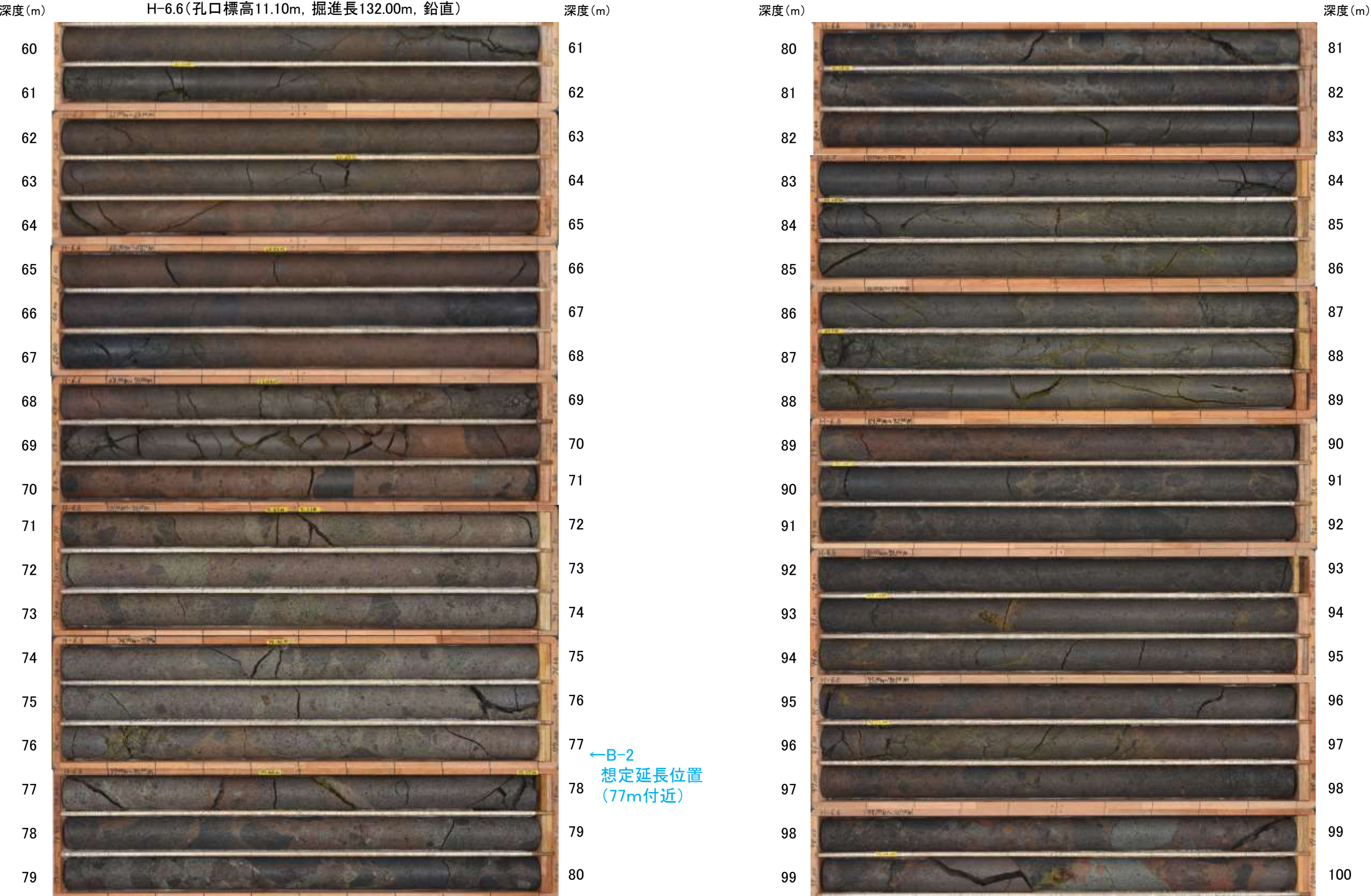




# S-1とB-2の水平方向・深度方向のデータ —ボーリング断面②—

■H-6.6孔のB-2の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1



※深度77.60m付近に見られる割れ目は、その付近で変形構造は見られず、破碎部ではない。なお、走向傾斜はN33°E/59°SEであり、B-2と対応しない。

コア写真(深度60~100m)

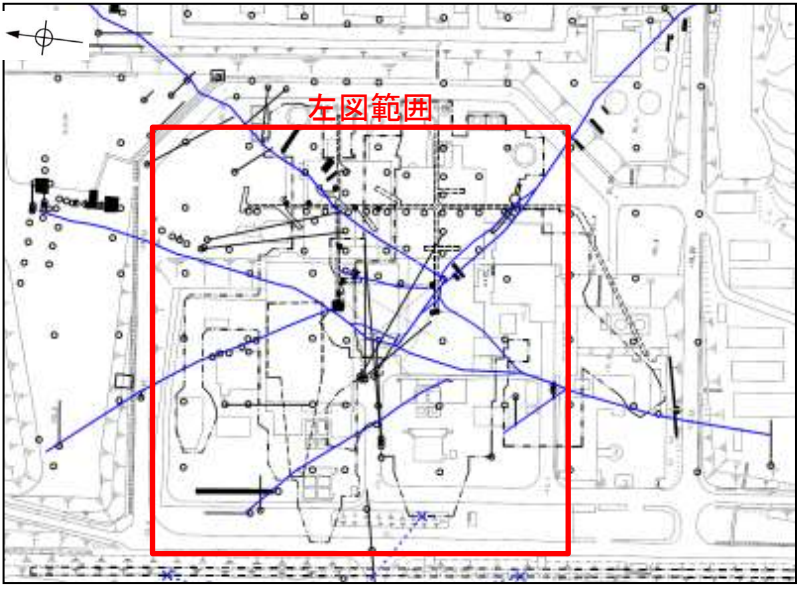
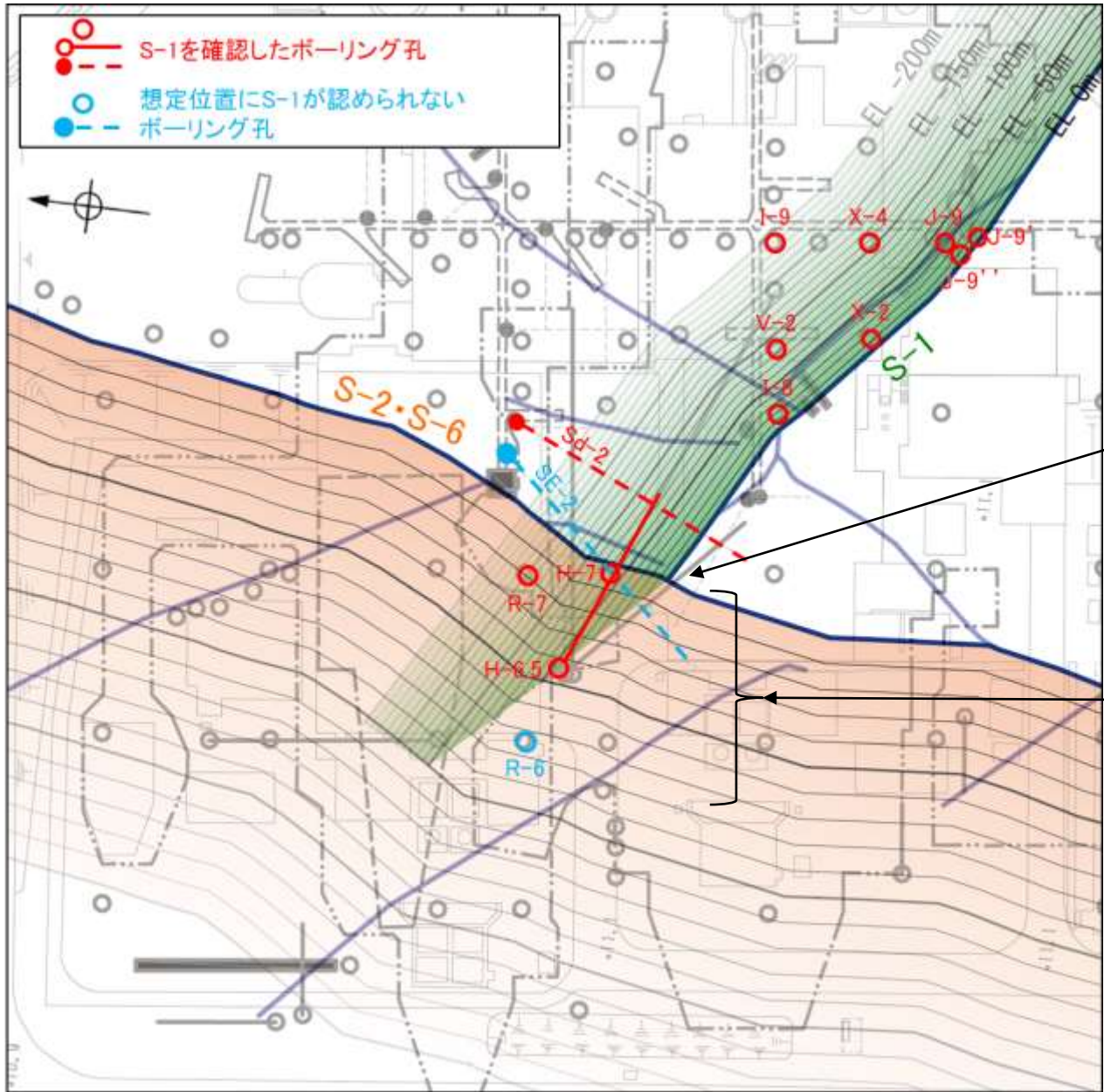
H-6.6孔において、想定延長位置付近にB-2は認められない。

---

(5) S-1とS-2・S-6の水平方向・深度方向のデータ

# S-1とS-2・S-6の水平方向・深度方向のデータ

OS-1は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

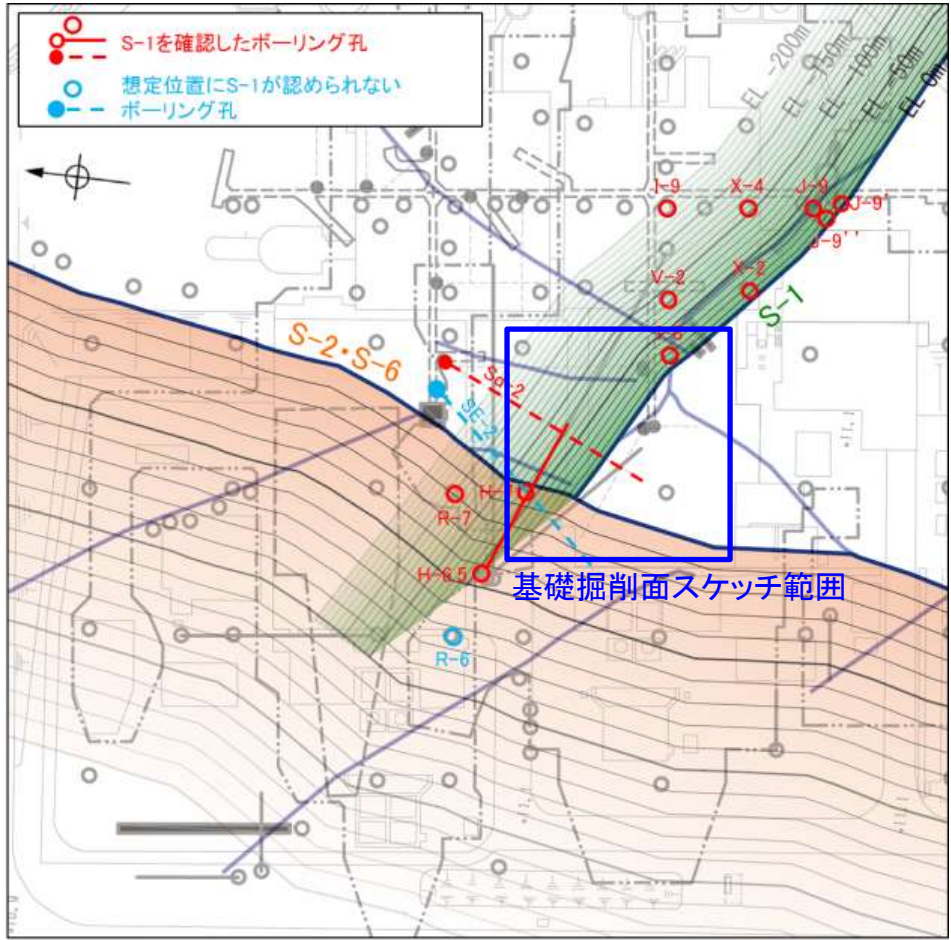
S-1は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない  
(基礎掘削面P.2.3-5-27)

S-1は、深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない  
(ボーリング断面P.2.3-5-28~30)

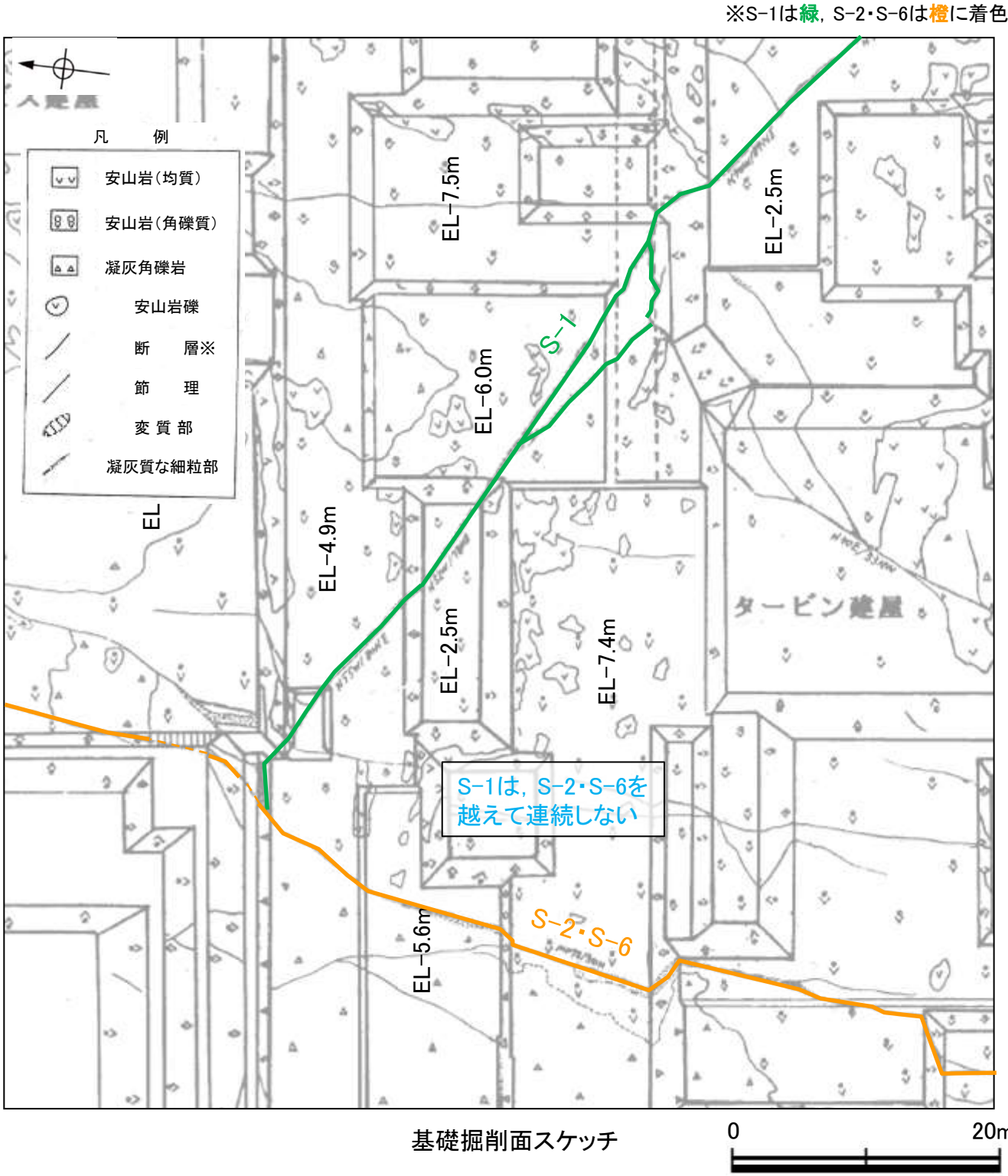
S-1とS-2・S-6の関係

# S-1とS-2・S-6の水平方向・深度方向のデータ —基礎掘削面—

○基礎掘削面において、S-1は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



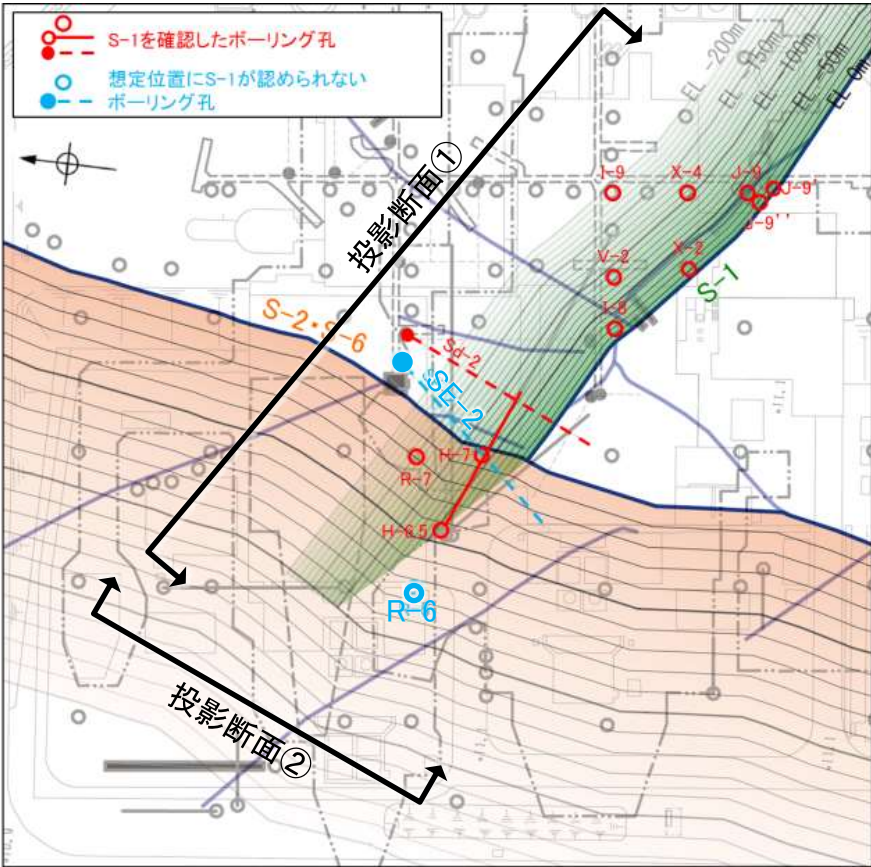
位置図



基礎掘削面スケッチ

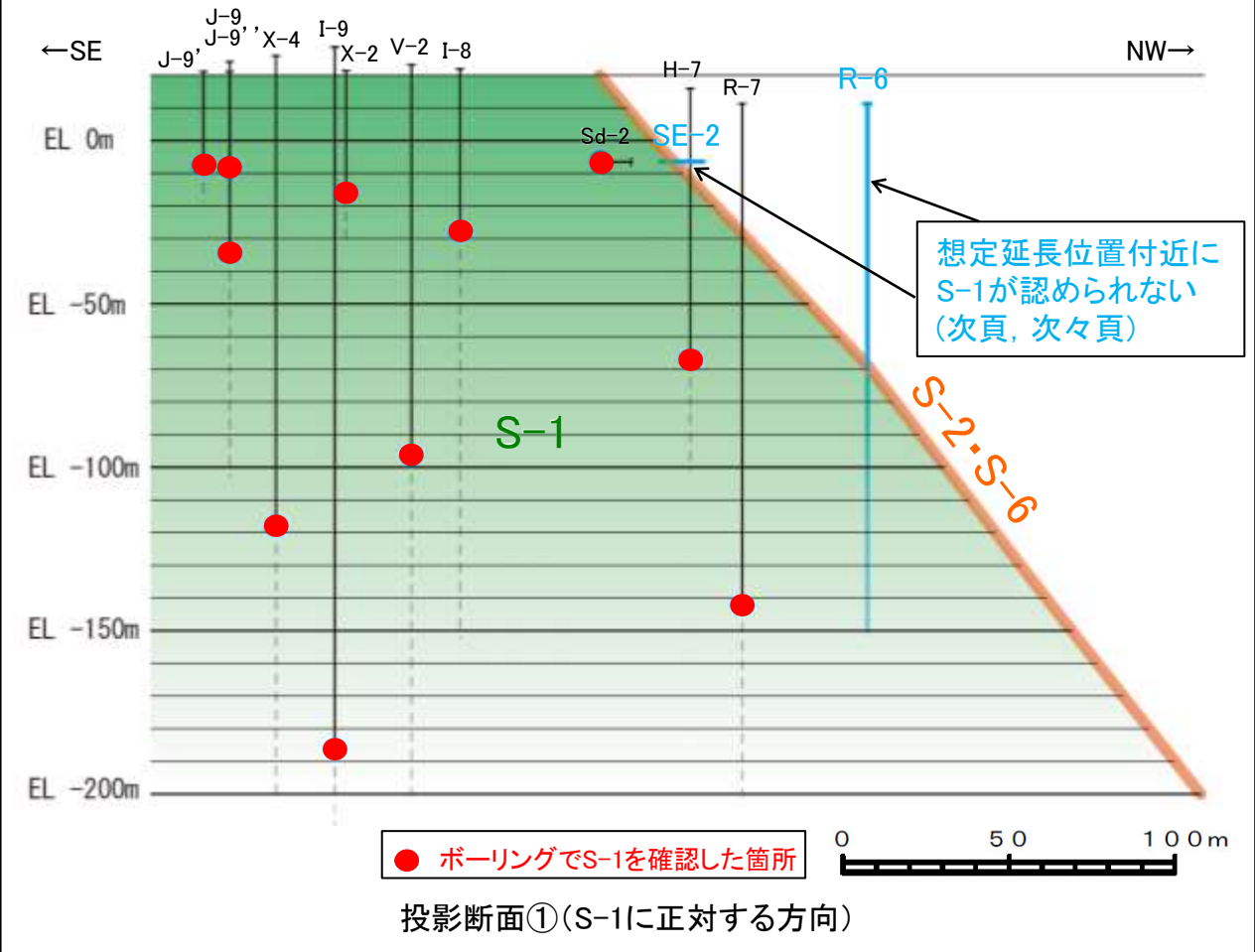
# S-1とS-2・S-6の水平方向・深度方向のデータ –ボーリング断面①–

○ボーリング断面において、S-1は、S-2・S-6を越えて連続しない。

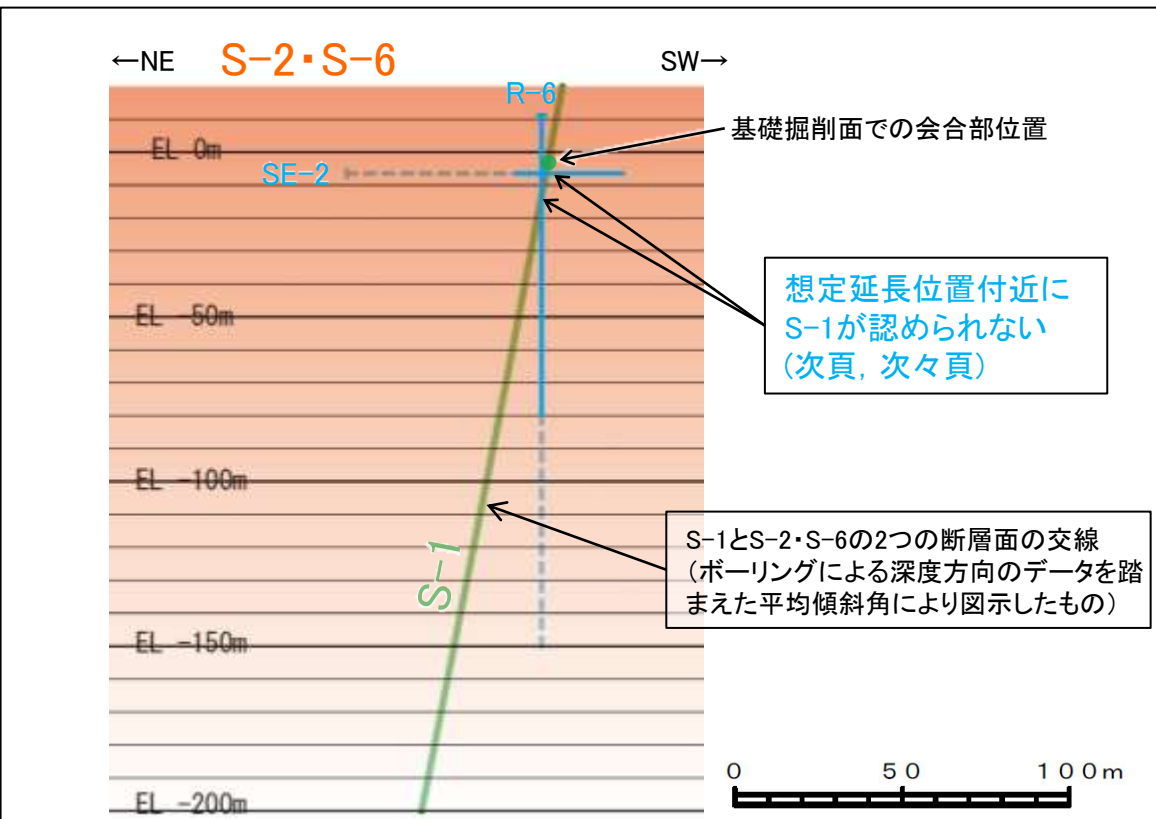


位置図

S-1は、S-2・S-6断層面より北西側のSE-2孔及びR-6孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より南東側のみ認められる。



投影断面①(S-1に正対する方向)



投影断面②(S-1に直交する方向)

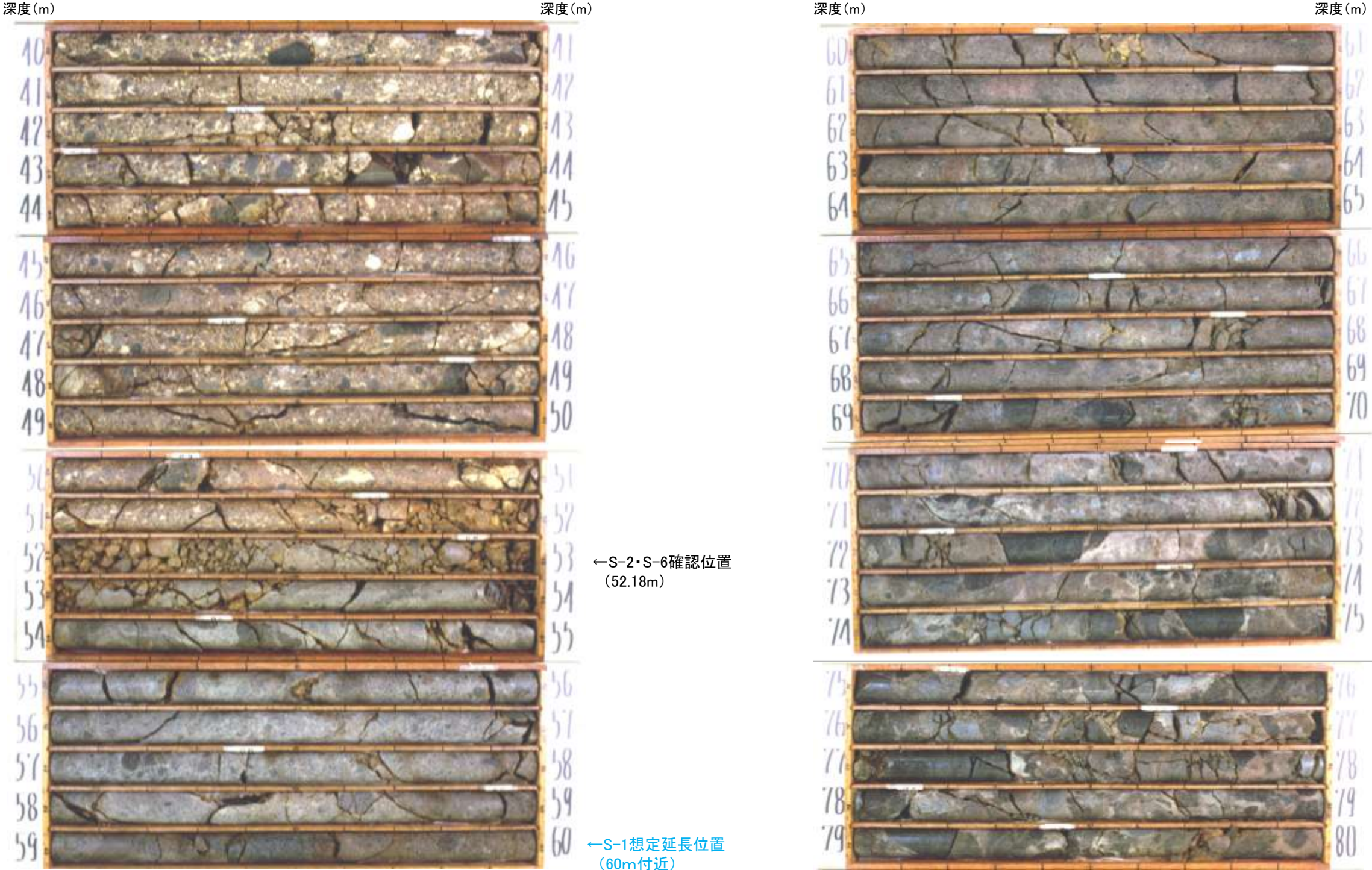
# S-1とS-2・S-6の水平方向・深度方向のデータ –ボーリング断面②–

■SE-2孔のS-1の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

SE-2孔(孔口標高-6.46m, 掘進長85.00m, 水平)



コア写真(深度40~80m)

SE-2孔において、想定延長位置付近にS-1は認められない。

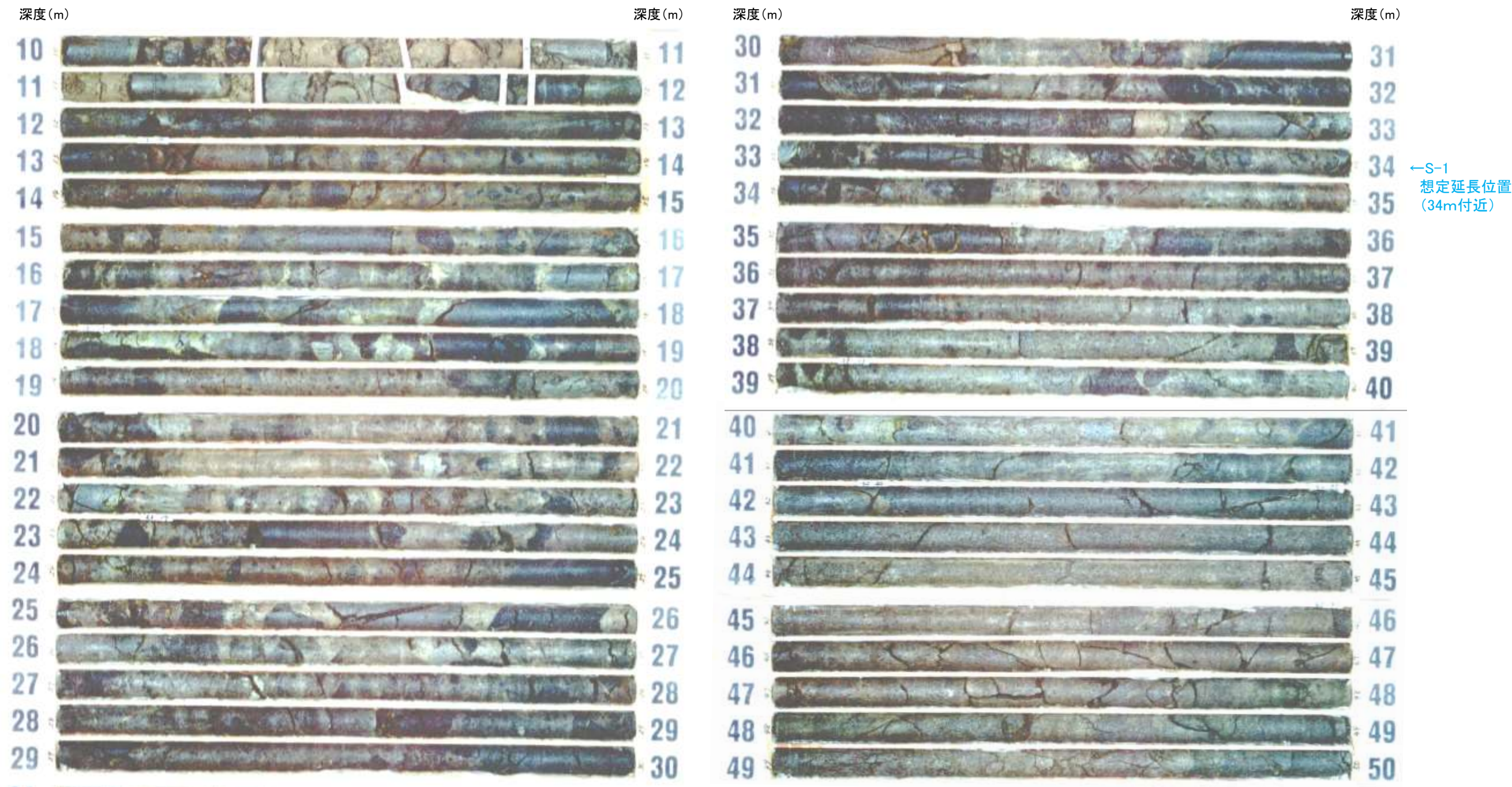
# S-1とS-2・S-6の水平方向・深度方向のデータ –ボーリング断面③–

■R-6孔のS-1の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

R-6孔(孔口標高11.23m, 掘進長161.50m, 鉛直)



コア写真(深度10~50m)

R-6孔において、想定延長位置付近にS-1は認められない。

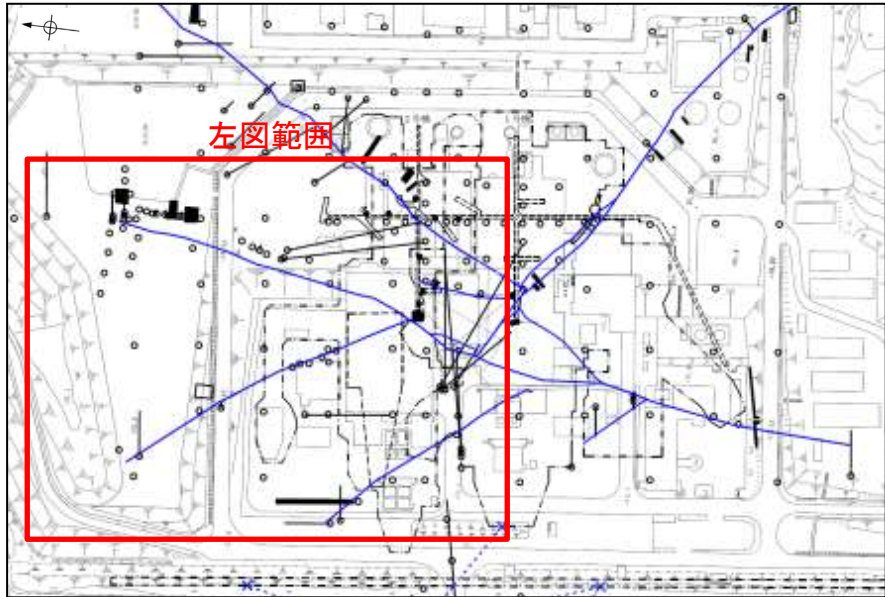
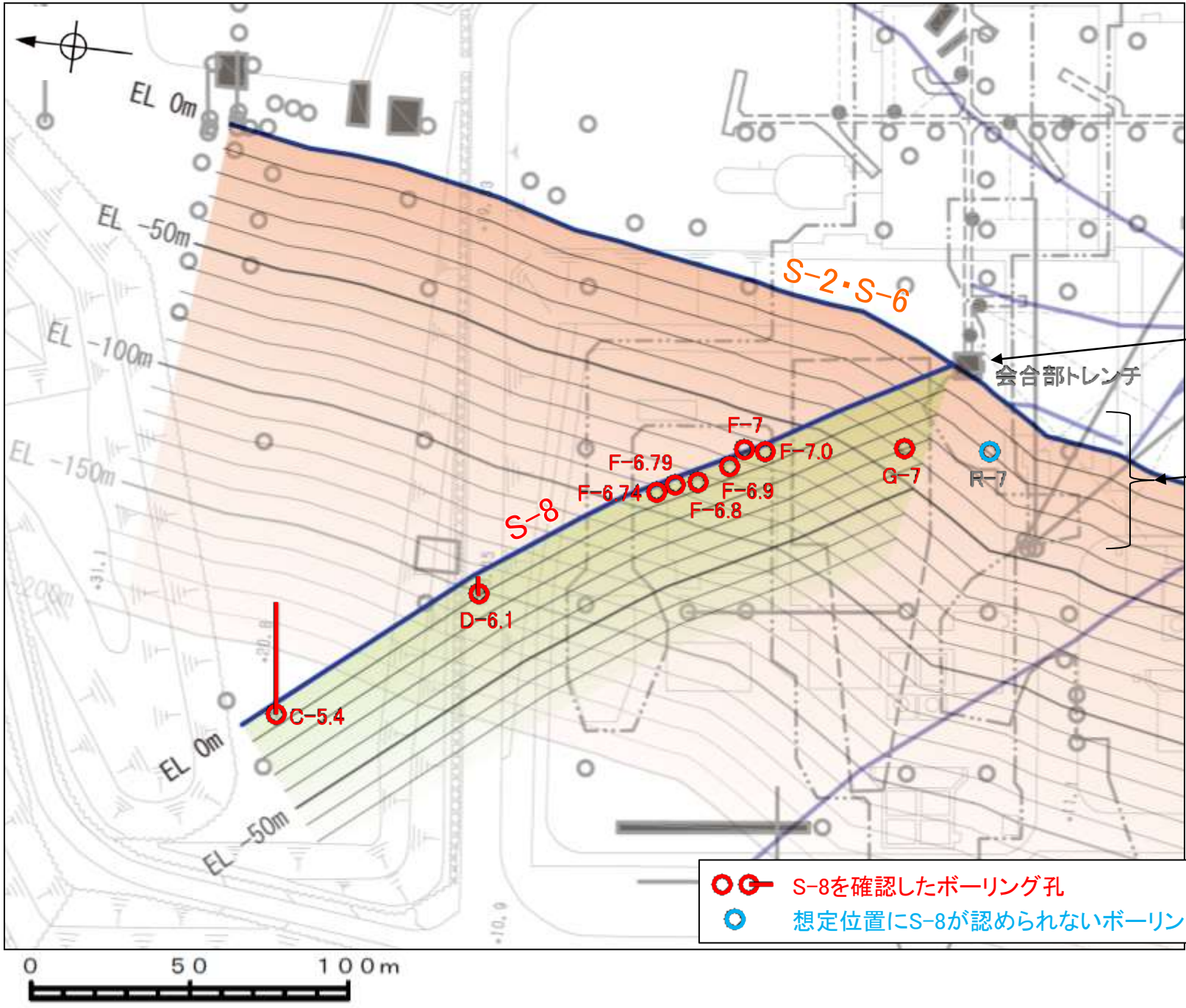
---

(6) S-2・S-6とS-8の水平方向・深度方向のデータ



# S-2・S-6とS-8の水平方向・深度方向のデータ

OS-8は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

S-8は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない(基礎掘削面P.2.3-5-33, 会合部トレンチP.2.3-5-34)

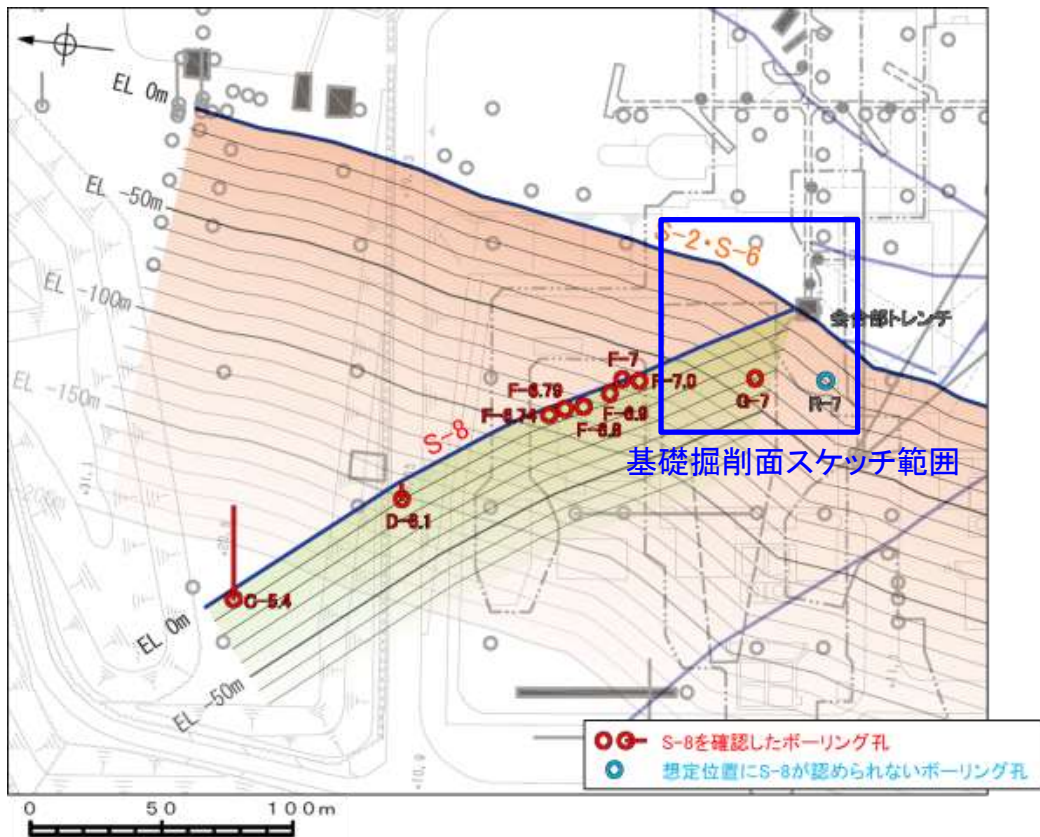
S-8は、深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない(ボーリング断面P.2.3-5-35・36)

- S-8を確認したボーリング孔
- 想定位置にS-8が認められないボーリング孔

S-2・S-6とS-8の関係

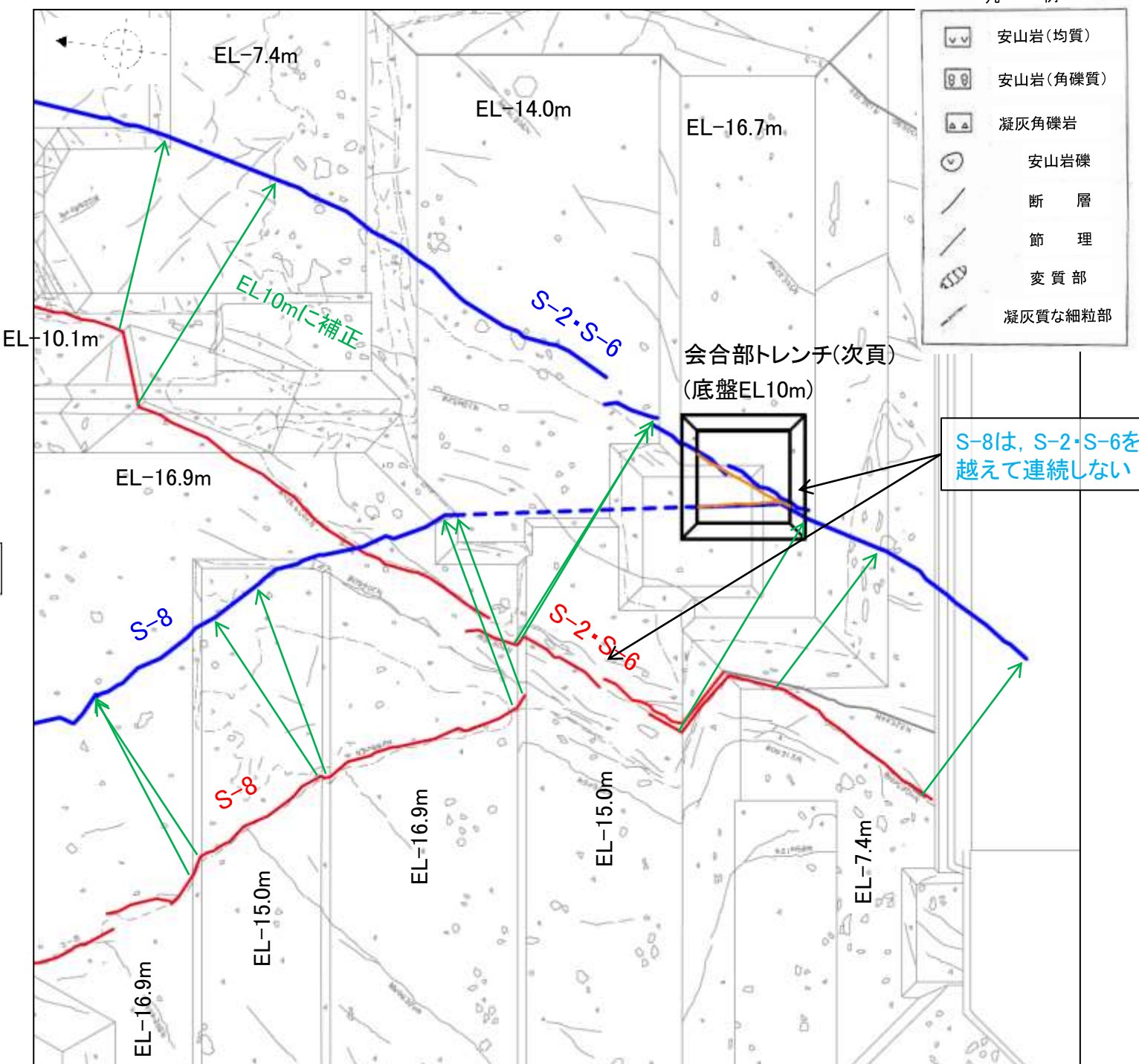
# S-2・S-6とS-8の水平方向・深度方向のデータ —基礎掘削面—

○基礎掘削面において、S-8は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

● S-8を確認したボーリング孔  
○ 想定位置にS-8が認められないボーリング孔



凡 例

	安山岩(均質)
	安山岩(角礫質)
	凝灰角礫岩
	安山岩礫
	断層
	節理
	変質部
	凝灰質な細粒部

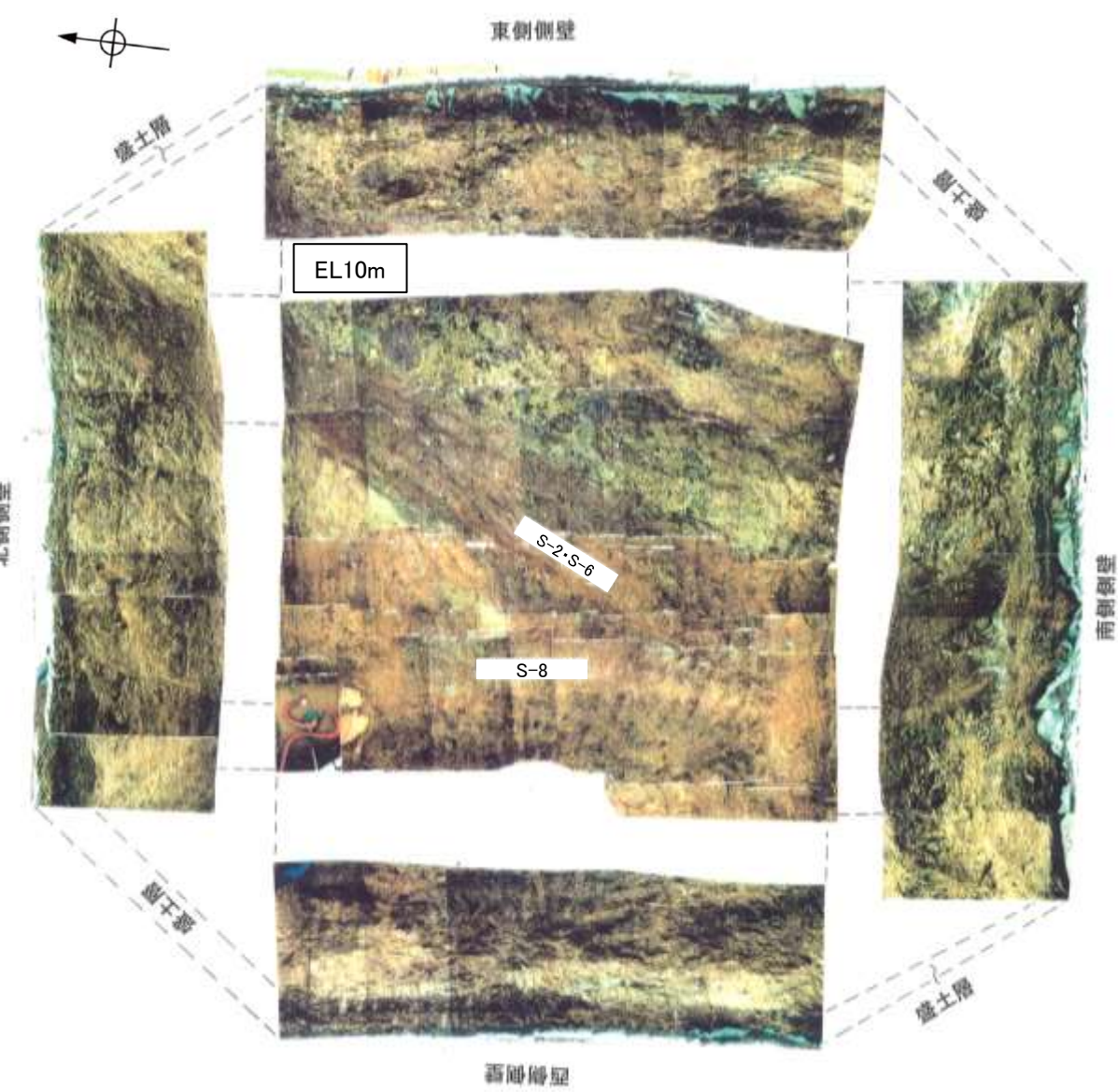
— 断層(EL10m盤トレース(投影))  
— 断層(トレンチ底盤)  
— 断層(基礎掘削面レベル)

基礎掘削面スケッチ

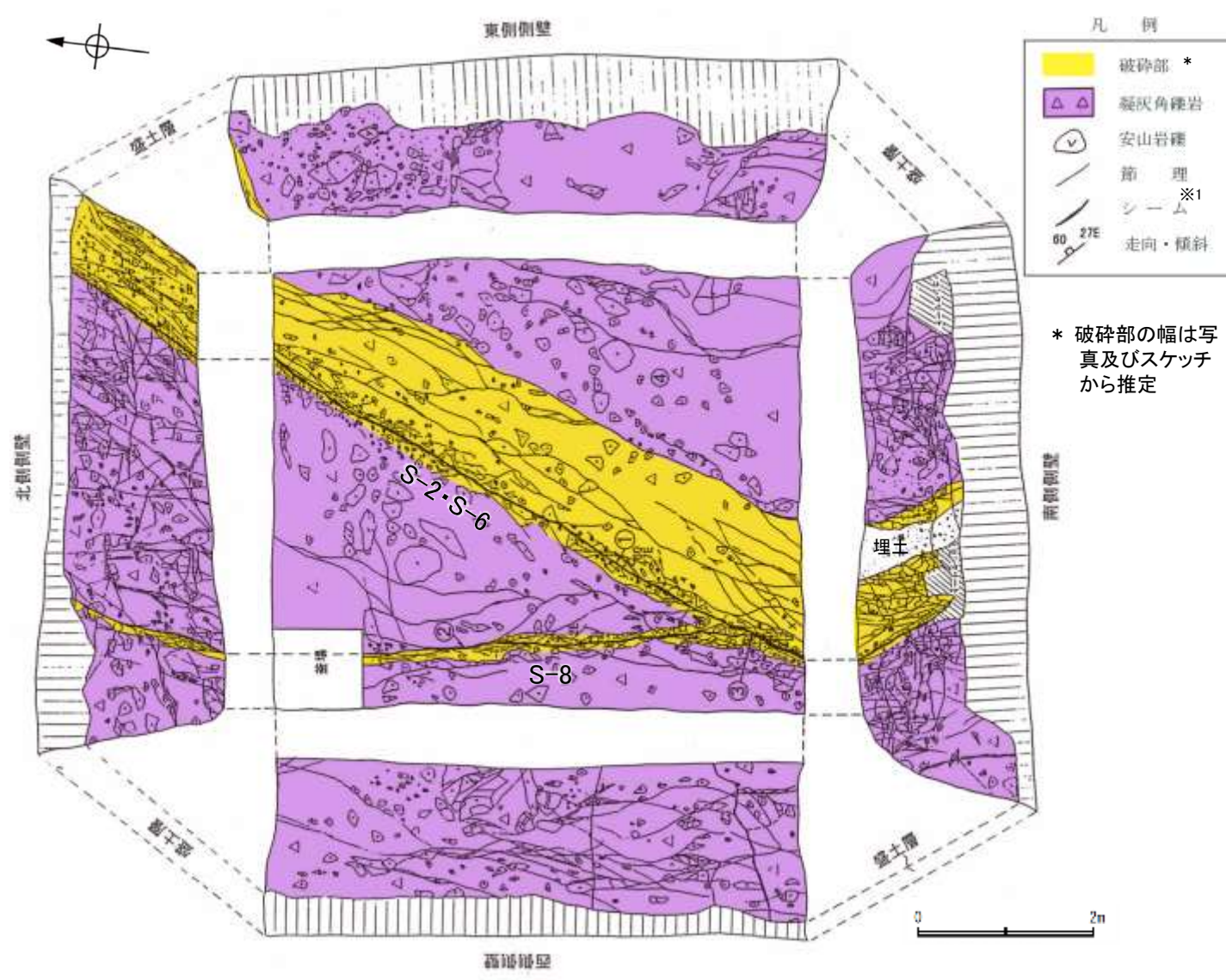


# S-2・S-6とS-8の水平方向・深度方向のデータ ー会合部トレンチー

○会合部トレンチにおいて、S-8は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



トレンチ写真(展開図)



\* 破碎部の幅は写真及びスケッチから推定

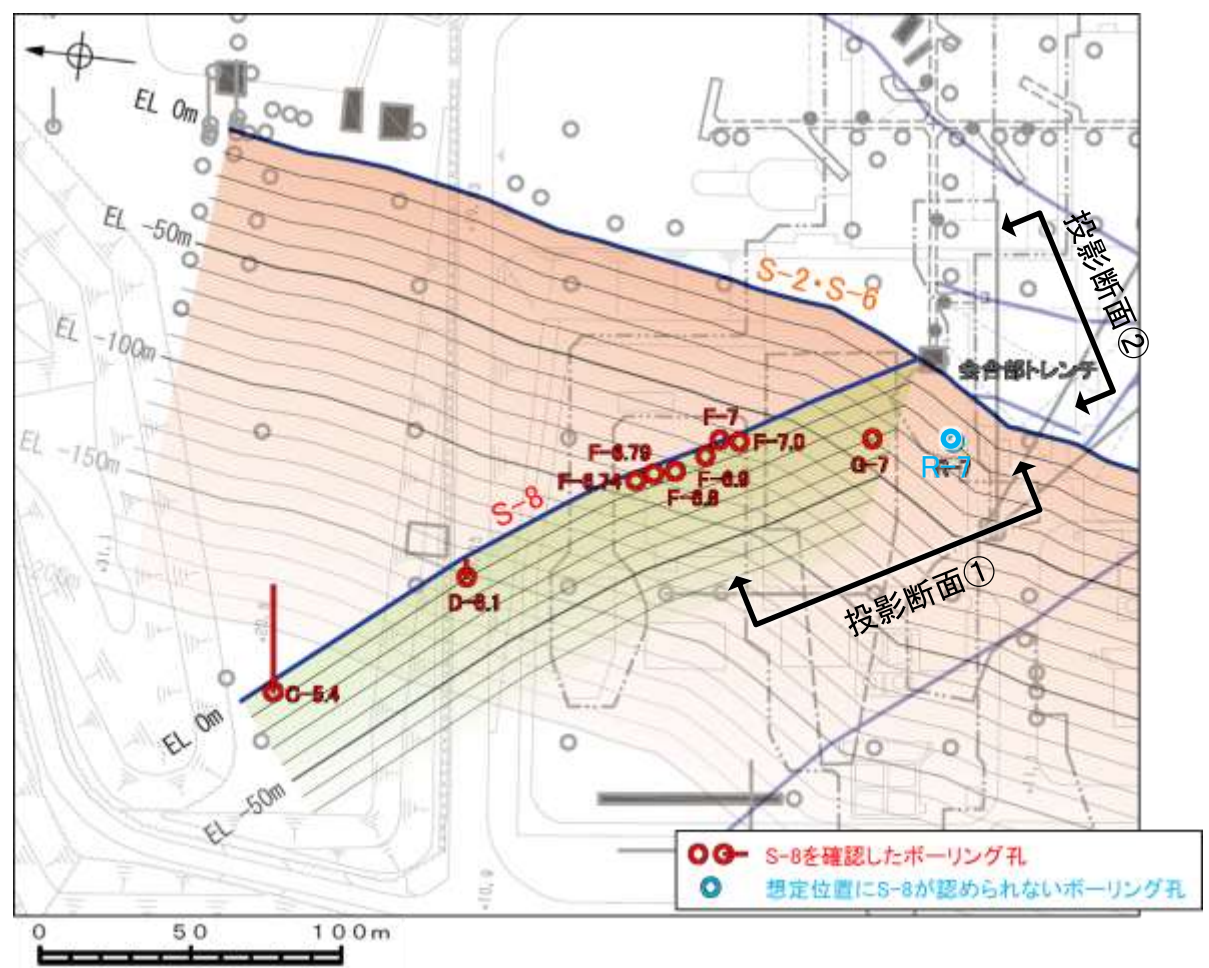
- ① S-2・S-6  
厚さ0.5~5cmの赤褐色ないし黄褐色岩片混じり粘土からなり、シーム※1に接する面の一部には鏡肌・条線が認められる。  
走向・傾斜 N27° E/60° NW※2  
(※2: N19° E/60° NW(真北補正))  
比較的明瞭な面が直線的に連続している。
- ② S-8  
厚さ0.5~1cmの暗赤褐色ないし黄褐色岩片混じり粘土からなり、シーム※1に接する面の一部には鏡肌・条線が認められる。  
走向・傾斜 N2° E~N6° W/70° ~80° W※3  
(※3: N6° W~N14° W/70° ~80° W(真北補正))
- ③ S-2・S-6とS-8の会合部  
S-8はS-2・S-6に近くにつれて、その走向方向がS-2・S-6の方向に近似するようになり、やがてはS-2・S-6に収束する。
- ④ 凝灰角礫岩  
硬質礫の分布は少なく、全体的にやや軟質である。構成礫径は5~10cm大のものが多く、シーム※1に沿って幅1m程で全体に赤褐色を帯び、シーム※1にほぼ平行な節理が認められやや軟質である。部分的に黄白色礫が認められる。

※1 スケッチ時の記載用語。「粘土状破碎部」に対応する。

トレンチスケッチ(展開図)  
S-2・S-6とS-8の会合部の状況

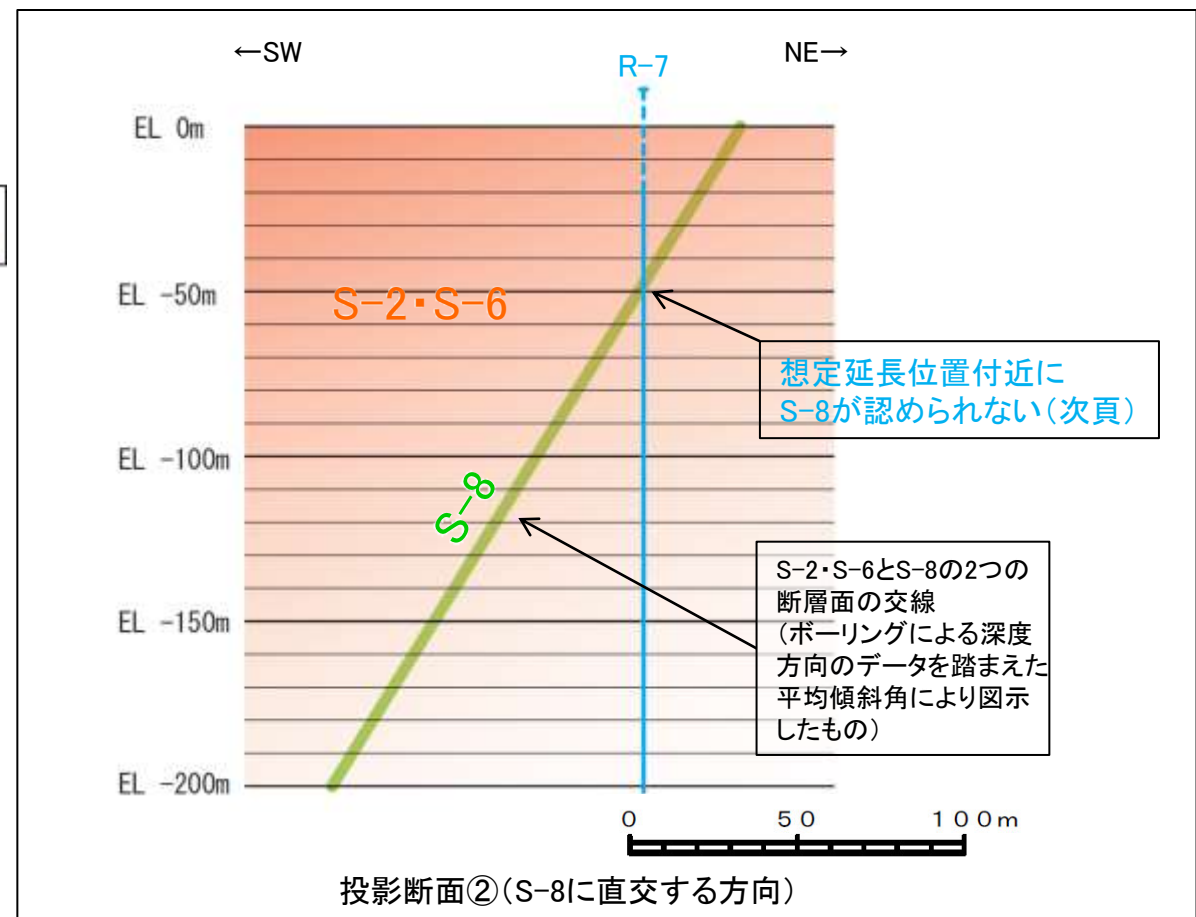
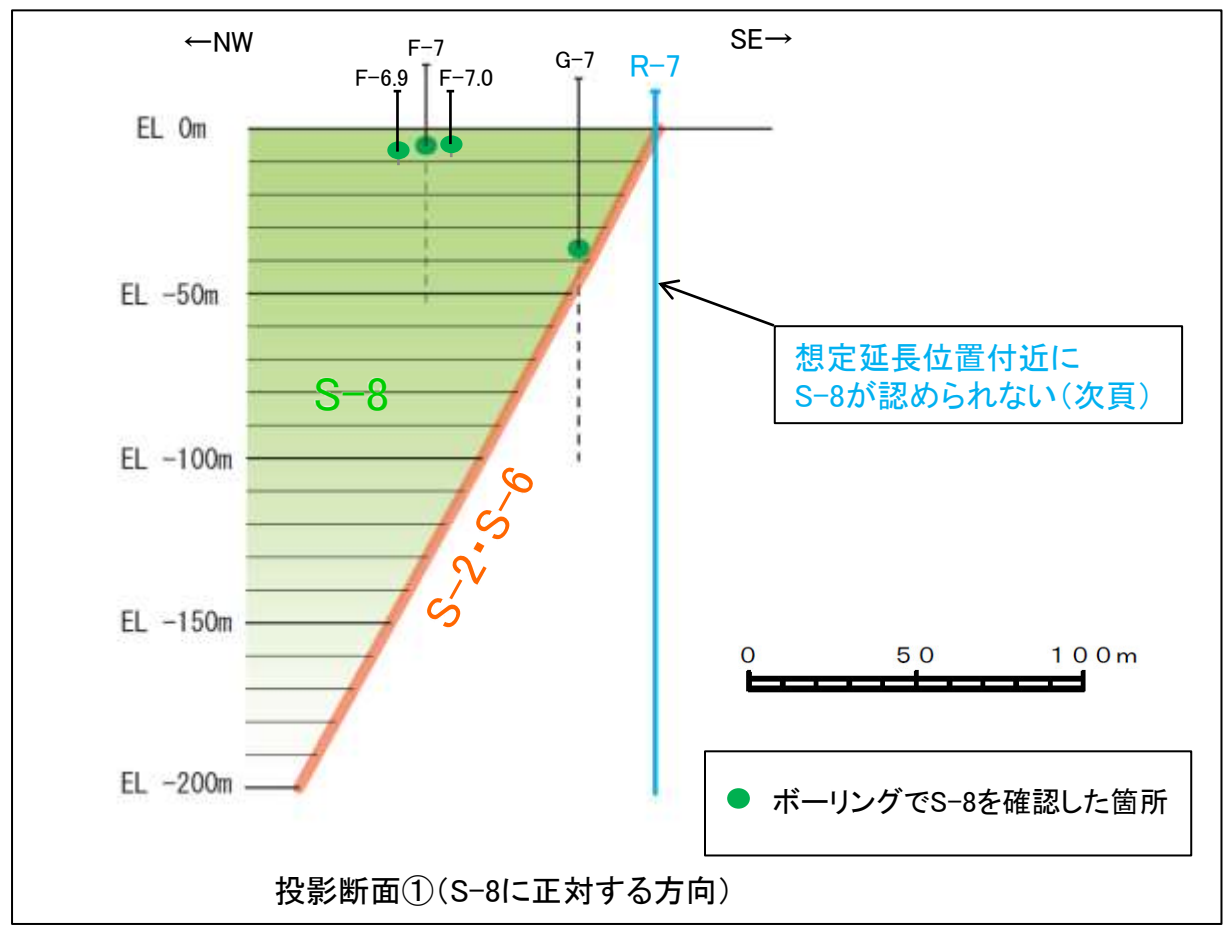
# S-2・S-6とS-8の水平方向・深度方向のデータ –ボーリング断面①–

○ボーリング断面において、S-8は、S-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

S-8は、S-2・S-6断層面より南東側のR-7孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より北西側にのみ認められる。

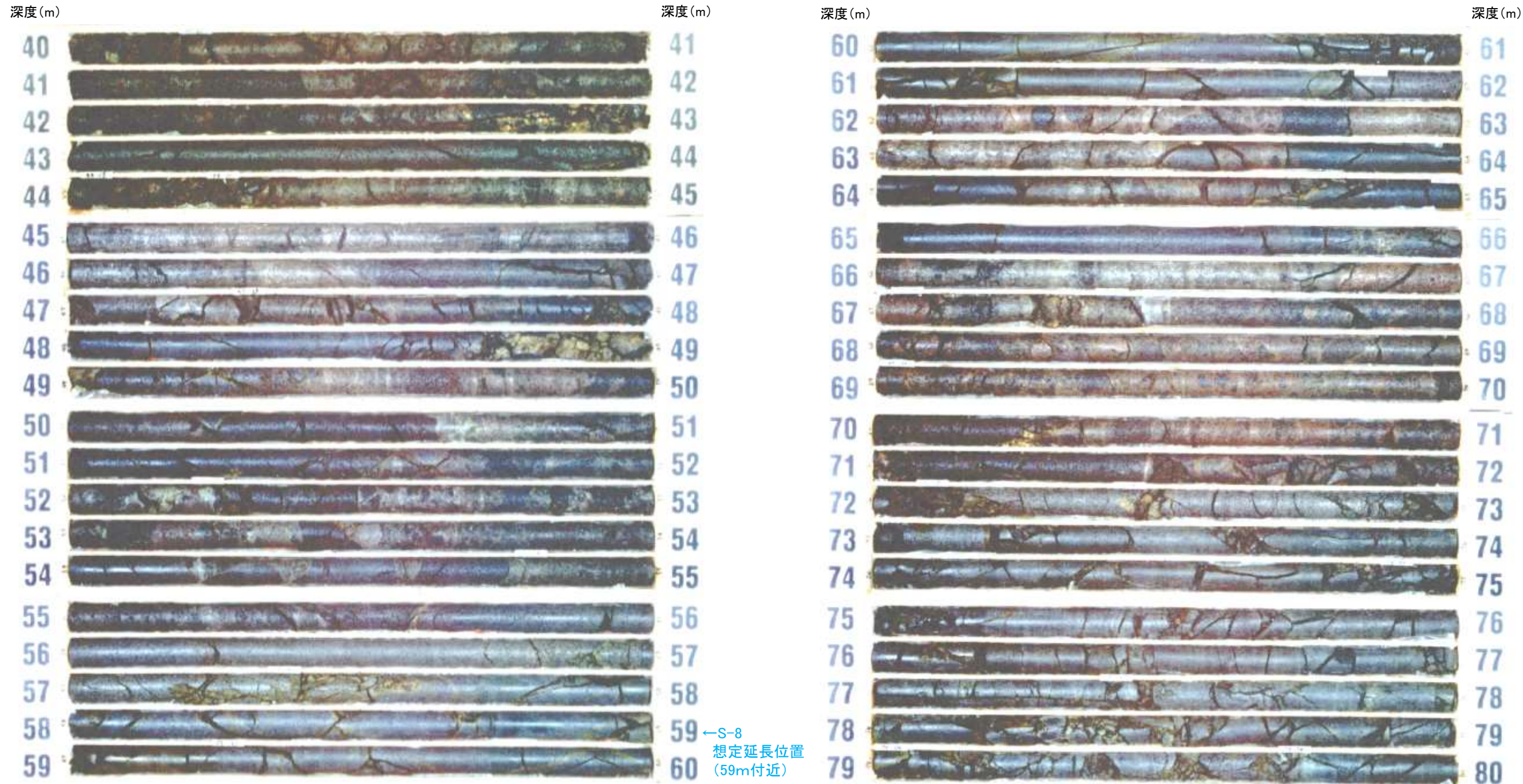


## ボーリング(R-7孔) S-8想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

R-7孔(孔口標高11.28m, 掘進長213.00m, 鉛直)



コア写真(深度40~80m)

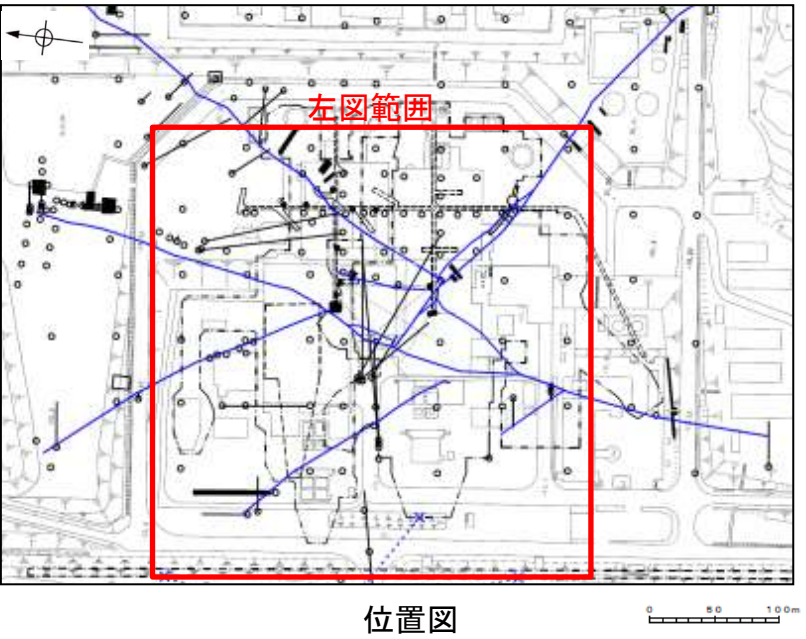
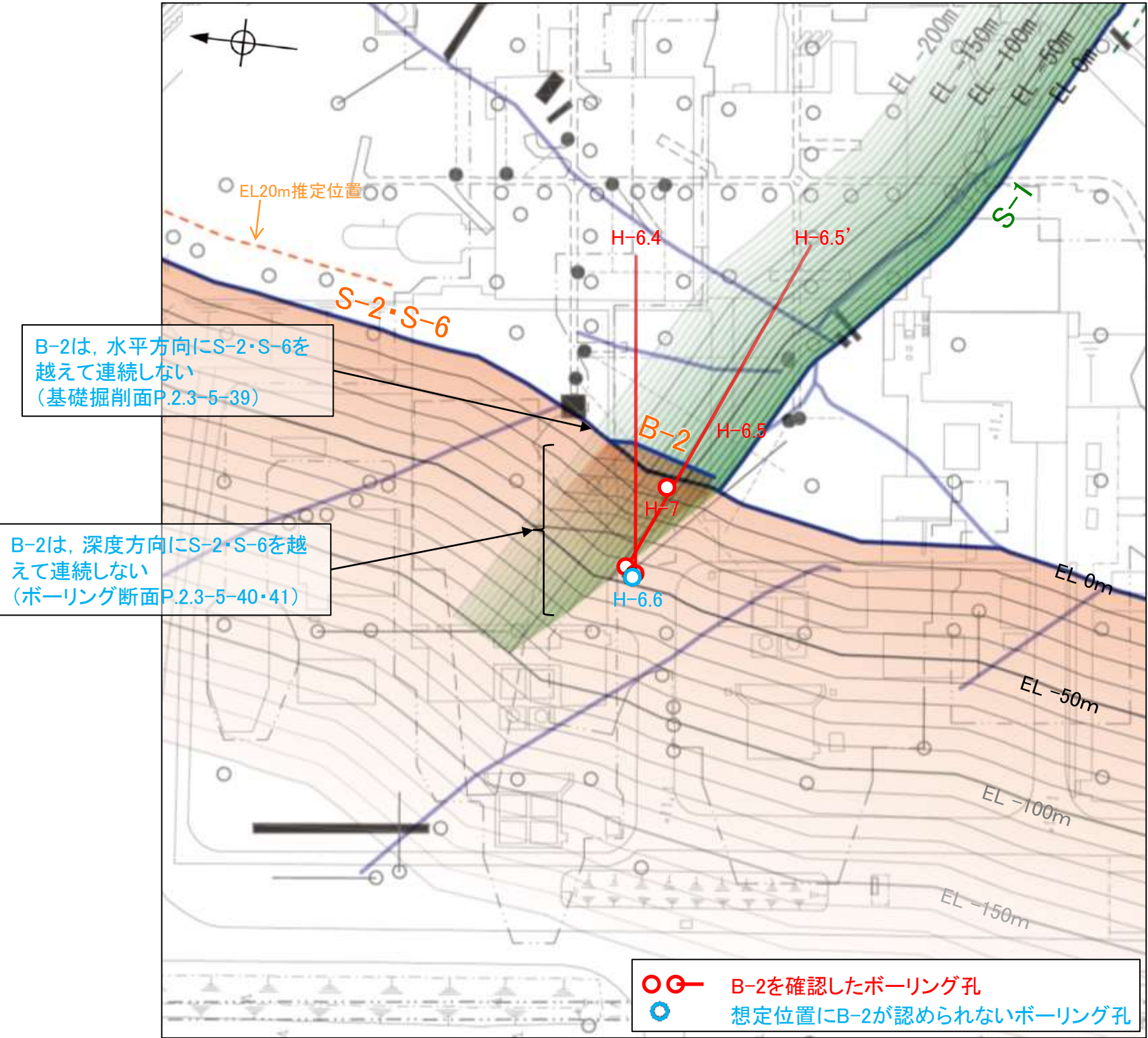
R-7孔において、想定延長位置付近にS-8は認められない。

---

(7) S-2・S-6とB-2の水平方向・深度方向のデータ

# S-2・S-6とB-2の水平方向・深度方向のデータ

OB-2は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。

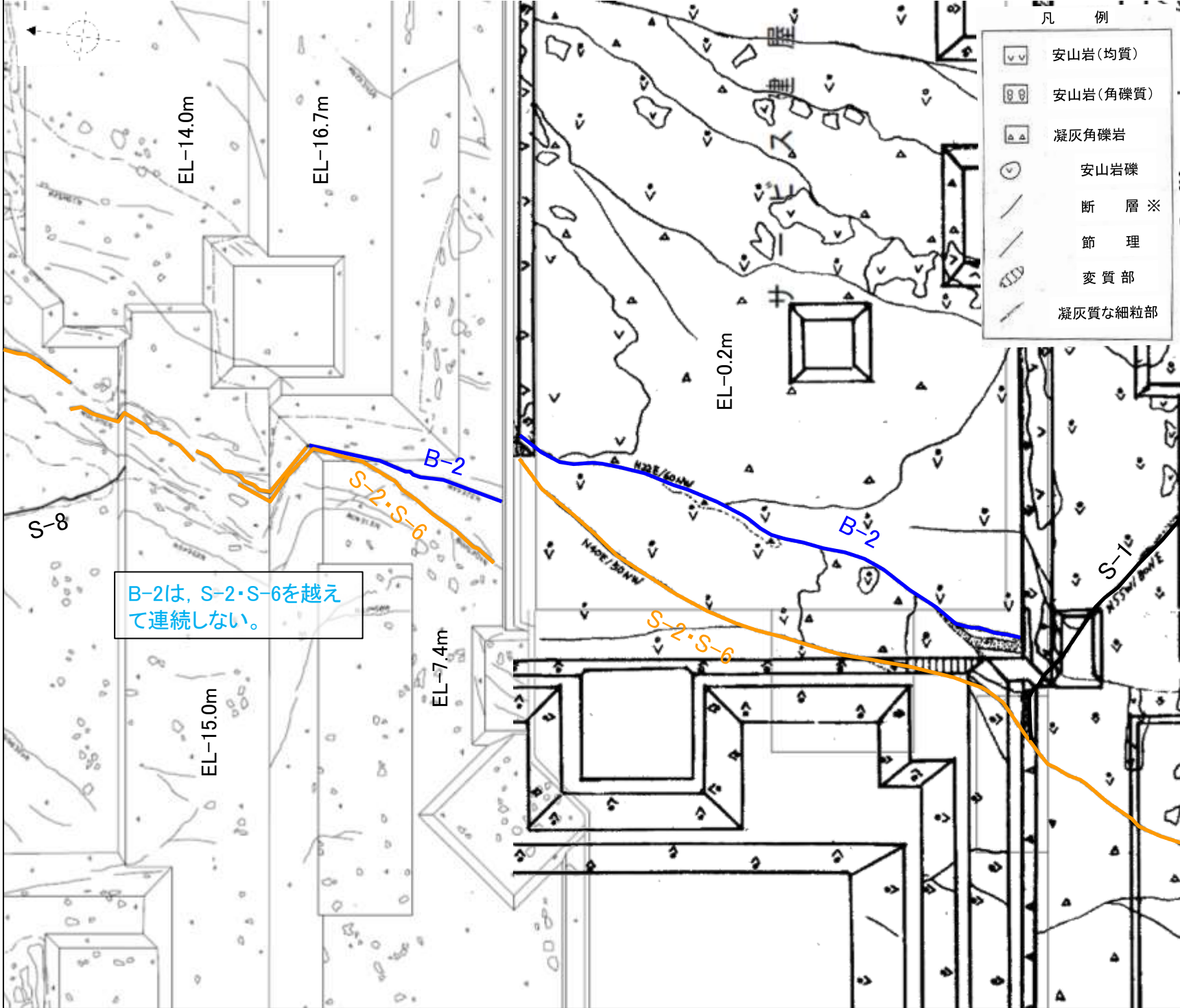
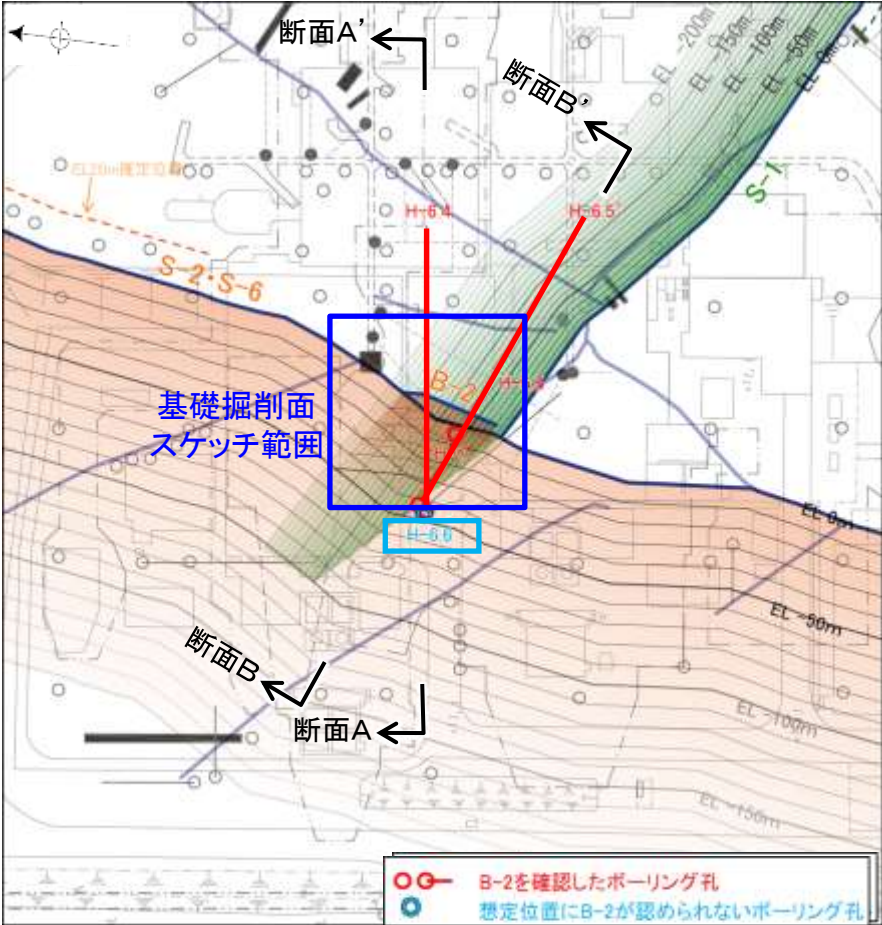


S-2・S-6とB-2の関係

# S-2・S-6とB-2の水平方向・深度方向のデータ —基礎掘削面—

○基礎掘削面において、B-2は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。

※B-2は青、S-2・S-6は橙に着色



基礎掘削面スケッチ(左:2号機, 右:1号機)

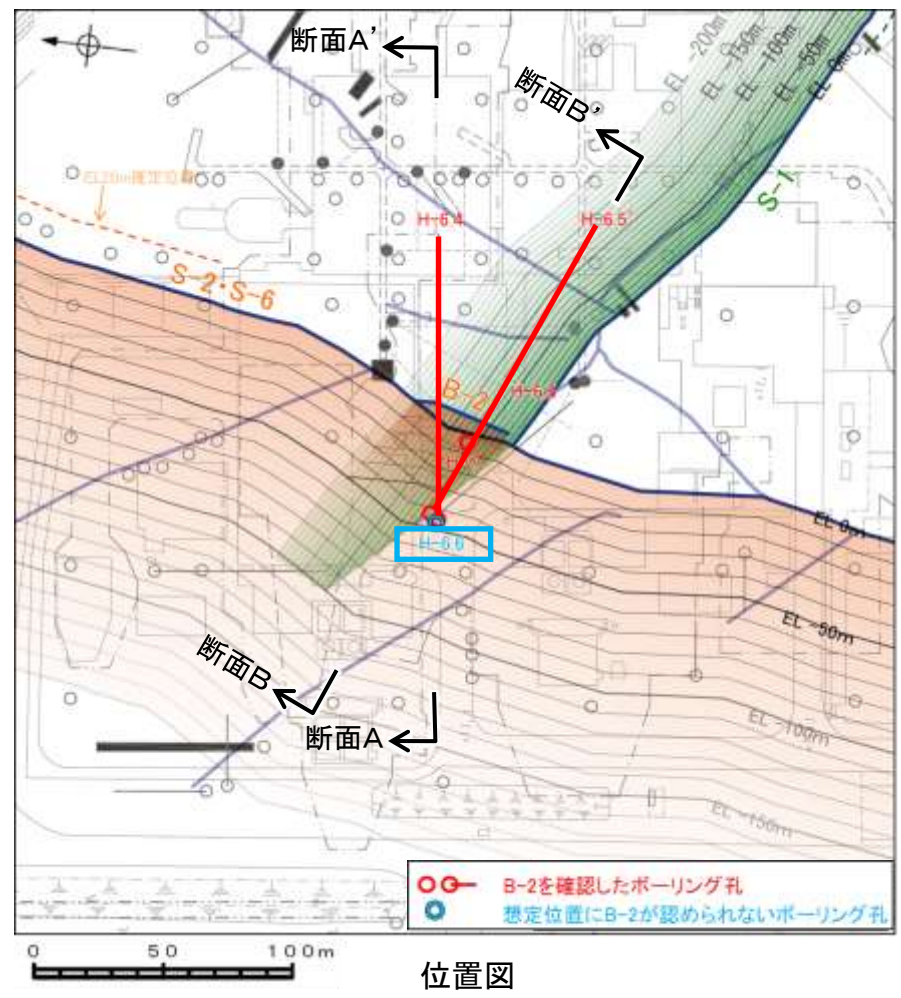




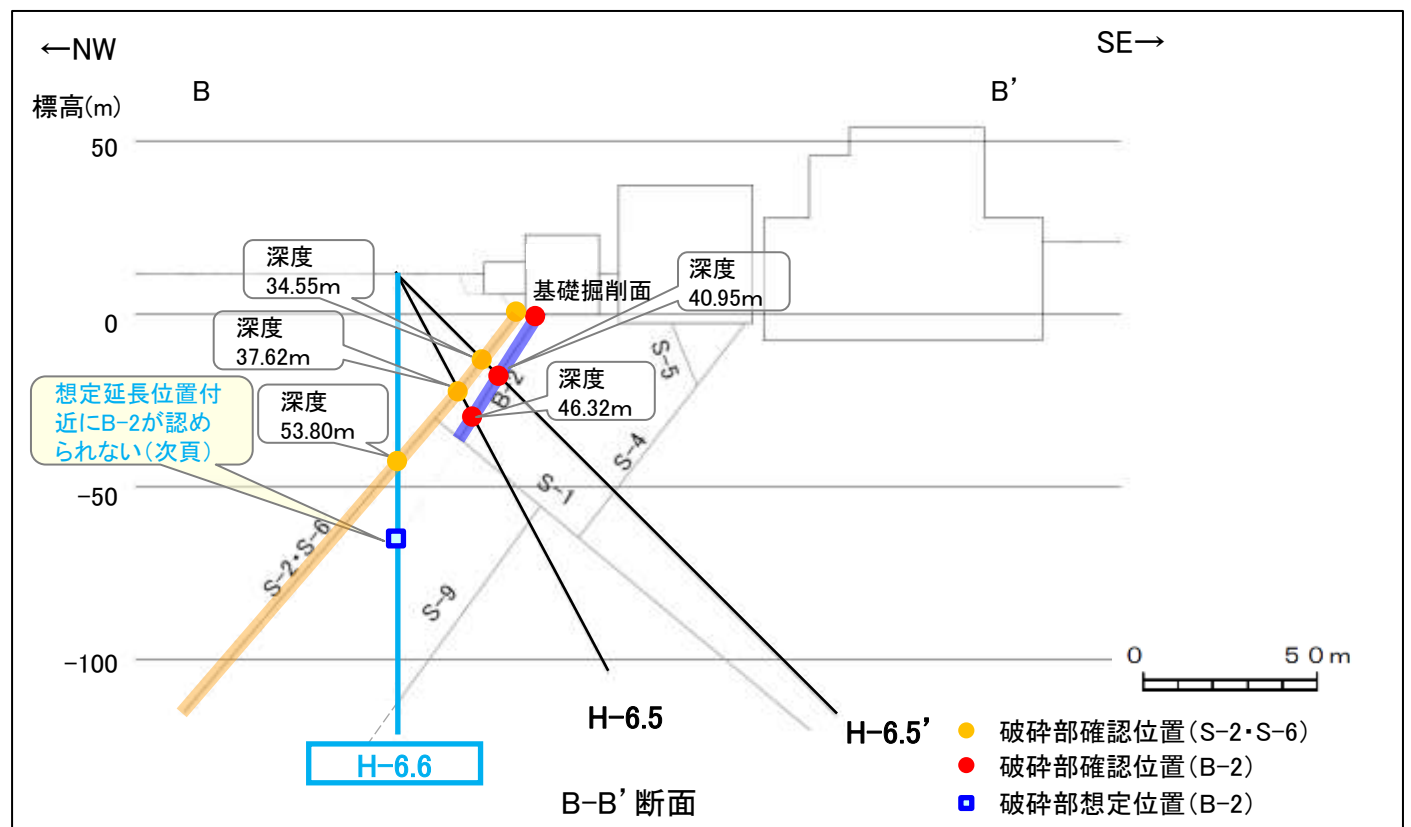
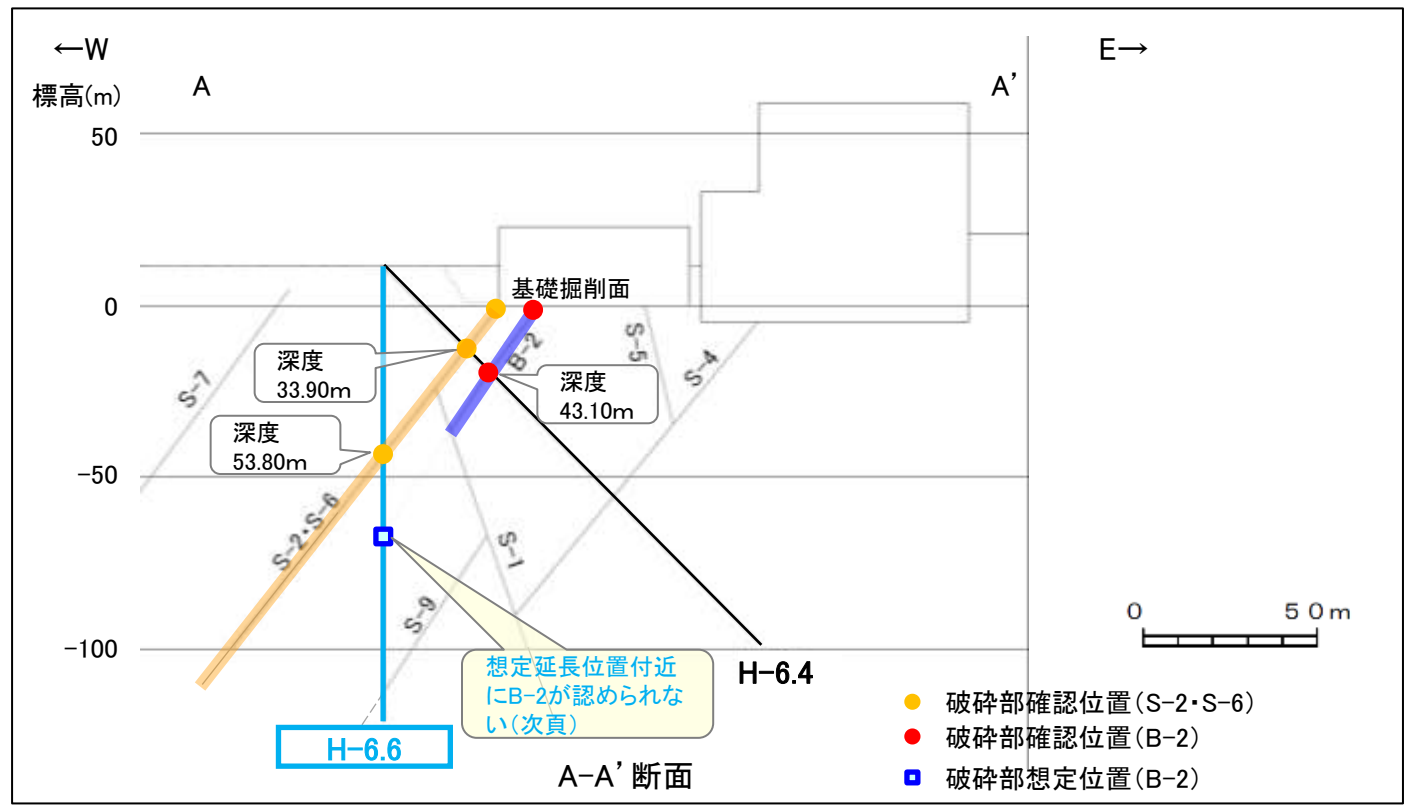
# S-2・S-6とB-2の水平方向・深度方向のデータ –ボーリング断面①–

○ボーリング断面において、B-2は、S-2・S-6を越えて連続しない。

この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。



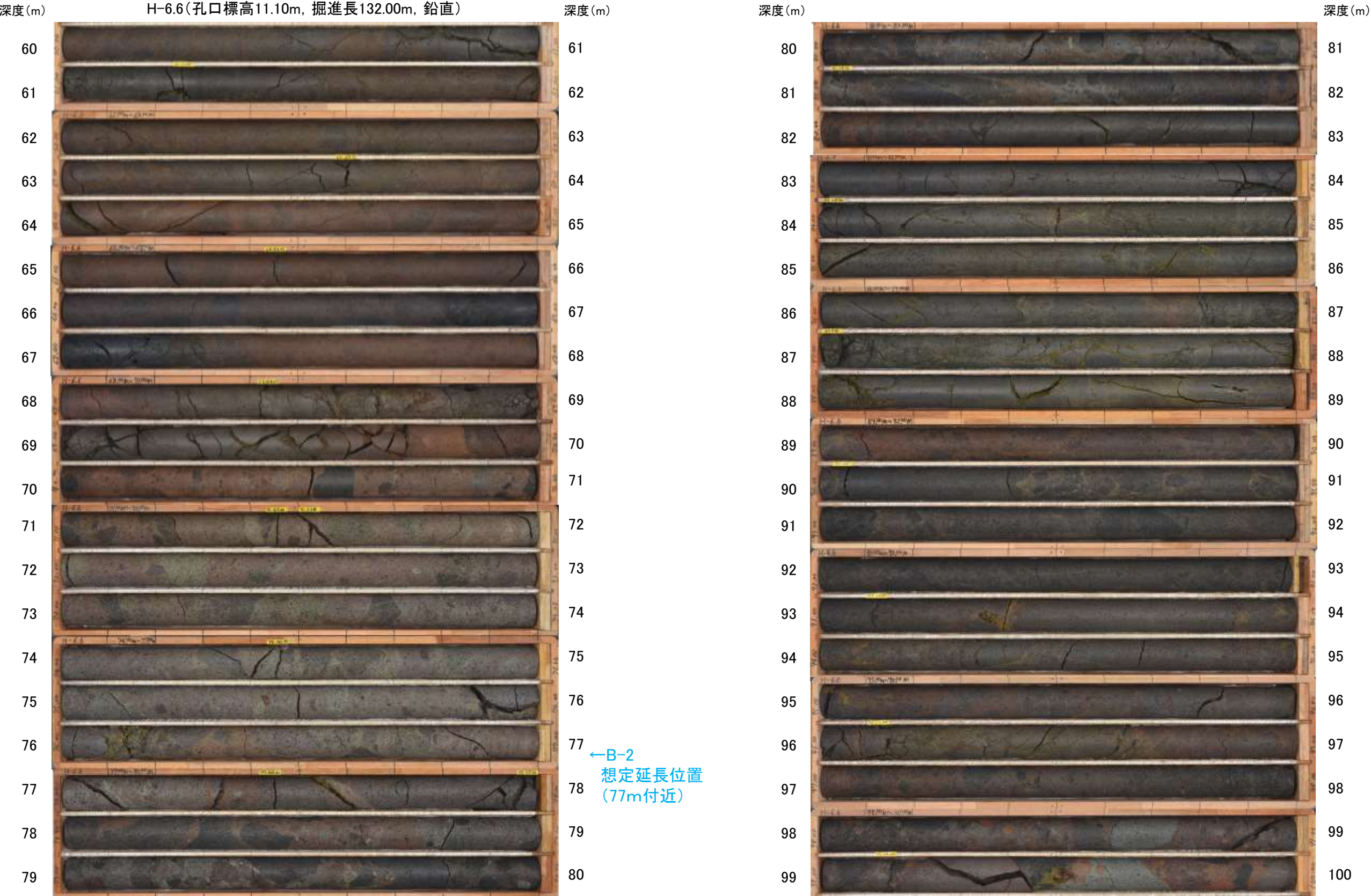
B-2は、ボーリングH-6.6孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より南東側にのみ認められる。



# S-2・S-6とB-2の水平方向・深度方向のデータ –ボーリング断面②–

## ボーリング(H-6.6孔) B-2想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集1



コア写真(深度60~100m)

※深度77.60m付近に見られる割れ目は、その付近で変形構造は見られず、破砕部ではない。なお、走向傾斜はN33°E/59°SEであり、B-2と対応しない。

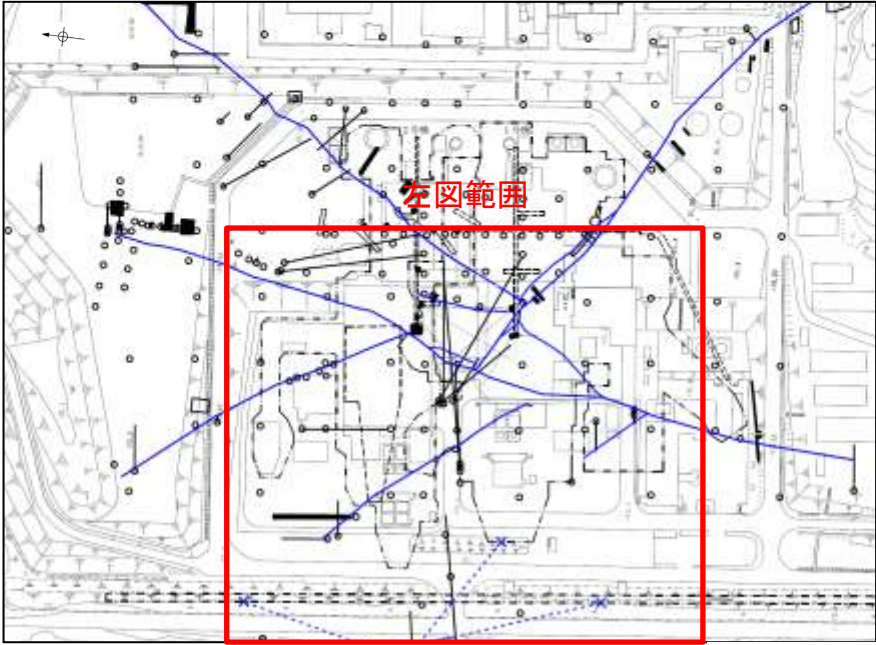
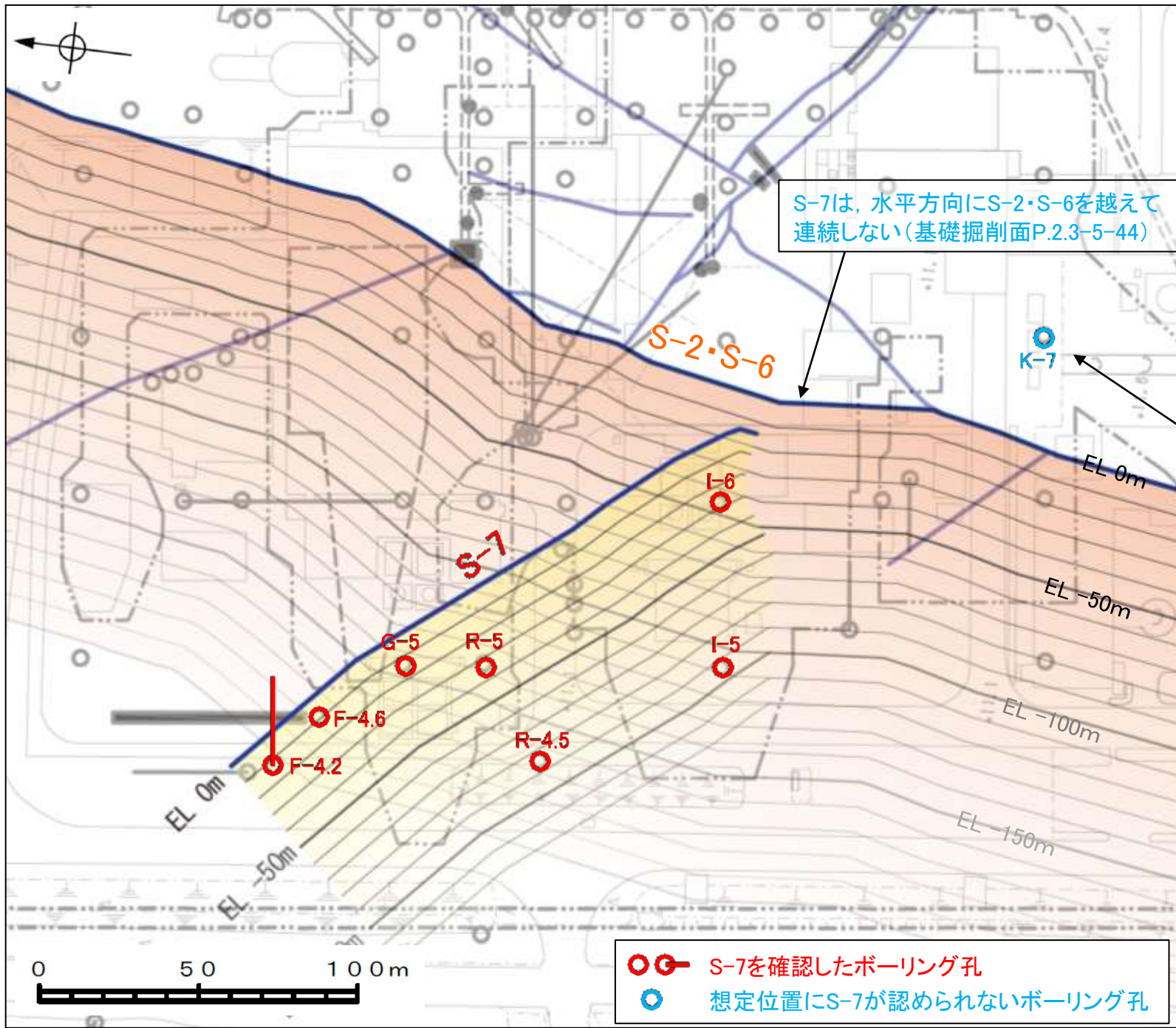
H-6.6孔において、想定延長位置付近にB-2は認められない。

---

(8) S-2・S-6とS-7の水平方向・深度方向のデータ

# S-2・S-6とS-7の水平方向・深度方向のデータ

OS-7は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



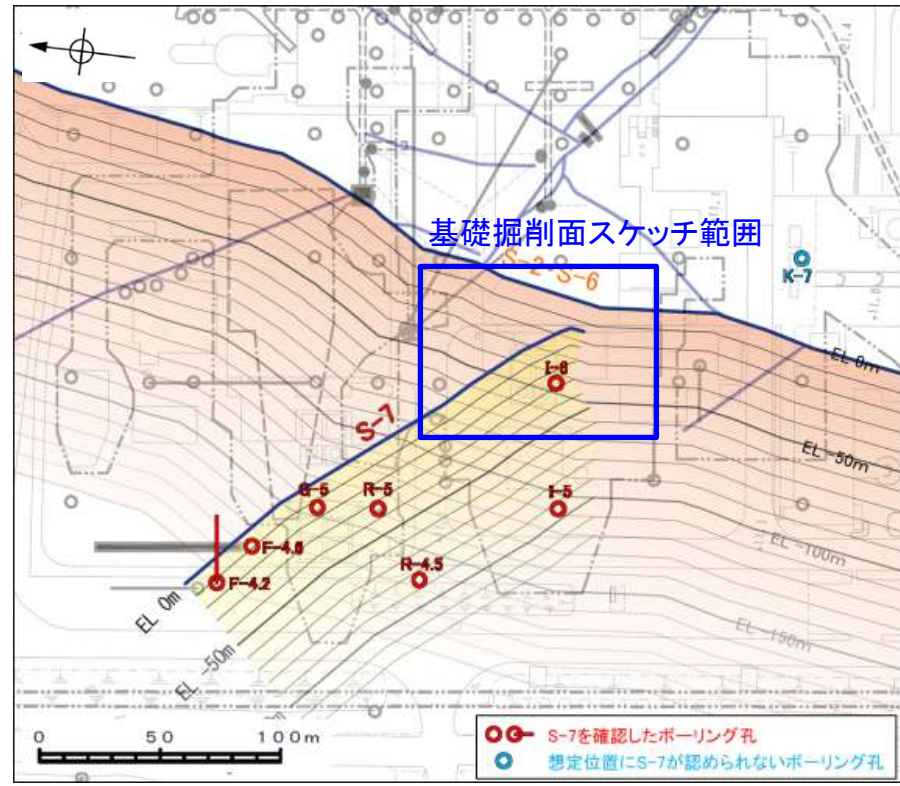
位置図

S-2・S-6とS-7の関係

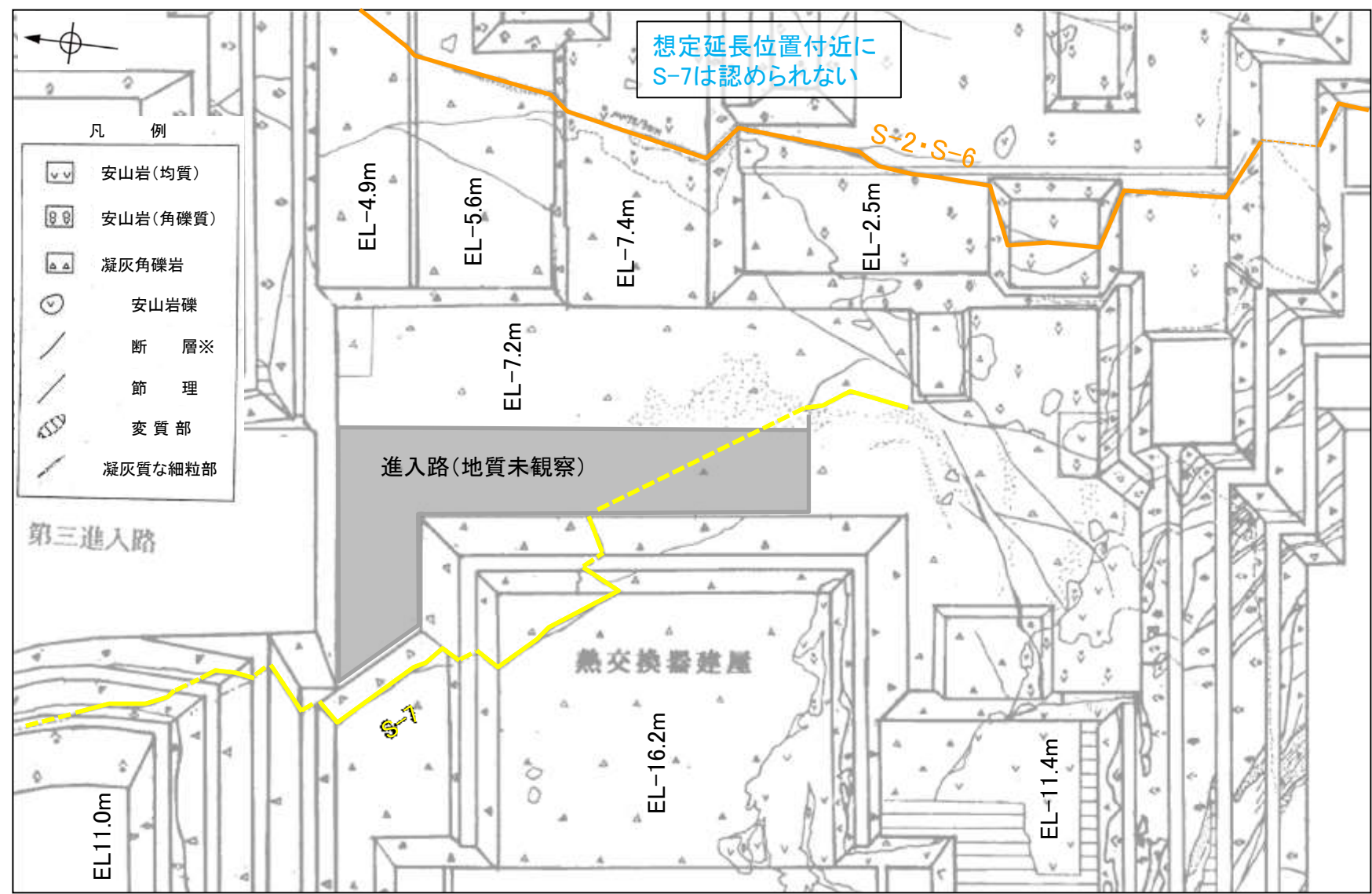
# S-2・S-6とS-7の水平方向・深度方向のデータ —基礎掘削面—

○基礎掘削面において、S-7は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。

※S-7は黄, S-2・S-6は橙に着色



位置図

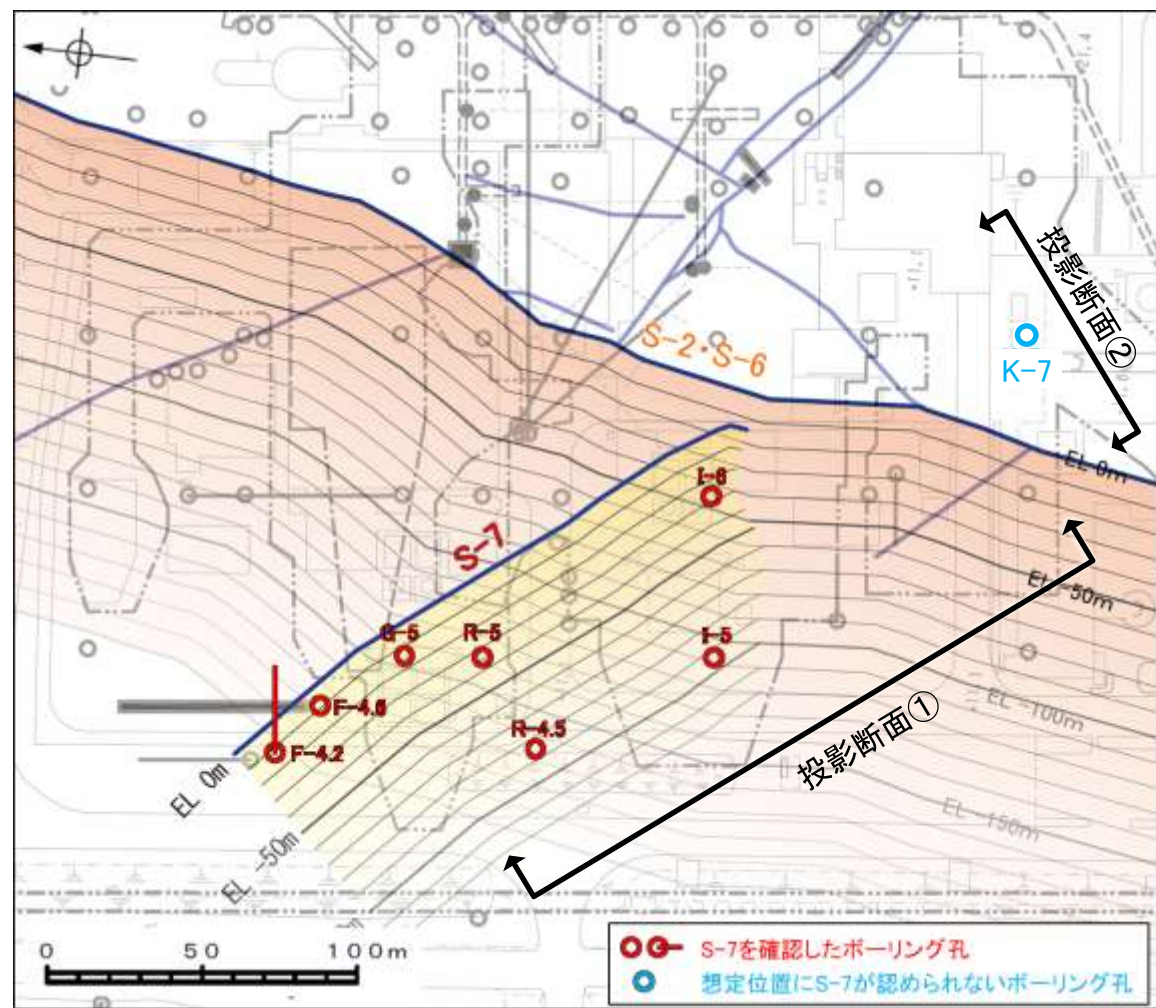


基礎掘削面スケッチ



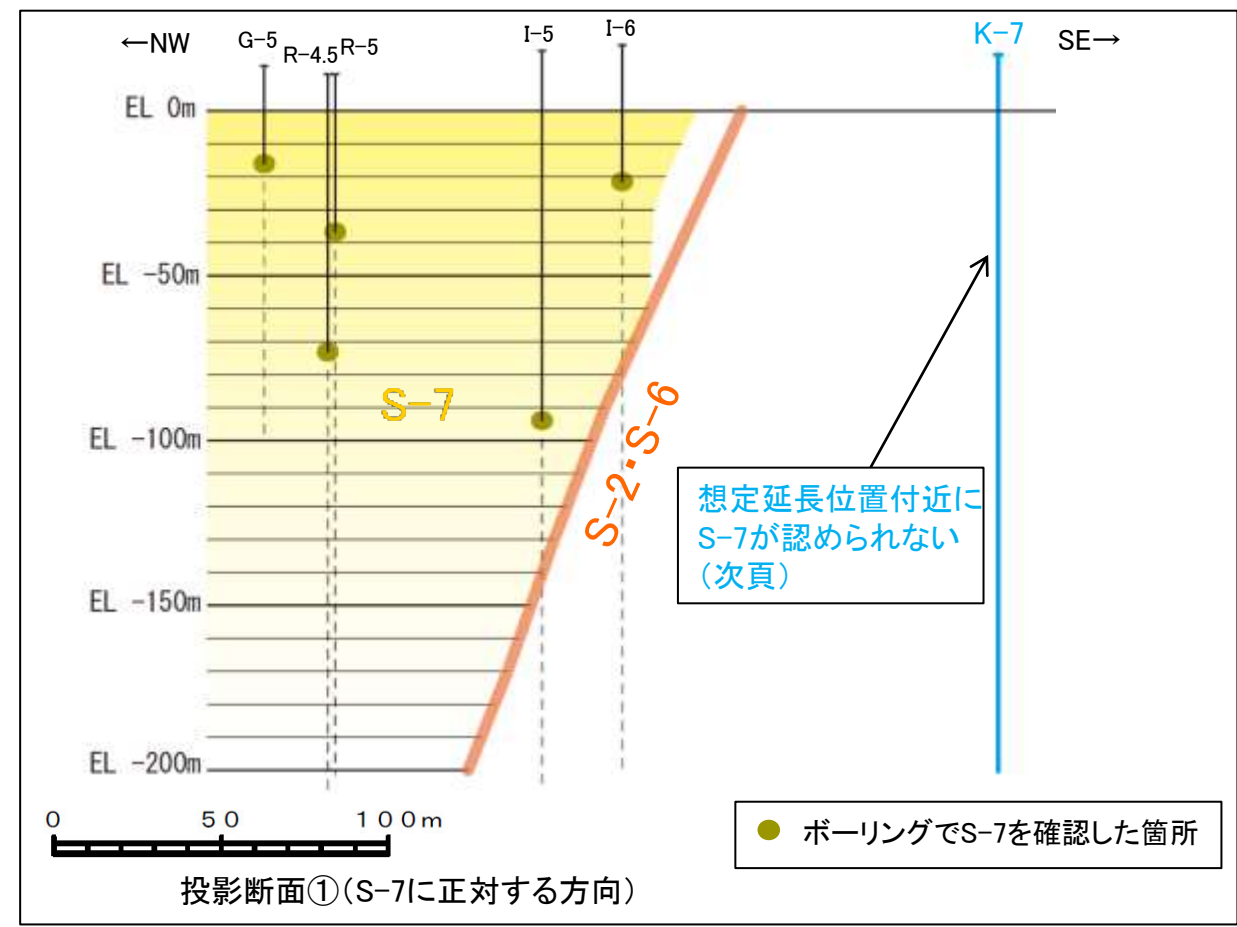
# S-2・S-6とS-7の水平方向・深度方向のデータ –ボーリング断面①–

○ボーリング断面において、S-7は、S-2・S-6を越えて連続しない。

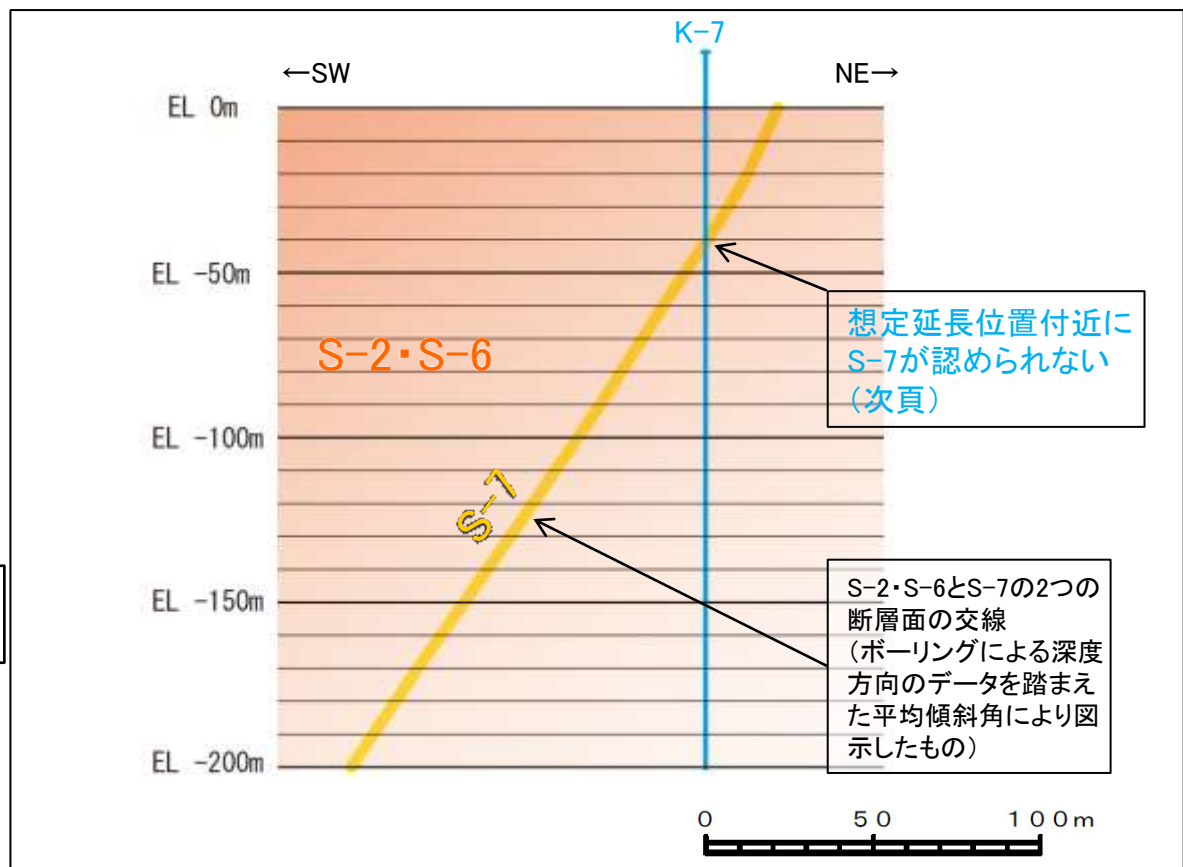


位置図

S-7は、S-2・S-6断層面より南東側のK-7孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より北西側にのみ認められる。



投影断面① (S-7に正対する方向)

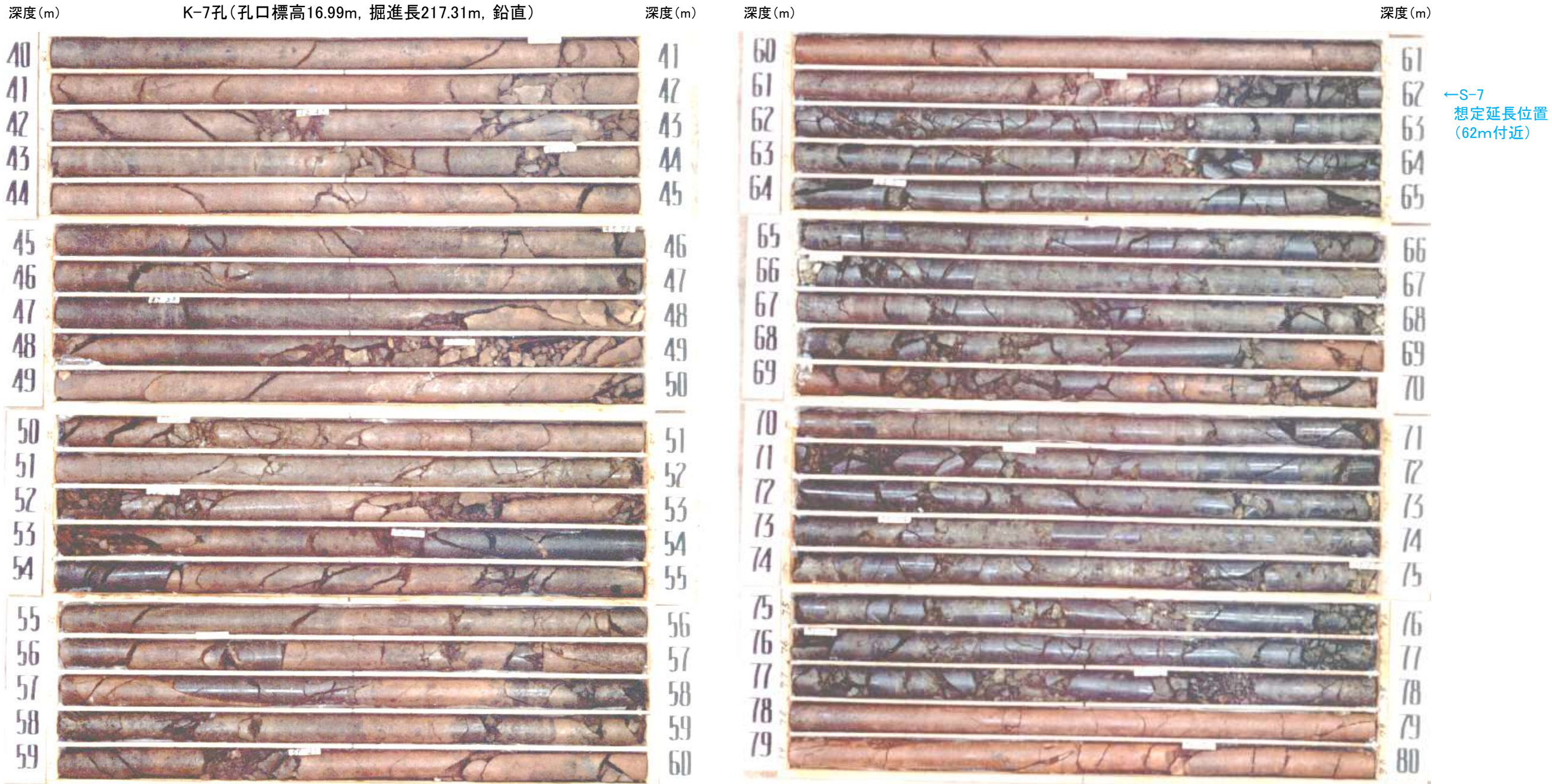


投影断面② (S-7に直交する方向)

## ボーリング(K-7孔) S-7想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整



コア写真(深度40~80m)

※ 61.7m付近に岩種境界が認められるが、その境界を含め、想定延長位置付近には破砕部は認められない。

K-7孔において、想定延長位置付近にS-7は認められない。

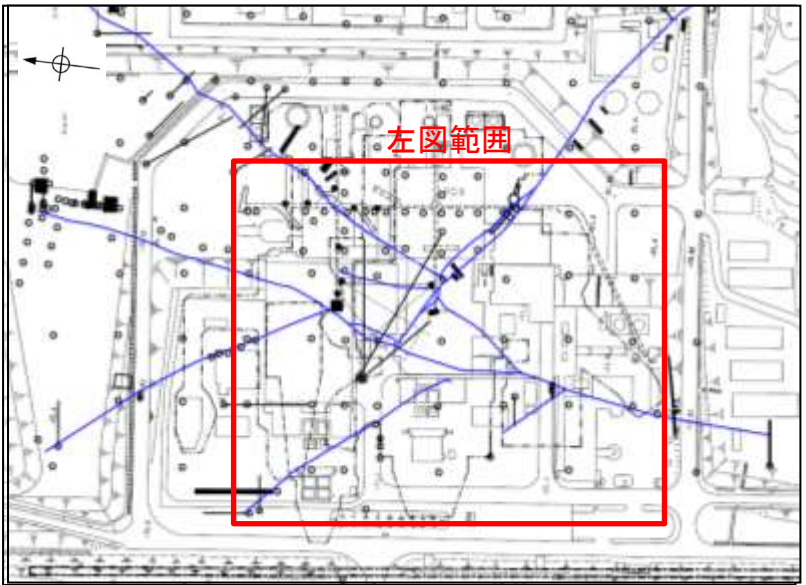
---

(9) S-2・S-6とS-9の水平方向・深度方向のデータ

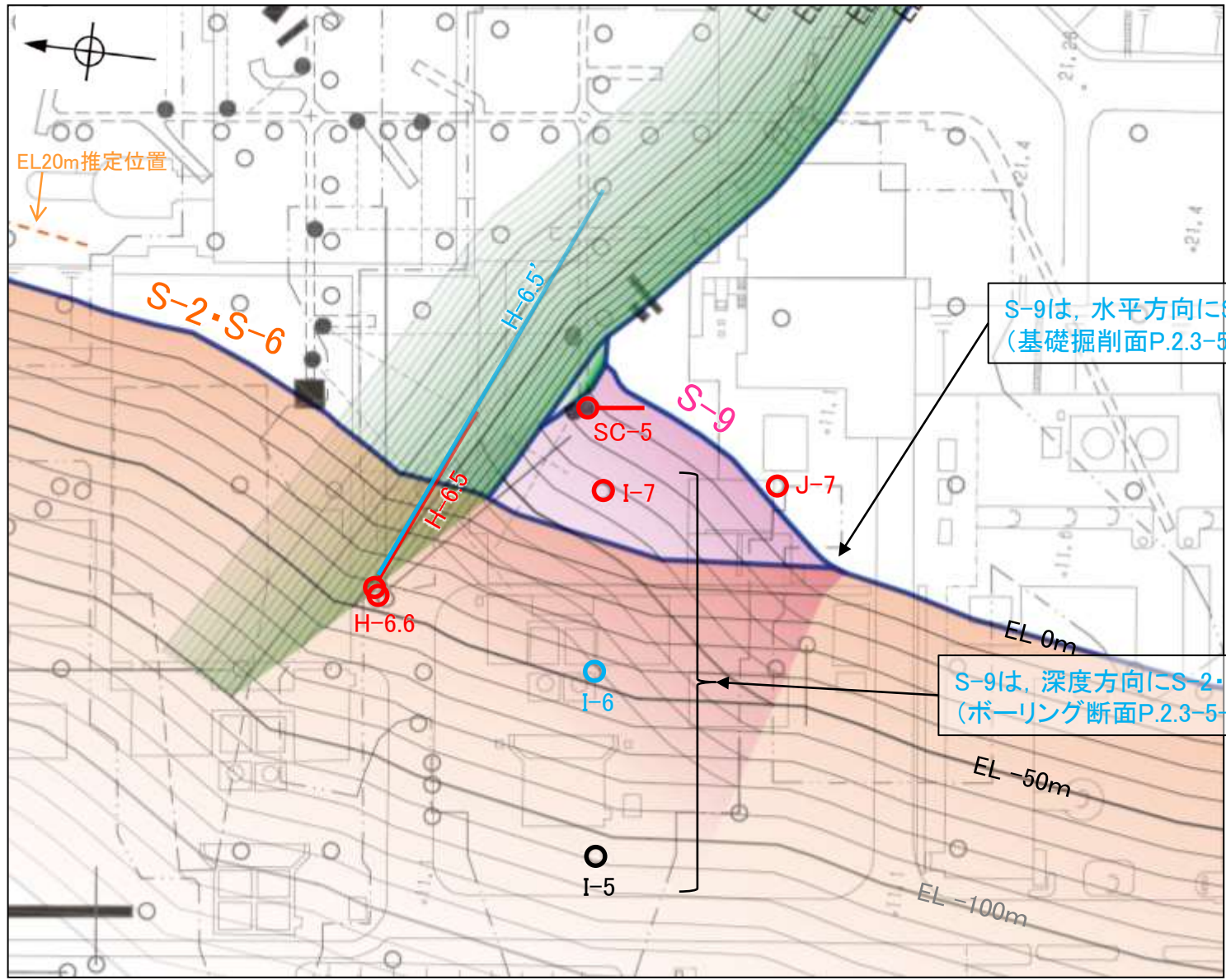


# S-2・S-6とS-9の水平方向・深度方向のデータ

OS-9は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



位置図



S-9は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない  
(基礎掘削面P.2.3-5-49)

S-9は、深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない  
(ボーリング断面P.2.3-5-50・51)

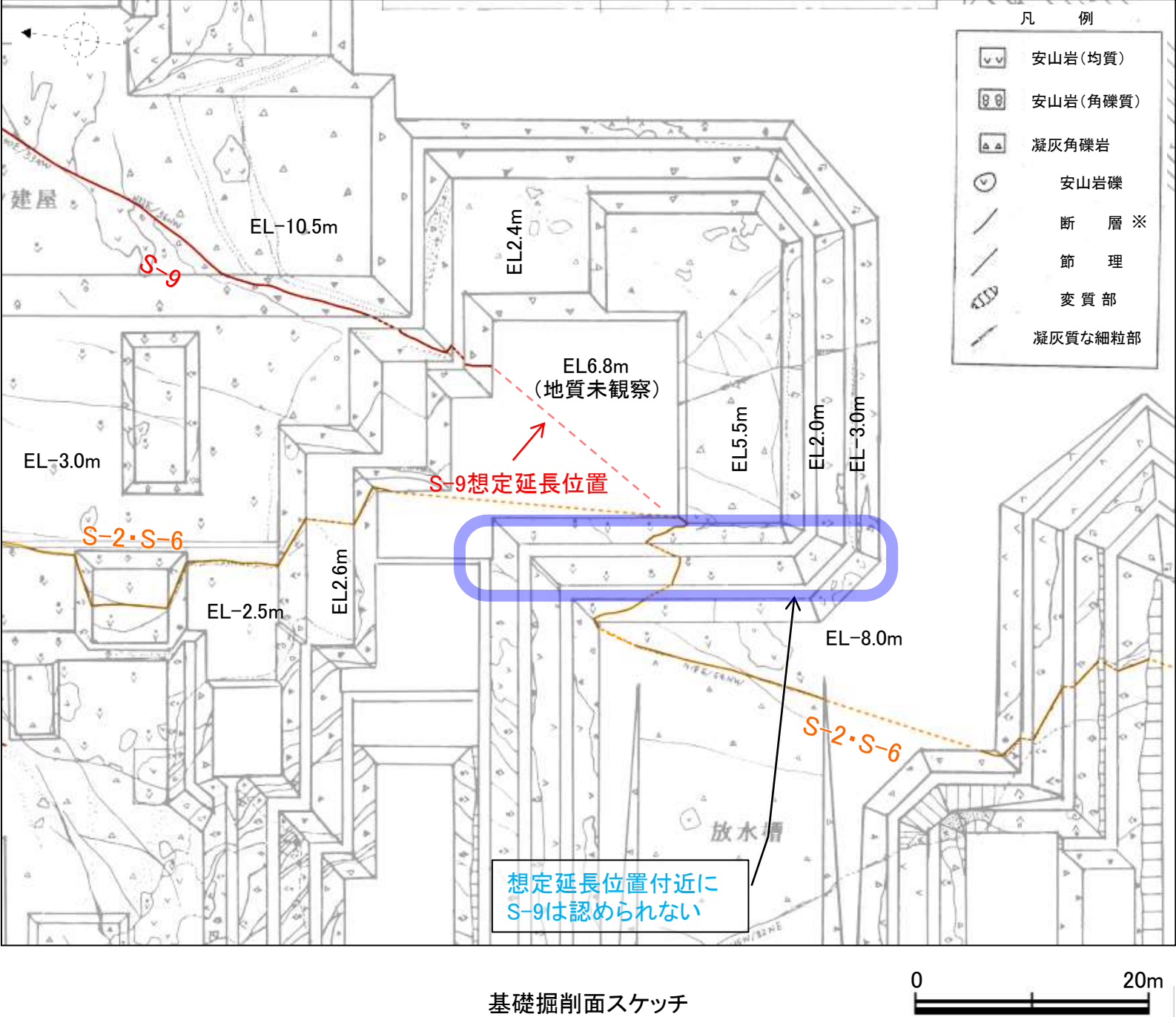
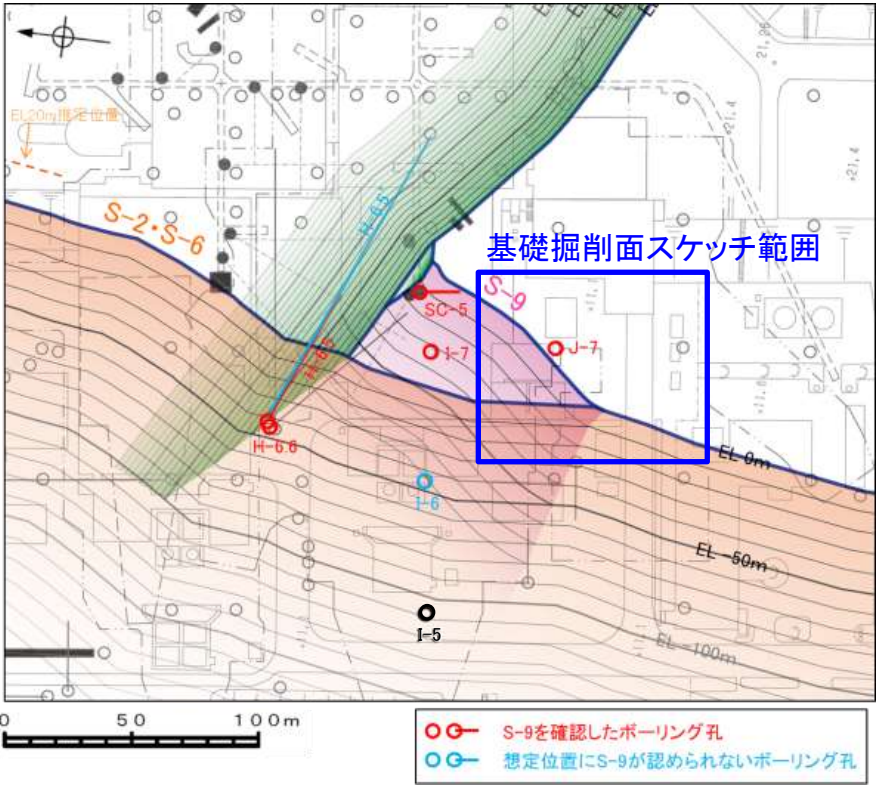
- S-9を確認したボーリング孔
- 想定位置にS-9が認められないボーリング孔

S-2・S-6とS-9の関係

# S-2・S-6とS-9の水平方向・深度方向のデータ —基礎掘削面—

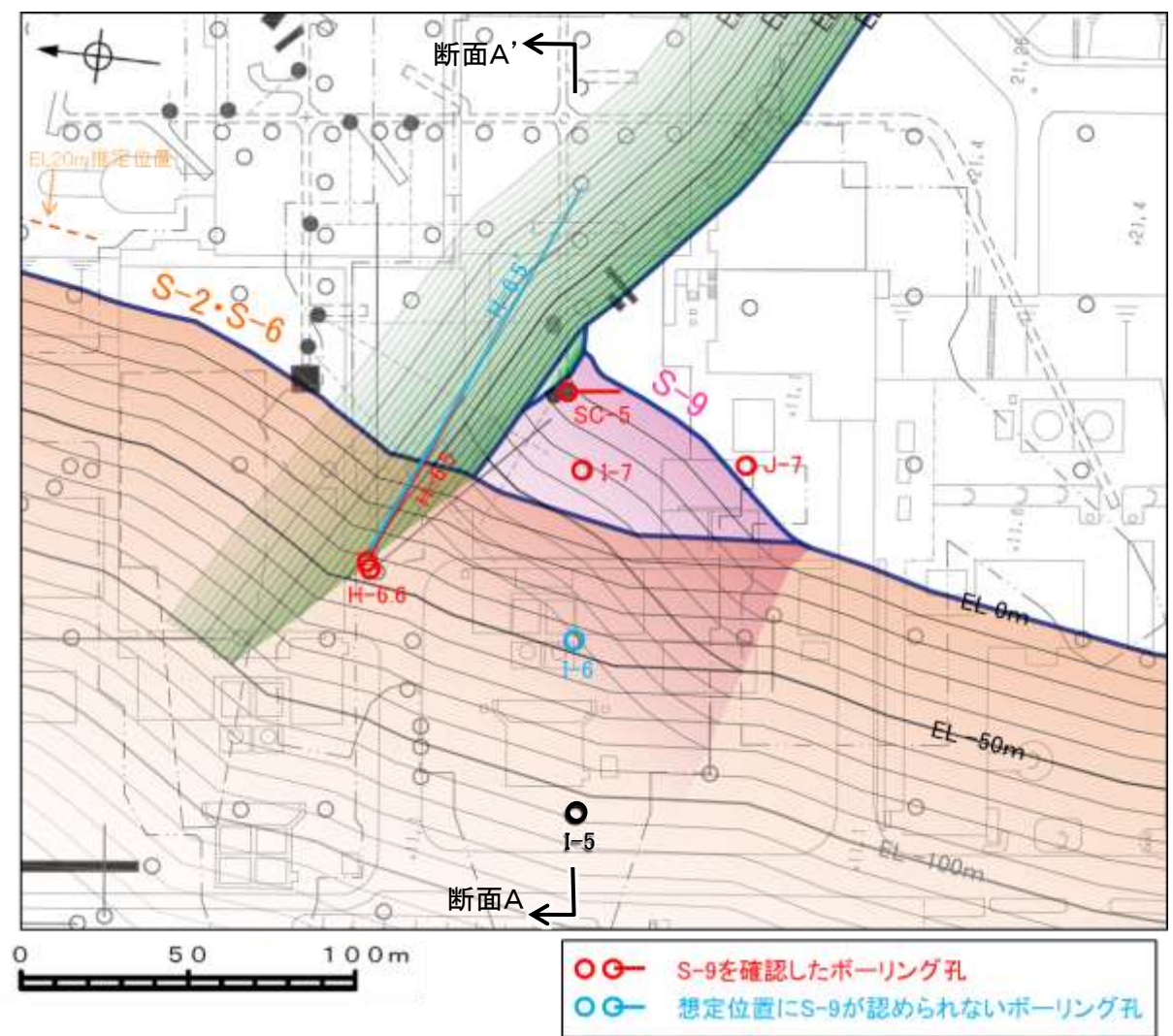
○基礎掘削面において、S-9は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。

※:S-9は赤, S-2・S-6は橙に着色

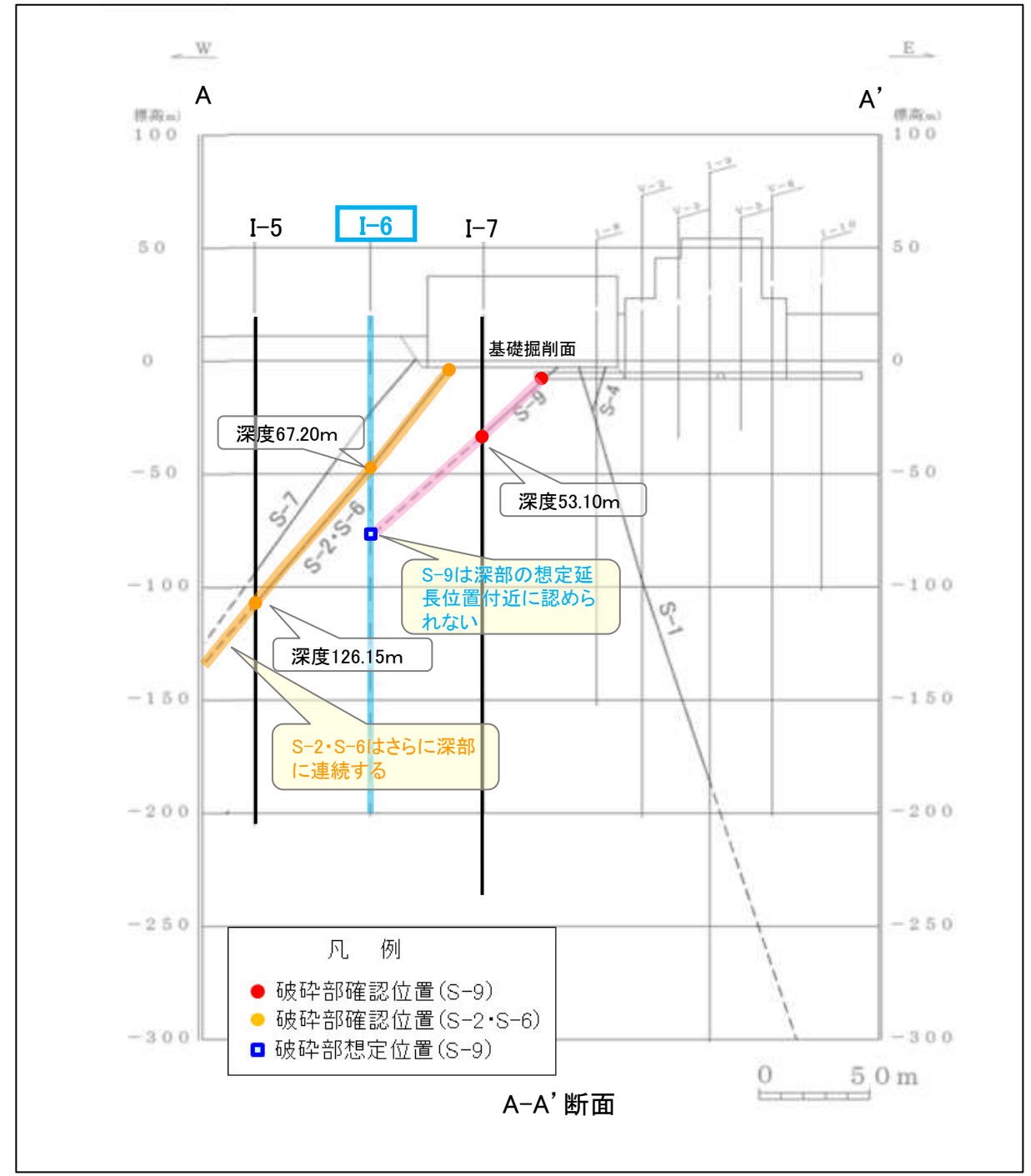


# S-2・S-6とS-9の水平方向・深度方向のデータ –ボーリング断面①–

○ボーリング断面において、S-9は、S-2・S-6を越えて連続しない。



断面位置



この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。

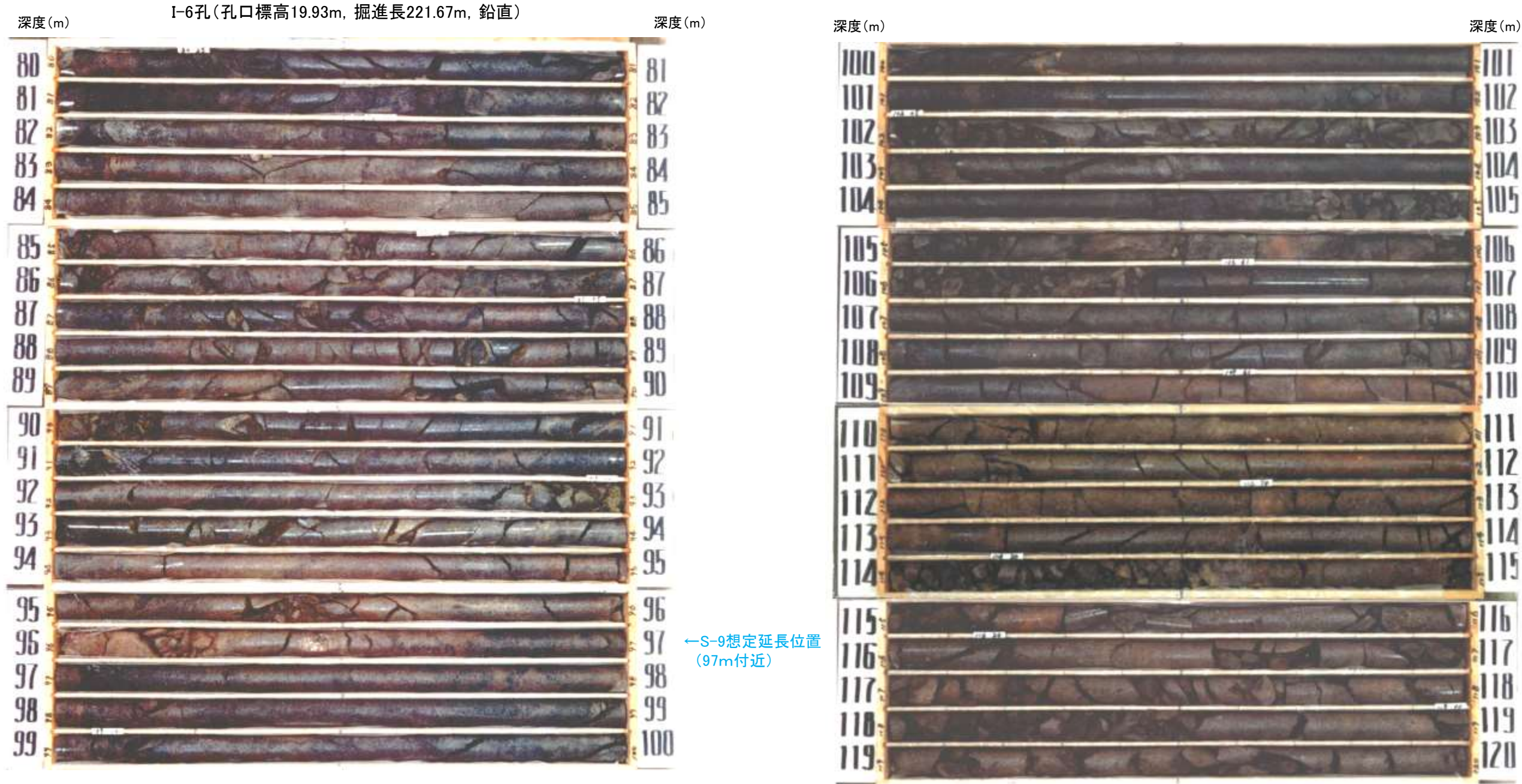
S-9は、ボーリングI-6孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より南東側にのみ認められる。

# S-2・S-6とS-9の水平方向・深度方向のデータ —ボーリング断面②—

■I-6孔のS-9の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整



コア写真(深度80~120m)

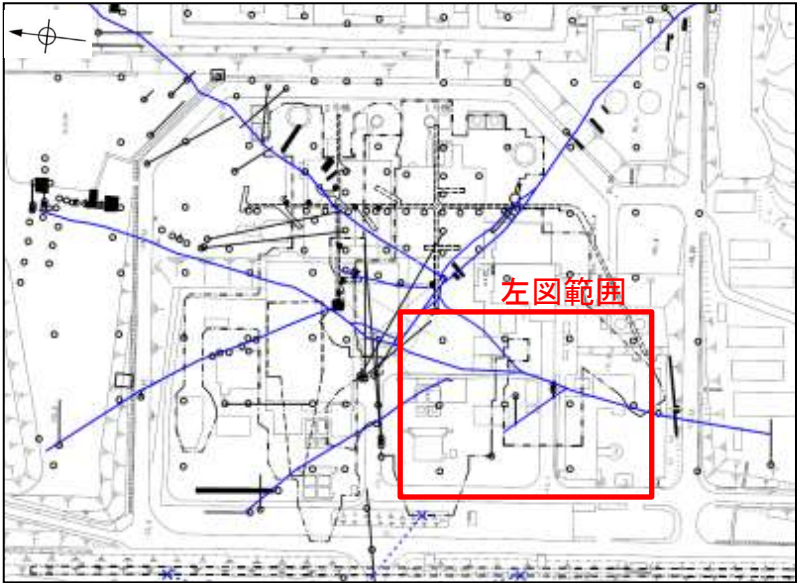
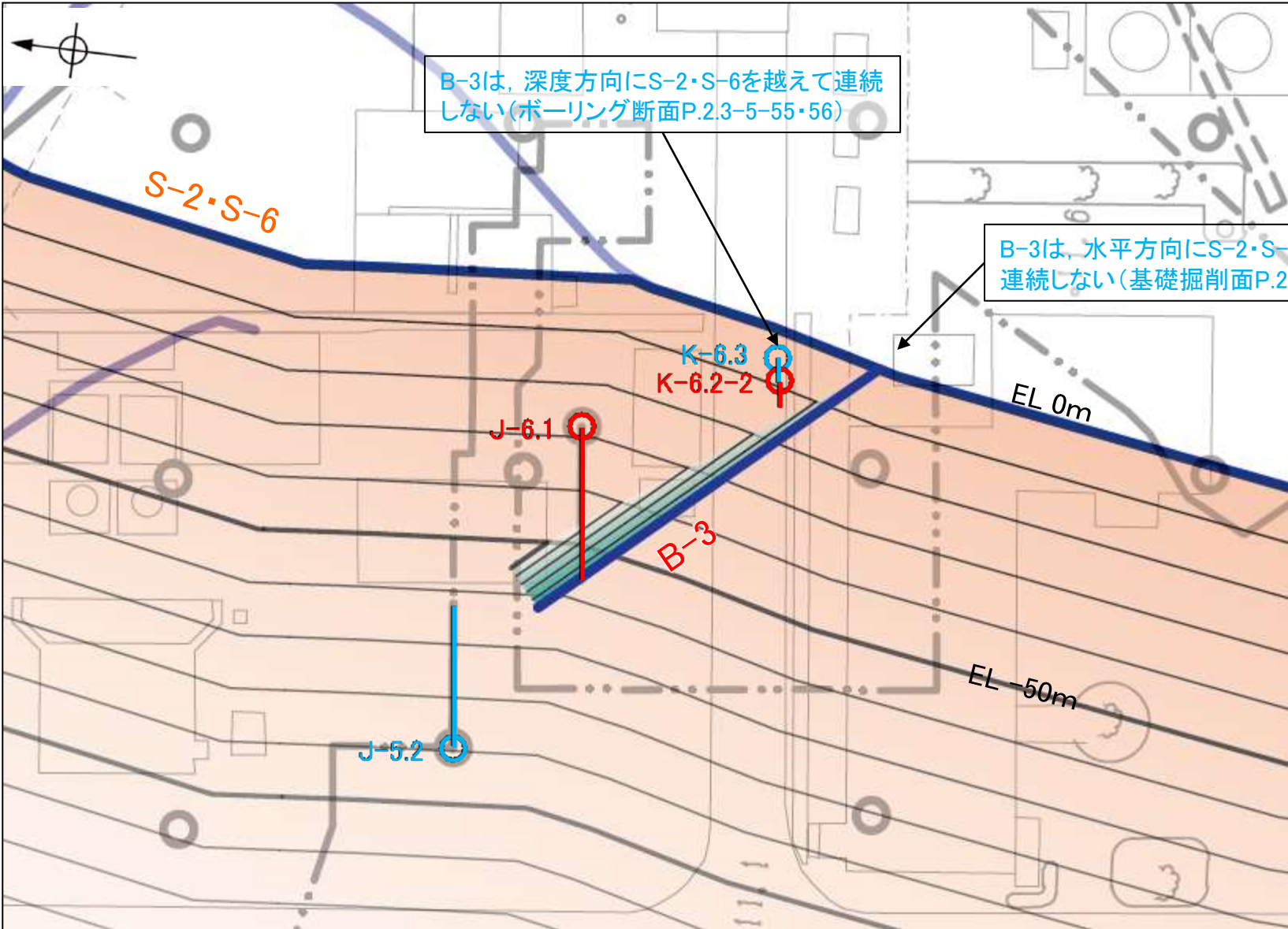
I-6孔において、想定延長位置付近にS-9は認められない。

---

(10) S-2・S-6とB-3の水平方向・深度方向のデータ

# S-2・S-6とB-3の水平方向・深度方向のデータ

OB-3は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



位置図



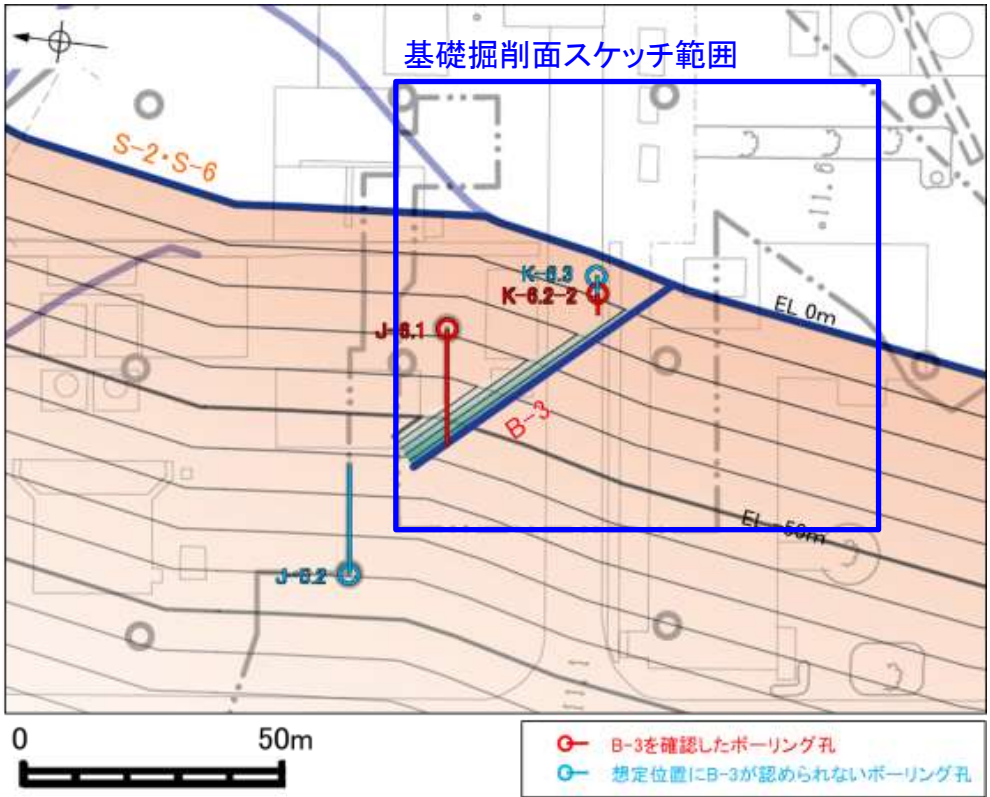
- B-3を確認したボーリング孔
- 想定位置にB-3が認められないボーリング孔

S-2・S-6とB-3の関係

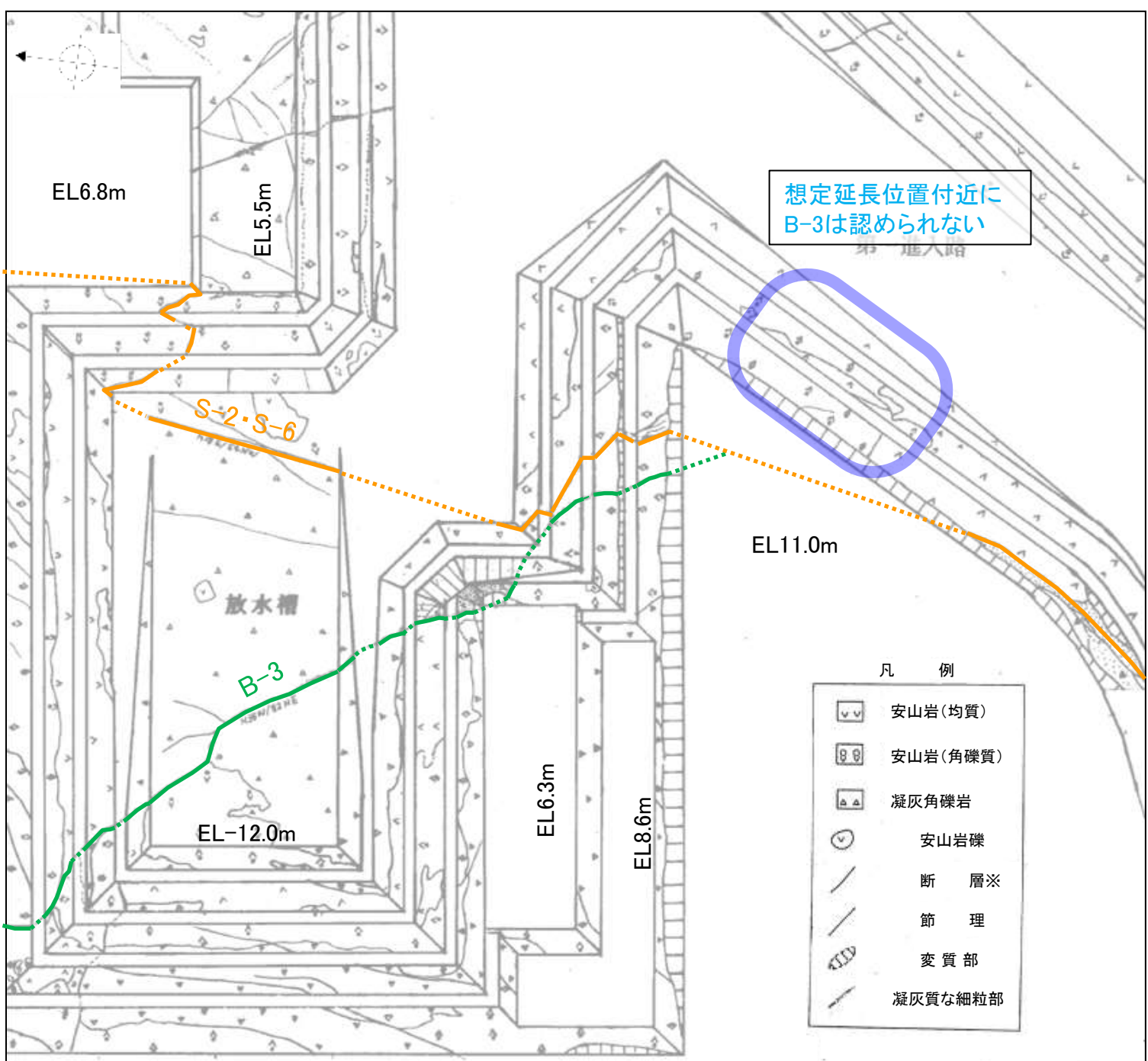
# S-2・S-6とB-3の水平方向・深度方向のデータ —基礎掘削面—

○基礎掘削面において、B-3は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。

※B-3は緑、S-2・S-6は橙に着色



位置図

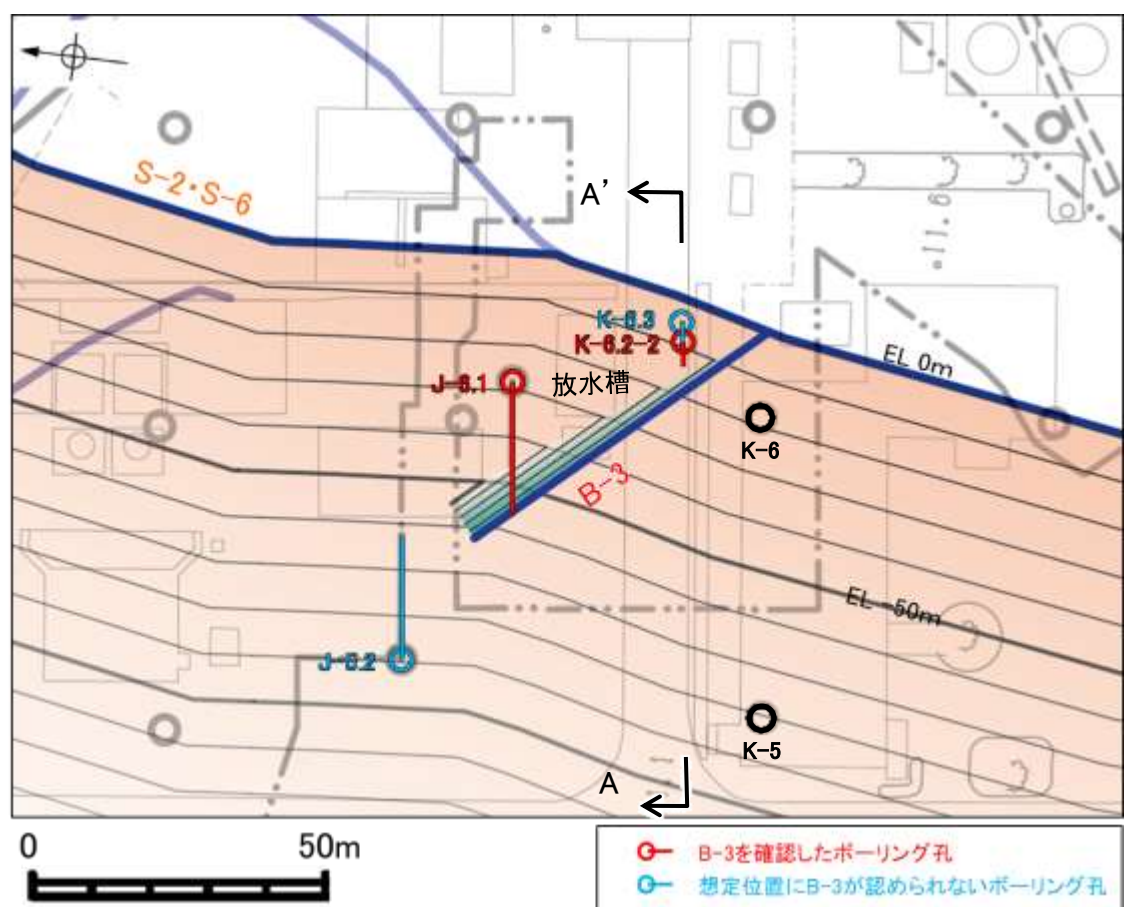


基礎掘削面スケッチ



# S-2・S-6とB-3の水平方向・深度方向のデータ –ボーリング断面①–

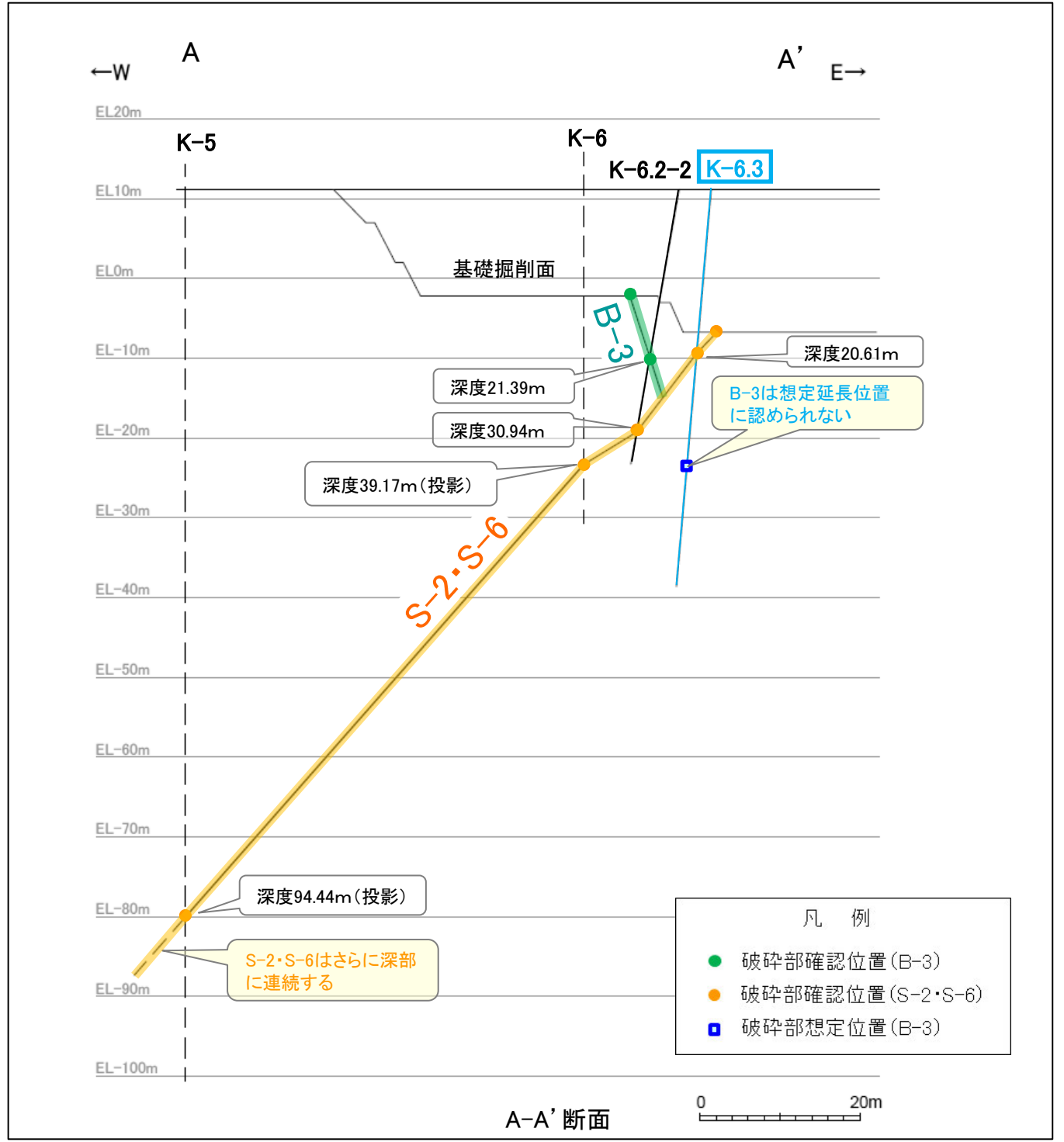
○ボーリング断面において、B-3は、S-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

断面位置

・B-3は、K-6.3孔において、想定延長位置付近に認められない。  
 ・北西傾斜であるS-2・S-6と北東傾斜であるB-3は、深部で会合する関係にあり、B-3は、S-2・S-6を越えて連続しない。



この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。  
 K-5, K-6孔は投影位置。



# S-2・S-6とB-3の水平方向・深度方向のデータ –ボーリング断面②–

## ボーリング(K-6.3孔) B-3想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集1

K-6.3孔(孔口標高11.05m, 掘進長50.00m, 傾斜85°)



←S-2・S-6確認位置  
(20.61m)

←B-3  
想定延長位置  
(35m付近)



K-6.3孔において、想定延長位置付近にB-3は認められない。

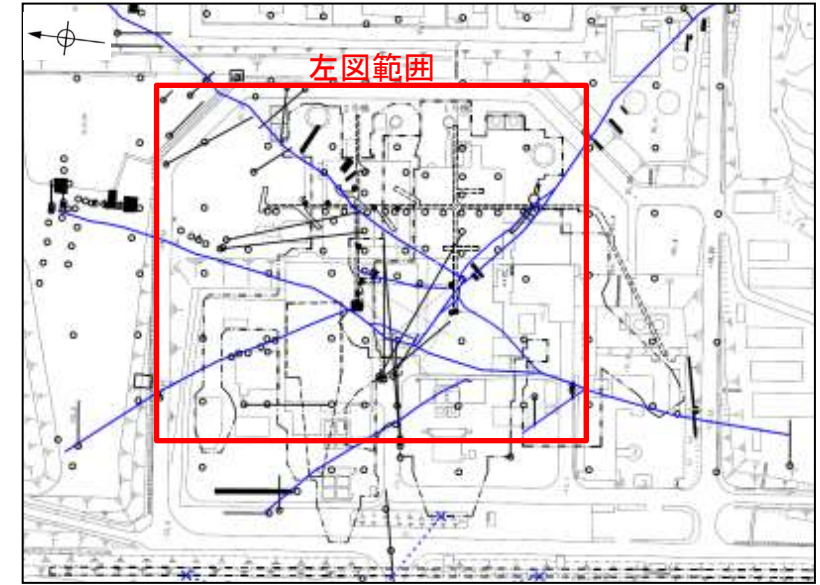
コア写真(深度18~50m)

---

(11) S-4とS-5の水平方向・深度方向のデータ

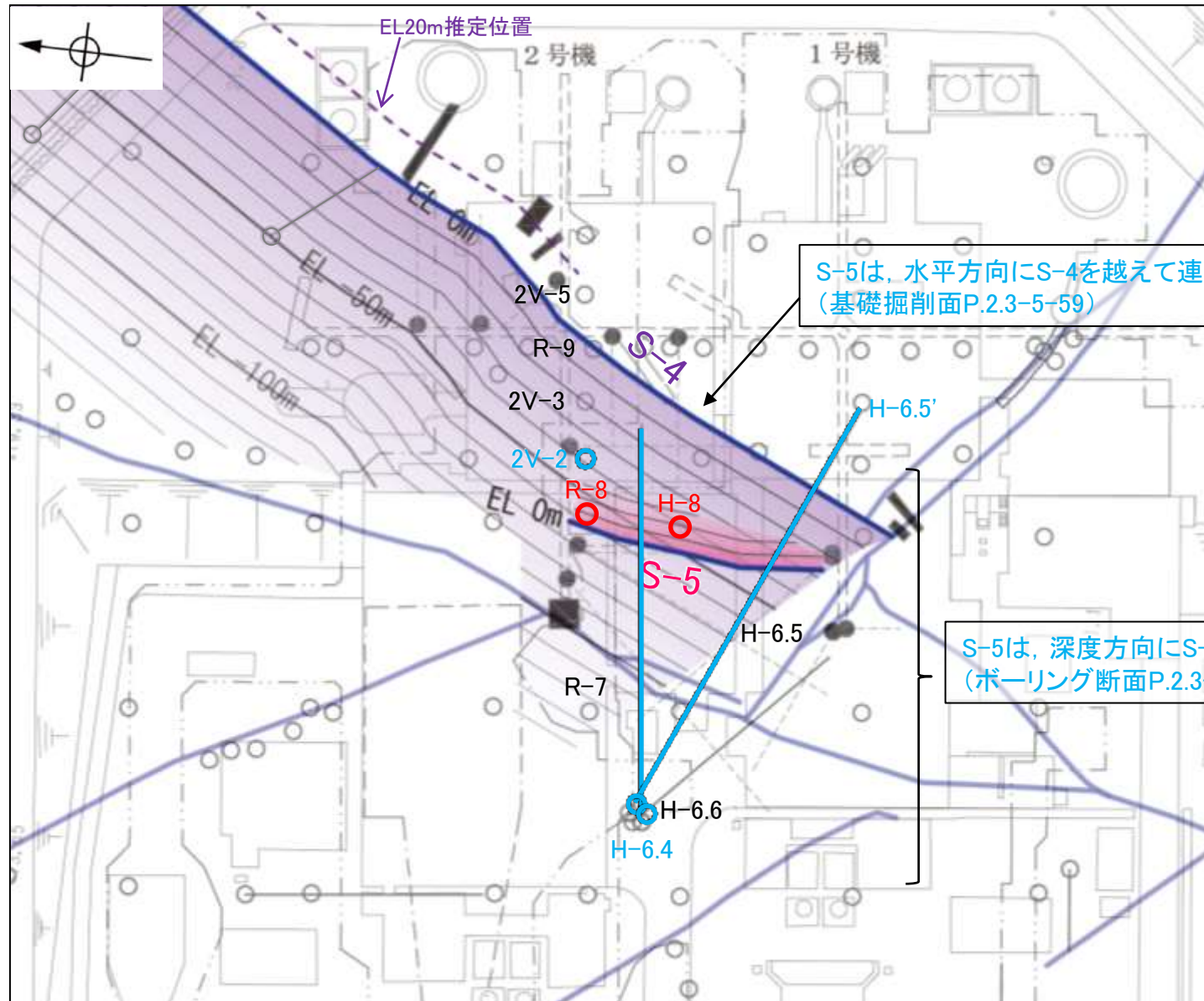
# S-4とS-5の水平方向・深度方向のデータ

OS-5は、水平方向・深度方向にS-4を越えて連続しない。



位置図

0 50 100m



S-5は、水平方向にS-4を越えて連続しない  
(基礎掘削面P.2.3-5-59)

S-5は、深度方向にS-4を越えて連続しない  
(ボーリング断面P.2.3-5-60~63)

0 50 100m

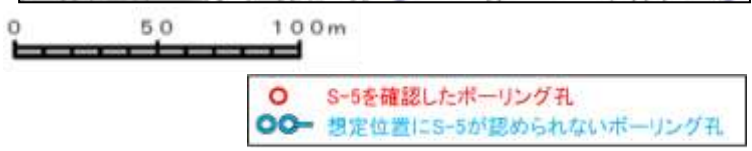
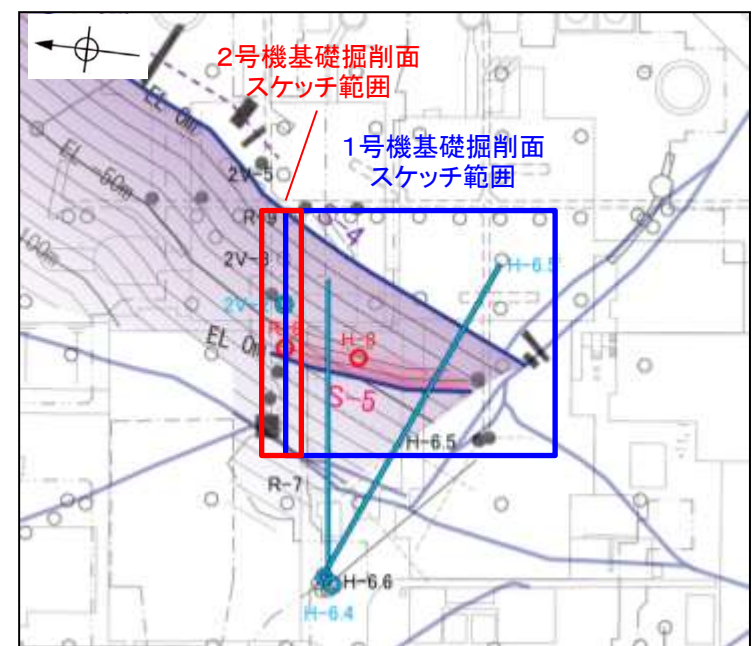
- S-5を確認したボーリング孔
- S-5を想定位置に認められないボーリング孔

S-4とS-5の関係

# S-4とS-5の水平方向・深度方向のデータ -基礎掘削面-

○基礎掘削面において、S-5は、水平方向にS-4を越えて連続しない。

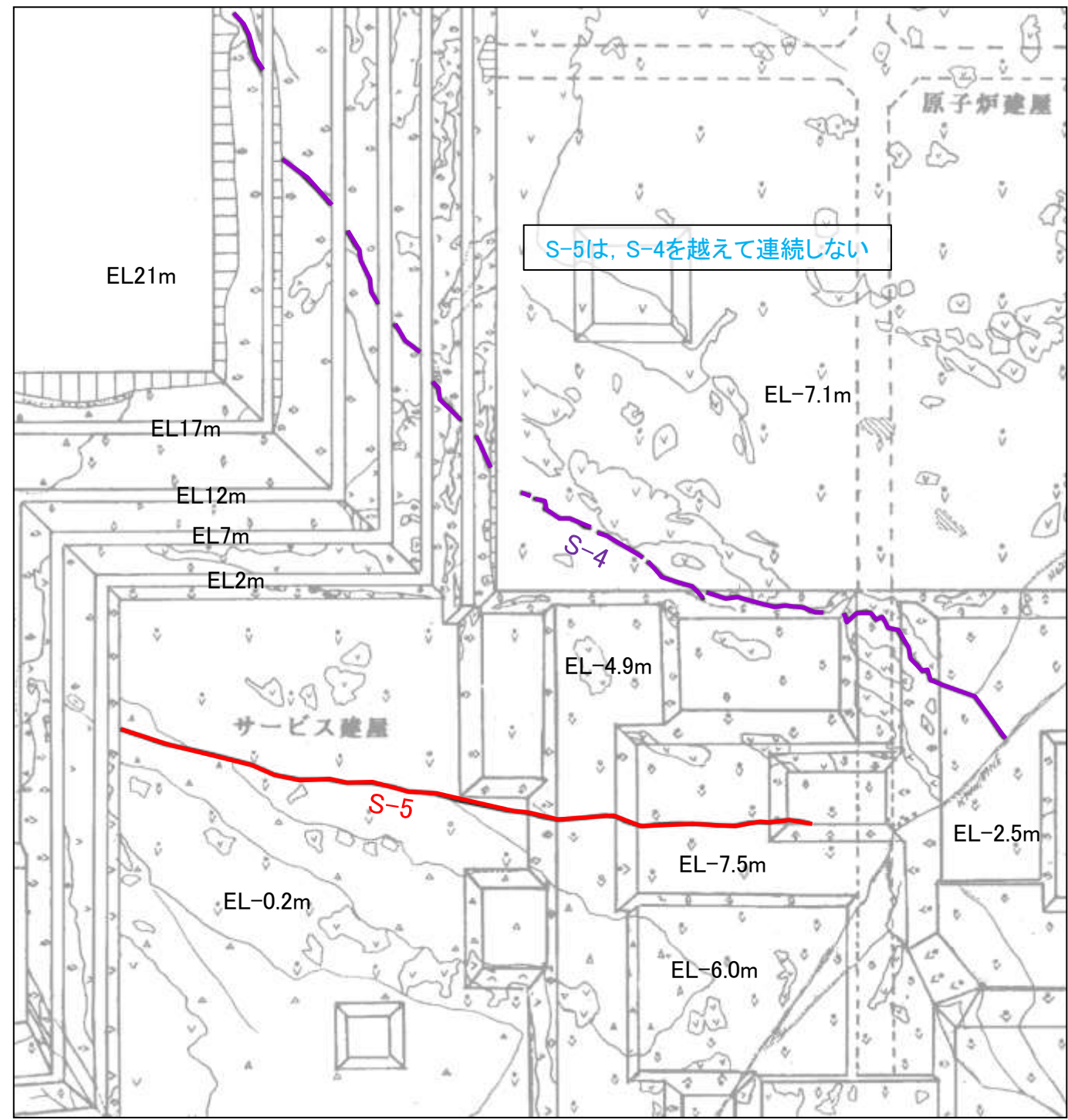
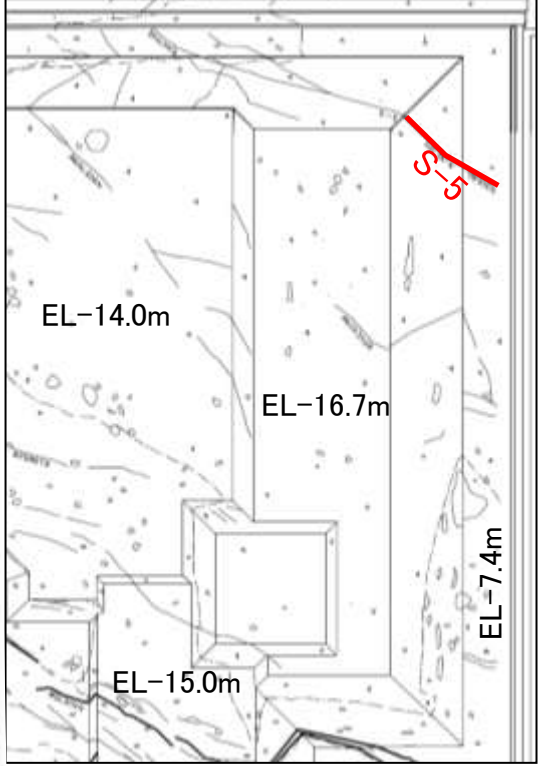
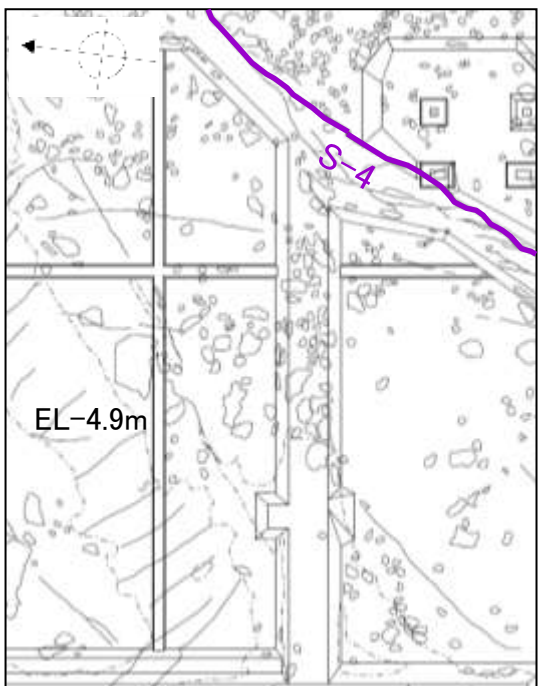
※S-5は赤、S-4は紫に着色



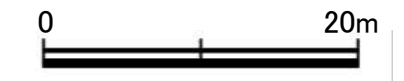
位置図

凡 例

	安山岩(均質)
	安山岩(角礫質)
	凝灰角礫岩
	安山岩礫
	断 層 ※
	節 理
	変 質 部
	凝灰質な細粒部



1・2号機基礎掘削面スケッチ

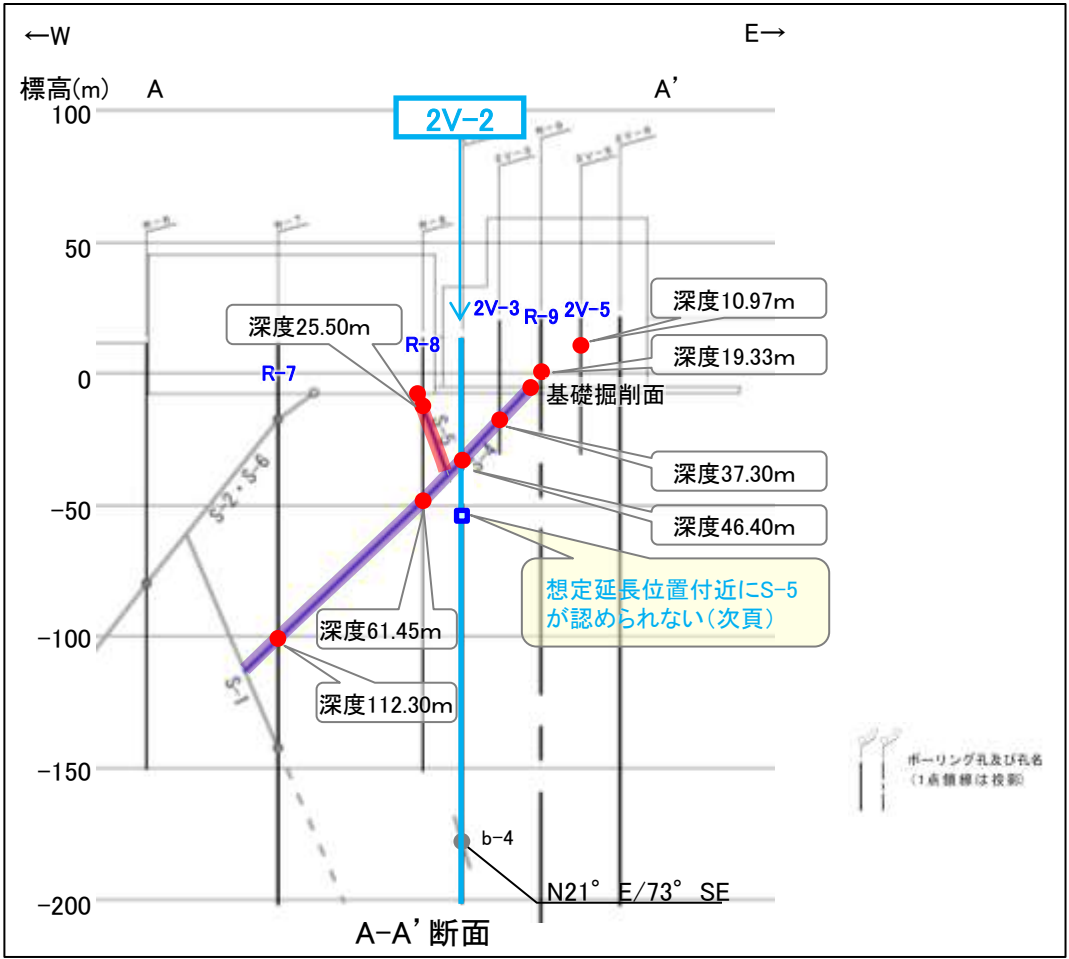
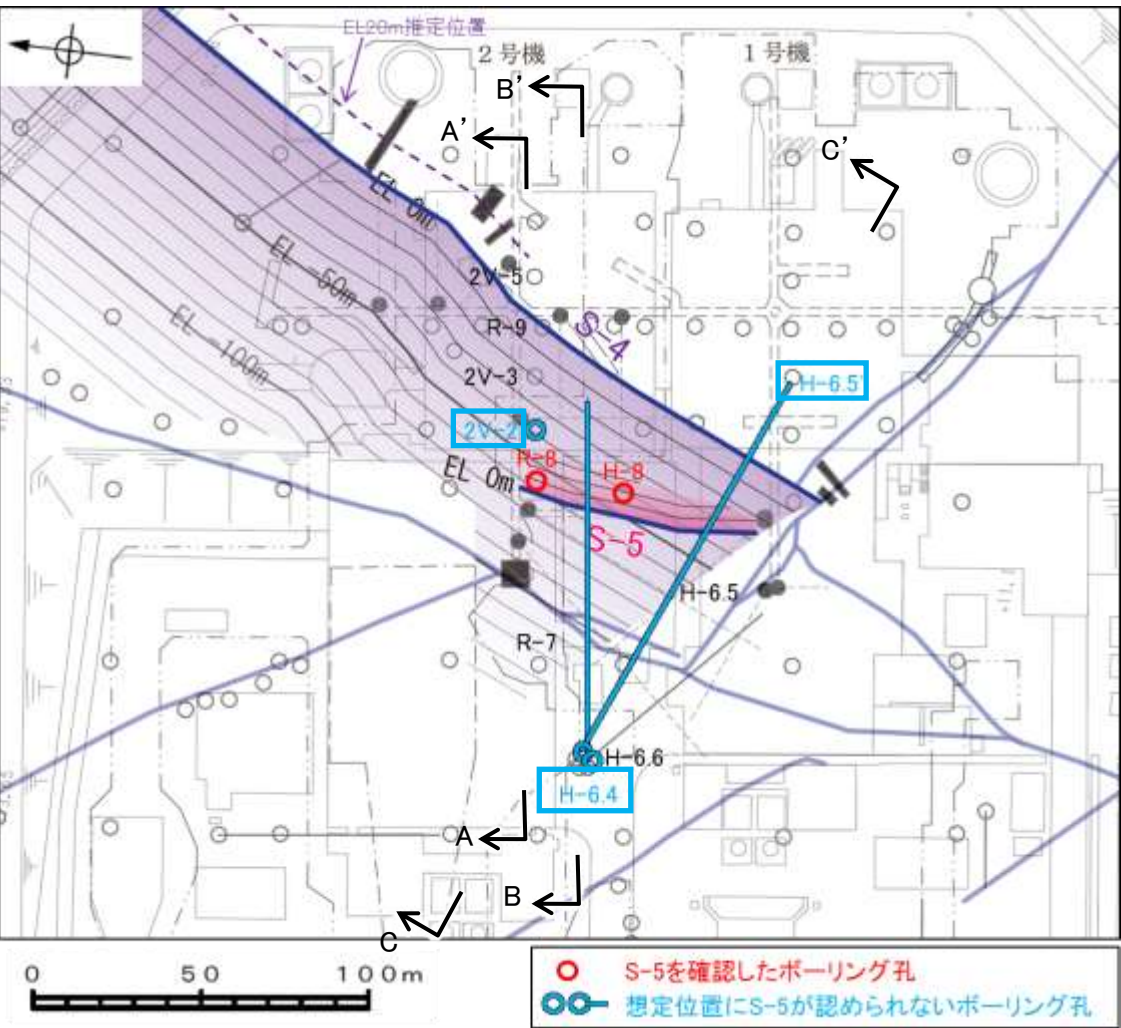


# S-4とS-5の水平方向・深度方向のデータ –ボーリング断面①–

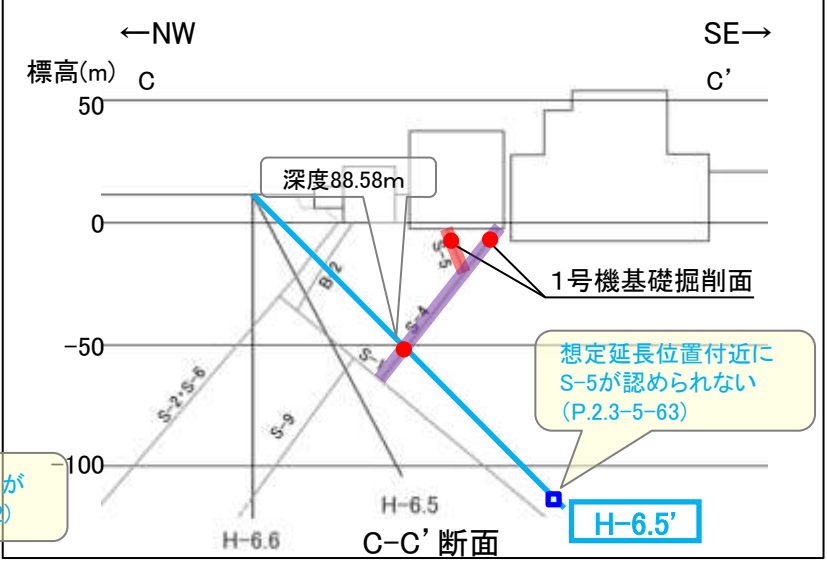
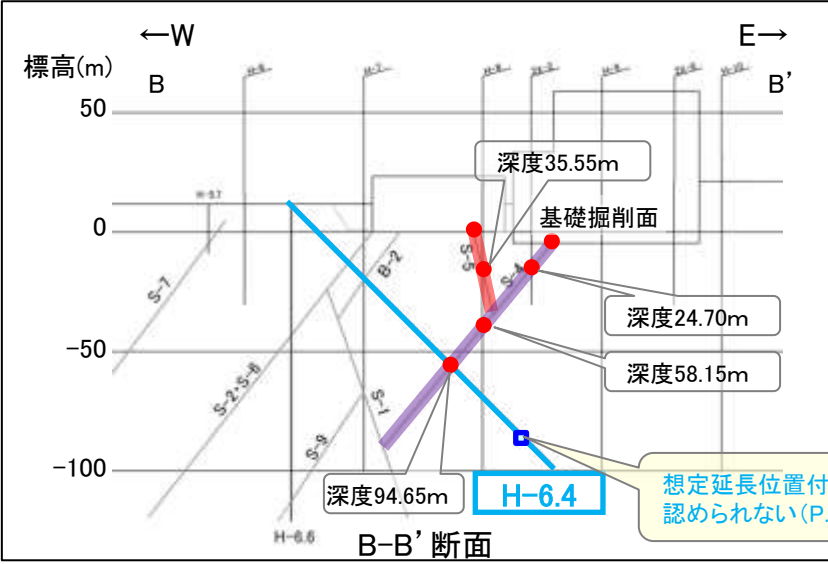
○ボーリング断面において、S-5は、S-4を越えて連続しない。

この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。

- 破砕部確認位置 (S-4, S-5)
- 破砕部想定位置 (S-5)



・S-5は2V-2孔, H-6.4孔及びH-6.5'孔において想定延長位置付近に認められない。  
・北西傾斜であるS-4と南東傾斜であるS-5は、深部で会合する関係にあり、S-5は、S-4を越えて連続しない。



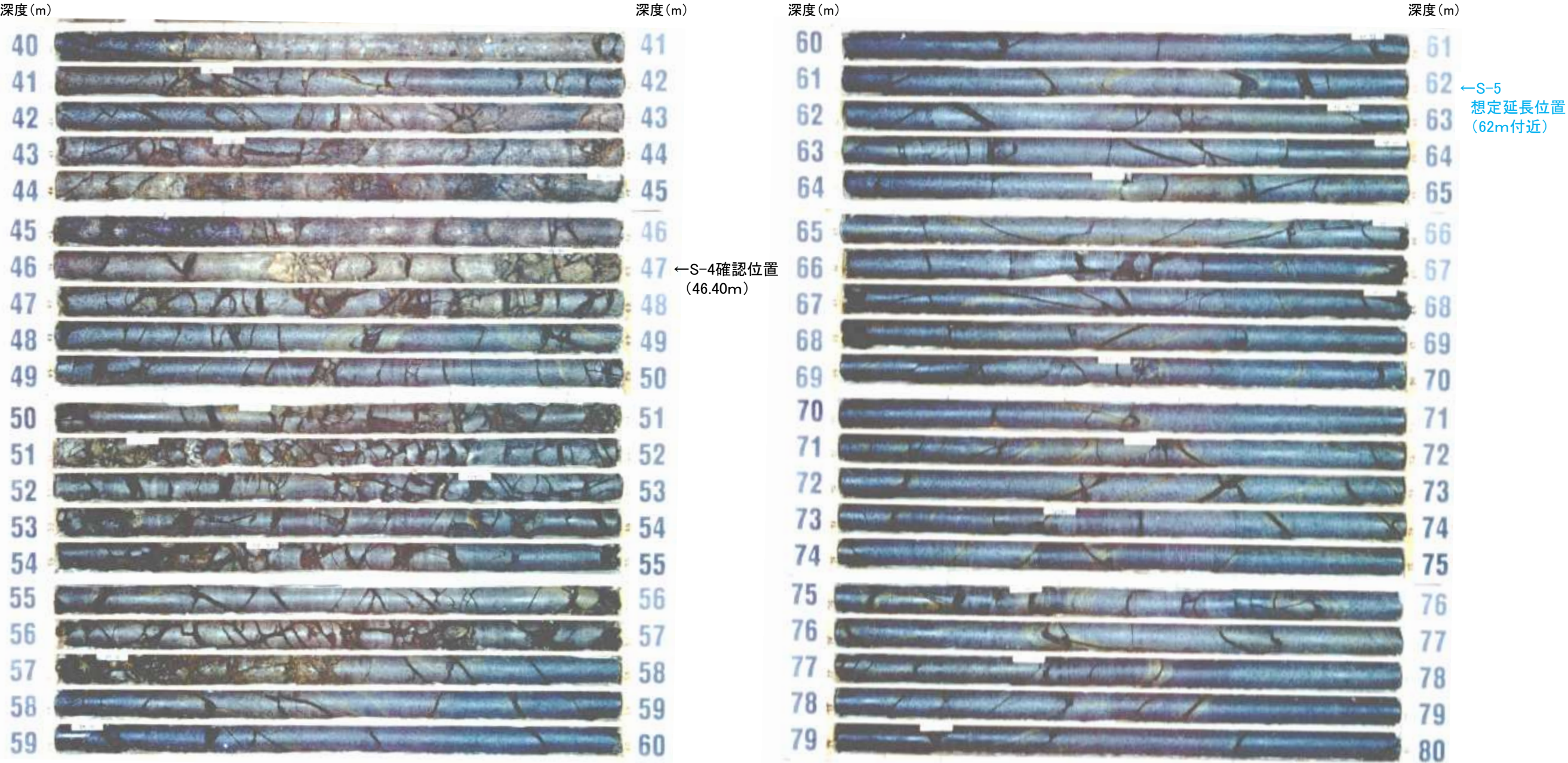
# S-4とS-5の水平方向・深度方向のデータ —ボーリング断面②—

## ボーリング(2V-2孔) S-5想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

2V-2孔(孔口標高13.28m, 掘進長214.50m, 鉛直)

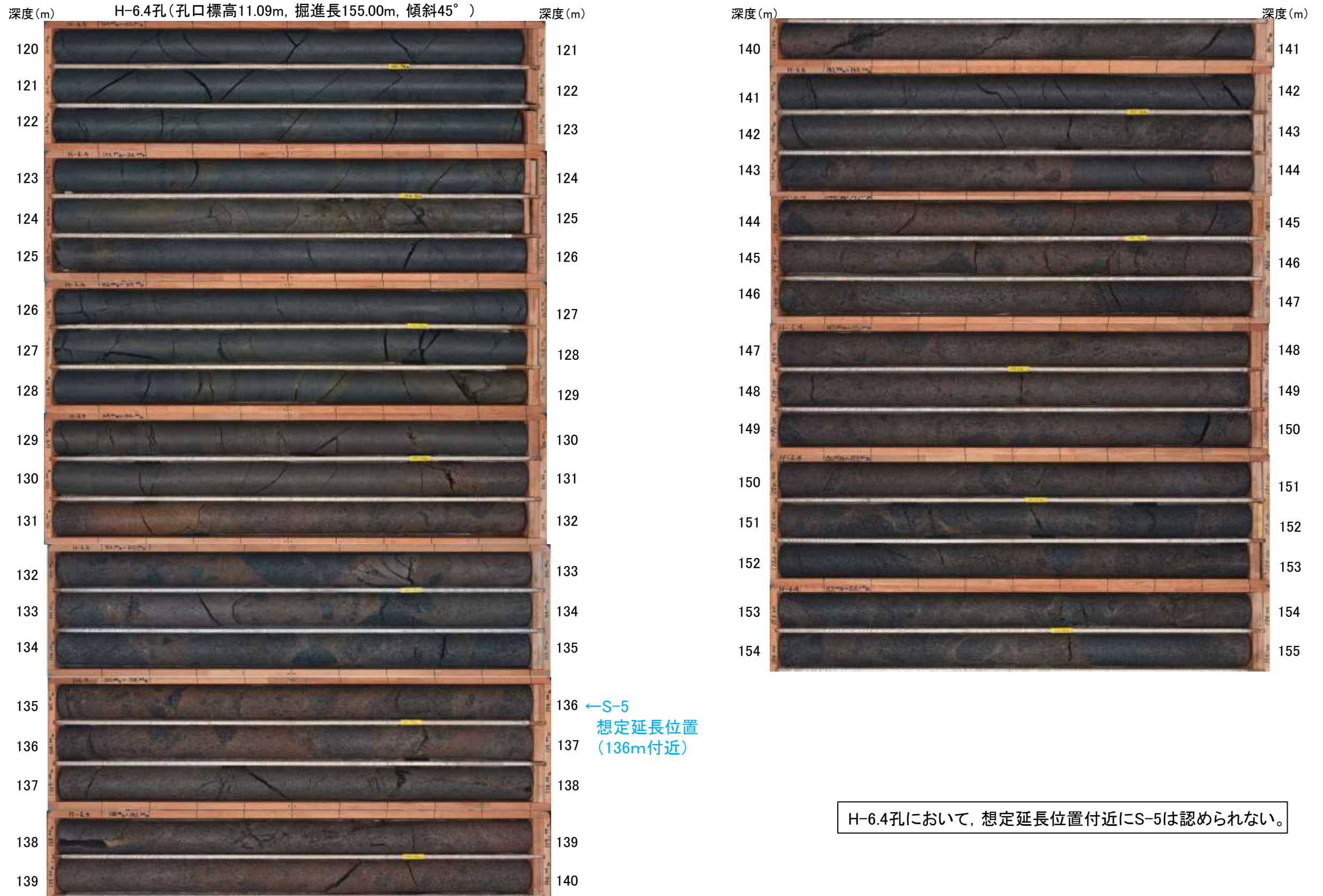


コア写真(深度40~80m)

2V-2孔において、想定延長位置付近にS-5は認められない。

## ボーリング(H-6.4孔) S-5想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集1

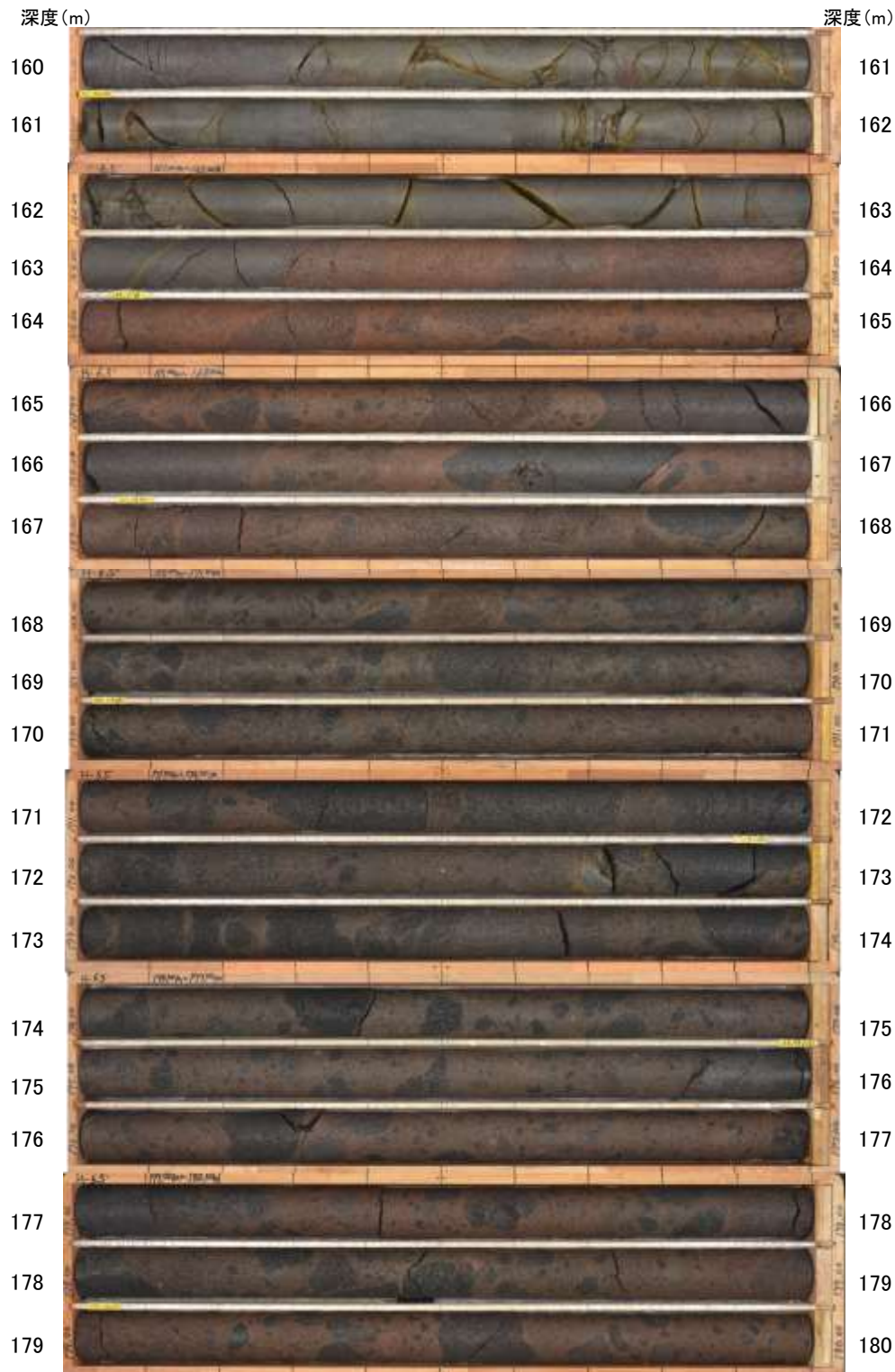


コア写真(深度120~155m)

## ボーリング(H-6.5'孔) S-5想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集1

H-6.5' 孔(孔口標高11.02m, 掘進長180.00m, 傾斜45°)



←S-5  
想定延長位置  
(178m付近)

H-6.5' 孔において, 想定延長位置付近にS-5は認められない。

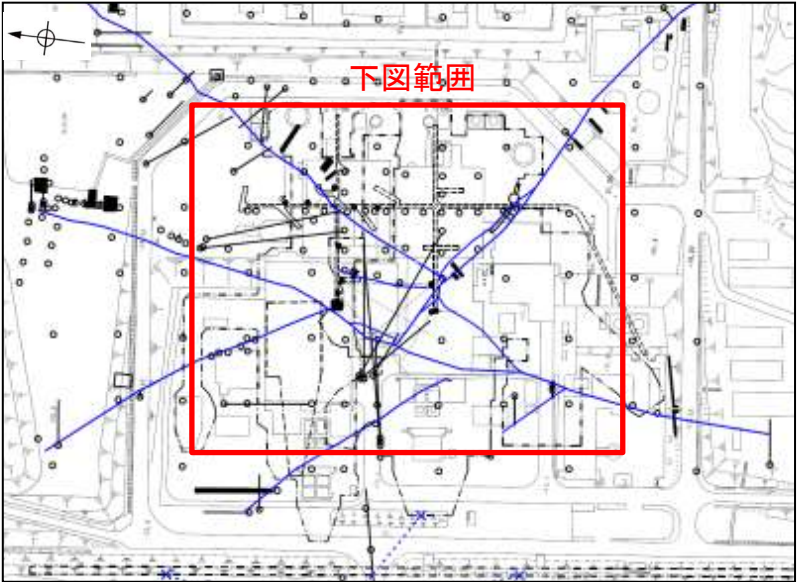


---

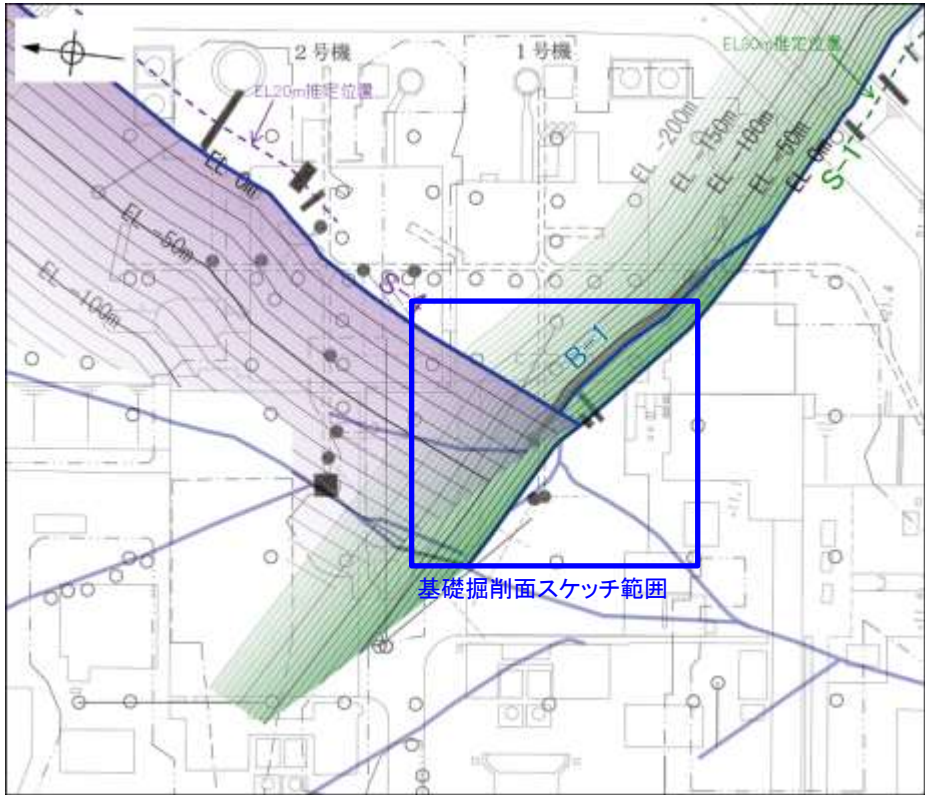
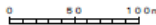
(12) S-4とB-1の水平方向のデータ

# S-4とB-1の水平方向のデータ —基礎掘削面—

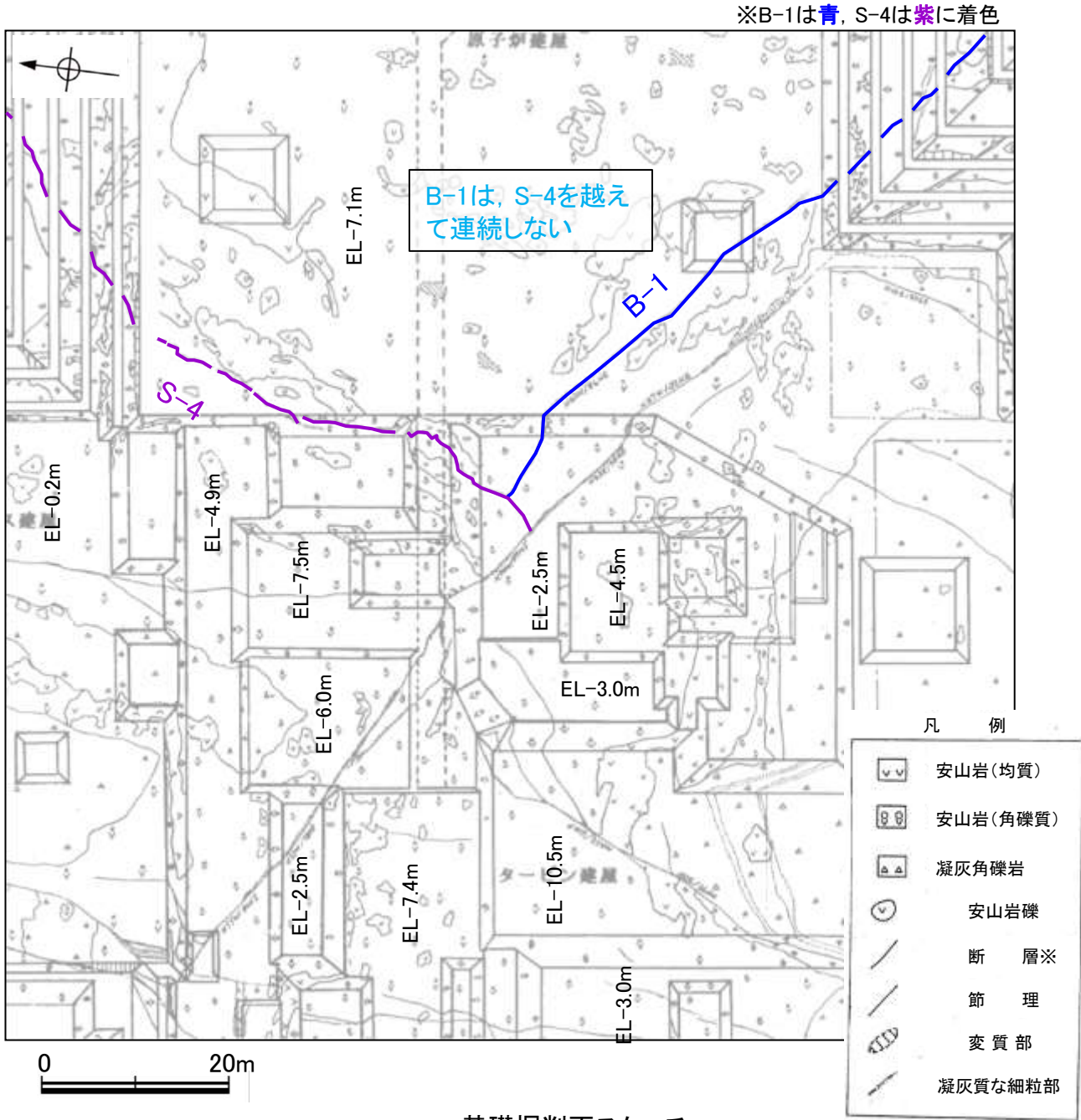
○基礎掘削面において、B-1は、水平方向にS-4を越えて連続しない。



位置図



位置図



基礎掘削面スケッチ



※B-1は青, S-4は紫に着色

B-1は、S-4を越えて連続しない

凡例

	安山岩(均質)
	安山岩(角礫質)
	凝灰角礫岩
	安山岩礫
	断層※
	節理
	変質部
	凝灰質な細粒部

---

余白

---

## 補足資料2. 3-6

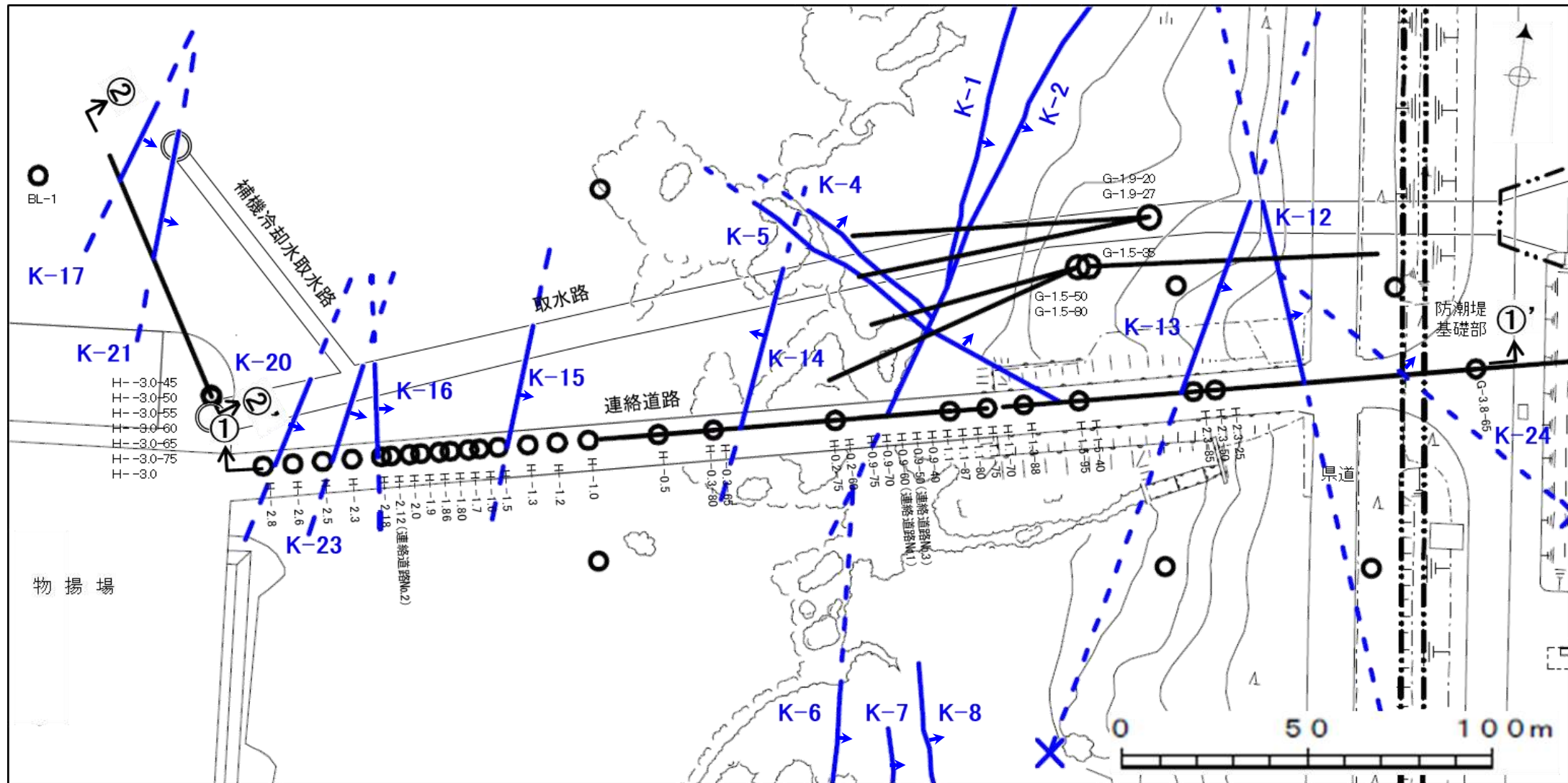
取水路沿いの調査における破砕部の抽出結果

# 取水路沿いの調査における破砕部の抽出結果

○抽出基準に基づき、134箇所の破砕部を連続性の検討対象となる破砕部として抽出した(平面図は下図, 断面図は次頁, 性状一覧は次々頁)。

## 【抽出した破砕部(幅3cm以上)の位置】

【平面図】

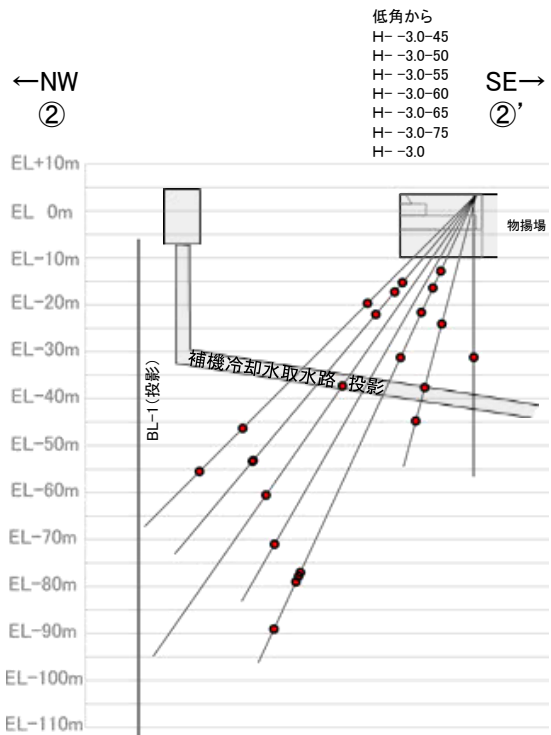


矢印(↗)の向きは断層の傾斜方向を示す

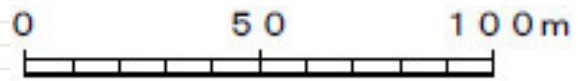
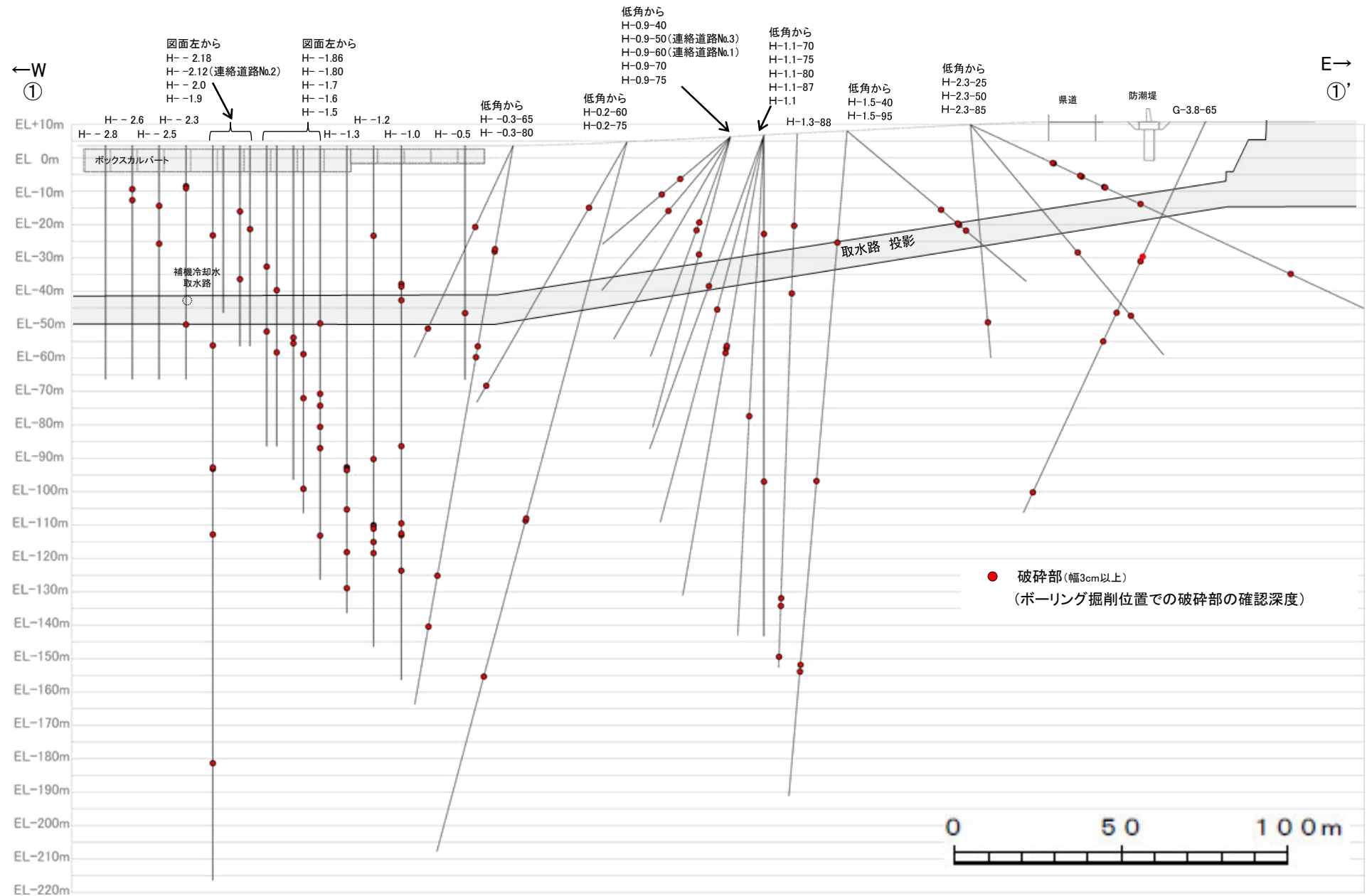
凡 例	
○	鉛直ボーリング孔
⊙	斜めボーリング孔
⋯	基礎掘削面

—	断層(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
⋯×	断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
⋯	断層端部を確認していないもの
K-○	(海岸部 EL 0m) (K-18, K-19, K-22, K-25, K-26については地表付近まで連続しないため記載していない)

【断面図】



②-②' 断面図



①-①' 断面図

## 【抽出した破砕部(幅3cm以上)の性状一覧】

孔名	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)
H- -3.0-45	32.84	EL-19.58	N9° E/62° SE	3
	70.46	EL-46.18	N8° E/86° SE	13
	83.49	EL-55.40	N1° W/67° NE	5
H- -3.0-50	24.56	EL-15.17	N63° W/31° NE	22
	27.13	EL-17.14	N12° W/48° NE	8
	33.37	EL-21.92	NS/70° E	19
	74.00	EL-53.05	N5° E/70° SE	8
	74.26	EL-53.25	N30° E/82° SE	10
H- -3.0-55	49.84	EL-37.19	N37° E/71° SE	15
	78.23	EL-60.44	N25° E/85° SE	14
H- -3.0-60	86.07	EL-70.90	N21° E/81° SE	4
H- -3.0-65	18.03	EL-12.70	N72° E/23° NW	7
	22.01	EL-16.31	N1° E/68° SE	4
	27.78	EL-21.54	N14° E/62° SE	16
	38.34	EL-31.11	N25° E/71° SE	8
	88.85	EL-76.89	NS/60° E	24
	89.76	EL-77.71	N2° W/64° NE	4
	91.04	EL-78.87	N2° E/77° SE	17
	102.18	EL-88.97	N83° W/16° SW	4
H- -3.0-75	28.57	EL-23.96	N13° W/76° NE	19
	42.59	EL-37.50	N2° E/66° SE	10
H- -3.0	49.98	EL-44.64	N30° E/54° SE	4
	34.73	EL-31.10	N18° E/69° SE	4
H- -2.6	13.09	EL-9.43	N3° E/65° SE	6
	16.38	EL-12.72	N38° E/41° NW	3
H- -2.5	18.10	EL-14.43	N21° E/52° SE	10
	29.44	EL-25.77	N28° E/62° SE	5
H- -2.3	12.21	EL-8.54	N21° W/63° NE	4
	12.80	EL-9.13	N15° E/55° SE	5
	53.63	EL-49.96	N28° E/71° NW	5
H- -2.18	26.91	EL-23.27	N3° W/63° NE	6
	59.88	EL-56.24	N12° W/67° NE	20
	96.42	EL-92.78	N7° W/54° NE	14
	96.86	EL-93.22	N16° W/58° NE	11
	116.51	EL-112.87	N20° W/59° NE	5
H- -2.0	185.01	EL-181.37	N17° E/68° NW	20
	19.73	EL-16.09	N24° W/70° NE	22
H- -1.9	40.01	EL-36.37	N4° E/69° SE	5
	25.04	EL-21.40	N18° W/68° NE	51
H- -1.86	36.28	EL-32.64	N22° W/63° NE	15
	55.70	EL-52.06	N51° E/70° SE	3
H- -1.80	43.35	EL-39.71	N19° W/74° NE	21
	61.95	EL-58.31	N15° E/73° SE	9
H- -1.7	57.55	EL-53.91	N8° W/72° NE	26
	59.24	EL-55.60	N6° E/77° NW	4

孔名	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)
H- -1.6	62.46	EL-58.82	N21° W/63° NE	22
	75.67	EL-72.03	N4° E/65° SE	17
	102.83	EL-99.19	N3° W/62° NE	4
H- -1.5	53.30	EL-49.66	N39° W/80° NE	4
	74.35	EL-70.71	N25° W/64° NE	16
	77.93	EL-74.29	N7° E/63° SE	21
	84.28	EL-80.64	N9° E/56° SE	9
	90.60	EL-86.96	N30° E/74° SE	9
	116.83	EL-113.19	N81° E/58° NW	7
H- -1.3	96.35	EL-92.66	N7° W/74° NE	14
	96.74	EL-93.05	N1° W/72° NE	3
	97.30	EL-93.61	NS/48° E	13
	108.99	EL-105.30	N29° E/60° SE	14
	121.79	EL-118.10	N5° E/52° SE	6
H- -1.2	132.56	EL-128.87	N24° E/58° NW	24
	27.05	EL-23.41	N15° E/69° SE	33
	93.90	EL-90.26	N16° E/77° NW	9
	113.68	EL-110.04	N9° W/64° NE	3
	114.05	EL-110.41	N16° W/73° NE	14
	114.75	EL-111.11	N7° E/78° SE	4
	118.76	EL-115.12	N2° W/64° SW	48
	122.07	EL-118.43	N18° E/53° SE	6
	41.51	EL-37.85	N4° W/64° NE	10
	42.25	EL-38.59	N13° E/64° SE	9
H- -1.0	46.36	EL-42.70	N4° E/80° SE	7
	90.03	EL-86.37	N20° E/75° NW	28
	113.16	EL-109.50	NS/57° E	5
	116.26	EL-112.60	N13° W/74° SW	3
	116.71	EL-113.05	N5° E/74° NW	4
	127.33	EL-123.67	N5° E/56° SE	11
	H- -0.5	50.21	EL-46.57	N10° W/70° SW
H- -0.3-65	26.99	EL-20.77	N20° W/80° SW	4
	60.54	EL-51.18	N8° W/60° NE	11
H- -0.3-80	31.57	EL-27.40	N5° E/68° NW	72
	32.28	EL-28.10	N7° W/64° SW	4
	61.10	EL-56.48	N16° E/64° SE	15
	64.42	EL-59.75	N11° W/82° NE	3
	130.88	EL-125.20	N19° W/64° NE	11
	146.36	EL-140.45	N12° E/76° SE	6
H-0.2-60	22.77	EL-14.99	N26° W/62° NE	10
	84.35	EL-68.32	N26° E/80° SE	55
H-0.2-75	116.75	EL-108.04	N2° E/81° SE	47
	117.50	EL-108.77	N1° W/82° NE	12
	165.87	EL-155.49	N13° W/78° NE	9
H-0.9-40	19.65	EL-6.36	N23° E/75° SE	14
	26.90	EL-11.02	N21° W/70° NE	9
H-0.9-50	29.00	EL-15.95	N19° W/68° NE	11

孔名	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)
H-0.9-70	27.35	EL-19.43	N8° E/76° SE	18
	29.82	EL-21.75	N3° W/79° NE	21
H-0.9-75	36.51	EL-29.00	N9° E/80° SE	22
H-1.1-70	48.17	EL-38.48	N15° E/80° SE	94
H-1.1-75	54.12	EL-45.50	N26° E/80° SE	44
H-1.1-80	64.13	EL-56.38	N13° E/79° SE	16
	64.79	EL-57.03	N4° W/62° NE	4
	66.27	EL-58.48	N5° W/73° NE	6
H-1.1-87	84.30	EL-77.40	N20° E/81° SE	45
H-1.1	29.63	EL-22.85	N48° E/56° NW	7
	103.77	EL-96.99	N21° E/80° SE	71
H-1.3-88	27.67	EL-20.38	N2° E/76° SE	10
	47.96	EL-40.66	N64° E/69° NW	3
	139.30	EL-131.95	N6° E/78° SE	75
	141.57	EL-134.21	N13° E/80° SE	17
H-1.5-95	156.84	EL-149.47	N49° E/57° NW	4
	33.59	EL-25.43	N65° E/42° NW	4
	105.26	EL-96.83	N35° W/79° NE	5
	160.54	EL-151.90	N7° W/81° NE	10
H-1.5-40	162.56	EL-153.91	N12° E/89° SE	4
	36.76	EL-15.60	N65° W/26° NE	4
	43.18	EL-19.73	N13° E/72° SE	7
	43.81	EL-20.13	N8° E/65° SE	14
	46.48	EL-21.85	N30° E/63° NW	8
H-2.3-85	59.40	EL-49.28	N16° E/81° SE	27
H-2.3-50	49.99	EL-28.40	N29° W/71° NE	21
	74.75	EL-47.37	N7° E/71° SE	10
H-2.3-25	27.15	EL-1.58	N28° W/62° NE	10
	27.49	EL-1.73	N17° W/58° NE	7
	36.22	EL-5.42	N15° W/71° NE	6
	36.77	EL-5.65	N12° E/57° SE	13
	44.19	EL-8.79	N34° W/89° NE	4
	44.46	EL-8.90	N44° W/76° NE	4
	56.18	EL-13.85	N61° W/86° SW	11
G-3.8-65	105.83	EL-34.84	N1° E/88° NW	5
	44.78	EL-29.64	N62° W/86° NE	4
	46.31	EL-31.03	N52° W/87° NE	9
	63.28	EL-46.41	N11° E/73° SE	4
	72.80	EL-55.04	N13° W/79° NE	12
G'-1.5-30	122.66	EL-100.23	N20° E/57° SE	16
	47.80	EL-19.25	N16° E/77° SE	8
	65.67	EL-28.19	N31° W/74° NE	7

・抽出した破砕部の性状については、補足資料2.4-1(2)(3)、ボーリング柱状図等は、データ集1, 2, 3

---

補足資料2. 4－1

破碎部性状一覽表



---

(1) S-1～B-3の性状一覧表

# 破碎部性状一覧表①(陸域)

■破碎部の性状の一覧表を以下に示す。(断層については、幅3cm以上の破碎部に加え、断層面上に位置する幅3cm未満の破碎部やコア形状が不良で判断できない箇所も含む)。

断層の破碎部性状一覧表  
(1/4)

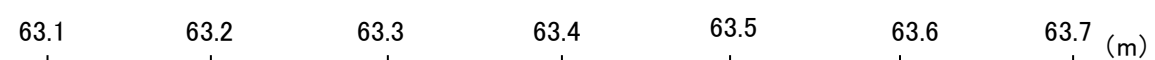
名称	孔名	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	破碎部の幅 平均値 (cm)
S-1	R-7▲	153.35	EL-142.07	70° ◆	17	14
	H-6.5	65.45	EL-46.77	N54° W/74° NE	10	
	H-7▲	82.85	EL-66.93	—	※	
	Sd-2▲	62.71	EL-6.54	70° ◆	11	
	I-8▲	49.73	EL-27.83	—	14	
	V-2▲	119.55	EL-96.37	N49° W/65° NE	13	
	X-2▲	37.38	EL-15.99	N40° W/78° NE	14	
	I-9▲	214.83	EL-186.18	N43° W/75° NE	10	
	X-4▲	143.95	EL-118.01	—	19	
	J-9▲	58.65	EL-34.50	N36° W/80° NE	8	
	J-9'	28.67	EL-7.52	N72° W/74° NE	8	
	J-9''	29.33	EL-8.23	N83° E/73° NW	16	
	T-1	3.34	EL-13.85	N60° W/68° NE	25	
	T-2	2.85	EL-14.85	N62° W/65° NE	22	
	T-3	2.55	EL-15.45	N61° W/67° NE	6	
	T-4	2.00	EL-16.85	N62° W/71° NE	4	
	K-10▲	16.95	EL15.64	N69° W/66° NE	8	
	K-11▲	110.53	EL-82.67	—	15	
	L-12.2	41.93	EL-10.97	N38° W/79° NE	27	
	L-12.5	174.18	EL-138.38	N85° W/66° NE	9	
	M-12.5	63.43	EL-35.33	N62° W/72° NE	8	
	M-12.5'	51.65	EL-26.59	N51° W/76° NE	10	
	M-12.5''	50.00	EL-23.90	N51° W/79° NE	8	
	N-13	11.10	EL26.53	N50° W/75° NE	18	
	N-13'	23.39	EL15.13	N52° W/69° NE	26	
	N-13.5'	10.90	EL29.74	N87° E/73° NW	23	
	N-14	30.97	EL11.78	N36° W/80° NE	12	
	N-14.5	21.31	EL26.25	N55° W/84° NE	11	
O-14.5	26.93	EL14.42	N72° W/89° NE	8		
O-16	20.36	EL12.72	N63° W/87° NE	18		
O-17	16.28	EL25.11	N74° W/85° NE	22		
O-17.3	41.82	EL8.81	N75° W/78° NE	10		
O-17.5	25.29	EL22.77	N76° W/80° NE	6		

断層の破碎部性状一覧表  
(2/4)

名称	孔名	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	破碎部の幅 平均値 (cm)
S-2・S-6	M-5▲	51.75	EL-42.00	—	17	29
	L-6'	13.82	EL-2.29	N12° E/58° NW	33	
	K-5▲	94.44	EL-80.13	70° ◆	39	
	K-6▲	39.17	EL-23.31	N35° E/60° NW	54	
	I-5▲	126.15	EL-107.91	—	15	
	I-6▲	67.20	EL-47.27	—	※	
	R-4.5	184.44	EL-173.37	N18° E/59° NW	4	
	R-5▲	155.50	EL-144.38	—	14	
	SC-1▲	36.27	EL-6.20	N24° E/44° NW	16	
	SE-2▲	52.18	EL-6.46	—	43	
	H-7▲	20.59	EL-4.67	N17° E/50° NW	20	
	H-6.6	53.80	EL-42.70	N4° E/57° NW	108	
	H-6.5	37.62	EL-22.20	N9° W/55° SW	42	
	H-6.5'	34.55	EL-13.41	N7° W/74° SW	76	
	H-6.4	33.90	EL-12.88	N24° E/57° NW	53	
	R-6▲	90.90	EL-79.67	N8° E/64° NW	26	
	SC-4▲	63.65	EL-6.10	—	19	
	R-7▲	28.23	EL-16.95	N14° E/52° NW	39	
	G-7▲	53.85	EL-38.60	N12° E/60° NW	24	
	F-8▲	26.40	EL-5.66	—	※	
	F-8.5	8.93	EL12.13	N3° E/50° NW	48	
	E-8.5	14.40	EL6.74	NS/55° W	18	
	E-8▲	38.05	EL-21.91	N18° E/77° NW	14	
	E-8.6	11.70	EL9.41	NS/45° W	55	
	E-8.7	10.09	EL10.93	N10° E/56° NW	56	
	C-9.1	10.82	EL11.03	N27° E/57° NW	1	
	C-9.2	10.56	EL11.52	N12° E/56° NW	1	
	K-6.2-2	30.94	EL-19.44	N9° E/54° NW	45	
	K-6.3	20.61	EL-9.48	N16° E/55° NW	27	
	D-9.1E	5.44	EL16.78	N22° E/58° NW	6	
D-9.1-1	7.39	EL14.10	N6° W/59° SW	7		
D-9.1-2	8.97	EL12.54	N1° W/60° SW	5		
C-9.1-10E	5.70	EL16.89	N14° E/54° NW	11		
C-9.11E	6.18	EL16.56	N20° E/67° NW	2		

【破碎部の幅の算定の考え方】

・面の最大傾斜角に対して直交方向における、粘土状破碎部、固結した破碎部を含めた最大値を破碎部の幅としている。



- 【破碎部の分類】
- ① 粘土状破碎部
  - ②-1 砂状破碎部
  - ②-2 角礫状破碎部
  - ③-1 固結した粘土・砂状破碎部
  - ③-2 固結した角礫状破碎部

コア写真(M-12.5孔 解釈線あり)

▲:建設時のボーリング孔

※:コアが岩片状、細片状、土砂状を呈している、あるいは掘進時のコア採取不良区間、逸水により、破碎部の有無が確認できないが、周辺ボーリング孔で確認された断層の出現深度、走向傾斜から考慮して、断層が連続すると判断して抽出したもの。

◆:コア観察による傾斜。

# 破碎部性状一覧表②(陸域)

断層の破碎部性状一覧表  
(3/4)

名称	孔名	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	破碎部の幅 平均値 (cm)
S-4	I-8▲	38.10	EL-16.20	—	4	7
	R-7▲	112.30	EL-101.02	—	3	
	H-8▲	58.15	EL-38.78	—	※	
	2X-2▲	24.70	EL-12.18	—	※	
	SE-1▲	35.90	EL-6.29	—	※	
	No.3▲	25.35	EL-6.38	N39° E/38° NW	16	
	H-6.4	94.65	EL-55.84	N39° E/56° NW	17	
	R-8▲	61.45	EL-48.34	—	1	
	2V-2▲	46.40	EL-33.12	N43° E/63° NW	8	
	No.2▲	13.60	EL-6.37	—	※	
	2V-3▲	37.30	EL-17.47	—	※	
	R-9▲	19.33	EL1.72	N45° E/41° NW	20	
	2U-4▲	39.45	EL-18.32	N58° E/72° NW	8	
	2V-5▲	10.97	EL10.06	—	※	
	G-9▲	59.44	EL-37.77	N61° E/70° NW	16	
	No.4▲	10.85	EL-6.47	N43° E/69° NW	8	
	2T-4▲	62.15	EL-41.00	—	※	
	SA-2▲	18.28	EL-6.04	—	※	
	2T-6▲	26.78	EL-5.62	—	※	
	F-9▲	107.63	EL-86.45	N31° E/62° NW	4	
	No.1▲	30.15	EL-6.36	N29° E/44° NW	1	
	F-9.6	41.60	EL-8.42	N7° E/56° NW	5	
	D-10.2-1SE	61.22	EL-31.99	N27° E/54° NW	5	
	C-11.5S	86.49	EL-39.75	N28° E/62° NW	10	
	D-11.8S	48.92	EL0.62	N30° E/60° NW	6	
	F-10▲	40.76	EL-16.50	—	※	
	E-9▲	158.85	EL-140.24	—	2	
	E-10▲	102.42	EL-81.33	—	※	
	E-11▲	56.73	EL-21.99	—	※	
	D-12▲	30.95	EL1.03	—	2	
	C-13▲	32.01	EL9.01	—	2	
	T-2▲	26.50	EL-1.02	—	※	
	H-6.5'	88.58	EL-51.62	N60° E/45° NW	9	
	F-10.9-4	39.75	EL5.59	N47° E/66° NW	4	
G-10.9-1	40.00	EL7.49	N36° E/72° NW	5		
D-9.6SE	86.56	EL-49.81	N24° E/59° NW	5		
F-10.8-1	7.76	EL13.44	N37° E/63° NW	15		
E-10.8SE	35.07	EL-9.32	N27° E/53° NW	1		
D-10.7SE	80.61	EL-59.08	N27° E/59° NW	12		
B-12.7S	73.18	EL-28.19	N24° E/69° NW	11		
A-14.5S	57.49	EL8.85	N20° E/74° NW	1		

断層の破碎部性状一覧表  
(4/4)

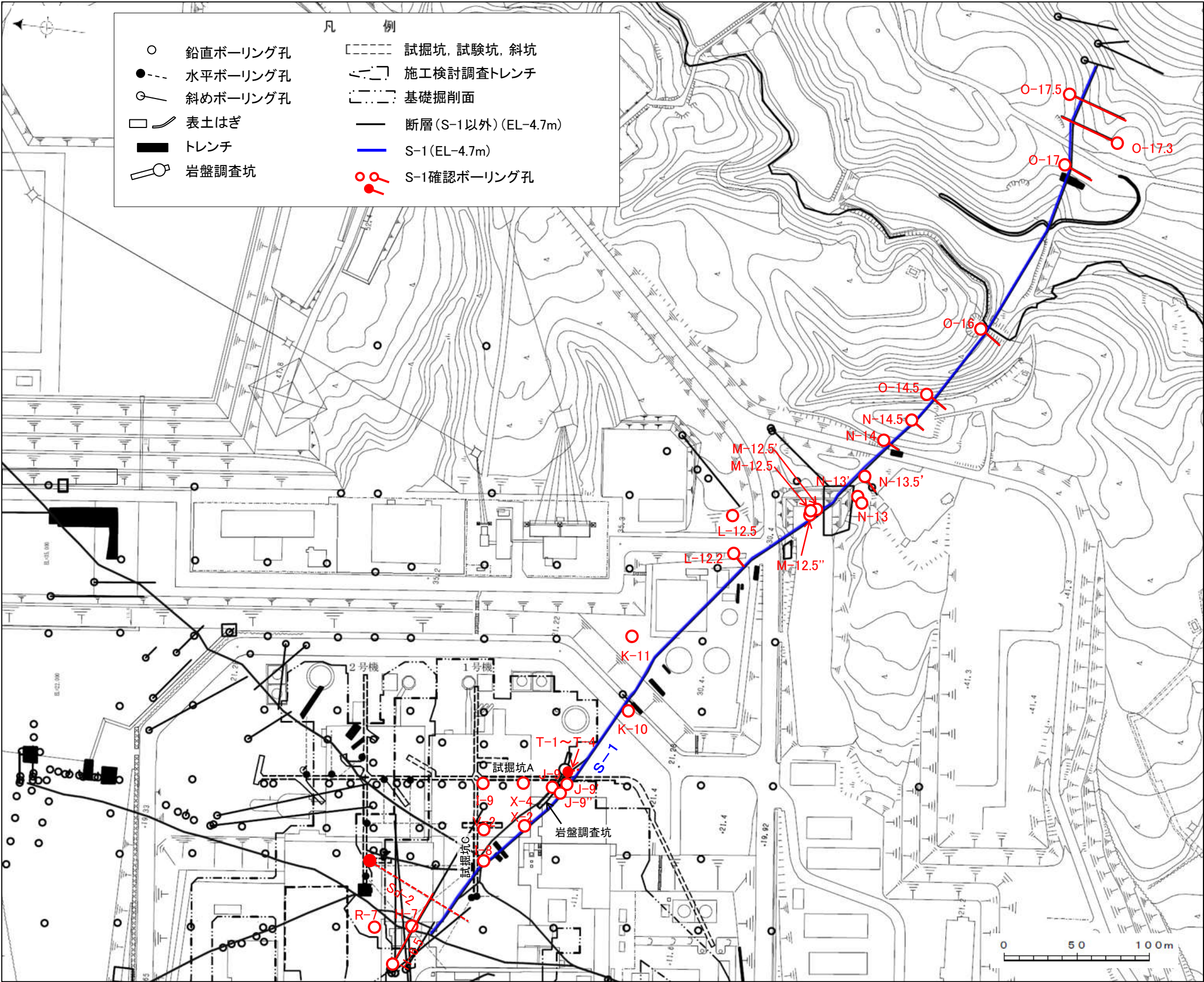
紫字:第1073回審査会合以降の変更箇所

名称	孔名	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	破碎部の幅 平均値 (cm)
S-5	SC-2▲	32.68	EL-6.29	—	1	3
	R-8▲	25.50	EL-12.39	N13° E/70° SE	2	
	H-8▲	35.55	EL-16.18	—	※	
	H-5.4-4E	133.87	EL-23.59	N19° E/83° SE	7	
	H-7.9-1	35.47	EL-24.32	N25° E/79° SE	4	
	R-8.1-1-3	22.24	EL-11.12	N5° E/83° SE	2	
	R-8.1-1-7	32.20	EL-21.17	N14° E/87° SE	3	
	R-8.1-1-8	36.04	EL-25.04	N19° W/85° SE	4	
S-7	I-5▲	112.19	EL-93.95	N41° W/60° SW	25	10
	I-6▲	41.05	EL-21.12	—	※	
	H-5.7	13.20	EL-0.55	N56° W/65° SW	13	
	H-5.5	31.42	EL-20.36	N32° W/47° SW	15	
	H-5.4	40.20	EL-29.15	N35° W/55° SW	14	
	H-5.2	55.15	EL-44.08	N19° W/67° SW	6	
	R-5▲	47.85	EL-36.73	—	3	
	R-4.5	84.20	EL-73.13	N43° W/55° SW	3	
	G-5▲	29.68	EL-16.02	—	3	
	F-4.6	29.70	EL-18.60	N17° W/76° SW	12	
	F-4.2	14.25	EL1.04	N44° W/73° SW	7	
S-8	G-7▲	51.65	EL-36.40	—	18	11
	F-7.0	16.09	EL-4.98	N10° W/48° SW	6	
	F-7▲	24.50	EL-5.10	—	13	
	F-6.9	19.15	EL-8.06	N3° E/48° NW	4	
	F-6.8	23.75	EL-12.63	N14° W/56° SW	14	
	F-6.79	21.30	EL-10.18	N10° W/47° SW	18	
	F-6.74	22.06	EL-10.99	N10° W/46° SW	7	
	D-6.1	21.65	EL-7.50	N21° W/57° SW	12	
	C-5.4	19.40	EL-7.51	N31° W/51° SW	8	
S-9	J-7▲	13.51	EL2.97	N36° E/72° NW	19	10
	SC-5▲	10.39	EL-6.13	N35° E/41° NW	12	
	I-7▲	53.10	EL-32.63	—	2	
	H-6.5	80.75	EL-60.28	N36° E/61° NW	13	
	H-6.6	123.47	EL-112.37	N62° E/63° NW	4	
B-1	岩盤 調査坑	—	—	N49° W/86° NE	6 (No.3~26 切羽底盤平均)	6
B-2	H-6.5	46.32	EL-29.88	N31° E/62° NW	4	6
	H-6.5'	40.95	EL-17.95	N28° E/50° NW	2	
	H-6.4	43.10	EL-19.39	N13° W/46° SW	10	
	H-7▲	30.30	EL-14.38	—	9	
B-3	J-6.1	27.90	EL-10.31	N37° W/84° NE	3	3
	K-6.2-2	21.39	EL-10.03	N47° W/74° NE	2	

▲:建設時のボーリング孔

※:コアが岩片状, 細片状, 土砂状を呈している, あるいは掘進時のコア採取不良区間, 逸水により, 破碎部の有無が確認できないが, 周辺ボーリング孔で確認された断層の出現深度, 走向傾斜から考慮して, 断層が連続すると判断して抽出したもの。

# 位置図(S-1)



# S-1の性状一覧表(1/9)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 20px; height: 2px; background-color: red; margin-right: 5px;"></div> 破碎部                 </div> <div style="margin-left: 10px;">                     ① 粘土状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div>
S-1	R-7	153.35 (EL-142.07)	70° ◆	17	
	H-6.5 (傾斜62°)	65.45 (EL-46.77)	N54° W/74° NE	10	
	H-7	82.85 (EL-66.93)	—	※	
	Sd-2 (水平)	62.71 (EL-6.54)	70° ◆	11	

◆:コア観察による傾斜。 ※:コア形状が不良で確認できない。

# S-1の性状一覧表(2/9)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red;">▬</span> 破碎部           <span style="margin-left: 20px;">① 粘土状破碎部</span> <span style="margin-left: 20px;">③-2 固結した角礫状破碎部</span> </div>
S-1	I-8	49.73 (EL-27.83)	—	14	
	V-2	119.55 (EL-96.37)	N49° W/65° NE	13	
	X-2	37.38 (EL-15.99)	N40° W/78° NE	14	
I-9	214.83 (EL-186.18)	N43° W/75° NE	10		

\* ③-2(岩片状)は、岩片に変形構造が認められること及び条線が認められないことから、固結した角礫状破碎部と判断。

# S-1の性状一覧表(3/9)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 20px; height: 5px; background-color: red; margin-right: 5px;"></div> 破碎部             <div style="margin-left: 20px;">                 ① 粘土状破碎部                  ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                  ③-2 固結した角礫状破碎部             </div> </div>
S-1	X-4	143.95 (EL-118.01)	—	19	
	J-9	58.65 (EL-34.50)	N36° W/80° NE	8	
	J-9'	28.67 (EL-7.52)	N72° W/74° NE	8	

\* ③-2(岩片状)は、岩片に変形構造が認められること及び条線が認められないことから、固結した角礫状破碎部と判断。

# S-1の性状一覧表(4/9)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
S-1	J-9"	29.33 (EL-8.23)	N83° E/73° NW	16	
	T-1 (水平)	3.34 (EL-13.85)	N60° W/68° NE	25	
	T-2 (水平)	2.85 (EL-14.85)	N62° W/65° NE	22	
	T-3 (水平)	2.55 (EL-15.45)	N61° W/67° NE	6	



# S-1の性状一覧表(5/9)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
S-1	T-4 (水平)	2.00 (EL-16.85)	N62° W/71° NE	4	
	K-10	16.95 (EL15.64)	N69° W/66° NE	8	
	K-11	110.53 (EL-82.67)	—	15	
	L-12.2 (傾斜80°)	41.93 (EL-10.97)	N38° W/79° NE	27	

\* ③-2(岩片状)は、岩片に変形構造が認められること及び条線が認められないことから、固結した角礫状破碎部と判断。

# S-1の性状一覧表(6/9)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
S-1	L-12.5	174.18 (EL-138.38)	N85° W/66° NE	9	
	M-12.5	63.43 (EL-35.33)	N62° W/72° NE	8	
	M-12.5'	51.65 (EL-26.59)	N51° W/76° NE	10	
	M-12.5''	50.00 (EL-23.90)	N51° W/79° NE	8	

# S-1の性状一覧表(7/9)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  破碎部                 <div style="margin-left: 20px;">                     ① 粘土状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div> </div>
S-1	N-13	11.10 (EL26.53)	N50° W/75° NE	18	 
	N-13'	23.39 (EL15.13)	N52° W/69° NE	26	 

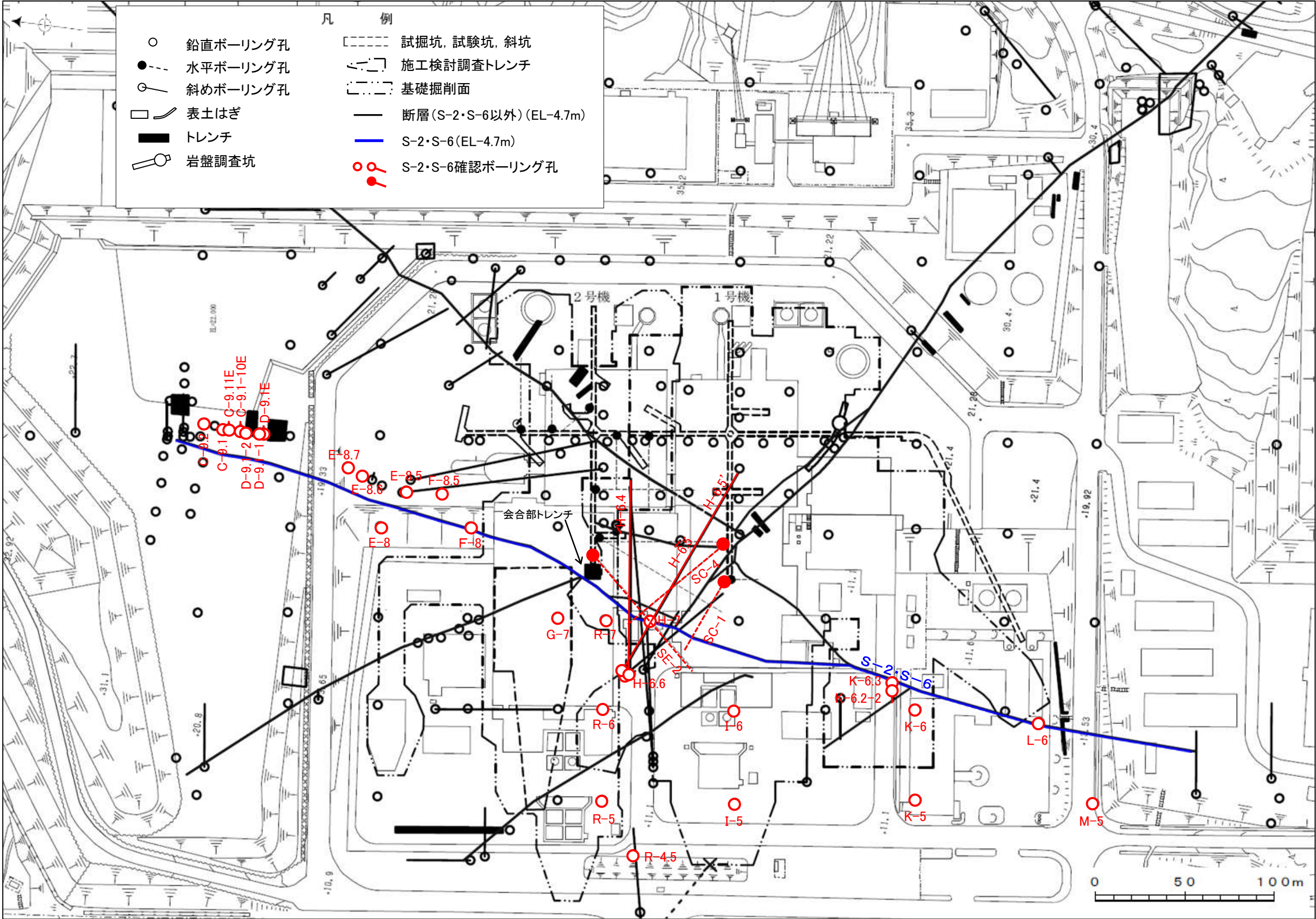
# S-1の性状一覧表(8/9)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
S-1	N-13.5' (傾斜73°)	10.90 (EL29.74)	N87° E/73° NW	23	
	N-14 (傾斜73°)	30.97 (EL11.78)	N36° W/80° NE	12	
	N-14.5 (傾斜73°)	21.31 (EL26.25)	N55° W/84° NE	11	
	O-14.5 (傾斜73°)	26.93 (EL14.42)	N72° W/89° NE	8	

# S-1の性状一覧表(9/9)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
S-1	O-16 (傾斜73°)	20.36 (EL12.72)	N63° W/87° NE	18	
	O-17 (傾斜70°)	16.28 (EL25.11)	N74° W/85° NE	22	
	O-17.3 (傾斜45°)	41.82 (EL8.81)	N75° W/78° NE	10	
	O-17.5 (傾斜45°)	25.29 (EL22.77)	N76° W/80° NE	6	

# 位置図(S-2・S-6)



# S-2・S-6の性状一覧表(1/10)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
S-2・S-6	M-5	51.75 (EL-42.00)	—	17	
	L-6'	13.82 (EL-2.29)	N12° E/58° NW	33	
	K-5	94.44 (EL-80.13)	70° ◆	39	

◆:コア観察による傾斜。

# S-2・S-6の性状一覧表(2/10)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="border-bottom: 2px solid red; width: 20px; height: 2px;"></span> 破碎部           <div style="margin-left: 20px;">             ① 粘土状破碎部              ③-2 固結した角礫状破碎部           </div> </div>
S-2・S-6	K-6	39.17 (EL-23.31)	N35° E/60° NW	54	
	I-5	126.15 (EL-107.91)	—	15	
	I-6	67.20 (EL-47.27)	—	※	

※:コア形状が不良で確認できない。

\*③-2(岩片状)は、岩片に変形構造が認められること及び条線が認められないことから、固結した角礫状破碎部と判断。


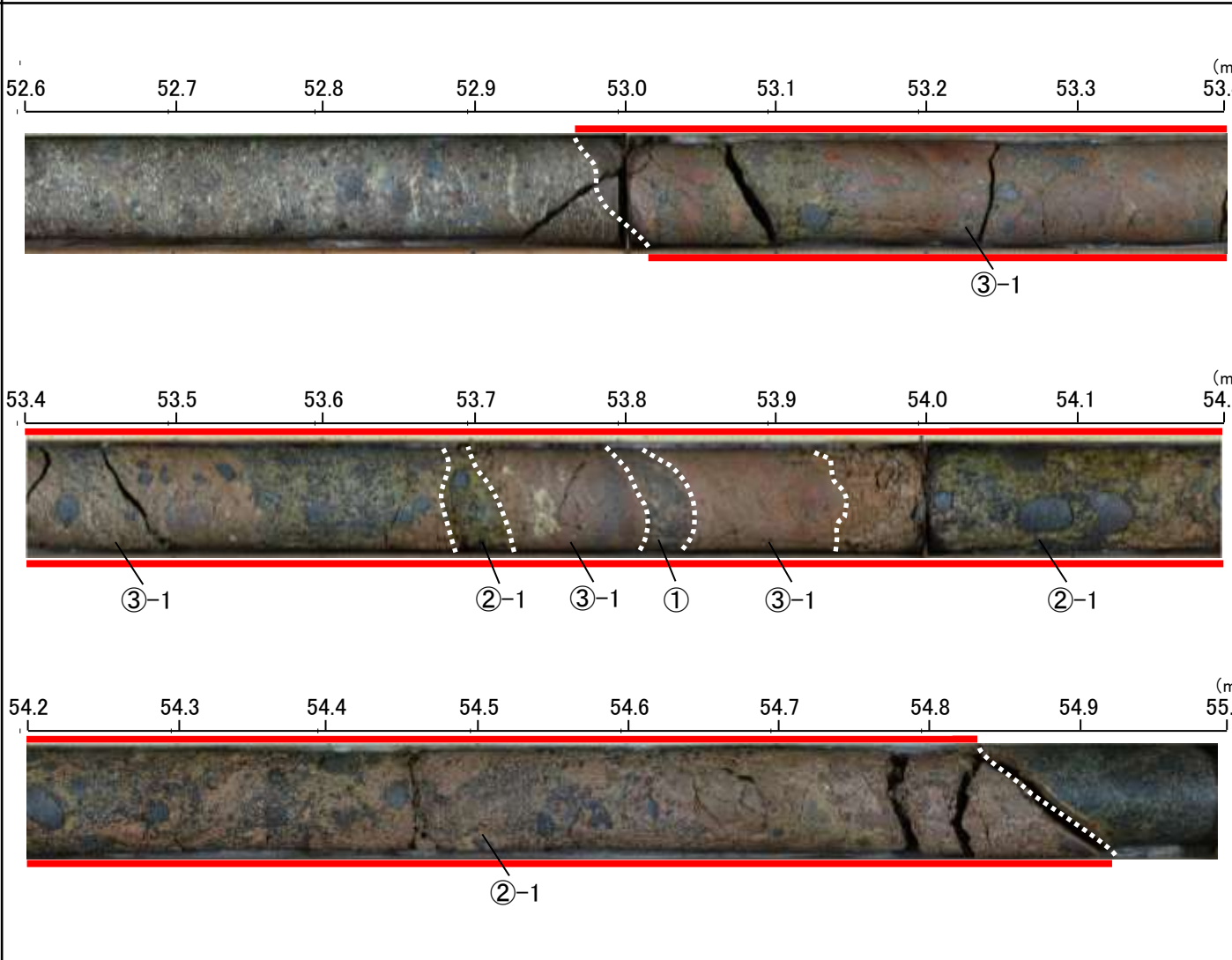
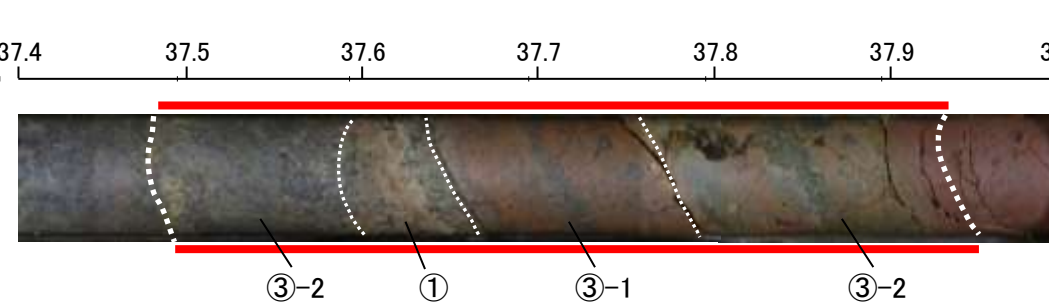


# S-2・S-6の性状一覧表(3/10)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 破砕部 ① 粘土状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 ③-2 固結した角礫状破砕部
S-2・S-6	R-4.5	184.44 (EL-173.37)	N18° E/59° NW	4	
	R-5	155.50 (EL-144.38)	—	14	
	SC-1 (水平)	36.27 (EL-6.20)	N24° E/44° NW	16	
	SE-2 (水平)	52.18 (EL-6.46)	—	43	
	H-7	20.59 (EL-4.67)	N17° E/50° NW	20	

\*③-2(岩片状)は、岩片に変形構造が認められること及び条線が認められないことから、固結した角礫状破砕部と判断。

# S-2・S-6の性状一覧表(4/10)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	 破碎部 コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ②-1 砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
S-2・S-6	H-6.6	53.80 (EL-42.70)	N4° E/57° NW	108	
	H-6.5 (傾斜62°)	37.62 (EL-22.20)	N9° W/55° SW	42	

# S-2・S-6の性状一覧表(5/10)


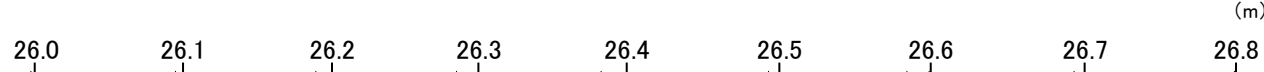
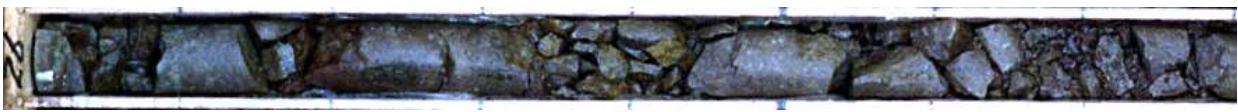
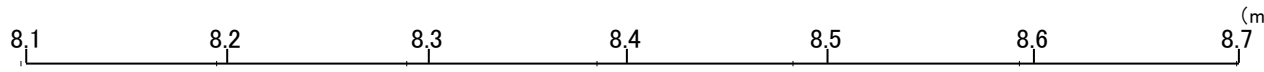

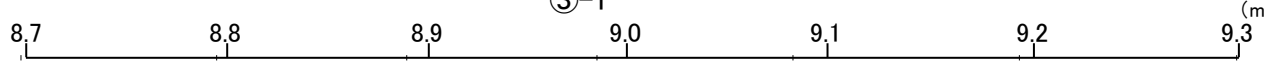



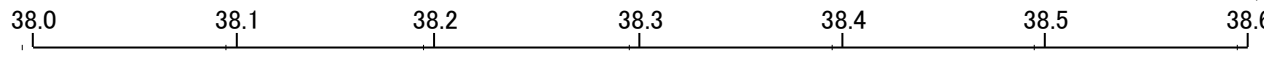

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red; font-weight: bold;">▬</span> 破碎部                 </div> <div style="margin-top: 5px;">                     ① 粘土状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div>
S-2・S-6	H-6.5' (傾斜45°)	34.55 (EL-13.41)	N7° W/74° SW	76	
	H-6.4 (傾斜45°)	33.90 (EL-12.88)	N24° E/57° NW	53	

# S-2・S-6の性状一覧表(6/10)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red;">—</span> 破碎部                 <div style="margin-left: 20px;">                     ① 粘土状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div> </div>
S-2・S-6	R-6	90.90 (EL-79.67)	N8° E/64° NW	26	
	SC-4 (水平)	63.65 (EL-6.10)	—	19	
	R-7	28.23 (EL-16.95)	N14° E/52° NW	39	
	G-7	53.85 (EL-38.60)	N12° E/60° NW	24	

\* ③-2(岩片状)は、岩片に変形構造が認められること及び条線が認められないことから、固結した角礫状破碎部と判断。

# S-2・S-6の性状一覧表(7/10)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	 破碎部 コア写真 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 粘土状破碎部</li> <li>②-2 角礫状破碎部</li> <li>③-1 固結した粘土・砂状破碎部</li> <li>③-2 固結した角礫状破碎部</li> </ul>
S-2・S-6	F-8	26.40 (EL-5.66)	—	※	 
	F-8.5	8.93 (EL12.13)	N3° E/50° NW	48	   
	E-8.5	14.40 (EL6.74)	NS/55° W	18	 
	E-8	38.05 (EL-21.91)	N18° E/77° NW	14	 

※:コア形状が不良で確認できない。

# S-2・S-6の性状一覧表(8/10)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center;"> <span style="color: red; font-weight: bold; margin-right: 5px;">▬</span> 破碎部                 </div> <div style="margin-top: 5px;">                     ① 粘土状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div>
S-2・S-6	E-8.6	11.70 (EL9.41)	NS/45° W	55	
	E-8.7	10.09 (EL10.93)	N10° E/56° NW	56	
	C-9.1	10.82 (EL11.03)	N27° E/57° NW	1	

# S-2・S-6の性状一覧表(9/10)

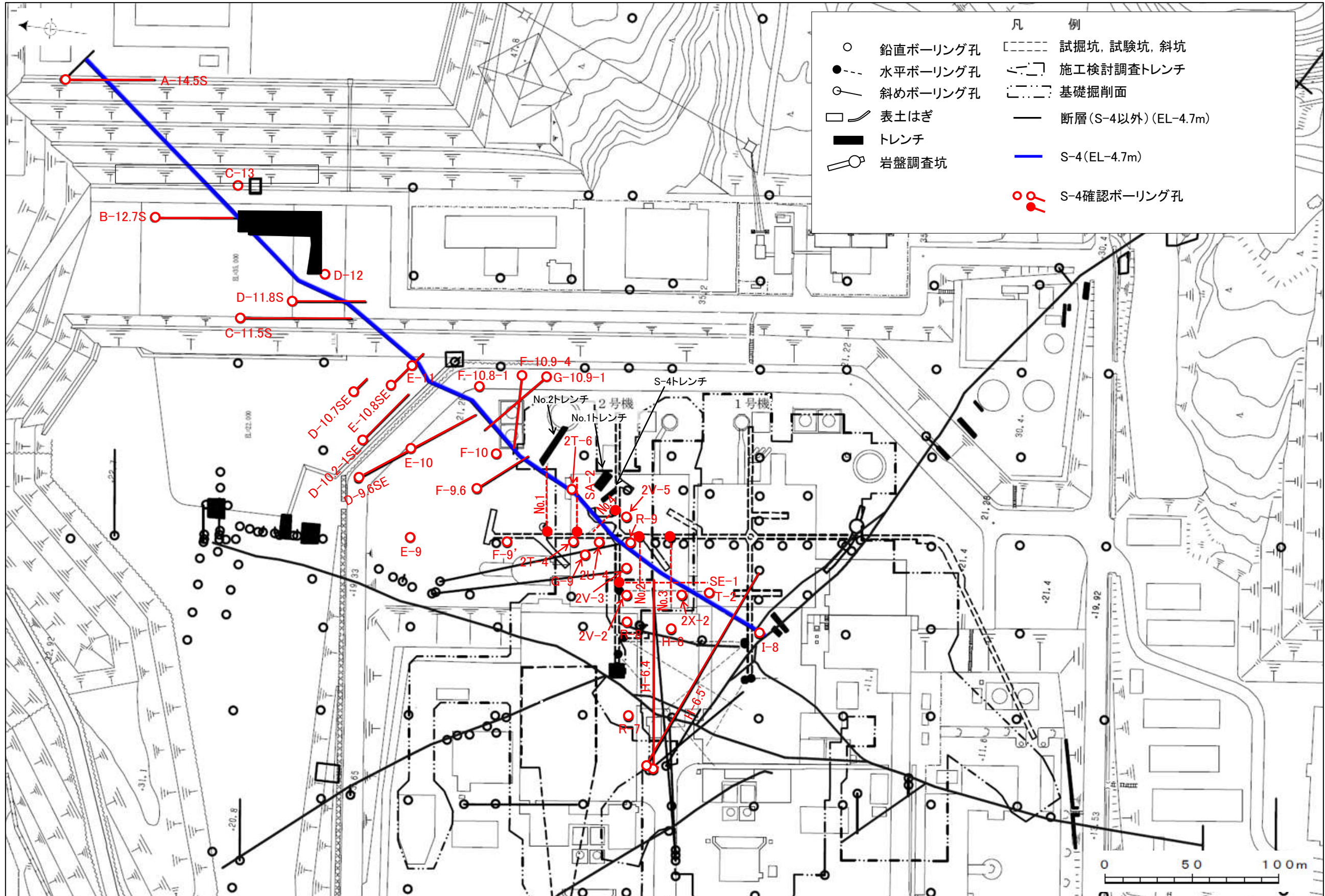
名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
S-2・S-6	C-9.2	10.56 (EL11.52)	N12° E/56° NW	1	
	K-6.2-2 (傾斜80°)	30.94 (EL-19.44)	N9° E/54° NW	45	
	K-6.3 (傾斜85°)	20.61 (EL-9.48)	N16° E/55° NW	27	
	D-9.1E (傾斜60°)	5.44 (EL16.78)	N22° E/58° NW	6	

# S-2・S-6の性状一覧表(10/10)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	破砕部 コア写真
S-2・S-6	D-9.1-1	7.39 (EL14.10)	N6° W/59° SW	7	<p>① 粘土状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 ②-1 砂状破砕部 ③-2 固結した角礫状破砕部 ②-2 角礫状破砕部</p>
	D-9.1-2	8.97 (EL12.54)	N1° W/60° SW	5	
	C-9.1-10E (傾斜60°)	5.70 (EL16.89)	N14° E/54° NW	11	
	C-9.11E (傾斜60°)	6.18 (EL16.56)	N20° E/67° NW	2	



# 位置図(S-4)



# S-4の性状一覧表(1/9)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <span style="color:red">■</span> 破碎部    ③-1 固結した粘土・砂状破碎部
S-4	I-8	38.10 (EL-16.20)	—	4	
	R-7	112.30 (EL-101.02)	—	3	
	H-8	58.15 (EL-38.78)	—	※	
	2X-2	24.70 (EL-12.18)	—	※	
	SE-1 (水平)	35.90 (EL-6.29)	—	※	

※:コア形状が不良で確認できない。

# S-4の性状一覧表(2/9)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
S-4	No.3 (水平)	25.35 (EL-6.38)	N39° E/38° NW	16	<p>25.1 25.2 25.3 25.4 25.5 25.6 25.7 (m)</p>
	H-6.4 (傾斜45°)	94.65 (EL-55.84)	N39° E/56° NW	17	<p>94.4 94.5 94.6 94.7 94.8 94.9 95.0 (m)</p>
	R-8	61.45 (EL-48.34)	—	1	<p>61.2 61.3 61.4 61.5 61.6 61.7 61.8 (m)</p>
	2V-2	46.40 (EL-33.12)	N43° E/63° NW	8	<p>46.2 46.3 46.4 46.5 46.6 46.7 46.8 (m)</p>
	No.2 (水平)	13.60 (EL-6.37)	—	※	<p>13.3 13.4 13.5 13.6 13.7 13.8 13.9 (m)</p>

※: コア形状が不良または採取不良のため確認できない。

\* ③-2(岩片状)は、岩片に変形構造が認められること及び条線が認められないことから、固結した角礫状破碎部と判断。

# S-4の性状一覧表(3/9)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
S-4	2V-3	37.30 (EL-17.47)	—	※	
	R-9	19.33 (EL1.72)	N45° E/41° NW	20	
	2U-4	39.45 (EL-18.32)	N58° E/72° NW	8	
	2V-5	10.97 (EL10.06)	—	※	
	G-9	59.44 (EL-37.77)	N61° E/70° NW	16	

※:コア形状が不良で確認できない。

\*③-2(岩片状)は、岩片に変形構造が認められること及び条線が認められないことから、固結した角礫状破碎部と判断。

# S-4の性状一覧表(4/9)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  破碎部                 </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; margin-left: 10px;"> <p>① 粘土状破碎部</p> <p>③-1 固結した粘土・砂状破碎部</p> <p>③-2 固結した角礫状破碎部</p> </div>
S-4	No.4 (水平)	10.85 (EL-6.47)	N43° E/69° NW	8	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="margin-right: 10px;">10.6    10.7    10.8    10.9    11.0 (m)</div> </div>
	2T-4	62.15 (EL-41.00)	—	※	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="margin-right: 10px;">61.9    62.0    62.1    62.2    62.3    62.4    62.5 (m)</div> </div>
	SA-2 (水平)	18.28 (EL-6.04)	—	※	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="margin-right: 10px;">18.0    18.1    18.2    18.3    18.4    18.5    18.6 (m)</div> </div>
	2T-6	26.78 (EL-5.62)	—	※	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="margin-right: 10px;">26.5    26.6    26.7    26.8    26.9    27.0    27.1 (m)</div> </div>
	F-9'	107.63 (EL-86.45)	N31° E/62° NW	4	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="margin-right: 10px;">107.4    107.5    107.6    107.7    107.8    107.9    108.0 (m)</div> </div>

※:コア形状が不良で確認できない。

# S-4の性状一覧表(5/9)

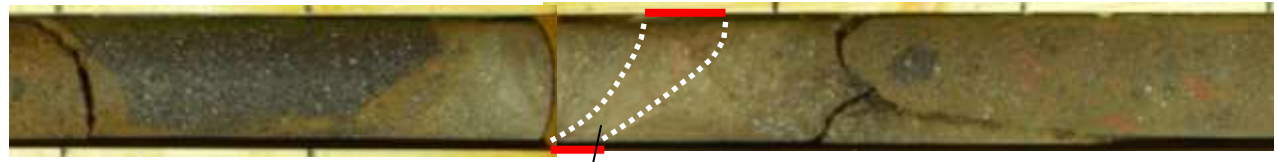

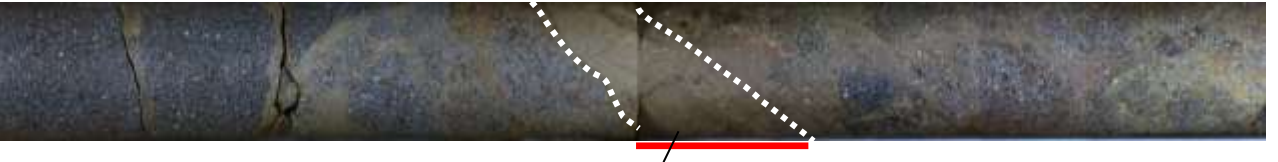
名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <span style="color: red; font-weight: bold; margin-right: 5px;">▬</span> 破碎部                 <div style="margin-left: 20px;">                     ① 粘土状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                 </div> </div>
S-4	No.1 (水平)	30.15 (EL-6.36)	N29° E/44° NW	1	<div style="text-align: center;"> <span style="margin-right: 20px;">29.9</span> <span style="margin-right: 20px;">30.0</span> <span style="margin-right: 20px;">30.1</span> <span style="margin-right: 20px;">30.2</span> <span style="margin-right: 20px;">30.3</span> <span style="margin-right: 20px;">30.4</span> <span>30.5 (m)</span> </div>
	F-9.6 (傾斜45°)	41.60 (EL-8.42)	N7° E/56° NW	5	<div style="text-align: center;"> <span style="margin-right: 20px;">41.3</span> <span style="margin-right: 20px;">41.4</span> <span style="margin-right: 20px;">41.5</span> <span style="margin-right: 20px;">41.6</span> <span style="margin-right: 20px;">41.7</span> <span>41.8 (m)</span> </div>
	D-10.2-1SE (傾斜60°)	61.22 (EL-31.99)	N27° E/54° NW	5	<div style="text-align: center;"> <span style="margin-right: 20px;">61.0</span> <span style="margin-right: 20px;">61.1</span> <span style="margin-right: 20px;">61.2</span> <span style="margin-right: 20px;">61.3</span> <span style="margin-right: 20px;">61.4</span> <span>61.5 (m)</span> </div>
	C-11.5S (傾斜60°)	86.49 (EL-39.75)	N28° E/62° NW	10	<div style="text-align: center;"> <span style="margin-right: 20px;">86.2</span> <span style="margin-right: 20px;">86.3</span> <span style="margin-right: 20px;">86.4</span> <span style="margin-right: 20px;">86.5</span> <span style="margin-right: 20px;">86.6</span> <span>86.7 (m)</span> </div>
	D-11.8S (傾斜45°)	48.92 (EL0.62)	N30° E/60° NW	6	<div style="text-align: center;"> <span style="margin-right: 20px;">48.7</span> <span style="margin-right: 20px;">48.8</span> <span style="margin-right: 20px;">48.9</span> <span style="margin-right: 20px;">49.0</span> <span style="margin-right: 20px;">49.1</span> <span>49.2 (m)</span> </div>

# S-4の性状一覧表(6/9)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red;">—</span> 破碎部</div> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span>③-1</span> 固結した粘土・砂状破碎部                     <span>③-2</span> 固結した角礫状破碎部                 </div>
S-4	F-10	40.76 (EL-16.50)	—	※	
	E-9	158.85 (EL-140.24)	—	2	
	E-10	102.42 (EL-81.33)	—	※	
	E-11	56.73 (EL-21.99)	—	※	
	D-12	30.95 (EL1.03)	—	2	

※:コア形状が不良で確認できない。


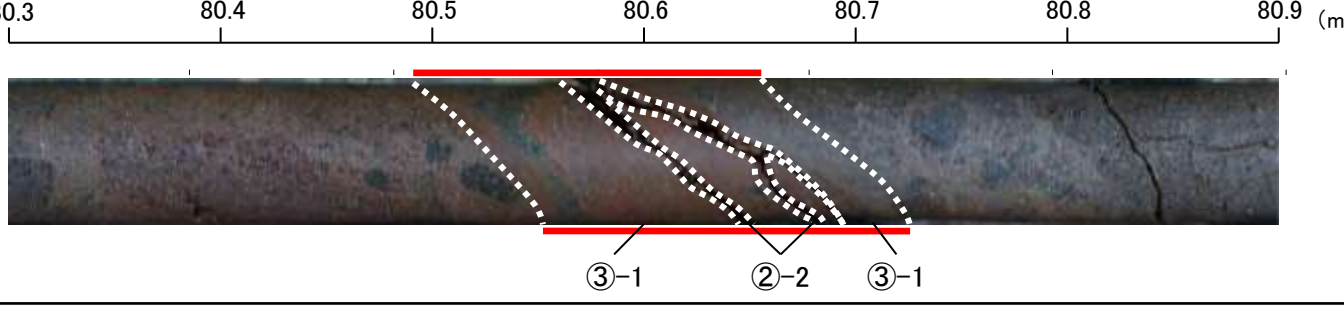
# S-4の性状一覧表(7/9)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	 破碎部 コア写真 <span style="margin-left: 20px;">②-1 砂状破碎部</span> <span style="margin-left: 20px;">③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> <span style="margin-left: 20px;">③-2 固結した角礫状破碎部</span>
S-4	C-13	32.01 (EL9.01)	—	2	
	T-2	26.50 (EL-1.02)	—	※	
	H-6.5' (傾斜45°)	88.58 (EL-51.62)	N60° E/45° NW	9	
	F-10.9-4 (傾斜23°)	39.75 (EL5.59)	N47° E/66° NW	4	
	G-10.9-1 (傾斜20°)	40.00 (EL7.49)	N36° E/72° NW	5	

※:コア形状が不良で確認できない。



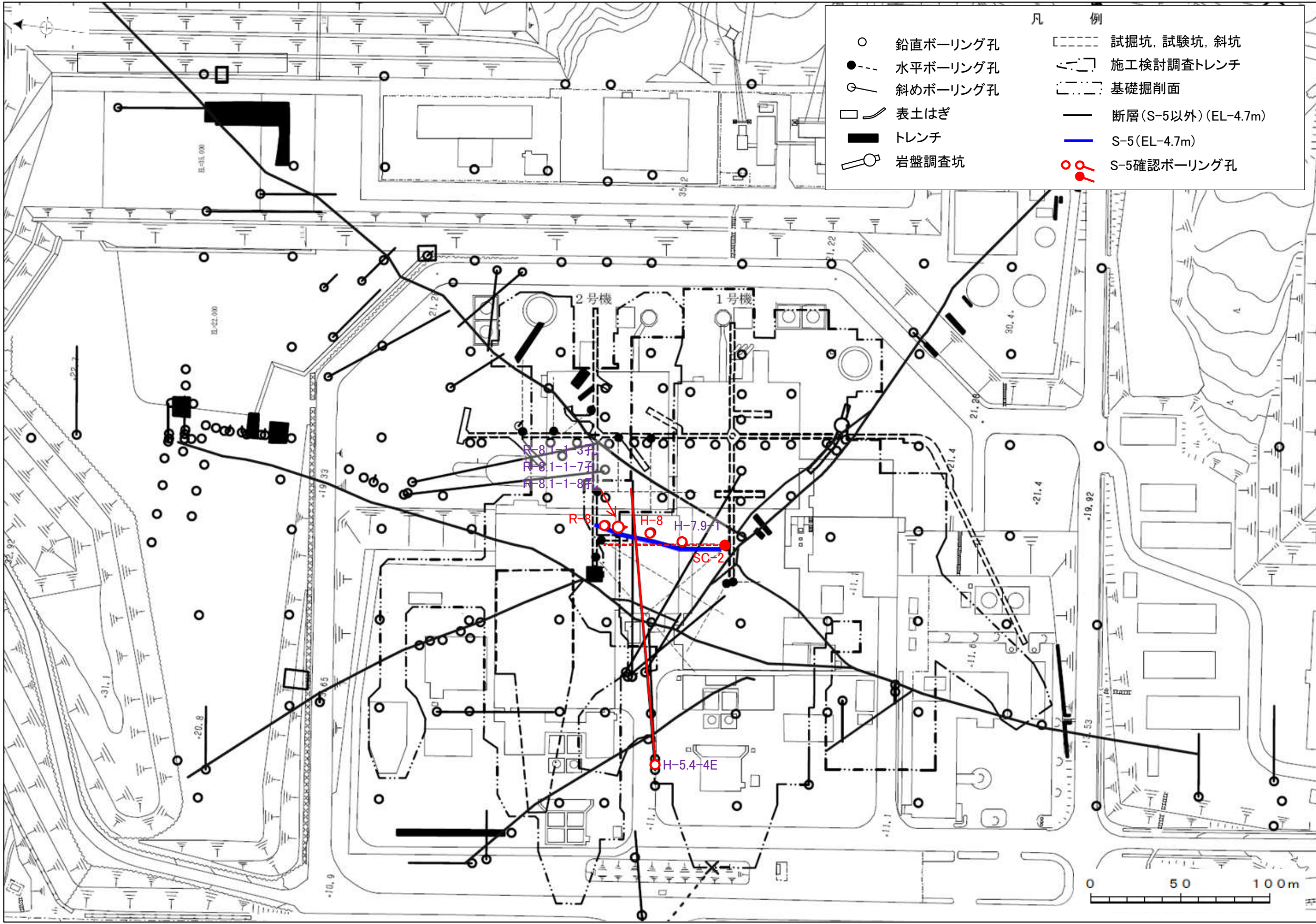
# S-4の性状一覧表(8/9)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	 破碎部 コア写真 <span style="float: right;">                         ②-2 角礫状破碎部                          ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                          ③-2 固結した角礫状破碎部                     </span>
S-4	D-9.6SE (傾斜55°)	86.56 (EL-49.81)	N24° E/59° NW	5	
	F-10.8-1	7.76 (EL13.44)	N37° E/63° NW	15	
	E-10.8SE (傾斜60°)	35.07 (EL-9.32)	N27° E/53° NW	1	
	D-10.7SE (傾斜85°)	80.61 (EL-59.08)	N27° E/59° NW	12	
	B-12.7S (傾斜60°)	73.18 (EL-28.19)	N24° E/69° NW	11	


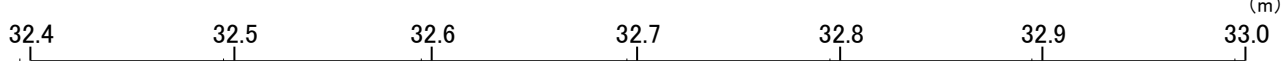
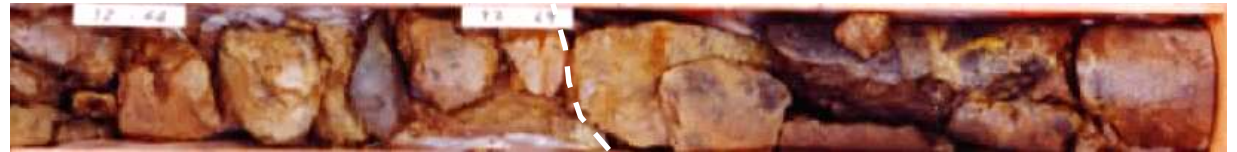
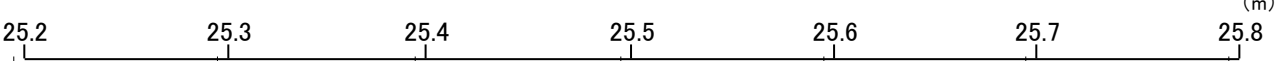

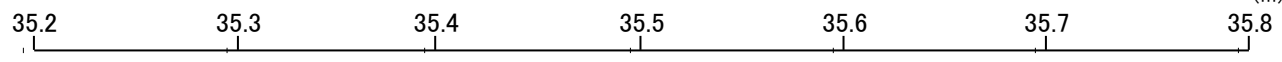

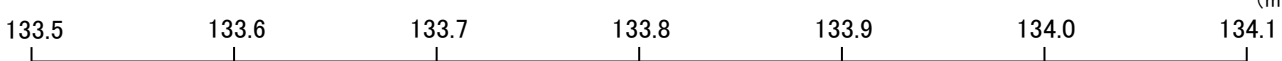
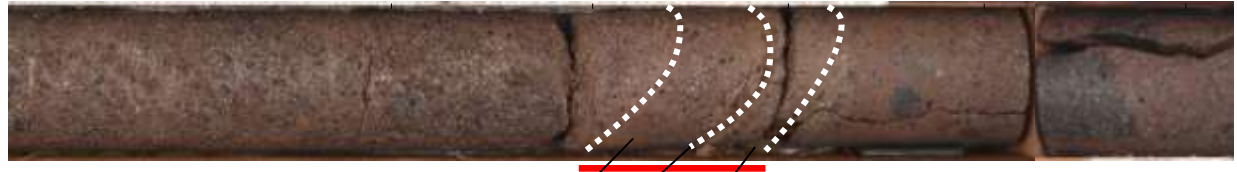
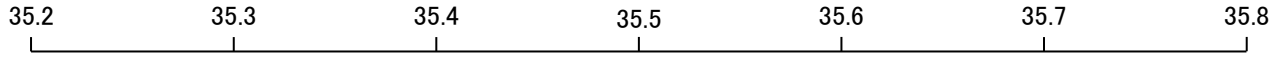

# S-4の性状一覧表(9/9)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <span style="color: red;">▬</span> 破碎部    ③-1 固結した粘土・砂状破碎部
S-4	A-14.5S (傾斜60°)	57.49 (EL8.85)	N20° E/74° NW	1	

# 位置図(S-5)




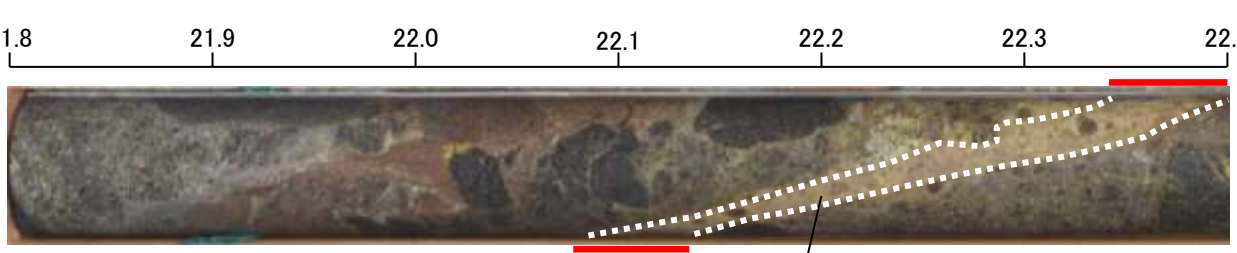
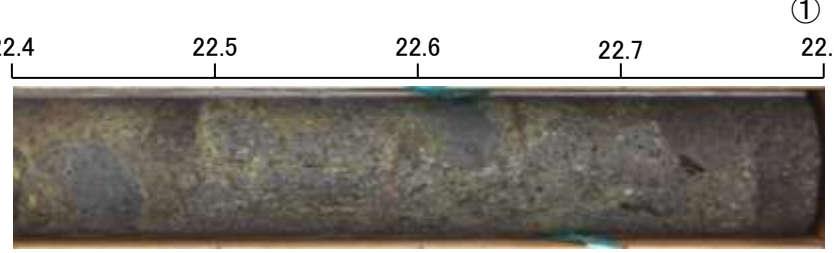
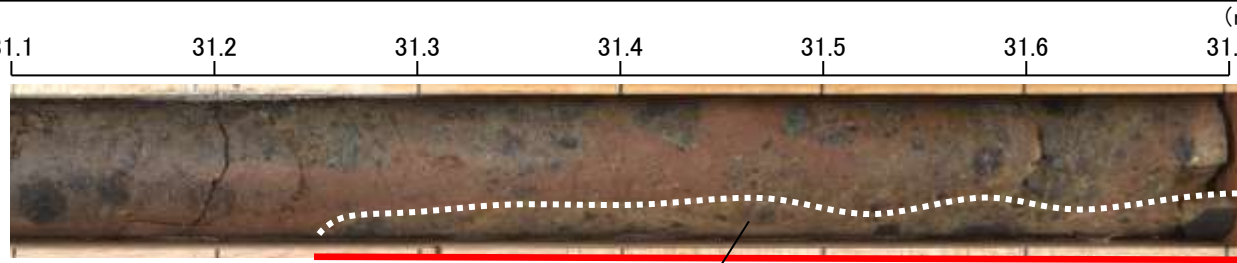
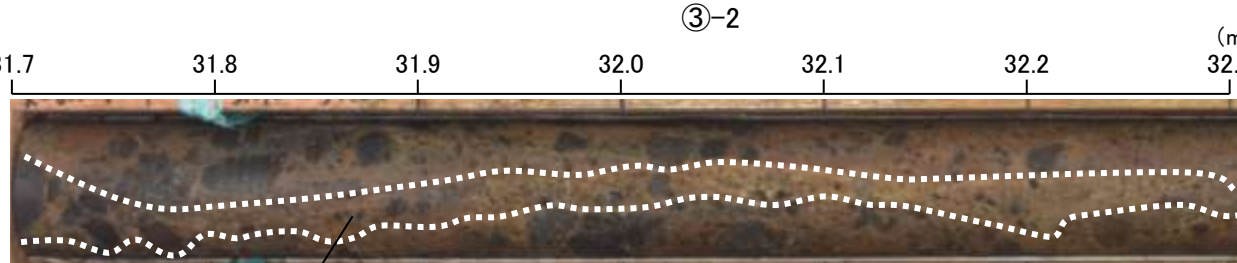
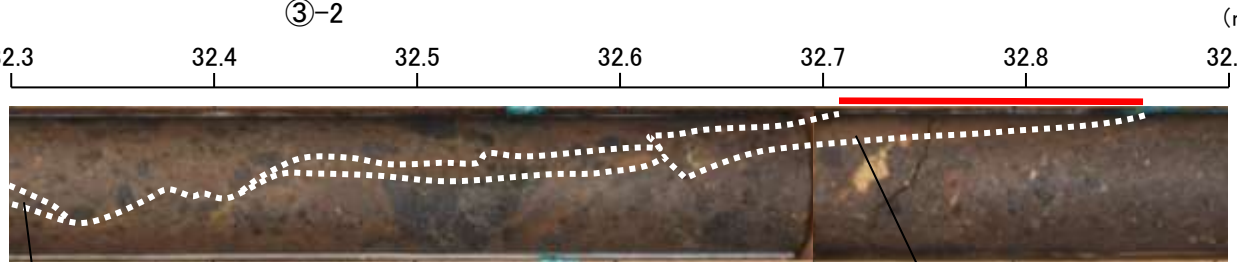
# S-5の性状一覧表(1/3)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	 破碎部 コア写真 <span style="margin-left: 20px;">① 粘土状破碎部</span> <span style="margin-left: 20px;">③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> <span style="margin-left: 20px;">③-2 固結した角礫状破碎部</span>
S-5	SC-2 (水平)	32.68 (EL-6.29)	—	1	  ①
	R-8	25.50 (EL-12.39)	N13° E/70° SE	2	  ①
	H-8	35.55 (EL-16.18)	—	※	 
	H-5.4-4E (傾斜15°)	133.87 (EL-23.59)	N19° E/83° SE	7	  ③-2 ① ③-2
	H-7.9-1 (傾斜86°)	35.47 (EL-24.32)	N25° E/79° SE	4	  ③-1

紫字: 第1073回審査会合以降の変更箇所

※: コア形状が不良で確認できない。

# S-5の性状一覧表(2/3)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	 破碎部 コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
S-5	R-8.1-1-3 (傾斜83°)	22.24 (EL-11.12)	N5° E/83° SE	2	 
	R-8.1-1-7 (傾斜86°)	32.20 (EL-21.17)	N14° E/87° SE	3	  

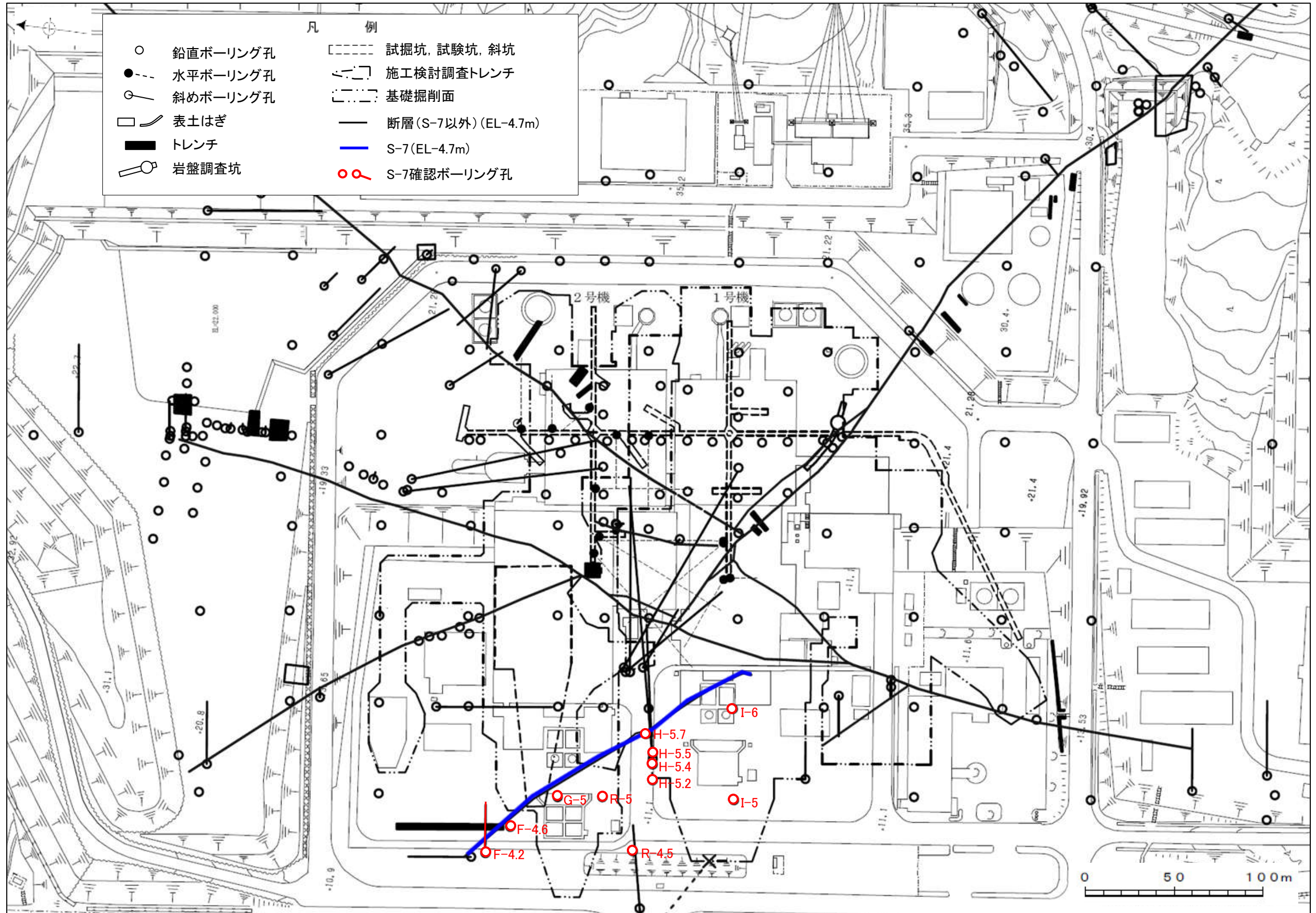
紫字: 第1073回審査会合以降の変更箇所

# S-5の性状一覧表(3/3)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 15px; height: 10px; background-color: red; margin-right: 5px;"></div> 破碎部                 </div> コア写真 <div style="float: right; text-align: right; font-size: small;">                     ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div>
S-5	R-8.1-1-8 (傾斜87°)	36.04 (EL-25.04)	N19° W/85° SE	4	<p>Core photograph showing two sections of a core sample. The top section is from 35.4m to 36.0m depth, and the bottom section is from 36.0m to 36.6m depth. A red line indicates the fracture zone. Labels ③-1 and ③-2 point to specific features within the fracture zone.</p>

紫字: 第1073回審査会合以降の変更箇所

# 位置図(S-7)



# S-7の性状一覧表(1/3)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <span style="color: red; font-weight: bold; margin-right: 5px;">▬</span> 破碎部                 <div style="margin-left: 20px;">                     ① 粘土状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div> </div>
S-7	I-5	112.19 (EL-93.95)	N41° W/60° SW	25	
	I-6	41.05 (EL-21.12)	—	※	
	H-5.7	13.20 (EL-0.55)	N56° W/65° SW	13	
	H-5.5	31.42 (EL-20.36)	N32° W/47° SW	15	

※:コア形状が不良で確認できない。

\* ③-2(岩片状)は、岩片に変形構造が認められること及び条線が認められないことから、固結した角礫状破碎部と判断。



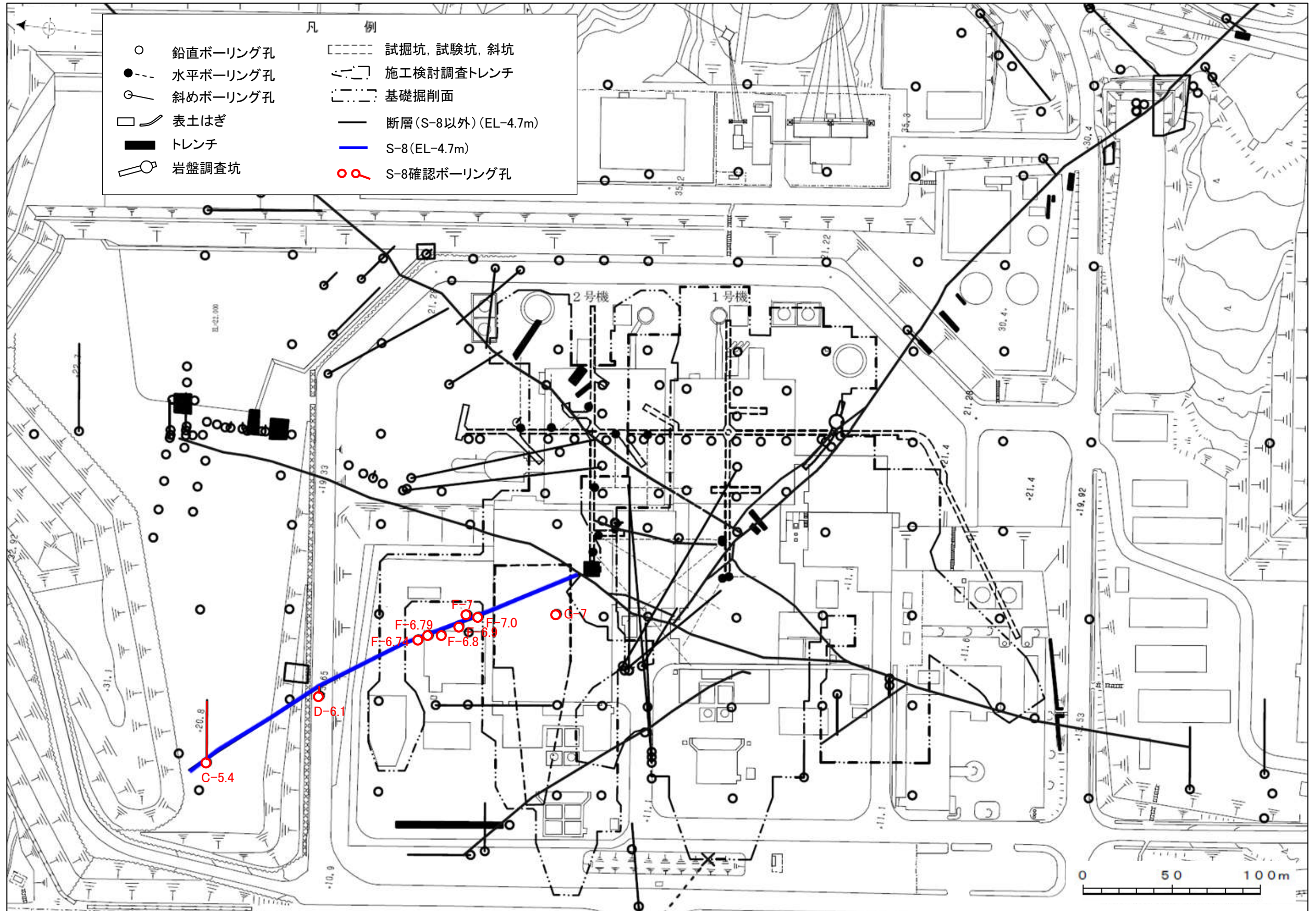
# S-7の性状一覧表(2/3)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
S-7	H-5.4	40.20 (EL-29.15)	N35° W/55° SW	14	
	H-5.2	55.15 (EL-44.08)	N19° W/67° SW	6	
	R-5	47.85 (EL-36.73)	—	3	
	R-4.5	84.20 (EL-73.13)	N43° W/55° SW	3	
	G-5	29.68 (EL-16.02)	—	3	

# S-7の性状一覧表(3/3)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="width: 15px; height: 10px; background-color: red; margin-right: 5px;"></div> <span>破碎部</span> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>① 粘土状破碎部</p> <p>③-1 固結した粘土・砂状破碎部</p> <p>③-2 固結した角礫状破碎部</p> </div>
S-7	F-4.6	29.70 (EL-18.60)	N17° W/76° SW	12	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>29.4      29.5      29.6      29.7      29.8      29.9      30.0</p> <p>(m)</p> </div> </div>
	F-4.2 (傾斜45°)	14.25 (EL1.04)	N44° W/73° SW	7	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>14.0      14.1      14.2      14.3      14.4      14.5      14.6</p> <p>(m)</p> </div> </div>

# 位置図(S-8)



# S-8の性状一覧表(1/2)

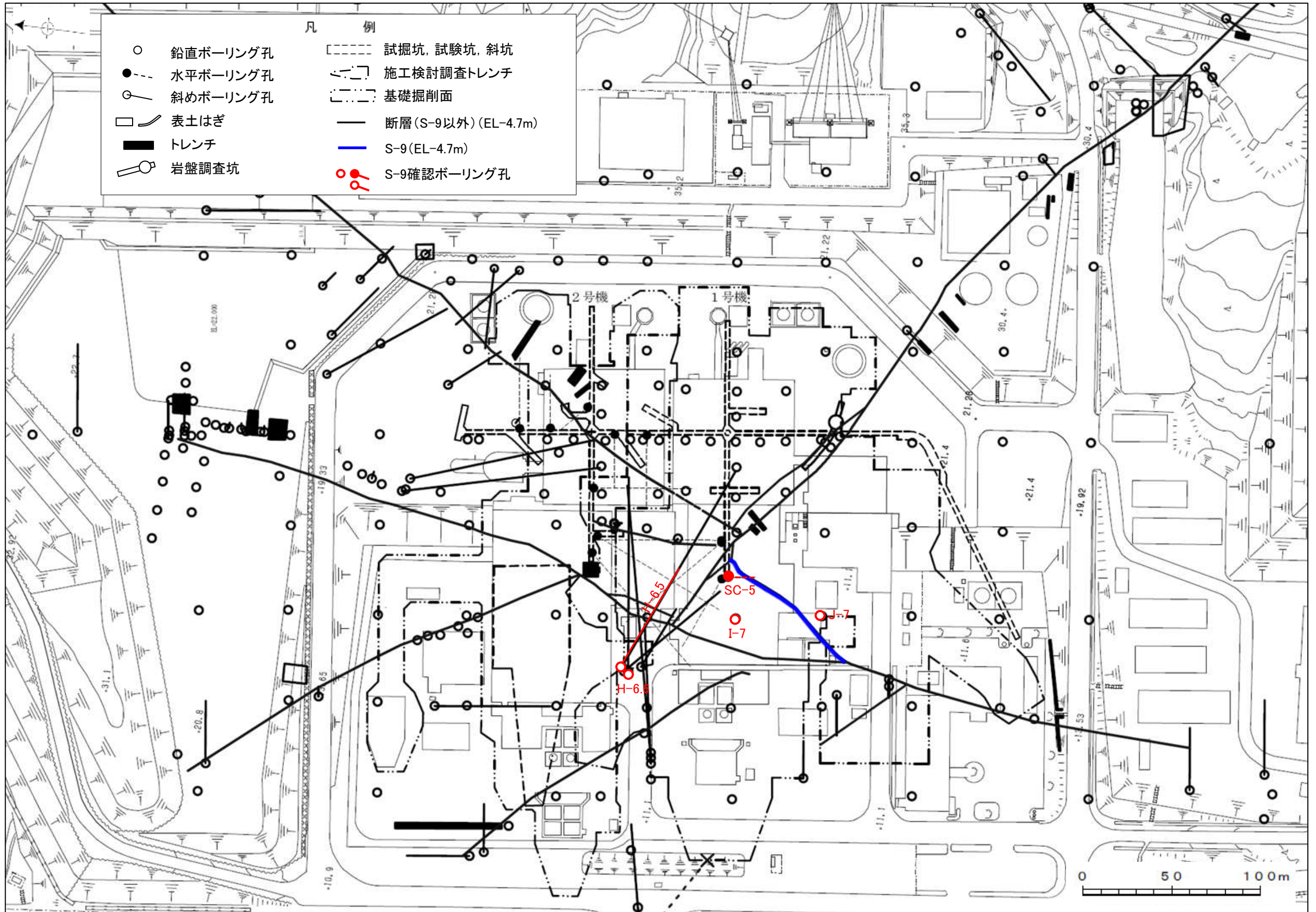
名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
S-8	G-7	51.65 (EL-36.40)	—	18	<p>51.4 51.5 51.6 51.7 51.8 51.9 52.0 (m)</p> <p>③-1(岩片状)</p>
	F-7.0	16.09 (EL-4.98)	N10° W/48° SW	6	<p>15.8 15.9 16.0 16.1 16.2 16.3 16.4 (m)</p> <p>③-1 ① ③-1</p>
	F-7	24.50 (EL-5.10)	—	13	<p>24.2 24.3 24.4 24.5 24.6 24.7 24.8 (m)</p> <p>③-2</p>
	F-6.9	19.15 (EL-8.06)	N3° E/48° NW	4	<p>18.8 18.9 19.0 19.1 19.2 19.3 19.4 (m)</p> <p>③-2 ①</p>
	F-6.8	23.75 (EL-12.63)	N14° W/56° SW	14	<p>23.4 23.5 23.6 23.7 23.8 23.9 24.0 (m)</p> <p>③-2 ③-1 ① ③-1</p>

\*③-1(岩片状)は、岩片に変形構造が認められること及び条線が認められないことから、固結した粘土・砂状破碎部と判断。

# S-8の性状一覧表(2/2)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red;">—</span> 破碎部                 <span style="margin-left: 20px;">③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> <span style="margin-left: 20px;">③-2 固結した角礫状破碎部</span> </div>
S-8	F-6.79	21.30 (EL-10.18)	N10° W/47° SW	18	
	F-6.74	22.06 (EL-10.99)	N10° W/46° SW	7	
	D-6.1 (傾斜80°)	21.65 (EL-7.50)	N21° W/57° SW	12	
	C-5.4 (傾斜45°)	19.40 (EL-7.51)	N31° W/51° SW	8	

# 位置図(S-9)



# S-9の性状一覧表(1/2)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
S-9	J-7	13.51 (EL2.97)	N36° E/72° NW	19	<p>① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部</p>
	SC-5 (水平)	10.39 (EL-6.13)	N35° E/41° NW	12	
	I-7	53.10 (EL-32.63)	—	2	
	H-6.5 (傾斜62°)	80.75 (EL-60.28)	N36° E/61° NW	13	

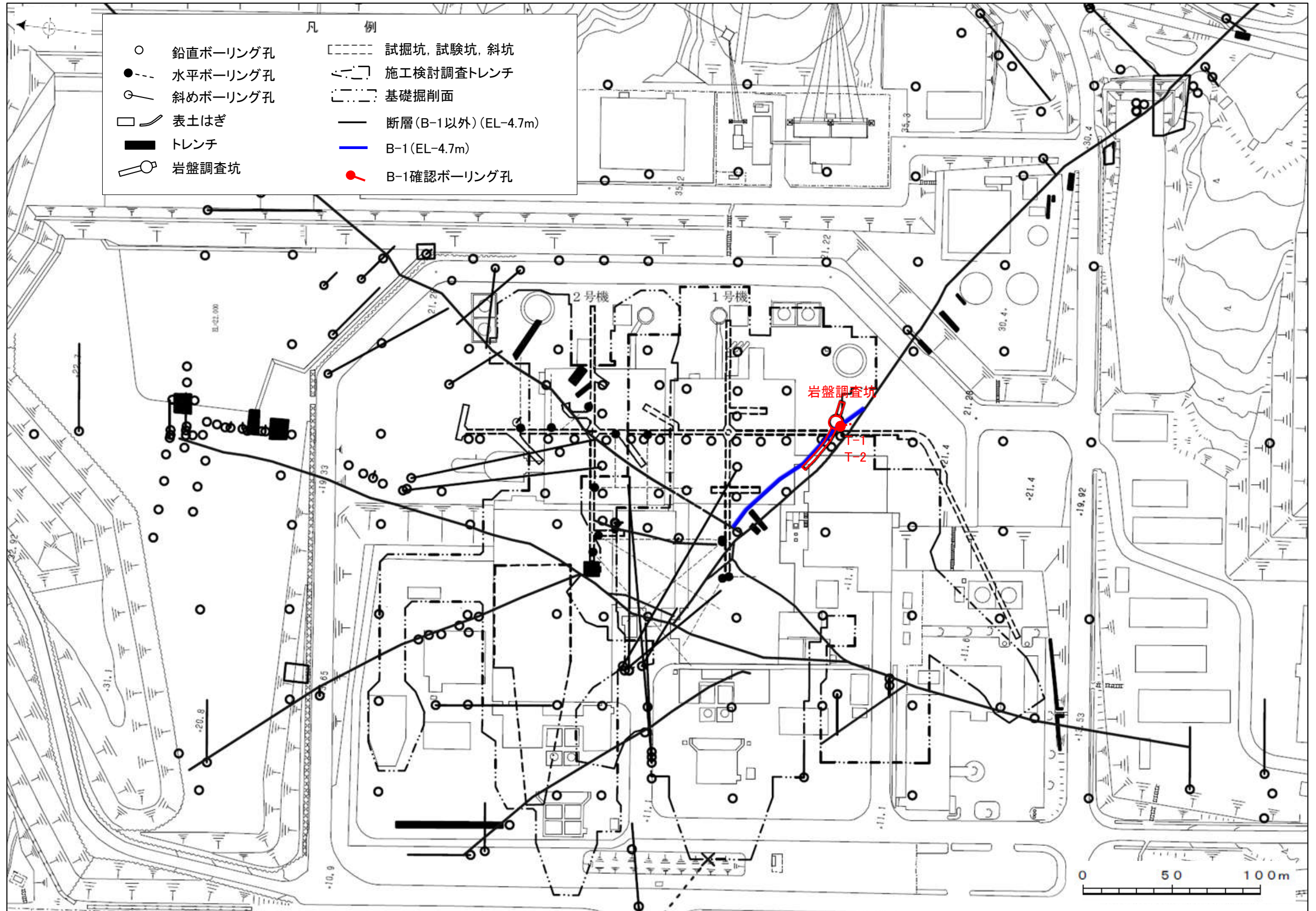
\* ③-2(岩片状)は、岩片に変形構造が認められること及び条線が認められないことから、固結した角礫状破碎部と判断。

# S-9の性状一覧表(2/2)

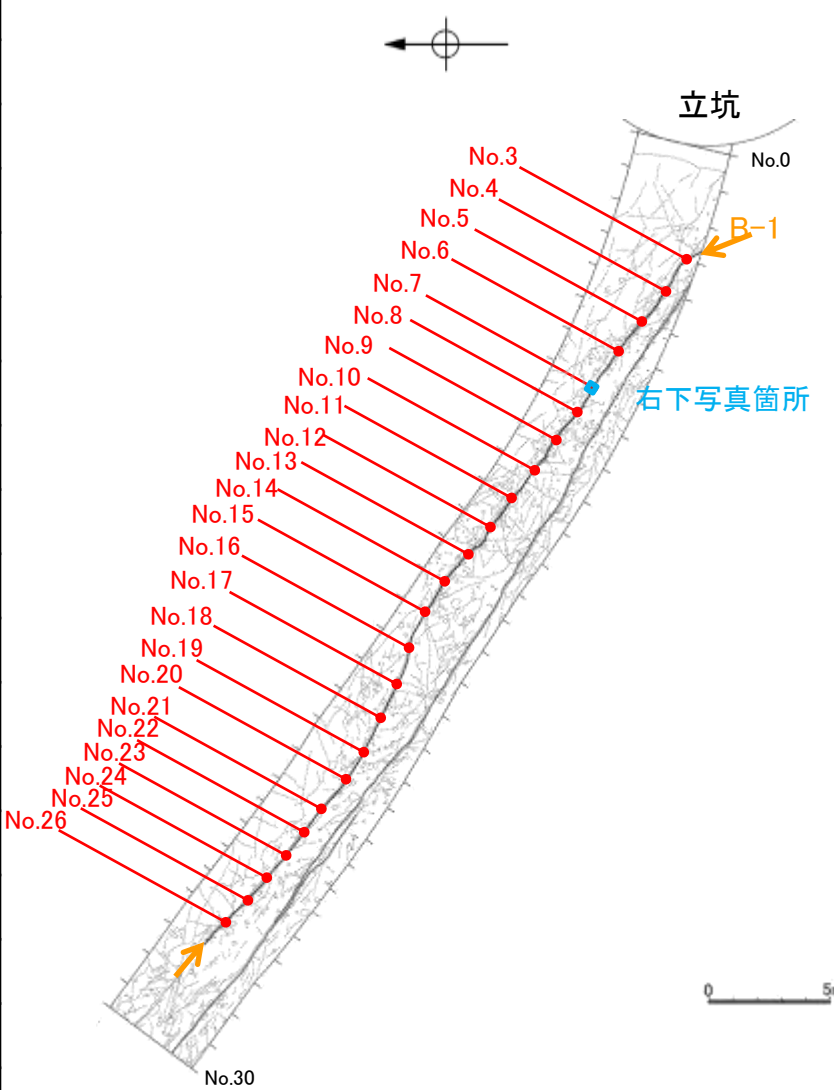
名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <span style="color: red;">▬</span> 破碎部    ③-1 固結した粘土・砂状破碎部
S-9	H-6.6	123.47 (EL-112.37)	N62° E/63° NW	4	



# 位置図(B-1)



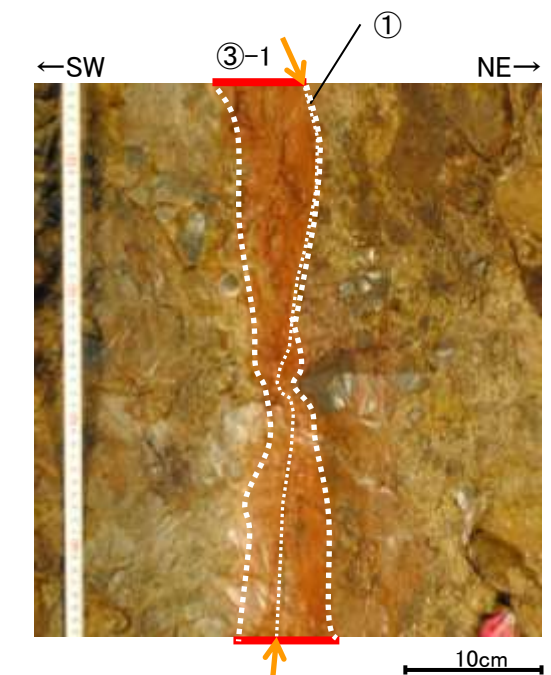
# B-1の性状一覧表(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		露頭写真
		切羽番号	幅※(cm)	
B-1	N49° W/86° NE	No.3	4	 <p>立坑</p> <p>右下写真箇所</p> <p>岩盤調査坑底盤 スケッチ</p> <p>0 5m</p>
		No.4	4	
		No.5	9	
		No.6	10	
		No.7	10	
		No.8	5	
		No.9	10	
		No.10	6	
		No.11	7	
		No.12	10	
		No.13	10	
		No.14	7	
		No.15	1	
		No.16	4	
		No.17	7	
		No.18	7	
		No.19	7	
		No.20	8	
		No.21	1	
		No.22	5	
		No.23	5	
		No.24	5	
		No.25	6	
		No.26	3	

▬ 破碎部  
 ① 粘土状破碎部  
 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部



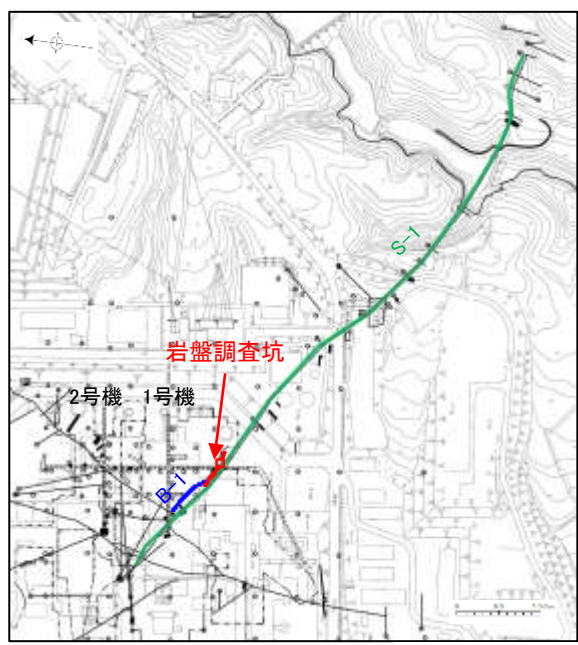
岩盤調査坑写真(全景写真)



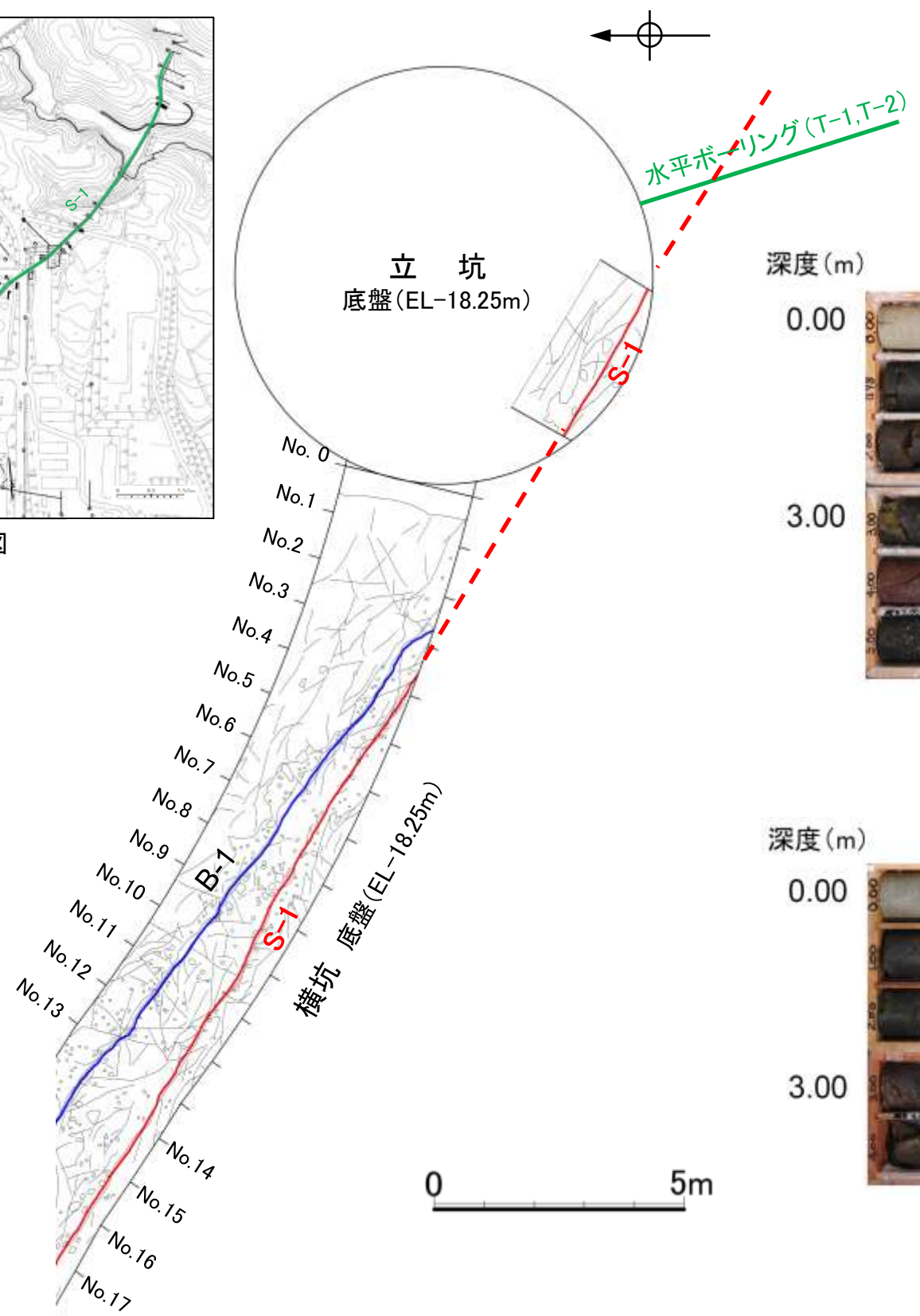
No.7付近底盤写真(破碎部加筆)

代表写真箇所 ※:底盤面で測定した幅

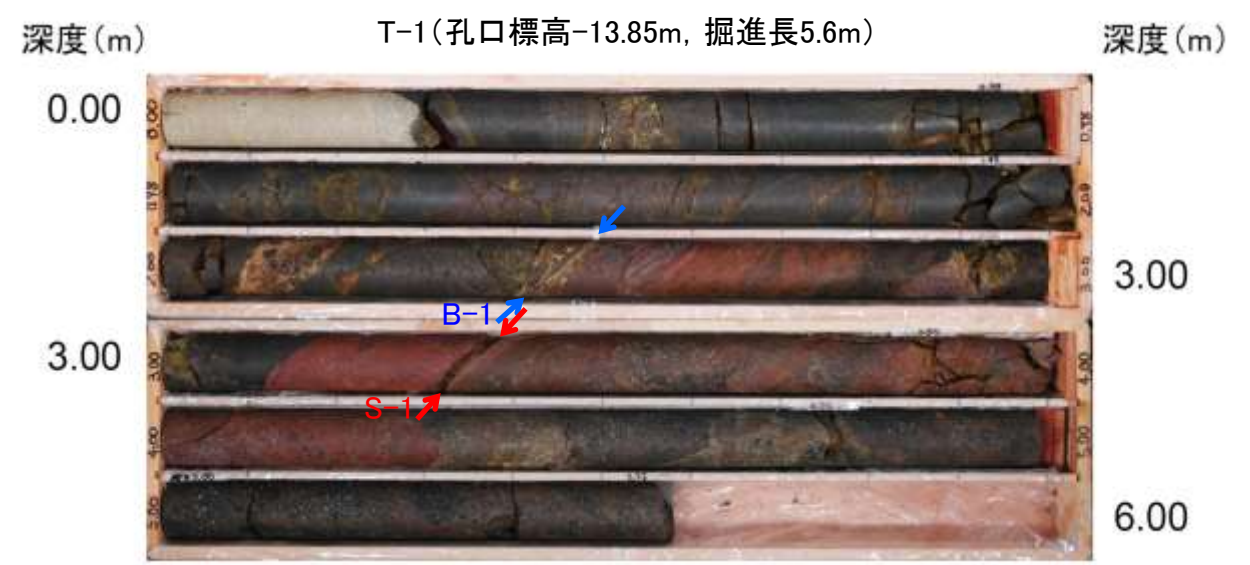
# B-1の性状(ボーリング)(1/1)



位置図

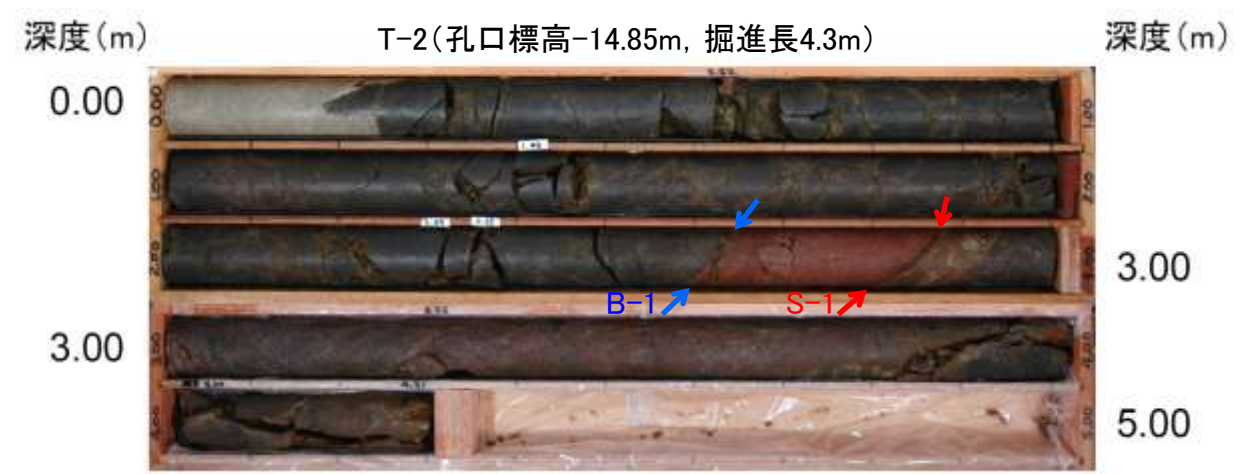


岩盤調査坑  
ボーリング調査位置図



コア写真(T-1孔)

主せん断面位置  
(赤:S-1)  
(青:B-1)

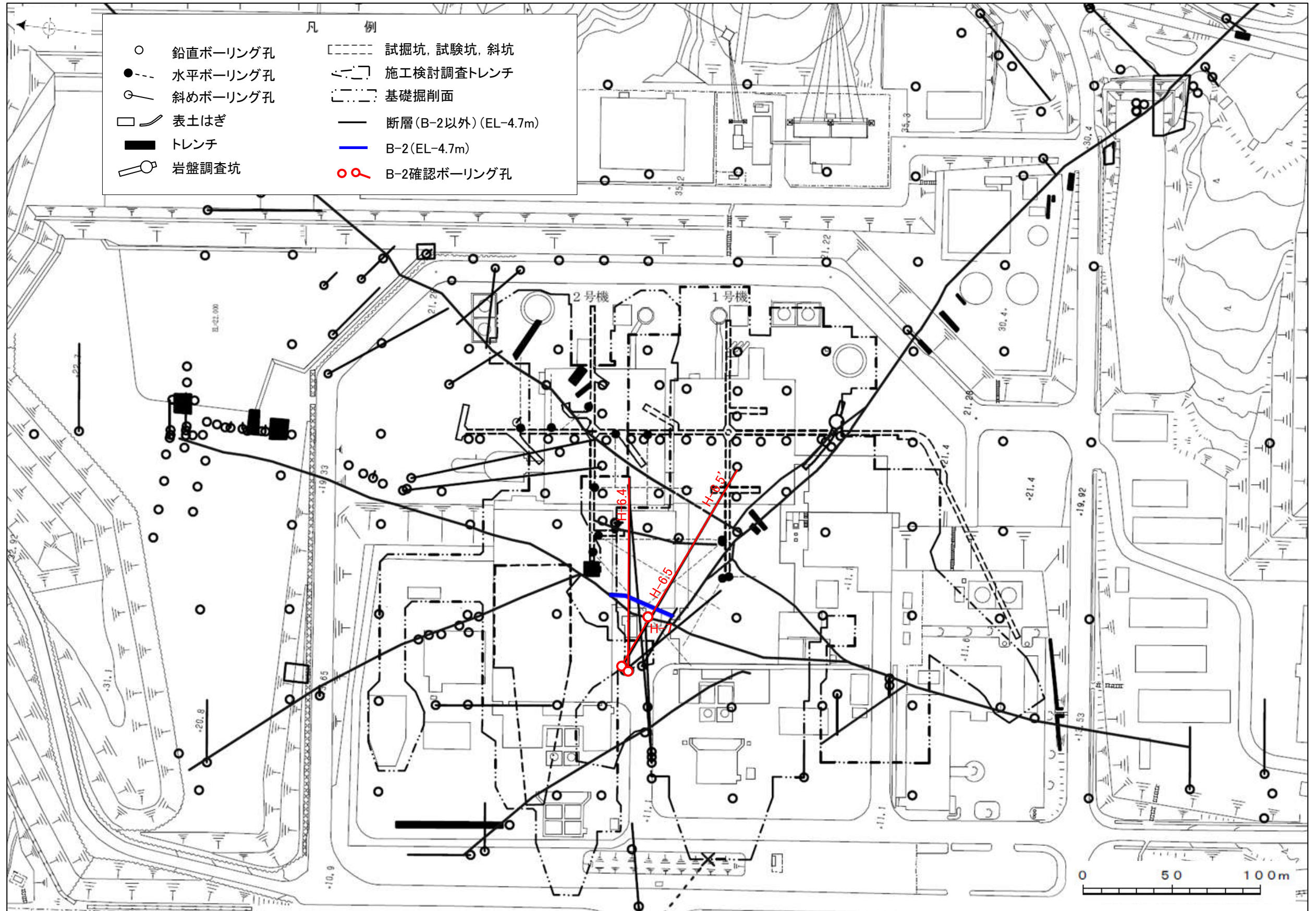


コア写真(T-2孔)

主せん断面位置  
(赤:S-1)  
(青:B-1)

※上記ボーリングにおいて、B-1は、S-1に近接し、S-1の破碎の影響を受けている可能性があることから、主せん断面の位置のみ示し、破碎部の幅の平均値の算定には用いない。

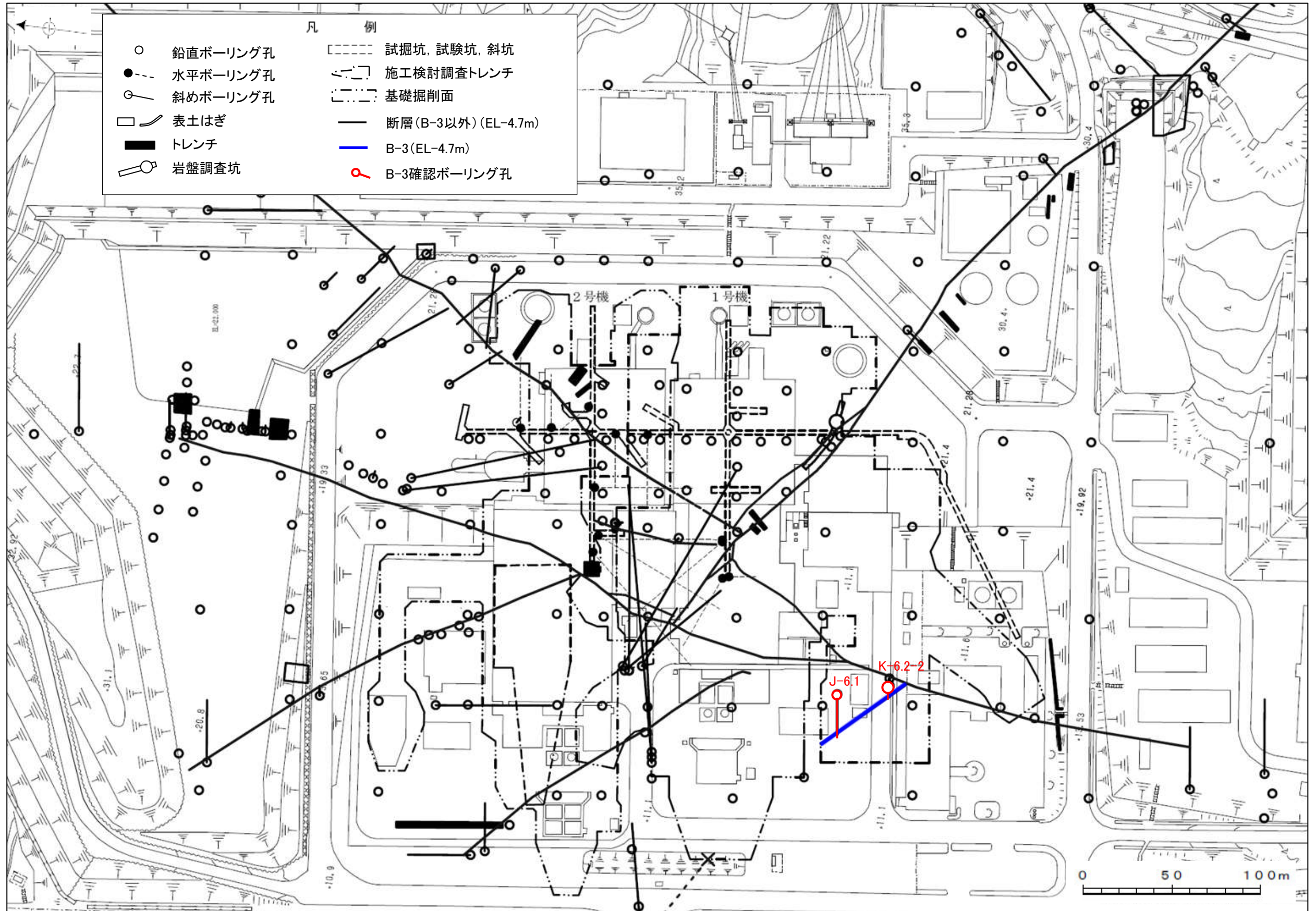
# 位置図(B-2)



# B-2の性状一覧表(1/1)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>== 破碎部</span> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <span>① 粘土状破碎部</span> <span>③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> </div> </div>
B-2	H-6.5 (傾斜62°)	46.32 (EL-29.88)	N31° E/62° NW	4	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">46.0    46.1    46.2    46.3    46.4    46.5    46.6    46.7 (m)</div> </div>
	H-6.5' (傾斜45°)	40.95 (EL-17.95)	N28° E/50° NW	2	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">40.5    40.6    40.7    40.8    40.9    41.0    41.1    41.2 (m)</div> </div>
	H-6.4 (傾斜45°)	43.10 (EL-19.39)	N13° W/46° SW	10	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">42.6    42.7    42.8    42.9    43.0    43.1    43.2    43.3    43.4    43.5 (m)</div> </div>
	H-7	30.30 (EL-14.38)	—	9	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">29.7    29.8    29.9    30.0    30.1    30.2    30.3    30.4    30.5    30.6 (m)</div> </div>

# 位置図(B-3)



# B-3の性状一覧表(1/1)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red; font-weight: bold;">▬</span> 破碎部           <span style="margin-left: 20px;">① 粘土状破碎部</span> <span style="margin-left: 20px;">③-2 固結した角礫状破碎部</span> </div>
B-3	J-6.1 (傾斜50°)	27.90 (EL-10.31)	N37° W/84° NE	3	
	K-6.2-2 (傾斜80°)	21.39 (EL-10.03)	N47° W/74° NE	2	

---

(2) K-1～K-26の性状一覧表



# 破碎部性状一覧表(海岸部)

■破碎部の性状の一覧表を以下に示す。

断層の破碎部性状一覧表(1/4)

名称	断層長さ※1	一般走向 (真北)	傾斜	調査内容							破碎部の幅 (cm)※3	破碎部の分類	
				調査方法	地点名・孔名	確認深度(m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	地表面で 測定した幅(cm)	破碎部の幅 (cm)※2			
K-1	205m	N4° E	58° SE	露頭観察	a	—	地表面	—	7	6	10 (19)	③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部	
					b	—	地表面	—	8	7			
					c	—	地表面	—	5	4			
					d	—	地表面	—	10	8			
					e	—	地表面	—	15	13			
					f	—	地表面	—	22	19			
					g	—	地表面	—	10	8			
					h	—	地表面	—	15	13			
					i	—	地表面	—	12	10			
					j	—	地表面	—	15	13			
					k	—	地表面	—	12	10			
K-2	180m以上	N19° E	72° SE	露頭観察	a	—	地表面	—	10	10	28 (94)	① 粘土状破碎部 ②-1 砂状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部	
					b	—	地表面	—	10	10			
					c	—	地表面	—	10	10			
					d	—	地表面	—	18	17			
					e	—	地表面	—	10	10			
					f	—	地表面	—	28	27			
					g	—	地表面	—	15	14			
					h	—	地表面	—	30	29			
					i	—	地表面	—	48	46			
					j	—	地表面	—	40	38			
					k	—	地表面	—	13	12			
				ボーリング調査		G-1.5-35	41.58	EL-19.36	N16° E/85° NW	—			18
						G-1.5-50	42.42	EL-28.01	N 4° E/79° SE	—			25
						G-1.5-80	77.82	EL-72.12	N8° E/72° SE	—			56
							80.19	EL-74.48	N 6° E/75° SE	—			58
						G-1.9-20	50.10	EL-13.25	N 7° E/81° SE	—			4
						G-1.9-27	47.81	EL-17.82	N31° E/83° SE	—			31
							19.65	EL-6.36	N23° E/75° SE	—			14
						H-0.9-40	20.93	EL-9.76	N27° E/71° SE	—			2
							21.57	EL-10.25	N31° E/83° SE	—			1
						H-0.9-60	23.15	EL-13.78	N6° E/75° SE	—			(3)
							27.35	EL-19.43	N8° E/76° SE	—			18
						H-0.9-70	29.82	EL-21.75	N3° W/79° NE	—			21
							36.51	EL-29.00	N9° E/80° SE	—			22
						H-1.1-70	48.17	EL-38.48	N15° E/80° SE	—			94
							54.12	EL-45.50	N26° E/80° SE	—			44
						H-1.1-80	64.13	EL-56.38	N13° E/79° SE	—			16
							64.79	EL-57.03	N4° W/62° NE	—			4
							65.18	EL-57.41	N14° W/83° NE	—			1
							66.27	EL-58.48	N5° W/73° NE	—			6
		66.90	EL-59.10	N6° E/84° SE	—		(3)						
		H-1.1-87	84.30	EL-77.40	N20° E/81° SE	—	45						
		H-1.1	103.77	EL-96.99	N21° E/80° SE	—	71						
			139.30	EL-131.95	N6° E/78° SE	—	75						
		H-1.3-88	141.57	EL-134.21	N13° E/80° SE	—	17						
			160.54	EL-151.90	N7° W/81° NE	—	10						
		H-1.5-95	162.56	EL-153.91	N12° E/89° SE	—	4						

※1: 露頭もしくはボーリングにより破碎部が認められないことを確認した地点までの長さ。端部が確認できなかったものをOm以上と記載。海岸部において、延長部が海中となる箇所は、断層を直接確認した長さ及び延長の露岩域で断層が確認されなかった地点までの長さをそれぞれ算定し、Om以上Om以下という記載とした。

※2: 地表面で測定した幅はP.2.4-1-3の考えに基づき、面の傾斜を考慮し補正。また、幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記。

※3: すべての破碎部の平均値(下段括弧内は最大値)平均値は表中□で算定。なお、同一孔で複数破碎部が確認される場合、幅が大きい破碎部の値を用いた。

断層の破碎部性状一覧表(2/4)

名称	断層長さ※1	一般走向 (真北)	傾斜	調査内容							破碎部の幅 (cm)※3	破碎部の分類
				調査方法	地点名・孔名	確認深度(m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	地表面で 測定した幅 (cm)	破碎部の幅 (cm)※2		
K-3	200m以上	N16° E	70° SE	露頭観察	a	—	地表面	—	18	17	12 (20)	③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	18	17		
					c	—	地表面	—	20	19		
					d	—	地表面	—	10	9		
					e	—	地表面	—	12	11		
					f	—	地表面	—	18	17		
				ボーリング調査	M-2.2	48.83	EL-31.52	N2° W/81° NE	—	11		
M-2.2-2	78.25	EL-72.57	N6° W/74° NE	—	1							
N-2.3-1	66.35	EL-32.48	N18° E/72° SE	—	4							
N-2.3-2	85.00	EL-67.73	N30° E/84° SE	—	11							
N-2.3-35	72.43	EL-35.96	N2° E/70° SE	—	20							
O-2.1-40	85.06	EL-48.85	N20° E/83° SE	—	6							
K-4	45m以上	N56° W	85° NE	露頭観察	A	—	地表面	—	26	26	13 (26)	① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	6	6		
					c	—	地表面	—	10	10		
					d	—	地表面	—	12	12		
					e	—	地表面	—	10	10		
					f	—	地表面	—	18	18		
				ボーリング調査	G-1.9-20	71.29	EL-20.49	N57° W/80° NE	—	5		
G-1.9-27	84.69	EL-34.56	N52° W/68° NE	—	15							
K-5	75m以上	N63° W	64° NE	露頭観察	a	—	地表面	—	15	13	11 (18)	① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	20	18		
					c	—	地表面	—	20	18		
					d	—	地表面	—	12	11		
					e	—	地表面	—	5	4		
					f	—	地表面	—	7	6		
				ボーリング調査	G-1.5-35	40.06	EL-18.49	N62° W/88° NE	—	18		
G-1.5-50	46.73	EL-31.31	N69° W/72° NE	—	8							
G-1.9-20	68.89	EL-19.67	N70° W/60° NE	—	5							
G-1.9-27	79.33	EL-32.13	N60° W/72° NE	—	10							
K-6	25m以上 130m以下	N2° W	60° NE	露頭観察	a	—	地表面	—	6	5	7 (9)	③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	10	9		
K-7	20m以上 55m以下	N8° W	88° NE	露頭観察	a	—	地表面	—	11	11	8 (11)	③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	2	2		
					c	—	地表面	—	11	11		
K-8	35m以上 70m以下	N15° W	80° NE	露頭観察	a	—	地表面	—	21	21	11 (21)	③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	10	10		
					c	—	地表面	—	4	4		
K-9	40m以上 120m以下	N10° E	88° SE	露頭観察	a	—	地表面	—	12	12	7 (12)	③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	4	4		
					c	—	地表面	—	6	6		
K-10	60m	N16° W	62° NE	露頭観察	a	—	地表面	—	10	9	9 (10)	③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	11	10		
					c	—	地表面	—	9	8		
K-11	60m	N14° E	70° NW	露頭観察	a	—	地表面	—	8	8	9 (9)	③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	10	9		
					c	—	地表面	—	10	9		

※1: 露頭もしくはボーリングにより破碎部が認められないことを確認した地点までの長さ。端部が確認できなかったものを〇m以上と記載。海岸部において、延長部が海中となる箇所は、断層を直接確認した長さ及び延長の露岩域で断層が確認されなかった地点までの長さをそれぞれ算定し、〇m以上〇m以下という記載とした。

※2: 地表面で測定した幅はP.2.4-1-3の考えに基づき、面の傾斜を考慮し補正。また、幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記。

※3: すべての破碎部の平均値(下段括弧内は最大値)平均値は表中□で算定。なお、同一孔で複数破碎部が確認される場合、幅が大きい破碎部の値を用いた。

断層の破碎部性状一覧表(3/4)

名称	断層長さ※1	走向 (真北)	傾斜	調査内容							破碎部の幅 (cm)※3	破碎部の分類	
				調査方法	地点名・孔名	確認深度(m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	地表面で 測定した幅 (cm)	破碎部の幅 (cm)※2			
K-12	50m以上 310m以下	N21° W	72° NE	ボーリング 調査	H-2.3-25	27.15	EL-1.58	N28° W/62° NE	—	10	13 (21)	① 粘土状破碎部 ②-1 砂状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部	
						27.49	EL-1.73	N17° W/58° NE	—	7			
						49.99	EL-28.40	N29° W/71° NE	—	21			
						72.80	EL-55.04	N13° W/79° NE	—	12			
						75.72	EL-57.69	N9° W/86° NE	—	(3)			
G'-1.5-30	65.67	EL-28.19	N31° W/74° NE	—	7								
K-13	55m以上 300m以下	N12° E	74° SE	ボーリング 調査	H-1.5-40	43.18	EL-19.73	N13° E/72° SE	—	7	16 (27)	① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部	
						43.81	EL-20.13	N8° E/65° SE	—	14			
						59.40	EL-49.28	N16° E/81° SE	—	27			
						47.80	EL-19.25	N16° E/77° SE	—	8			
						G'-1.5-30	48.07	EL-19.39	N 5° E/75° SE	—			2
K-14	40m以上	N7° E	66° NW	ボーリング 調査	H- -2.18	185.01	EL-181.37	N17° E/68° NW	—	20	37 (72)	① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部	
						132.56	EL-128.87	N24° E/58° NW	—	24			
						118.76	EL-115.12	N2° W/64° SW	—	48			
						90.03	EL-86.37	N20° E/75° NW	—	28			
						50.21	EL-46.57	N10° W/70° SW	—	31			
						31.57	EL-27.40	N5° E/68° NW	—	72			
						32.28	EL-28.10	N7° W/64° SW	—	4			
K-15	30m以上	N4° E	68° SE	ボーリング 調査	H- -1.3	13.13	EL-9.44	NS/70° E	—	(3)	14 (33)	① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部	
						13.48	EL-9.79	N2° E/65° SE	—	1			
						27.05	EL-23.41	N15° E/69° SE	—	33			
						41.51	EL-37.85	N4° W/64° NE	—	10			
						42.25	EL-38.59	N13° E/64° SE	—	9			
						46.36	EL-42.70	N4° E/80° SE	—	7			
H- -0.3-65	60.54	EL-51.18	N8° W/60° NE	—	11								
K-16	20m以上	N10° W	67° NE	ボーリング 調査	H- -2.0	19.73	EL-16.09	N24° W/70° NE	—	22	23 (51)	① 粘土状破碎部 ②-1 砂状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部	
						25.04	EL-21.40	N18° W/68° NE	—	51			
						36.28	EL-32.64	N22° W/63° NE	—	15			
						43.35	EL-39.71	N19° W/74° NE	—	21			
						57.55	EL-53.91	N8° W/72° NE	—	26			
						62.46	EL-58.82	N21° W/63° NE	—	22			
						H- -1.5	74.35	EL-70.71	N25° W/64° NE	—			16
							77.93	EL-74.29	N7° E/63° SE	—			21
							84.28	EL-80.64	N9° E/56° SE	—			9
						H- -1.3	96.35	EL-92.66	N7° W/74° NE	—			14
							96.74	EL-93.05	N1° W/72° NE	—			3
							97.30	EL-93.61	NS/48° E	—			13
						H- -1.2	97.44	EL-93.75	N4° W/66° NE	—			2
							113.68	EL-110.04	N9° W/64° NE	—			3
							114.05	EL-110.41	N16° W/73° NE	—			14
114.75	EL-111.11	N7° E/78° SE	—	4									
K-17	不明	N18° E	78° SE	ボーリング 調査	H- -3.0-45	70.46	EL-46.18	N8° E/86° SE	—	13	12 (17)	① 粘土状破碎部 ②-1 砂状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部	
						74.00	EL-53.05	N5° E/70° SE	—	8			
						74.26	EL-53.25	N30° E/82° SE	—	10			
						78.23	EL-60.44	N25° E/85° SE	—	14			
						86.07	EL-70.90	N21° E/81° SE	—	4			
						91.04	EL-78.87	N2° E/77° SE	—	17			
						91.53	EL-79.31	N33° E/67° SE	—	(3)			

※1: 露頭もしくはボーリングにより破碎部が認められないことを確認した地点までの長さ。端部が確認できなかったものをOm以上と記載。海岸部において、延長部が海中となる箇所は、断層を直接確認した長さ及び延長の露岩域で断層が確認されなかった地点までの長さをそれぞれ算定し、Om以上Om以下という記載とした。

※2: 地表面で測定した幅はP.2.4-1-3の考えに基づき、面の傾斜を考慮し補正。また、幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記。

※3: すべての破碎部の平均値(下段括弧内は最大値)平均値は表中□で算定。なお、同一孔で複数破碎部が確認される場合、幅が大きい破碎部の値を用いた。

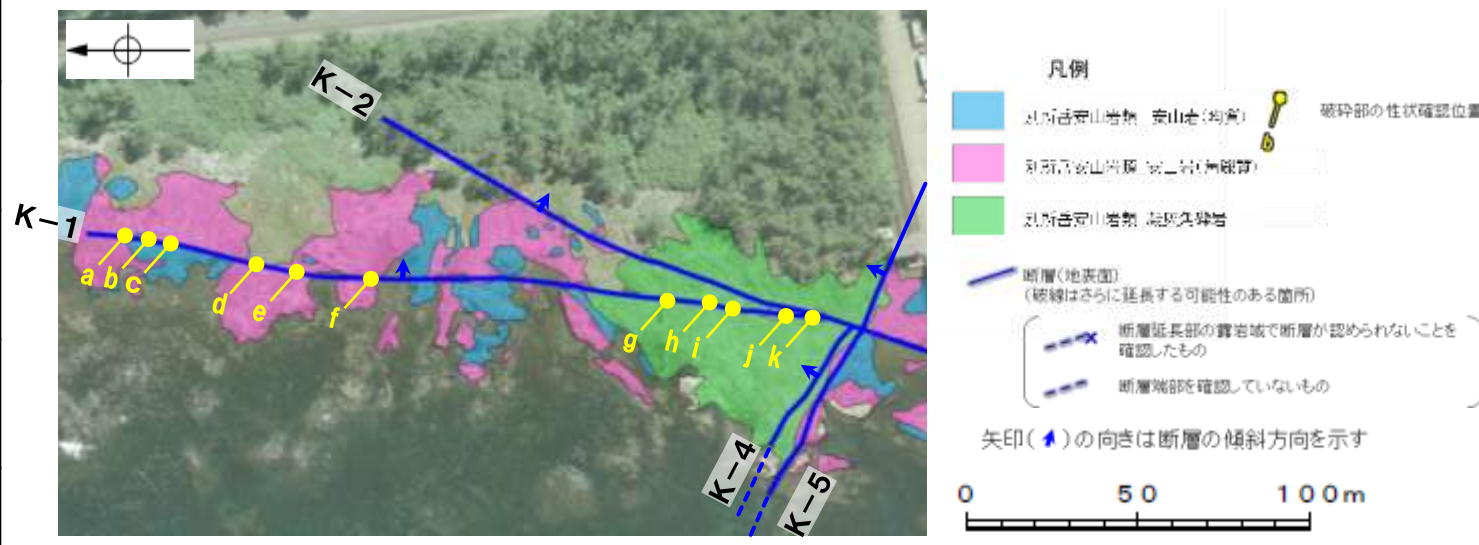

断層の破碎部性状一覧表(4/4)

名称	断層長さ※1	走向 (真北)	傾斜	調査内容							破碎部の幅 (cm)※3	破碎部の分類
				調査方法	地点名・孔名	確認深度(m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	地表面で 測定した幅 (cm)	破碎部の幅 (cm)※2		
K-18	40m以上	N8° E	78° SE	ボーリング 調査	H-0.2-60	84.35	EL-68.32	N26° E/80° SE	—	55	51 (55)	① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
						116.75	EL-108.04	N2° E/81° SE	—	47		
						117.50	EL-108.77	N1° W/82° NE	—	12		
						125.24	EL-116.24	N7° E/69° SE	—	2		
K-19	不明	N12° W	65° NE	ボーリング 調査	H- -1.0	113.16	EL-109.50	NS/57° E	—	5	8 (11)	① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
						114.61	EL-110.95	N35° W/66° NE	—	1		
						129.91	EL-124.25	N5° E/65° SE	—	2		
						130.88	EL-125.20	N19° W/64° NE	—	11		
K-20	不明	N15° E	63° SE	ボーリング 調査	H- -2.6	13.09	EL-9.43	N3° E/65° SE	—	6	5 (6)	① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
						29.44	EL-25.77	N28° E/62° SE	—	5		
K-21	不明	N4° E	66° SE	ボーリング 調査	H- -3.0-45	32.84	EL-19.58	N9° E/62° SE	—	3	11 (19)	① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
						33.37	EL-21.92	NS/70° E	—	19		
K-22	40m以上	N9° W	73° NE	ボーリング 調査	H-0.9-40	25.68	EL-10.24	N2° W/57° NE	—	2	7 (11)	① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
						26.90	EL-11.02	N21° W/70° NE	—	9		
					H-0.9-50	26.52	EL-14.05	N13° E/69° SE	—	1		
						29.00	EL-15.95	N1° E/56° SE	—	(3)		
					H-0.9-60	27.44	EL-17.49	N4° W/85° NE	—	2		
						31.58	EL-21.08	N16° E/74° SE	—	(3)		
					H-0.9-70	39.68	EL-31.02	N12° W/87° NE	—	2		
						46.91	EL-39.04	N12° E/79° SE	—	2		
					H-0.9-75	49.65	EL-41.69	N10° E/89° SE	—	2		
						58.59	EL-48.28	N7° E/77° SE	—	(3)		
					G-1.5-35	64.79	EL-32.67	NS/67° E	—	1		
						65.18	EL-32.90	N21° W/79° NE	—	9		
					G-1.5-50	71.27	EL-50.11	N21° W/76° NE	—	11		
						81.50	EL-23.98	N25° W/85° NE	—	4		
G-1.9-20	82.30	EL-24.26	N12° W/81° NE	—	10							
	82.55	EL-24.34	N12° W/73° NE	—	5							
	82.76	EL-24.42	N21° W/54° NE	—	4							
	83.07	EL-24.52	N28° W/51° NE	—	3							
K-23	20m以上	N10° E	65° SE	ボーリング 調査	H- -2.3	12.21	EL-8.54	N21° W/63° NE	—	4	8 (17)	① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
						12.80	EL-9.13	N15° E/55° SE	—	5		
					H- -2.18	26.91	EL-23.27	N3° W/63° NE	—	6		
						30.88	EL-27.24	N6° W/63° NE	—	2		
					H- -2.12	33.27	EL-29.63	N23° E/69° SE	—	(3)		
						40.01	EL-36.37	N4° E/69° SE	—	5		
					H- -2.0	61.95	EL-58.31	N15° E/73° SE	—	9		
						71.32	EL-67.68	N13° E/72° SE	—	2		
					H- -1.7	75.67	EL-72.03	N4° E/65° SE	—	17		
						90.60	EL-86.96	N30° E/74° SE	—	9		
H- -1.5	108.99	EL-105.30	N29° E/60° SE	—	14							
K-24	105m以下	N58° W	89° NE	ボーリング 調査	H-2.3-25	56.18	EL-13.85	N61° W/86° SW	—	11	10 (11)	②-1 砂状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部
						44.78	EL-29.64	N62° W/86° NE	—	4		
						46.31	EL-31.03	N52° W/87° NE	—	9		
K-25	25m以上	N1° W	65° NE	ボーリング 調査	H- -2.18	59.88	EL-56.24	N12° W/67° NE	—	20	12 (20)	① 粘土状破碎部 ②-1 砂状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
						83.56	EL-79.92	N12° E/65° SE	—	(3)		
						87.63	EL-83.99	N2° W/63° NE	—	2		
K-26	35m以上	N14° E	68° SE	ボーリング 調査	H- -3.0-65	38.34	EL-31.11	N25° E/71° SE	—	8	9 (10)	① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
						42.59	EL-37.50	N2° E/66° SE	—	10		

※1: 露頭もしくはボーリングにより破碎部が認められないことを確認した地点までの長さ。端部が確認できなかったものをOm以上と記載。海岸部において、延長部が海中となる箇所は、断層を直接確認した長さ及び延長の露岩域で断層が確認されなかった地点までの長さをそれぞれ算定し、Om以上Om以下という記載とした。  
 ※2: 地表面で測定した幅はP.2.4-1-3の考え方にに基づき、面の傾斜を考慮し補正。また、幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記。

※3: すべての破碎部の平均値(下段括弧内は最大値)平均値は表中□で算定。なお、同一孔で複数破碎部が確認される場合、幅が大きい破碎部の値を用いた。

# K-1の性状一覧表 露頭観察(1/1)

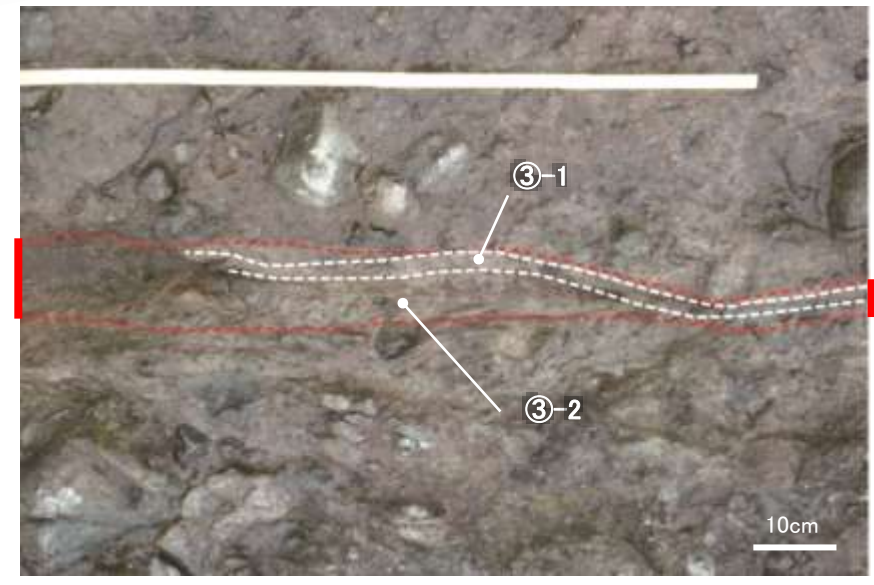
名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真	
		測定番号	幅※(cm)		
K-1	N4° E/58° SE	a	4~7	 <p>調査位置図</p>	
		b	6~8		
		c	3~5		
		d	7~10		
		e	10~15		
		f	20~22		
		g	10		
		h	10~15		
		i	4~12		 <p>測定番号i地点 遠景</p>
		j	10~15		
		k	8~12		

— 破碎部  
 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部  
 ③-2 固結した角礫状破碎部

凡例

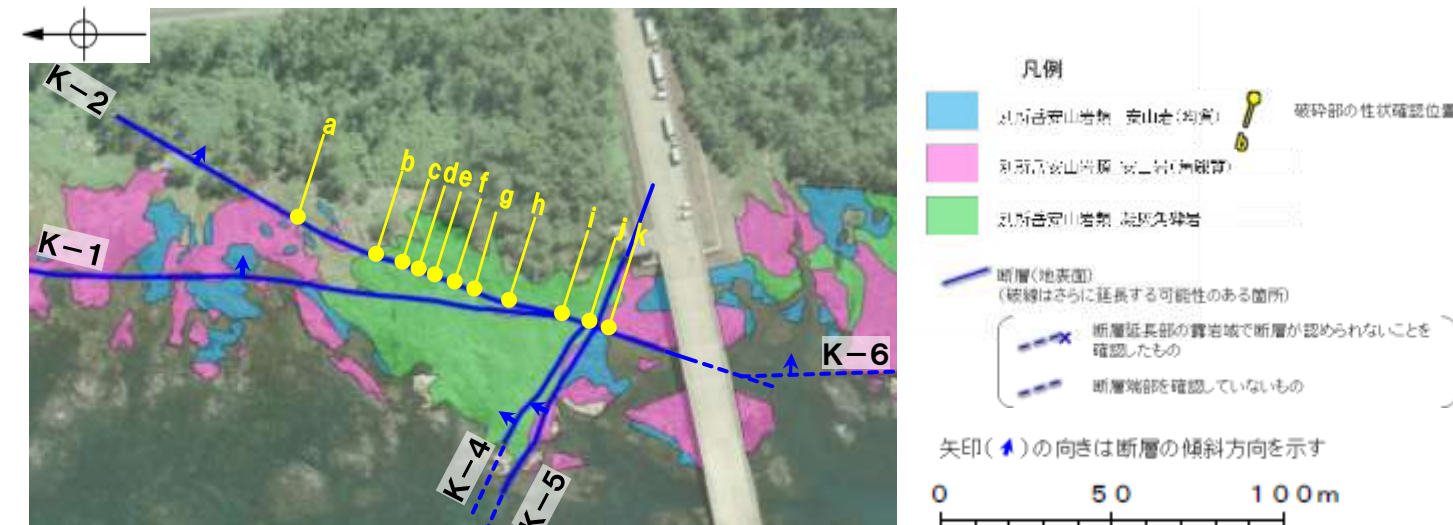
- 丸所谷安山岩類 安山岩(均質)
- 丸所谷安山岩類 安山岩(不均質)
- 丸所谷安山岩類 凝灰岩
- 断層(地表面)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- 断層端部を確認していないもの
- 矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

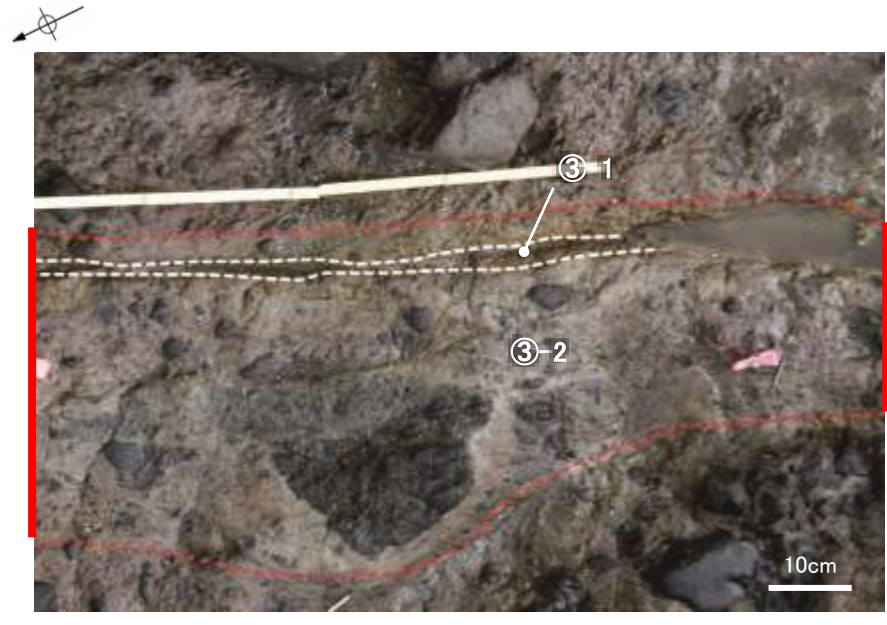
0 50 100m



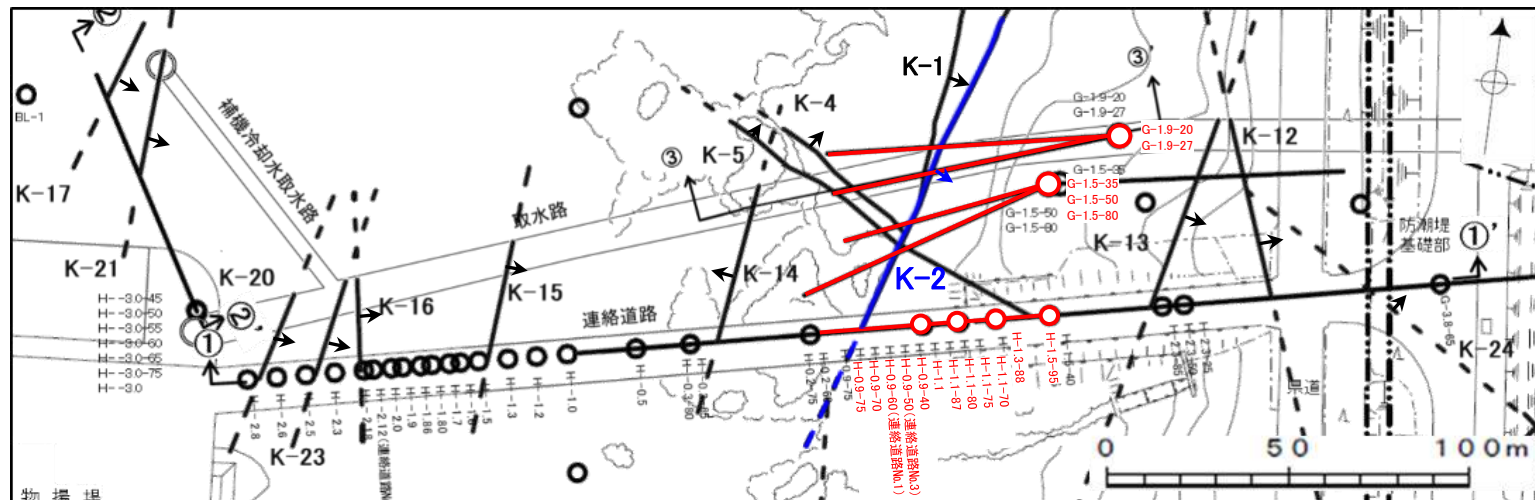
測定番号i地点の破碎部の状況

# K-2の性状一覧表 露頭観察(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-2	N19° E/72° SE	a	8~10	 <p>調査位置図</p>
		b	6~10	
		c	6~10	
		d	15~18	
		e	6~10	
		f	12~28	
		g	12~15	
		h	15~30	
		i	20~48	
		j	25~40	
		k	11~13	

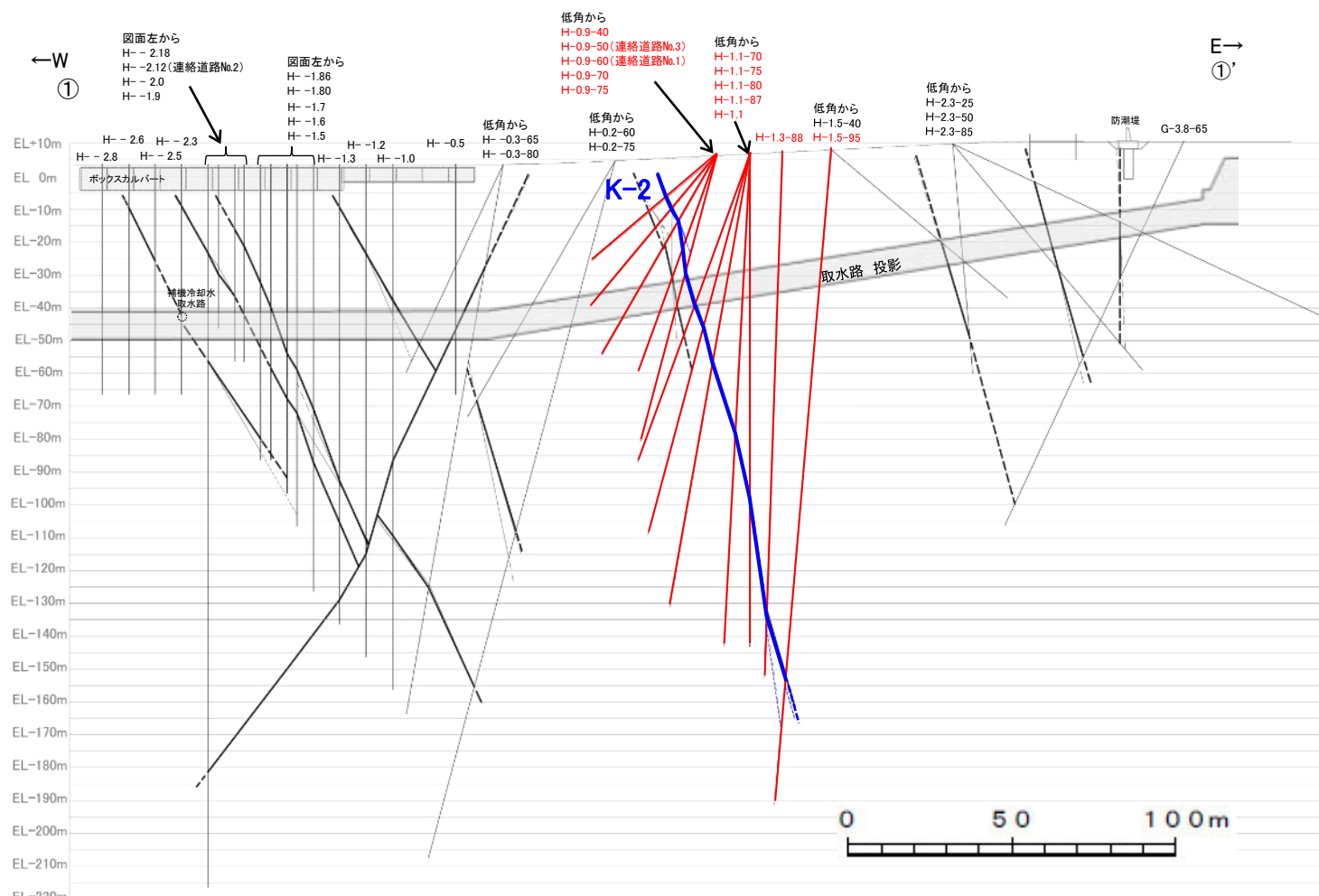
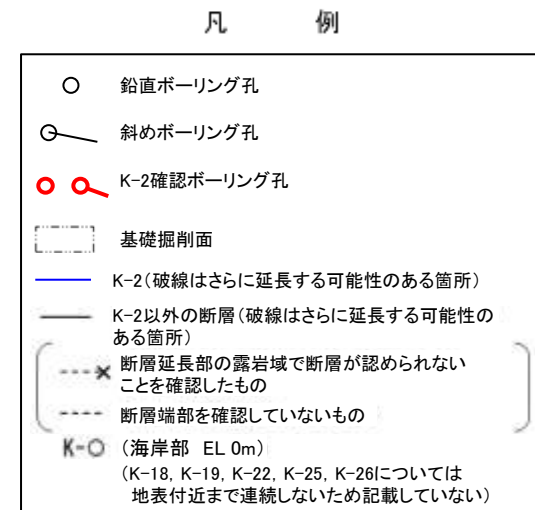


代表写真箇所 ※: 地表面で測定した幅

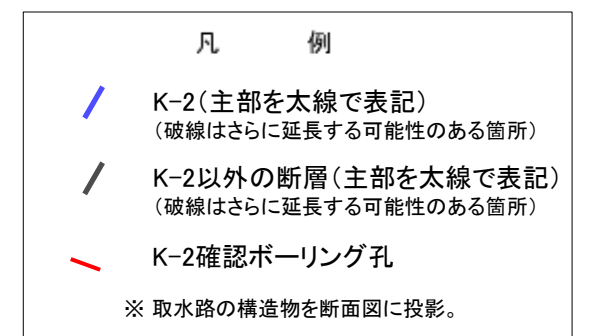


矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

平面図



①-①' 断面図



# K-2の性状一覧表 ボーリング調査(1/16)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
K-2	G-1.5-35 (傾斜35°)	41.58 (EL-19.36)	N16° E/85° NW	18	<p>41.4 41.5 41.6 41.7 41.8 41.9 42.0 (m)</p> <p>③-1 ②-2 ③-1</p>
	G-1.5-50 (傾斜50°)	42.42 (EL-28.01)	N 4° E/79° SE	25	<p>42.0 42.1 42.2 42.3 42.4 42.5 42.6 (m)</p> <p>③-1 ① ③-1</p> <p>42.6 42.7 42.8 42.9 43.0 (m)</p> <p>③-1</p> <p>本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>



# K-2の性状一覧表 ボーリング調査(2/16)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> <span>— 破碎部</span> <span>②-1 砂状破碎部</span> <span>③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: x-small;"> <span>②-2 角礫状破碎部</span> </div>
K-2	G-1.5-80 (傾斜80°)	77.82 (EL-72.12)	N 8° E/72° SE	56	<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: x-small;"> <span>76.2</span><span>76.3</span><span>76.4</span><span>76.5</span><span>76.6</span><span>76.7</span><span>76.8 (m)</span> </div>
					<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: x-small;"> <span>76.8</span><span>76.9</span><span>77.0</span><span>77.1</span><span>77.2</span><span>77.3</span><span>77.4 (m)</span> </div>
					<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: x-small;"> <span>77.4</span><span>77.5</span><span>77.6</span><span>77.7</span><span>77.8</span><span>77.9</span><span>78.0 (m)</span> </div>
					<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: x-small;"> <span>78.0</span><span>78.1</span><span>78.2</span><span>78.3</span><span>78.4</span><span>78.5</span><span>78.6 (m)</span> </div>

# K-2の性状一覧表 ボーリング調査(3/16)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> <span>== 破碎部</span> <span>① 粘土状破碎部</span> <span>③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: x-small;"> <span>②-2 角礫状破碎部</span> <span>③-2 固結した角礫状破碎部</span> </div>
K-2	G-1.5-80 (傾斜80°)	80.19 (EL-74.48)	N 6° E/75° SE	58	<p>78.6 78.7 78.8 78.9 79.0 79.1 79.2 (m)</p> <p>79.2 79.3 79.4 79.5 79.6 79.7 79.8 (m)</p> <p>79.8 79.9 80.0 80.1 80.2 80.3 80.4 (m)</p> <p>80.4 80.5 80.6 80.7 80.8 80.9 81.0 (m)</p>

# K-2の性状一覧表 ボーリング調査(4/16)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span style="color: red;">==</span> 破碎部           <span style="margin-left: 20px;">②-2 角礫状破碎部</span> <span style="margin-left: 20px;">③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> </div>
K-2	G-1.9-20 (傾斜20°)	50.10 (EL-13.25)	N 7° E/81° SE	4	<p style="text-align: center;">49.8      49.9      50.0      50.1      50.2      50.3      50.4 (m)</p>
	G-1.9-27 (傾斜27°)	47.81 (EL-17.82)	N31° E/83° SE	31	<p style="text-align: center;">47.4      47.5      47.6      47.7      47.8      47.9      48.0 (m)</p> <p style="text-align: center;">48.0      48.1      48.2      48.3      48.4      48.5      48.6 (m)</p>

③-1

本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。

# K-2の性状一覧表 ボーリング調査(5/16)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)※	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> <span>— 破碎部</span> <span>① 粘土状破碎部</span> <span>②-2 角礫状破碎部</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> <span>②-1 砂状破碎部</span> <span>③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> </div>
K-2	H-0.9-40 (傾斜40°)	19.65 (EL-6.36)	N 23° E/75° SE	14	
	H-0.9-50 (傾斜50°)	20.93 (EL-9.76)	N27° E/71° SE	2	
		21.57 (EL-10.25)	N 31° E/83° SE	1	
	H-0.9-60 (傾斜60°)	23.15 (EL-13.78)	N6° E/75° SE	(3)	

※幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記

# K-2の性状一覧表 ボーリング調査(6/16)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red; font-weight: bold;">▬</span> 破碎部                 </div> <div style="margin-top: 5px;">                     ① 粘土状破碎部                      ②-2 角礫状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                 </div>
K-2	H-0.9-70 (傾斜70°)	27.35 (EL-19.43)	N 8° E/76° SE	18	
		29.82 (EL-21.75)	N 3° W/79° NE	21	

# K-2の性状一覧表 ボーリング調査(7/16)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="border-bottom: 2px solid red; width: 20px; height: 2px;"></span> 破碎部                 <span style="margin-left: 20px;">① 粘土状破碎部</span> <span style="margin-left: 20px;">③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> </div>
K-2	H-0.9-75 (傾斜75°)	36.51 (EL-29.00)	N 9° E/80° SE	22	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-bottom: 5px;"> <span>36.0</span><span>36.1</span><span>36.2</span><span>36.3</span><span>36.4</span><span>36.5</span><span>36.6 (m)</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 10px;"> <span>③-1</span> <span style="margin-left: 150px;">①</span> </div> </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-bottom: 5px;"> <span>36.6</span><span>36.7</span><span>36.8</span><span>36.9</span><span>37.0 (m)</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 10px;"> <span>③-1</span> </div> </div>

# K-2の性状一覧表 ボーリング調査(8/16)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
K-2	H-1.1-70 (傾斜70°)	48.17 (EL-38.48)	N15° E/80° SE	94	<p>The core photographs show four segments of the borehole core. The depth markers are as follows:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Segment 1: 47.5 to 48.1 (m)</li> <li>Segment 2: 48.1 to 48.7 (m)</li> <li>Segment 3: 48.7 to 49.3 (m)</li> <li>Segment 4: 49.3 to 49.7 (m)</li> </ul> <p>Labels for fracture zones are placed at specific depths:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>③-2 at approximately 47.8 m</li> <li>③-1 and ① between 48.1 m and 48.3 m</li> <li>③-2 at approximately 48.5 m</li> <li>③-2 at approximately 49.0 m</li> <li>③-2 at approximately 49.4 m</li> </ul>

# K-2の性状一覧表 ボーリング調査(9/16)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
K-2	H-1.1-75 (傾斜75°)	54.12 (EL-45.50)	N 26° E/80° SE	44	<p>— 破碎部 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部</p>
	H-1.1-80 (傾斜80°)	64.13 (EL-56.38)	N 13° E/79° SE	16	



# K-2の性状一覧表 ボーリング調査(10/16)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm) <sup>※</sup>	コア写真
K-2	H-1.1-80 (傾斜80°)	64.79 (EL-57.03)	N 4° W/62° NE	4	
		65.18 (EL-57.41)	N 14° W/83° NE	1	
		66.27 (EL-58.48)	N 5° W/73° NE	6	
		66.90 (EL-59.10)	N 6° E/84° SE	(3)	

※幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記


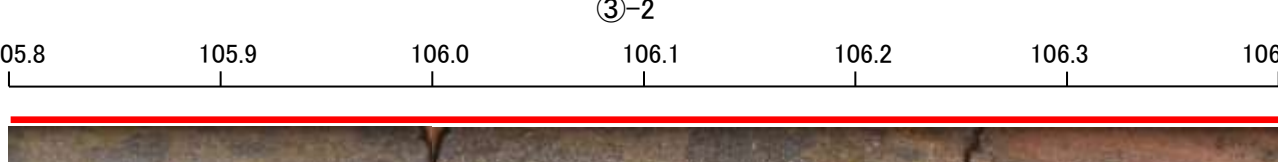


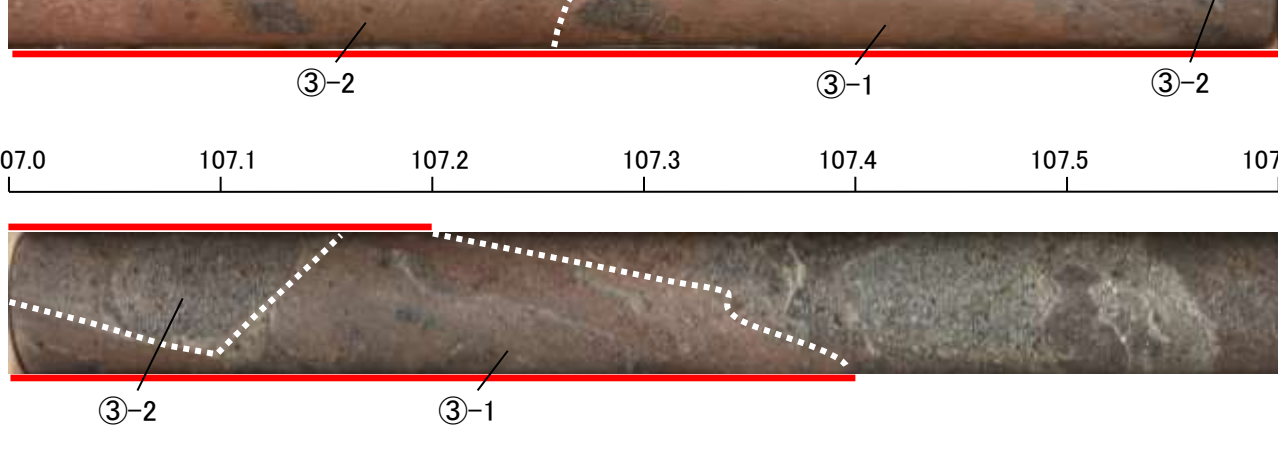
# K-2の性状一覧表 ボーリング調査(11/16)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
K-2	H-1.1-87 (傾斜87°)	84.30 (EL-77.40)	N 20° E/81° SE	45	<div style="text-align: right; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">—</span> 破碎部                      ① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部                      ②-1 砂状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                 </div>

# K-2の性状一覧表 ボーリング調査(12/16)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red; font-weight: bold;">▬</span> 破碎部                 </div> <div style="margin-top: 5px;">                     ① 粘土状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div>
K-2	H-1.1	103.77 (EL-96.99)	N 21° E/80° SE	71	102.8      102.9      103.0      103.1      103.2      103.3      103.4 (m)
					103.4      103.5      103.6      103.7      103.8      103.9      104.0 (m)
					104.0      104.1      104.2      104.3      104.4      104.5      104.6 (m)
104.6      104.7      104.8      104.9      105.0      105.1      105.2 (m)					

# K-2の性状一覧表 ボーリング調査(13/16)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>コア写真</span> <span>== 破碎部</span> <div style="font-size: small;">                     ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div> </div>
K-2	H-1.1	103.77 (EL-96.99)	N 21° E/80° SE	71	<div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px solid black; padding-bottom: 5px;"> <span>105.2</span><span>105.3</span><span>105.4</span><span>105.5</span><span>105.6</span><span>105.7</span><span>105.8 (m)</span> </div> 
					<div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px solid black; padding-bottom: 5px;"> <span>105.8</span><span>105.9</span><span>106.0</span><span>106.1</span><span>106.2</span><span>106.3</span><span>106.4 (m)</span> </div> 
					<div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px solid black; padding-bottom: 5px;"> <span>106.4</span><span>106.5</span><span>106.6</span><span>106.7</span><span>106.8</span><span>106.9</span><span>107.0 (m)</span> </div> 
					<div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px solid black; padding-bottom: 5px;"> <span>107.0</span><span>107.1</span><span>107.2</span><span>107.3</span><span>107.4</span><span>107.5</span><span>107.6 (m)</span> </div> 
					

# K-2の性状一覧表 ボーリング調査(14/16)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
K-2	H-1.3-88 (傾斜88°)	139.30 (EL-131.95)	N 6° E/78° SE	75	<p>① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部</p> <p>== 破碎部</p> <p>137.1 137.2 137.3 137.4 137.5 137.6 137.7 (m)</p> <p>③-1</p>
					<p>137.7 137.8 137.9 138.0 138.1 138.2 138.3 (m)</p> <p>③-1</p>
					<p>138.3 138.4 138.5 138.6 138.7 138.8 138.9 (m)</p> <p>③-1</p>
					<p>138.9 139.0 139.1 139.2 139.3 139.4 139.5 (m)</p> <p>③-1 ① ③-2</p>
					<p>139.5 139.6 139.7 139.8 139.9 140.0 140.1 (m)</p> <p>③-2</p>

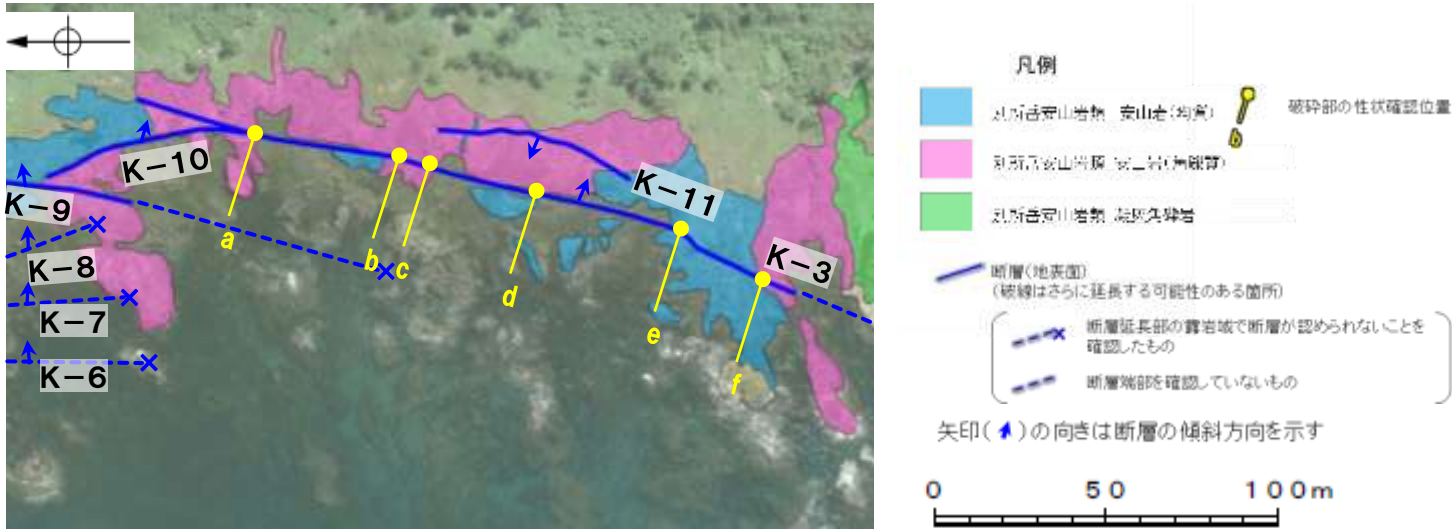

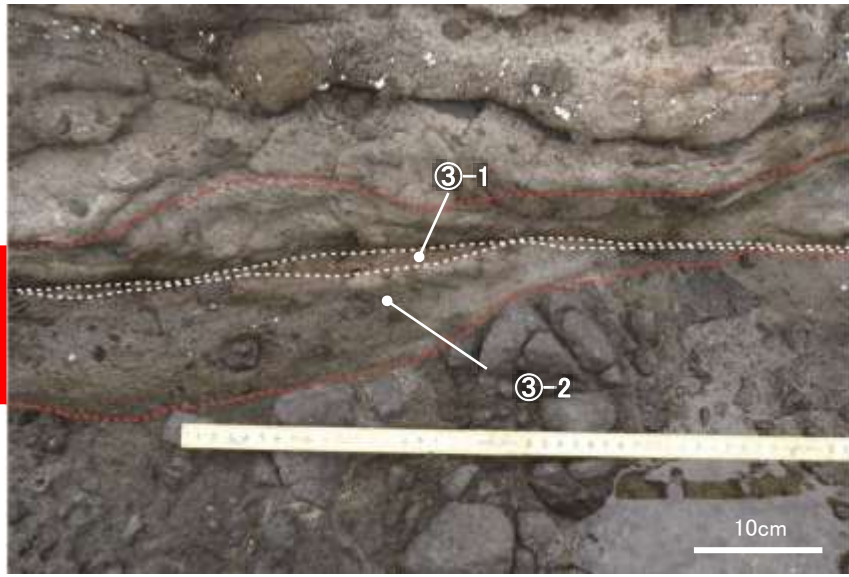
# K-2の性状一覧表 ボーリング調査(15/16)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red; font-weight: bold;">▬</span> 破碎部                 <span style="margin-left: 20px;">① 粘土状破碎部</span> <span style="margin-left: 20px;">③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> </div>
K-2	H-1.3-88 (傾斜88°)	141.57 (EL-134.21)	N 13° E/80° SE	17	141.0      141.1      141.2      141.3      141.4      141.5      141.6 (m)
					141.6      141.7      141.8      141.9      142.0      142.1      142.2 (m)
					142.2      142.3      142.4      142.5      142.6      142.7      142.8 (m)

# K-2の性状一覧表 ボーリング調査(16/16)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red;">—</span> 破碎部           <span style="margin-left: 20px;">① 粘土状破碎部</span> <span style="margin-left: 20px;">③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> </div>
K-2	H-1.5-95 (傾斜85°)	160.54 (EL-151.90)	N 7° W/81° NE	10	
		162.56 (EL-153.91)	N 12° E/89° SE	4	

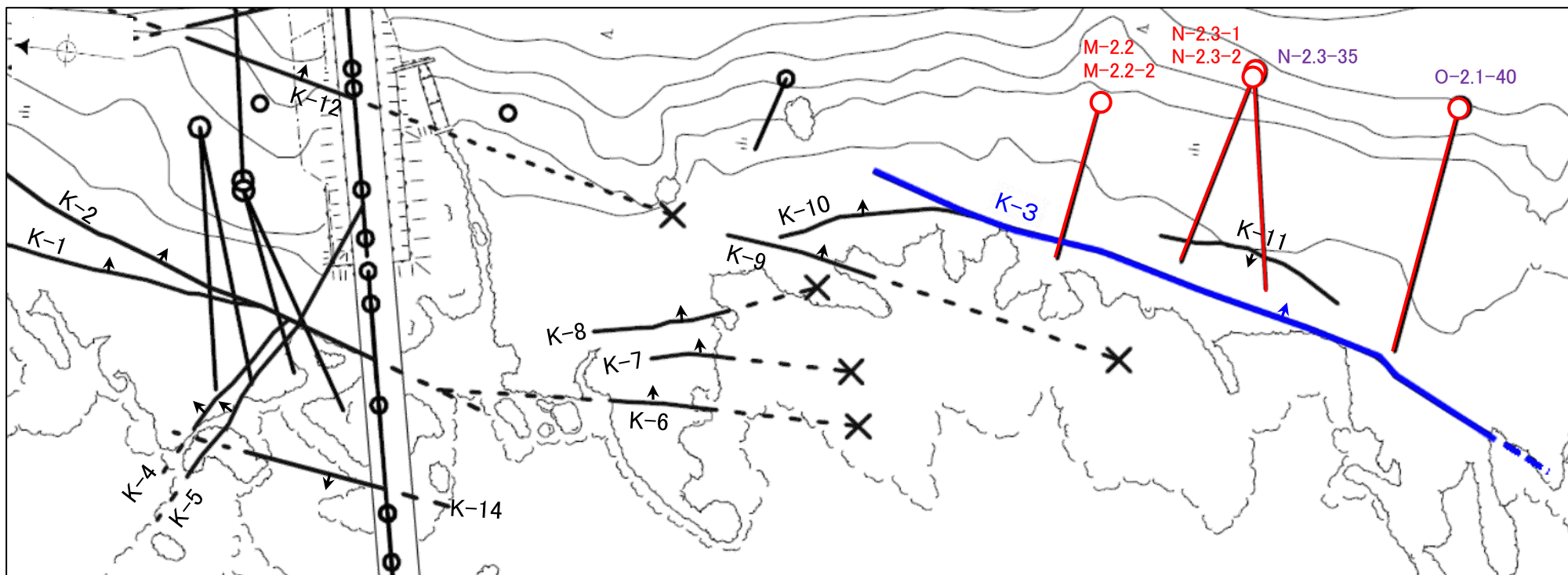
# K-3の性状一覧表 露頭観察(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-3	N16° E/70° SE	a	15~18	 <p>調査位置図</p>
		b	10~18	
		c	14~20	
		d	4~10	
		e	4~12	
		f	5~18	
 <p>測定番号b地点 遠景</p>				 <p>測定番号b地点の破碎部の状況</p>

代表写真箇所 ※: 地表面で測定した幅



# ボーリング調査 位置図 (K-3)

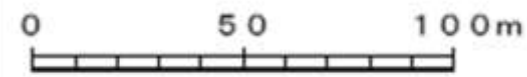


- 凡 例
- 鉛直ボーリング孔
  - 斜めボーリング孔
  - K-3確認ボーリング孔
  - 基礎掘削面
  - K-3(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - K-3以外の断層(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
  - 断層端部を確認していないもの
  - K-O (海岸部 EL 0m)  
(K-18, K-19, K-22, K-25, K-26については地表付近まで連続しないため記載していない)

矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

紫字: 第1073回審査会合以降の変更箇所

調査位置図



# K-3の性状一覧表 ボーリング調査(1/2)

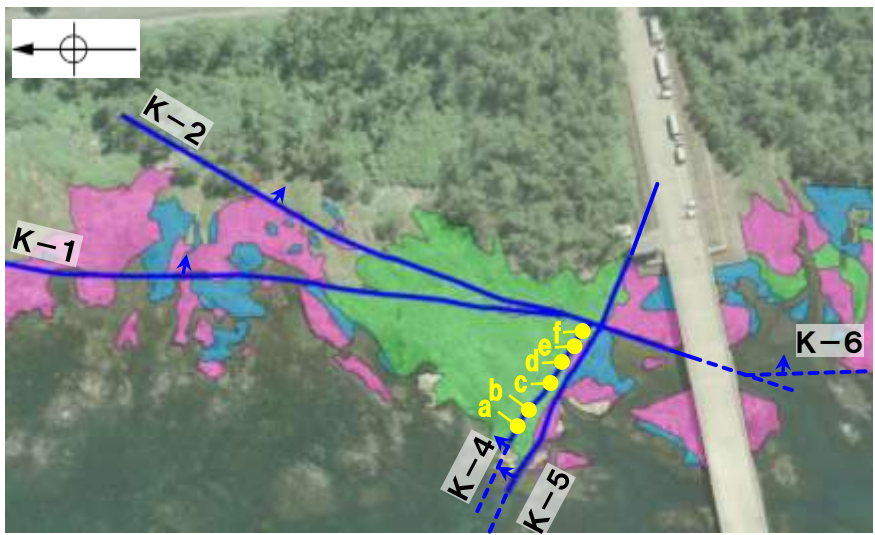

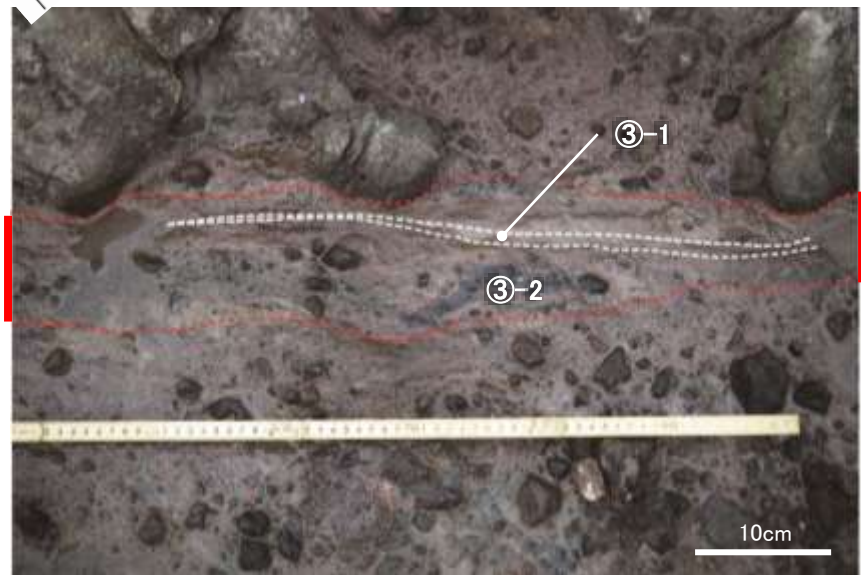
名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 <span style="color:red">■</span> 破砕部    ③-1 固結した粘土・砂状破砕部
K-3	M-2.2 (傾斜45°)	48.83 (EL-31.52)	N2° W/81° NE	11	
	M-2.2-2 (傾斜75°)	78.25 (EL-72.57)	N6° W/74° NE	1	
	N-2.3-1 (傾斜35°)	66.35 (EL-32.48)	N18° E/72° SE	4	
	N-2.3-2 (傾斜60°)	85.00 (EL-67.73)	N30° E/84° SE	11	

# K-3の性状一覧表 ボーリング調査(2/2)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真
K-3	N-2.3-35 (傾斜35°)	72.43 (EL-35.96)	N2° E/70° SE	20	
	O-2.1-40 (傾斜40°)	85.06 (EL-48.85)	N20° E/83° SE	6	

紫字: 第1073回審査会合以降の変更箇所

# K-4の性状一覧表 露頭観察(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-4	N56° W/85° NE	a	10~26	 <p>調査位置図</p>
		b	5~6	
		c	6~10	
		d	10~12	
		e	7~10	
		f	12~18	
		 <p>測定番号c地点 遠景</p>		 <p>測定番号c地点の破碎部の状況</p>

== 破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部  
③-2 固結した角礫状破碎部

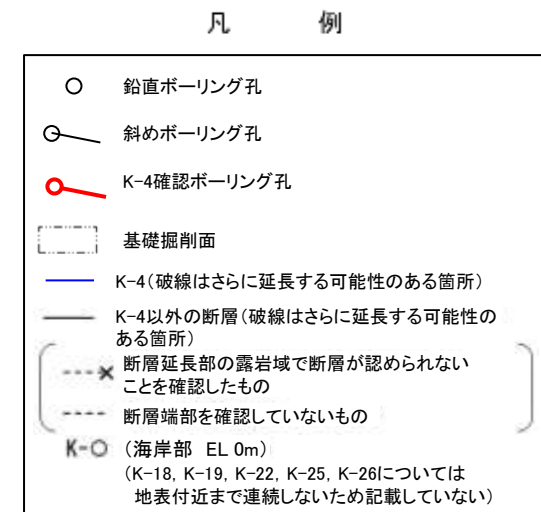
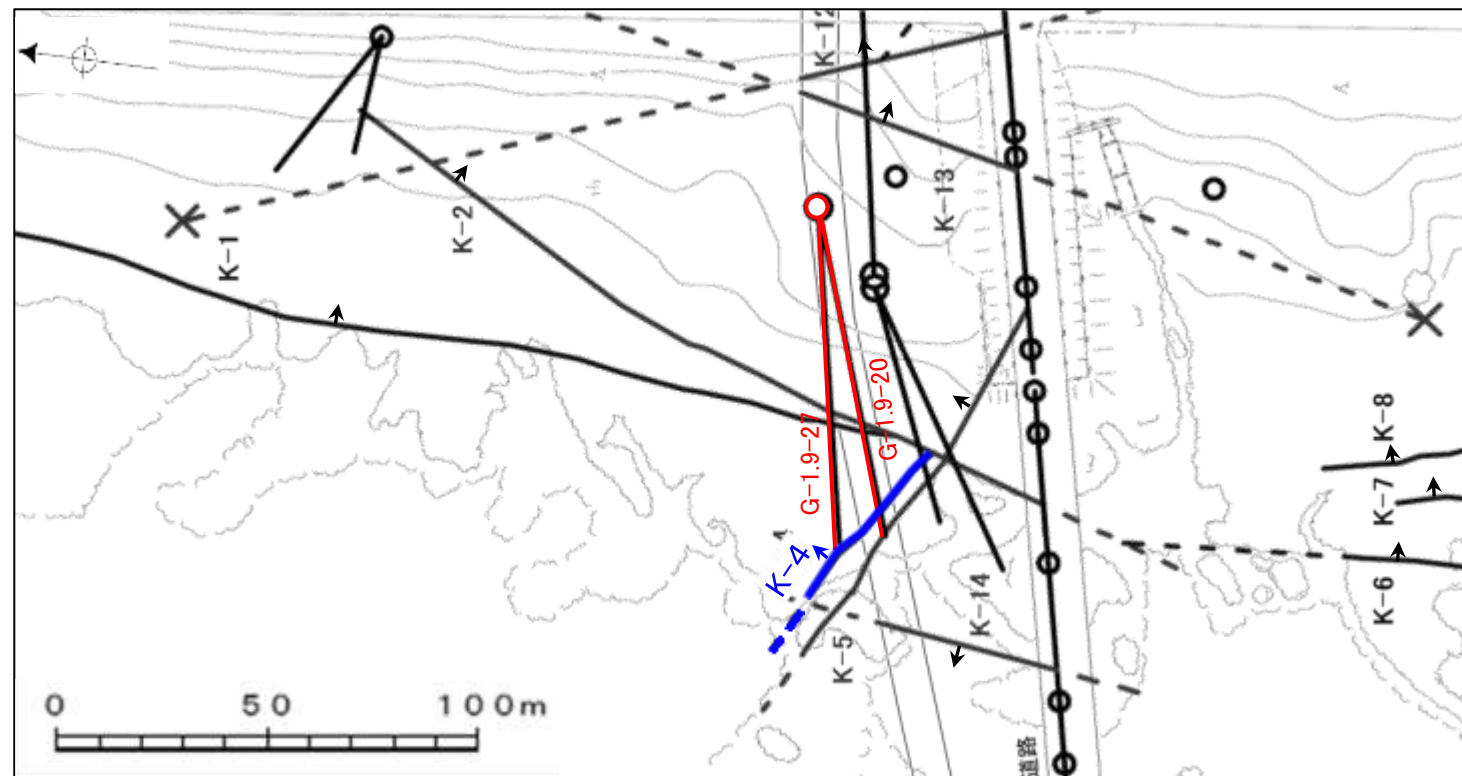
凡例

- 断層(地表面) (破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- 断層端部を確認していないもの

矢印(➡)の向きは断層の傾斜方向を示す

0 50 100m

代表写真箇所 ※: 地表面で測定した幅



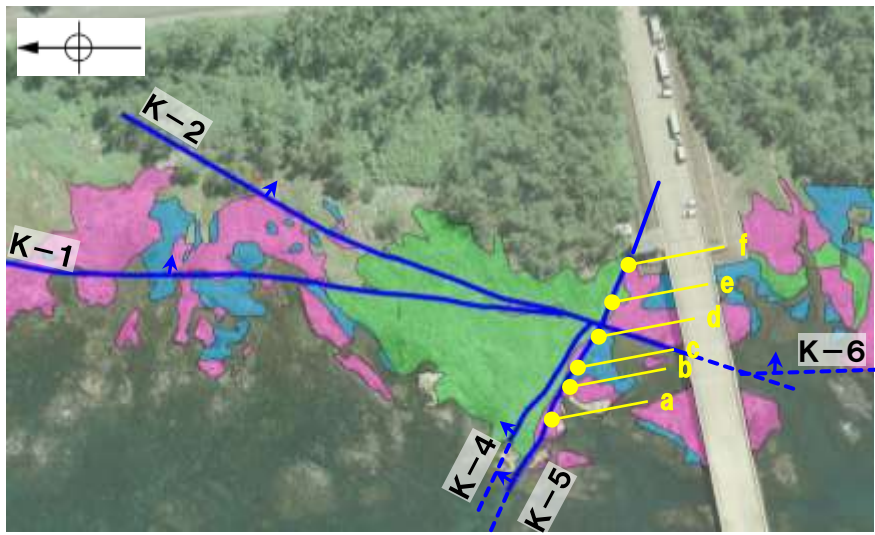

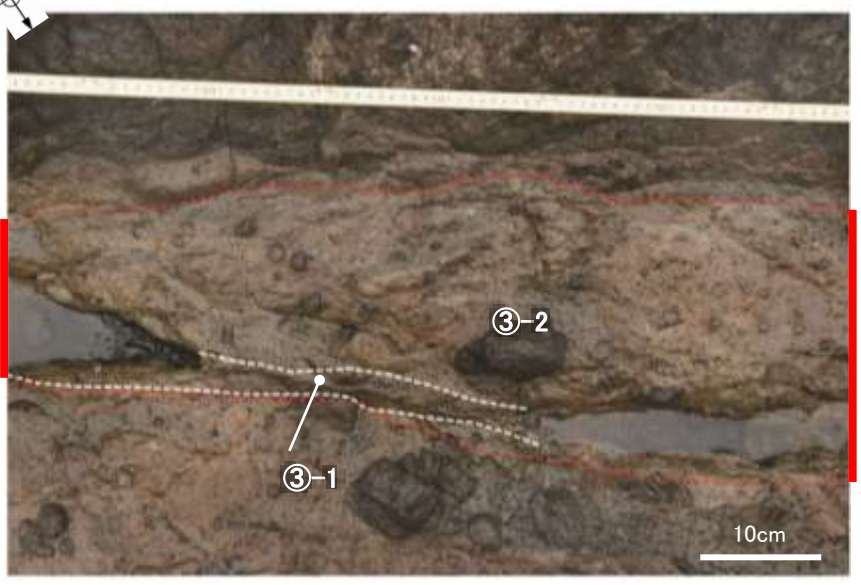
矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

調査位置図

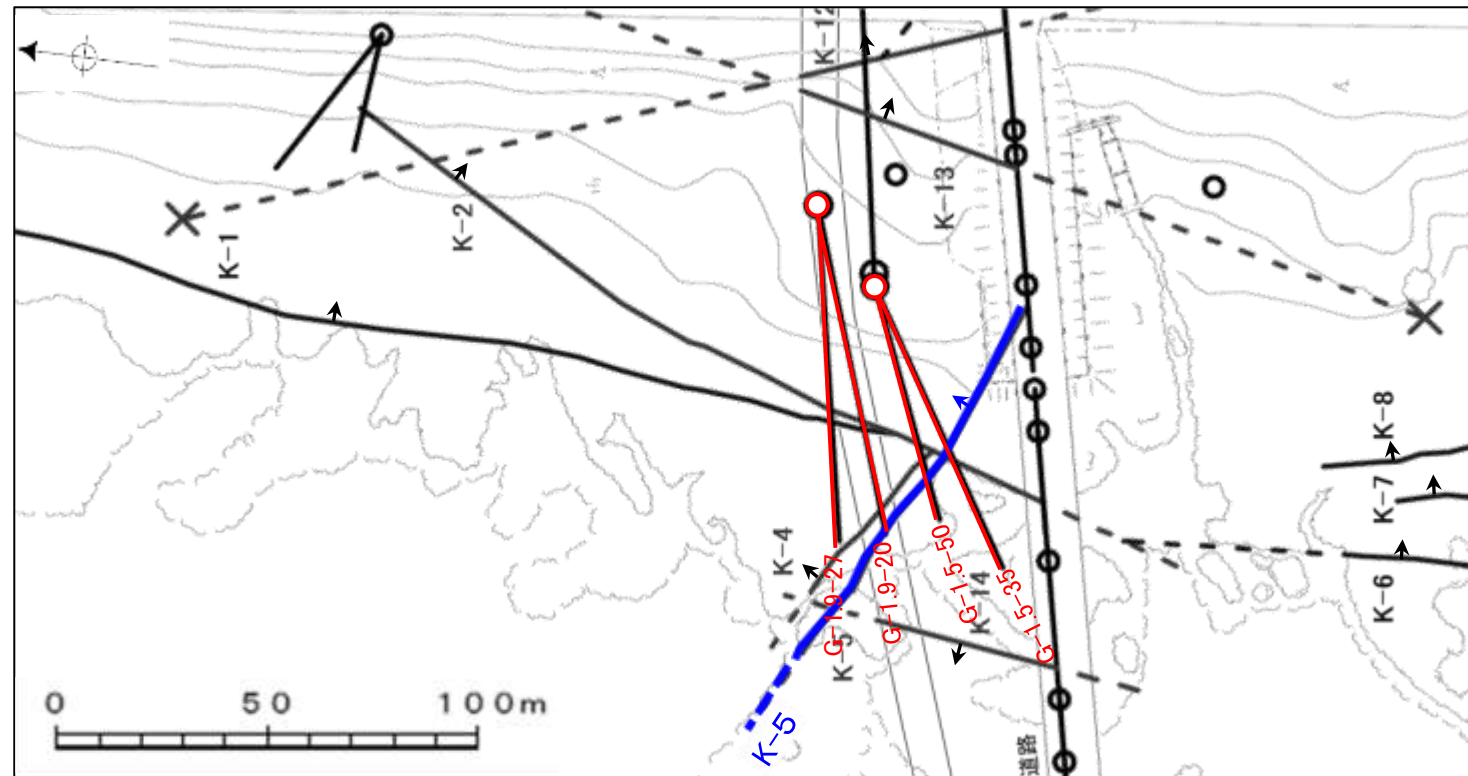
# K-4の性状一覧表 ボーリング調査(1/1)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
K-4	G-1.9-20 (傾斜20°)	71.29 (EL-20.49)	N57° W/80° NE	5	<p>① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部</p> <p>本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>
	G-1.9-27 (傾斜27°)	84.69 (EL-34.56)	N52° W/68° NE	15	<p>③-1 ① ③-1</p>

# K-5の性状一覧表 露頭観察(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-5	N63° W/64° NE	a	5~15	 <p>調査位置図</p>
		b	15~20	
		c	12~20	
		d	8~12	
		e	3~5	
		f	5~7	
		 <p>測定番号c地点 遠景</p>		
 <p>測定番号c地点の破碎部の状況</p>				

代表写真箇所 ※: 地表面で測定した幅



- 凡 例
- 鉛直ボーリング孔
  - 斜めボーリング孔
  - K-5確認ボーリング孔
  - 基礎掘削面
  - K-5(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - K-5以外の断層(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - X 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
  - 断層端部を確認していないもの
  - K-O (海岸部 EL 0m)  
(K-18, K-19, K-22, K-25, K-26については地表付近まで連続しないため記載していない)
- 矢印(➤)の向きは断層の傾斜方向を示す

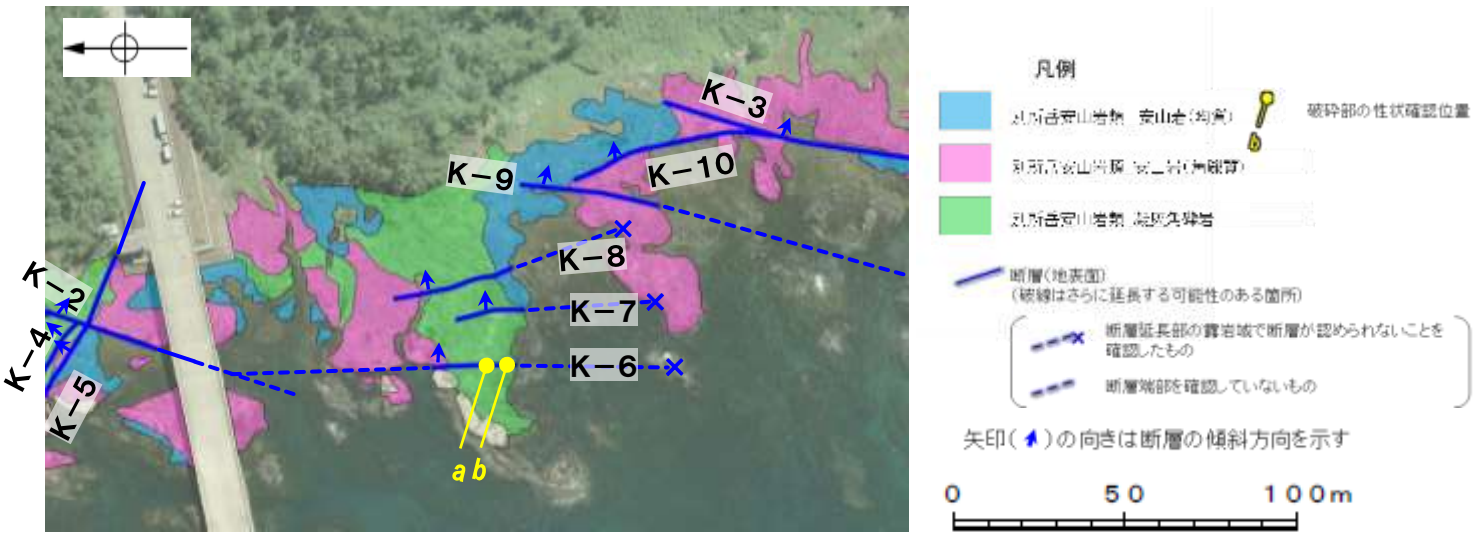
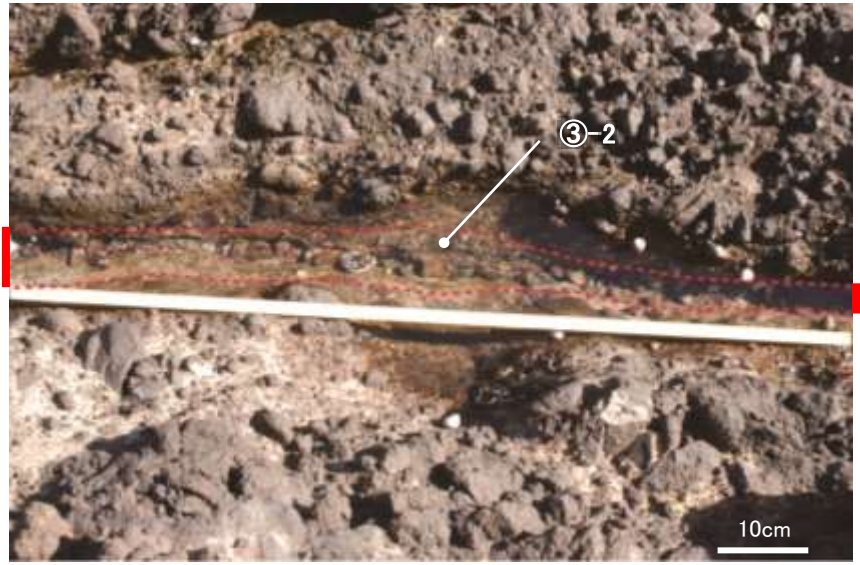
調査位置図



# K-5の性状一覧表 ボーリング調査(1/1)

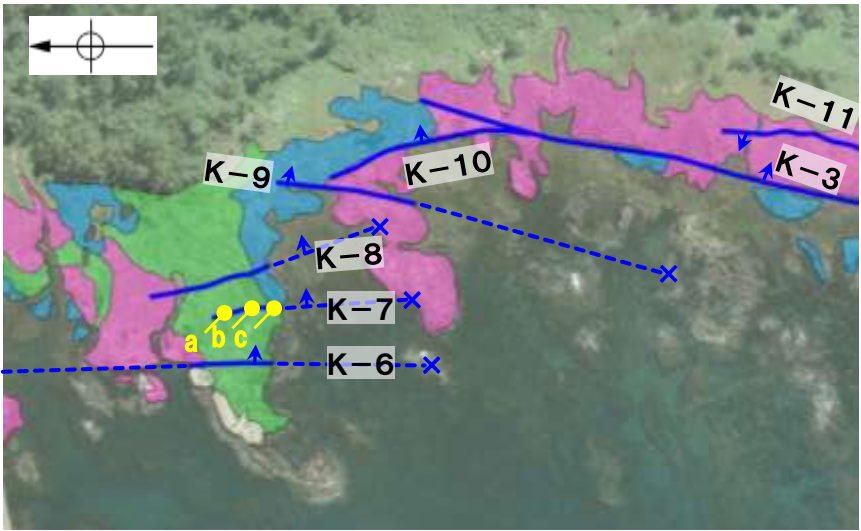
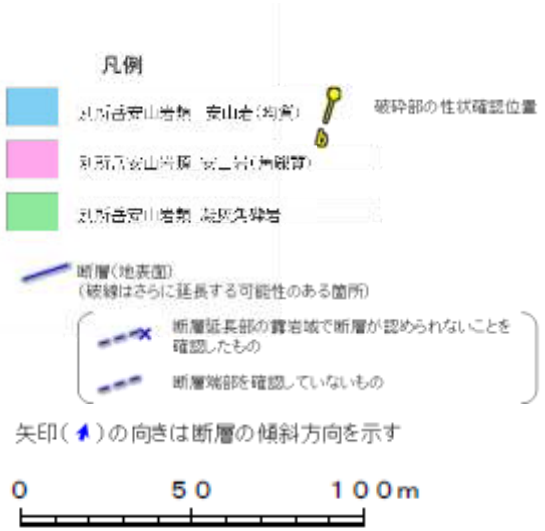

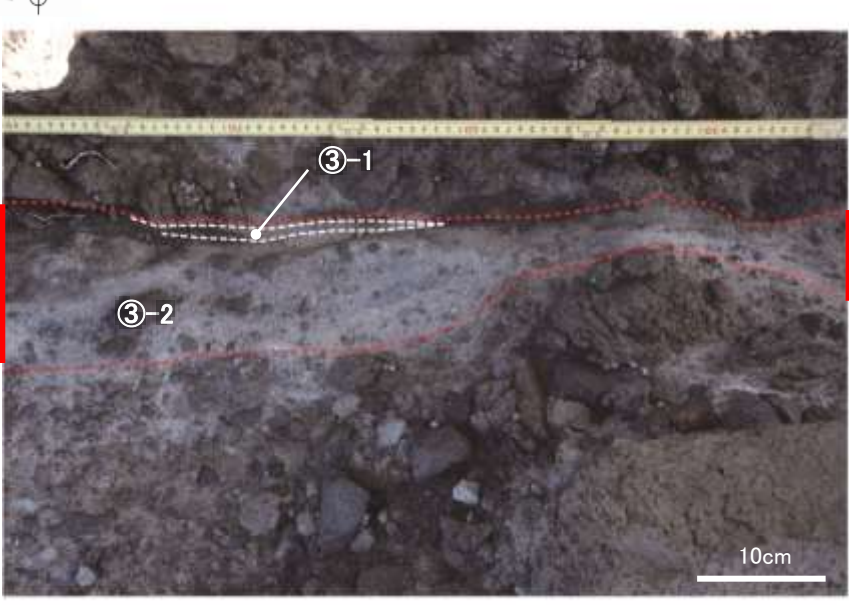
名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> <span>— 破碎部</span> <span>① 粘土状破碎部</span> <span>③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> <span>③-2 固結した角礫状破碎部</span> </div>
K-5	G-1.5-35 (傾斜35°)	40.06 (EL-18.49)	N62° W/88° NE	18	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">39.8    39.9    40.0    40.1    40.2    40.3    40.4 (m)</div> </div>
	G-1.5-50 (傾斜50°)	46.73 (EL-31.31)	N69° W/72° NE	8	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">46.4    46.5    46.6    46.7    46.8    46.9    47.0 (m)</div> </div>
	G-1.9-20 (傾斜20°)	68.89 (EL-19.67)	N70° W/60° NE	5	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">68.7    68.8    68.9    69.0    69.1    69.2    69.3 (m)</div> </div>
	G-1.9-27 (傾斜27°)	79.33 (EL-32.13)	N60° W/72° NE	10	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">79.0    79.1    79.2    79.3    79.4    79.5    79.6 (m)</div> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>

# K-6の性状一覧表 露頭観察(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-6	N2° W/60° NE	a	4~6	 <p>調査位置図</p>
		b	5~10	
				 <p>測定番号b地点の破碎部の状況</p>

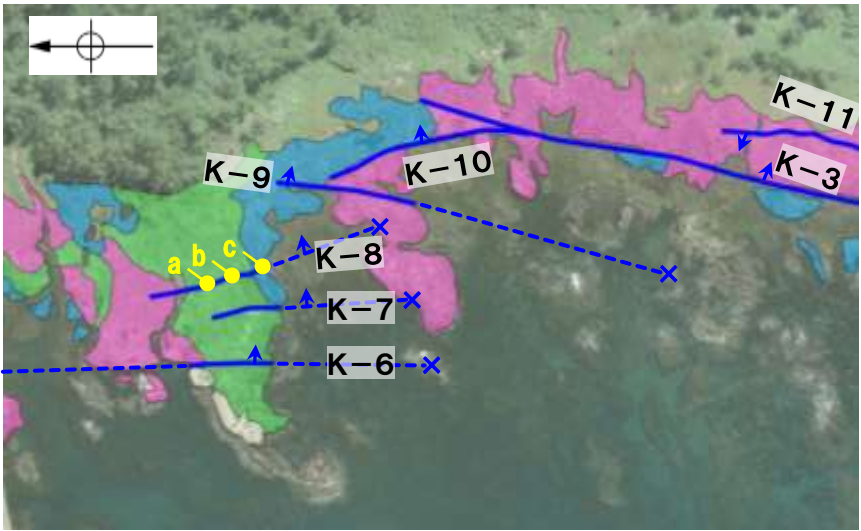

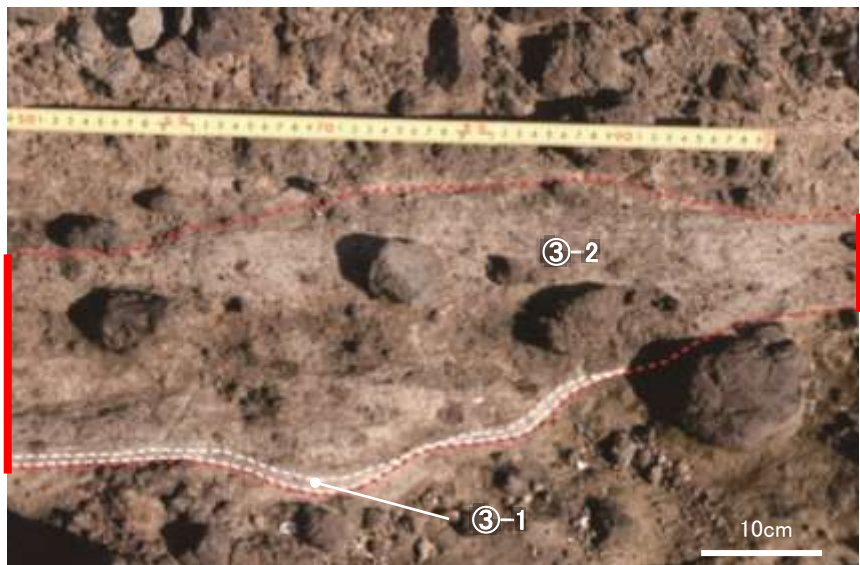
代表写真箇所 ※: 地表面で測定した幅

# K-7の性状一覧表 露頭観察(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-7	N8° W/88° NE	a	2~11	 <p>調査位置図</p>
		b	1~2	
		c	4~11	
		 <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>断層(地表面) (破線はさらに延長する可能性のある箇所)</li> <li>断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの</li> <li>断層端部を確認していないもの</li> </ul> <p>矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す</p> <p>0 50 100m</p>		
		 <p>測定番号c地点 遠景</p>		
		 <p>測定番号c地点の破碎部の状況</p>		

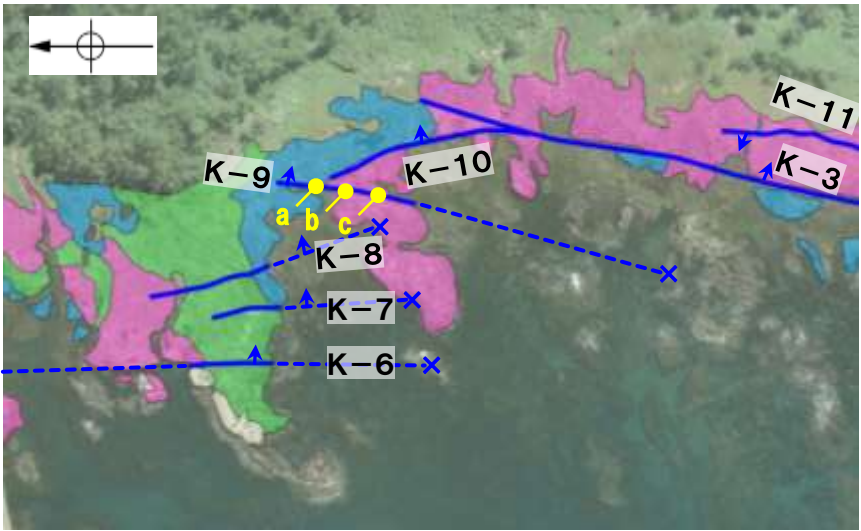

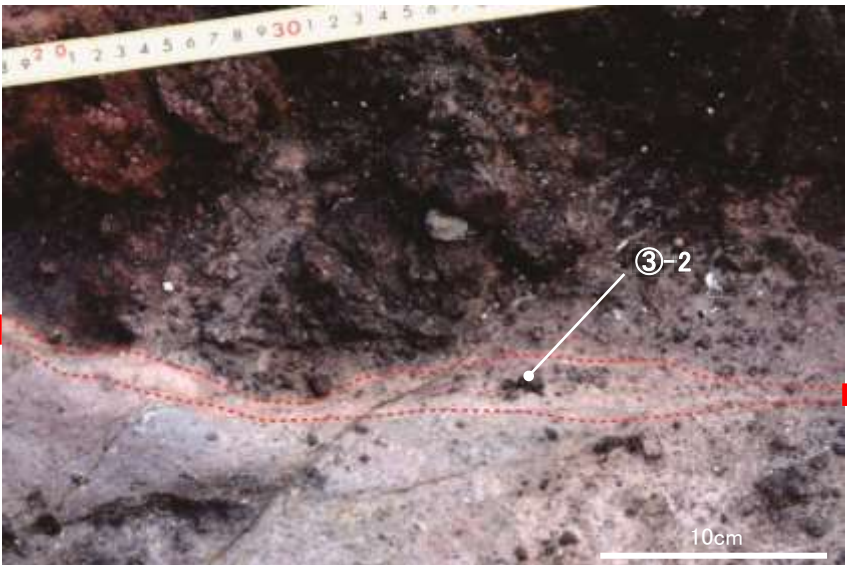
代表写真箇所 ※: 地表面で測定した幅

# K-8の性状一覧表 露頭観察(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-8	N15° W/80° NE	a	10~21	 <p>調査位置図</p>
		b	1.5~10	
		c	3~4	
		 <p>測定番号a地点 遠景</p>		
 <p>測定番号a地点の破碎部の状況</p>				

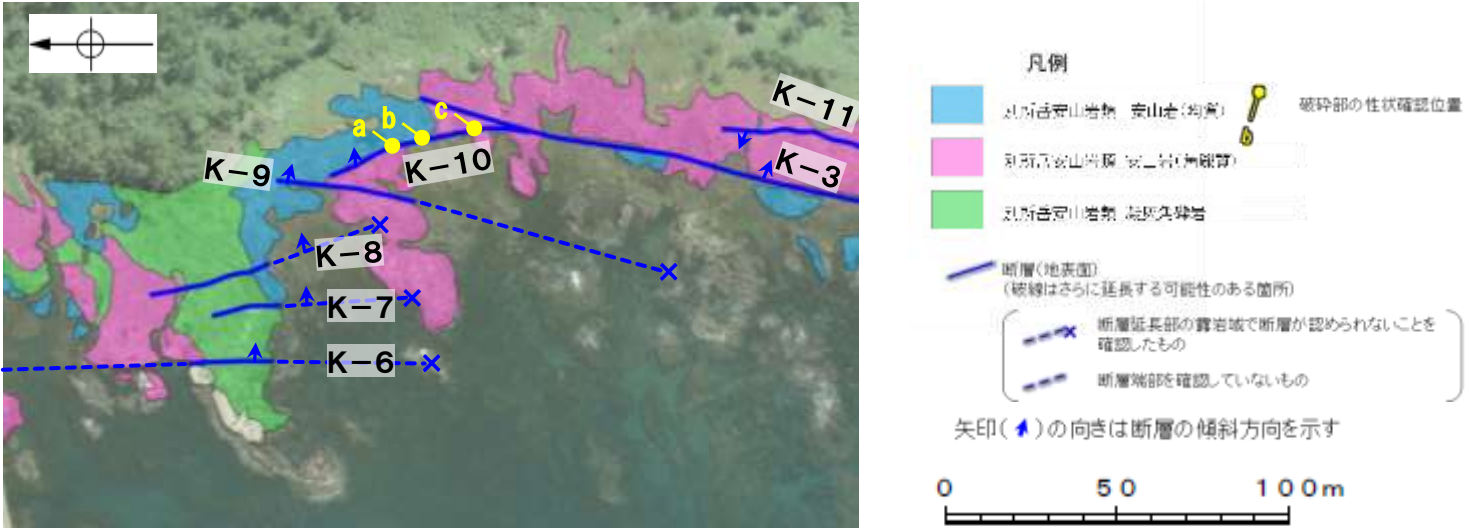

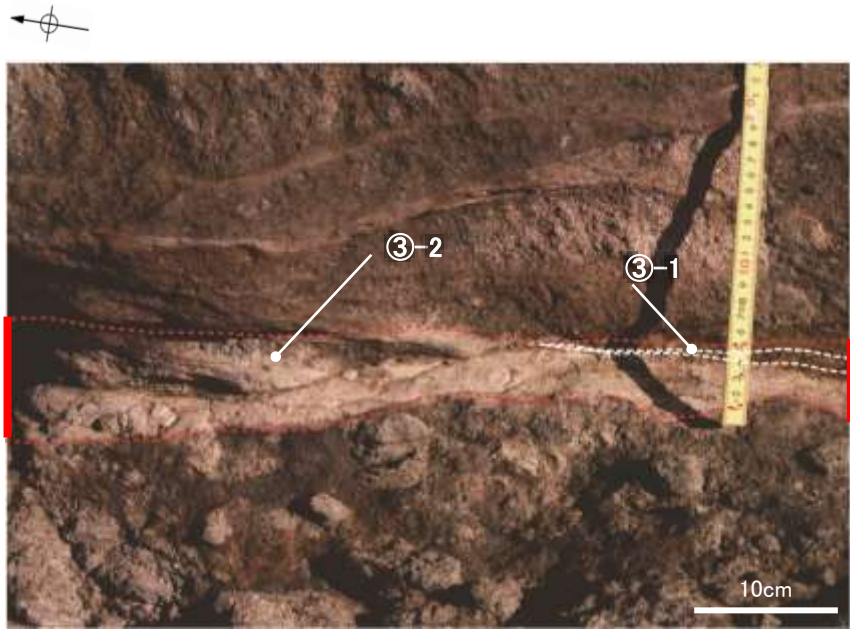
代表写真箇所 ※: 地表面で測定した幅

# K-9の性状一覧表 露頭観察(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-9	N10° E/88° SE	a	10~12	 <p>調査位置図</p>
		b	2~4	
		c	2~6	
				<p>調査位置図・露頭写真</p> <p>== 破碎部    ③-2 固結した角礫状破碎部</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>丸所岳安山岩類 安山岩(均質)</li> <li>丸所岳安山岩類 安山岩(不均質)</li> <li>丸所岳安山岩類 凝灰岩</li> <li>断層(地表面) (破線はさらに延長する可能性のある箇所)</li> <li>断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの</li> <li>断層端部を確認していないもの</li> </ul> <p>矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す</p> <p>0 50 100m</p>
				 <p>←WNW                      ESE→</p> <p>右写真箇所</p> <p>K-9</p> <p>測定番号b地点 遠景</p>
				 <p>③-2</p> <p>10cm</p> <p>測定番号b地点の破碎部の状況</p>

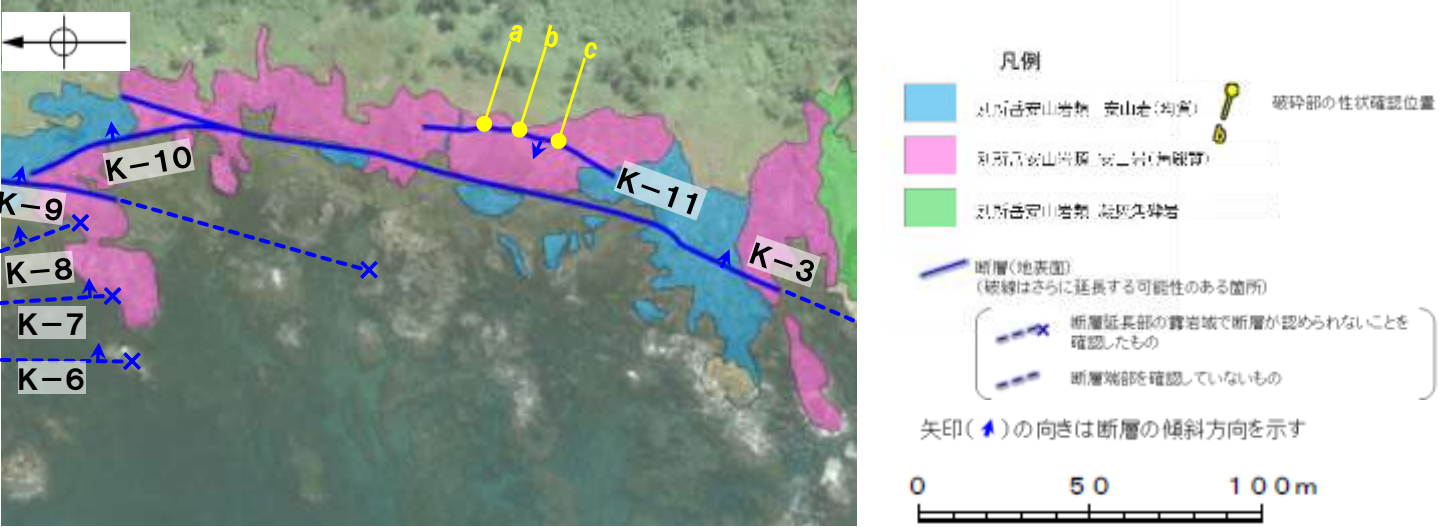
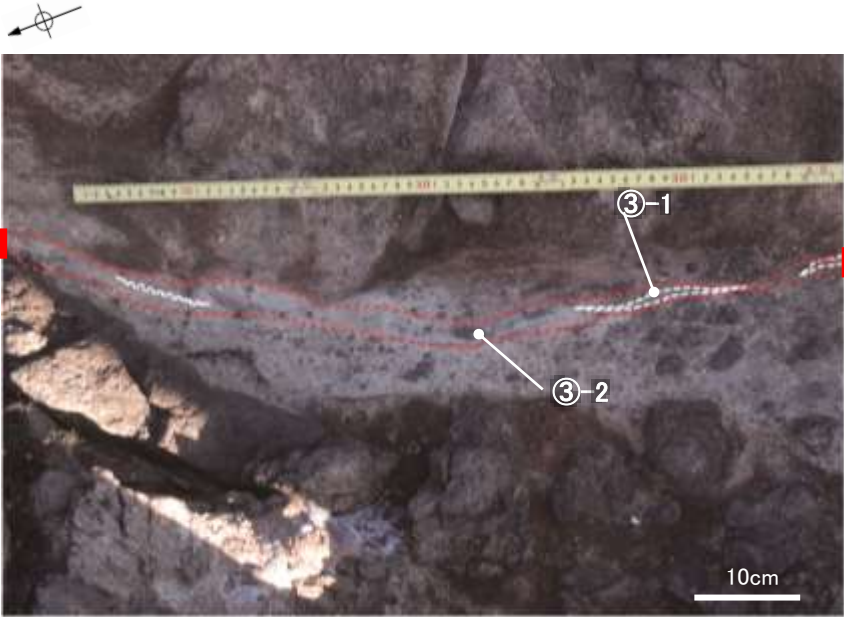
代表写真箇所 ※: 地表面で測定した幅

# K-10の性状一覧表 露頭観察(1/1)

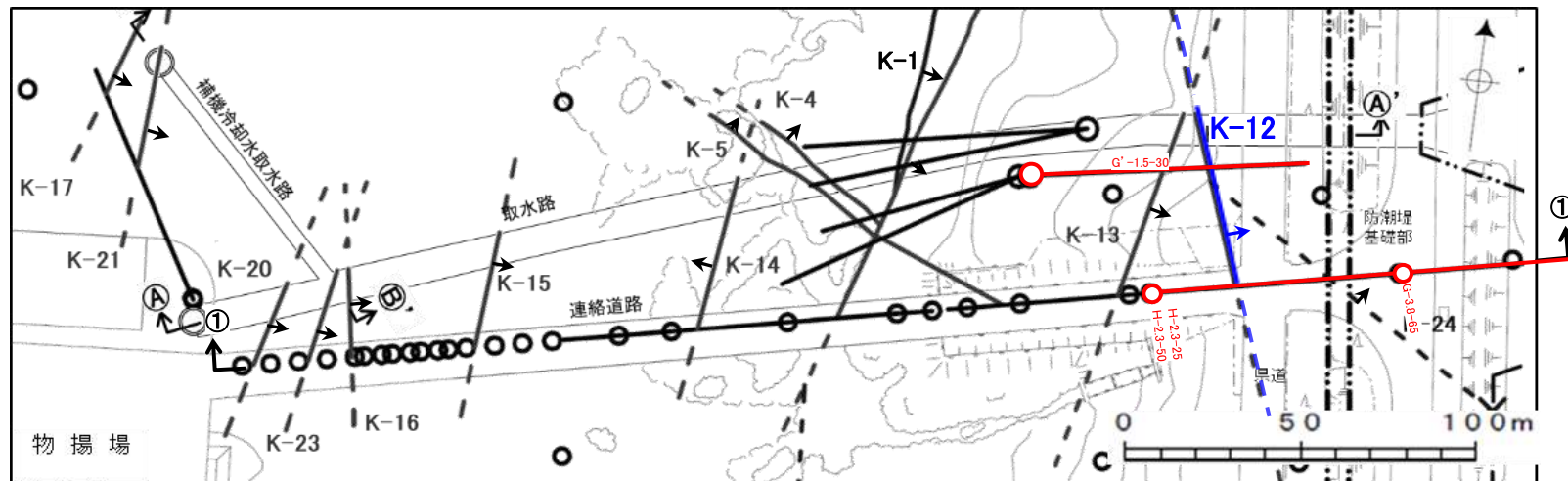
名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border-bottom: 2px solid red; width: 20px; margin-right: 5px;"></div> 破碎部                 <div style="margin-left: 20px;">                     ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div> </div>
		測定番号	幅※(cm)		
K-10	N16° W/62° NE	a	4~10	 <p style="text-align: center;">調査位置図</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>測定番号a地点 遠景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>測定番号a地点の破碎部の状況</p> </div> </div>
		b	3~11		
		c	7~9		

代表写真箇所 ※: 地表面で測定した幅

# K-11の性状一覧表 露頭観察(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-11	N14° E/70° NW	a	2~8	 <p>調査位置図</p>
		b	3~10	
		c	3~10	
		 <p>測定番号a地点の破碎部の状況</p>		

代表写真箇所 ※: 地表面で測定した幅

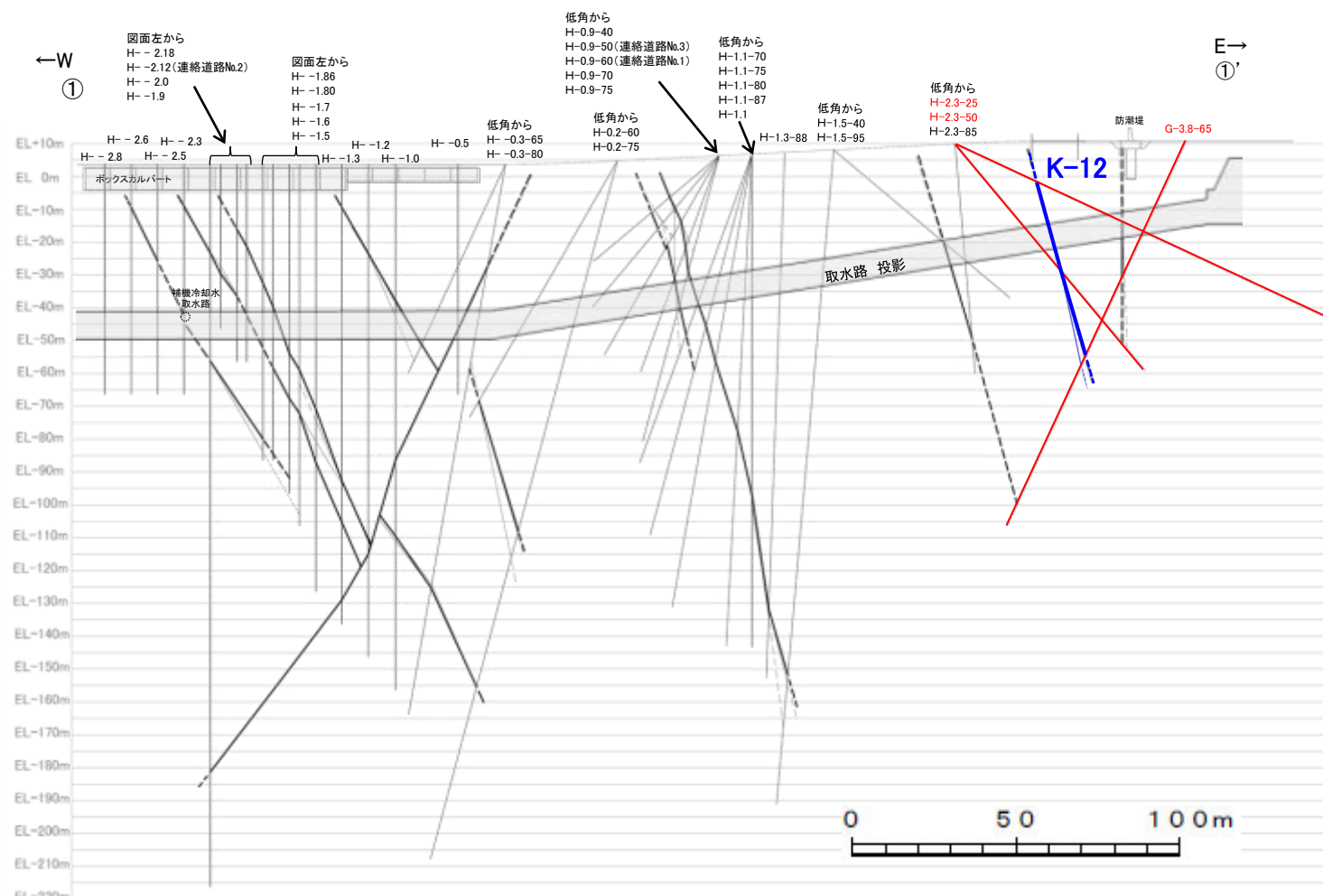


平面図

凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- K-12確認ボーリング孔
- 基礎掘削面
- K-12(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- K-12以外の断層(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- × 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- 断層端部を確認していないもの
- K-O (海岸部 EL.0m)
- (K-18, K-19, K-22, K-25, K-26については地表面付近まで連続しないため記載していない)

矢印(↑)の向きは断層の傾斜方向を示す



①-①' 断面図

凡 例

- K-12(主部を太線で表記)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - K-12以外の断層(主部を太線で表記)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - K-12確認ボーリング孔
- ※ 取水路の構造物を断面図に投影。



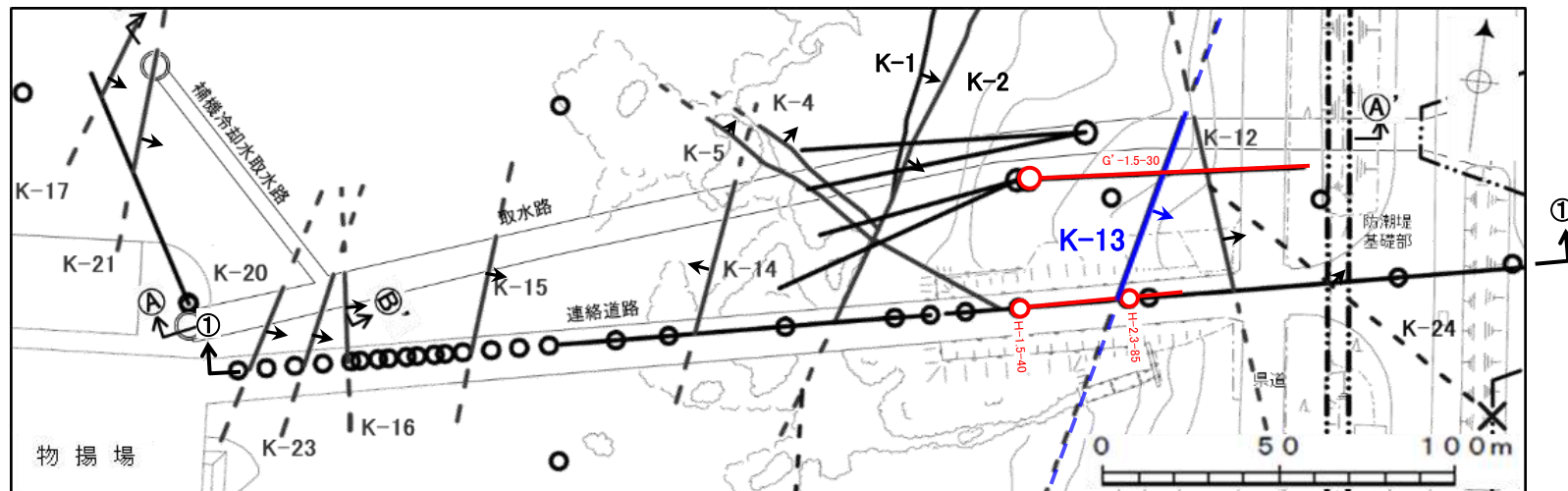
# K-12の性状一覧表(1/2)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>— 破碎部</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 5px;"> <span>① 粘土状破碎部</span> <span>③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 5px;"> <span>②-1 砂状破碎部</span> <span>③-2 固結した角礫状破碎部</span> </div>
K-12	H-2.3-25 (傾斜25°)	27.15 (EL-1.58)	N 28° W/62° NE	10	<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <span style="margin-right: 10px;">27.0</span> <span style="margin-right: 10px;">27.1</span> <span style="margin-right: 10px;">27.2</span> <span style="margin-right: 10px;">27.3</span> <span style="margin-right: 10px;">27.4</span> <span style="margin-right: 10px;">27.5</span> <span>27.6 (m)</span> </div>
		27.49 (EL-1.73)	N 17° W/58° NE	7	<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <span style="margin-right: 10px;">27.2</span> <span style="margin-right: 10px;">27.3</span> <span style="margin-right: 10px;">27.4</span> <span style="margin-right: 10px;">27.5</span> <span style="margin-right: 10px;">27.6</span> <span style="margin-right: 10px;">27.7</span> <span>27.8 (m)</span> </div>
	H-2.3-50 (傾斜50°)	49.99 (EL-28.40)	N 29° W/71° NE	21	<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <span style="margin-right: 10px;">49.4</span> <span style="margin-right: 10px;">49.5</span> <span style="margin-right: 10px;">49.6</span> <span style="margin-right: 10px;">49.7</span> <span style="margin-right: 10px;">49.8</span> <span style="margin-right: 10px;">49.9</span> <span>50.0 (m)</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 5px;"> <span style="margin-right: 10px;">50.0</span> <span style="margin-right: 10px;">50.1</span> <span style="margin-right: 10px;">50.2</span> <span style="margin-right: 10px;">50.3</span> <span style="margin-right: 10px;">50.4</span> <span style="margin-right: 10px;">50.5</span> <span>50.6 (m)</span> </div>

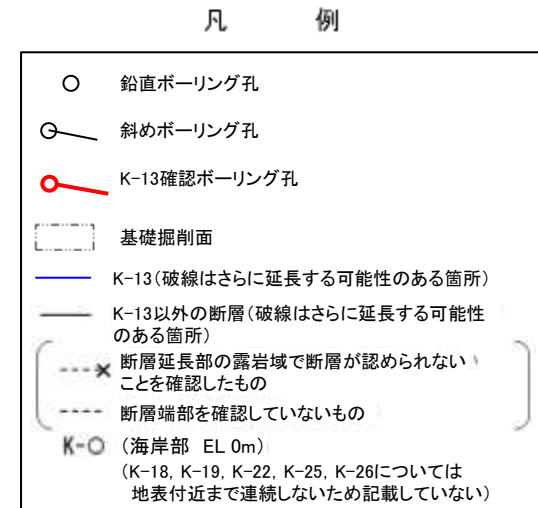
# K-12の性状一覧表(2/2)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)※	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 20px; height: 2px; background-color: red; margin-right: 5px;"></div> <span>破碎部</span> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部</p> </div>
K-12	G-3.8-65 (傾斜65°)	72.80 (EL-55.04)	N 13° W/79° NE	12	
		75.72 (EL-57.69)	N 9° W/86° NE	(3)	
		65.67 (EL-28.19)	N 31° W/74° NE	7	

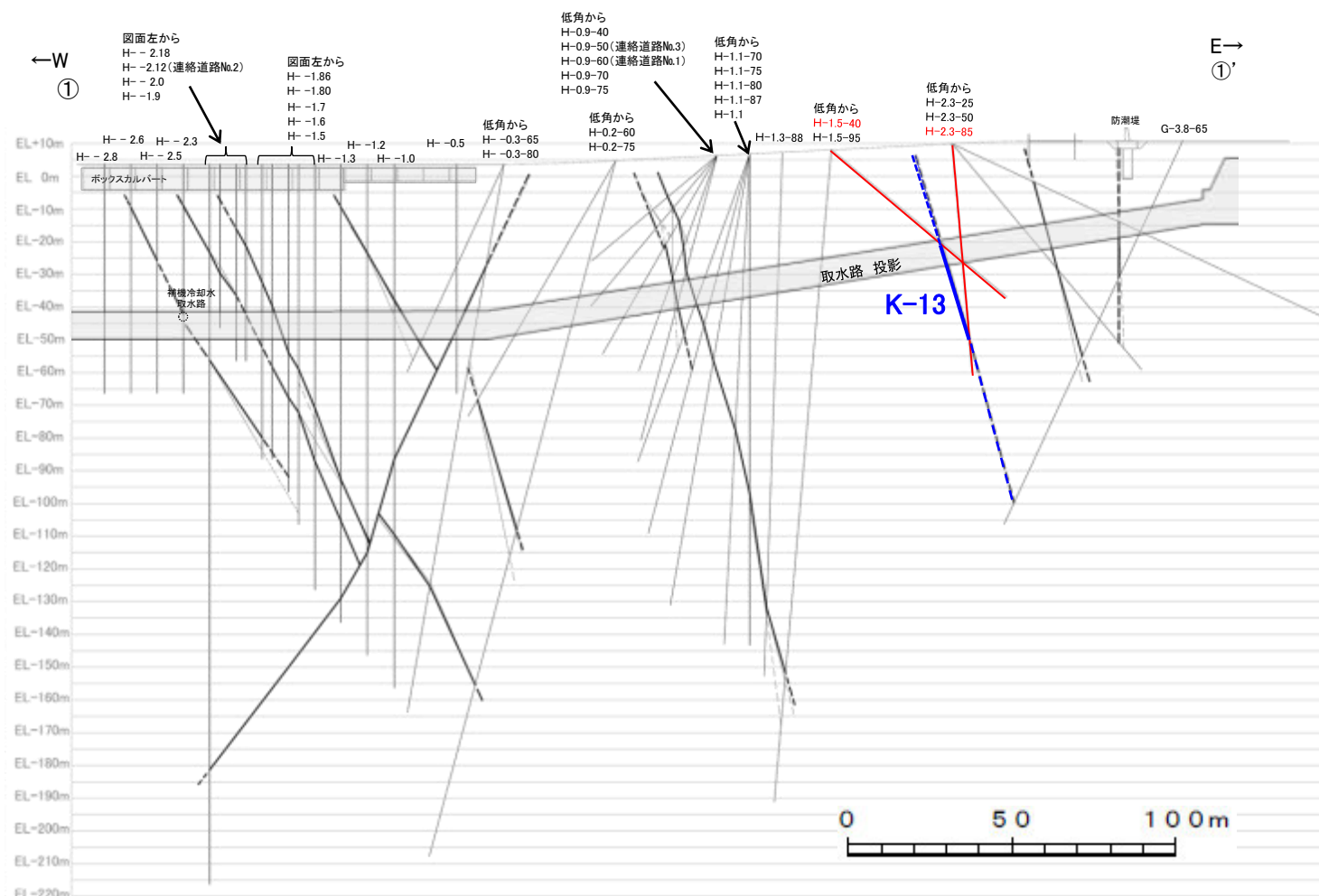
※幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記



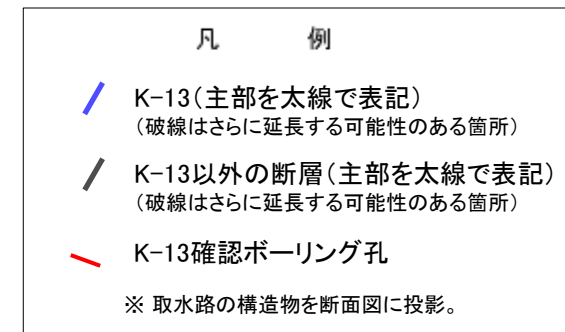
平面図



矢印(➡)の向きは断層の傾斜方向を示す



①-①' 断面図



# K-13の性状一覧表(1/3)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red;">▬</span> 破碎部                 </div> <div style="margin-top: 5px;">                     ① 粘土状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div>
K-13	H-1.5-40 (傾斜40°)	43.18 (EL-19.73)	N 13° E/72° SE	7	
		43.81 (EL-20.13)	N 8° E/65° SE	14	

# K-13の性状一覧表(2/3)

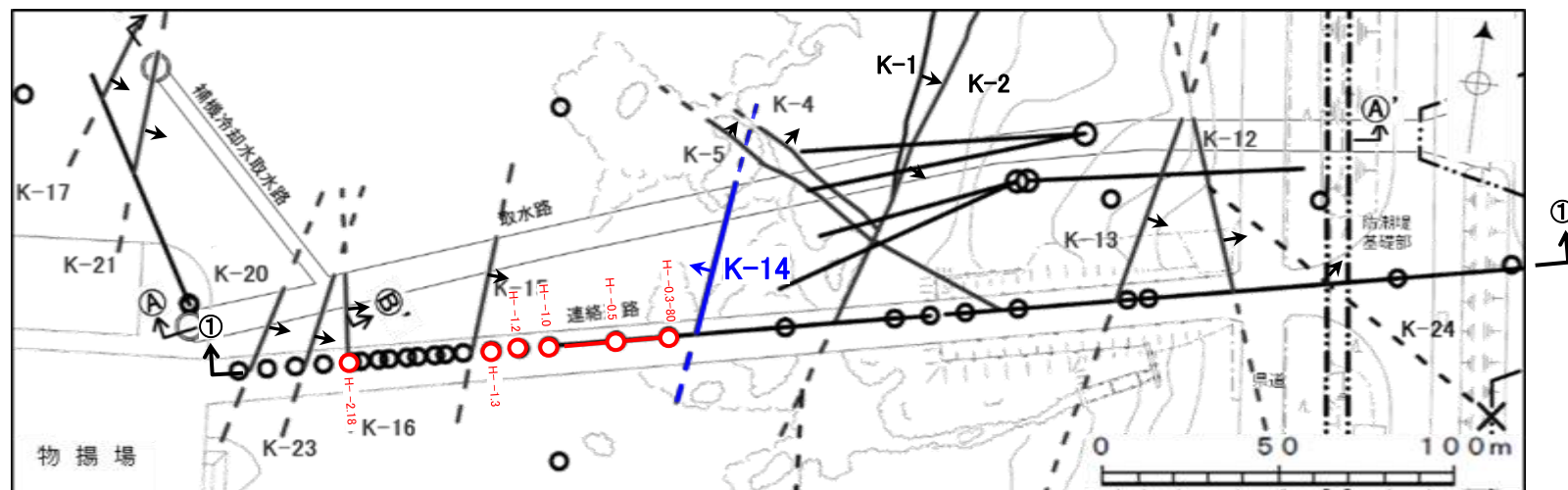
名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
K-13	H-2.3-85 (傾斜85°)	59.40 (EL-49.28)	N 16° E/81° SE	27	<p>58.0 58.1 58.2 58.3 58.4 58.5 58.6 (m)</p> <p>③-2</p>
					<p>58.6 58.7 58.8 58.9 59.0 59.1 59.2 (m)</p> <p>③-2 ① ③-1</p>
					<p>59.2 59.3 59.4 59.5 59.6 59.7 59.8 (m)</p> <p>③-2 ③-1 ① ③-1</p>
					<p>59.8 59.9 60.0 60.1 60.2 60.3 60.4 (m)</p> <p>掘進区切り</p> <p>③-1</p>

本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。

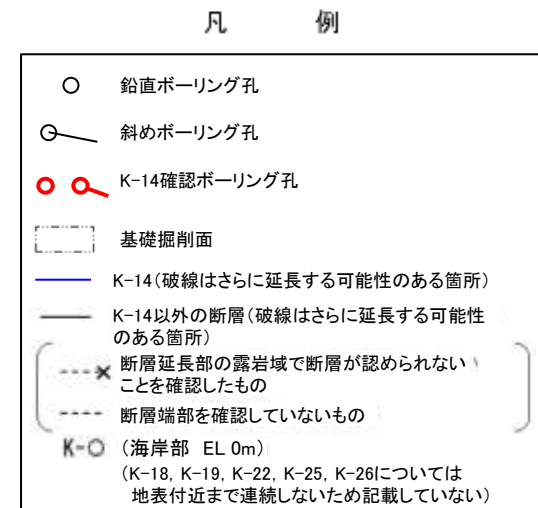
# K-13の性状一覧表(3/3)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red;">—</span> 破碎部           <span style="margin-left: 20px;">②-2 角礫状破碎部</span> <span style="margin-left: 20px;">③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> </div>
K-13	G'-1.5-30 (傾斜30°)	47.80 (EL-19.25)	N 16° E/77° SE	8	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">47.4      47.5      47.6      47.7      47.8      47.9      48.0 (m)</div> </div>
		48.07 (EL-19.39)	N 5° E/75° SE	2	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">47.8      47.9      48.0      48.1      48.2      48.3      48.4 (m)</div> </div>

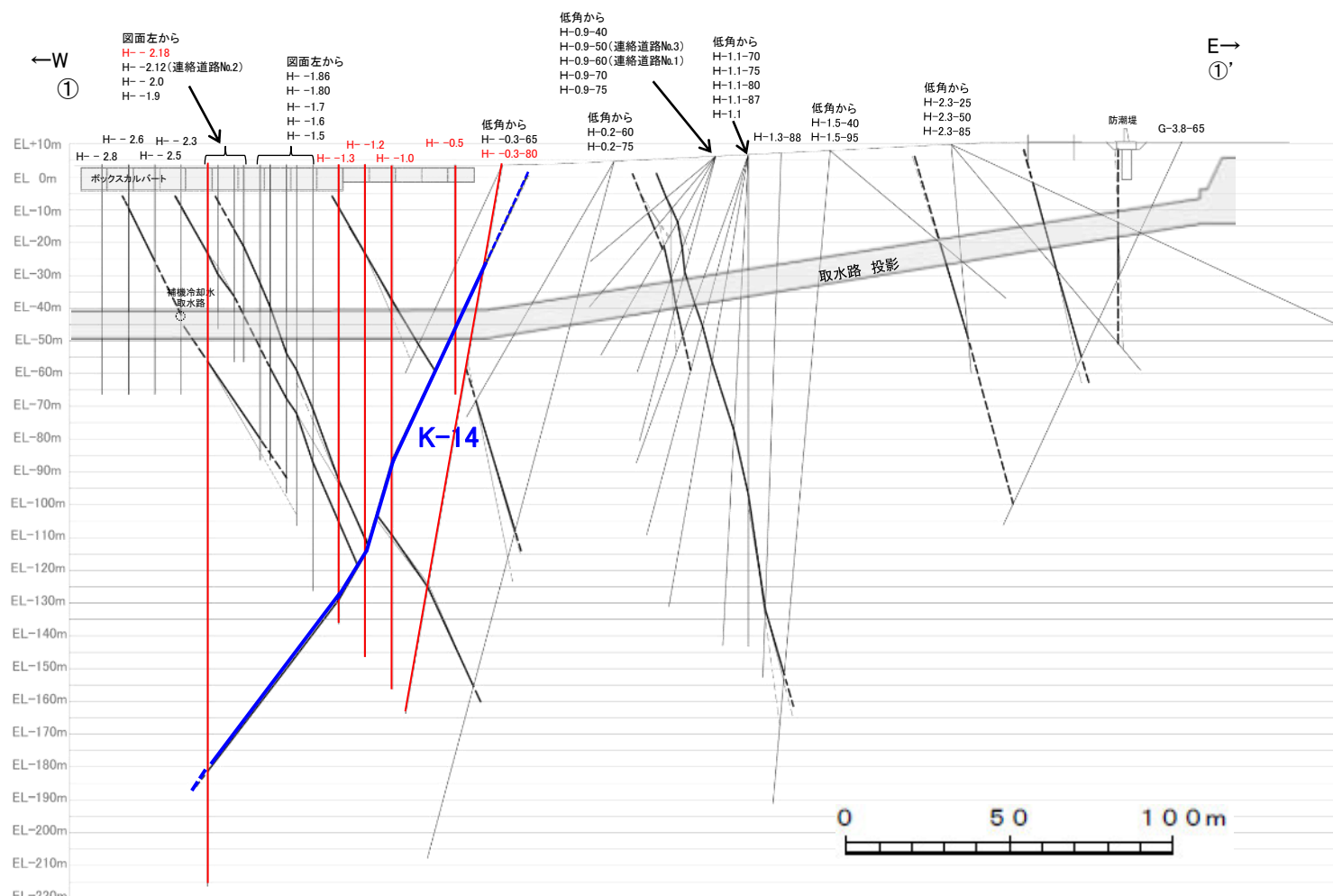
# ボーリング調査 位置図(K-14)



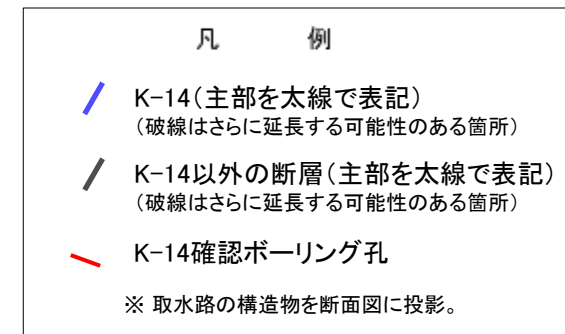
平面図



矢印(➤)の向きは断層の傾斜方向を示す



①-①' 断面図






# K-14の性状一覧表(1/6)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red;">▬</span> 破碎部                 </div> <div style="margin-top: 5px;">                     ①粘土状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div>
K-14	H- -2.18	185.01 (EL-181.37)	N 17° E/68° NW	20	<p>184.4 184.5 184.6 184.7 184.8 184.9 185.0 (m)</p> <p>① ③-1</p>
	H- -1.3	132.56 (EL-128.87)	N 24° E/58° NW	24	<p>132.2 132.3 132.4 132.5 132.6 132.7 132.8 (m)</p> <p>③-2 ③-1 ③-2</p> <p>132.8 132.9 133.0 133.1 133.2 133.3 133.4 (m)</p> <p>③-2</p>



# K-14の性状一覧表(2/6)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> <span>— 破碎部</span> <span>①粘土状破碎部</span> <span>③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> <span>②-2 角礫状破碎部</span> <span>③-2 固結した角礫状破碎部</span> </div>
K-14	H- -1.2	118.76 (EL-115.12)	N 2° W/64° SW	48	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">118.1</div> <div style="margin-right: 10px;">118.2</div> <div style="margin-right: 10px;">118.3</div> <div style="margin-right: 10px;">118.4</div> <div style="margin-right: 10px;">118.5</div> <div style="margin-right: 10px;">118.6</div> <div style="margin-right: 10px;">118.7 (m)</div> </div>  <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="margin-right: 10px;">118.7</div> <div style="margin-right: 10px;">118.8</div> <div style="margin-right: 10px;">118.9</div> <div style="margin-right: 10px;">119.0</div> <div style="margin-right: 10px;">119.1</div> <div style="margin-right: 10px;">119.2</div> <div style="margin-right: 10px;">119.3 (m)</div> </div>  <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="margin-right: 10px;">119.3</div> <div style="margin-right: 10px;">119.4</div> <div style="margin-right: 10px;">119.5</div> <div style="margin-right: 10px;">119.6 (m)</div> </div> 

# K-14の性状一覧表(3/6)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
K-14	H- -1.0	90.03 (EL-86.37)	N 20° E/75° NW	28	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> <span style="color: red;">—</span> 破碎部                      コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ②-2 角礫状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div>

# K-14の性状一覧表(4/6)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>==== 破碎部</p> <p>① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部</p> <p>②-2 角礫状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>コア写真</p> </div> </div>
K-14	H- -0.5	50.21 (EL-46.57)	N 10° W/70° SW	31	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>49.5      49.6      49.7      49.8      49.9 (m)</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>49.9      50.0      50.1      50.2      50.3      50.4      50.5 (m)</p> </div> <div> <p>50.5      50.6      50.7      50.8      50.9      51.0 (m)</p> </div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>

# K-14の性状一覧表(5/6)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	<div style="text-align: right;"> <span style="color: red;">—</span> 破碎部                      コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ②-2 角礫状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div>
K-14	H- -0.3-80 (傾斜80°)	31.57 (EL-27.40)	N 5° E/68° NW	72	<p>29.0 29.1 29.2 29.3 29.4 29.5 29.6 (m)</p> <p>29.6 29.7 29.8 29.9 30.0 30.1 30.2 (m)</p> <p>30.2 30.3 30.4 30.5 30.6 30.7 30.8 (m)</p> <p>30.8 30.9 31.0 31.1 31.2 31.3 31.4 (m)</p> <p>②-2 本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>

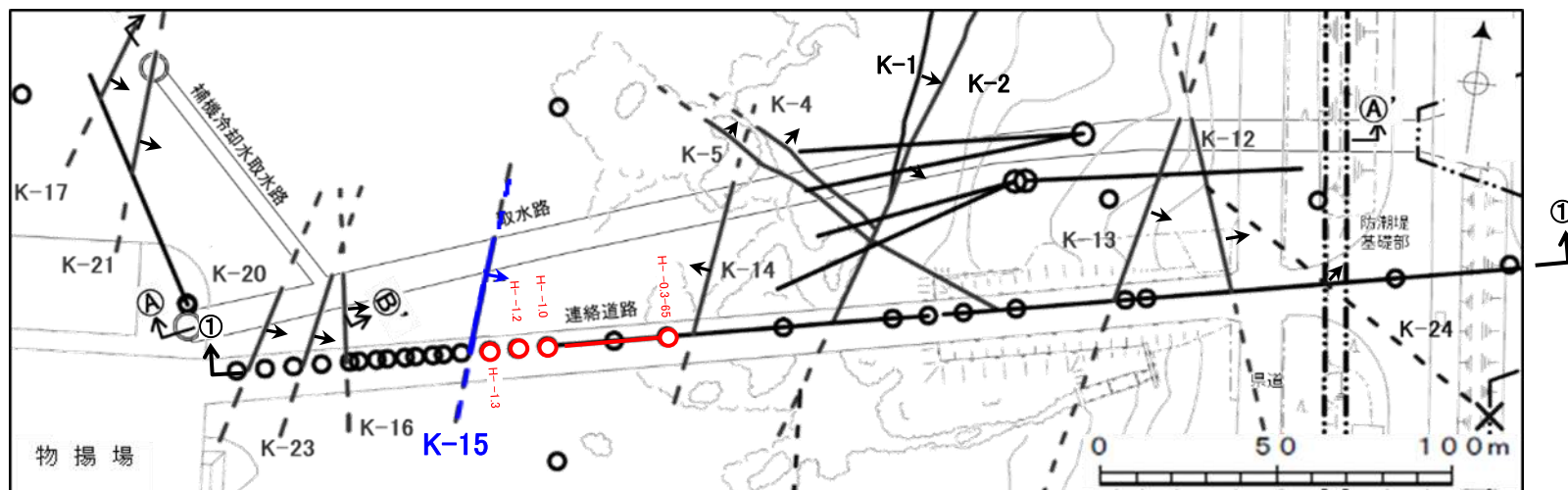
# K-14の性状一覧表(6/6)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
K-14	H- -0.3-80 (傾斜80°)	31.57 (EL-27.40)	N 5° E/68° NW	72	<p>— 破碎部</p> <p>コア写真 ① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部</p>
		32.28 (EL-28.10)	N 7° W/64° SW	4	

本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。

本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。

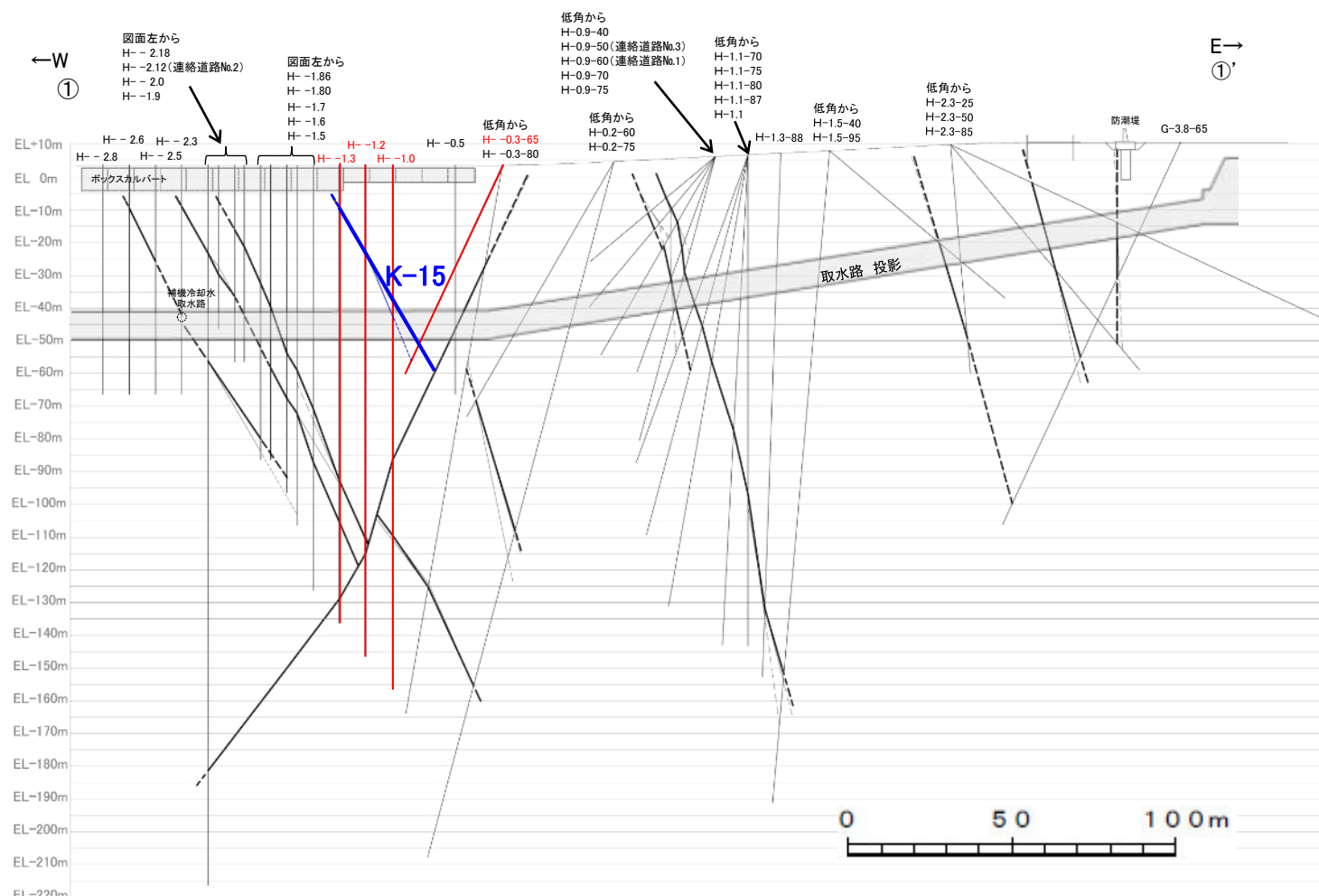
# ボーリング調査 位置図(K-15)



平面図

- 凡 例
- 鉛直ボーリング孔
  - 斜めボーリング孔
  - K-15確認ボーリング孔
  - 基礎掘削剖面
  - K-15(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - K-15以外の断層(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
  - 断層端部を確認していないもの
  - K-O (海岸部 EL.0m)
  - (K-18, K-19, K-22, K-25, K-26については地表付近まで連続しないため記載していない)

矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す



①-①' 断面図

- 凡 例
- K-15(主部を太線で表記)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - K-15以外の断層(主部を太線で表記)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - K-15確認ボーリング孔
- ※ 取水路の構造物を断面図に投影。

# K-15の性状一覧表(1/2)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)※	コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
K-15	H- -1.3	13.13 (EL-9.44)	N S/70° E	(3)	
		13.48 (EL-9.79)	N 2° E/65° SE	1	
	H- -1.2	27.05 (EL-23.41)	N 15° E/69° SE	33	

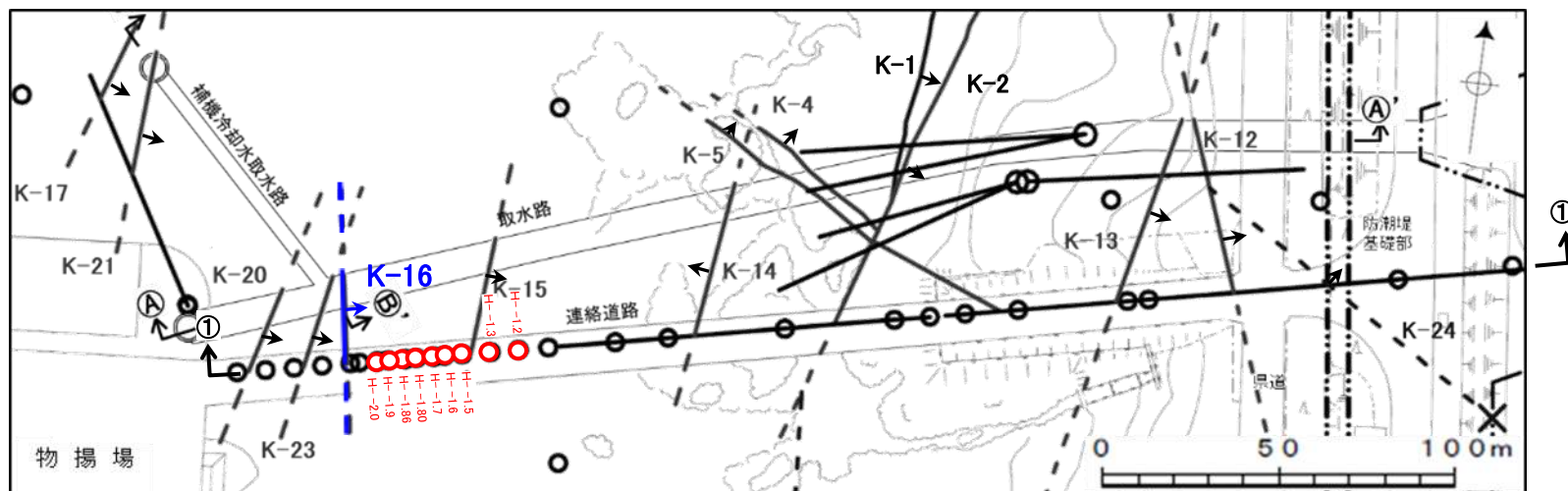
※幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記

# K-15の性状一覧表(2/2)

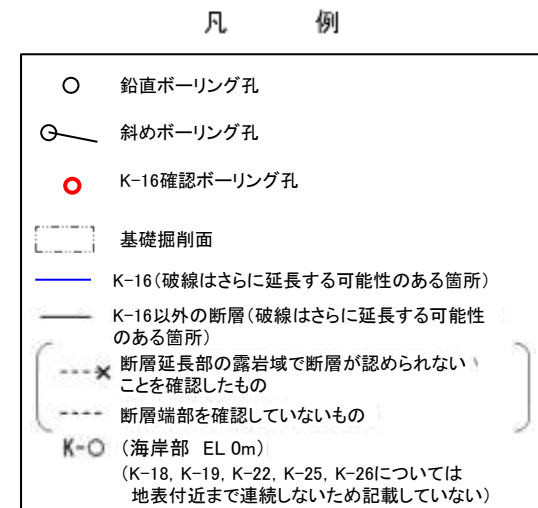
名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: right;"> <p>—— 破碎部</p> <p>コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部</p> <p>②-2 角礫状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部</p> </div> <div style="text-align: left;"> </div> </div>
K-15	H- -1.0	41.51 (EL-37.85)	N 4° W/64° NE	10	<p>本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>
		42.25 (EL-38.59)	N 13° E/64° SE	9	<p>本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>
		46.36 (EL-42.70)	N 4° E/80° SE	7	<p>本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>
	H- -0.3-65 (傾斜65°)	60.54 (EL-51.18)	N 8° W/60° NE	11	<p>本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>



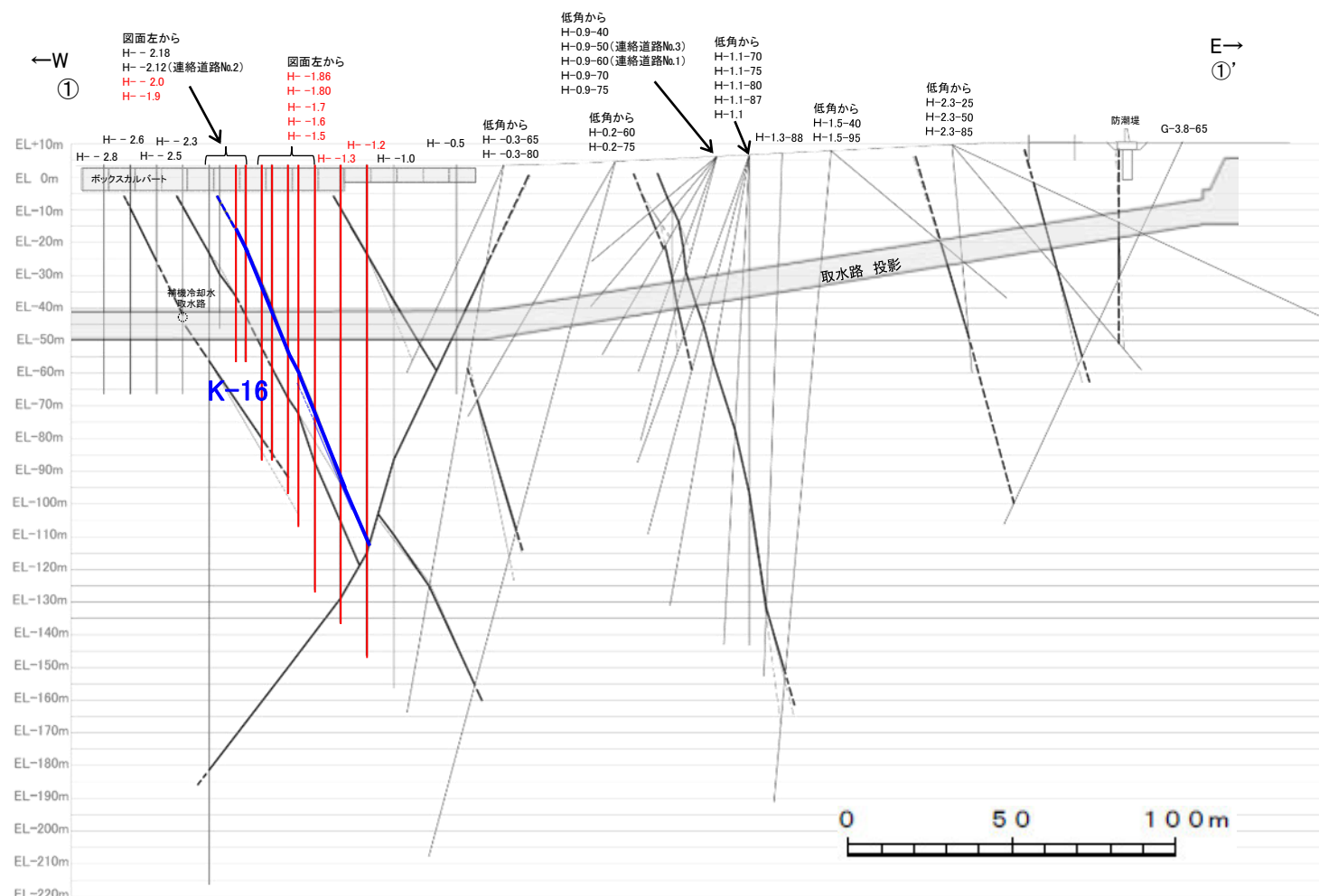
# ボーリング調査 位置図 (K-16)



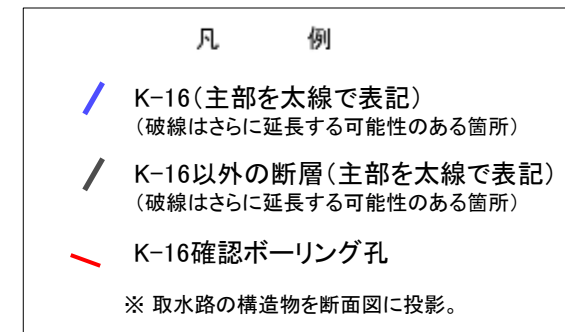
平面図




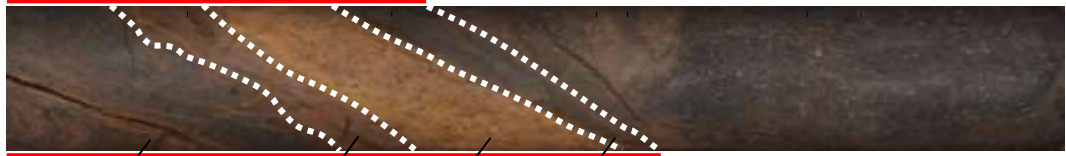
矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す



①-①' 断面図



# K-16の性状一覧表(1/8)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>== 破碎部</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 5px;"> <span>① 粘土状破碎部</span> <span>③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 5px;"> <span></span> <span>③-2 固結した角礫状破碎部</span> </div>
K-16	H- -2.0	19.73 (EL-16.09)	N 24° W/70° NE	22	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-bottom: 5px;"> <span>19.1</span><span>19.2</span><span>19.3</span><span>19.4</span><span>19.5 (m)</span> </div>  <div style="margin-top: 10px;"> <span>③-2</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-bottom: 5px;"> <span>19.5</span><span>19.6</span><span>19.7</span><span>19.8</span><span>19.9</span><span>20.0 (m)</span> </div>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 5px;"> <span>③-2</span><span>③-1</span><span>①</span><span>③-1</span> </div> </div>

# K-16の性状一覧表(2/8)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	<div style="text-align: right;"> <span style="color: red;">—</span> 破碎部                      コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ②-1 砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div>
K-16	H- -1.9	25.04 (EL-21.40)	N 18° W/68° NE	51	<p>24.3 24.4 24.5 24.6 24.7 24.8 24.9 (m)</p> <p>24.9 25.0 25.1 25.2 25.3 25.4 25.5 (m)</p> <p>25.5 25.6 25.7 25.8 25.9 26.0 26.1 (m)</p> <p>26.1 26.2 26.3 26.4 26.5 26.6 26.7 (m)</p>

# K-16の性状一覧表(3/8)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 粘土状破碎部</li> <li>②-1 砂状破碎部</li> <li>②-2 角礫状破碎部</li> <li>③-1 固結した粘土・砂状破碎部</li> <li>③-2 固結した角礫状破碎部</li> <li>== 破碎部</li> </ul>
K-16	H-1.86	36.28 (EL-32.64)	N 22° W/63° NE	15	<p>35.8 35.9 36.0 36.1 36.2 (m)</p> <p>③-2</p> <p>36.2 36.3 36.4 36.5 36.6 36.7 (m)</p> <p>③-2 ③-1 ① ②-1 ③-1</p> <p>本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>
	H-1.80	43.35 (EL-39.71)	N 19° W/74° NE	21	<p>43.0 43.1 43.2 43.3 43.4 43.5 43.6 (m)</p> <p>③-1 ②-2 ①</p> <p>43.6 43.7 43.8 43.9 44.0 (m)</p> <p>③-1 ③-2</p> <p>本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>

# K-16の性状一覧表(4/8)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red; font-weight: bold;">▬</span> 破碎部                 </div> <div style="margin-top: 5px;">                     ① 粘土状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div>
K-16	H- -1.7	57.55 (EL-53.91)	N 8° W/72° NE	26	<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <span style="margin-right: 10px;">56.8</span> <span style="margin-right: 10px;">56.9</span> <span style="margin-right: 10px;">57.0</span> <span style="margin-right: 10px;">57.1</span> <span style="margin-right: 10px;">57.2</span> <span style="margin-right: 10px;">57.3 (m)</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 5px;"> <span style="margin-right: 10px;">57.3</span> <span style="margin-right: 10px;">57.4</span> <span style="margin-right: 10px;">57.5</span> <span style="margin-right: 10px;">57.6</span> <span style="margin-right: 10px;">57.7</span> <span style="margin-right: 10px;">57.8</span> <span style="margin-right: 10px;">57.9 (m)</span> </div>
	H- -1.6	62.46 (EL-58.82)	N 21° W/63° NE	22	<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <span style="margin-right: 10px;">62.2</span> <span style="margin-right: 10px;">62.3</span> <span style="margin-right: 10px;">62.4</span> <span style="margin-right: 10px;">62.5</span> <span style="margin-right: 10px;">62.6</span> <span style="margin-right: 10px;">62.7 (m)</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 5px;"> <span style="margin-right: 10px;">62.7</span> <span style="margin-right: 10px;">62.8</span> <span style="margin-right: 10px;">62.9</span> <span style="margin-right: 10px;">63.0</span> <span style="margin-right: 10px;">63.1 (m)</span> </div>

# K-16の性状一覧表(5/8)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border-bottom: 2px solid red; width: 20px; height: 10px;"></div> 破碎部                 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 2px;">①</div> 粘土状破碎部                 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 2px;">②-2</div> 角礫状破碎部                 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 2px;">③-1</div> 固結した粘土・砂状破碎部                 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 2px;">③-2</div> 固結した角礫状破碎部                 </div>
K-16	H- -1.5	74.35 (EL-70.71)	N 25° W/64° NE	16	<div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;"> <span>74.1</span><span>74.2</span><span>74.3</span><span>74.4</span><span>74.5</span><span>74.6</span><span>74.7 (m)</span> </div>
		77.93 (EL-74.29)	N 7° E/63° SE	21	<div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;"> <span>77.1</span><span>77.2</span><span>77.3</span><span>77.4</span><span>77.5</span><span>77.6</span><span>77.7 (m)</span> </div>
		84.28 (EL-80.64)	N 9° E/56° SE	9	<div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;"> <span>84.0</span><span>84.1</span><span>84.2</span><span>84.3</span><span>84.4</span><span>84.5 (m)</span> </div>

# K-16の性状一覧表(6/8)

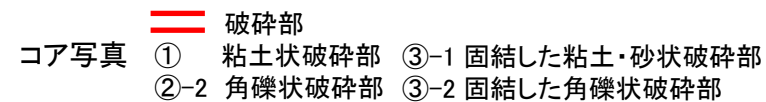
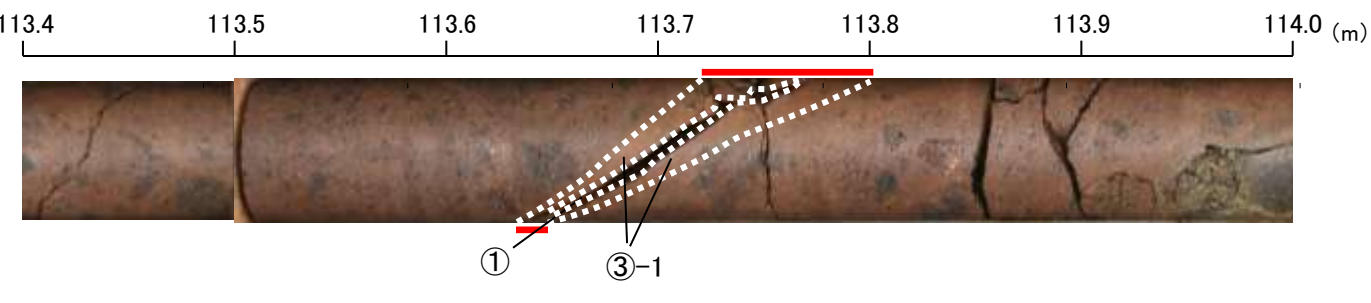
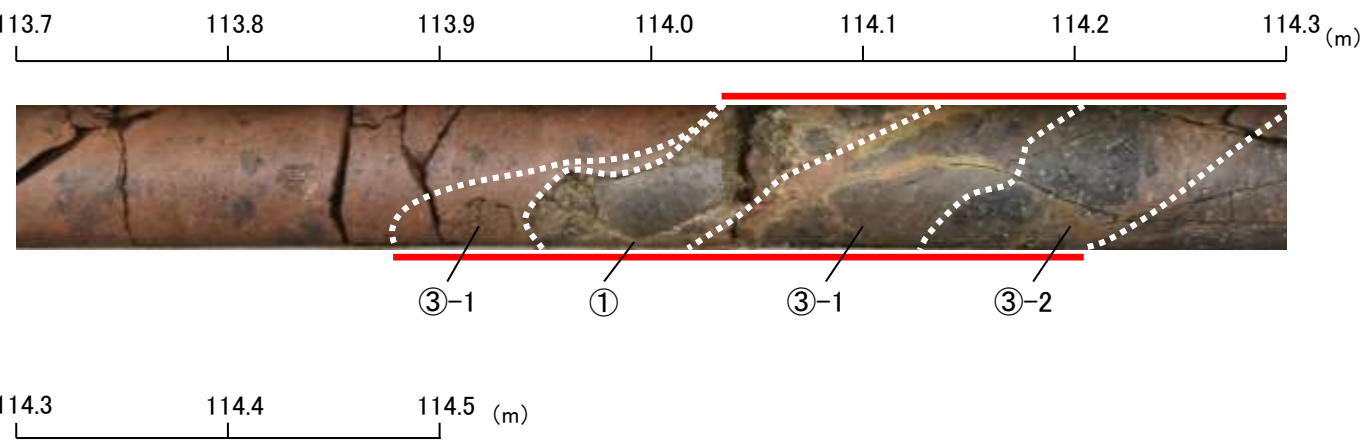
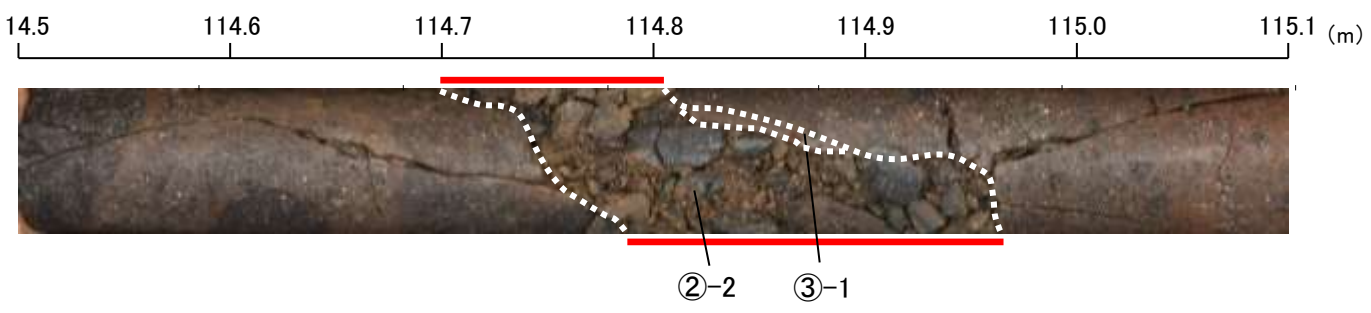
名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
K-16	H- -1.3	96.35 (EL-92.66)	N 7° W/74° NE	14	<p>96.0 96.1 96.2 96.3 96.4 96.5 96.6 (m)</p> <p>③-1 ②-2 ① ③-1 ③-2</p> <p>96.6 96.7 96.8 (m)</p>
		96.74 (EL-93.05)	N 1° W/72° NE	3	<p>96.4 96.5 96.6 96.7 96.8 96.9 97.0 (m)</p> <p>③-1</p>
		97.30 (EL-93.61)	N S/48° E	13	<p>97.0 97.1 97.2 97.3 97.4 97.5 97.6 (m)</p> <p>③-1 ②-2 ③-1</p>

# K-16の性状一覧表(7/8)

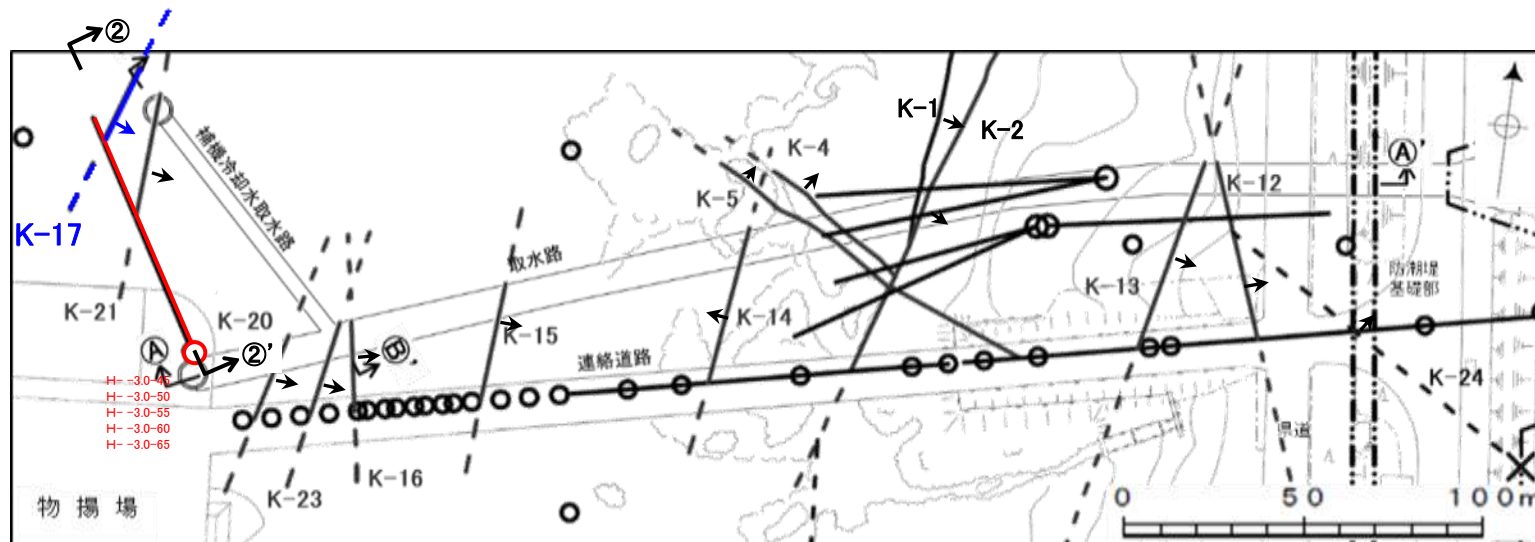
名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <span style="color: red;">▬</span> 破碎部    ③-1 固結した粘土・砂状破碎部
K-16	H- -1.3	97.44 (EL-93.75)	N 4° W/66° NE	2	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>97.0                      97.1                      97.2                      97.3                      97.4                      97.5                      97.6 (m)</p> </div> </div>



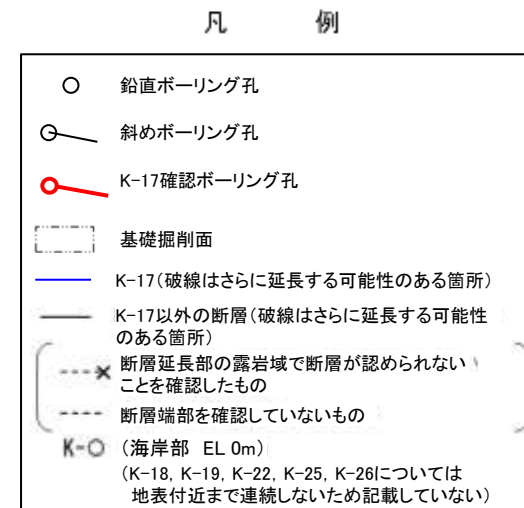
# K-16の性状一覧表(8/8)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 
K-16	H- -1.2	113.68 (EL-110.04)	N 9° W/64° NE	3	
		114.05 (EL-110.41)	N 16° W/73° NE	14	
		114.75 (EL-111.11)	N 7° E/78° SE	4	

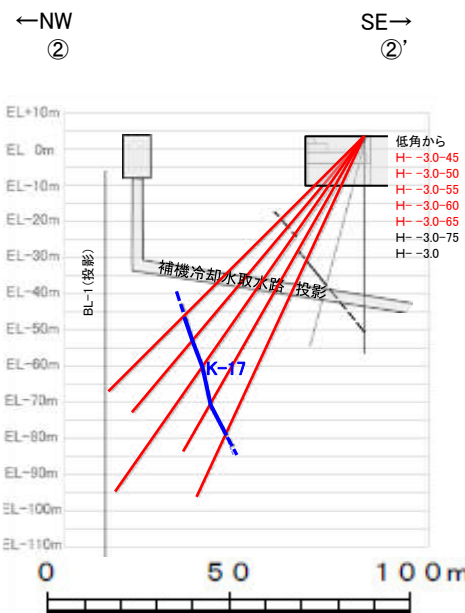
# ボーリング調査 位置図(K-17)



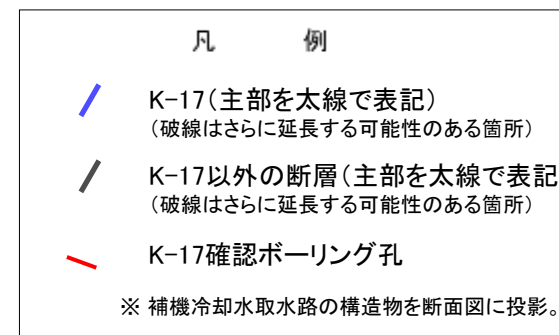
平面図



矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す



②-②' 断面図



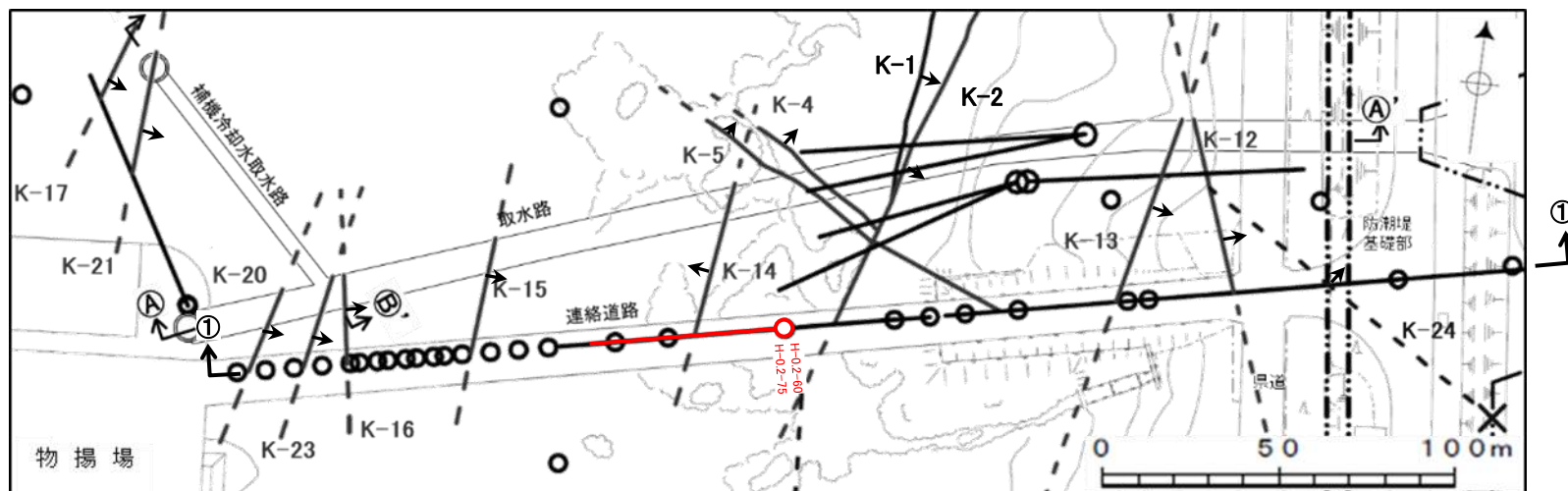
# K-17の性状一覧表(1/2)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
K-17	H-3.0-45 (傾斜45°)	70.46 (EL-46.18)	N 8° E/86° SE	13	<p>70.1 70.2 70.3 70.4 70.5 70.6 70.7 (m)</p> <p>②-1 ③-1</p>
	H-3.0-50 (傾斜50°)	74.00 (EL-53.05)	N 5° E/70° SE	8	<p>73.6 73.7 73.8 73.9 74.0 74.1 74.2 (m)</p> <p>掘進区切り</p> <p>③-1</p>
		74.26 (EL-53.25)	N30° E/82° SE	10	<p>74.0 74.1 74.2 74.3 74.4 74.5 74.6 (m)</p> <p>③-1</p>
	H-3.0-55 (傾斜55°)	78.23 (EL-60.44)	N 25° E/85° SE	14	<p>78.0 78.1 78.2 78.3 78.4 78.5 78.6 (m)</p> <p>③-1 ① ③-1 ③-2</p>

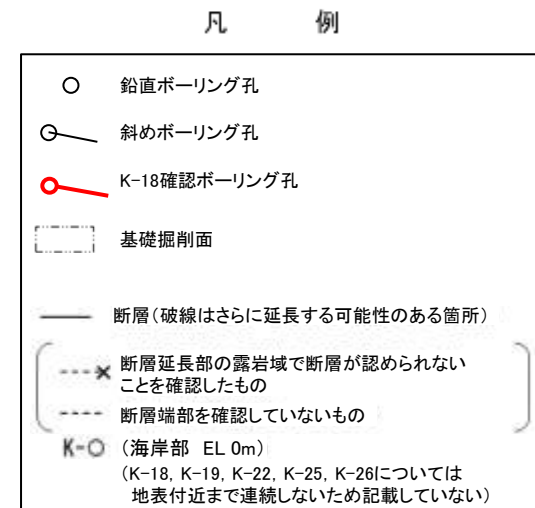
# K-17の性状一覧表(2/2)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)※	コア写真 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 粘土状破碎部</li> <li>②-1 砂状破碎部</li> <li>②-2 角礫状破碎部</li> <li>③-1 固結した粘土・砂状破碎部</li> <li>③-2 固結した角礫状破碎部</li> <li>— 破碎部</li> </ul>
K-17	H-3.0-60 (傾斜60°)	86.07 (EL-70.90)	N 21° E/81° SE	4	
	H-3.0-65 (傾斜65°)	91.04 (EL-78.87)	N 2° E/77° SE	17	
		91.53 (EL-79.31)	N33° E/67° SE	(3)	

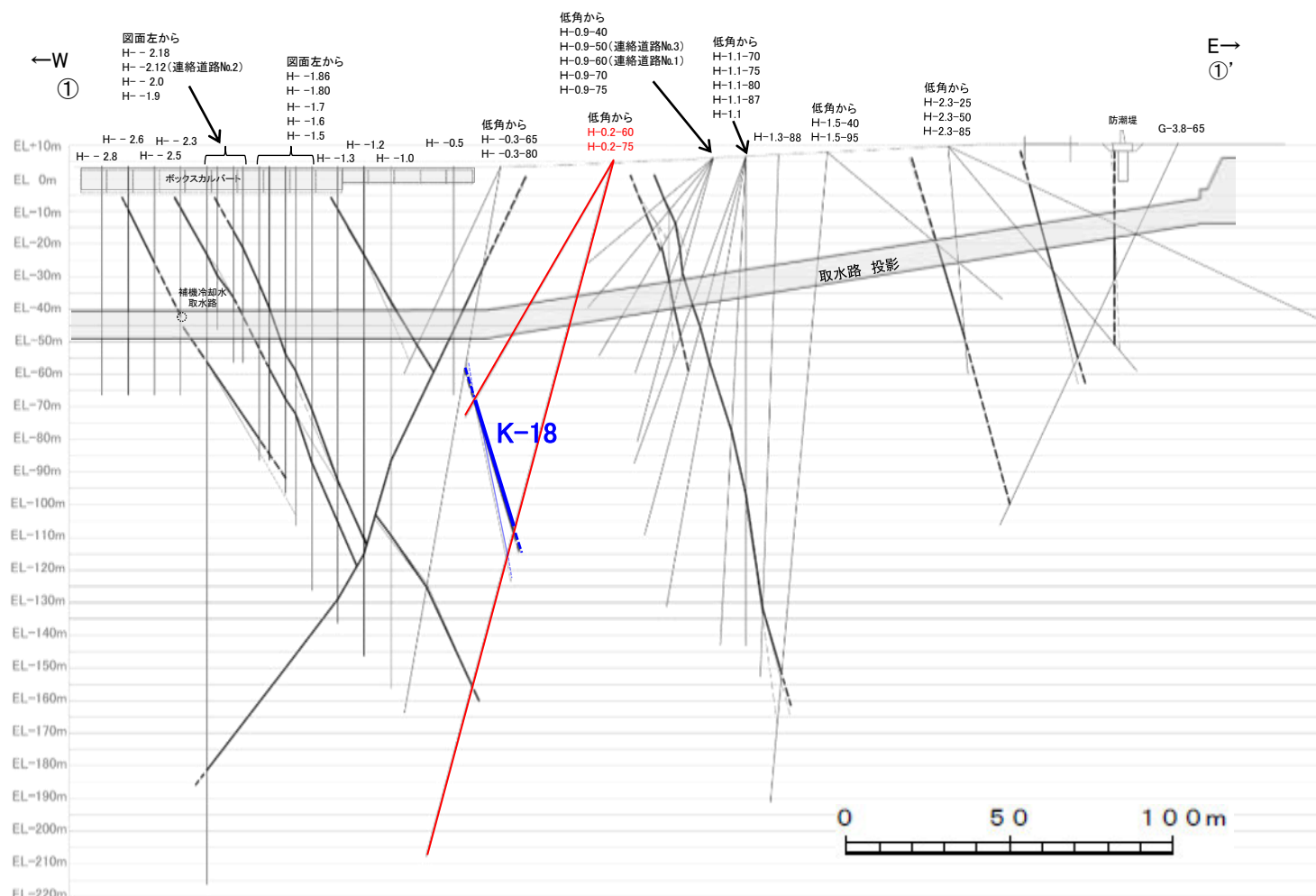
※幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記



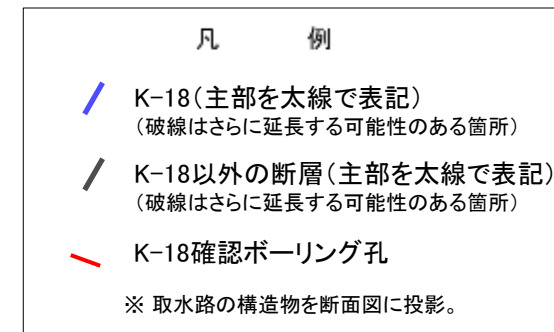
平面図



矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す



①-①' 断面図



# K-18の性状一覧表(1/2)

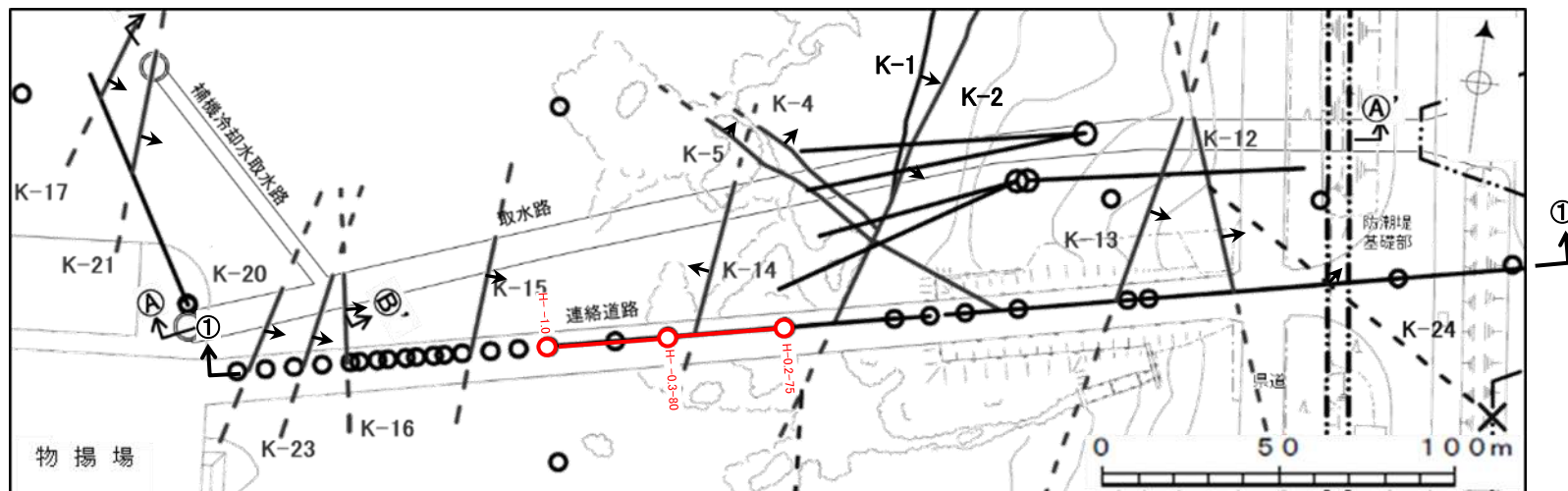
名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
K-18	H-0.2-60 (傾斜60°)	84.35 (EL-68.32)	N 26° E/80° SE	55	<p> </p> <p> </p>
	H-0.2-75 (傾斜75°)	116.75 (EL-108.04)	N 2° E/81° SE	47	<p> </p> <p> </p>

破碎部  
 ① 粘土状破碎部  
 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部  
 ③-2 固結した角礫状破碎部

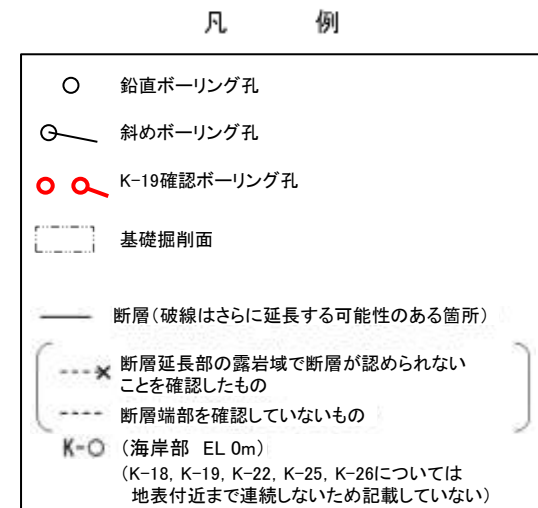
# K-18の性状一覧表(2/2)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <span style="color: red; font-weight: bold; margin-right: 5px;">==</span> 破碎部                 <div style="margin-left: 20px;">                     ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div> </div>
K-18	H-0.2-75 (傾斜75°)	117.50 (EL-108.77)	N 1° W/82° NE	12	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">117.0      117.1      117.2      117.3      117.4      117.5      117.6 (m)</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="margin-right: 10px;">117.6      117.7      117.8      117.9      118.0 (m)</div> </div>
		125.24 (EL-116.24)	N7° E/69° SE	2	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">125.0      125.1      125.2      125.3      125.4      125.5      125.6 (m)</div> </div>

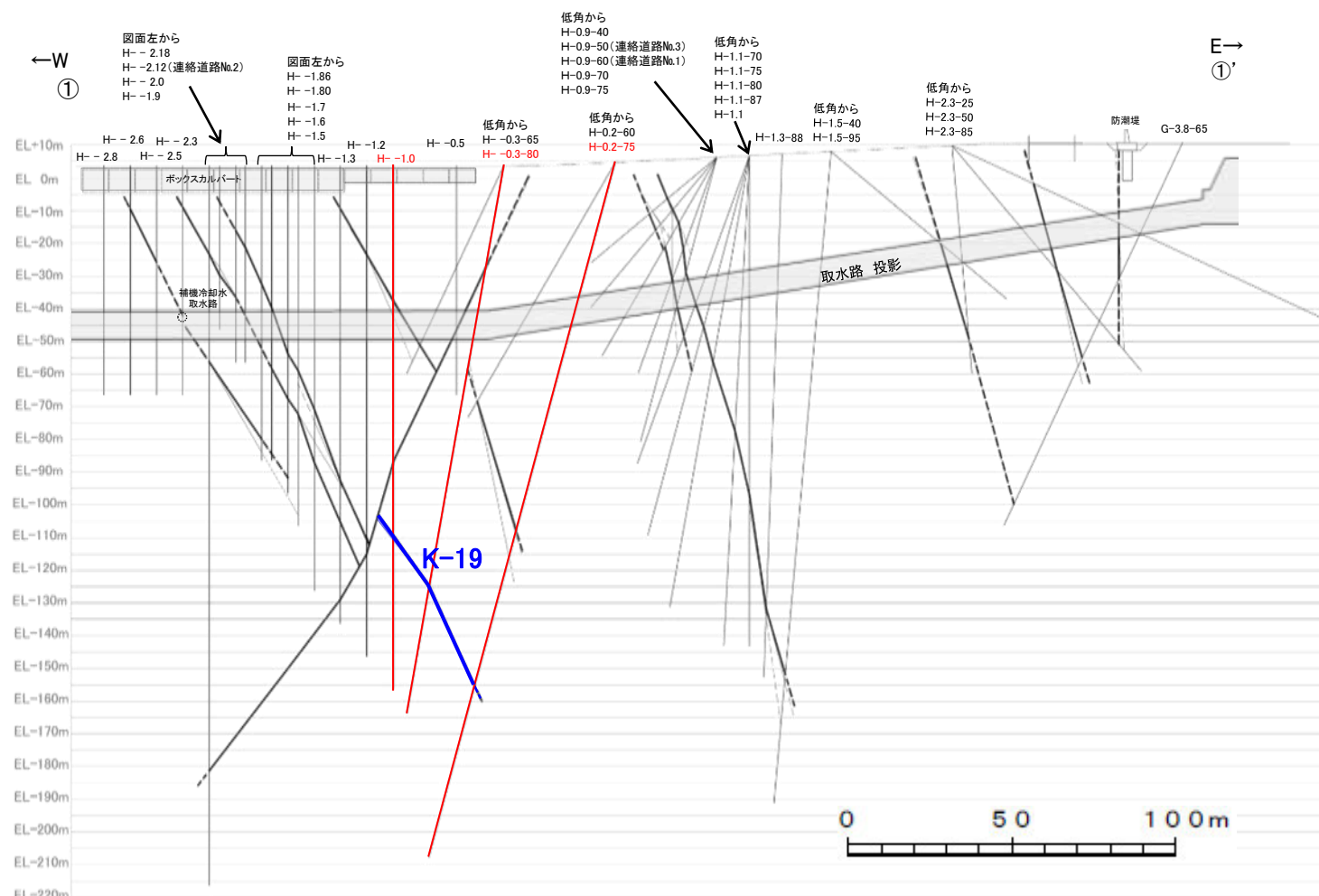
# ボーリング調査 位置図 (K-19)



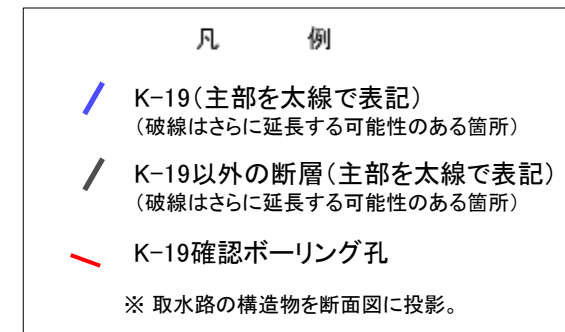
平面図



矢印(➡)の向きは断層の傾斜方向を示す



①-①' 断面図





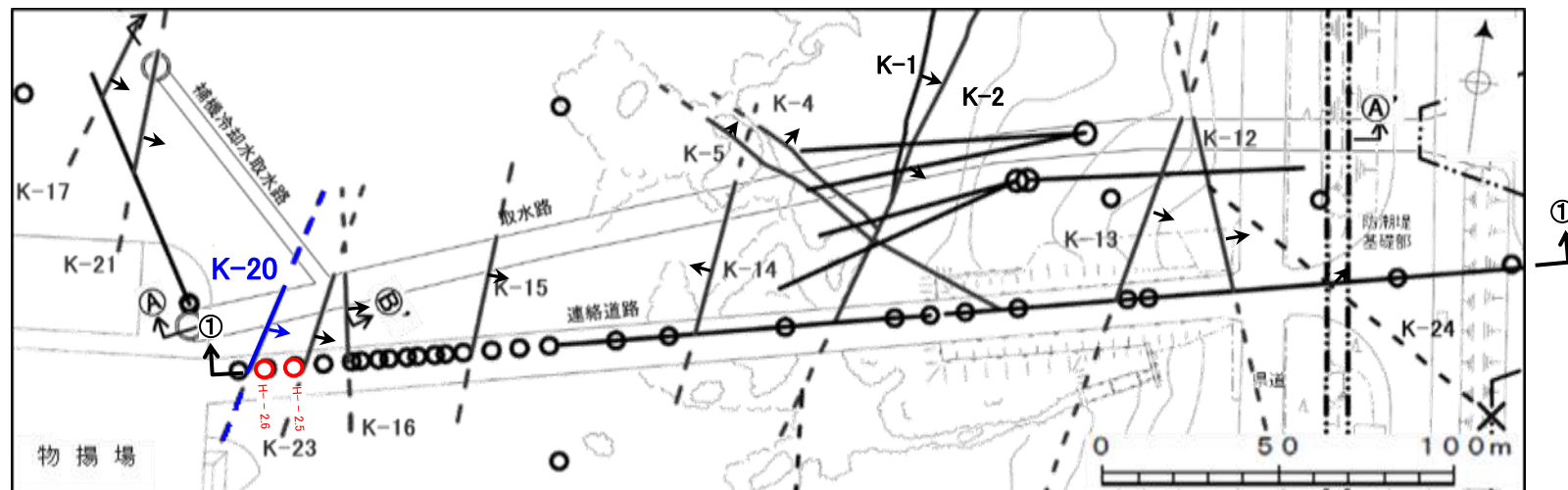
# K-19の性状一覧表(1/2)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: right;"> <p>—— 破碎部</p> <p>① 粘土状破碎部</p> <p>②-2 角礫状破碎部</p> </div> <div style="text-align: left;"> <p>③-1 固結した粘土・砂状破碎部</p> <p>③-2 固結した角礫状破碎部</p> </div> </div>
K-19	H- -1.0	113.16 (EL-109.50)	N S/57° E	5	
		114.61 (EL-110.95)	N35° W/66° NE	1	
	H- -0.3-80 (傾斜80°)	129.91 (EL-124.25)	N5° E/65° SE	2	
		130.88 (EL-125.20)	N 19° W/64° NE	11	

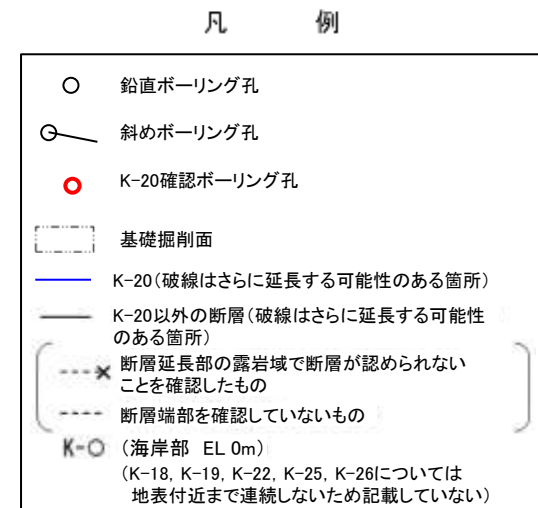
# K-19の性状一覧表(2/2)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
K-19	H-0.2-75 (傾斜75°)	165.87 (EL-155.49)	N 13° W/78° NE	9	

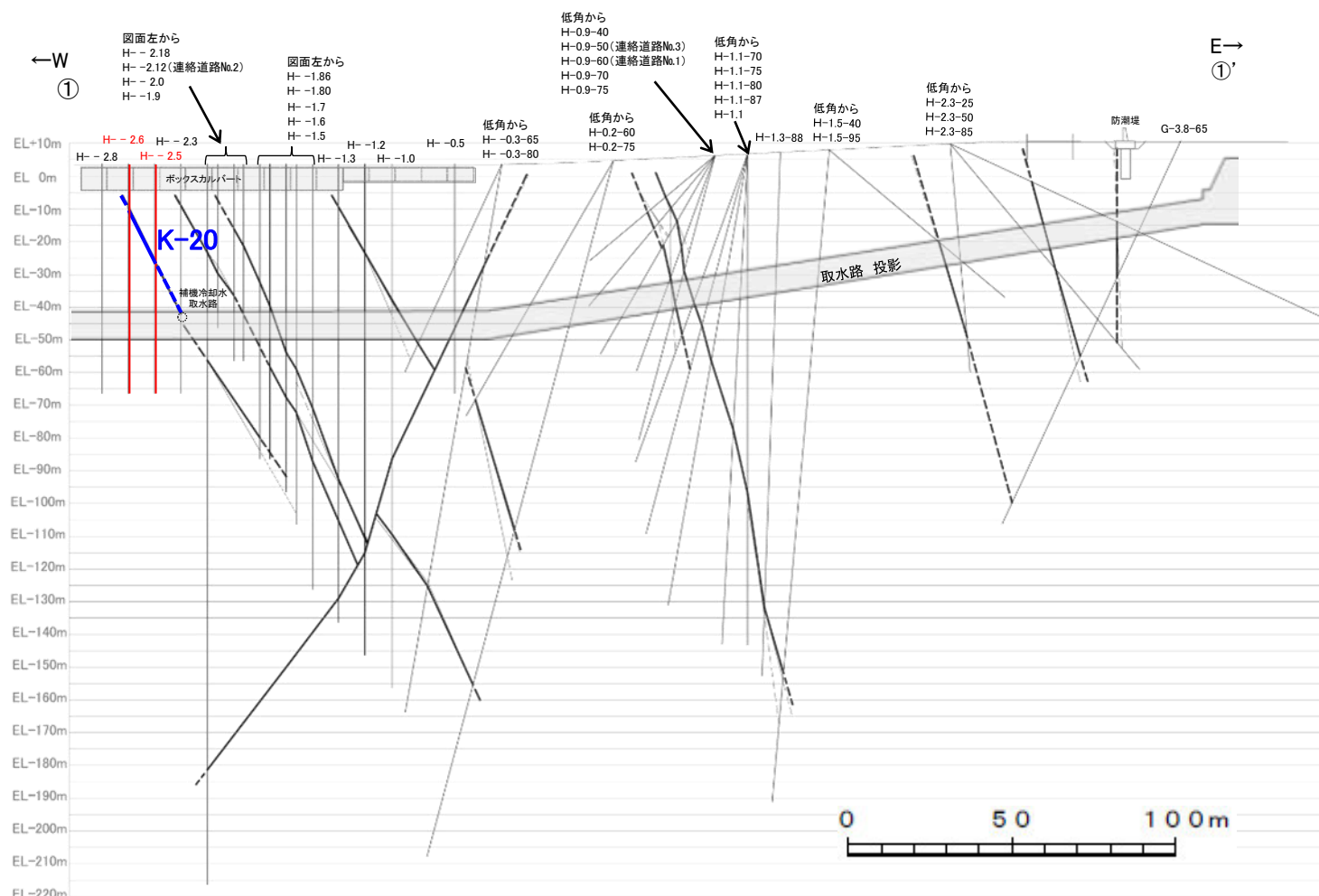
# ボーリング調査 位置図 (K-20)



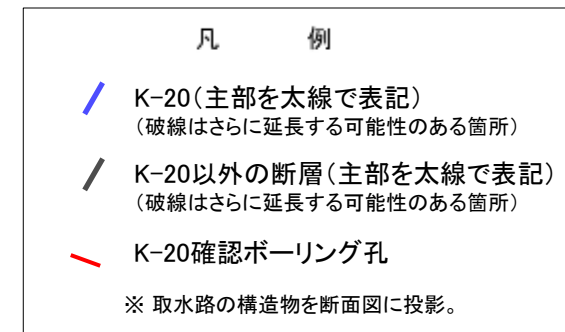
平面図



矢印(➦)の向きは断層の傾斜方向を示す



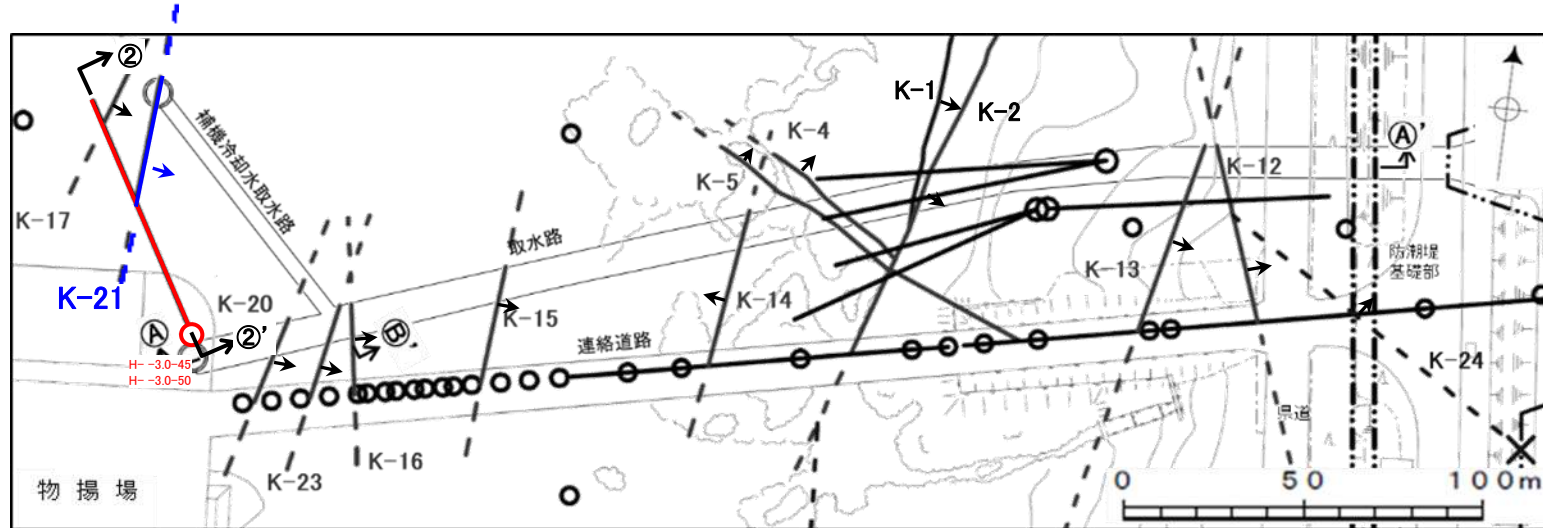
①-①' 断面図



# K-20の性状一覧表(1/1)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
K-20	H- -2.6	13.09 (EL-9.43)	N 3° E/65° SE	6	<p>コア写真 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部</p>
	H- -2.5	29.44 (EL-25.77)	N 28° E/62° SE	5	<p>本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>

# ボーリング調査 位置図(K-21)

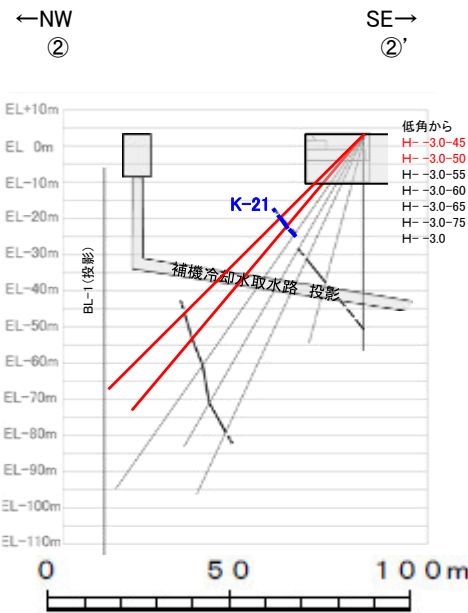


平面図

## 凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- K-21確認ボーリング孔
- 基礎掘削面
- K-21(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- K-21以外の断層(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- × 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- × 断層端部を確認していないもの
- K-O (海岸部 EL.0m)  
(K-18, K-19, K-22, K-25, K-26については地表面付近まで連続しないため記載していない)

矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す



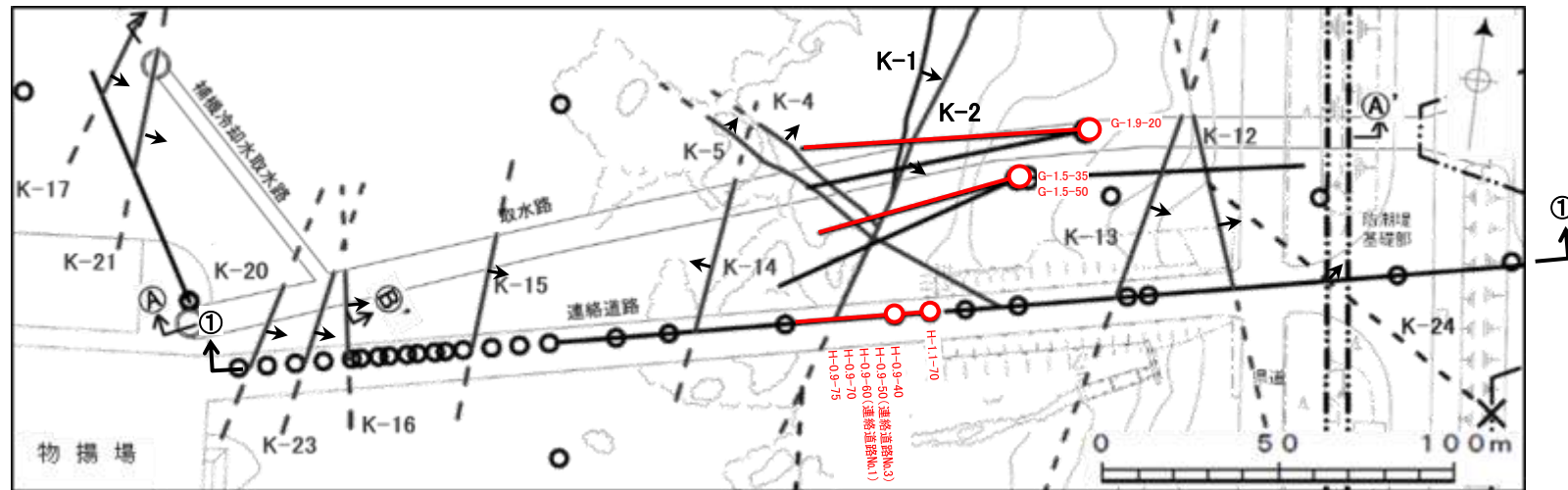
②-②' 断面図

## 凡 例

- K-21(主部を太線で表記)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - K-21以外の断層(主部を太線で表記)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - K-21確認ボーリング孔
- ※ 補機冷却水取水路の構造物を断面図に投影。

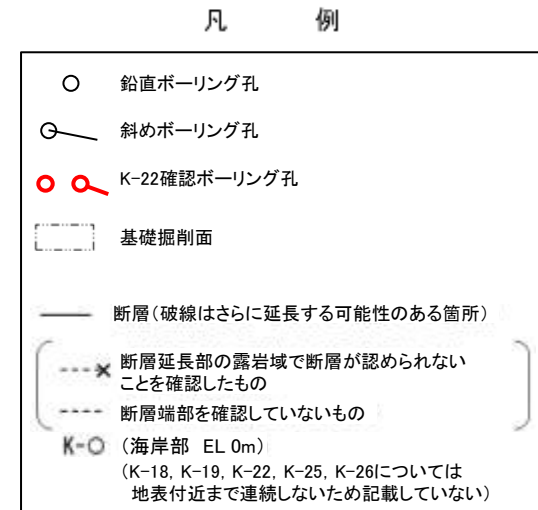
# K-21の性状一覧表(1/1)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
K-21	H- -3.0-45 (傾斜45°)	32.84 (EL-19.58)	N 9° E/62° SE	3	<p>32.6 32.7 32.8 32.9 33.0 33.1 33.2 (m)</p> <p>① ③-2</p>
	H- -3.0-50 (傾斜50°)	33.37 (EL-21.92)	N S/70° E	19	<p>32.9 33.0 33.1 33.2 33.3 33.4 33.5 (m)</p> <p>③-1 ① ③-1 ②-2 ③-1</p>

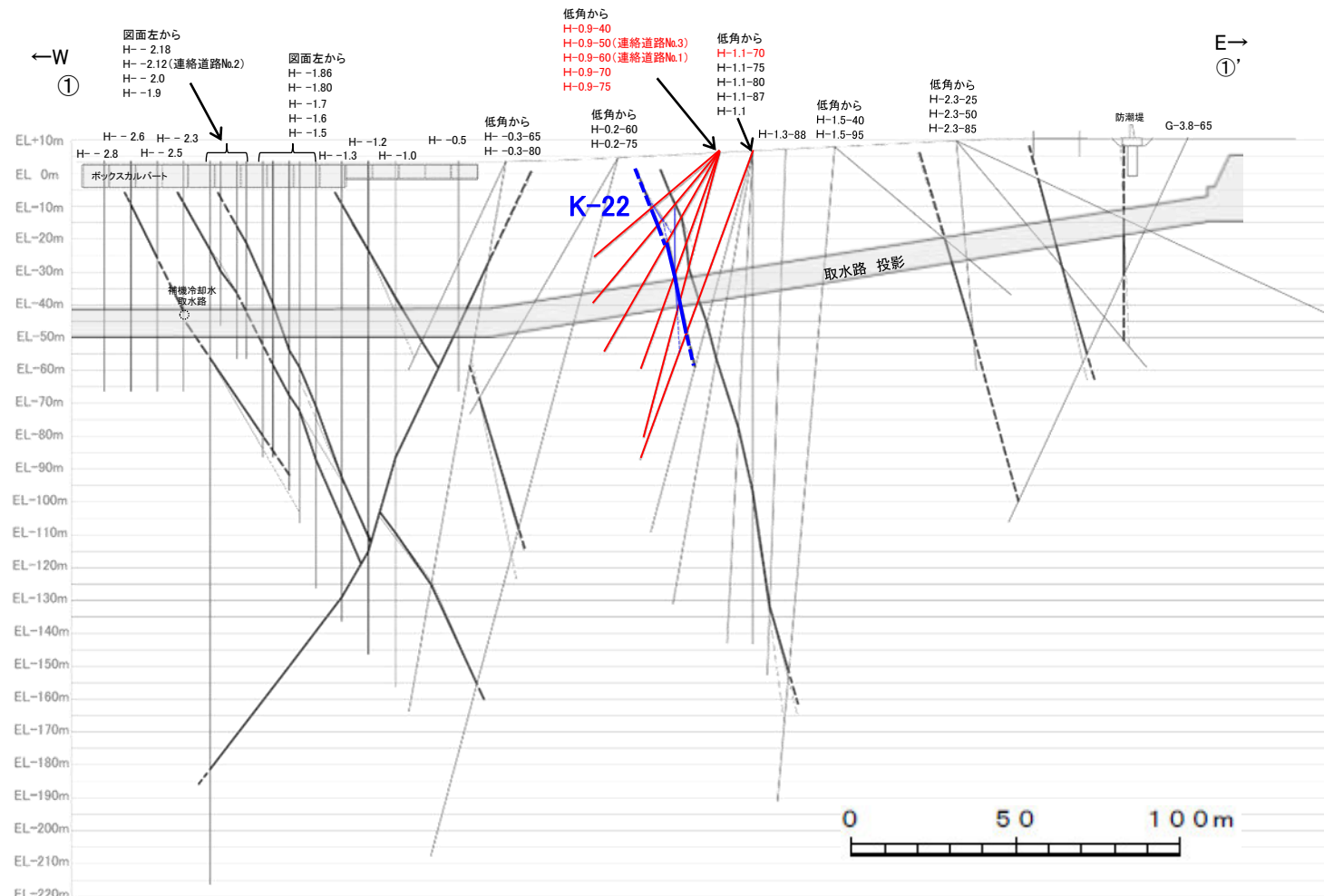


矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

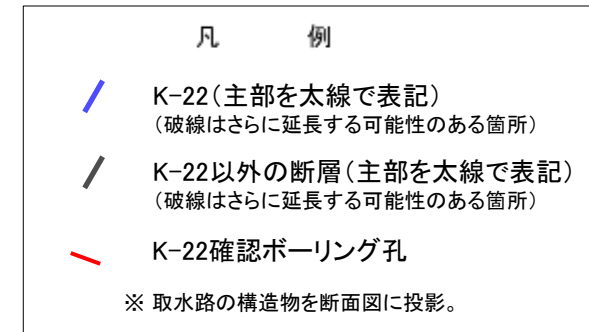
平面図



矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す



①-①' 断面図

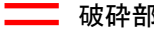





# K-22の性状一覧表(1/7)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="text-align: right;"> <span style="color: red;">—</span> 破碎部                      ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                 </div>
K-22	H-0.9-40 (傾斜40°)	25.68 (EL-10.24)	N2° W/57° NE	2	
		26.90 (EL-11.02)	N21° W/70° NE	9	

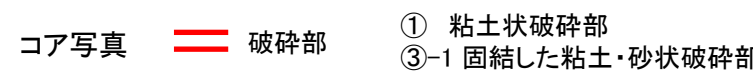
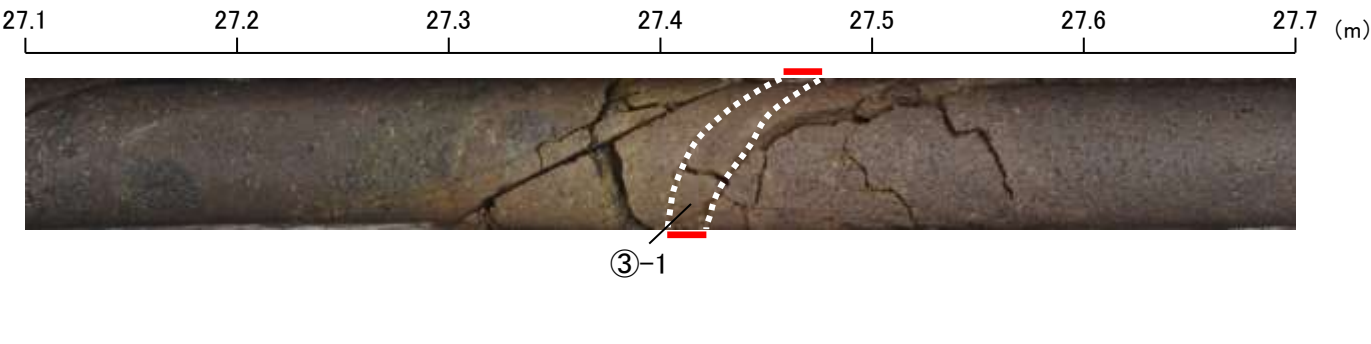
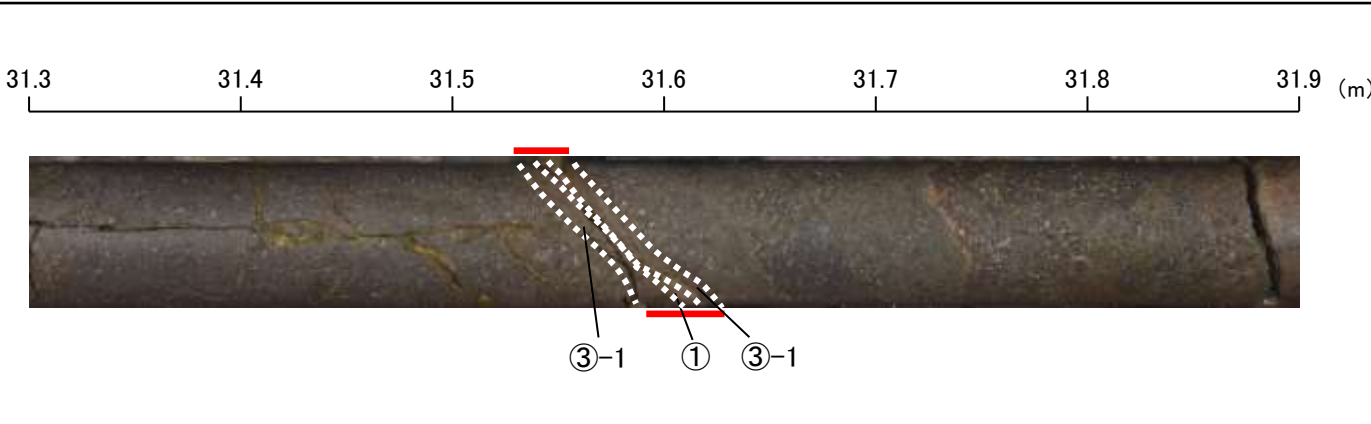



# K-22の性状一覧表(2/7)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)※	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  破碎部                      ① 粘土状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div> </div>
K-22	H-0.9-50 (傾斜50°)	26.52 (EL-14.05)	N 13° E/69° SE	1	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">26.2</div> <div style="margin-right: 10px;">26.3</div> <div style="margin-right: 10px;">26.4</div> <div style="margin-right: 10px;">26.5</div> <div style="margin-right: 10px;">26.6</div> <div style="margin-right: 10px;">26.7</div> <div style="margin-right: 10px;">26.8 (m)</div> </div> 
		26.75 (EL-14.22)	N 1° E/56° SE	(3)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">26.4</div> <div style="margin-right: 10px;">26.5</div> <div style="margin-right: 10px;">26.6</div> <div style="margin-right: 10px;">26.7</div> <div style="margin-right: 10px;">26.8</div> <div style="margin-right: 10px;">26.9</div> <div style="margin-right: 10px;">27.0 (m)</div> </div> 
		29.00 (EL-15.95)	N 19° W/68° NE	11	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">28.7</div> <div style="margin-right: 10px;">28.8</div> <div style="margin-right: 10px;">28.9</div> <div style="margin-right: 10px;">29.0</div> <div style="margin-right: 10px;">29.1</div> <div style="margin-right: 10px;">29.2</div> <div style="margin-right: 10px;">29.3 (m)</div> </div> 

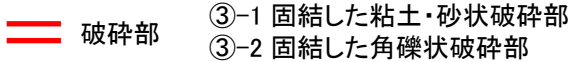
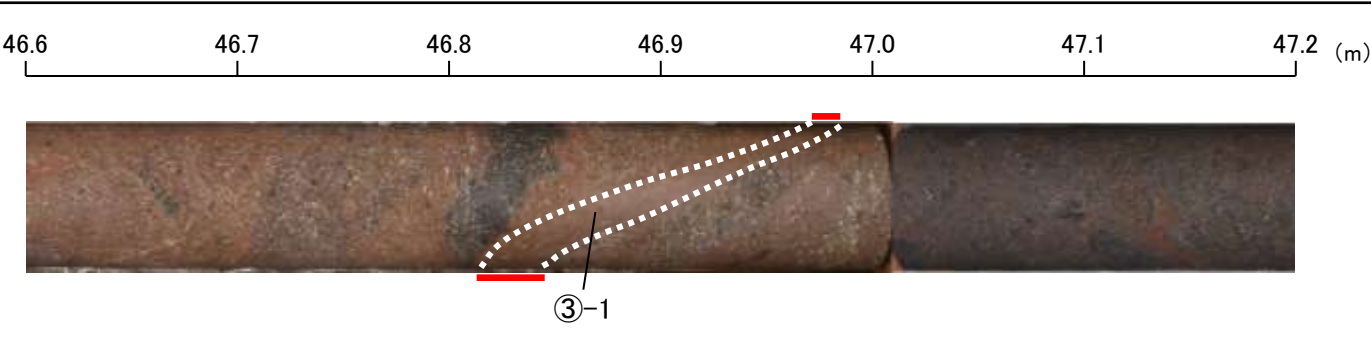
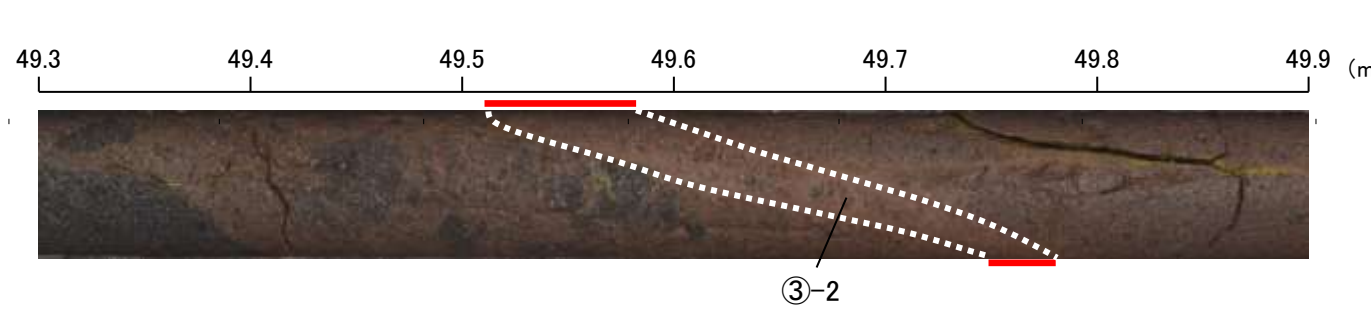
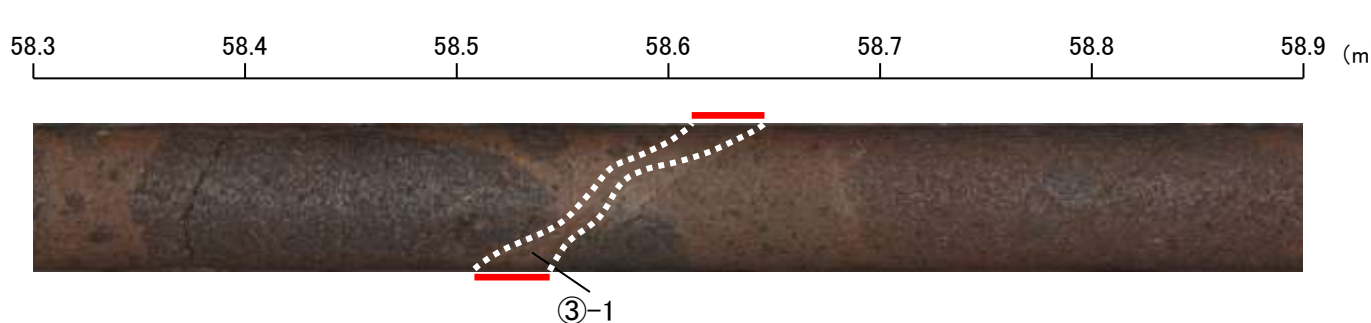
※幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記

# K-22の性状一覧表(3/7)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)※	コア写真 
K-22	H-0.9-60 (傾斜60°)	27.44 (EL-17.49)	N4° W/85° NE	2	
		31.58 (EL-21.08)	N16° E/74° SE	(3)	
	H-0.9-70 (傾斜70°)	39.68 (EL-31.02)	N12° W/87° NE	2	

※幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記

# K-22の性状一覧表(4/7)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)※	コア写真 
K-22	H-0.9-75 (傾斜75°)	46.91 (EL-39.04)	N12° E/79° SE	2	
		49.65 (EL-41.69)	N 10° E/89° SE	2	
	H-1.1-70 (傾斜70°)	58.59 (EL-48.28)	N 7° E/77° SE	(3)	

※幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記

# K-22の性状一覧表(5/7)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; gap: 10px;"> <span style="border-bottom: 2px solid red; width: 20px; height: 2px;"></span> 破碎部                     <span style="margin-left: 10px;">③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> <span style="margin-left: 10px;">③-2 固結した角礫状破碎部</span> </div>
K-22	G-1.5-35 (傾斜35°)	64.79 (EL-32.67)	N S/67° E	1	
		65.18 (EL-32.90)	N21° W/79° NE	9	
	G-1.5-50 (傾斜50°)	71.27 (EL-50.11)	N 21° W/76° NE	11	

# K-22の性状一覧表(6/7)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <span style="color:red">■</span> 破碎部    ③-1 固結した粘土・砂状破碎部
K-22	G-1.9-20 (傾斜20°)	81.50 (EL-23.98)	N 25° W/85° NE	4	<p>本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>
		82.30 (EL-24.26)	N 12° W/81° NE	10	<p>本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>
		82.55 (EL-24.34)	N 12° W/73° NE	5	

# K-22の性状一覧表(7/7)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red; font-weight: bold;">▬</span> 破碎部                 <span style="margin-left: 20px;">②-2 角礫状破碎部</span> <span style="margin-left: 20px;">③-1 固結した粘土・砂状破碎部</span> </div>
K-22	G-1.9-20 (傾斜20°)	82.76 (EL-24.42)	N 21° W/54° NE	4	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">82.4      82.5      82.6      82.7      82.8      82.9      83.0 (m)</div> </div> <p style="text-align: center;">③-1 本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>
		83.07 (EL-24.52)	N 28° W/51° NE	3	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">82.8      82.9      83.0      83.1      83.2      83.3      83.4 (m)</div> </div> <p style="text-align: center;">③-1 本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>
		83.23 (EL-24.58)	N 34° W/88° SW	5	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">83.0      83.1      83.2      83.3      83.4      83.5      83.6 (m)</div> </div> <p style="text-align: center;">③-1 ②-2 ③-1 本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>